履修要項

2025

OTANI UNIVERSITY

FACULTY OF LETTERS　文学部

FACULTY OF SOCIOLOGY　社会学部

FACULTY OF EDUCATION　教育学部

FACULTY OF INTERNATIONAL STUDIES　国際学部

GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES　大学院人文学研究科

大谷大学

2025 年度　学年暦

【前　期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
4月	23	24	25	26	27	28	29	1日(火) ◇学年始　◇宗祖誕生日 ◇入学宣誓式
	30	31	1	2	3	4	5	3月28日(金)～4月4日(金) ◇オリエンテーション ◇聴講登録期間
	6	7	8	9	10	11	12	5日(土) ◇若葉祭(予定) 7日(月) ◇前期授業開始
	13	14	15	16	17	18	19	8日(火) ◇釈尊降誕日
	20	21	22	23	24	25	26	10日(木) ◇修正登録期間[～15日(火)] 19日(土) ◇オリエンテーション(本山参拝) 21日(月) ◇修正登録確認期間[～23日(水)]
	27	28	29	30				28日(月) ◇宗祖御命日勤行・講話(2時限目休講) ◇**前期学費納入期日(口座振替日)**
5月					1	2	3	29日(火) ◇**昭和の日＝授業実施**
	4	5	6	7	8	9	10	5月3日(土) ◇憲法記念日 4日(日) ◇みどりの日 5日(月) ◇こどもの日 6日(火) ◇振替休日
	11	12	13	14	15	16	17	26日(月)～30日(金) ◇履修辞退期間
	18	19	20	21	22	23	24	28日(水) ◇宗祖御命日勤行
	25	26	27	28	29	30	31	30日(金) ◇「研究計画書」提出最終日 (修士・博士後期課程第1学年)
6月	1	2	3	4	5	6	7	31日(土) ◇宗祖誕生会 ◇3時限目:4/28(月)2時限目の授業実施 ◇4時限目:6/27(金)2時限目の授業実施
	8	9	10	11	12	13	14	6月14日(土) ◇補講日
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	27日(金) ◇宗祖御命日勤行・講話(2時限目休講) 28日(土) ◇補講日
	29	30						30日(月) ◇「卒業研究・卒業論文・修士論文」 提出最終日(前期卒業・修了予定者)
7月			1	2	3	4	5	◇「卒業論文・修士論文題目登録」 【17年度以前入学学部生、大学院生対象】
	6	7	8	9	10	11	12	◇「卒業研究種類・題目登録」 【18年度以降入学学部生対象】 登録最終日(明年3月卒業・修了予定者)
	13	14	15	16	17	18	19	7月12日(土) ◇補講日
	20	21	22	23	24	25	26	21日(月) ◇**海の日＝授業実施**
	27	28	29	30	31			23日(水)～31日(木) ◇前期定期試験 28日(月) ◇宗祖御命日勤行
8月						1	2	8月1日(金)～9月18日(木) ◇夏期休暇
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	8月11日(月) ◇山の日
	24	25	26	27	28	29	30	8月25日(月)～29日(金) ◇集中講義【前期】期間
	31							
9月		1	2	3	4	5	6	9月1日(月)～12日(金) ◇集中講義【後期】期間
	7	8	9	10	11	12	13	5日(金) ◇修正登録期間[～9日(火)] 15日(月) ◇敬老の日 19日(金) ◇後期授業開始 ◇修正登録確認期間[～23日(火)]
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	23日(火) ◇**秋分の日＝授業実施** 25日(木) ◇宗祖御命日勤行・講話(2時限目休講)
	28	29	30					30日(火) ◇前期卒業証書・学位記授与式(授業実施) ◇前期終了

【後　期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
10月				1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	10月11日(土) ◇開学記念式典 13日(月) ◇開学記念日
	12	13	14	15	16	17	18	13日(月) ◇**スポーツの日＝授業実施** 14日(火) ◇後期学費納入期日(口座振替日)
	19	20	21	22	23	24	25	27日(月)～31日(金) ◇履修辞退期間
	26	27	28	29	30	31		28日(火) ◇宗祖御命日勤行・講話(2時限目休講)
11月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	11月3日(月) ◇**文化の日＝授業実施**
	9	10	11	12	13	14	15	7日(金)～10日(月) ◇学園祭期間(予定) (7日・10日は終日休講)
	16	17	18	19	20	21	22	22日(土) ◇大学報恩講 ◇3時限目:9/25(木)2時限目の授業実施 ◇4時限目:10/28(火)2時限目の授業実施
	23	24	25	26	27	28	29	23日(日) ◇勤労感謝の日
	30							24日(月) ◇**振替休日＝授業実施** 28日(金) ◇宗祖御正忌(終日休講) 29日(土) ◇**金曜日の授業実施**
12月		1	2	3	4	5	6	12月6日(土) ◇補講日
	7	8	9	10	11	12	13	10日(水) ◇「修士論文」提出最終日
	14	15	16	17	18	19	20	20日(土) ◇補講日
	21	22	23	24	25	26	27	22日(月) ◇宗祖御命日勤行
	28	29	30	31				23日(火)～1月4日(日) ◇冬期休暇
1月					1	2	3	1月1日(木) ◇元日
	4	5	6	7	8	9	10	5日(月) ◇修正会 ◇授業再開
	11	12	13	14	15	16	17	10日(土) ◇「卒業研究」「卒業論文」提出最終日 ◇補講日
	18	19	20	21	22	23	24	12日(月) ◇成人の日
	25	26	27	28	29	30	31	20日(火)～28日(水) ◇後期定期試験 28日(水) ◇宗祖御命日勤行
2月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	2月11日(水) ◇建国記念の日
	15	16	17	18	19	20	21	23日(月) ◇天皇誕生日 25日(水) ◇宗祖御命日勤行
	22	23	24	25	26	27	28	27日(金) ◇「研究成果報告書」提出最終日 (博士後期課程)
3月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	3月18日(水) ◇卒業証書・学位記授与式 20日(金) ◇春分の日
	22	23	24	25	26	27	28	27日(金) ◇宗祖御命日勤行 31日(火) ◇学年終
	29	30	31					

■＝授業休止　■＝授業実施日(土曜日に他曜日授業を実施)　□＝授業実施日(祝日に当該曜日授業を実施)　＝定期試験期間　▭＝宗祖御命日勤行・講話により2時限目休講　▭＝式典

【注意点】授業日数確保のため下記のとおり、一部祝日や土曜日に授業や補講を実施します。

①授　業　実　施・・・◇前期：4/29(火曜日＝昭和の日)・7/21(月曜日＝海の日)
◇後期：9/23(火曜日＝秋分の日)・10/13(月曜日＝スポーツの日)・11/3(月曜日＝文化の日)・11/24（月曜日＝振替休日)

②補　講　日・・・◇前期：6/14(土)・6/28(土)・7/12(土)　◇後期：12/6(土)・12/20(土)・1/10(土)

③他曜日授業日・・・◇前期：5/31(土曜日＝3時限目：4/28(月) 2時限目の授業実施、4時限目：6/27(金) 2時限目の授業実施)
◇後期:11/22(土曜日＝3時限目:9/25(木) 2時限目の授業実施、4時限目:10/28(火) 2時限目の授業実施)・11/29(土曜日＝金曜日の授業実施)

は　じ　め　に　…

入学してから卒業するまでには、「学則」（『大学ホームページ』に掲載）及び「履修規程」（本誌に掲載）に従って、一定の科目を登録・学習し、試験に合格し、所定の単位を修得しなければなりません。また資格取得を希望する人は、卒業所要科目に加えて、別途に「資格に関する科目」を履修しなければなりません。

これらのことから、本学のカリキュラムは自主性を最大限に尊重し、体系的・総合的に学習を進められるよう編成されていますので、それを活かして、どのような学習計画を立てるかが、大学生活においてとても重要になります。

この『履修要項』には、それらの説明をすべて記載してあります。**入学時にのみ配布され、卒業するまで使用します**ので、掲載内容を熟読のうえ、大切に保管し、活用してください。

なお、次年度以降の開講科目、および記載事項の変更については、「OTANI UNIVERSITY UNIVERSAL PASSPORT」（以下「OTANI UNIPA」と表記する）でお知らせします。

事務窓口よりの**情報伝達・連絡**は、「**OTANI UNIPA**」、「**学内掲示板**」、「**構内放送**」で行います。

掲示事項については各自確認したものとして取り扱いますので、十分注意するようにしてください。なお、電話による掲示内容の問い合わせには応じません。

目　　次

◎ 2025 年度聴講登録関連日程 …… 6

〈学　部〉

Ⅰ．履修要領

第１章　教育研究目的
1．目的 …… 12
2．教育目標および教育方針 …… 12
3．各学部・学科の人物養成の目的 …… 59
4．学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー） …… 60

第２章　卒業要件及び開講科目表
1．卒業の要件 …… 62
2．単位制 …… 64
3．単位修得の認定 …… 65
4．学部・学科別卒業単位配当表 …… 67
5．開講科目表 …… 81

第３章　聴講登録
1．時間割作成 …… 130
2．聴講登録 …… 133
3．共通基礎科目外国語 …… 138
4．現代総合科目・自己選択科目 …… 145
5．スポーツ科目 …… 147
6．国際交流科目 …… 148
7．大学コンソーシアム京都「単位互換制度」 …… 151
8．教育プログラム …… 153
9．卒業研究 …… 156

第４章　成績評価
1．進級基準 …… 160
2．試験 …… 162
3．成績評価 …… 164
4．GPA …… 167
5．学士・修士接続プログラム 《文学部のみ》 …… 168

第５章　規程集
1．大谷大学履修規程 …… 170
2．大谷大学進級規程 …… 176

Ⅱ．資格の取得

1．教職課程 …… 179
2．保育士養成課程 …… 219

3．大谷保育協会保育心理士課程 …… 228
4．学校図書館司書教諭課程 …… 231
5．博物館学課程 …… 232
6．図書館学課程 …… 237
7．真宗大谷派教師課程 …… 240
8．社会教育課程【社会教育主事任用資格】 …… 247
9．社会福祉士国家試験受験資格課程 …… 250
10．社会福祉主事【任用資格】 …… 254
11．開講科目表 …… 256

〈大　学　院〉

Ⅰ．履修要領

第１章　教育研究目的
1．目的 …… 268
2．教育目標および教育方針 …… 268
3．各専攻の人物育成の目的 …… 275
4．各専攻の目的と目標 …… 276

第２章　修了要件及び開講科目表
1．修士課程 …… 288
2．博士後期課程 …… 299
3．開講科目表 …… 308

第３章　聴講登録～成績評価
1．単位修得の認定 …… 320
2．聴講登録 …… 320
3．授業時間 …… 320
4．試験 …… 321
5．成績評価 …… 321
6．GPA …… 322
7．学術交流について …… 324
8．安居の開講について …… 325

第４章　規程集
1．大谷大学学位規程 …… 328
2．大谷大学大学院履修規程 …… 332

Ⅱ．資格の取得

1．教職課程 …… 337
2．真宗大谷派教師課程 …… 340

〈学部・大学院　共通〉
科目担当者一覧表 …… 341

OTANI UNIVERSITY UNIVERSAL PASSPORT

利用案内（学生用）

1．はじめに

大谷大学では、学内ポータルシステムとして「OTANI UNIVERSITY UNIVERSAL PASSPORT」（以下、OTANI UNIPA（大谷ユニパ）を導入しています。

OTANI UNIPA は、インターネット環境があればどこからでも大学からのお知らせや学内情報が得られるだけでなく、履修登録や成績の確認を行うことができます。

2．ユーザ ID とパスワード

OTANI UNIPA を利用するには、OUNET アカウントが必要です。

OUNET アカウント通知書を受け取っていない、もしくは紛失した場合は、下記へお問い合わせください。

▼お問い合わせ窓口

教務課・学生支援課・キャリアセンター　／慶聞館１階

情報処理準備室　／響流館１階（教育研究支援課内）

3．OTANI　UNIPA へのログイン方法

①「大谷大学ホームページ（https://www.otani.ac.jp/）「在学生の方へ」の「OTANI UNIVERSITY UNIVERSAL PASSPORT」ボタンを選択。または、URL（https://unipa.otani.ac.jp）を直接入力してください。

②OTANI UNIPA のログインより、User ID と Password を入力し「LOGIN」ボタンをクリックします。

4．操作を行うにあたっての注意点

①OTANI UNIPA は、インターネットを経由して、サーバに接続し作業を行っています。

そのため、ログイン後の各画面で、無操作のまま 90 分以上放置するとサーバとの接続が解除され、自動的にログアウトします。

②システム利用時間

システムメンテナンスを行っている間は利用できません。

（システムメンテナンスの情報は、ログイン画面の下部に表示されます。）

③ポップアップの利用について

一部機能に関して、全画面を同時に参照できるよう、ポップアップを利用しています。該当する項目をクリックしても画面が表示されない場合は、ポップアップブロックを解除してください。

④ブラウザの「戻る」ボタンの使用や、複数タブ、ウインドウでの同時ログインは禁止します。

5．トップ画面

①メニュー

各種メニューの項目が表示されます。

共通　　‥　学籍情報、アンケート、掲示、安否確認、教員スケジュール
教務　　‥　試験時間割表、シラバス照会
履修関連　　‥　履修登録、授業時間割表、授業評価、抽選登録
資格・成績　　‥　資格登録、成績照会
Q&A　　‥　Q&A 登録（担当教員）
学修ポートフォリオ‥　学修ポートフォリオ
マイステップ　　‥　マイステップ登録

②重要・期限あり

「重要」「期限あり」として登録された掲示、アンケート、授業評価回答等の情報が掲載されます。

③インフォメーション・お気に入り

インフォメーション
‥　掲示、時間割変更、Q&A、クラスプロファイル等の機能の未読情報が
アイコンの右上に表示されます。また、クリックすると対象機能に遷移します。
お気に入り　‥　大学が指定したものと、自身で登録したものが表示されます。

④授業情報・スケジュール

授業情報や個人のスケジュール管理が可能です。
スケジュール　‥　行事予定の確認、学生個人のスケジュール登録
時間割　　‥　当日の履修している授業情報

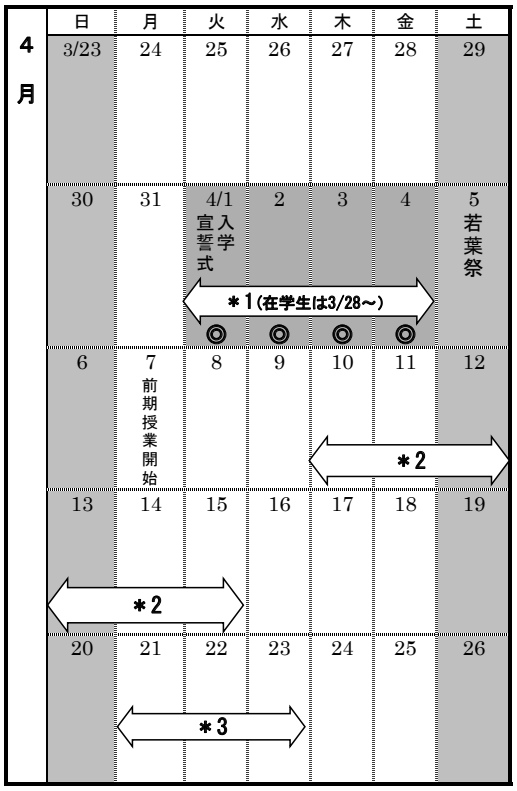
※各機能の詳細については、メニューの「公開資料」→「利用案内」を参照してください。

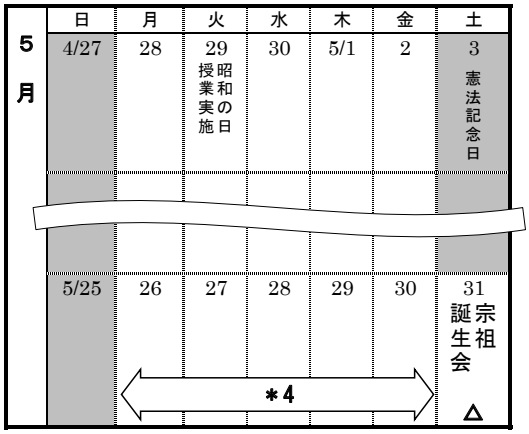
◎ 2025 年度聴講登録関連日程（次年度以降は「OTANI UNIPA」で確認してください。）

前期　年度始めに今年度の 1 年間（前期・後期・集中・通年とも）の科目を一括して登録します。

※聴講登録・修正登録・履修辞退はすべて、「OTANI UNIPA」にて行います。

※各登録期間終了後、教室定員をオーバーした科目は、抽選を行います。
　抽選後は、登録ができませんので早い時期から聴講登録を行ってください。





△　3時限目：4/28（月）2時限目の授業実施
　　4時限目：6/27（金）2時限目の授業実施

在学生　前年度の後期科目成績公開日…3 月上旬を予定。

公開日が決まれば、OTANI UNIPA 掲示板にて発表します。

◎新入生オリエンテーション期間
4 月 1 日（火）～ 4 月 4 日（金）（在学生は 3 月 28 日～）

履修や諸課程（免許・資格）に関する説明会を行います。該当の説明会には必ず出席し、わからない点はこの期間に確認してください。

＊1
聴講登録期間
新入生：4 月 1 日（火）9：00 ～ 4 日（金）17：00
（在学生は 3 月 28 日（金）9：00 ～ 4 月 4 日（金）17：00）

履修を希望する科目を OTANI UNIPA から登録してください。

＜社会学部コミュニティデザイン学科　第 2 学年の学生のみ＞
特定のコースのみ履修可能な科目の登録は、オリエンテーション期間中に決定したコースを OTANI　UNIPA へ反映してから可能となります。コースの反映には、時間を要するため、聴講登録期間中は随時確認するようにしてください。

＊2
修正登録期間　4 月 10 日（木）9：00 ～ 15 日（火）17：00

1. 聴講登録に修正が必要な場合は、この期間中に科目の修正（追加・変更・削除）をしてください。
2. 登録エラーがある場合、その科目は受講できません。必ずエラーがないかチェックし、修正してください。

＊3
修正登録確認期間
4 月 21 日（月）～ 4 月 23 日（水）

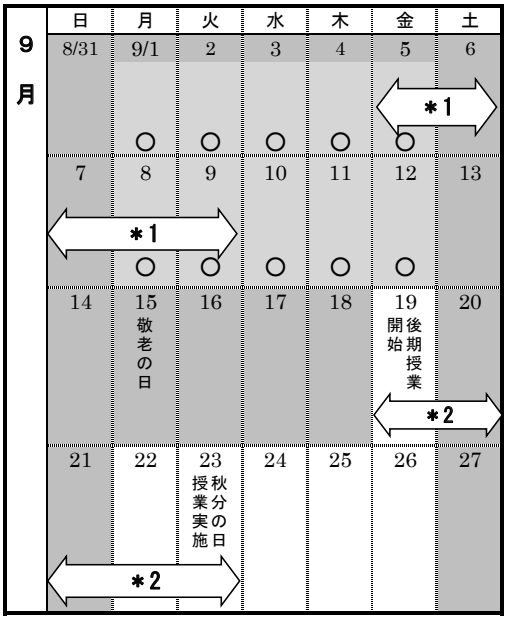
登録エラーの修正が必要な場合は、この期間中に教務課窓口にて手続きを行ってください。

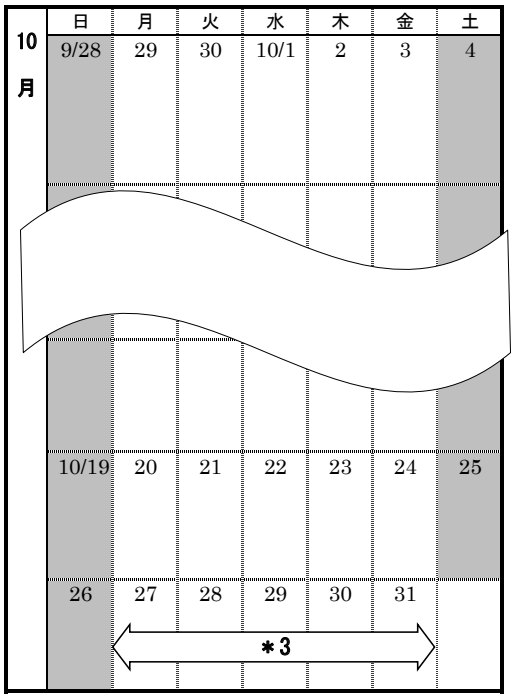
＊4
履修辞退期間　5 月 26 日（月）9：00 ～ 30 日（金）17：00

履修辞退（科目の取消）をすることができます。
ただし、取り消した科目の代わりに、他の科目を登録をすることはできません。（詳細は第 4 章「4.GPA」を参照してください。）

※聴講登録・修正登録・履修辞退期間中は何度でも操作は可能ですが、締切時間を過ぎると操作ができなくなりますので注意してください。

後期 前期成績評価後の修正登録が可能です。
※修正登録・履修辞退はすべて、「OTANI UNIPA」にて行います。





○集中講義【後期】期間
9月1日（月）～9月12日（金）※土・日を除く

「OTANI UNIPA」と「授業計画（シラバス）」で開講日程を確認のうえ、授業時間が重複しないよう科目を選んでください。受講する科目が決まれば、聴講登録の際に「集中講義／実習」欄に希望する科目を選択し、登録を完了してください。

※「宗教法規」のように、集中講義【前期】期間に開講する科目があります。注意してください。

前期科目成績公開日…9月上旬を予定。

公開日が決まれば、OTANI UNIPA 掲示板にて発表します。

＊1
修正登録期間　9月5日（金）9：00～9日（火）17：00

1. 前期成績評価の結果を参考に、後期登録科目の修正（追加・変更・削除）ができます。ただし、以下の場合は修正することができません。

①前期の段階で定員に達している科目の追加登録
②登録単位数制限をオーバーする追加登録
（合格した単位数ではなく、不合格も含めて登録した単位数で計算します。）
③共通基礎科目の語学など、クラス指定科目の変更

2. 修正登録をする必要がない人は、前期に登録した時間割のまま受講を続けてください。

＊2
修正登録確認期間　9月19日（金）～23日（火）
※土・日は除く（9/23・火は事務開室）
登録エラーの修正が必要な場合は、この期間中に教務課窓口にて手続きを行ってください。

＊3
履修辞退期間　10月27日（月）9：00～31日（金）17：00

履修辞退（科目の取消）をすることができます。
ただし、取り消した科目の代わりに、他の科目を登録をすることはできません。（詳細は第4章「4.GPA」を参照してください。）

※修正登録・履修辞退期間中は何度でも操作は可能ですが、締切時間を過ぎると操作ができなくなりますので注意してください。

学　　部

Ⅰ．履修要領

第１章　教育研究目的

聴講登録
関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

1. 目的（学則第 1 条）

本学は教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、仏教の精神に則り、人格を育成するとともに、仏教並びに人文に関する学術を教授研究し、広く世界文化に貢献することを目的とする。

2. 教育目標および教育方針

1．教育目標（人物養成上の目的）（学則第 3 条　第 2 項）

各学部の人物の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、次のとおりとする。

(1) 文学部は、歴史の中で蓄積されてきた多様な文化的所産に学ぶことを通して、人間と世界に関わる根本的な問題を解明し、深く自己を洞察しつつ現代社会を主体的に生きることのできる人物の養成をめざす。

(2) 社会学部は、現代社会の諸課題に向き合うことを通して、地域社会など身近な場において、異なる他者と敬い合いながら生きることのできる世界を構築する構想力と実践力を身につけた人物の養成をめざす。

(3) 教育学部は、純真な人格形成を目指す高い教職意識と責任感を持ち、社会的常識や対人関係能力を備えて子どもたちの声に耳を傾けることのできる、慈育の精神に富んだ専門職業人の養成をめざす。

(4) 国際学部は、グローバル社会において、建学の精神に基づいて自己のアイデンティティを確立し、多様な他者の存在に気づき、寄りそうことのできる人物の養成をめざす。

2．卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー　DP）

本学は、学部、学科（教育学科のみコース）ごとに卒業時に学生が身につけるべき下記の能力（教育研究上の目的）を定め、これらの能力を身につけることを到達目標とするカリキュラムを編成する。本学は、所定の期間在学し、所定単位の修得をもって教育目標を達成したものとみなし、学士の学位を授与する。

＜卒業時に身につけておくべき能力（教育研究上の目的）＞

DP分類	DP		コンピテンス（DPを構成する要素）	
全学共通DP	DP1	汎用的言語能力	文章・発言を明確に理解し、意思・事実を適切に表現することができる。	
			01 読む	記述された内容を明確に理解することができる。
			02 書く	意思・事実を適切に書き表すことができる。
			03 聞く	発言された内容を明確に理解することができる。
			04 話す	意思・事実を適切に言い表すことができる。
	DP2	知識・教養（知識の獲得）	自律して知識を適切に獲得することができる。	
			01 社会的職業的自立に係る教養	社会的自立を理解し、主体的に生きるための職業的知識を身につけている。
			02 自然科学に係る教養	世界を理解するために必要な自然科学の知識を身につけている。
			03 人文社会科学に係る教養	世界を理解するために必要な人文社会科学の知識を身につけている。
			04 ICTに係る知識	多様な情報を適切に扱うために必要なICT等の知識を身につけている。
			05 自己理解	自律的に課題に取り組むために、自らを客観的に捉えることができる。
			06 他者理解・共感	他者の立場に立った観点で、他者の考えを客観的に捉えることができる。
			07 多様性理解	様々な観点をふまえて課題に取り組むために、広く性質の異なった対象の存在を適切に捉えることができる。
	DP3	思考・技能（知識の活用）	自律して知識を適切に活用することができる。	
			01 分析的思考	課題発見・解決のために、対象を適切に把握・検討することで、理想的なあり方を模索することができる。
			02 批判的思考	課題発見・解決のために、対象を色々な観点から検討し、異なる立場を適切に説明することができる。
			03 論理的思考	課題発見・解決のために、対象を理路整然と捉えて、意見や手順を適切に構築することができる。
			04 創造的思考	課題発見・解決のために、対象の問題を見出し、対処する方法を生み出すことができる。
			05 コミュニケーション	他人の意見を明確に理解したうえで、それに対する自分の意見を適切に表現することができる。
			06 プレゼンテーション	必要な情報や議論の内容を検討し、自らの考えを聞き手に伝わりやすく提案することができる。
			07 協調・協働	共通の目標を達成するために、互いの考えを尊重しあって、課題に取り組むことができる。

DP分類	DP			コンピテンス（DPを構成する要素）	
全学共通DP	DP3	思考・技能（知識の活用）		08 情報リテラシー	課題発見・解決のために、様々なメディア・文献・ICT等を用いて、多様な情報を効果的に収集・分析して適切に活用・発信することができる。
専門分野別DP	DP4	専門的な知識	全学共通	00 建学の理念に係る基本的理解	本学の学修基盤となる精神・考え方について理解している。
			真宗学科	親鸞思想を理解する上で重要な人物・文献・歴史についての知識を身につけている。	
				01 真宗の体系的理解	真宗の教えについての体系的な知識を身につけている。
				02 仏教思想	仏教思想についての知識を身につけている。
				03 親鸞思想	親鸞の生涯と親鸞の著述にあらわされる思想についての知識を身につけている。
				04 親鸞思想の背景	親鸞思想の背景にある経典や七高僧の著作についての知識を身につけている。
				05 親鸞思想の展開	親鸞以降における親鸞思想の受容と展開についての知識を身につけている。
				06 真宗史	真宗思想史や真宗教団の歴史的展開についての知識を身につけている。
				07 真宗典籍書誌	真宗文献の読解や親鸞思想の考察に資する真宗典籍の書誌についての知識を身につけている。
				08 他宗教と真宗	諸宗教の内容と歴史を学び、幅広い観点から親鸞思想を考察するための知識を身につけている。
			仏教学科	ブッダの思想を理解する上で重要な思想・歴史・文献についての知識を身につけている。	
				01 仏教思想	仏教思想についての知識を身につけている。
				02 仏教の展開	インド仏教の様々な思想潮流を踏まえ、各地への伝播と独自の展開について理解している。
				03 現代社会における仏教	現代社会の状況と問題点を把握し、新たな仏教の思想潮流を理解している。
				04 仏典の知識	仏教典籍について、思想・歴史の点から体系的に理解している。
				05 仏教文献の言語知識	仏教文献を読解するために必要な基礎的な言語知識を身につけている。
			哲学科	哲学の学修・研究に重要な知識を身につけている。	
				01 哲学の知識	西洋の哲学・思想に関する専門的な知識を身につけている。
				02 哲学史の知識	西洋の哲学史・思想史に関する専門的な知識を身につけている。
				03 東西の哲学的伝統	西洋の哲学・思想との関連のなかで非西欧圏に生じた哲学・思想（日本哲学等）を理解している。
				04 現代の哲学的諸問題	現代社会が抱える哲学的・思想的な問題を理解している。
				05 哲学研究の方法	哲学・思想研究に関する方法を理解している。
			歴史学科	歴史学一般をふまえ、日本・世界の歴史、及びそれと不可分な宗教・思想について、専門的な知識を身につけている。	
				01 歴史学一般	日本と世界各地域の歴史、及び宗教・思想について、歴史的背景に由来する課題の発見・解決に重要な知識を身につけている。
				02 専門的文献理解	歴史的史料を適切に読み解き、客観的に分析・解釈するための専門的な知識を身につけている。
				03 専門的情報収集	歴史的状況・史料の分析・解釈を行う上で重要な情報を収集するための専門的な知識を身につけている。
			文学科	日本文学・中国文学を中心に文学の学修・研究にとって重要な知識を身につけている。	
				01 専門的知識・教養	書誌的知識と作品理解に重要な文化・歴史について高度な教養を身につけている。
				02 専門的文献理解	作品・文献に表現された言表・言説を客観的に理解・解釈するための高度な知識を身につけている。
				03 専門的情報収集	作品・文献の解釈・分析を行う上で重要な情報を収集するための高度な知識を身につけている。
			現代社会学科	現代の社会文化事象について、社会学の理論的枠組みや概念を用いて適切に理解することができ、様々な社会現象や社会問題の関連性を解明するための多角的な視点や知識、論理的思考力を身につけている。	
				01 社会学の基本的な理論と概念の理解	社会学の基本的な理論枠組みや概念を理解している。
				02 公共社会の視点に基づく社会学的思考	公共社会の視点を通して、現代社会の諸相を分析し理解することができる。
				03 人間関係の視点に基づく社会学的思考	人間関係の視点を通して、現代社会の諸相を分析し理解することができる。
				04 現代文化の視点に基づく社会学的思考	現代文化の視点を通して、現代社会の諸相を分析し理解することができる。
				05 現代の社会現象や社会問題の理解と課題発見	現代の様々な社会現象や社会問題に関する知識を身につけ、多角的な視点からそれらの関連性を考察し、自らの研究課題に取り組むことができる。
			ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	地域社会・コミュニティに関する様々な専門知識に加え、行政や政策、社会福祉、情報、メディアなどの専門知識について、地域での実践との関わりのなかで総合的に理解している。	
				01 コミュニティ	都市・農村などの地域社会・コミュニティの現状を理解している。
				02 調査・分析	社会現象を経験的に調査し結果を分析するための知識・方法を身につけている。
				03 社会変革の動きと政策提言	地方自治体や実践現場に対する政策提言を視野に入れ、社会運動・運動体が掲げる理念と具体的な実践、プロセスを理解し、説明・考察することができる。
				04 地域環境と人々の暮らしや社会	地域の自然環境・社会環境の特性と課題を理解し、それらが人々の暮らしや社会に及ぼす影響と地域活性化にむけた方策を説明・考察することができる。
				05 社会福祉・社会保障の政策	社会福祉・社会保障の政策について成立過程を理解し、内容を説明することができる。
				06 社会福祉の 実践・理念・哲学	社会福祉の理念・哲学を基盤とした社会福祉実践を理解し、具体的実践力を身につけている。
				07 情報・メディア・コミュニケーション	情報・メディア・コミュニケーションの現代的な状況について調査・分析し、その特質について多角的に考察することができる。
				08 文化・表象	文化が社会的な関係性の中からどのように生み出され、それが社会をどのように維持したり変動させたりするかを説明・考察することができる。
			教育学科初等教育コース	初等教育に関する専門的知識を身につけている。	
				01 教育原理及び基本概念	教育を構成する概念や歴史性を理解し、説明することができる。
				02 教育の目的	教育の目的についてのこれまでの教育実践・言説に学び、これからの教育の目的（人間像・教育目標）を設定し、説明することができる。
				03 教育の歴史	歴史的な教育の問題や課題の生成過程を理解し、説明することができる。
				04 社会・文化の多様性	教育事象はその社会や文化の多様性によって生み出されたことを理解し、教育の可能性を模索することができる。
				05 学習過程と教育的介入	様々な学習理論の知見を学び、学習の成立と教育的介入行為について考察し、説明することができる。
				06 教育と社会の相互関係	現在の教育事象に見られる格差・貧困や排除の問題の関係を理解し、説明することができる。
			教育学科幼児教育コース	保育・幼児教育に関する専門的知識を身につけている。	
				01 発達理解	乳児期、幼児期、学童期以降の発達過程についての知識を有するとともに発達の個別性について理解している。
				02 保育に関する基礎的事項	保育・幼児教育の意義、理念、歴史、制度についての知識を有するとともに、子どもを取り巻く社会状況と取り組みについて理解している。
				03 子どもの生活と健康・安全	子どもの生活や健康・安全に関する基本的な知識を有するとともに今日的課題について理解している。

DP分類	DP			コンピテンス（DPを構成する要素）	
専門分野別DP	DP4	専門的な知識	教育学科幼児教育コース	04 保育内容	保育・幼児教育における保育内容を理解し、子どもの発達過程に合わせて展開するための知識・方法を身につけている。
				05 保育の計画と評価	保育・幼児教育における計画と評価の意義を理解し、指導計画・支援計画及び記録について知識・方法を身につけている。
				06 特別な配慮が必要な子ども	障害や異文化等多様なニーズについての知識を有し、保育を構想するための方法について理解している。
				07 子育て支援・地域連携	家庭における子育ての意義と今日的課題について理解し、その支援のための方法や連携についての知識を身につけている。
			国際文化学科	欧米とアジア地域の文化の成り立ちや多様性を理解し、多文化共生に必要な知識を身につけている。	
				01 地域の文化・歴史・社会に関する知識	欧米やアジア地域の文化・歴史・社会について専門的な知識を身につけている。
				02 多文化共生に関する知識	多様な文化的背景を持つ人々が違いを認め合い、対等な関係で共に生きる社会を構築するための知識を身につけている。
				03 グローカリゼーションに関する知識	グローバルな世界とローカルな地域社会を結びつける視点に立ち、文化や社会について考察するための知識を身につけている。
				04 文化事象の分析方法	地域文化研究や比較文化研究の視点から、文化事象を読み解く方法についての知識を身につけている。
	DP5	専門的な技能	真宗学科	真宗・仏教文献の読解方法を身につけ親鸞思想を把握し、自己を問い、人間を問い、思索したことを表現することができる。	
				01 専門的文献読解力	真宗・仏教文献を読解するために必要な言語知識を用いて、文献を丁寧に読み解くことができる。
				02 主体的問題提起力	真宗の教えを自らの生き方の上に主体的に聞き、自己・人間・社会の本質的な問題の所在を明確にすることができる。
				03 主体的考察力	真宗の教えを自らの生き方の上に主体的に聞き、自己を問い、真の依り処とは何かを考察し、明らかにすることができる。
				04 論理的表現力	真宗の教えに基づいて思索した内容を、他者に対して、様々な表現方法を用いて論理的に説明することができる。
			仏教学科	仏教文献の読解方法、及び仏教の視点から現代社会の問題を解き明かす思索方法を用いて、仏教に関する知見を的確に表現することができる。	
				01 仏教文献の読解力	必要な言語知識を用いて、仏教文献を読解することができる。
				02 仏教思想を基盤とした思索能力	現代社会の現状と問題点を把握し、仏教の果たし得る役割について考えることができる。
				03 専門的表現力	仏教研究・思索により得られた知見を、様々な技法を用いて的確に表現することができる。
			哲学科	専門的な知識を、哲学の学修・研究に活かすことができる。	
				01 問題発見力	複雑に重なり合う事象のなかから、本質的な問題を適切に取り出すことができる。
				02 重層的思考力	ひとつの観点にとらわれることなく、問題を様々な側面から重層的に考えることができる。
				03 文献読解力	日本語で書かれた哲学・思想関係の文献を精密に読み、正確に理解することができる。
				04 外国語文献読解力	外国語で書かれた哲学・思想関係の文献を精密に読み、正確に理解することができる。
				05 論理的表現力	自己の思索を体系的に整理し、他者に対して順序立てて説明することができる。
			歴史学科	歴史的事象や現代社会における課題の歴史的背景等について、専門的な知識を用いて考察し、得られた知見を論理的に表現することができる。	
				01 専門的思考力	専門的知識を活用して、歴史的事象を客観的に判断し、歴史学の解明すべき課題を指摘することができる。
				02 課題解決力	歴史的事象の関係を、史料・文献に拠って的確に把握し、客観的に課題を解明することができる。
				03 専門的リテラシー	専門的知識をふまえ、史料・文献を適切に読解することができる。
				04 専門的コミュニケーション力	先行研究の言説を広く把握し、批判的・継承的に応えながら、自らの学修・研究成果を論理的に表現することができる。
			文学科	研究課題を見出し、専門的知見を駆使して、解明に向けた思索を論理的に表現することができる。	
				01 課題発見力	専門的知識を活用し、作品・文献の課題を的確に見出すことができる。
				02 課題解決力	専門的知識を応用し、課題を客観的に判断して解明の方途を考察することができる。
				03 専門的情報力	課題発見・解決に有益な情報を収集し、得られた知見を適切に活用することができる。
				04 専門的コミュニケーション力	先行研究の言説を広く把握し、批判的・継承的に応えながら、自らの学修・研究成果を適切に表現することができる。
			現代社会学科	現代社会の課題や問題を発見し、その解決策を構想するための調査・分析手法を身につけるとともに、多様な他者とのコミュニケーションや協働を適切に進めるための実践的な調査スキルや研究倫理を修得している。	
				01 社会調査とデータ分析のための実践力	社会学的な調査方法の基礎的な技術を修得し、調査計画を立案することができる。
				02 質的調査実践力	フィールドワークを実施するための計画の立案、調査対象との調整を行い、その成果を分析することができる。
				03 量的調査実践力	アンケート調査等を実施するための計画の立案、データの収集、統計的なデータ解析を行い、その成果を分析することができる。
				04 社会学領域の文献および史資料の分析力	先行研究の理論的背景や方法論を修得し、それらを自らの研究目的に沿って収集した文献や史資料を用いて応用することができ、適切な研究倫理のもとで自らの研究課題に取り組むことができる。
			ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	実践活動を行っていく上で必要とされるマネジメント力、社会調査技法、データ分析の技能や技術を身につけている。	
				01 プロジェクトマネジメント力	学内外の関係者と協働して作業や意見交換をし、調整や取りまとめができる。
				02 専門的文献読解力	テーマに応じた文献を検索し、読解することができる。
				03 社会調査技法	テーマに応じた適切な社会調査技法を用いて質的・量的調査を設計し、実施することができる。
				04 データ分析力	社会調査（質的・量的）によって収集したデータを適切に分析・考察し、得られた知見を地域に還元することができる。
			教育学科初等教育コース	初等教育に関する専門的技能を身につけている。	
				01 批判的考察力	教育事象について関連文書を収集・解読し、分析・考察することができる。
				02 教育的営みの構想力	教育目標を吟味し、実現するための内容・方法を構想・具体化することができる。
				03 効果的コミュニケーション力	教育的な取り組みにおいて、言語や非言語的手段を使って、効果的なコミュニケーションをすることができる。
				04 教育的合意形成力	教育に関する様々な意見に対して、合意を形成するよう働きかけ、チームで協働するなかで、自分の役割を果たすことができる。
				05 社会形成力	教育について得た知識理解や能力を生涯にわたり更新・再構成し続けることができる。

DP分類	DP			コンピテンス（DPを構成する要素）	
専門分野別DP	DP5	専門的な技能	教育学科幼児教育コース	保育・幼児教育に関する専門的技能を身につけている。	
				01 総合的実践力	保育・幼児教育に関する専門的知識を総合的に活用しながら、子どもの生活と成長を支える保育を組み立て、実践することができる。
				02 総合的表現力	保育・幼児教育の場において、適切な表現方法を選んで組み立て、効果的に表現することができる。
				03 子ども・保護者とのかかわり	保育・幼児教育に関する専門的知識を生かし、子どもと適切にかかわり、保護者を支援することができる。
				04 保育者としての協働性と遂行力	多様な考えを持つ同僚や仲間との協働、外部機関との連携を通して他者と対話し、共に保育に取り組むことができる。
				05 自己評価	経験をふりかえることで学びのプロセスを自覚し、向上心をもって、自らの課題に取り組むことができる。
				06 保育者としての使命感・倫理観	保育者としての倫理観に基づき、子どもの最善の利益の追求へむけて使命感をもって保育に取り組む姿勢・態度を示すことができる。
			国際文化学科	文化事象にかかわる専門的資料を読みこなし、その内容に基づいた分析や考察を的確に他者に伝えるコミュニケーション力を身につけている。	
				01 専門的日本語資料の読解力	文化事象にかかわる高度な内容の日本語資料を読み、理解することができる。
				02 専門的外国語資料の読解力	文化事象にかかわる高度な内容の外国語資料を読み、理解することができる。
				03 専門にかかわる情報収集力	文化事象にかかわる外国語・日本語の一次資料や二次資料を適切かつ効果的に収集することができる。
				04 文化事象についての分析・考察力	自ら設定した課題解決のために、収集した資料をふまえ、文化事象を適切に分析し、深く考察することができる。
				05 専門的コミュニケーション力	外国語や日本語で自分の考えを分かりやすく伝え、他者の意見を聞き、協働して議論を発展させることができる。
				06 論理的表現力	適切な分析方法を用いて考察した文化事象にかかわる課題について、論理的な文章を作成することができる。

3．教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学では、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下に示す 3 つの科目群（共通基礎、学科専門、現代総合）を基盤とした教育課程をもうける。教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目および自由科目に分け、これを各年次に配当し、講義、演習等を適切に組み合わせて実施する。また、授業科目と「卒業認定・学位授与の方針」に定めた能力の対応関係を示す「履修系統図」、授業科目の水準等を示す「ナンバリング」によって、「卒業認定・学位授与の方針」とカリキュラムの整合性や体系性を明示する。

そして、履修系統図に基づき設定された各授業科目の到達目標に対する厳格な授業評価と口述試問を含めた卒業研究の結果を総合的に評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか学修成果を判断する。

共通基礎科目

「卒業認定･学位授与の方針」における汎用的言語能力（DP1）、知識･教養（DP2）、思考･技能（DP3）の修得を目指し、教育目標を達成するための根幹をなす科目を各専門共通の基礎科目として開講する。

共通基礎科目では、主として 1 ～ 2 年次に、【総合科目】として、ブッダと親鸞の基本思想を通して人間について考える「人間学Ⅰ・Ⅱ」、【大学導入】として、高校までの学びから大学の学びへの転換と専門への接続をはかる「学びの発見」および ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」を学修し、【外国語】においては、グローバル化時代の共通言語である英語をはじめ、様々な言語を学びながら文化の多様性に触れることとする。

学科専門科目

「卒業認定・学位授与の方針」における専門的な知識（DP4）、専門的な技能（DP5）の修得を目指し、学科・コースごとに専門的な科目を学科専門科目として開講する。

学科専門科目では、主としてコース決定を行う 2 年次以降に（教育学科のみ入学試験段階でコース決定を行う）、専門の体験的理解を促す【講義】や、知的探究心を呼び起こす【実践研究】、自らの課題を専門分野の視点から問い直し発表と議論を通して研究を深める【演習】を学修し、これらの学びをふまえて 4 学年次に【卒業研究】を作成する。

現代総合科目

「卒業認定・学位授与の方針」における知識・教養（DP2）、思考・技能（DP3）の修得を目指し、幅広い現代教養（【キャリア形成系】・【自然生命系】・【歴史文化系】）を深める、あるいは専門分野を補完する科目を現代総合科目として開講する。

現代総合科目では、主として 1 ～ 4 年次にわたって、各自の興味や関心にあわせて 3 つの系ごとに自由に科目を選択し学修する。

≪文学部　真宗学科≫

真宗学科では、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

真宗学における知識、読解、思考、表現を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

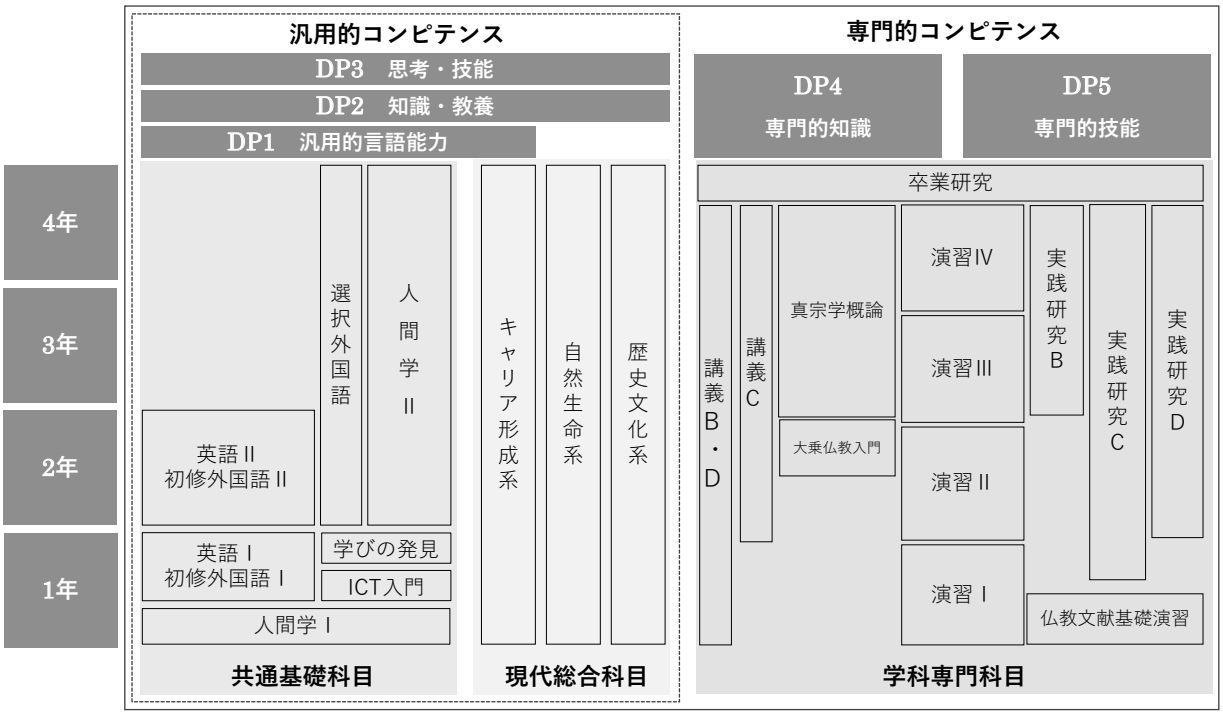
1 年次には、親鸞の生涯と基本思想を学ぶ「演習Ⅰ」を中心に、真宗・仏教文献の基礎的な読解法を学ぶ「仏教文献基礎演習」等を通じて、知的探究心をもって真宗･仏教の諸文献を読解する力を身につける。2 年次には、各コースに分かれ、その特性を活かした学びを行う。『歎異抄』の読解を通じて真宗研究の基本的方法を学ぶ「演習Ⅱ」を中心に、大乗仏教の基本思想を学ぶ「大乗仏教入門」、真宗学とその周縁に位置する思想を学ぶ【講義】、浄土教思想に関連する経典や著作を読解する【実践研究 C】を通じて、広やかな視点から真宗の理解を進める。3 年次には、真宗学の体系的理解によって専門的・主体的な学修の深化を促す「真宗学概論」、各コースの専門的知見を深める「演習Ⅲ」、主体的な学びの態度を養う【実践研究 B】等を通じて、真宗の理解を深める。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】､自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

専門領域と関係の深い【歴史文化系】に開講している人権問題関係の科目を履修することで、仏教・真宗の視座から人権問題を考察する力を培う。

<カリキュラム・マップ>



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪文学部　仏教学科≫

仏教学科では、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

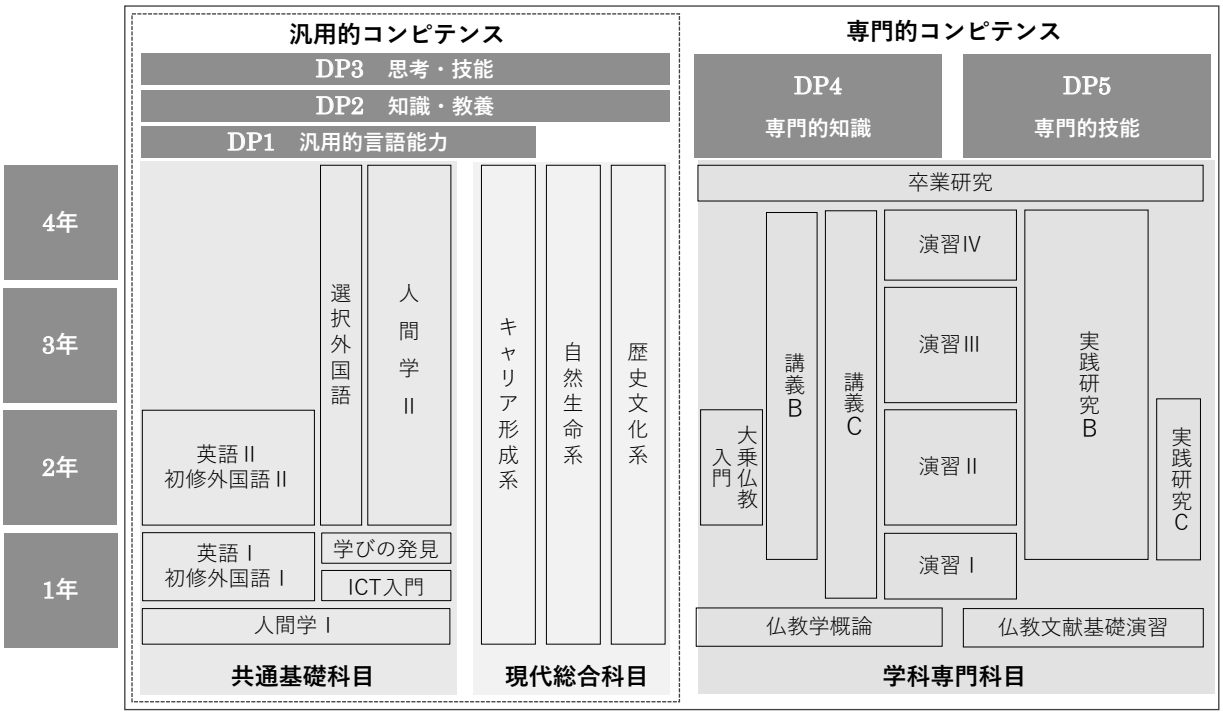
仏教の思想や文化などを段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、「仏教学概論」等を通じて、仏教を概観するとともに個別の課題を学問全体の中に位置づけ、専門に関する体系的理解を図る。また、「仏教文献基礎演習」によって原典を直接読解する力を養う。2 年次には、「大乗仏教入門」によって、大乗仏教の概略を把握するとともに、本格的に学科の学びに取り組む。2 年次より各コースに分かれ、【講義Ｂ】では思想と歴史を学び、【講義Ｃ】では仏教と周辺諸学との関係を学んでいく。そこで学んだ内容を【実践研究Ｂ】で実際に試みていく。また、【実践研究Ｃ】では、「サンスクリット語」等の語学や「臨床フィールドワーク」によって、生の素材に触れるための基礎力を養う。3 年次には、それまで学んできたことをさらに拡げるとともに、「卒業研究」のテーマを絞り込んでいく。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】、自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

＜カリキュラム・マップ＞



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪文学部　哲学科≫

哲学科では、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

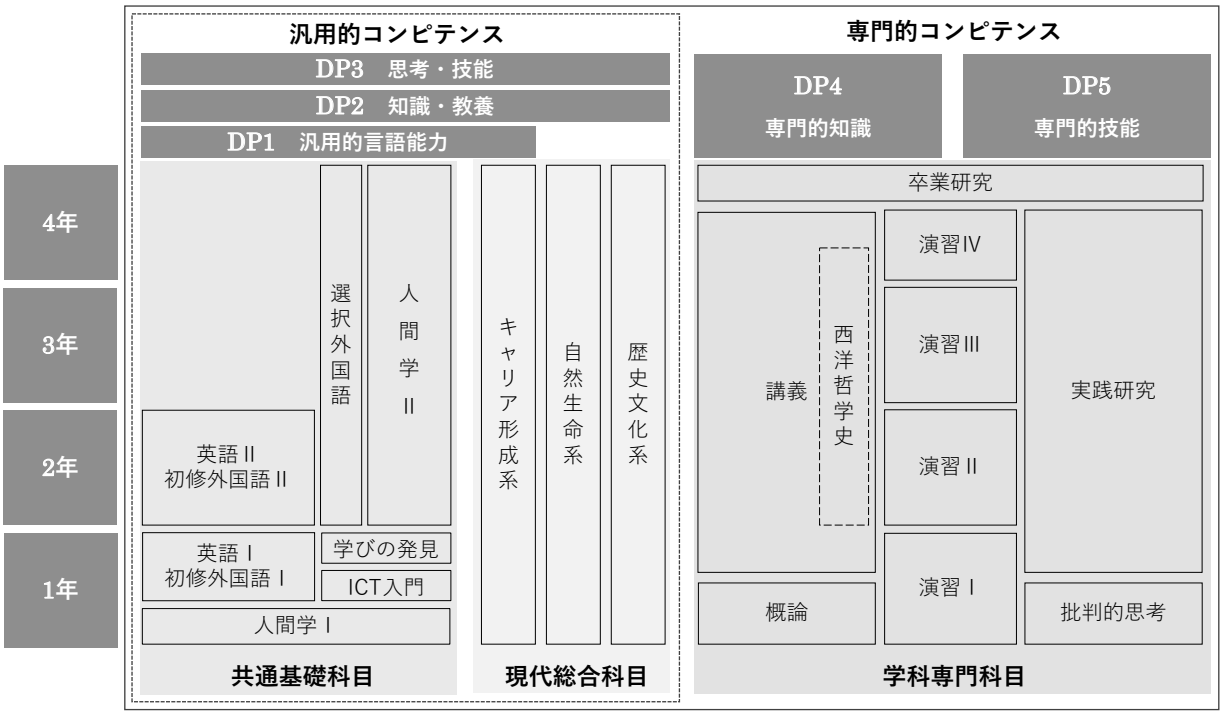
哲学における文献読解、思考、表現の方法を段階的に修得し、卒業研究に必要な能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。【演習】は、1 年次では数クラスに分けられた各クラスの前期と後期を別のコースに所属する教員が担当し、2 年次から各コースに分かれる。

【演習】以外では、1 年次は、哲学的な思考能力を養成する「批判的思考」、哲学の基礎知識を得る【講義 B】、各専門分野の概括的な理解を得る【概論】等を通じて哲学の基礎的教養を得る。2 年次には、文献読解に必要な語学力･読解方法等を身につける【実践研究 B】、哲学的問題の史的理解を目指す【講義 A】（「西洋哲学史」）等を通じて哲学に関する理解を促進する。3 年次には、専門的な知見と研究方法の修得を図る【講義】【実践研究】等をさらに履修し、卒業研究に必要な能力を総合的に高める。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】、自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

＜カリキュラム・マップ＞



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業としており、特に 1 年次においては、学生を数クラスに分け、それぞれ前期と後期を別のコースに所属する教員が担当し、２年次からのコース分けに向けて学生が準備できるようにしている。

また各授業科目において、その方法をあらかじめシラバスに明示したうえで、グループ学習やレジュメの作成、さまざまな機器を使用したプレゼンテーションといったアクティブラーニングの方法を取り入れる。同様に、教員と学生の双方向的な意見のやりとりを含む正確な文献講読、学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを適切に取り入れる。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置づける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に判断する。

≪文学部　歴史学科≫

歴史学科では、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

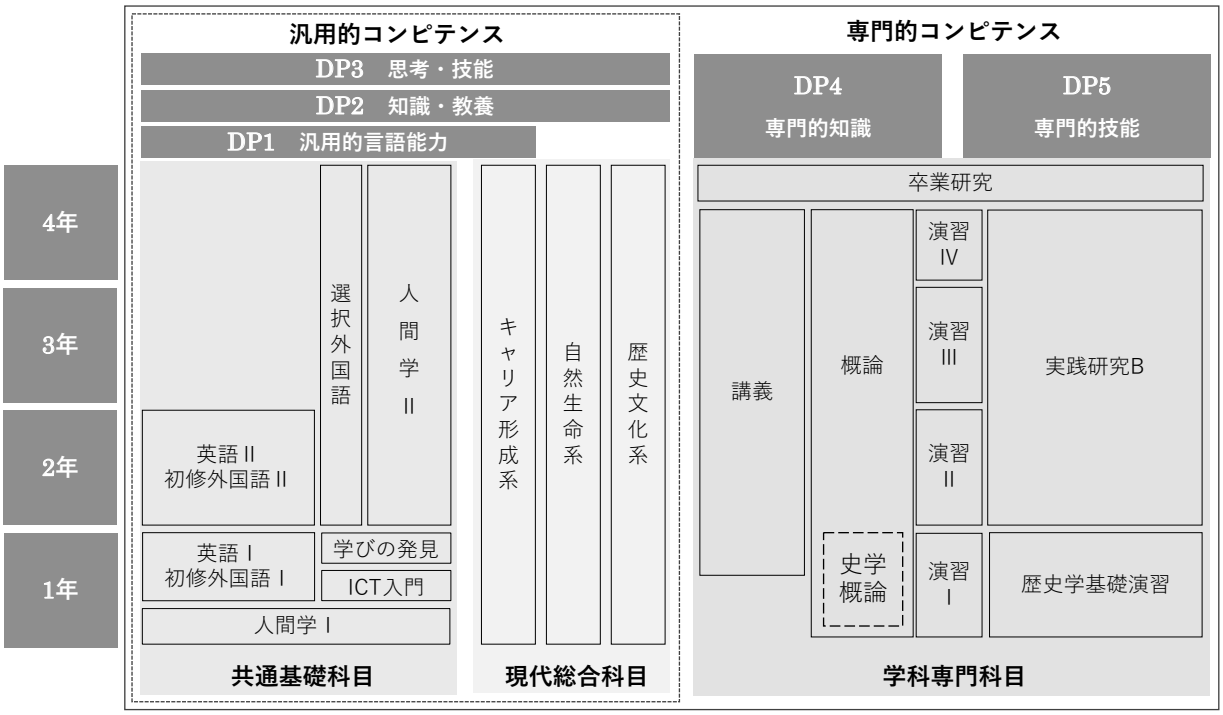
歴史学における読解、思考、表現の方法を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、歴史学研究の基礎的技法を修得する「歴史学基礎演習」や、歴史学の概括的な理解と専門知識を養う「史学概論」等を通じて、コース選択を主体的に行う能力の養成と専門に関する体系的理解を図る。2 年次には、各コースに分かれ、それぞれの領域に関わる専門知識を養う【講義】、また、史料読解や文化財調査、史跡踏査などの専門的技法を実践的に学ぶ【実践研究 B】等を通じて、各コースの専門領域に対応した知識や技能を養う。3 年次には、より多くの【講義】や【実践研究】を通じて、専門知識や技能をさらに修得するとともに、思考力や表現力の向上をも目指す。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】、自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

＜カリキュラム・マップ＞



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪文学部　文学科≫

文学科では、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

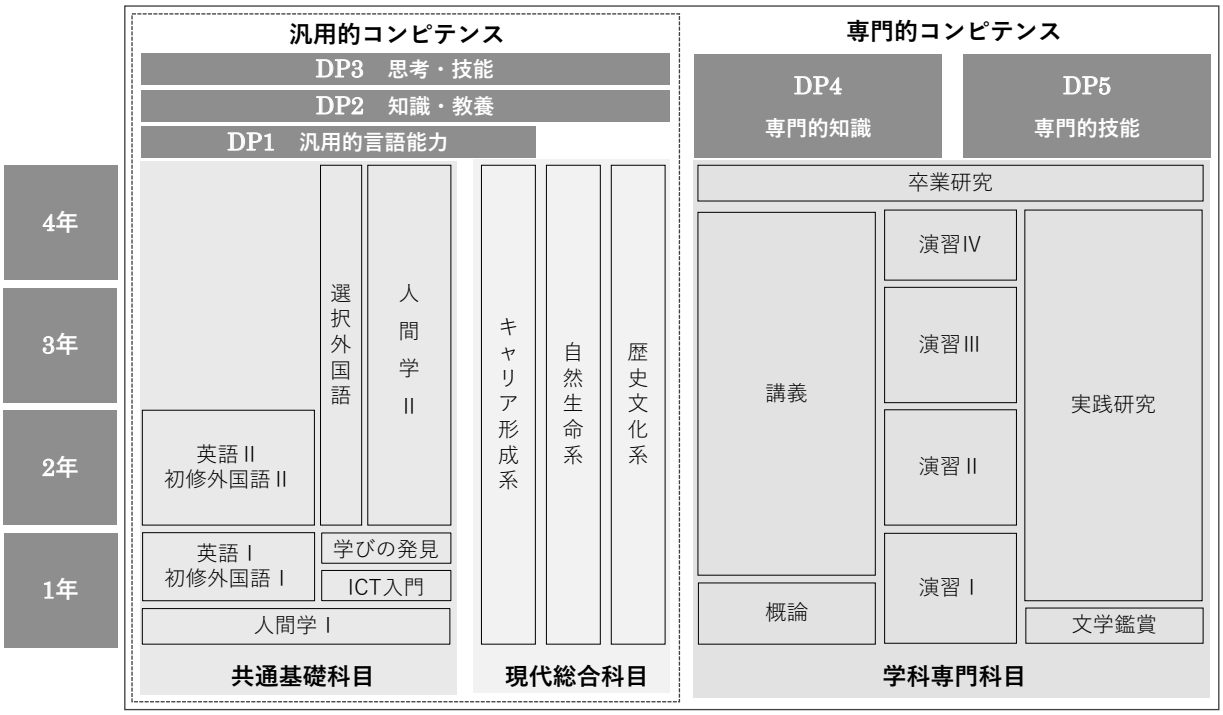
文学における読解、思考、表現の方法を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、基礎的な文献読解等を通じて多様な文学世界を知る「文学鑑賞」や言語・文学の体系を本質的に理解する【概論】等を通じて、文学を概観するとともに個別の課題を学問全体の中に位置づけ、専門に関する体系的理解を図る。2 年次には、各コースに分かれ、個別の作品を読解し知識を手に入れる【講義】・【実践研究】等を通じて、課題を見出す読解力を養う。3 年次には、専門的知識をもって作品読解をすすめる「特殊講義」「特殊演習」等を通じて、課題探求力を高める。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】、自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

<カリキュラム・マップ>



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握し、3 年次以降ゼミ（文学科演習Ⅲクラス）の分属を決定するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果をルーブリックを活用した学科審査会の議を経て評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪社会学部　現代社会学科≫

現代社会学科では、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

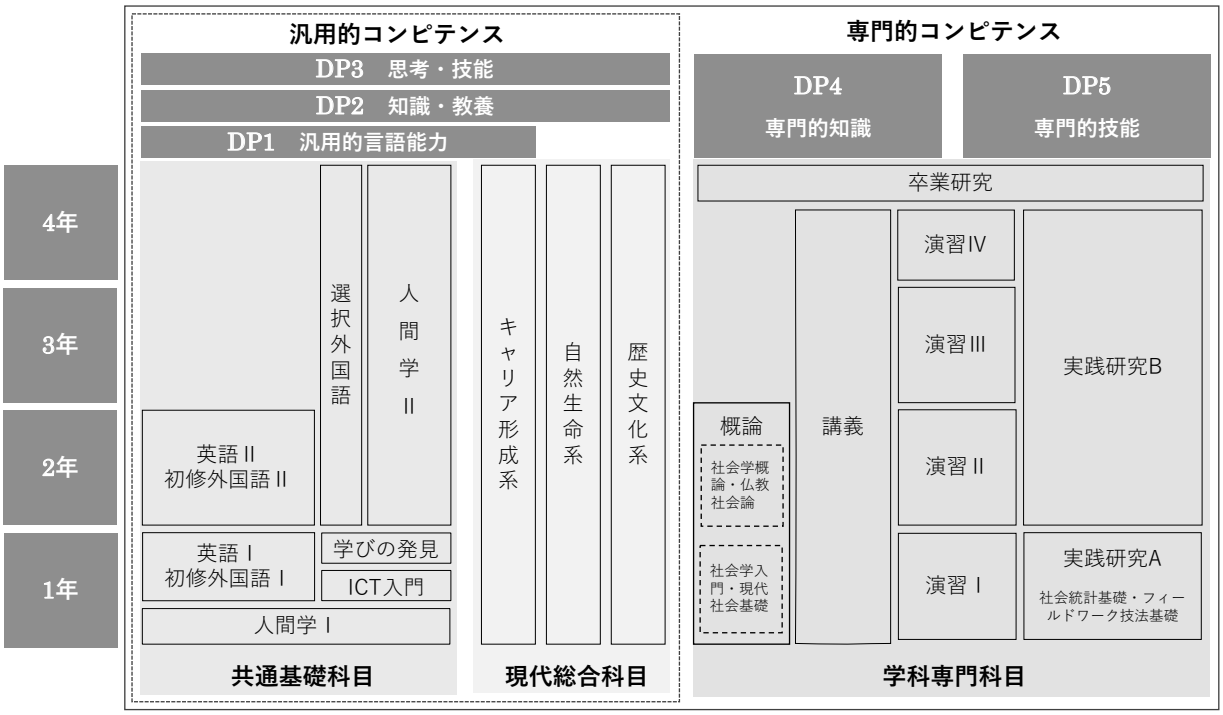
社会学における読解、思考、表現の方法を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、社会学の基本的な視点・考え方を学ぶ「社会学入門」や現代社会の基礎的知識・トピックを学ぶ「現代社会基礎」、社会調査の技法・倫理の基礎的知識・態度を身につけ、質的・量的データを適切に分析・評価するための能力を修得する「社会統計基礎」「フィールドワーク技法基礎」等を通じて、現代社会学を概観するとともに個別の課題を学問全体の中に位置づけ、専門に関する体系的理解を図る。2 年次には、社会学の主要な理論や概念、社会学者の多様な業績を通して社会学的思考の理解を深める「社会学概論」、現代社会の諸課題について仏教的視点から学ぶ「仏教社会論」を必修とする。また 2 年次以降は、現代社会の諸領域を探究するための 3 つの視点（公共社会・人間関係・現代文化）に分かれ、演習でのアクティブラーニングを軸に据えながら視点ごとの専門的知識を養う。選択科目群である【実践研究 B】では、学問的探究において必要となる実際的な知識と技法を、主体的実践を通じて修得する。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】、自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

＜カリキュラム・マップ＞



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪社会学部　コミュニティデザイン学科　地域政策学コース・情報メディアコース≫

コミュニティデザイン学科　地域政策学コース･情報メディアコースでは、「卒業認定･学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

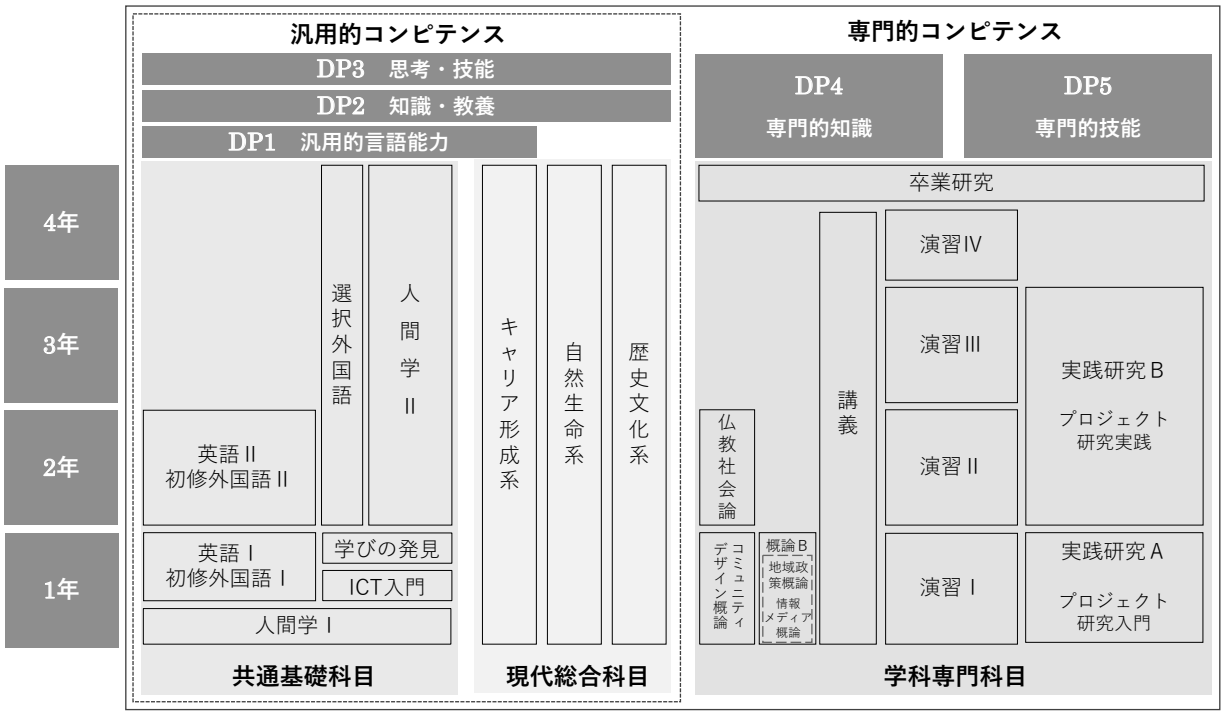
コミュニティデザインにおける読解、思考、表現の方法を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、地域コミュニティの今日的課題や、コミュニティデザインのために必要な基礎知識を理解する「コミュニティデザイン概論」、地域のくらしを理解する「生活問題論」、具体的な実践（フィールドワーク）を通して学ぶ「プロジェクト研究入門」、情報社会の基本を理解する「メディアと市民社会」「情報と倫理」、社会問題へのアクションの一形態として「ボランティア論」「市民活動論」などによって今日の地域社会の現状と課題を理解する。2 年次には、現代社会の諸課題について仏教的視点から学ぶ「仏教社会論」を必修とする。また、地域政策学コースと情報メディアコースに分かれ、フィールドに出向いて学びを進める「プロジェクト研究実践」を通じて具体的な内容をテーマにした研究及び実践的な手法を修得する。更に､地域社会の基本を理解する「社会問題論｣､現代社会の基本的構造を理解する「コミュニティ形成論」「地域と経済」などによってプロジェクトを遂行するために必要となる専門的な知識を養う。3 年次には、2 年次から継続して「プロジェクト研究実践」を学びの軸としつつ、「地方自治論」「コミュニティプランニング論」などを通じて地域社会の様相を概観するとともに個別の課題を学問全体の中に位置づけ、専門に関する体系的理解を図る。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】､自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

＜カリキュラム・マップ＞



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪社会学部　コミュニティデザイン学科　社会福祉学コース≫

コミュニティデザイン学科　社会福祉学コースでは、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

(1) 学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

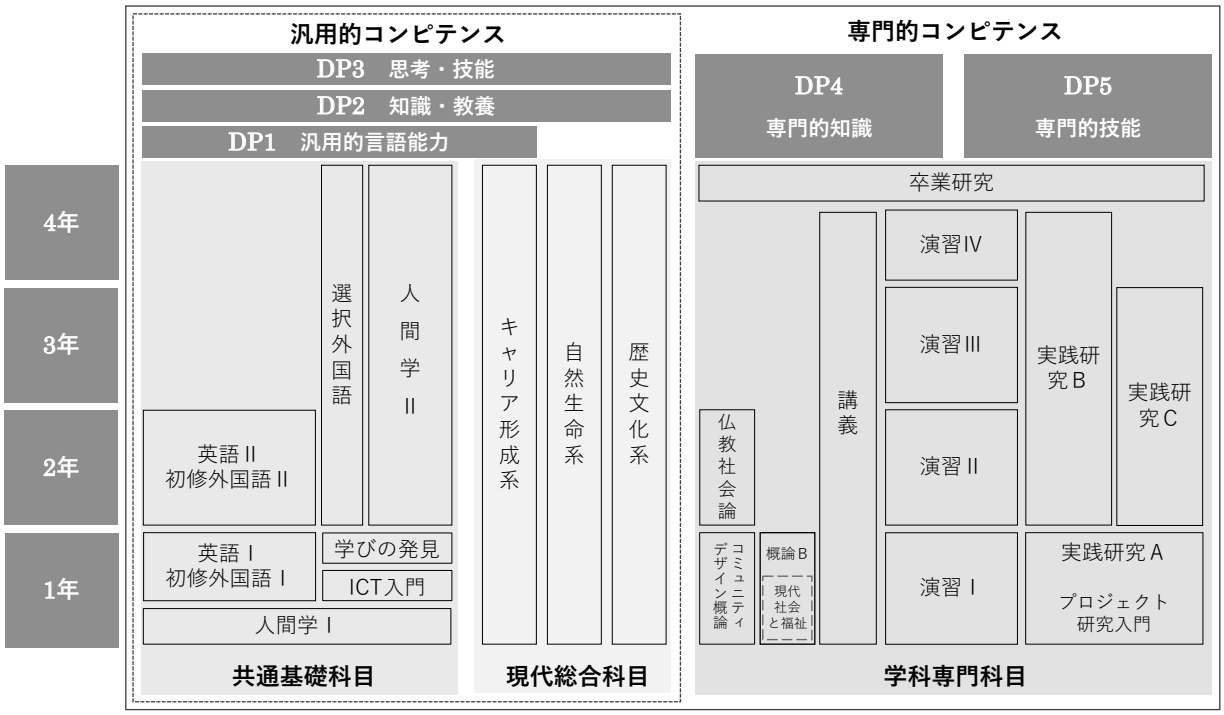
社会福祉学における理念、哲学、実践の方法を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、地域コミュニティの今日的課題やコミュニティデザインのために必要な基礎知識を理解する「コミュニティデザイン概論」、具体的な実践（フィールドワーク）を通して学ぶ「プロジェクト研究入門」、地域のくらしと福祉の基本を理解する「生活問題論」や「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童福祉」「現代社会と福祉」などで、それぞれの現状の課題と歴史を理解するとともに個別の課題を学修全体の中に位置づけ、専門に関する体系的理解を図る。2 年次には、現代社会の諸課題について仏教的視点から学ぶ「仏教社会論」を必修とする。また、社会福祉の制度政策等を理解する「社会保障論」「地域福祉論」、社会福祉士資格取得を射程に入れた実践研究「社会福祉援助技術演習 1・2」「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ」を通じて、社会福祉実践者としての専門的知識を身につける。3 年次には、社会福祉事業所での現場実習である「社会福祉援助技術現場実習」や「社会福祉援助技術演習 3・4」「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ」を通じて福祉専門職としての専門性と技能を高める。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】、自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

＜カリキュラム・マップ＞



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪教育学部　教育学科　初等教育コース≫

教育学科　初等教育コースでは、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

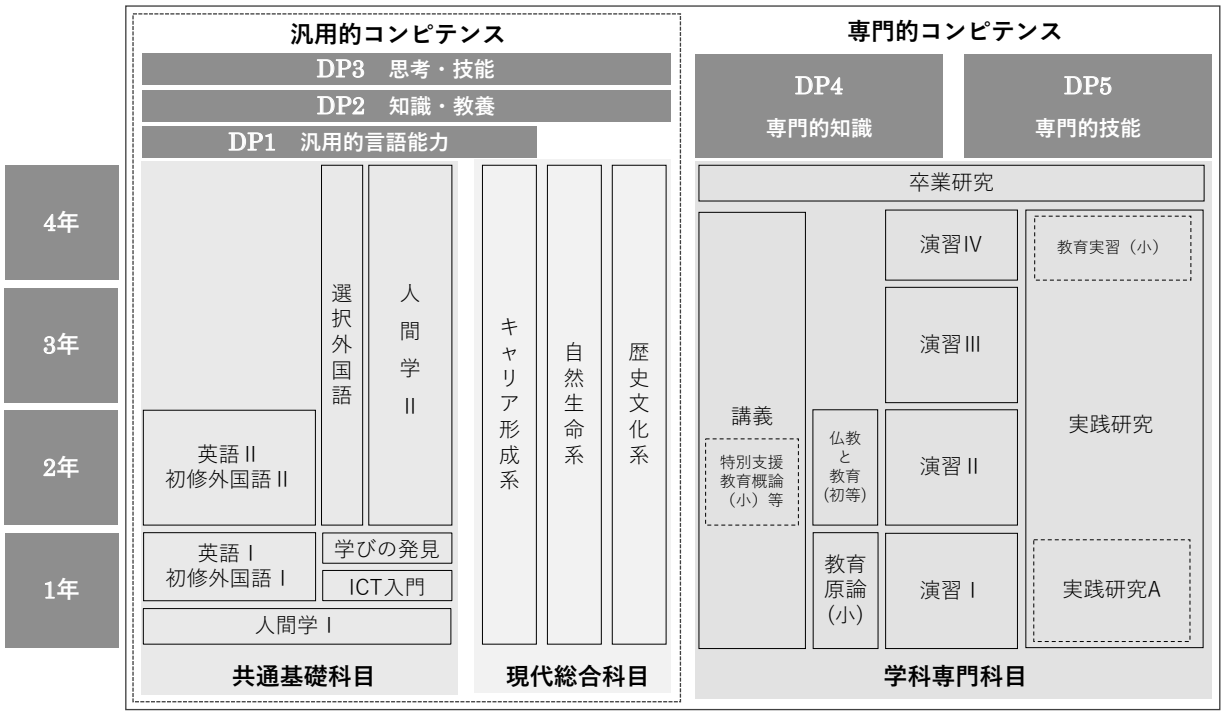
教育学における知識、思考、技能を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、教育の概念、教育実践の歴史、教育思想の歴史について考える「教育原論」や、学校等の現場での活動を体験し自身を振り返る【実践研究 A】等を通じて、教育学を概観するとともに個別の課題を教育学・教育実践全体の中に位置づけ、専門的知識・技能に関する体系的理解を図る。2・3 年次には主として、各コース共通の中核となる領域について学ぶ【講義 A】（「特別支援教育概論（小）」等）と、各コースの専門領域の中心及び最新の研究動向に関わる【講義 B】を通じて、専門的知識に対する理解をさらに深める。また、各教科等の専門領域に対応した技能の修得を目指した【実践研究 B】を通じて、教育実践力も磨いていく。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、「教育実習（小）」や【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】、自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

＜カリキュラム・マップ＞



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪教育学部　教育学科　幼児教育コース≫

教育学科　幼児教育コースでは、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】、2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

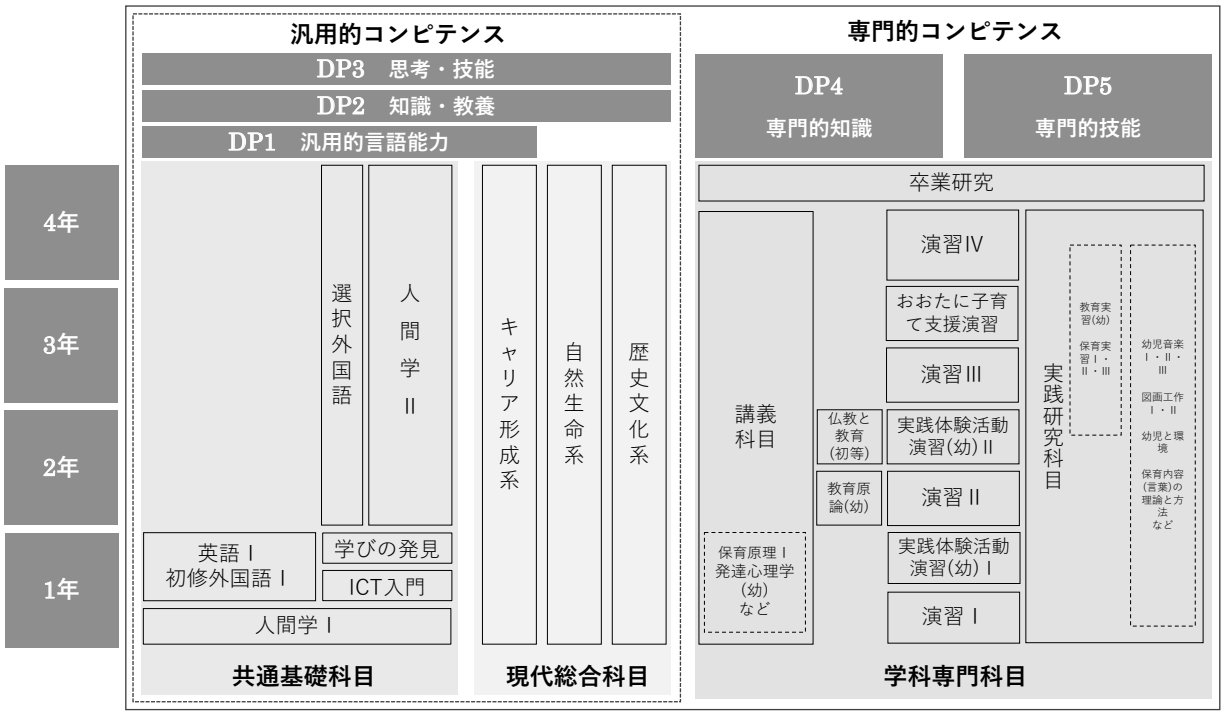
幼児教育･保育における知識、思考、技能を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、「実践体験活動演習（幼）Ⅰ」での幼児教育・保育現場における学びを核に位置づけ、幼児教育・保育等の制度的特色や役割を理解する「保育原理Ⅰ」や心身発達の諸相を中心に子どもを生涯発達の観点から理解する「発達心理学（幼）」等を通じた実践と理論の往還により、専門に関する体系的理解を図る。2 年次も同様に､幼児教育･保育現場を体験する「実践体験活動演習（幼）Ⅱ」を軸として､「幼児音楽」「図画工作」「幼児と環境」等を通じて、保育者としての専門的知識を身につけるとともに、保育に必要とされる基礎技能を養う。3 年次には、「保育実習」や「教育実習（幼）」を中心に据え、保育内容の指導法に関する「保育内容（言葉）の理論と方法」や子育て支援事業に取り組む「おおたに子育て支援演習」等を通じて、保育者としての資質や専門性を高める。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】､自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

<カリキュラム・マップ>



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握し、３年次以降のゼミ（幼児教育演習Ⅲ・Ⅳ）の分属を決定するために２年次末に実施する「研究計画書」の内容、ならびに学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪国際学部　国際文化学科≫

国際文化学科では、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた能力を身につけるために、以下のとおり教育課程を編成、学修方法を実践し、学修成果を評価する。

（1）学修内容・順次性に関する方針

① 共通基礎科目

1 年次に仏教思想を通じて人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う「人間学Ⅰ」と、大学入学までの学習から大学入学後の主体的な学修への転換とともに専門的な学修への接続を図る「学びの発見」、ICT や数理・データサイエンス・AI についての基礎能力を身につける「ICT 入門」、1・2 年次に言語を学びながら文化の多様性に触れる【必修外国語】を学修する。加えて【選択外国語】を必修とし、【必修外国語】、学科専門科目【実践研究】と合わせて外国語運用能力を伸ばしていく。2 年次以降にさまざまな学問分野が示す多様な人間観にふれるなかで自己を見つめ直し、現代の諸問題への関心を喚起する「人間学Ⅱ」を学修する。

② 学科専門科目

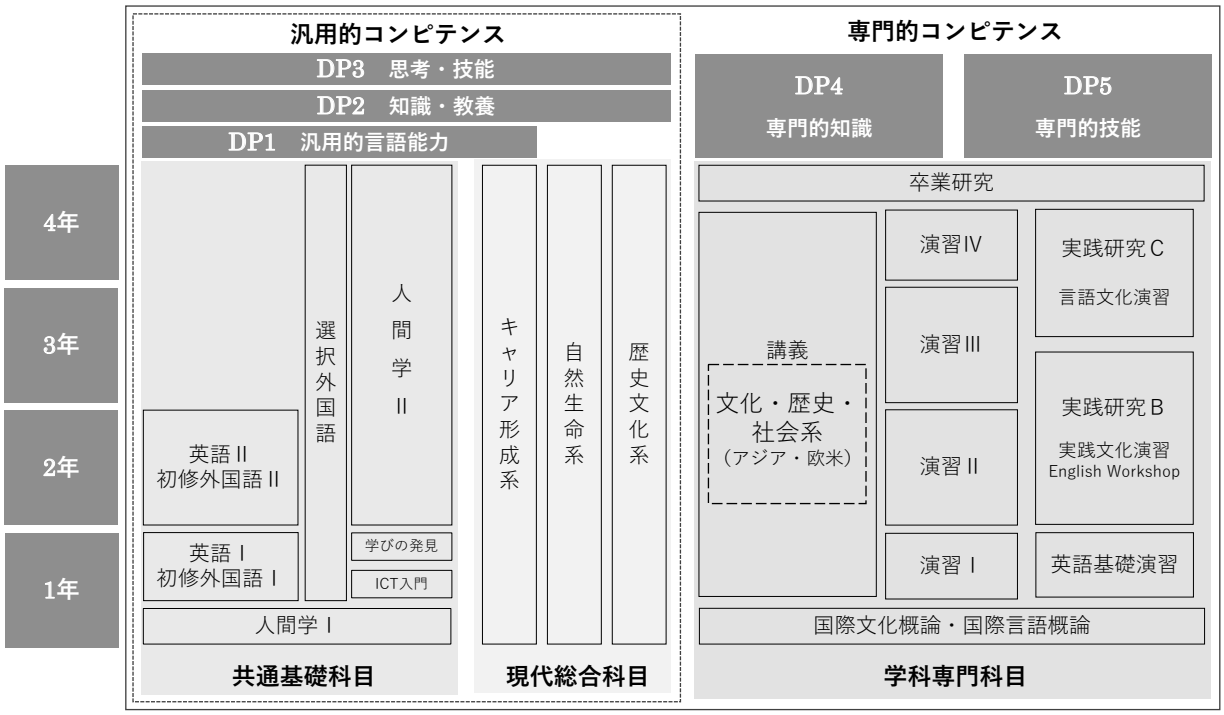
国際文化学における読解、思考、表現の方法を段階的に修得し、卒業研究に必要な探究能力を培う【演習】を 1 ～ 4 年次の 4 年間にわたって必修として学修する。

1 年次には、前期に世界の文化の多様性と文化研究の多様な観点を理解するための「国際文化概論」、後期に言語と文化の関わり、および世界で話される言語の広がりと多様性を理解して多言語状況への対応力を高めるための「国際言語概論」を必修とし、国際文化理解に必要な理論とケーススタディーを学び、国際文化学の概括的な理解を図る。また、「英語基礎演習」では、グローバル化社会にあって欠かすことのできない英語の運用能力を涵養する。2 年次には、各コースに分かれ、【講義】では、文化、歴史、社会などの観点から、各地域文化の理解を深める。基礎をふまえて外国語実践力を涵養する【実践研究】では、「実践文化演習」「English　Workshop」からなる【実践研究Ｂ】において、国内外でネイティブとの交流を活かして外国語の運用能力を集中的に高める。ただし、海外研修のうち、隔年実施となるものや、必ずしも語学力が必須でない文化研修については、学生が在学期間中に参加できる機会を確保するため、1 年次からの受講も可能としている。【実践研究Ｃ】は、英語については 2 年次から「World News」「Teaching English to Children」などで目的別の実践的英語力を養う。3 年次には、【講義】を履修することで、「演習」で進める専門領域に対応した研究を補うほか、【実践研究Ｃ】の「言語文化演習」を通して外国語文献の読解力も養成する。4 年次には、それまでの学びを通じて身につけた知識・技能を駆使し、【卒業研究】においてその成果を表現する。

③ 現代総合科目

1 ～ 4 年次にわたり共通基礎科目や学科専門科目と並行して、社会的に貢献するための幅広い知見を身につける【キャリア形成系】、自らを取り巻く自然環境を知り命やこころへの理解を深める【自然生命系】、世界の歴史と文化を多角的に理解する【歴史文化系】の 3 つの系からなる科目群を体系的に学修する。

<カリキュラム・マップ>



※授業科目と DP や DP を構成するコンピテンスの正確な対応関係や授業科目の水準等を示すナンバリングは、「履修系統図」に示す。

(2) 学修方法に関する方針

すべての授業は、各授業科目の到達目標に即して講義・演習等を適切に組み合わせて実施する。学科専門科目の根幹をなす【演習】は 20 名以下の少人数制授業とする。

また、学修者本位の教育の実現を目指し、各授業科目においてアクティブラーニングや学期中の試験やレポート等の課題に対するフィードバックを極力取り入れ、その方法をシラバスにあらかじめ明示する。

(3) 学修成果の評価に関する方針

各授業科目では、DP と各授業科目の対応関係を示す履修系統図に基づき設定された到達目標と密接に関連する成績評価方法や基準をあらかじめシラバスに明示し、それに従って厳格に学習成果を評価する。

そして、学位プログラム全体においては、各授業科目の成績評価に加え、専門的知識の理解度を中間的に把握するため 2 年次末に実施する「研究計画書」の内容、学位プログラムにおける学修の到達点と位置付ける卒業研究の結果を評価し、「卒業認定・学位授与の方針」に定める能力に到達しているか総合的に学修成果を判断する。

≪履修系統図≫
Ⅰ．全学共通開講科目（共通基礎科目・現代総合科目）

科目区分	授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4
					01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解
総合科目	人間学Ⅰa	2	1	3 AL-11 CPI 1 1	○								○	○	○									○
	人間学Ⅰb	2	1	3 AL-11 CPI 1 1	○								○	○	○									○
	人間学Ⅱ－1	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－2	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－3	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－4	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－5	2	2～4	3 AL-11 RES 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－6	2	2～4	3 AL-11 HIT 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－7	2	2～4	3 AL-25 SNE 2 1									○	○	○					○		○		○
	人間学Ⅱ－8	2	2～4	3 AL-14 TOS 2 1							○		○	○	○				○					○
	人間学Ⅱ－9	2	2～4	3 AL-24 SOC 2 1							○			○	○						○	○		○
	人間学Ⅱ－１０	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－１１	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－１２	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－１３	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－１４	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－１５	2	2～4	3 AL-14 TOS 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－１６	2	2～4	3 AL-25 SNE 2 1									○	○	○					○		○		○
	人間学Ⅱ－１７	2	2～4	3 AL-37 SES 2 1						○	○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－１８	2	2～4	3 AL-14 GES 2 1							○		○	○	○							○		○
	人間学Ⅱ－１９	2	2～4	3 AL-11 CPI 2 1							○		○	○	○									○
	人間学Ⅱ－２０	2	2～4	3 AL-24 SOW 2 1				○						○	○					○		○		○
大学導入	学びの発見	2	1	3 AL-12 JLE 1 2	○	○												○		○			○	
	ＩＣＴ入門	2	1	3 AL-61 STS 1 2					○			○				○		○					○	
外国語Ⅰ	英語Ⅰa「総合」	1	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	英語Ⅰb「総合」	1	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	英語Ⅰa「読解」	1	1	3 AL-12 FLE 1 3	○																			
	英語Ⅰb「読解」	1	1	3 AL-12 FLE 1 3	○																			
	ドイツ語Ⅰa	2	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	ドイツ語Ⅰb	2	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	フランス語Ⅰa	2	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	フランス語Ⅰb	2	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	中国語Ⅰa	2	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	中国語Ⅰb	2	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	韓国・朝鮮語Ⅰa	2	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
	韓国・朝鮮語Ⅰb	2	1	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○																
外国語Ⅱ	英語Ⅱa「listening,reading,writing」	1	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○													○				
	英語Ⅱb「listening,reading,writing」	1	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○													○				
	英語Ⅱa「speaking,writing」	1	2	3 AL-12 FLE 2 3		○		○												○				
	英語Ⅱb「speaking,writing」	1	2	3 AL-12 FLE 2 3		○		○												○				
	ドイツ語Ⅱa	2	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
	ドイツ語Ⅱb	2	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
	フランス語Ⅱa	2	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
	フランス語Ⅱb	2	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
	中国語Ⅱa	2	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
	中国語Ⅱb	2	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
	韓国・朝鮮語Ⅱa	2	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
	韓国・朝鮮語Ⅱb	2	2	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
選択外国語	英語読解（中級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○										○	○								
	英語読解（中級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○										○	○								
	英語読解（中級）3	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○										○	○								
	英語読解（中級）4	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○										○	○								
	英作文（中級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3		○										○				○				
	英作文（中級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3		○										○				○				
	英文法（中級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○										○				○				
	英文法（中級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○										○				○				
	英語のしくみと表現（中級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○	○			
	英語のしくみと表現（中級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○	○			
	英語会話（中級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				
	英語会話（中級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				
	英語会話（中級）3	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				
	英語会話（中級）4	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				
	英語会話（中級）5	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解
選択外国語		英語会話（中級）6	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				
		英語読解（上級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○										○	○								
		英語読解（上級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○										○	○								
		英語読解（上級）3	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○										○	○								
		英語読解（上級）4	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○										○	○								
		英語会話（上級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3			○	○						○						○				
		英語会話（上級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3			○	○						○						○				
		英語会話（上級）3	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3			○	○						○						○				
		英語会話（上級）4	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3			○	○						○						○				
		英作文（上級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3		○										○				○				
		英作文（上級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3		○										○				○				
		英文法（上級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○	○										○				○				
		英文法（上級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○	○										○				○				
		インテンシブ英会話（中級）1	4	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				
		インテンシブ英会話（中級）2	4	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				
		実践英語・文化研究	4	1～3	3 AL-12 FLE 2 2	○	○	○	○					○	○						○	○	○		
		ドイツ語読解（初級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○									○	○	○								
		ドイツ語読解（初級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○									○	○	○								
		ドイツ語会話（初級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3			○	○						○						○				
		ドイツ語会話（初級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3			○	○						○						○				
		ドイツ語のしくみと表現（初級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○									○									
		ドイツ語のしくみと表現（初級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○									○									
		ドイツ語読解（中級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○									○	○	○								
		ドイツ語読解（中級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○									○	○	○								
		フランス語読解（初級）	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○										○	○								
		フランス語会話（初級）	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3			○	○						○						○				
		フランス語読解（中級）	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○										○	○								
		フランス語会話（中級）	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3			○	○						○						○				
		フランス語のしくみと表現（初級）	2	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○							○									
		フランス語のしくみと表現（中級）	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○									○	○								
		中国語読解（初級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○																		
		中国語読解（初級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○																		
		中国語会話（初級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○		○	○							○					○				
		中国語会話（初級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○		○	○							○					○				
		中国語会話（初級）3	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○		○	○							○					○				
		中国語会話（初級）4	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○		○	○							○					○				
		中国語のしくみと表現（初級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○																	
		中国語のしくみと表現（初級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○																	
		中国語会話（中級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○							○					○				
		中国語会話（中級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○							○					○				
		中国語会話（上級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○	○	○	○							○					○				
		中国語会話（上級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○	○	○	○							○					○				
		実践中国語・文化研究 1	2	1～4	3 AL-12 FLE 1 2	○		○	○							○					○				
		実践中国語・文化研究 2	4	1～4	3 AL-12 FLE 1 2	○		○	○							○					○				
		韓国・朝鮮語会話（初級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○												○				
		韓国・朝鮮語会話（初級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○												○				
		韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級）1	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○												○				
		韓国・朝鮮語のしくみと表現（初級）2	1	1～4	3 AL-12 FLE 1 3	○	○	○	○												○				
		韓国・朝鮮語読解（中級）	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○			○			○										
		韓国・朝鮮語会話（中級）	1	1～4	3 AL-12 FLE 2 3	○	○	○	○												○				
		韓国・朝鮮語読解（上級）	1	1～4	3 AL-12 FLE 3 3	○	○	○	○			○			○										
		実践韓国･朝鮮語・文化研究	4	1～4	3 AL-12 FLE 1 2	○	○	○	○						○	○					○	○			
		現代チベット語 a	1	2～4	3 AL-11 CPI 2 3			○	○			○			○	○					○				
		現代チベット語 b	1	2～4	3 AL-11 CPI 2 3			○	○			○			○	○					○				
		ラテン語入門 1	1	1～4	3 AL-11 PHE 2 3							○		○	○	○									
		ラテン語入門 2	1	1～4	3 AL-11 PHE 2 3							○		○	○	○									
		ヒンディー語 a	1	1～4	3 AL-12 LIN 1 3	○	○	○	○			○				○									
		ヒンディー語 b	1	1～4	3 AL-12 LIN 1 3	○	○	○	○			○				○									
キャリア形成系	キャリアデザイン	キャリアデザイン概論 1	2	1～4	3 AL-25 SOE 1 1					○				○	○						○	○	○	○	
		キャリアデザイン概論 2	2	1～4	3 AL-25 SOE 1 1					○				○	○						○	○	○	○	
		キャリアデザイン実践 1	2	2～4	3 AL-25 SOE 2 1					○				○	○						○	○	○	○	
		キャリアデザイン実践 2	2	3～4	3 AL-25 SOE 3 1					○				○	○						○	○	○	○	
		産学連携教育プログラム特殊演習 1 大学コンソ京都	2	2～3	3 AL-25 SOE 3 2					○				○	○						○	○	○	○	
		産学連携教育プログラム特殊演習 2 大谷大学	2	1～4	3 AL-25 SOE 3 2					○				○	○						○	○	○	○	
		探究基礎演習	2	1～4	3 AL-25 SOE 3 2					○										○		○	○		

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ＩＣＴに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解
キャリア形成系	キャリアデザイン	フィールドワーク特殊演習（ＰＢＬ）	2	1～4	3 AL-25 SOE 3 2					○										○		○	○		
		思考法入門	2	1～4	3 AL-11 PHE 1 2	○	○			○								○	○						
		大学での学びを知る	2	1～4	3 AL-25 SOE 1 1					○											○	○	○		
		日本国憲法１	2	1～4	3 AL-21 PUL 1 1					○		○													
		日本国憲法２	2	1～4	3 AL-21 PUL 1 1					○		○													
		日本国憲法３	2	1～4	3 AL-21 PUL 1 1					○		○													
		青年と社会教育	2	2～4	3 AL-25 EDU 2 1					○		○				○									
		社会福祉と社会教育	2	2～4	3 AL-25 EDU 2 1					○		○				○									
		ポルトガル語圏のくらしと言葉１	2	1～4	3 AL-12 FLE 1 1			○	○	○		○									○				
		ポルトガル語圏のくらしと言葉２	2	1～4	3 AL-12 FLE 1 1			○	○	○		○									○				
	情報リテラシー	デジタル人文学概論	2	1～4	3 AL-12 LIH 1 1					○		○	○				○							○	
		情報メディアと社会	2	1～4	3 AL-12 LIH 1 1					○		○	○				○							○	
		人文学とコンピュータ	2	1～4	3 AL-12 LIH 1 1					○		○	○				○								
		デジタル時代の知的財産権	2	1～4	3 AL-21 NFL 1 1					○		○	○											○	
		ワード・プロセッシング入門	2	1～4	3 AL-61 LIH 1 2		○			○			○							○		○			
		ワード・プロセッシング応用	2	1～4	3 AL-61 LIH 2 2		○			○			○							○		○			
		ＰＣ利用による表計算入門	2	1～4	3 AL-61 LIH 1 2	○				○			○				○							○	
		ＰＣ利用による表計算応用	2	1～4	3 AL-61 LIH 2 2	○				○			○				○							○	
		ＰＣ利用によるプレゼンテーション	2	1～4	3 AL-61 LIH 1 2				○	○			○									○		○	
		ＰＣ利用によるレポート・論文技法	2	1～4	3 AL-61 LIH 2 2		○			○			○						○					○	
		データサイエンス入門	2	2～4	3 AL-61 STS 1 2					○			○				○		○					○	
		データサイエンス基礎	2	2～4	3 AL-61 STS 2 2					○			○				○		○					○	
		画像処理入門	2	1～4	3 AL-61 LIH 1 2					○			○		○					○				○	
		画像処理応用	2	1～4	3 AL-61 LIH 2 2					○			○		○					○				○	
		ＰＣミュージック入門	2	1～4	3 AL-61 LIH 1 2					○			○				○			○	○				
		ＰＣミュージック応用	2	1～4	3 AL-61 LIH 2 2					○			○				○			○	○				
		Webサイト構築入門	2	1～4	3 AL-61 LIH 1 2					○			○							○		○		○	
		Webサイト構築応用	2	1～4	3 AL-61 LIH 2 2					○			○							○		○		○	
		人文学データベース入門	2	1～4	3 AL-61 LIH 1 2					○			○				○							○	
	文章表現	日本語表現（入門）	2	1～2	3 AL-12 JLE 1 2	○	○			○							○	○	○						
		日本語表現（実践）	2	2～4	3 AL-12 JLE 2 2	○	○			○							○	○	○						
		発想から表現へ	2	1～4	3 AL-12 JLE 1 1		○		○	○			○								○	○			
自然生命系	自然と環境	自然と生物の科学	2	1～4	3 AL-73 EVB 1 1						○					○	○	○	○						
		地震と火山１	2	1～4	3 AL-37 SES 1 1						○					○	○	○	○						
		地震と火山２	2	1～4	3 AL-37 SES 1 1						○					○	○	○	○						
		地球科学１	2	1～4	3 AL-37 SES 1 1						○					○	○	○	○						
		地球科学２	2	1～4	3 AL-37 SES 1 1						○					○	○	○	○						
		惑星科学	2	1～4	3 AL-37 SPC 1 1						○					○	○	○	○						
		地球環境と生命の共進化	2	1～4	3 AL-37 BIO 1 1						○			○			○	○	○						
		生命のしくみと多様性	2	1～4	3 AL-73 GEN 1 1						○					○	○	○	○						
		化石の科学	2	1～4	3 AL-37 BIO 1 1						○			○			○	○	○						
		星の世界	2	1～4	3 AL-36 AST 1 1						○					○	○	○	○						
	心とからだ	こころの科学	2	1～4	3 AL-26 CLP 1 1							○		○	○						○				
		人間理解の心理学	2	1～4	3 AL-26 CLP 1 1							○		○	○						○				
		人間関係の心理学１	2	1～4	3 AL-26 SOP 1 1							○		○	○						○				
		人間関係の心理学２	2	1～4	3 AL-26 SOP 1 1							○		○	○						○				
		コミュニケーションの心理学	2	1～4	3 AL-26 SOP 1 1							○		○	○						○				
		健康心理学	2	1～4	3 AL-26 SOP 1 1							○		○											
		心理療法概論	2	2～4	3 AL-26 CLP 2 1							○		○	○										
		心理療法と教育	2	2～4	3 AL-26 CLP 2 1							○		○	○										
		行動の科学１	2	1～4	3 AL-26 EDP 1 1							○		○	○										
		行動の科学２	2	1～4	3 AL-26 EDP 1 1							○		○	○						○				
		脳とこころ	2	1～4	3 AL-26 CLP 1 1							○		○	○										
		カウンセリング	2	2～4	3 AL-26 CLP 2 1							○		○	○						○				
	スポーツと健康	スポーツと健康の科学１	2	1～4	3 AL-98 SPS 1 1						○			○	○										
		スポーツと健康の科学２	2	1～4	3 AL-98 SPS 1 1						○			○	○										
		人間関係と身体表現	2	1～4	3 AL-98 SPS 1 1						○			○	○										
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	1～4	3 AL-98 SPS 1 1						○			○	○										
		パラスポーツ論	2	1～4	3 AL-98 SPS 1 1						○			○	○										
		スポーツ研究演習Ⅰ	2	2～4	3 AL-98 SPS 2 2						○			○	○						○		○		
		スポーツ研究演習Ⅱ	2	2～4	3 AL-98 SPS 2 2						○			○	○						○		○		
		パラスポーツ研究演習Ⅰ	2	2～4	3 AL-98 SPS 2 2						○			○	○						○		○		
		パラスポーツ研究演習Ⅱ	2	2～4	3 AL-98 SPS 2 2						○			○	○						○		○		
		身体活動Ⅰ	1	1～4	3 AL-98 PEP 1 4									○	○						○		○		

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解
自然生命系	スポーツと健康	身体活動Ⅱ	1	1〜4	3 AL-98 PEP 1 4									○	○						○		○		
		身体活動Ⅰ（バラスポーツ）	1	1〜4	3 AL-98 PEP 1 4									○	○						○		○		
		身体活動Ⅱ（バラスポーツ）	1	1〜4	3 AL-98 PEP 1 4									○	○						○		○		
歴史文科系	世界の歴史	ドイツの歴史と文学	2	1〜4	3 AL-12 EUL 1 1	○						○			○			○	○						
		中国の歴史と文学	2	1〜4	3 AL-12 CHL 1 1	○						○			○			○	○						
		現代東南アジア事情	2	1〜4	3 AL-13 HAA 1 1			○				○			○		○	○							
		漢字の世界	2	1〜4	3 AL-13 HAA 1 1			○				○				○	○	○							
		近代日本とアジア	2	1〜4	3 AL-13 HAA 1 1			○				○				○	○	○							
		古都の歴史と文化	2	1〜4	3 AL-13 JAH 1 1			○				○				○	○	○							
		教育学１	2	1〜4	3 AL-25 EDU 1 1	○	○			○		○							○						
		教育学２	2	1〜4	3 AL-25 EDU 1 1	○	○			○		○							○						
	宗教と文化	ドイツの言語文化	2	1〜4	3 AL-12 EUL 1 1							○			○	○									
		ドイツの民衆文化	2	1〜4	3 AL-12 EUL 1 1							○			○	○									
		フランスの言語文化	2	1〜4	3 AL-12 EUL 1 1							○			○	○									
		フランスの民衆文化	2	1〜4	3 AL-12 EUL 1 1							○			○	○									
		中国の言語文化	2	1〜4	3 AL-12 CHL 1 1							○			○	○									
		中国の民衆文化	2	1〜4	3 AL-12 CHL 1 1							○			○	○									
		ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）	2	1〜4	3 AL-13 HEA 1 2			○	○			○			○	○					○				
		ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	2	1〜4	3 AL-13 HEA 1 2			○	○			○			○	○					○				
		ヒマラヤの祈り	2	1〜4	3 AL-11 RES 1 1							○			○	○									○
		チベットを見た日本人たち	2	1〜4	3 AL-11 RES 1 1							○			○	○									
		モンゴル草原の祈り	2	1〜4	3 AL-13 HAA 1 1							○			○	○									○
		朝鮮半島の美術	2	1〜4	3 AL-11 HIA 1 1							○			○	○									
		東南アジアの宗教文化	2	1〜4	3 AL-11 RES 1 1							○			○	○									
		インドの神々	2	1〜4	3 AL-11 RES 1 1							○			○	○									
		東アジアの宗教文化	2	1〜4	3 AL-11 RES 1 1							○			○	○									
		仏教と美術	2	1〜4	3 AL-13 JAH 1 1							○					○								○
		インドの宗教と文化	2	1〜4	3 AL-11 RES 1 2							○			○	○									○
		中国の宗教と文化	2	1〜4	3 AL-11 RES 1 2							○			○	○									○
		人と文化	2	2〜4	3 AL-14 CAF 2 1							○			○	○									
		人と宗教	2	1〜4	3 AL-14 CAF 1 1							○			○	○									
		芸術表現	2	1〜4	3 AL-11 AAS 1 2				○			○		○						○		○			
		ブッダに学ぶ	2	1〜4	3 AL-11 CPI 1 1							○		○											○
		親鸞に学ぶ	2	1〜4	3 AL-11 CPI 1 1							○		○											○
		仏教福祉論	2	1〜4	3 AL-11 RES 1 1							○			○								○		○
	人権問題	部落差別と大谷派教団１	2	1〜4	3 AL-11 CPI 1 1							○		○	○	○	○								○
		部落差別と大谷派教団２	2	1〜4	3 AL-11 CPI 1 1							○		○	○	○	○								○
		部落差別と浄土真宗１	2	1〜4	3 AL-11 CPI 1 1							○		○	○	○	○								○
		部落差別と浄土真宗２	2	1〜4	3 AL-11 CPI 1 1							○		○	○	○	○								○
		部落史論１	2	1〜4	3 AL-13 JAH 1 1							○		○	○	○	○								○
		部落史論２	2	1〜4	3 AL-13 JAH 1 1							○		○	○	○	○								○
		反カースト運動論	2	1〜4	3 AL-13 HAA 1 1							○		○	○	○	○								○
		アイヌ民族と共に	2	1〜4	3 AL-13 JAH 1 1							○		○	○	○	○								○
		アジア侵略と宗教	2	1〜4	3 AL-13 JAH 1 1							○		○	○	○	○								○
		非戦の系譜	2	1〜4	3 AL-13 JAH 1 1							○		○	○	○	○								○
		障害者・病者と共に生きる	2	1〜4	3 AL-13 JAH 1 1							○		○	○	○	○								○

Ⅱ．学科開講科目（学科専門科目）
（1）文学部　真宗学科

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4									DP5			
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 真宗の体系的理解	02 仏教思想	03 親鸞思想	04 親鸞思想の背景	05 親鸞思想の展開	06 真宗史	07 真宗典籍書誌	08 他宗教と真宗	01 専門的文献読解力	02 主体的問題提起力	03 主体的考察力	04 論理的表現力
演習		真宗学演習Ⅰa	2	1	4 SS-11 CPI 1 2									○	○	○			○	○	○	○	○		○			○								○	○
		真宗学演習Ⅰb	2	1	4 SS-11 CPI 1 2									○	○	○			○	○	○	○	○		○			○								○	○
		真宗学演習Ⅱa	2	2	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○						○	○	○	○
		真宗学演習Ⅱb	2	2	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○						○	○	○	○
		真宗学演習Ⅲa	2	3	4 SS-11 CPI 3 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○					○	○	○	○	○
		真宗学演習Ⅲb	2	3	4 SS-11 CPI 3 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○					○	○	○	○	○
		真宗学演習Ⅳa	2	4	4 SS-11 CPI 4 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○					○	○	○	○	○
		真宗学演習Ⅳb	2	4	4 SS-11 CPI 4 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○			○					○	○	○	○	○
概論		真宗学概論１	2	3～4	4 SS-11 HIT 3 1									○	○				○						○	○		○	○		○	○				○	○
		真宗学概論２	2	3～4	4 SS-11 HIT 3 1									○	○				○						○	○		○	○		○	○				○	○
		真宗学概論３	2	3～4	4 SS-11 HIT 3 1									○	○				○						○	○		○	○		○	○				○	○
		真宗学概論４	2	3～4	4 SS-11 HIT 3 1									○	○				○						○	○		○	○		○	○				○	○
講義	A	大乗仏教入門	2	2	4 SS-11 CPI 2 1			○								○	○		○						○		○		○					○		○	
	B	親鸞の生涯と思想	2	1～4	4 SS-11 HIT 1 1												○		○						○	○		○	○	○	○	○				○	
		親鸞思想の受容と展開	2	2～4	4 SS-11 HIT 2 1												○		○						○	○		○	○	○	○	○			○	○	
		法然の生涯と思想	2	1～4	4 SS-11 HIT 1 1												○		○						○	○		○	○		○	○		○		○	
		『教行信証』論	2	2～4	4 SS-11 HIT 2 1												○		○						○	○		○	○	○	○	○				○	○
		『歎異抄』論	2	1～4	4 SS-11 HIT 1 1													○	○						○	○		○	○	○	○	○			○	○	
		真宗と諸宗教	2	2～4	4 SS-11 HIT 2 1									○	○	○			○						○			○					○			○	○
		インド仏教思想論１	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1			○								○	○		○								○		○							○	○
		インド仏教思想論２	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1			○								○	○		○								○		○							○	○
		中国仏教思想論１	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1			○								○	○		○								○		○							○	○
		中国仏教思想論２	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1			○								○	○		○								○		○							○	○
		日本仏教思想論１	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1			○								○	○		○								○		○							○	○
		日本仏教思想論２	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1			○								○	○		○								○		○							○	○
		現代と真宗	2	2～4	4 SS-11 RES 2 1									○	○	○					○	○	○		○			○							○	○	○
		真宗学特殊講義１	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1														○						○		○	○	○				○		○	○
		真宗学特殊講義２	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1									○	○				○						○		○	○					○		○	○
		真宗学特殊講義３	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1									○	○				○						○		○	○					○		○	○
		真宗学特殊講義４	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1									○	○				○						○		○	○					○		○	○
	C	浄土教史概説	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1									○	○	○			○						○				○				○		○	○
		真宗教団史	2	2～4	4 SS-11 HIT 2 1												○	○							○					○	○				○	○
		近代教学史	2	2～4	4 SS-11 HIT 2 1									○	○	○			○						○			○		○	○		○		○	○
		真宗典籍研究	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 1												○	○							○			○				○		○		○	○
	D	宗教学概説	2	1～4	4 SS-11 RES 1 1									○	○	○			○						○								○			○	○
		宗教史概論１	2	1～4	4 SS-11 HIT 1 1									○	○	○			○						○								○			○	○
		宗教史概論２	2	1～4	4 SS-11 HIT 1 1									○	○	○			○						○								○			○	○
実践研究	A	仏教文献基礎演習a	2	1	4 SS-11 CPI 1 2	○													○						○									○		○	○
		仏教文献基礎演習b	2	1	4 SS-11 CPI 1 2																				○									○		○	○
	B	教行信証＜総序・教巻＞を読む	2	3～4	4 SS-11 CPI 3 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		教行信証＜行巻＞を読む	2	3～4	4 SS-11 CPI 3 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		教行信証＜信巻＞を読む	2	3～4	4 SS-11 CPI 3 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		教行信証＜証巻＞を読む	2	3～4	4 SS-11 CPI 3 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		教行信証＜真仏土巻＞を読む	2	3～4	4 SS-11 CPI 3 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		教行信証＜化身土巻＞を読む	2	3～4	4 SS-11 CPI 3 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
	C	浄土経典を読む１	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○				○					○		○	○
		浄土経典を読む２	2	1～4	4 SS-11 CPI 1 2									○	○	○			○						○				○					○		○	○
		浄土経典を読む３	2	1～4	4 SS-11 CPI 1 2									○	○	○			○						○				○					○		○	○
		維摩経を読む	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2	○											○												○					○		○	○
		法華経を読む	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2	○											○												○					○		○	○
		浄土論註を読む	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○				○					○		○	○
		観経疏を読む	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○				○					○		○	○
		選択集を読む	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○				○					○		○	○
		正信偈を読む	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		欧文仏典を読む１	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○			○		○				○		○	○
		欧文仏典を読む２	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○			○		○				○		○	○
		真宗学特殊演習１	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		真宗学特殊演習２	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		真宗学特殊演習３	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○					○				○		○	○
		真宗学特殊演習４	2	3～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		真宗学特殊演習５	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
		真宗学特殊演習６	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○			○						○		○	○
	D	フィールドワーク１（思想探究）	2	2～4	4 SS-11 CPI 2 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○			○				○	○	○
		フィールドワーク２（現代臨床）	2	2～4	4 SS-11 RES 2 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○							○	○	○
		フィールドワーク３（国際）	2	3～4	4 SS-11 RES 2 2									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○						○	○		○		○	○	○

（2）文学部　仏教学科

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4						DP5		
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 仏教思想	02 仏教の展開	03 現代社会における仏教	04 仏典の知識	05 仏教文献の言語知識	01 仏教文献の読解力	02 仏教思想を基盤とした思索能力	03 専門的表現力
演習		仏教学演習Ⅰa	2	1	4 BS-11 CPI 1 2	○	○	○						○			○		○						○								
		仏教学演習Ⅰb	2	1	4 BS-11 CPI 1 2	○	○	○						○			○		○						○								
		仏教学演習Ⅱa	2	2	4 BS-11 CPI 2 2	○	○	○	○								○		○						○	○		○					
		仏教学演習Ⅱb	2	2	4 BS-11 CPI 2 2	○	○	○	○								○		○						○	○		○					
		仏教学演習Ⅲa	2	3	4 BS-11 CPI 3 2												○		○			○			○	○		○				○	
		仏教学演習Ⅲb	2	3	4 BS-11 CPI 3 2												○		○			○			○	○		○				○	
		仏教学演習Ⅳa	2	4	4 BS-11 CPI 4 2												○	○	○	○		○			○								○
		仏教学演習Ⅳb	2	4	4 BS-11 CPI 4 2												○	○	○	○		○			○								○
概論		仏教学概論1	2	1～4	4 BS-11 CPI 1 1			○									○		○						○	○						○	
		仏教学概論2	2	1～4	4 BS-11 CPI 1 1			○									○		○						○	○						○	
		仏教学概論3	2	1～4	4 BS-11 CPI 1 1			○									○		○						○	○						○	
		仏教学概論4	2	1～4	4 BS-11 CPI 1 1			○									○		○						○	○						○	
講義	A	大乗仏教入門	2	2	4 BS-11 CPI 2 1			○								○	○		○						○	○	○					○	
	B	インド仏教思想論1	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○								○	○		○							○	○					○	
		インド仏教思想論2	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○								○	○		○							○	○					○	
		中国仏教思想論1	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○								○	○		○							○	○					○	
		中国仏教思想論2	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○								○	○		○							○	○					○	
		日本仏教思想論1	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○								○	○		○							○	○					○	
		日本仏教思想論2	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○								○	○		○							○	○					○	
		中国仏教史	2	2～4	4 BS-13 HAA 2 1	○	○	○							○	○			○	○							○					○	
		日本仏教史	2	2～4	4 BS-13 JAH 2 1	○	○	○							○	○			○	○							○					○	
		浄土教史概説	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1									○	○	○			○						○		○					○	
		宗教史1	2	3～4	4 BS-11 PHE 4 1																						○					○	
		宗教史2	2	3～4	4 BS-11 PHE 4 1																						○					○	
	C	インド学	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○							○	○	○										○	○				○	
		現代仏教論	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○							○	○	○											○				○	
		現代と真宗	2	2～4	4 BS-11 RES 2 1									○	○	○					○	○	○		○			○				○	
		死生学	2	1～4	4 BS-11 PHE 2 1																							○				○	
		生命倫理	2	1～4	4 BS-11 PHE 2 1																							○				○	
		人間関係学	2	1～4	4 BS-11 PHE 2 1																							○				○	
		地域仏教論	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 1			○									○										○					○	
		仏教学特殊講義1	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 1												○										○					○	
		仏教学特殊講義2	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 1												○										○					○	
		仏教学特殊講義3	2	3～4	4 BS-11 CPI 3 1												○											○				○	
		仏教学特殊講義4	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 1												○											○				○	
実践研究	A	仏教文献基礎演習a	2	1	4 BS-11 CPI 1 2	○													○						○				○	○	○		
		仏教文献基礎演習b	2	1	4 BS-11 CPI 1 2																				○				○	○	○		
	B	現代仏教演習	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 2			○						○	○	○												○				○	○
		地域仏教演習	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 2	○									○	○											○		○	○	○	○	○
		初期仏典を読む	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 2	○											○									○			○	○	○	○	○
		浄土経典を読む1	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○	○			○	○	○	○	○
		浄土経典を読む2	2	1～4	4 BS-11 CPI 1 2									○	○	○			○						○	○			○	○	○	○	○
		浄土経典を読む3	2	1～4	4 BS-11 CPI 1 2									○	○	○			○						○	○			○	○	○	○	○
		維摩経を読む	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 2	○											○									○			○	○	○	○	○
		法華経を読む	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 2	○											○									○			○	○	○	○	○
		欧文仏典を読む1	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○	○		○	○	○	○	○	○
		欧文仏典を読む2	2	2～4	4 BS-11 CPI 2 2									○	○	○			○						○	○		○	○	○	○	○	○
		仏教学特殊演習1	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 2												○									○	○		○	○	○	○	○
		仏教学特殊演習2	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 2												○									○	○		○	○	○	○	○
		仏教学特殊演習3	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 2												○									○	○		○	○	○	○	○
		仏教学特殊演習4	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 2												○									○	○		○	○	○	○	○
		仏教学特殊演習5	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 2												○									○	○		○	○	○	○	○
		仏教学特殊演習6	2	2～4	4 BS-11 CPI 3 2												○									○	○		○	○	○	○	○
	C	臨床フィールドワーク	2	3～4	4 BS-11 CPI 3 2									○	○	○					○							○				○	○
		パーリ語a	1	2～4	4 BS-11 CPI 2 3	○										○	○		○											○	○		
		パーリ語b	1	2～4	4 BS-11 CPI 2 3	○										○	○		○											○	○		
		サンスクリット語a	1	1～4	4 BS-11 CPI 1 3	○										○	○		○											○	○		
		サンスクリット語b	1	1～4	4 BS-11 CPI 1 3	○										○	○		○											○	○		
		古典チベット語a	1	2～4	4 BS-11 CPI 2 3	○										○	○		○											○	○		
		古典チベット語b	1	2～4	4 BS-11 CPI 2 3	○										○	○		○											○	○		

(3) 文学部　哲学科

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4						DP5				
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ＩＣＴに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 哲学の知識	02 哲学史の知識	03 東西の哲学的伝統	04 現代の哲学的諸問題	05 哲学研究の方法	01 問題発見力	02 重層的思考力	03 文献読解力	04 外国語文献読解力	05 論理的表現力
演習		哲学科演習Ｉ a	2	1	4 PH-11 PHE 1 2												○	○	○					○	○		○	○		○		○		○
		哲学科演習Ｉ b	2	1	4 PH-11 PHE 1 2												○	○	○					○	○		○	○		○		○		○
		哲学科演習Ⅱ a	2	2	4 PH-11 PHE 2 2																			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		哲学科演習Ⅱ b	2	2	4 PH-11 PHE 2 2																			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		哲学科演習Ⅲ a	2	3	4 PH-11 PHE 3 2																			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		哲学科演習Ⅲ b	2	3	4 PH-11 PHE 3 2																			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		哲学科演習Ⅳ a	2	4	4 PH-11 PHE 4 2																			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
		哲学科演習Ⅳ b	2	4	4 PH-11 PHE 4 2																			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
概論		哲学概論１	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																			○	○	○	○	○	○	○	○			○
		哲学概論２	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																			○	○	○	○	○	○	○	○			○
		倫理学概論１	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																			○	○	○	○	○	○	○	○			○
		倫理学概論２	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																			○	○	○	○	○	○	○	○			○
		宗教学概論１	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																			○	○	○	○	○	○	○	○			○
		宗教学概論２	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																			○	○	○	○	○	○	○	○			○
講義	A	西洋哲学史（古代）１	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○		○	○	○	○			○
		西洋哲学史（古代）２	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○		○	○	○	○			○
		西洋哲学史（中世）１	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○		○	○	○	○			○
		西洋哲学史（中世）２	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○		○	○	○	○			○
		西洋哲学史（近世）１	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○		○	○	○	○			○
		西洋哲学史（近世）２	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○		○	○	○	○			○
	B	日本哲学	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
		心理学入門	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																				○			○	○	○	○			○
		人間関係学	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																				○	○		○	○	○	○			○
		公共哲学	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																				○	○		○	○	○	○			○
		死生学	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																				○	○		○	○	○	○			○
		生命倫理	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																				○	○		○	○	○	○			○
		宗教史１	2	3～4	4 PH-11 PHE 4 1																							○	○	○	○			○
		宗教史２	2	3～4	4 PH-11 PHE 4 1																							○	○	○	○			○
		キリスト教学１	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																							○	○	○	○			○
		キリスト教学２	2	1～4	4 PH-11 PHE 2 1																							○	○	○	○			○
		哲学科特殊講義１	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
		哲学科特殊講義２	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
		哲学科特殊講義３	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
		哲学科特殊講義４	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
		哲学科特殊講義５	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
		哲学科特殊講義６	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
		哲学科特殊講義７	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
		哲学科特殊講義８	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 1																				○	○	○	○	○	○	○			○
	C	人文地理学１	2	2～4	4 PH-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																		
		人文地理学２	2	2～4	4 PH-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																		
		人文地理学３	2	2～4	4 PH-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																		
		人文地理学４	2	2～4	4 PH-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																		
		世界地誌学１	2	2～4	4 PH-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																		
		世界地誌学２	2	2～4	4 PH-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																		
		世界地誌学３	2	2～4	4 PH-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																		
		世界地誌学４	2	2～4	4 PH-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																		
		法学概論１	2	1～4	4 PH-21 LTH 2 1					○		○		○	○	○																		
		法学概論２	2	1～4	4 PH-21 LTH 2 1					○		○		○	○	○																		
		政治学概論１	2	1～4	4 PH-22 POL 2 1					○		○		○	○	○																		
		政治学概論２	2	1～4	4 PH-22 POL 2 1					○		○		○	○	○																		
		国際関係論１	2	3～4	4 PH-22 INR 4 1					○		○		○	○	○																		
		国際関係論２	2	3～4	4 PH-22 INR 4 1					○		○		○	○	○																		
		国際政治学１	2	3～4	4 PH-22 POL 4 1					○		○		○	○	○																		
		国際政治学２	2	3～4	4 PH-22 POL 4 1					○		○		○	○	○																		
実践研究	A	批判的思考	2	1	4 PH-11 PHE 1 2												○	○	○		○													○
	B	古典ギリシャ語入門１	1	1～4	4 PH-11 PHE 2 3																				○	○					○	○	○
		古典ギリシャ語入門２	1	1～4	4 PH-11 PHE 2 3																				○	○					○	○	○
		ギリシャ哲学文献を読む１	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○				○	○	○	○
		ギリシャ哲学文献を読む２	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○				○	○	○	○
		英米哲学文献を読む１	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○					○	○	○
		英米哲学文献を読む２	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○					○	○	○
		ドイツ哲学文献を読む１	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○					○	○	○
		ドイツ哲学文献を読む２	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○					○	○	○
		フランス哲学文献を読む１	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○					○	○	○
		フランス哲学文献を読む２	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○					○	○	○
		哲学科特殊演習１	2	1～2	4 PH-11 PHE 1 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習２	2	1～2	4 PH-11 PHE 1 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習３	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習４	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習５	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習６	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習７	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習８	2	2～4	4 PH-11 PHE 3 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習９	2	3～4	4 PH-11 PHE 4 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習１０	2	3～4	4 PH-11 PHE 4 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習１１	2	3～4	4 PH-11 PHE 4 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習１２	2	3～4	4 PH-11 PHE 4 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習１３	2	3～4	4 PH-11 PHE 4 2																				○	○		○	○	○	○	○	○
		哲学科特殊演習１４	2	3～4	4 PH-11 PHE 4 2																				○	○		○	○	○	○	○	○

（4）文学部　歴史学科

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4				DP5			
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 歴史学一般	02 専門的文献理解	03 専門的情報収集	01 専門的思考力	02 課題解決力	03 専門的リテラシー	04 専門的コミュニケーション力
演習		歴史学演習Ⅰa	2	1	4 HI-13 HSG 1 2	○	○	○	○												○	○	○	○	○	○						
		歴史学演習Ⅰb	2	1	4 HI-13 HSG 1 2	○	○	○	○												○	○	○	○	○	○						
		歴史学演習Ⅱa（日本史・歴ミ・京都探究）	2	2	4 HI-13 JAH 2 2									○	○		○	○	○	○				○	○	○			○			
		歴史学演習Ⅱa（世界史）	2	2	4 HI-13 HEA 2 2									○	○		○	○	○	○				○	○	○			○			
		歴史学演習Ⅱa（世界史）	2	2	4 HI-13 HAA 2 2									○	○		○	○	○	○				○	○	○			○			
		歴史学演習Ⅱb（日本史・歴ミ・京都探究）	2	2	4 HI-13 JAH 2 2									○	○		○	○	○	○				○	○	○			○			
		歴史学演習Ⅱb（世界史）	2	2	4 HI-13 HEA 2 2									○	○		○	○	○	○				○	○	○			○			
		歴史学演習Ⅱb（世界史）	2	2	4 HI-13 HAA 2 2									○	○		○	○	○	○				○	○	○			○			
		歴史学演習Ⅲa（日本史・歴ミ・京都探究）	2	3	4 HI-13 JAH 3 2												○	○	○	○					○		○	○	○	○	○	
		歴史学演習Ⅲa（世界史）	2	3	4 HI-13 HEA 3 2												○	○	○	○					○		○	○	○	○	○	
		歴史学演習Ⅲa（世界史）	2	3	4 HI-13 HAA 3 2												○	○	○	○					○		○	○	○	○	○	
		歴史学演習Ⅲb（日本史・歴ミ・京都探究）	2	3	4 HI-13 JAH 3 2												○	○	○	○					○		○	○	○	○	○	
		歴史学演習Ⅲb（世界史）	2	3	4 HI-13 HEA 3 2												○	○	○	○					○		○	○	○	○	○	
		歴史学演習Ⅲb（世界史）	2	3	4 HI-13 HAA 3 2												○	○	○	○					○		○	○	○	○	○	
		歴史学演習Ⅳa（日本史・歴ミ・京都探究）	2	4	4 HI-13 JAH 4 2												○	○	○						○		○	○	○	○	○	○
		歴史学演習Ⅳa（世界史）	2	4	4 HI-13 HEA 4 2												○	○	○						○		○	○	○	○	○	○
		歴史学演習Ⅳa（世界史）	2	4	4 HI-13 HAA 4 2												○	○	○						○		○	○	○	○	○	○
		歴史学演習Ⅳb（日本史・歴ミ・京都探究）	2	4	4 HI-13 JAH 4 2												○	○	○						○		○	○	○	○	○	○
		歴史学演習Ⅳb（世界史）	2	4	4 HI-13 HEA 4 2												○	○	○						○		○	○	○	○	○	○
		歴史学演習Ⅳb（世界史）	2	4	4 HI-13 HAA 4 2												○	○	○						○		○	○	○	○	○	○
概論		史学概論 1	2	1	4 HI-13 HSG 1 1	○	○	○								○	○	○	○	○					○	○						
		史学概論 2	2	1	4 HI-13 HSG 1 1	○	○	○								○	○	○	○	○					○	○						
		日本史学概論 1	2	1～4	4 HI-13 JAH 1 1	○	○	○								○	○	○	○	○					○	○						
		日本史学概論 2	2	1～4	4 HI-13 JAH 1 1	○	○	○								○	○	○	○	○					○	○						
		東洋史学概論 1	2	1～4	4 HI-13 HAA 1 1	○	○	○								○	○	○	○	○					○	○						
		東洋史学概論 2	2	1～4	4 HI-13 HAA 1 1	○	○	○								○	○	○	○	○					○	○						
		西洋史学概論 1	2	1～4	4 HI-13 HEA 1 1	○	○	○								○	○	○	○	○					○	○						
		西洋史学概論 2	2	1～4	4 HI-13 HEA 1 1	○	○	○								○	○	○	○	○					○	○						
講義	A	日本古代史講義 1	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		日本古代史講義 2	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		日本中世史講義 1	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		日本中世史講義 2	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		日本近世史講義 1	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		日本近世史講義 2	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		日本近現代史講義 1	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		日本近現代史講義 2	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		中国古代史講義 1	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		中国古代史講義 2	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		中国中世史講義 1	2	3～4	4 HI-13 HAA 3 1												○	○	○	○						○			○		○	
		中国中世史講義 2	2	3～4	4 HI-13 HAA 3 1												○	○	○	○						○			○		○	
		中国近世・近代史講義 1	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		中国近世・近代史講義 2	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		西洋史講義 1	2	2～4	4 HI-13 HEA 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		西洋史講義 2	2	2～4	4 HI-13 HEA 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		歴史学特殊講義 1	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1			○								○	○	○	○	○							○		○		○	○
		歴史学特殊講義 2	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1			○								○	○	○	○	○							○		○		○	○
		歴史学特殊講義 3	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1			○								○	○	○	○	○							○		○		○	○
		歴史学特殊講義 4	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1			○								○	○	○	○	○							○		○		○	○
		歴史学特殊講義 5	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 1			○								○	○	○	○	○							○		○		○	○
		歴史学特殊講義 6	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 1			○								○	○	○	○	○							○		○		○	○
	B	京都探究講義 1	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○							○	○			○	○						○			○		○	
		京都探究講義 2	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○							○	○			○	○						○			○		○	
		日本民俗学	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○							○	○			○	○						○			○		○	
		中国仏教史	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 1	○	○	○							○	○			○	○						○			○		○	
		日本仏教史	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○							○	○			○	○						○			○		○	
		真宗史	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○							○	○			○	○						○			○		○	
		文化交流史	2	2～4	4 HI-13 HSG 2 1	○	○	○							○	○			○	○						○			○		○	
		京都の歴史と文化	2	1～4	4 HI-13 JAH 1 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		歴史地理学 1	2	2～4	4 HI-13 HSG 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		歴史地理学 2	2	2～4	4 HI-13 HSG 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		考古学 1	2	2～4	4 HI-13 ARC 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		考古学 2	2	2～4	4 HI-13 ARC 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		美術史 1	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		美術史 2	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○			○		○	
		古文書学概論 1	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○								○	○	○	○		○	
		古文書学概論 2	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 1	○	○	○									○	○								○	○	○	○		○	
		建築史 1	2	1～4	4 HI-13 JAH 1 1	○	○	○									○	○	○	○						○	○		○			
		建築史 2	2	1～4	4 HI-13 JAH 1 1	○	○	○									○	○	○	○						○	○		○			
		博物館概論	2	1～4	4 HI-13 MUS 1 1		○	○									○	○		○				○			○	○			○	○
		博物館資料論	2	1～4	4 HI-13 MUS 1 1		○	○									○	○		○				○			○	○			○	○
		文化財概論	2	1～4	4 HI-13 MUS 1 1		○	○									○	○		○				○			○	○			○	○
		文化財保存科学論	2	1～4	4 HI-13 CAS 1 1		○	○									○	○		○				○			○	○			○	○
		博物館教育論	2	2	4 HI-13 MUS 2 1		○	○									○	○		○				○			○	○			○	○

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4				DP5			
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 歴史学一般	02 専門的文献理解	03 専門的情報収集	01 専門的思考力	02 課題解決力	03 専門的リテラシー	04 専門的コミュニケーション力
講義	C	人文地理学１	2	2～4	4 HI-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																
		人文地理学２	2	2～4	4 HI-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																
		人文地理学３	2	2～4	4 HI-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																
		人文地理学４	2	2～4	4 HI-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																
		世界地誌学１	2	2～4	4 HI-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																
		世界地誌学２	2	2～4	4 HI-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																
		世界地誌学３	2	2～4	4 HI-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																
		世界地誌学４	2	2～4	4 HI-14 HUG 3 1					○		○		○	○	○																
		自然地理学１	2	1～4	4 HI-14 GEO 1 1					○	○																					
		自然地理学２	2	1～4	4 HI-14 GEO 1 1					○	○																					
		経済学概論１	2	1～4	4 HI-23 ECT 1 1					○		○																				
		経済学概論２	2	1～4	4 HI-23 ECT 1 1					○		○																				
		国際経済学１	2	3～4	4 HI-23 ECP 3 1					○		○																				
		国際経済学２	2	3～4	4 HI-23 ECP 3 1					○		○																				
		社会学総論１	2	1～4	4 HI-24 SOC 1 1					○		○																				
		社会学総論２	2	1～4	4 HI-24 SOC 1 1					○		○																				
実践研究	A	歴史学基礎演習 a	2	1	4 HI-13 HSG 1 2	○	○	○	○								○		○			○		○		○		○				
		歴史学基礎演習 b	2	1	4 HI-13 HSG 1 2	○	○	○	○								○		○			○		○		○		○				
	B	日本古代史料を読む１	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		日本古代史料を読む２	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		日本中世史料を読む１	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		日本中世史料を読む２	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		日本近世史料を読む１	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		日本近世史料を読む２	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		日本近現代史料を読む１	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		日本近現代史料を読む２	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		中国古代・中世史料を読む１	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		中国古代・中世史料を読む２	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		中国近世・近代史料を読む１	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		中国近世・近代史料を読む２	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		交流史料を読む１	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		交流史料を読む２	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		交流史料を読む３	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		交流史料を読む４	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		西洋史文献を読む１	2	2～4	4 HI-13 HEA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		西洋史文献を読む２	2	2～4	4 HI-13 HEA 2 2	○		○									○	○	○							○	○	○	○		○	
		京都探究調査演習１	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○								○	○	○	○							○		○	○		○	
		京都探究調査演習２	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○		○								○	○	○	○							○		○	○		○	
		歴史学特殊演習１	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○										○	○	○	○								○	○	○		○	○
		歴史学特殊演習２	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○										○	○	○	○								○	○	○		○	○
		歴史学特殊演習３	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○										○	○	○	○								○	○	○		○	○
		歴史学特殊演習４	2	2～4	4 HI-13 HAA 2 2	○										○	○	○	○								○	○	○		○	○
		古文書演習１	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○	○	○									○	○	○								○	○	○		○	
		古文書演習２	2	2～4	4 HI-13 JAH 2 2	○	○	○									○	○	○								○	○	○		○	
		文化財調査演習１	2	2～4	4 HI-13 CAS 2 2			○									○		○	○	○		○						○	○	○	○
		文化財調査演習２	2	2～4	4 HI-13 CAS 2 2			○									○		○	○	○		○						○	○	○	○
		文化財調査演習３	2	2～4	4 HI-13 CAS 2 2			○									○		○	○	○		○						○	○	○	○
		文化財調査演習４	2	2～4	4 HI-13 CAS 2 2			○									○		○	○	○		○						○	○	○	○
		古文書解読法	4	1～4	4 HI-13 MUS 1 2	○	○	○									○		○					○		○	○		○		○	
		漢文訓読法１	2	1～2	4 HI-13 HSG 1 2	○	○	○									○		○					○		○	○		○		○	
		漢文訓読法２	2	1～2	4 HI-13 HSG 1 2	○	○	○									○		○					○		○	○		○		○	
		博物館展示論	2	3	4 HI-13 MUS 3 2										○			○		○	○	○	○	○				○		○		○
		展示実習	2	4	4 HI-13 MUS 4 5										○			○		○	○	○	○	○				○		○		○

(5) 文学部　文学科

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4				DP5			
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 専門的知識・教養	02 専門的文献理解	03 専門的情報収集	01 課題発見力	02 課題解決力	03 専門的情報力	04 専門的コミュニケーション力
演習		文学科演習Ⅰa	2	1	4 LI-12 JLT 1 2	○	○							○	○				○		○	○			○	○			○			
		文学科演習Ⅰb	2	1	4 LI-12 JLT 1 2	○	○							○	○				○		○	○			○	○			○			
		文学科演習Ⅱa	2	2	4 LI-12 JLT 2 2	○	○							○	○				○			○			○	○	○		○			
		文学科演習Ⅱb	2	2	4 LI-12 JLT 2 2	○	○							○	○				○			○			○	○	○		○			
		文学科演習Ⅲa	2	3	4 LI-12 JLT 3 2														○	○		○			○	○	○	○	○	○		○
		文学科演習Ⅲb	2	3	4 LI-12 JLT 3 2														○	○		○			○	○	○	○	○	○		○
		文学科演習Ⅳa	2	4	4 LI-12 JLT 4 2														○	○		○			○	○	○		○	○	○	○
		文学科演習Ⅳb	2	4	4 LI-12 JLT 4 2														○	○		○			○	○	○		○	○	○	○
概論		国文学概論1	2	1～4	4 LI-12 JLT 1 1	○	○										○		○						○	○	○	○	○	○		
		国文学概論2	2	1～4	4 LI-12 JLT 1 1	○	○										○		○						○	○	○	○	○	○		
		国語学概論1	2	1～4	4 LI-12 JLN 1 1	○	○										○		○						○	○	○	○	○	○		
		国語学概論2	2	1～4	4 LI-12 JLN 1 1	○	○										○		○						○	○	○	○	○	○		
		中国文学概論1	2	1～4	4 LI-12 CHL 1 1	○	○											○	○						○	○	○	○	○	○		
		中国文学概論2	2	1～4	4 LI-12 CHL 1 1	○	○											○	○						○	○	○	○	○	○		
		現代文芸概論1	2	1～4	4 LI-12 JLT 1 1	○	○												○	○					○	○	○	○	○	○		
		現代文芸概論2	2	1～4	4 LI-12 JLT 1 1	○	○												○	○					○	○	○	○	○	○		
講義	A	日本文学史1	2	1～4	4 LI-12 JLT 1 1	○		○									○	○	○							○		○	○		○	
		日本文学史2	2	1～4	4 LI-12 JLT 1 1	○		○									○	○	○							○		○	○		○	
		国文法講義1	2	1～4	4 LI-12 JLN 1 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		国文法講義2	2	1～4	4 LI-12 JLN 1 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		中国語学講義1	2	1～4	4 LI-12 CHL 1 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		中国語学講義2	2	1～4	4 LI-12 CHL 1 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		文藝塾講義1	2	1～4	4 LI-12 LIG 1 1		○	○											○	○		○				○		○	○	○		
		文藝塾講義2	2	1～4	4 LI-12 LIG 1 1		○	○											○	○		○				○		○	○	○		
		書道	2	1～4	4 LI-12 CHL 1 1	○	○	○										○	○							○	○	○	○	○		
	B	古典文学1	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 1	○		○											○							○	○	○	○	○	○	
		古典文学2	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 1	○		○											○							○	○	○	○	○	○	
		古典文学3	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		古典文学4	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		近現代文学1	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		近現代文学2	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		文章表現学1	2	2～4	4 LI-12 LIG 2 1	○	○	○										○	○							○	○		○	○	○	
		文章表現学2	2	2～4	4 LI-12 LIG 2 1	○	○	○										○	○							○	○		○	○	○	
		中国文学史1	2	2～4	4 LI-12 CHL 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		中国文学史2	2	2～4	4 LI-12 CHL 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		中国思想史1	2	2～4	4 LI-12 CHL 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		中国思想史2	2	2～4	4 LI-12 CHL 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		中国文献学1	2	2～4	4 LI-12 CHL 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		中国文献学2	2	2～4	4 LI-12 CHL 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		アメリカ文学講義1	2	2～4	4 LI-12 ELL 2 1	○									○											○	○	○	○	○	○	
		アメリカ文学講義2	2	2～4	4 LI-12 ELL 2 1	○									○											○	○	○	○	○	○	
		イギリス文学講義1	2	2～4	4 LI-12 ELL 2 1	○									○											○	○	○	○	○	○	
		イギリス文学講義2	2	2～4	4 LI-12 ELL 2 1	○									○											○	○	○	○	○	○	
		ドイツ近現代文学1	2	2～4	4 LI-12 EUL 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
		ドイツ近現代文学2	2	2～4	4 LI-12 EUL 2 1	○		○										○	○							○	○	○	○	○	○	
	C	仏教文学特殊講義1	2	3～4	4 LI-12 JLT 3 1												○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	
		仏教文学特殊講義2	2	3～4	4 LI-12 JLT 3 1												○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	
		中国文学特殊講義1	2	3～4	4 LI-12 CHL 3 1												○	○	○							○	○	○	○	○	○	
		中国文学特殊講義2	2	3～4	4 LI-12 CHL 3 1												○	○	○							○	○	○	○	○	○	
実践研究	A	文学鑑賞1	2	1～4	4 LI-12 LIG 1 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		文学鑑賞2	2	1～4	4 LI-12 LIG 1 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		漢文訓読演習1	2	1～4	4 LI-12 CHL 1 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		漢文訓読演習2	2	1～4	4 LI-12 CHL 1 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		文藝塾実践演習Ⅰa	2	1～4	4 LI-12 LIG 1 2	○	○	○										○	○	○						○	○	○	○	○		
		文藝塾実践演習Ⅰb	2	1～4	4 LI-12 LIG 1 2	○	○	○										○	○	○						○	○	○	○	○		
	B	古典文学講読1	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		○
		古典文学講読2	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		○
		古典文学講読3	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		○
		古典文学講読4	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		○
		近現代文学講読1	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		○
		近現代文学講読2	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		○
		近現代文学講読3	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		○
		近現代文学講読4	2	2～4	4 LI-12 JLT 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		○
		中国文学講読1	2	2～4	4 LI-12 CHL 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		中国文学講読2	2	2～4	4 LI-12 CHL 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		言語技術演習	2	2～4	4 LI-12 LIG 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		文学教材講読	2	2～4	4 LI-12 LIG 2 2	○		○										○	○							○	○	○	○	○		
		文藝塾実践演習Ⅱa	2	2～4	4 LI-12 LIG 2 2	○	○	○										○	○	○						○		○	○	○		
		文藝塾実践演習Ⅱb	2	2～4	4 LI-12 LIG 2 2	○	○	○										○	○	○						○		○	○	○		
	C	仏教文学特殊演習1	2	3～4	4 LI-12 JLT 3 2													○	○						○	○	○	○	○	○	○	○
		仏教文学特殊演習2	2	3～4	4 LI-12 JLT 3 2													○	○						○	○	○	○	○	○	○	○
		中国文学特殊演習1	2	3～4	4 LI-12 CHL 3 2													○	○							○	○	○	○	○	○	○
		中国文学特殊演習2	2	3～4	4 LI-12 CHL 3 2													○	○							○	○	○	○	○	○	○

（6）社会学部　現代社会学科

科目区分	授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4						DP5			
					01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 社会学の基本的な理論と概念の理解	02 公共社会の視点に基づく社会学的思考	03 人間関係の視点に基づく社会学的思考	04 現代文化の視点に基づく社会学的思考	05 現代の社会現象や社会問題の理解と論理考察	01 社会調査とデータ分析のための実践力	02 質的調査実践力	03 量的調査実践力	04 社会学領域の文献および史資料の分析力
演習	社会学演習Ⅰa	2	1	5 SO-24 SOC 1 2	○	○		○								○	○	○		○	○	○		○					○	○			○
	社会学演習Ⅰb	2	1	5 SO-24 SOC 1 2	○	○		○								○	○	○		○	○	○		○					○	○			○
	社会学演習Ⅱa	2	2	5 SO-24 SOC 2 2									○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○		○			
	社会学演習Ⅱb	2	2	5 SO-24 SOC 2 2									○	○		○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○		○			
	社会学演習Ⅲa	2	3	5 SO-24 SOC 3 2														○			○			○		○	○	○			○	○	○
	社会学演習Ⅲb	2	3	5 SO-24 SOC 3 2														○			○			○		○	○	○			○	○	○
	社会学演習Ⅳa	2	4	5 SO-24 SOC 4 2														○	○		○		○	○		○	○	○			○	○	○
	社会学演習Ⅳb	2	4	5 SO-24 SOC 4 2														○	○		○		○	○		○	○	○			○	○	○
概論	仏教社会論	2	2	5 SO-14 ABS 2 1									○	○	○				○			○		○					○				
	社会学概論	2	2	5 SO-24 SOC 2 1												○	○	○						○	○	○	○	○	○				○
	現代社会基礎	2	1	5 SO-24 SOC 1 1									○	○	○	○	○	○		○				○					○				
	社会学入門	2	1	5 SO-24 SOC 1 1					○				○	○	○	○	○			○				○	○								
講義	現代社会論	2	1	5 SO-24 SOC 1 1												○	○	○	○	○	○			○	○	○							
	人間関係論	2	1	5 SO-24 SOC 1 1									○	○		○	○							○	○		○		○				
	心理学基礎	2	1～2	5 SO-26 CLP 1 1						○		○	○	○	○					○							○		○				
	現代家族論	2	2	5 SO-24 SOC 2 1									○	○	○	○	○								○		○						
	ジェンダーと社会	2	2	5 SO-24 SOC 2 1									○	○	○	○	○								○		○						
	比較心理学	2	2～3	5 SO-26 COS 2 1						○			○	○	○	○				○		○					○		○				
	社会心理学	2	3～4	5 SO-26 SOP 3 1						○			○	○	○		○			○		○					○		○				
	現代社会とコミュニケーション	2	2	5 SO-24 SOC 2 1												○	○	○	○	○					○	○							
	教育社会学	2	3～4	5 SO-24 SOC 3 1										○	○	○	○							○	○		○		○				
	個人と公共	2	1	5 SO-24 SOC 1 1									○		○	○	○					○			○	○							
	社会問題論	2	2	5 SO-24 SOC 2 1										○	○	○	○									○			○				○
	地域社会論	2	1	5 SO-24 SOC 1 1									○	○		○				○		○				○			○				○
	地域福祉論１	2	2	5 SO-24 SOW 2 1										○		○										○	○		○				
	地域福祉論２	2	2	5 SO-24 SOW 2 1										○		○	○									○	○		○				
	環境社会学	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 1											○	○	○	○				○			○	○			○				
	グローバリゼーション論	2	3	5 SO-24 SOC 3 1										○	○		○							○	○			○	○				
	市民活動論	2	1	5 SO-24 SOC 1 1											○			○	○							○	○		○				
	ボランティア論	2	1	5 SO-24 SOC 1 1											○	○	○									○	○		○				
	地方自治論	2	3	5 SO-24 SOC 3 1											○	○	○									○	○						
	犯罪と社会	2	2	5 SO-24 SOC 2 1										○	○		○	○					○			○		○					
	現代文化論	2	1	5 SO-24 SOC 1 1							○		○	○	○	○	○	○							○			○	○				
	文化社会学	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 1									○		○	○	○								○			○					○
	観光社会学	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 1										○	○	○	○			○					○			○					
	宗教と社会	2	2	5 SO-24 SOC 2 1									○	○		○	○							○	○	○		○					
	日本ポップカルチャー論	2	2～4	5 SO-14 ARS 3 1									○		○	○												○	○				
	スポーツと社会	2	1～2	5 SO-24 SOC 1 1									○	○	○	○	○								○			○	○				
	消費社会論	2	3～4	5 SO-24 SOC 3 1									○	○		○	○								○	○		○	○				
	文化人類学	2	2～3	5 SO-14 CAF 2 1									○	○	○	○	○								○			○	○				
	アジア社会論	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 1									○	○	○	○	○					○				○		○					
	情報と倫理	2	1	5 SO-12 LIH 1 1						○		○		○	○	○	○			○			○					○	○				
	情報社会論	2	1	5 SO-24 SSH 1 1					○			○	○			○	○						○		○				○				
	情報技術論	2	2	5 SO-24 SOC 2 1											○	○	○												○	○			
	社会思想史	2	3～4	5 SO-24 SOC 3 1												○	○	○							○	○	○	○	○				○
	社会学史	2	3～4	5 SO-24 SOC 3 1												○	○	○							○	○	○	○	○				○
	社会調査論	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 1										○		○	○			○		○	○						○	○	○		
	社会動態論	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 1										○	○	○		○	○	○	○				○			○					
	比較社会論	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 1									○	○	○	○	○		○							○		○	○				
	経済と社会	2	1～4	5 SO-24 SOC 1 1					○		○		○	○		○	○									○			○				
	現代社会とビジネス	2	2～4	5 SO-24 SOC 2 1					○		○		○	○		○	○									○			○				
実践研究 A	社会統計基礎	2	1	5 SO-61 STS 1 2					○			○				○		○			○		○						○	○		○	
	フィールドワーク技法基礎	2	1	5 SO-14 CAF 1 2										○		○				○	○	○	○							○	○	○	
実践研究 B	フィールドワーク入門１	2	2	5 SO-14 CAF 2 2										○		○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	
	フィールドワーク入門２	2	2	5 SO-14 CAF 2 2										○		○	○	○	○	○	○	○								○	○	○	
	探究フィールドワーク１	2	3	5 SO-24 SOC 3 2										○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○		
	探究フィールドワーク２	2	3	5 SO-24 SOC 3 2										○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○		
	ソーシャル・ドキュメント分析１	2	3	5 SO-24 SOC 3 2										○	○	○	○	○	○				○			○	○	○			○		
	ソーシャル・ドキュメント分析２	2	3	5 SO-24 SOC 3 2										○	○	○	○	○	○				○			○	○	○			○		
	社会統計演習１	2	2	5 SO-61 STS 2 2								○				○	○	○		○			○						○	○		○	
	社会統計演習２	2	2	5 SO-61 STS 2 2								○				○	○	○		○	○	○	○							○		○	
	メディア・コミュニケーション分析１	2	3	5 SO-24 SOC 3 2								○		○	○	○					○		○					○	○	○	○	○	
	メディア・コミュニケーション分析２	2	3	5 SO-24 SOC 3 2								○		○	○	○					○		○					○	○	○	○	○	
	社会学文献講読（人間関係）１	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 2												○	○	○		○	○				○		○		○				○
	社会学文献講読（人間関係）２	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 2												○	○	○		○	○				○		○		○				○
	社会学文献講読（公共社会）１	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 2												○	○	○	○	○	○				○	○							○
	社会学文献講読（公共社会）２	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 2												○	○	○	○	○	○				○	○							○
	社会学文献講読（現代文化）１	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 2											○	○	○	○		○	○				○			○					○
	社会学文献講読（現代文化）２	2	2～3	5 SO-24 SOC 2 2											○	○	○	○		○	○				○			○					○
	社会学文献講読（経済）	2	2～4	5 SO-24 SOC 2 2												○	○	○		○	○				○	○			○				○
	エスノグラフィ講読・作成１	2	3～4	5 SO-14 CAF 3 2										○	○	○					○		○							○	○		○
	エスノグラフィ講読・作成２	2	3～4	5 SO-14 CAF 3 2										○	○	○					○		○							○	○		○
	文化人類学文献講読１	2	3～4	5 SO-14 CAF 3 2									○	○	○	○	○				○		○							○			○
	文化人類学文献講読２	2	3～4	5 SO-14 CAF 3 2									○	○	○	○	○				○		○							○			○

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4						DP5			
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 社会学の基本的な理論と概念の理解	02 公共社会の視点に基づく社会学的思考	03 人間関係の視点に基づく社会学的思考	04 現代文化の視点に基づく社会学的思考	05 現代の社会現象や社会問題の理解と課題発見	01 社会調査とデータ分析のための実践力	02 質的調査実践力	03 量的調査実践力	04 社会学領域の文献および史資料の分析力
実践研究	B	社会情報学文献講読	2	2～4	5 SO-12 LIH 2 2								○				○	○			○	○		○					○	○				○
		社会心理学文献講読	2	3～4	5 SO-26 SOP 3 2									○	○		○	○	○			○							○				○	○
		社会科学基礎演習 1	2	1～4	5 SO-24 SOC 1 2	○	○	○									○		○												○		○	
		社会科学基礎演習 2	2	1～4	5 SO-24 SOC 1 2	○	○	○									○		○												○		○	
		社会科学基礎演習 3	2	2～4	5 SO-24 SOC 2 2	○	○	○									○		○												○		○	
		社会科学基礎演習 4	2	2～4	5 SO-24 SOC 2 2	○	○	○									○		○												○		○	
		社会科学基礎演習 5	2	2～4	5 SO-24 SOC 2 2	○	○	○									○		○												○		○	
		キャリア・スタディーズ	2	2～4	5 SO-24 SOC 3 2										○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○	○		

(7) 社会学部　コミュニティデザイン学科　地域政策学コース・情報メディアコース

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4									DP5			
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 コミュニティ	02 調査・分析	03 社会変革の動きと政策提言	04 地域環境と人々の暮らしや社会	05 社会福祉・社会保障の政策	06 社会福祉の実践・理念・哲学	07 情報・メディア・コミュニケーション	08 文化・表象	01 プロジェクトマネジメント力	02 専門的文献読解力	03 社会調査技法	04 データ分析力
演習		コミュニティデザイン演習Ⅰa	2	1	5 CD-24 SOC 1 2												○	○							○	○	○								○		
		コミュニティデザイン演習Ⅰb	2	1	5 CD-24 SOC 1 2												○	○							○	○	○								○		
		コミュニティデザイン演習Ⅱa（地政）	2	2	5 CD-24 SOC 2 2												○	○							○	○	○	○	○						○	○	
		コミュニティデザイン演習Ⅱa（情報）	2	2	5 CD-24 SOC 2 2												○	○							○	○	○					○	○		○	○	
		コミュニティデザイン演習Ⅱb（地政）	2	2	5 CD-24 SOC 2 2												○	○							○	○	○	○	○						○	○	
		コミュニティデザイン演習Ⅱb（情報）	2	2	5 CD-24 SOC 2 2												○	○							○	○	○					○	○		○	○	
		コミュニティデザイン演習Ⅲa（地政）	2	3	5 CD-24 SOC 3 2														○						○	○	○	○	○						○	○	○
		コミュニティデザイン演習Ⅲa（情報）	2	3	5 CD-24 SOC 3 2														○						○	○	○					○	○		○	○	○
		コミュニティデザイン演習Ⅲb（地政）	2	3	5 CD-24 SOC 3 2														○						○	○	○	○	○						○	○	○
		コミュニティデザイン演習Ⅲb（情報）	2	3	5 CD-24 SOC 3 2														○						○	○	○					○	○		○	○	○
		コミュニティデザイン演習Ⅳa（地政）	2	4	5 CD-24 SOC 4 2														○	○					○	○	○	○	○						○		○
		コミュニティデザイン演習Ⅳa（情報）	2	4	5 CD-24 SOC 4 2														○	○					○	○	○					○	○		○		○
		コミュニティデザイン演習Ⅳb（地政）	2	4	5 CD-24 SOC 4 2														○	○					○	○	○	○	○						○		○
		コミュニティデザイン演習Ⅳb（情報）	2	4	5 CD-24 SOC 4 2														○	○					○	○	○					○	○		○		○
概論	A	仏教社会論	2	2	5 CD-14 ABS 2 1									○	○	○				○			○		○												
		コミュニティデザイン概論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1									○		○	○	○							○	○									○		
	B	地域政策概論１	2	1	5 CD-24 SOC 1 1												○	○							○	○		○	○						○		
		地域政策概論２	2	1	5 CD-24 SOC 1 1												○	○							○	○		○	○						○		
		情報メディア概論１	2	1	5 CD-24 SOC 1 1								○				○	○						○	○	○						○	○		○		
		情報メディア概論２	2	1	5 CD-24 SOC 1 1								○				○	○						○	○	○						○	○		○		
		現代社会と福祉１	2	1	5 CD-24 SOC 1 1												○	○							○	○				○	○				○		
		現代社会と福祉２	2	1	5 CD-24 SOC 1 1												○	○							○	○				○	○				○		
		社会学概論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1												○	○	○						○	○									○		
講義		ボランティア論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○	○	○								○		○	○								
		生活問題論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○	○	○	○	○						○		○	○								
		社会政策論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○	○	○								○		○	○								
		メディアと市民社会	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○	○	○	○	○						○						○	○				
		市民活動論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○			○	○						○		○	○								
		社会調査論	2	2～3	5 CD-24 SOC 2 1										○		○	○			○		○	○		○	○									○	○
		宗教と社会	2	2	5 CD-24 SOC 2 1									○	○		○	○							○	○											
		情報と倫理	2	1	5 CD-12 LIH 1 1						○		○		○	○	○	○			○			○		○						○					
		情報社会論	2	1	5 CD-24 SSH 1 1					○			○	○			○	○						○		○						○					
		地域と経済	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○	○	○						○		○	○								
		非営利組織マネジメント論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○	○							○		○	○								
		コミュニティ形成論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○	○	○						○		○	○								
		ソーシャルビジネス論	2	3	5 CD-24 SOC 3 1											○			○	○						○		○	○								
		地域と環境	2	1	5 CD-24 SOC 2 1											○	○		○							○		○	○								
		犯罪と社会	2	2	5 CD-24 SOC 2 1										○	○		○	○					○		○											
		地方自治論	2	3	5 CD-24 SOC 3 1											○	○	○								○		○	○								
		社会問題論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1										○	○	○	○								○											
		情報技術論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○								○						○	○				
		コミュニティプランニング論	2	3	5 CD-24 SOC 3 1											○			○	○						○		○	○								
		情報マーケティング論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○	○	○						○						○	○				
		社会福祉発達史	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		災害と防災	2	1	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○								○		○	○								
		ターミナルケア論	2	3	5 CD-24 SOC 3 1											○	○	○								○		○	○								
		メディア社会学	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○								○						○	○				
		高齢者福祉	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		障害者福祉	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		児童福祉	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		社会保障論１	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○													○	○						
		社会保障論２	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		地域福祉論１	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○													○	○						
		地域福祉論２	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		心理学	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		社会学	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		公的扶助論	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		相談援助の基盤と専門職１	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○													○	○						
		相談援助の基盤と専門職２	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
実践研究	A	プロジェクト研究入門Ⅰ	2	1	5 CD-24 SOC 1 2																○	○	○	○		○	○							○		○	
		プロジェクト研究入門Ⅱ	2	1	5 CD-24 SOC 1 2																○	○	○	○		○	○							○		○	
	B	プロジェクト研究実践Ⅰ（地政）	4	2	5 CD-24 SOC 2 2																○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
		プロジェクト研究実践Ⅰ（情報）	4	2	5 CD-24 SOC 2 2																○	○	○	○		○	○						○	○	○	○	○
		プロジェクト研究実践Ⅱ（地政）	4	2	5 CD-24 SOC 2 2																○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
		プロジェクト研究実践Ⅱ（情報）	4	2	5 CD-24 SOC 2 2																○	○	○	○		○	○						○	○	○	○	○
		プロジェクト研究実践Ⅲ（地政）	4	3	5 CD-24 SOC 3 2																○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
		プロジェクト研究実践Ⅲ（情報）	4	3	5 CD-24 SOC 3 2																○	○	○	○		○	○						○	○	○	○	○
		プロジェクト研究実践Ⅳ（地政）	4	3	5 CD-24 SOC 3 2																○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
		プロジェクト研究実践Ⅳ（情報）	4	3	5 CD-24 SOC 3 2																○	○	○	○		○	○						○	○	○		○	○
		情報技術基礎演習	2	2	5 CD-24 SOC 2 2								○											○		○	○						○	○				

(8) 社会学部　コミュニティデザイン学科　社会福祉学コース

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2						DP3							DP4									DP5			
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 コミュニティ	02 調査・分析	03 社会変革の動きと政策提言	04 地域環境と人々の暮らしや社会	05 社会福祉・社会保障の政策	06 社会福祉の実践・理念・哲学	07 情報・メディア・コミュニケーション	08 文化・表象	01 プロジェクトマネジメント力	02 専門的文献読解力	03 社会調査技法	04 データ分析力
演習		コミュニティデザイン演習Ⅰa	2	1	5 CD-24 SOC 1 2												○	○						○	○	○								○		
		コミュニティデザイン演習Ⅰb	2	1	5 CD-24 SOC 1 2												○	○						○	○	○								○		
		コミュニティデザイン演習Ⅱa（社福）	2	2	5 CD-24 SOW 2 2												○	○						○					○	○				○	○	
		コミュニティデザイン演習Ⅱb（社福）	2	2	5 CD-24 SOW 2 2												○	○						○					○	○				○	○	
		コミュニティデザイン演習Ⅲa（社福）	2	3	5 CD-24 SOW 3 2														○					○					○	○				○	○	○
		コミュニティデザイン演習Ⅲb（社福）	2	3	5 CD-24 SOW 3 2														○					○					○	○				○	○	○
		コミュニティデザイン演習Ⅳa（社福）	2	4	5 CD-24 SOW 4 2														○	○				○					○	○				○		○
		コミュニティデザイン演習Ⅳb（社福）	2	4	5 CD-24 SOW 4 2														○	○				○					○	○				○		○
概論	A	仏教社会論	2	2	5 CD-14 ABS 2 1									○	○	○				○			○	○										○		
		コミュニティデザイン概論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1									○		○	○	○						○	○									○		
	B	地域政策概論１	2	1	5 CD-24 SOC 1 1												○	○						○	○		○	○						○		
		地域政策概論２	2	1	5 CD-24 SOC 1 1												○	○						○	○		○	○						○		
		情報メディア概論１	2	1	5 CD-24 SOC 1 1								○				○	○					○	○	○							○	○	○		
		情報メディア概論２	2	1	5 CD-24 SOC 1 1								○				○	○					○	○	○							○	○	○		
		現代社会と福祉１	2	1	5 CD-24 SOC 1 1												○	○						○	○				○	○				○		
		現代社会と福祉２	2	1	5 CD-24 SOC 1 1												○	○						○	○				○	○				○		
		社会学概論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1												○	○	○					○	○									○		
講義		ボランティア論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○	○	○							○		○	○								
		生活問題論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○	○	○	○	○					○		○	○								
		社会政策論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○	○	○							○		○	○								
		メディアと市民社会	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○	○	○	○	○					○							○	○			
		市民活動論	2	1	5 CD-24 SOC 1 1											○			○	○					○		○	○								
		社会調査論	2	2〜3	5 CD-24 SOC 2 1										○		○	○			○		○	○		○	○								○	○
		宗教と社会	2	2	5 CD-24 SOC 2 1									○	○		○	○						○	○											
		情報と倫理	2	1	5 CD-12 LIH 1 1						○		○		○	○	○	○			○		○		○						○					
		情報社会論	2	1	5 CD-24 SSH 1 1					○			○	○			○	○					○		○						○					
		地域と経済	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○	○	○					○		○	○								
		非営利組織マネジメント論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○	○						○		○	○								
		コミュニティ形成論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○	○	○					○		○	○								
		ソーシャルビジネス論	2	3	5 CD-24 SOC 3 1											○			○	○					○		○	○								
		地域と環境	2	1	5 CD-24 SOC 2 1											○	○		○						○		○	○								
		犯罪と社会	2	2	5 CD-24 SOC 2 1										○	○		○	○					○	○											
		地方自治論	2	3	5 CD-24 SOC 3 1											○	○	○							○		○	○								
		社会問題論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1										○	○	○	○							○											
		情報技術論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○							○						○	○				
		コミュニティプランニング論	2	3	5 CD-24 SOC 3 1											○			○	○					○		○	○								
		情報マーケティング論	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○	○	○					○						○	○				
		社会福祉発達史	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		災害と防災	2	1	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○							○		○	○								
		ターミナルケア論	2	3	5 CD-24 SOC 3 1											○	○	○							○		○	○								
		メディア社会学	2	2	5 CD-24 SOC 2 1											○	○	○							○						○	○				
		高齢者福祉	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		障害者福祉	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		児童福祉	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		社会保障論１	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○													○	○						
		社会保障論２	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		地域福祉論１	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○													○	○						
		地域福祉論２	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		心理学	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		社会学	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		医学一般	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		社会福祉調査論	2	3	5 CD-24 SOW 3 1										○		○	○									○			○	○						
		公的扶助論	2	1	5 CD-24 SOW 1 1										○		○	○												○	○						
		司法福祉論	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		社会福祉施設経営論	2	3	5 CD-24 SOW 3 1										○		○	○												○	○						
		保健医療サービス論	2	3	5 CD-24 SOW 3 1										○		○	○												○	○						
		権利擁護と成年後見制度	2	3	5 CD-24 SOW 3 1										○		○	○												○	○						
		相談援助の基盤と専門職１	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○													○	○						
		相談援助の基盤と専門職２	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		相談援助の理論と方法１	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		相談援助の理論と方法２	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		相談援助の理論と方法３	2	2	5 CD-24 SOW 2 1										○		○	○												○	○						
		相談援助の理論と方法４	2	3	5 CD-24 SOW 3 1										○		○	○												○	○						
実践研究	A	プロジェクト研究入門Ⅰ	2	1	5 CD-24 SOC 1 2																○	○	○	○		○	○							○		○	
		プロジェクト研究入門Ⅱ	2	1	5 CD-24 SOC 1 2																○	○	○	○		○	○							○		○	
	B	社会福祉援助技術演習１	2	2	5 CD-24 SOW 2 2										○	○					○	○									○	○					
		社会福祉援助技術演習２	2	2	5 CD-24 SOW 2 2										○	○					○	○									○	○					
		社会福祉援助技術演習３	2	3	5 CD-24 SOW 3 2										○	○					○	○									○	○					
		社会福祉援助技術演習４	2	3	5 CD-24 SOW 3 2										○	○					○	○									○	○					
		社会福祉援助技術演習５	2	4	5 CD-24 SOW 4 2										○	○					○	○									○	○					
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	2	2	5 CD-24 SOW 2 2										○	○					○	○									○	○					
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	2	3	5 CD-24 SOW 3 2										○	○					○	○									○	○					
		社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ	2	4	5 CD-24 SOW 4 2										○	○					○	○									○	○					
		社会福祉援助技術現場実習	6	3	5 CD-24 SOW 3 5										○	○					○	○									○	○				○	○
		社会福祉学特殊演習Ⅰ	2	4	5 CD-24 SOW 4 2																										○	○					
		社会福祉学特殊演習Ⅱ	2	4	5 CD-24 SOW 4 2																										○	○					
	C	プロジェクト研究実践Ⅰ（地政）	4	2	5 CD-24 SOC 2 2																○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
		プロジェクト研究実践Ⅰ（情報）	4	2	5 CD-24 SOC 2 2																○	○	○	○		○	○						○	○	○	○	○
		プロジェクト研究実践Ⅱ（地政）	4	2	5 CD-24 SOC 2 2																○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
		プロジェクト研究実践Ⅱ（情報）	4	2	5 CD-24 SOC 2 2																○	○	○	○		○	○						○	○	○	○	○
		プロジェクト研究実践Ⅲ（地政）	4	3	5 CD-24 SOC 3 2																○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
		プロジェクト研究実践Ⅲ（情報）	4	3	5 CD-24 SOC 3 2																○	○	○	○		○	○						○	○	○	○	○
		プロジェクト研究実践Ⅳ（地政）	4	3	5 CD-24 SOC 3 2																○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
		プロジェクト研究実践Ⅳ（情報）	4	3	5 CD-24 SOC 3 2																○	○	○	○		○	○						○	○	○		○	○

(9) 教育学部　教育学科　初等教育コース

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4							DP5				
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 教育原理及び基本概念	02 教育の目的	03 教育の歴史	04 社会・文化の多様性	05 学習過程と教育的介入	06 教育と社会の相互関係	01 批判的考察力	02 教育的営みの構想力	03 効果的コミュニケーション力	04 教育的合意形成力	05 社会形成力
演習		小学校教育学演習Ⅰa	2	1	6 PE-25 EDU 1 2	○											○								○	○			○		○		○	○	○	
		小学校教育学演習Ⅰb	2	1	6 PE-25 EDU 1 2	○											○								○	○			○		○		○	○	○	
		小学校教育学演習Ⅱa	2	2	6 PE-25 EDU 2 2	○		○									○								○	○			○		○		○	○	○	
		小学校教育学演習Ⅱb	2	2	6 PE-25 EDU 2 2	○		○									○								○	○			○		○		○	○	○	
		小学校教育学演習Ⅲa	2	3	6 PE-25 EDU 3 2															○					○	○			○		○		○	○	○	
		小学校教育学演習Ⅲb	2	3	6 PE-25 EDU 3 2															○					○	○			○		○		○	○	○	
		小学校教育学演習Ⅳa	2	4	6 PE-25 EDU 4 2											○				○					○	○			○		○		○	○	○	○
		小学校教育学演習Ⅳb	2	4	6 PE-25 EDU 4 2											○				○					○	○			○		○		○	○	○	○
概論		教育原論	2	1	6 PE-25 EDU 1 1	○		○									○				○				○	○			○	○		○	○			
		仏教と教育（初等）	2	2	6 PE-25 EDU 2 1					○				○	○	○	○	○							○	○	○	○		○		○		○	○	
講義	A	教育学概論Ⅰ	2	3	6 PE-25 EDU 3 1														○						○	○	○	○		○			○		○	○
		教育学概論Ⅱ	2	3	6 PE-25 EDU 3 1														○						○	○	○	○		○			○		○	○
		特別支援教育概論	2	2	6 PE-25 SNE 2 1											○			○						○	○	○	○		○	○				○	○
		教育人間学Ⅰ	2	3	6 PE-25 EDU 3 1									○		○	○								○		○	○	○		○			○	○	
		教育人間学Ⅱ	2	3	6 PE-25 EDU 3 1									○		○	○								○		○	○	○		○			○	○	
	B	教職入門	2	1	6 PE-25 EDU 1 1															○						○	○	○			○		○	○	○	○
		教育心理学	2	1	6 PE-26 EDP 1 1									○			○									○	○	○	○	○		○	○	○		
		発達心理学	2	1	6 PE-26 EDP 1 1									○			○									○	○	○	○	○		○	○	○		
		教育社会学	2	2	6 PE-25 SOE 2 1										○	○	○										○	○	○		○					○
		教育行財政学	2	2	6 PE-25 SOE 2 1										○	○	○									○	○	○	○		○				○	○
		教育課程論	2	3	6 PE-25 EDU 3 1														○							○	○	○	○	○			○	○	○	○
		特別活動論	2	3	6 PE-25 ESS 3 1										○	○					○		○			○		○	○				○	○	○	
		教育方法論	2	2	6 PE-25 EDU 2 1												○					○		○		○		○	○	○			○	○	○	
		ＩＣＴ活用教育の理論と方法	1	1	6 PE-25 EDT 1 1								○									○		○				○		○			○	○	○	
		生徒・進路指導論	2	2	6 PE-25 ESS 2 1										○		○			○			○				○		○		○		○	○	○	
		教育相談	2	3	6 PE-26 EDP 3 1										○						○				○	○	○				○		○	○	○	○
		こども教育史Ⅰ	2	1	6 PE-25 CNP 1 1	○											○									○	○	○		○	○	○	○			
		こども教育史Ⅱ	2	1	6 PE-25 CNP 1 1	○											○									○	○	○		○	○	○	○			
		探求ゼミ（算数・数学）Ⅰ	2	3	6 PE-25 ESS 3 1						○								○		○	○				○	○			○		○	○	○	○	○
		探求ゼミ（算数・数学）Ⅱ	2	3	6 PE-25 ESS 3 1						○								○		○	○				○	○			○		○	○	○	○	○
		探求ゼミ（算数・数学）Ⅲ	2	4	6 PE-25 ESS 4 1						○								○		○	○				○	○			○		○	○	○	○	○
		探求ゼミ（理科）Ⅰ	2	3	6 PE-25 ESS 3 1														○							○	○			○		○	○	○	○	○
		探求ゼミ（理科）Ⅱ	2	3	6 PE-25 ESS 3 1														○							○	○			○		○	○	○	○	○
		探求ゼミ（理科）Ⅲ	2	4	6 PE-25 ESS 4 1														○							○	○			○		○	○	○	○	○
		授業心理学	2	1	6 PE-26 EDP 1 1										○		○				○					○	○	○		○			○	○		
		こどもの描画分析	2	1	6 PE-26 EDP 1 1									○			○									○	○			○		○	○	○		
		教室の心理学	2	1	6 PE-26 EDP 1 1									○			○									○	○			○		○	○	○		
		障害のある子どもたち（初等）	2	1	6 PE-25 SNE 1 1										○	○		○							○	○			○		○		○	○		○
		障害児の教育（初等）	2	3	6 PE-25 SNE 3 1									○	○	○	○								○		○	○		○			○			
		防災・安全教育（初等）	2	4	6 PE-25 ESS 4 1																		○				○	○			○	○	○	○	○	○
		特別支援教育実践論（初等）	2	4	6 PE-25 SNE 4 1									○	○		○								○	○	○	○		○			○	○		
		生涯学習論	2	4	6 PE-25 EDU 4 1									○							○				○	○	○	○	○		○				○	○
		総合的な学習の時間の指導法	2	3	6 PE-25 ESS 3 1									○		○				○						○	○		○	○		○	○	○		
		代数学概論１	2	1	6 PE-31 ALG 1 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		代数学概論２	2	2	6 PE-31 ALG 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		幾何学概論１	2	2	6 PE-31 GMT 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		幾何学概論２	2	2	6 PE-31 GMT 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		解析学概論１	2	1	6 PE-32 BAN 1 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		解析学概論２	2	1	6 PE-32 BAN 1 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		代数学Ⅰ	2	2	6 PE-31 ALG 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		代数学Ⅱ	2	2	6 PE-31 ALG 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		幾何学Ⅰ	2	2	6 PE-31 GMT 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		幾何学Ⅱ	2	2	6 PE-31 GMT 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		解析学Ⅰ	2	2	6 PE-32 BAN 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		解析学Ⅱ	2	2	6 PE-32 BAN 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		確率・統計学概論	2	2	6 PE-61 STS 2 1						○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		データの活用と分析	2	3	6 PE-61 STS 3 1					○	○		○				○		○	○									○	○	○		○			
		コンピュータ概論	2	2	6 PE-61 TIN 2 1					○	○		○				○		○										○	○	○		○			
		プログラミング	2	3	6 PE-61 TIN 3 1					○	○		○				○		○										○	○	○		○			
		情報と社会	2	3	6 PE-61 TIN 3 1					○	○		○				○		○										○	○	○		○			
実践研究	A	実践体験活動演習（小）Ⅰ	2	1	6 PE-25 ESS 1 2			○	○						○										○	○			○	○			○			○
		実践体験活動演習（小）Ⅱ	2	1	6 PE-25 ESS 1 2			○	○						○										○	○			○	○			○			○
	B	初等科教育法（国語）	2	3	6 PE-25 ESS 3 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（社会）	2	3	6 PE-25 ESS 3 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（算数）	2	2	6 PE-25 ESS 2 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（理科）	2	2	6 PE-25 ESS 2 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（生活）	2	3	6 PE-25 ESS 3 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（音楽）	2	2	6 PE-25 ESS 2 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（図画工作）	2	2	6 PE-25 ESS 2 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（家庭）	2	3	6 PE-25 ESS 3 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（体育）	2	2	6 PE-25 ESS 2 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		初等科教育法（外国語）	2	3	6 PE-25 ESS 3 2												○			○		○				○			○	○		○	○	○	○	
		道徳教育の理論と方法	2	2	6 PE-25 ESS 2 2														○							○	○			○		○	○	○		○
		数学教育総論	2	1	6 PE-25 ESS 1 2						○		○	○	○		○		○	○	○					○	○		○	○			○	○	○	
		教科（国語）	2	2	6 PE-25 ESS 2 2									○					○			○				○	○		○	○		○	○	○		
		教科（社会）	2	2	6 PE-25 ESS 2 2									○					○			○				○	○		○	○		○	○	○		
		教科（算数）	2	1	6 PE-25 ESS 1 2									○					○			○				○	○		○	○		○	○	○		

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4							DP5				
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 教育原理及び基本概念	02 教育の目的	03 教育の歴史	04 社会・文化の多様性	05 学習過程と教育的介入	06 教育と社会の相互関係	01 批判的考察力	02 教育的営みの構想力	03 効果的コミュニケーション力	04 教育的合意形成力	05 社会形成力
実践研究	B	教科（音楽）	2	1	6 PE-25 ESS 1 2									○					○			○				○	○		○	○		○	○	○		
		教科（図画工作）	2	1	6 PE-25 ESS 1 2									○					○			○				○	○		○	○		○	○	○		
		教科（家庭）	2	2	6 PE-25 ESS 2 2									○					○			○				○	○		○	○		○	○	○		
		教科（体育）	2	1	6 PE-25 ESS 1 2									○					○			○				○	○		○	○		○	○	○		
		教科（外国語）	2	3	6 PE-25 ESS 3 2									○					○			○				○	○		○	○		○	○	○		
		教育実習指導（小）	1	3～4	6 PE-25 ESS 3 2					○					○		○									○		○	○			○	○	○	○
		教育実習（小）	4	4	6 PE-25 ESS 4 2					○					○		○										○	○	○			○	○	○	○
		教職実践演習（小）	2	4	6 PE-25 ESS 4 2					○					○		○										○	○	○			○	○	○	○
		音楽実技Ⅰ－３	2	2	6 PE-25 ESS 2 2										○					○							○	○	○			○	○	○	○
		音楽実技Ⅱ－３	2	3	6 PE-25 ESS 3 2										○					○							○	○	○			○	○	○	○
		運動会実践演習	2	2	6 PE-25 ESS 2 2										○					○			○		○		○		○	○			○	○		○
		おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ	2	2	6 PE-25 ESS 2 2										○	○				○			○		○		○		○			○				○
		おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ	2	3	6 PE-25 ESS 3 2										○	○				○			○		○		○		○			○				○

（10）教育学部　教育学科　幼児教育コース

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4								DP5					
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 発達理解	02 保育に関する基礎的事項	03 子どもの生活と健康・安全	04 保育内容	05 保育の計画と評価	06 特別な配慮が必要な子ども	07 子育て支援・地域連携	01 総合的実践力	02 総合的表現力	03 子ども・保護者とのかかわり	04 保育者としての協働性と遂行力	05 自己評価	06 保育者としての使命感・倫理観
演習		幼児教育演習Ⅰa	2	1	6 CE-25 CNP 1 2	○	○	○	○					○	○						○	○	○		○													
		幼児教育演習Ⅰb	2	1	6 CE-25 CNP 1 2	○	○	○	○					○	○						○	○	○		○													
		幼児教育演習Ⅱa	2	2	6 CE-25 CNP 2 2		○		○							○					○				○	○	○	○								○		○
		幼児教育演習Ⅱb	2	2	6 CE-25 CNP 2 2		○		○							○					○				○	○	○	○								○		○
		幼児教育演習Ⅲa	2	3	6 CE-25 CNP 3 2												○		○						○	○		○	○		○		○	○		○		
		幼児教育演習Ⅲb	2	3	6 CE-25 CNP 3 2													○		○					○	○			○		○	○	○	○				
		幼児教育演習Ⅳa（卒業制作ゼミ）	2	4	6 CE-25 CNP 4 2												○			○					○	○			○				○	○		○	○	○
		幼児教育演習Ⅳa（卒業論文・研究ゼミ）	2	4	6 CE-25 CNP 4 2												○	○	○	○					○	○										○	○	○
		幼児教育演習Ⅳb（卒業制作ゼミ）	2	4	6 CE-25 CNP 4 2												○			○					○	○			○				○	○		○	○	○
		幼児教育演習Ⅳb（卒業論文・研究ゼミ）	2	4	6 CE-25 CNP 4 2												○	○	○	○					○	○							○			○	○	○
概論		教育原論（幼）	2	2	6 CE-25 EDU 2 1	○	○	○				○				○	○	○	○						○		○											
		仏教と教育（初等）	2	2	6 CE-25 EDU 2 1					○				○	○	○	○	○							○		○										○	○
講義		教育人間学Ⅰ	2	3	6 CE-25 EDU 3 1									○		○	○								○		○							○				
		教育人間学Ⅱ	2	3	6 CE-25 EDU 3 1									○		○	○								○		○							○				
	A	発達心理学（幼）	2	1	6 CE-26 EDP 1 1			○		○	○						○	○	○							○	○		○					○				
		特別支援教育概論（幼）	2	2	6 CE-25 SNE 2 1					○	○						○	○	○								○				○	○			○			○
		保育原理Ⅰ	2	1	6 CE-25 CNP 1 1	○	○	○	○	○																○	○	○	○			○						
	B	教職入門（幼）	2	1	6 CE-25 EDU 1 1	○	○	○	○	○																○	○	○	○			○						
		教育学概論Ⅰ	2	3	6 CE-25 EDU 3 1														○						○									○				
		教育学概論Ⅱ	2	3	6 CE-25 EDU 3 1														○						○		○											○
		こども教育史Ⅰ	2	1	6 CE-25 CNP 1 1	○											○										○											
		こども教育史Ⅱ	2	1	6 CE-25 CNP 1 1	○											○										○					○			○			
		保育カリキュラム論	2	1	6 CE-25 CNP 1 1	○	○	○	○													○				○	○		○	○						○	
		教育方法論（幼）	4	2	6 CE-25 CNP 2 1								○				○		○				○	○		○	○		○	○			○					
		教育社会学（幼）	2	3	6 CE-25 EDU 3 1								○				○	○	○							○	○	○				○			○			○
		授業心理学	2	1	6 CE-26 EDP 1 1										○		○				○					○									○			
		こどもの描画分析	2	1	6 CE-26 EDP 1 1									○			○									○					○				○			
		教室の心理学	2	1	6 CE-26 EDP 1 1									○			○									○					○				○			
		音楽理論	2	2	6 CE-25 CNP 2 1			○		○		○					○		○	○						○	○		○	○								
		保育原理Ⅱ	2	4	6 CE-25 EDU 4 1					○								○	○							○	○	○	○	○		○				○	○	○
		児童家庭福祉	2	1	6 CE-24 SOW 1 1												○	○	○							○					○	○			○	○	○	○
		社会福祉	2	4	6 CE-24 SOW 4 1					○							○	○	○							○			○		○	○			○			○
		児童文化	2	1	6 CE-25 CNP 1 1	○			○											○	○	○				○	○						○	○	○			
		社会的養護	2	2	6 CE-24 SOW 2 1													○									○	○			○	○	○		○	○	○	○
		障害のある子どもたち（初等）	2	1	6 CE-25 SNE 1 1										○	○		○							○		○					○			○			○
		特別支援教育実践論（初等）	2	4	6 CE-25 SNE 4 1									○	○		○								○					○	○		○		○			○
		防災・安全教育（初等）	2	4	6 CE-25 ESS 4 1																		○					○		○				○				
		生涯学習論	2	4	6 CE-25 EDU 4 1									○							○				○			○			○							
		子ども家庭支援論	2	4	6 CE-25 CNP 4 1					○						○										○	○		○			○	○	○	○			○
		子どもの保健	2	1	6 CE-98 HPH 1 1			○		○	○						○		○							○		○	○	○								○
		乳児保育Ⅰ	2	1	6 CE-25 CNP 1 1																○					○	○	○	○	○	○	○		○	○			
		子ども家庭支援の心理学	2	3	6 CE-25 CNP 3 1							○					○									○	○	○			○	○	○		○			○
		青年心理学	2	3	6 CE-26 EDP 3 1							○				○	○	○	○							○	○	○			○				○			
		臨床心理学	2	3	6 CE-26 CLP 3 1							○					○	○								○	○	○			○	○			○			○
実践研究	A	実践体験活動演習（幼）Ⅰ	2	1	6 CE-25 CNP 1 2		○		○	○					○	○		○			○	○				○		○										
		実践体験活動演習（幼）Ⅱ	2	2	6 CE-25 CNP 2 2		○		○	○					○	○		○			○	○				○		○										
		運動会実践演習	2	2	6 CE-25 ESS 2 2										○					○			○		○		○		○	○		○						
		おおたに子育て支援演習	1	3	6 CE-25 CNP 3 2										○	○					○		○			○	○					○			○	○		○
	B	保育実習Ⅰ	4	2～3	6 CE-25 CNP 2 5		○	○													○		○										○	○	○	○	○	○
		保育実習指導Ⅰ	2	2～3	6 CE-25 CNP 2 2					○							○				○					○	○	○	○	○	○						○	
		保育実習Ⅱ	2	3	6 CE-25 CNP 3 5		○	○													○		○										○	○	○	○	○	○
		保育実習指導Ⅱ	1	3	6 CE-25 CNP 3 2			○		○							○				○					○	○	○	○	○							○	
		保育実習Ⅲ	2	3	6 CE-25 CNP 3 5		○	○													○		○										○	○	○	○	○	○
		保育実習指導Ⅲ	1	3	6 CE-25 CNP 3 2			○		○							○				○						○	○		○	○	○					○	
		教育実習（幼）	4	3～4	6 CE-25 CNP 3 2		○	○													○		○										○	○	○	○	○	○
		教育実習指導（幼）	1	3～4	6 CE-25 CNP 3 2			○		○							○				○					○	○	○	○	○							○	
		保育心理士実習	1	4	6 CE-25 SNE 4 5																					○		○		○	○	○	○		○	○	○	○
		保育心理士実習指導	1	4	6 CE-25 SNE 4 2																					○		○		○	○	○	○		○	○	○	○
		教職実践演習（幼）	2	4	6 CE-25 CNP 4 2																		○			○	○	○	○	○			○			○	○	○
		子ども理解の理論と方法（教育相談を含む）	2	4	6 CE-26 EDP 4 2												○	○	○							○	○				○	○	○		○			○
		乳児保育Ⅱ	2	2	6 CE-25 CNP 2 2																					○	○	○	○	○	○	○			○	○		○
		社会的養護演習	2	3	6 CE-24 SOW 3 2													○	○								○	○			○	○			○	○	○	○
		子どもの健康と安全	2	1	6 CE-25 CNP 1 2			○		○	○	○			○				○							○	○	○										○
		子どもの食と栄養	2	1	6 CE-98 NSH 1 2		○	○		○	○	○											○			○		○	○				○					
		保育内容総論	2	3	6 CE-25 CNP 3 2										○		○		○							○	○		○	○				○				○	○
		幼児と健康	1	1	6 CE-25 CNP 1 2					○		○			○											○	○	○	○				○	○	○			
		幼児と人間関係	1	2	6 CE-25 CNP 2 2												○		○							○	○		○		○	○	○		○			○
		幼児と環境	1	2	6 CE-25 CNP 2 2					○	○		○											○		○	○	○	○	○			○					
		幼児と言葉	1	3	6 CE-25 CNP 3 2			○	○											○	○					○	○		○				○	○		○		
		幼児と表現A	1	3	6 CE-25 CNP 3 2												○			○						○	○		○	○			○	○		○	○	
		幼児と表現B	1	3	6 CE-25 CNP 3 2												○			○						○	○		○	○		○	○	○	○			
		保育内容（健康）の理論と方法	2	2	6 CE-25 CNP 2 2								○													○	○	○	○	○			○	○	○			○
		保育内容（人間関係）の理論と方法	2	3	6 CE-25 CNP 3 2								○													○	○		○	○	○	○	○		○			○
		保育内容（環境）の理論と方法	2	2	6 CE-25 CNP 2 2								○				○							○		○	○	○	○	○			○					○
		保育内容（言葉）の理論と方法	2	3	6 CE-25 CNP 3 2								○						○	○	○					○	○		○	○			○	○				
		保育内容（表現）の理論と方法	2	4	6 CE-25 CNP 4 2								○							○		○				○	○		○	○				○		○	○	
		図画工作Ⅰ	2	1	6 CE-25 CNP 1 2												○			○	○	○	○			○	○		○							○	○	
		図画工作Ⅱ	2	2	6 CE-25 CNP 2 2												○			○	○	○	○			○	○		○							○	○	
		幼児音楽Ⅰ	2	2	6 CE-25 CNP 2 2															○	○	○	○			○	○		○					○		○	○	
		幼児音楽Ⅱ	2	2	6 CE-25 CNP 2 2															○		○	○			○	○		○			○				○	○	
		幼児音楽Ⅲ	2	3	6 CE-25 CNP 3 2															○		○				○	○		○	○				○	○	○	○	

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4								DP5					
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 障害の理念に係る基本的理解	01 発達理解	02 保育に関する基礎的事項	03 子どもの生活と健康・安全	04 保育内容	05 保育の計画と評価	06 特別な配慮が必要な子ども	07 子育て支援・地域連携	01 総合的実践力	02 総合的表現力	03 子ども・保護者とのかかわり	04 保育者としての協働性と遂行力	05 自己評価	06 保育者としての使命感・倫理観
実践研究	B	器楽演習 A	2	3	6 CE-25 CNP 3 2															○		○	○			○	○		○				○	○		○	○	
		器楽演習 B	2	3	6 CE-25 CNP 3 2															○		○	○			○	○		○				○	○		○	○	
		言語表現	2	2	6 CE-25 CNP 2 2				○											○	○		○	○		○	○						○	○		○		
		野外活動	2	4	6 CE-25 CNP 4 2						○										○		○			○		○	○	○			○			○		○
		総合表現演習 I	2	3	6 CE-25 CNP 4 2								○							○	○	○				○			○	○				○		○	○	
		総合表現演習 II	2	3	6 CE-25 CNP 4 2								○							○	○	○				○			○	○			○	○			○	
		保育内容実践演習 A	2	4	6 CE-25 CNP 4 2																○	○	○			○	○		○	○			○	○		○		
		保育内容実践演習 B	2	4	6 CE-25 CNP 4 2																○	○	○			○	○		○	○			○	○		○		
		保育内容実践演習 C	2	4	6 CE-25 CNP 4 2																○	○	○			○	○		○	○			○	○		○		
		障害児保育	2	3	6 CE-25 CNP 3 2																					○	○		○	○	○	○	○			○	○	○
		相談援助	2	2	6 CE-24 SOW 2 2												○	○	○								○					○			○	○	○	○

（11）国際学部　国際文化学科

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4					DP5					
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 地域の文化・歴史・社会に関する知識	02 多文化共生に関する知識	03 グローカリゼーションに関する知識	04 文化事象の分析方法	01 専門的日本語資料の読解力	02 専門的外国語資料の読解力	03 専門にかかわる情報収集力	04 文化事象についての分析・考察力	05 専門的コミュニケーション力	06 論理的表現力
演習		国際文化演習Ⅰa	2	1	8 IS-14 ARS 1 2	○	○	○	○							○	○		○		○	○		○	○				○	○					
		国際文化演習Ⅰb	2	1	8 IS-14 ARS 1 2	○	○	○	○							○	○		○		○	○		○	○				○	○					
		国際文化演習Ⅱa	2	2	8 IS-14 ARS 2 2	○	○	○	○								○	○	○		○	○			○	○			○	○		○			○
		国際文化演習Ⅱb	2	2	8 IS-14 ARS 2 2	○	○	○	○								○	○	○		○	○			○	○			○	○		○			
		国際文化演習Ⅲa	2	3	8 IS-14 ARS 3 2												○	○	○			○			○		○	○		○	○	○	○	○	○
		国際文化演習Ⅲb	2	3	8 IS-14 ARS 3 2												○	○	○			○			○		○	○		○	○	○	○	○	○
		国際文化演習Ⅳa	2	4	8 IS-14 ARS 4 2												○	○	○	○		○			○					○	○	○	○	○	○
		国際文化演習Ⅳb	2	4	8 IS-14 ARS 4 2												○	○	○	○		○			○					○	○	○	○	○	○
概論		国際文化概論	2	1	8 IS-14 ARS 1 1											○									○	○	○	○	○						
		国際言語概論	2	1	8 IS-12 LIN 1 1											○									○	○	○	○	○						
講義		比較文化講義1	2	1～4	8 IS-14 ARS 1 1										○						○	○	○			○	○		○			○	○			
		比較文化講義2	2	1～4	8 IS-14 ARS 1 1										○						○	○	○			○	○		○			○	○			
		英米の文化1	2	2～4	8 IS-14 ARS 2 1										○						○					○			○	○	○		○			
		英米の文化2	2	2～4	8 IS-14 ARS 2 1										○						○					○			○	○	○		○			
		英米の文化3	2	1～4	8 IS-14 ARS 1 1										○											○	○		○				○		○
		英米の文化4	2	1～4	8 IS-14 ARS 1 1										○											○	○		○				○		○
		英米の文化5	2	1～4	8 IS-14 ARS 1 1	○	○	○	○										○		○	○				○	○		○				○		
		英米の文化6	2	1～4	8 IS-14 ARS 1 1	○	○	○	○										○		○	○				○			○				○		
		英語学概論1	2	1～4	8 IS-12 ENL 1 1										○											○	○	○	○						
		英語学概論2	2	1～4	8 IS-12 ENL 1 1										○											○	○		○						
		英語のしくみ1	2	1～4	8 IS-12 ENL 1 1	○	○									○										○					○				
		英語のしくみ2	2	1～4	8 IS-12 ENL 1 1	○	○									○										○					○				
		ヨーロッパの文化1	2	1～2	8 IS-14 ARS 1 1											○										○							○		○
		ヨーロッパの文化2	2	1～2	8 IS-14 ARS 1 1											○										○									○
		東アジアの文化1	2	1～2	8 IS-14 ARS 1 1											○										○									○
		東アジアの文化2	2	1～2	8 IS-14 ARS 1 1											○										○									
		日本ポップカルチャー論	2	3～4	8 IS-14 ARS 3 1									○		○	○									○		○							○
		国際文化特殊講義1	2	3～4	8 IS-14 ARS 3 1																					○			○						○
		国際文化特殊講義2	2	3～4	8 IS-14 ARS 3 1																					○			○						○
		国際文化特殊講義3	2	3～4	8 IS-14 ARS 3 1																					○			○						
		国際文化特殊講義4	2	3～4	8 IS-14 ARS 3 1																					○			○						○
		国際文化特殊講義5	2	3～4	8 IS-11 CPI 3 1																				○	○			○						○
		国際文化特殊講義6	2	3～4	8 IS-14 ARS 3 1																					○			○						
		アメリカ文学講義1	2	2～4	8 IS-12 ELL 2 1	○									○											○	○		○	○	○		○		○
		アメリカ文学講義2	2	2～4	8 IS-12 ELL 2 1	○									○											○	○		○	○	○		○		○
		イギリス文学講義1	2	2～4	8 IS-12 ELL 2 1	○									○											○			○	○	○		○		
		イギリス文学講義2	2	2～4	8 IS-12 ELL 2 1	○									○											○			○	○	○		○		
		英文学概論1	2	1～4	8 IS-12 ELL 1 1										○											○	○		○				○		
		英文学概論2	2	1～4	8 IS-12 ELL 1 1										○											○	○		○				○		
		ドイツ文学講義1	2	3～4	8 IS-12 EUL 3 1																					○			○				○		○
		ドイツ文学講義2	2	3～4	8 IS-12 EUL 3 1																					○			○				○		○
		越境するアジアの文化1	2	3～4	8 IS-13 HAA 3 1																					○	○	○				○			○
		越境するアジアの文化2	2	3～4	8 IS-13 HAA 3 1																					○	○	○							
		現代朝鮮半島事情	2	1～4	8 IS-13 HAA 1 1										○											○	○		○				○		
		世界の宗教と文化	2	2～4	8 IS-11 RES 2 1											○									○	○	○								
		西洋史講義1	2	2～4	8 IS-13 HEA 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○									
		西洋史講義2	2	2～4	8 IS-13 HEA 2 1	○	○	○									○	○	○	○						○									
		フランス文学講義1	2	3～4	8 IS-12 EUL 3 1																					○			○						○
		フランス文学講義2	2	3～4	8 IS-12 EUL 3 1																					○			○						○
		京都の歴史と文化	2	1～4	8 IS-13 JAH 1 1	○	○	○									○	○	○	○															
		グローカル・ボランティア論	2	1	8 IS-14 ARS 1 1									○		○											○	○							
		グローカル・キャリア論	2	1～3	8 IS-14 TOS 2 1					○				○	○	○											○	○					○		
		国際関係論1	2	3～4	8 IS-22 INR 4 1					○		○		○	○	○										○		○							
		国際関係論2	2	3～4	8 IS-22 INR 4 1					○		○		○	○	○										○		○							
		キリスト教学1	2	1～4	8 IS-11 PHE 2 1																					○	○								
		キリスト教学2	2	1～4	8 IS-11 PHE 2 1																					○	○								
実践研究	A	英語基礎演習a	2	1	8 IS-12 ENL 1 2	○	○	○	○							○					○	○				○									
		英語基礎演習b	2	1	8 IS-12 ENL 1 2	○	○	○	○							○					○	○				○									
	B	実践文化演習a（フィールドラーニング）	2	2	8 IS-14 HUG 2 2									○	○	○							○										○		
		実践文化演習b（語学集中　ドイツ語）	2	2	8 IS-12 LIN 2 2	○	○	○	○												○					○								○	
		実践文化演習c（語学集中　フランス語）	2	2	8 IS-12 LIN 2 2	○	○	○	○												○					○									
		実践文化演習d（語学集中　中国語）	2	2	8 IS-12 LIN 2 2	○	○	○	○												○					○									
		実践文化演習e（語学集中　韓国・朝鮮語）	2	2	8 IS-12 LIN 2 2	○	○	○	○												○					○									
		実践文化演習f（語学研修　英語）	4	2	8 IS-12 ENL 2 2	○	○	○	○					○	○						○	○	○			○	○						○		
		実践文化演習g（語学研修　中国語1）	4	1	8 IS-12 LIN 1 2	○	○	○	○					○	○	○					○		○										○		
		実践文化演習h（語学研修　中国語2）	4	1	8 IS-12 LIN 1 2	○	○	○	○					○	○	○					○		○										○		
		実践文化演習i（語学研修　韓国・朝鮮語）	4	1	8 IS-12 LIN 1 2	○	○	○	○					○	○	○					○		○			○							○		
		実践文化演習j（文化研修　ヨーロッパ）	2	1	8 IS-14 ARS 1 2									○	○	○					○		○			○							○	○	
		実践文化演習k（文化研修　インド）	2	1	8 IS-14 ARS 1 2									○	○	○					○		○										○		
		実践文化演習l（文化研修　中国）	2	1	8 IS-14 ARS 1 2									○	○	○					○		○										○		
		グローカル・キャリア演習	2	2	8 IS-14 TOS 2 2					○				○		○					○		○				○	○							
		English Workshop & Camp	2	2～3	8 IS-12 ENL 2 2	○	○	○	○					○	○				○		○	○				○					○				
		English Workshop 2	2	2～4	8 IS-12 ENL 2 2	○	○	○	○						○				○		○	○	○			○					○				
		English Workshop 3	2	2～4	8 IS-12 ENL 3 2	○	○	○	○						○							○	○			○					○				
		English Workshop 4	2	2～4	8 IS-12 ENL 3 2	○	○	○	○						○						○	○				○					○				
	C	Pop Culture in English 1	2	2～3	8 IS-12 ENL 2 2	○	○	○	○						○											○	○		○		○				
		Pop Culture in English 2	2	2～3	8 IS-12 ENL 2 2	○	○	○	○						○											○	○		○		○				
		World News	2	2～3	8 IS-12 ENL 2 2	○	○	○	○						○					○	○					○		○			○		○		
		Global Communication	2	2～3	8 IS-12 ENL 2 2	○	○	○	○						○						○					○		○			○		○		

科目区分		授業科目	履修単位	学年配当	ナンバリングコード	DP1				DP2							DP3								DP4					DP5					
						01 読む	02 書く	03 聞く	04 話す	01 社会的職業的自立に係る教養	02 自然科学に係る教養	03 人文社会科学に係る教養	04 ICTに係る知識	05 自己理解	06 他者理解・共感	07 多様性理解	01 分析的思考	02 批判的思考	03 論理的思考	04 創造的思考	05 コミュニケーション	06 プレゼンテーション	07 協調・協働	08 情報リテラシー	00 建学の理念に係る基本的理解	01 地域の文化・歴史・社会に関する知識	02 多文化共生に関する知識	03 グローカリゼーションに関する知識	04 文化事象の分析方法	01 専門的日本語資料の読解力	02 専門的外国語資料の読解力	03 専門にかかわる情報収集力	04 文化事象についての分析・考察力	05 専門的コミュニケーション力	06 論理的表現力
実践研究	C	Teaching English to Children 1	2	2～3	8 IS-12 FLE 2 2	○	○	○	○											○	○	○	○												
		Teaching English to Children 2	2	2～3	8 IS-12 FLE 2 2	○	○	○	○											○	○	○	○												
		言語文化演習（英語）1	2	3～4	8 IS-12 ENL 3 2	○	○	○	○													○				○	○				○		○	○	
		言語文化演習（英語）2	2	3～4	8 IS-12 ENL 3 2	○	○	○	○													○				○	○				○		○	○	
		言語文化演習（ドイツ語）1	2	3～4	8 IS-12 LIN 3 2	○																				○					○		○	○	
		言語文化演習（ドイツ語）2	2	3～4	8 IS-12 LIN 3 2	○																				○					○		○	○	
		言語文化演習（フランス語）1	2	3～4	8 IS-12 LIN 3 2	○																									○		○	○	
		言語文化演習（フランス語）2	2	3～4	8 IS-12 LIN 3 2	○																									○		○	○	
		言語文化演習（中国語）1	2	3～4	8 IS-12 LIN 3 2	○																									○		○	○	
		言語文化演習（中国語）2	2	3～4	8 IS-12 LIN 3 2	○																									○		○	○	
		言語文化演習（韓国・朝鮮語）1	2	3～4	8 IS-12 LIN 3 2	○																									○		○	○	
		言語文化演習（韓国・朝鮮語）2	2	3～4	8 IS-12 LIN 3 2	○																									○		○	○	
		表現文化演習 1	2	2～4	8 IS-14 ARS 2 2									○	○	○					○		○			○							○		
		表現文化演習 2	2	2～4	8 IS-14 ARS 2 2									○	○	○					○	○	○			○						○	○		
		西洋史文献を読む 1	2	2～4	8 IS-13 HEA 2 2	○		○									○	○	○							○			○	○	○				
		西洋史文献を読む 2	2	2～4	8 IS-13 HEA 2 2	○		○									○	○	○							○			○	○	○				

「ナンバリングコード　コード一覧表」

ナンバリングコード例：「**4 SS − 11 CPI 1 1**」（文学部開講／真宗学科／思想、芸術およびその関連分野／中国哲学、印度哲学および仏教学関連／基礎／講義）

①開講学部	
3	全学共通
4	文学部
5	社会学部
6	教育学部
8	国際学部
9	諸課程

②学位プログラム（学科・コース）	
SS	真宗学科
BS	仏教学科
PH	哲学科
HI	歴史学科
LI	文学科
SO	現代社会学科/社会学科
CD	ｺﾐｭﾆﾃｨﾃﾞｻﾞｲﾝ学科
PE	教育学科（初等教育コース）
CE	教育学科（幼児教育コース）
IS	国際文化学科
HU	人文情報学科
EP	教育・心理学科
AL	全学共通

③学問分野（大）	
11	思想、芸術およびその関連分野
12	文学、言語学およびその関連分野
13	歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野
14	地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野
21	法学およびその関連分野
22	政治学およびその関連分野
23	経済学、経営学およびその関連分野
24	社会学およびその関連分野
25	教育学およびその関連分野
26	心理学およびその関連分野
31	代数学、幾何学およびその関連分野
32	解析学、応用数学およびその関連分野
36	天文学およびその関連分野
37	地球惑星科学およびその関連分野
61	情報科学、情報工学、応用情報学およびその関連分野
73	個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野
98	社会医学、看護学、スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野

④学問分野（小）	
PHE	哲学および倫理学関連
CPI	中国哲学、印度哲学および仏教学関連
RES	宗教学関連
HIT	思想史関連
AAS	美学および芸術論関連
HIA	美術史関連
SSH	科学社会学および科学技術史関連
JLT	日本文学関連
CHL	中国文学関連
ELL	英文学および英語圏文学関連
EUL	ヨーロッパ文学関連
LIG	文学一般関連
LIN	言語学関連
JLN	日本語学関連
ENL	英語学関連
JLE	日本語教育関連
FLE	外国語教育関連
HSG	史学一般関連
JAH	日本史関連
HAA	アジア史およびアフリカ史関連
HEA	ヨーロッパ史およびアメリカ史関連
ARC	考古学関連
CAS	文化財科学関連
MUS	博物館学関連
GEO	地理学関連
HUG	人文地理学関連
CAF	文化人類学および民俗学関連
LTH	基礎法学関連
PUL	公法学関連
SOL	社会法学関連
NFL	新領域法学関連
POL	政治学関連
INR	国際関係論関連
ECT	理論経済学関連
ECP	経済政策関連
SOC	社会学関連
SOW	社会福祉学関連
EDU	教育学関連
SOE	教育社会学関連
CNP	子ども学および保育学関連
ESS	教科教育学および初等中等教育学関連
SNE	特別支援教育関連
EDT	教育工学関連
SOP	社会心理学関連
EDP	教育心理学関連
CLP	臨床心理学関連
EXP	実験心理学関連
AST	天文学関連
SPC	宇宙惑星科学関連
SES	固体地球科学関連
BIO	地球生命科学関連
ABS	水圏生産科学関連
GEN	遺伝学関連
EVB	進化生物学関連
HPH	衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない
SPS	スポーツ科学関連
PEP	体育および身体教育学関連
NSH	栄養学および健康科学関連
STS	統計科学関連
ARS	地域研究関連
TOS	観光学関連
GES	ジェンダー関連
LIH	図書館情報学および人文社会情報学関連
COS	認知科学関連
ALG	代数学関連
GMT	幾何学関連
BAN	基礎解析学関連
TIN	情報学基礎関連

⑤水準	
1	基礎
2	発展
3	実践
4	研究

⑥授業形態	
1	講義
2	演習
3	外国語
4	実技
5	実習

3. 各学部・学科の人物養成の目的（学則第３条の２第２項）

（1）文学部

真宗学科

釈尊の教説や親鸞の著作などに依り、自己を問い、人間を問うとともに、親鸞思想とその思想的背景の研究を進め、仏教精神に基づく豊かな人物の養成をめざす。

仏教学科

仏教の専門的な知見を通して、深く人間を理解し、現代社会のさまざまな問題の根底に存在する課題を見抜いて、他とともに生きようとする人物の養成をめざす。

哲学科

人間や世界にかかわる根本的な問題を東西の思想伝統を踏まえつつ考究し、多様かつ柔軟な視点と論理的思考力を培い、現代の諸問題に対処することのできる人物の養成をめざす。

歴史学科

日本と世界の歴史及びそれと不可分な諸宗教・思想、とくに仏教を対象とした歴史学研究を通じて、現代社会で直面するさまざまな課題を多角的かつ的確に分析し、それに対処しうる人物の養成をめざす。

文学科

日本と中国の言葉や文学を研究対象とし、テキストの精読・分析・創出を通して言語感覚の錬磨と多様な知識の修得に励み、人間と社会への理解力及び洞察力を持った人物の養成をめざす。

（2）社会学部

現代社会学科

現代の多様な社会文化事象を対象に、社会学と関連学問の視点と方法に基づく主体的探究学修を進めることを通じて、現代社会の特性と自らの立ち位置を的確に把握し、人々の間でビジョンとルールを提案・交渉することができる人物の養成をめざす。

コミュニティデザイン学科

身近な地域コミュニティで生起する諸課題に対して、「人と人とをつなぐ」実践手法を進めることにより、広い領域内容から「コミュニティ」のこれからを「デザイン」していく理論とスキルを身につけた人物の養成をめざす。

（3）教育学部

教育学科　初等教育コース

仏教精神に基づく宗教的情操を身につけ、インクルーシブ教育など社会的な要請に応えようとする責任感を持ち、慈しみの心を持って他者と接することのできる、子どもの「育ち」を担う教育者の養成をめざす。

教育学科　幼児教育コース

仏教精神に基づく宗教的情操を身につけ、インクルーシブ教育など社会的な要請に応えようとする責任感を持ち、慈しみの心を持って他者と接することのできる、子どもの「育ち」を担う保育者の養成をめざす。

（4）国際学部

国際文化学科

欧米とアジア地域を研究対象とし、その文化事象を考究することで自己と他者理解に努め、さまざまな背景をもつ人びとに寄りそい、仏教的な「相互敬愛」を実現する人物の養成をめざす。

４．学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

大谷大学では、卒業認定・学位授与の方針（DP）に掲げる卒業時に身につけるべき能力の修得状況を、機関レベル（大学全体）、教育課程レベル（学部・学科）、科目レベル（授業）の３段階で評価する方法を定めています。

１．機関レベル（大学全体）

学生の志望進路に対する就職率・進学率、卒業年次に実施する学修行動調査によって修得状況を評価します。

２．教育課程レベル（学部・学科）

卒業・進級要件の達成状況（単位修得状況・GPA）、卒業研究の成果・到達確認シート（研究計画書）の内容及び学部・学科の所定の教育課程における資格・免許の取得状況によって修得状況を評価します。

３．科目レベル（授業）

シラバスで提示された成績評価基準に基づいて修得状況を評価します。

第２章　卒業要件及び開講科目表

1．卒業の要件（学則第 19 条）

本学を卒業し学士の学位を得るためには、学生は 4 年以上在学し、次の基準及び卒業単位一覧表に基づいて、124 単位以上を履修しなければなりません。

(1) 共通基礎科目

共通基礎科目は、総合科目として「人間学」、大学導入科目として「学びの発見」「ICT 入門」、必修外国語として「英語」並びに「初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、又は日本語［外国人留学生に限る］）」を、次のとおり履修しなければなりません。

※「初修外国語」は文学部・国際学部のみ必修となります。

ア　総合科目　計８単位以上
　「人間学Ⅰ」　４単位
　「人間学Ⅱ」　４単位以上
イ　大学導入
　「学びの発見」２単位
　「ICT 入門」２単位
ウ　必修外国語
　文学部
　「英語Ⅰ」４単位及び「初修外国語Ⅰ」４単位
　「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」４単位
　社会学部
　「英語Ⅰ」４単位及び「初修外国語Ⅰ」０単位以上
　「英語Ⅱ」４単位及び「初修外国語Ⅱ」０単位以上
　教育学部
　教育学科初等教育コース
　「英語Ⅰ」4 単位及び「初修外国語Ⅰ」0 単位以上
　「英語Ⅱ」4 単位及び「初修外国語Ⅱ」0 単位以上
　教育学科幼児教育コース
　「英語Ⅰ」4 単位及び「初修外国語Ⅰ」0 単位以上
　国際学部
　「英語Ⅰ」４単位及び「初修外国語Ⅰ」４単位
　「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」４単位
エ　選択外国語　０単位以上
　文学部　　0 単位以上
　社会学部　0 単位以上
　教育学部　0 単位以上
　国際学部　2 又は 8 単位以上

必要単位数に「以上」がついていない科目群・科目区分は、必要単位数以上の単位は卒業単位に含まれませんので注意してください。（例：「人間学Ⅰ」、「英語Ⅰ」）

(2) 学科専門科目

学科専門科目は、次のとおり履修しなければなりません。

文学部　　計 66 単位以上
社会学部　計 72 単位以上又は 80 単位以上
教育学部　計 86 単位以上
国際学部　計 66 単位以上又は 70 単位以上

(3) 現代総合科目

現代総合科目は、次のとおり履修しなければなりません。

文学部　　キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ４単位以上、合計 12 単位以上
社会学部　キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ２単位以上、合計６単位以上
教育学部　キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ２単位以上、合計６単位以上
国際学部　キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ４単位以上、合計 12 単位以上

(4) 自己選択科目

自己選択科目は、他学部又は他学科開講科目で履修した単位並びに他の大学等で認定された単位を自己選択科目として認定することができます。

詳細については、第２章「４．学部・学科別卒業単位配当表」、第５章「１．大谷大学履修規程」を参照してください。

【卒業単位一覧表】

学部		文学部					社会学部			教育学部		国際学部
科目群	学科	真宗学科	仏教学科	哲学科	歴史学科	文学科	現代社会学科	コミュニティデザイン学科		教育学科		国際文化学科
								地域政策学コース・情報メディアコース	社会福祉学コース	初等教育コース	幼児教育コース	
共通基礎科目	総合科目	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上
	大学導入	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	必修外国語	12	12	12	12	12	8 以上	8 以上	8 以上	8 以上	4 以上	12
	選択外国語	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	2 又は 8 以上
	小計	24 以上	24 以上	24 以上	24 以上	24 以上	20 以上	20 以上	20 以上	20 以上	16 以上	26 又は 32 以上
学科専門科目	演習	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	概論	4 以上	4 以上	8 以上	10 以上	8 以上	8	8 以上	8 以上	4	4	4
	講義	16 以上	20 以上	22 以上	16 以上	20 以上	20 以上	28 以上	34 以上	36 以上	34 以上	18 又は 26 以上
	実践研究	22 以上	18 以上	12 以上	16 以上	14 以上	20 以上	20 以上	14 以上	22 以上	24 以上	12 又は 24 以上
	卒業研究（卒業論文・卒業研究・卒業制作）	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	小計	66 以上	66 以上	66 以上	66 以上	66 以上	72 以上	80 以上	80 以上	86 以上	86 以上	66 又は 70 以上
現代総合科目	キャリア形成系	4 以上	4 以上	4 以上	4 以上	4 以上	2 以上	2 以上	2 以上	2 以上	2 以上	4 以上
	自然生命系	4 以上	4 以上	4 以上	4 以上	4 以上	2 以上	2 以上	2 以上	2 以上	2 以上	4 以上
	歴史文化系	4 以上	4 以上	4 以上	4 以上	4 以上	2 以上	2 以上	2 以上	2 以上	2 以上	4 以上
	小計	12 以上	12 以上	12 以上	12 以上	12 以上	6 以上	6 以上	6 以上	6 以上	6 以上	12 以上
自己選択科目		0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上	0 以上
合計		124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上	124 以上

2．単位制　…45 時間の学修で１単位！

大学における授業はその学修量を「単位」という言葉で表します。「１単位の授業科目」は「45 時間の学修を必要とする内容（自学自習時間を含む）」をもって構成することが標準となっています。

１単位	＝	授業時間	＋	準備学習 復習	＝	45 時間

本学の授業は１セメスターを 15 週として前期・後期に分かれています。週１回あたりは各授業とも１時間 30 分ですが、制度上これを２時間として計算します。

各科目の単位数は、この授業時間数と自習時間数、そして１単位あたりの学修量をもとに次のように計算します。

＜学修量と単位数の例＞※授業時間について、講義・演習は 15 時間、外国語・実習・実技は 30 時間で計算した場合です。

授業種別	１週あたりの学修量	１セメスター	学期学修量	１単位あたりの学修量	単位数
講義・演習	授業２時間＋自習４時間＝６時間［実質90分］	15 週	90 時間	45 時間	2
外国語 実験・実習・実技	授業２時間＋自習１時間＝３時間［実質90分］	15 週	45 時間	45 時間	1

講義・演習

原則として、15 ～ 30 時間の授業時間と自習時間を合わせた 45 時間の学修をもって１単位とします。

外国語・実験・実習・実技

原則として、30 ～ 45 時間の授業時間と自習時間を合わせた 45 時間の学修をもって１単位とします。

授業時間

時限	1	2	昼休み	3	4	5	6
時間	9:00～10:30	10:40～12:10	12:10～13:00	13:00～14:30	14:40～16:10	16:20～17:50	18:00～19:30

3．単位修得の認定

［1］授業科目の単位の修得（聴講登録から成績評価まで）

本学では、学年始めに１年間の学習計画を立て、各学期で履修しようとする授業科目について、定められた期日に届出をすることになっています。これを「聴講登録」と呼びます。「聴講登録」した科目のみ試験を受けることができ、単位を修得することになります。したがって、未登録や、間違った場合（登録エラー）は、たとえ授業を受けても受験資格が与えられません。

また、本学では、「単位修得の認定」について「授業科目を履修し、授業に３分の２以上出席した者には、認定の上、所定の単位を与える。」（学則第 26 条）と規定しています。

すなわち、**聴講登録し、受講（授業に出席）した上で試験を受け、合格点（60 点以上）を得られればその科目の単位が認定される**ということになります。

なお、卒業に必要な科目で前期にしか開講していない科目や、同様に後期にしか開講していない科目があります。それらの科目が不合格になると、４年間で卒業できなくなるおそれがありますので十分注意してください。

聴講登録 → 受　講 → 試　験 → 成績評価

※　詳細については、「第３章　聴講登録」「第４章　成績評価」を参照してください。

［2］その他の単位の認定（第５章「1．大谷大学履修規程」参照）

本学では「授業科目の単位の修得」の他に、以下の単位の認定を行っています。

①　入学前の既修得単位の扱い

入学前に修得済みの単位（大学［専門職大学を含む］、短期大学［専門職短期大学を含む］、高等専門学校又は専修学校の専門課程のものに限る）又は高等学校の専攻科及び中等教育学校の後期課程の専攻科の課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の基準を満たすものに限る）があれば、申請により卒業所要単位の一部として認定することができます。

ただし、
- a．40 単位が上限
- b．入学した年度当初にのみ認定

となりますので、本年度入学生で該当する希望者は、４月のオリエンテーション期間中に教務課で申請の手続きをしてください。

なお編入学生の単位については、取り扱いが異なります。詳しくは４月のオリエンテーションで説明します。

②　在学中の他の大学又は短期大学の授業科目の履修

在学中に他の大学（専門職大学含む）又は短期大学（専門職短期大学を含む）の授業科目を履修し、単位を修得すれば、申請により卒業所要単位の一部として認定することができます。

ただし、
- a．40 単位が上限
- b．①の「入学前の既修得単位」を認定されている人は、その単位も合わせて 40 単位が上限
- c．認定は単位を修得した当該学期末

となります。希望者は各学期毎に教務課で手続方法を確認してください。

ただし、指定の期日に手続きが間に合わない場合は、事前に教務課まで相談に来てください。

在学中に他の大学又は短期大学の授業科目を履修するには…

A．大学コンソーシアム京都「単位互換制度」

公益財団法人大学コンソーシアム京都の単位互換協定を締結している、他大学・短期大学の科目を受講することができます。この制度で受講した科目の単位は、前ページ［2］の②の単位として認定できます。

(手続き等の詳細については、第３章「7．大学コンソーシアム京都「単位互換制度」」および４月のオリエンテーション期間に実施する説明会にて確認してください。)

B．科目等履修生制度

「科目等履修生制度」を設けている大学・短期大学の科目等履修生となり、単位を修得する方法です。この単位も原則として前ページ［2］の②の単位として認定できます。

(詳細については、各大学に確認してください。)

C．留学制度

本学の留学規程に則って海外留学が認められた場合、留学中に海外の大学・短期大学で修得した単位は、前ページ［2］の②の単位として認定することができますので、教務課で手続方法を確認してください。

(留学制度全般に関することは GLOBAL SQUARE［慶聞館１階］で相談してください。)

4．学部・学科別卒業単位配当表

（第５章「1．大谷大学履修規程」第４条 参照）

学部・学科・コース別に記載された科目・単位数・履修学年は、原則として入学時のものを卒業するまで適用します。

［1］「学部・学科別卒業単位配当表」の見方について

卒業所要単位については、各学部・学科とも以下のように大きく４つの科目群に分かれています。

A．共通基礎科目…全学共通で、全員が必修の科目です。

B．学科専門科目…各学科毎の専門の科目です。

C．現代総合科目…キャリア形成系・自然生命系・歴史文化系の各系から選ぶ科目です。

D．自己選択科目…幅広い分野から履修した科目の単位を集計する領域です。

（例）

A．共通基礎科目 →

B．学科専門科目 →

C．現代総合科目 →

D．自己選択科目 →

〈文学部　真宗学科〉

区分			思想探究コース 現代臨床コース 国際コース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入		学びの発見 ICT入門	2 2	1 1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 4	1 1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	4	2 2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			24以上		
学科専門科目	演習		真宗学演習Ⅰ 真宗学演習Ⅱ 真宗学演習Ⅲ 真宗学演習Ⅳ	4 4 4 4	1 2 3 4	卒業研究指導を含む
	概論		真宗学概論	4以上	3～4	
	講義	A	大乗仏教入門	2	2	仏教学科と共通
		B	親鸞の生涯と思想 親鸞思想の受容と展開 法然の生涯と思想 『教行信証』論 『歎異抄』論 真宗と諸宗教 インド仏教思想論 中国仏教思想論 日本仏教思想論 現代と真宗 真宗学特殊講義	8以上	1～4 2～4 1～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4	仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通
		C	浄土教史概説 真宗教団史 近代教学史 真宗典籍研究	4以上	2～4	
		D	宗教学概説 宗教史概論	2以上	1～4	
	実践研究	A	仏教文献基礎演習	4	1	仏教学科と共通
		B	教行信証＜総序・教巻＞を読む 教行信証＜行巻＞を読む 教行信証＜信巻＞を読む 教行信証＜証巻＞を読む 教行信証＜真仏土巻＞を読む 教行信証＜化身土巻＞を読む	6以上	3～4	
		C	浄土経典を読む 維摩経を読む 法華経を読む 浄土論註を読む 観経疏を読む 選択集を読む 正信偈を読む 欧文仏典を読む 真宗学特殊演習	10以上	※ 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 ※	仏教学科と共通 仏教学科と共通
		D	フィールドワーク１（思想探究） フィールドワーク２（現代臨床） フィールドワーク３（国際）	2以上	2～4 2～4 3～4	
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
	自然生命系		※	4以上	※	
	歴史文化系		※	4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

※は、第２章「5．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

［2］受講科目の選択について

「学部・学科別卒業単位配当表」をもとに実際の受講科目を選ぶためには、今年度開講する科目を記載した第２章「５．開講科目表」を参照してください。

授業の内容については「授業計画（シラバス）」で確認してください。

A．共通基礎科目 は…

1．「開講科目表」の「共通基礎科目」のページから選んでください。
2．「人間学Ⅱ」と「選択外国語」以外は、クラス指定をしていますので、OTANI UNIPA 等で確認のうえ、指定クラスを履修してください。

B．学科専門科目 は…

「開講科目表」の「○○学科」のページから選んでください。

C．現代総合科目 は…

「開講科目表」の「現代総合科目」のページから幅広く選んでください。

D．自己選択科目 は…

1．「開講科目表」から幅広く選んでください。
2．他学部・学科の「学科専門科目」から、開講科目表の右側の「他学部」「他学科」の区分欄が○の科目に限り履修できます。

注意！

各科目群に設定されている必要単位数を合計しても、「124 単位」にはなりません。そのため、**合計履修単位数を「124 単位以上」にするためには、いずれか、もしくはそれぞれの科目群・科目区分において、必要単位数を上回る単位を修得することが必要**です。ただし、必要単位数に「以上」がついていない科目群・科目区分は、必要単位数以上の単位を取得することはできないので注意してください。

［3］履修学年配当について

「卒業単位配当表」に記した履修学年配当の中に、「１～４」「２～４」など幅のある科目区分があります。「開講科目表」の学年配当に従って登録・履修してください。

〈文学部　真宗学科〉

区分			思想探究コース 現代臨床コース 国際コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入		学びの発見 ICT入門	2 2	1 1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 4	1 1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	4	2 2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			24以上		
学科専門科目	演習		真宗学演習Ⅰ 真宗学演習Ⅱ 真宗学演習Ⅲ 真宗学演習Ⅳ	4 4 4 4	1 2 3 4	卒業研究指導を含む
	概論		真宗学概論	4以上	3～4	
	講義	A	大乗仏教入門	2	2	仏教学科と共通
		B	親鸞の生涯と思想 親鸞思想の受容と展開 法然の生涯と思想 『教行信証』論 『歎異抄』論 真宗と諸宗教 インド仏教思想論 中国仏教思想論 日本仏教思想論 現代と真宗 真宗学特殊講義	8以上	1～4 2～4 1～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4	仏教学科と共通 仏教学科と共通 仏教学科と共通
		C	浄土教史概説 真宗教団史 近代教学史 真宗典籍研究	4以上	2～4	
		D	宗教学概説 宗教史概論	2以上	1～4	
	実践研究	A	仏教文献基礎演習	4	1	仏教学科と共通
		B	教行信証＜総序・教巻＞を読む 教行信証＜行巻＞を読む 教行信証＜信巻＞を読む 教行信証＜証巻＞を読む 教行信証＜真仏土巻＞を読む 教行信証＜化身土巻＞を読む	6以上	3～4	
		C	浄土経典を読む 維摩経を読む 法華経を読む 浄土論註を読む 観経疏を読む 選択集を読む 正信偈を読む 欧文仏典を読む 真宗学特殊演習	10以上	※ 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 ※	仏教学科と共通 仏教学科と共通
		D	フィールドワーク１（思想探究） フィールドワーク２（現代臨床） フィールドワーク３（国際）	2以上	2～4 2～4 3～4	
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
	自然生命系		※	4以上	※	
	歴史文化系		※	4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

※は、第２章「５．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈文学部　仏教学科〉

区分			現代仏教コース 仏教思想コース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	4	1	
			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	4	1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ	4	2	
			初修外国語Ⅱ		2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			24以上		
学科専門科目	演習		仏教学演習Ⅰ	4	1	
			仏教学演習Ⅱ	4	2	
			仏教学演習Ⅲ	4	3	
			仏教学演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論		仏教学概論	4以上	1～4	
	講義	A	大乗仏教入門	2	2	
		B	インド仏教思想論	10以上	2～4	
			中国仏教思想論		2～4	
			日本仏教思想論		2～4	
			中国仏教史		2～4	歴史学科と共通
			日本仏教史		2～4	歴史学科と共通
			浄土教史概説		2～4	真宗学科と共通
			宗教史		3～4	哲学科と共通
		C	インド学	8以上	2～4	
			現代仏教論		2～4	
			現代と真宗		2～4	真宗学科と共通
			死生学		1～4	哲学科と共通
			生命倫理		1～4	哲学科と共通
			人間関係学		1～4	哲学科と共通
			地域仏教論		2～4	
			仏教学特殊講義		※	
	実践研究	A	仏教文献基礎演習	4	1	真宗学科と共通
		B	現代仏教演習	12以上	2～4	
			地域仏教演習		2～4	
			初期仏典を読む		2～4	
			浄土経典を読む		※	真宗学科と共通
			維摩経を読む		2～4	
			法華経を読む		2～4	
			欧文仏典を読む		2～4	真宗学科と共通
			仏教学特殊演習		2～4	
		C	臨床フィールドワーク	2以上	3～4	
			パーリ語		2～4	
			サンスクリット語		1～4	
			古典チベット語		2～4	
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
	自然生命系		※	4以上	※	
	歴史文化系		※	4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

※は、第２章「５．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈文学部　哲学科〉

区分			哲学・西洋思想コース 心理学・人間関係学コース 倫理学・公共哲学コース 宗教学・死生学コース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入		学びの発見 ICT入門	2 2	1 1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 4	1 1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	4	2 2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			24以上		
学科専門科目	演習		哲学科演習Ⅰ 哲学科演習Ⅱ 哲学科演習Ⅲ 哲学科演習Ⅳ	4 4 4 4	1 2 3 4	卒業研究指導を含む
	概論		哲学概論 倫理学概論 宗教学概論	8以上	1～4	
	講義	A	西洋哲学史（古代） 西洋哲学史（中世） 西洋哲学史（近世）	6以上	2～4	
		B	日本哲学 心理学入門 人間関係学 公共哲学 死生学 生命倫理 宗教史 キリスト教学 哲学科特殊講義	14以上	1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 3～4 1～4 2～4	
		C	人文地理学 世界地誌学 法学概論 政治学概論 国際関係論 国際政治学	2以上	2～4 2～4 1～4 1～4 3～4 3～4	3・4は歴史学科と共通 3・4は歴史学科と共通
	実践研究	A	批判的思考	2	1	
		B	古典ギリシャ語入門 ギリシャ哲学文献を読む 英米哲学文献を読む ドイツ哲学文献を読む フランス哲学文献を読む 哲学科特殊演習	10以上	1～4 2～4 2～4 2～4 2～4 ※	
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
	自然生命系		※	4以上	※	
	歴史文化系		※	4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

※は、第２章「５．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈文学部　歴史学科〉

区分			日本史コース・世界史コース 歴史ミュージアムコース・京都探究コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入		学びの発見 ICT入門	2 2	1 1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 4	1 1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	4	2 2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			24以上		
学科専門科目	演習		歴史学演習Ⅰ 歴史学演習Ⅱ 歴史学演習Ⅲ 歴史学演習Ⅳ	4 4 4 4	1 2 3 4	卒業研究指導を含む
	概論		史学概論 日本史学概論 東洋史学概論 西洋史学概論	10以上	1 1～4 1～4 1～4	「史学概論」4単位の履修を原則とする
	講義	A	日本古代史講義 日本中世史講義 日本近世史講義 日本近現代史講義 中国古代史講義 中国中世史講義 中国近世・近代史講義 西洋史講義 歴史学特殊講義	10以上	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 3～4 2～4 2～4 2～4	
		B	京都探究講義 日本民俗学 中国仏教史 日本仏教史 真宗史 文化交流史 京都の歴史と文化 歴史地理学 考古学 美術史 古文書学概論 建築史 博物館概論 博物館資料論 文化財概論 文化財保存科学論 博物館教育論	6以上	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～4 1～4 1～4 1～4 2	
		C	人文地理学 世界地誌学 自然地理学 経済学概論 国際経済学 社会学総論	0以上	2～4 2～4 1～4 1～4 3～4 1～4	1・2は哲学科と共通 1・2は哲学科と共通
	実践研究	A	歴史学基礎演習	4	1	
		B	日本古代史料を読む 日本中世史料を読む 日本近世史料を読む 日本近現代史料を読む 中国古代・中世史料を読む 中国近世・近代史料を読む 交流史料を読む 西洋史文献を読む 京都探究調査演習 歴史学特殊演習 古文書演習 文化財調査演習 古文書解読法 漢文訓読法 博物館展示論 展示実習	12以上	2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 2～4 1～4 1～2 3 4	
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
	自然生命系		※	4以上	※	
	歴史文化系		※	4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

※は、第2章「5．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈文学部　文学科〉

区分			日本文学コース 現代文芸コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入		学びの発見 ICT入門	2 2	1 1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 4	1 1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	4	2 2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			24以上		
学科専門科目	演習		文学科演習Ⅰ 文学科演習Ⅱ 文学科演習Ⅲ 文学科演習Ⅳ	4 4 4 4	1 2 3 4	卒業研究指導を含む
	概論		国文学概論 国語学概論 中国文学概論 現代文芸概論	8以上	1～4	
	講義	A	日本文学史 国文法講義 中国語学講義 文藝塾講義 書道	8以上	1～4	
		B	古典文学 近現代文学 文章表現学 中国文学史 中国思想史 中国文献学 アメリカ文学講義 イギリス文学講義 ドイツ近現代文学	12以上	2～4	 国際文化学科と共通 国際文化学科と共通 国際文化学科と共通
		C	仏教文学特殊講義 中国文学特殊講義		3～4	
	実践研究	A	文学鑑賞 漢文訓読演習 文藝塾実践演習Ⅰ	14以上	1～4	
		B	古典文学講読 近現代文学講読 中国文学講読 言語技術演習 文学教材講読 文藝塾実践演習Ⅱ		2～4	
		C	仏教文学特殊演習 中国文学特殊演習		3～4	
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
	自然生命系		※	4以上	※	
	歴史文化系		※	4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

※は、第２章「５．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈社会学部　現代社会学科〉

区分			現代社会学コース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入		学びの発見 ICT入門	2 2	1 1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 0以上	1 1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	4 0以上	2 2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			20以上		
学科専門科目	演習		社会学演習Ⅰ 社会学演習Ⅱ 社会学演習Ⅲ 社会学演習Ⅳ	4 4 4 4	1 2 3 4	卒業研究指導を含む
	概論		仏教社会論 社会学概論 現代社会基礎 社会学入門	8	2 2 1 1	
	講義		現代社会論　現代文化論 人間関係論　文化社会学 心理学基礎　観光社会学 現代家族論　宗教と社会 ジェンダーと社会　*日本ポップカルチャー論* 比較心理学　スポーツと社会 社会心理学　消費社会論 現代社会とコミュニケーション　文化人類学 教育社会学　アジア社会論 個人と公共　情報と倫理 社会問題論　情報社会論 地域社会論　*情報技術論* *地域福祉論*　社会思想史 環境社会学　社会学史 グローバリゼーション論　社会調査論 *市民活動論*　社会動態論 *ボランティア論*　比較社会論 *地方自治論*　経済と社会 犯罪と社会　現代社会とビジネス	20以上	※	
	実践研究	A	社会統計基礎 フィールドワーク技法基礎	4	1	
		B	フィールドワーク入門　社会学文献講読（経済） 探究フィールドワーク　エスノグラフィ講読・作成 ソーシャル・ドキュメント分析　文化人類学文献講読 社会統計演習　社会情報学文献講読 メディア・コミュニケーション分析　社会心理学文献講読 社会学文献講読（人間関係）　社会科学基礎演習 社会学文献講読（公共社会）　キャリア・スタディーズ 社会学文献講読（現代文化）	16以上	※	
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			72以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	2以上	※	
	自然生命系		※	2以上	※	
	歴史文化系		※	2以上	※	
	小計			6以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

［斜体は他学部・他学科と共通］　※は、第2章「5．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈社会学部　コミュニティデザイン学科〉　地域政策学コース・情報メディアコース

区分			地域政策学コース 情報メディアコース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入		学びの発見 ICT入門	2 2	1 1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 0以上	1 1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	4 0以上	2 2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			20以上		
学科専門科目	演習		コミュニティデザイン演習Ⅰ コミュニティデザイン演習Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅲ コミュニティデザイン演習Ⅳ	4 4 4 4	1 2 3 4	卒業研究指導を含む
	概論	A	*仏教社会論* コミュニティデザイン概論	4	2 1	
		B	地域政策概論 情報メディア概論 現代社会と福祉 *社会学概論*	4以上	1 1 1 2	
	講義		ボランティア論　情報技術論 生活問題論　コミュニティプランニング論 社会政策論　情報マーケティング論 メディアと市民社会　社会福祉発達史 市民活動論　災害と防災 *社会調査論*　ターミナルケア論 *宗教と社会*　メディア社会学 *情報と倫理*　高齢者福祉 *情報社会論*　障害者福祉 地域と経済　児童福祉 非営利組織マネジメント論　社会保障論 コミュニティ形成論　地域福祉論 ソーシャルビジネス論　心理学 地域と環境　社会学 *犯罪と社会*　公的扶助論 地方自治論　相談援助の基盤と専門職 *社会問題論*	28以上	※	
	実践研究	A	プロジェクト研究入門Ⅰ・Ⅱ	4	1	
		B	プロジェクト研究実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 情報技術基礎演習	16以上	※	
	卒業研究		卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	4	卒業年次に提出
	小計			80以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	2以上	※	
	自然生命系		※	2以上	※	
	歴史文化系		※	2以上	※	
	小計			6以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

［斜体は現代社会学科と共通］　　※は、第２章「５．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈社会学部　コミュニティデザイン学科〉 社会福祉学コース

区分			社会福祉学コース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ 人間学Ⅱ	4 4以上	1 2～4	
	大学導入		学びの発見 ICT入門	2 2	1 1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ	4 0以上	1 1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ 初修外国語Ⅱ	4 0以上	2 2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			20以上		
学科専門科目	演習		コミュニティデザイン演習Ⅰ コミュニティデザイン演習Ⅱ コミュニティデザイン演習Ⅲ コミュニティデザイン演習Ⅳ	4 4 4 4	1 2 3 4	卒業研究指導を含む
	概論	A	*仏教社会論* コミュニティデザイン概論	4	2 1	
		B	地域政策概論 情報メディア概論 現代社会と福祉 *社会学概論*	4以上	1 1 1 2	
	講義		ボランティア論　社会福祉発達史 生活問題論　災害と防災 社会政策論　ターミナルケア論 メディアと市民社会　メディア社会学 市民活動論　高齢者福祉 *社会調査論*　障害者福祉 *宗教と社会*　児童福祉 *情報と倫理*　社会保障論 *情報社会論*　地域福祉論 地域と経済　心理学 非営利組織マネジメント論　社会学 コミュニティ形成論　医学一般 ソーシャルビジネス論　社会福祉調査論 地域と環境　公的扶助論 *犯罪と社会*　司法福祉論 地方自治論　社会福祉施設経営論 *社会問題論*　保健医療サービス論 情報技術論　権利擁護と成年後見制度 コミュニティプランニング論　相談援助の基盤と専門職 情報マーケティング論　相談援助の理論と方法	34以上	※	
	実践研究	A	プロジェクト研究入門Ⅰ・Ⅱ	4	1	
		B	社会福祉援助技術演習1・2・3・4・5 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉学特殊演習Ⅰ・Ⅱ	10以上	※	
		C	プロジェクト研究実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	0以上	※	
	卒業研究		卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	4	卒業年次に提出
	小計			80以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	2以上	※	
	自然生命系		※	2以上	※	
	歴史文化系		※	2以上	※	
	小計			6以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

［斜体は現代社会学科と共通］　※は、第2章「5．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈教育学部　教育学科〉 初等教育コース

区分			初等教育コース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	4	1	
			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	0以上	1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ	4	2	
			初修外国語Ⅱ	0以上	2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			20以上		
学科専門科目	演習		小学校教育学演習Ⅰ	4	1	
			小学校教育学演習Ⅱ	4	2	
			小学校教育学演習Ⅲ	4	3	
			小学校教育学演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論		教育原論（小） *仏教と教育（初等）*	4	1 2	
	講義	A	教育学概論Ⅰ　特別支援教育概論(小)　教育人間学Ⅱ 教育学概論Ⅱ　教育人間学Ⅰ	6以上	※	
		B	教職入門　探求ゼミ（算数）Ⅰ　代数学概論 教育心理学　探求ゼミ（算数）Ⅱ　幾何学概論 発達心理学　探求ゼミ（算数）Ⅲ　解析学概論 教育社会学　探求ゼミ（理科）Ⅰ　代数学Ⅰ 教育行財政学　探求ゼミ（理科）Ⅱ　代数学Ⅱ 教育課程論　探求ゼミ（理科）Ⅲ　幾何学Ⅰ 特別活動論　授業心理学　幾何学Ⅱ 教育方法論　こどもの描画分析　解析学Ⅰ ICT活用教育の理論と方法　教室の心理学　解析学Ⅱ 生徒・進路指導論　障害のある子どもたち(初等)　確率・統計学概論 教育相談　障害児の教育（初等）　データの活用と分析 こども教育史Ⅰ　特別支援教育実践論（初等）　コンピュータ概論 こども教育史Ⅱ　防災・安全教育（初等）　プログラミング 生涯学習論　情報と社会 総合的な学習の時間の指導法	30以上	※	
	実践研究	A	実践体験活動演習（小）Ⅰ　実践体験活動演習（小）Ⅱ	4	1	
		B	初等科教育法（国語）　数学教育総論　教育実習指導（小） 初等科教育法（社会）　教科（国語）　教育実習（小） 初等科教育法（算数）　教科（社会）　教職実践演習（小） 初等科教育法（理科）　教科（算数）　小学校プログラミング演習 初等科教育法（生活）　教科（理科）　音楽実技Ⅰ-3 初等科教育法（音楽）　教科（生活）　音楽実技Ⅱ-3 初等科教育法（図画工作）　教科（音楽）　運動会実践演習 初等科教育法（家庭）　教科（図画工作）　おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ 初等科教育法（体育）　教科（家庭）　おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ 初等科教育法（外国語）　教科（体育） 道徳教育の理論と方法　教科（外国語）	18以上	※	
	卒業研究		卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	4	卒業年次に提出
	小計			86以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	2以上	※	
	自然生命系		※	2以上	※	
	歴史文化系		※	2以上	※	
	小計			6以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

［斜体は幼児教育コースと共通］　※は、第2章「5．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈教育学部　教育学科〉 幼児教育コース

区分			幼児教育コース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	4	1	
			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	0以上	1	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	0以上	1～4	
	小計			16以上		
学科専門科目	演習		幼児教育演習Ⅰ	4	1	
			幼児教育演習Ⅱ	4	2	
			幼児教育演習Ⅲ	4	3	
			幼児教育演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論		教育原論（幼） 仏教と教育（初等）	4	2	
	講義	A	*教育人間学Ⅰ*　発達心理学（幼）　保育原理Ⅰ *教育人間学Ⅱ*　特別支援教育概論（幼）	6以上	※	
		B	教職入門（幼）　*こどもの描画分析*　*特別支援教育実践論（初等）* *教育学概論Ⅰ*　*教室の心理学*　*防災・安全教育（初等）* *教育学概論Ⅱ*　音楽理論　*生涯学習論* *こども教育史Ⅰ*　保育原理Ⅱ　子ども家庭支援論 *こども教育史Ⅱ*　児童家庭福祉　子どもの保健 保育カリキュラム論　社会福祉　乳児保育Ⅰ 教育方法論（幼）　児童文化　子ども家庭支援の心理学 教育社会学（幼）　社会的養護　青年心理学 *授業心理学*　*障害のある子どもたち（初等）*　臨床心理学	28以上	※	
	実践研究	A	実践体験活動演習（幼）Ⅰ 実践体験活動演習（幼）Ⅱ　*運動会実践演習*　おおたに子育て支援演習	2 2以上	1 ※	
		B	保育実習Ⅰ　子どもの食と栄養　幼児音楽Ⅰ 保育実習指導Ⅰ　保育内容総論　幼児音楽Ⅱ 保育実習Ⅱ　幼児と健康　幼児音楽Ⅲ 保育実習指導Ⅱ　幼児と人間関係　器楽演習A 保育実習Ⅲ　幼児と環境　器楽演習B 保育実習指導Ⅲ　幼児と言葉　言語表現 教育実習（幼）　幼児と表現A　野外活動 教育実習指導（幼）　幼児と表現B　総合表現演習Ⅰ 保育心理士実習　保育内容（健康）の理論と方法　総合表現演習Ⅱ 保育心理士実習指導　保育内容（人間関係）の理論と方法　保育内容実践演習A 教職実践演習（幼）　保育内容（環境）の理論と方法　保育内容実践演習B 子ども理解の理論と方法（教育相談を含む）　保育内容（言葉）の理論と方法　保育内容実践演習C 乳児保育Ⅱ　保育内容（表現）の理論と方法　障害児保育 社会的養護演習　図画工作Ⅰ　相談援助 子どもの健康と安全　図画工作Ⅱ	20以上	※	
	卒業研究		卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	4	卒業年次に提出
	小計			86以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	2以上	※	
	自然生命系		※	2以上	※	
	歴史文化系		※	2以上	※	
	小計			6以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

［斜体は初等教育コースと共通］　※は、第2章「5．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈国際学部　国際文化学科〉 英語コミュニケーションコース

区分			英語コミュニケーションコース	必要単位数	履修学年配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	4	1	
			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	4	1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ	4	2	
			初修外国語Ⅱ		2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	8以上	1～4	「インテンシブ英会話（中級）1・2」の履修を原則とする
	小計			32以上		
学科専門科目	演習		国際文化演習Ⅰ	4	1	
			国際文化演習Ⅱ	4	2	
			国際文化演習Ⅲ	4	3	
			国際文化演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論		国際文化概論	2	1	
			国際言語概論	2	1	
	講義		比較文化講義	18以上	1～4	
			英米の文化		※	
			英語学概論		1～4	
			英語のしくみ		1～4	
			ヨーロッパの文化		1～2	
			東アジアの文化		1～2	
			日本ポップカルチャー論		3～4	
			国際文化特殊講義		3～4	
			アメリカ文学講義		2～4	
			イギリス文学講義		2～4	
			英文学概論		1～4	
			ドイツ文学講義		3～4	
			越境するアジアの文化		3～4	
			現代朝鮮半島事情		1～4	
			世界の宗教と文化		2～4	
			西洋史講義		2～4	歴史学科と共通
			フランス文学講義		3～4	
			京都の歴史と文化		1～4	歴史学科と共通
			グローカル・ボランティア論		1	
			グローカル・キャリア論		1～3	
			国際関係論		3～4	哲学科と共通
			キリスト教学		1～4	哲学科と共通
	実践研究	A	英語基礎演習	4	1	
		B	実践文化演習ａ（フィールドラーニング）	12以上	2	
			実践文化演習ｂ（語学集中　ドイツ語）		2	
			実践文化演習ｃ（語学集中　フランス語）		2	
			実践文化演習ｄ（語学集中　中国語）		2	
			実践文化演習ｅ（語学集中　韓国・朝鮮語）		2	
			実践文化演習ｆ（語学研修　英語）		2	
			実践文化演習ｇ（語学研修　中国語１）		1	
			実践文化演習ｈ（語学研修　中国語２）		1	
			実践文化演習ｉ（語学研修　韓国・朝鮮語）		1	
			実践文化演習ｊ（文化研修　ヨーロッパ）		1	
			実践文化演習ｋ（文化研修　インド）		1	
			実践文化演習ｌ（文化研修　中国）		1	
			グローカル・キャリア演習		2	
			English Workshop & Camp		2～3	
			English Workshop		2～4	
		C	Pop Culture in English	8以上	2～3	
			World News		2～3	
			Global Communication		2～3	
			Teaching English to Children		2～3	
			言語文化演習（英語）		3～4	
			言語文化演習（ドイツ語）		3～4	
			言語文化演習（フランス語）		3～4	
			言語文化演習（中国語）		3～4	
			言語文化演習（韓国・朝鮮語）		3～4	
			表現文化演習		2～4	
			西洋史文献を読む		2～4	歴史学科と共通
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			70以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
	自然生命系		※	4以上	※	
	歴史文化系		※	4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

※は、第２章「５．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

〈国際学部　国際文化学科〉 欧米文化コース・アジア文化コース

区分			欧米文化コース アジア文化コース	必要 単位数	履修学年 配当	摘要
共通基礎科目	総合科目		人間学Ⅰ	4	1	
			人間学Ⅱ	4以上	2～4	
	大学導入		学びの発見	2	1	
			ICT入門	2	1	
	必修外国語	外国語Ⅰ	英語Ⅰ	4	1	
			初修外国語Ⅰ	4	1	
		外国語Ⅱ	英語Ⅱ	4	2	
			初修外国語Ⅱ		2	
	選択外国語		英語　ドイツ語　フランス語 中国語　韓国・朝鮮語　等	2以上	1～4	
	小計			26以上		
学科専門科目	演習		国際文化演習Ⅰ	4	1	
			国際文化演習Ⅱ	4	2	
			国際文化演習Ⅲ	4	3	
			国際文化演習Ⅳ	4	4	卒業研究指導を含む
	概論		国際文化概論	2	1	
			国際言語概論	2	1	
	講義		比較文化講義	26以上	1～4	
			英米の文化		※	
			英語学概論		1～4	
			英語のしくみ		1～4	
			ヨーロッパの文化		1～2	
			東アジアの文化		1～2	
			日本ポップカルチャー論		3～4	
			国際文化特殊講義		3～4	
			アメリカ文学講義		2～4	
			イギリス文学講義		2～4	
			英文学概論		1～4	
			ドイツ文学講義		3～4	
			越境するアジアの文化		3～4	
			現代朝鮮半島事情		1～4	
			世界の宗教と文化		2～4	
			西洋史講義		2～4	歴史学科と共通
			フランス文学講義		3～4	
			京都の歴史と文化		1～4	歴史学科と共通
			グローカル・ボランティア論		1	
			グローカル・キャリア論		1～3	
			国際関係論		3～4	哲学科と共通
			キリスト教学		1～4	哲学科と共通
	実践研究	A	英語基礎演習	4	1	
		B	実践文化演習a（フィールドラーニング）	2以上	2	
			実践文化演習b（語学集中　ドイツ語）		2	
			実践文化演習c（語学集中　フランス語）		2	
			実践文化演習d（語学集中　中国語）		2	
			実践文化演習e（語学集中　韓国・朝鮮語）		2	
			実践文化演習f（語学研修　英語）		2	
			実践文化演習g（語学研修　中国語1）		1	
			実践文化演習h（語学研修　中国語2）		1	
			実践文化演習i（語学研修　韓国・朝鮮語）		1	
			実践文化演習j（文化研修　ヨーロッパ）		1	
			実践文化演習k（文化研修　インド）		1	
			実践文化演習l（文化研修　中国）		1	
			グローカル・キャリア演習		2	
			English Workshop & Camp		2～3	
			English Workshop		2～4	
		C	Pop Culture in English	6以上	2～3	
			World News		2～3	
			Global Communication		2～3	
			Teaching English to Children		2～3	
			言語文化演習（英語）		3～4	
			言語文化演習（ドイツ語）		3～4	
			言語文化演習（フランス語）		3～4	
			言語文化演習（中国語）		3～4	
			言語文化演習（韓国・朝鮮語）		3～4	
			表現文化演習		2～4	
			西洋史文献を読む		2～4	歴史学科と共通
	卒業研究		卒業論文	8	4	卒業年次に提出
	小計			66以上		
現代総合科目	キャリア形成系		※	4以上	※	
	自然生命系		※	4以上	※	
	歴史文化系		※	4以上	※	
	小計			12以上		
自己選択科目				0以上	※	
合計				124以上		

※は、第2章「5．開講科目表」で、開講科目及び履修学年配当を参照のこと。

5．開講科目表

［1］開講科目表の見方

◎　それぞれ履修可能な学年が「学年」欄に記載されています。その学年以外の人は受講できませんので注意してください。
　※各学年に配当されている必修科目が不合格となった場合、その再履修は、記載学年以上でも履修できます。

◎　「曜日」欄が＊の科目は開講日時に注意してください。

◎　「備考」欄に受講の制限が記載されている科目がありますので、必ず確認をしてください。

◎　「互換科目等」欄に（院）と記載されている科目は、大学院と合同で実施される科目です。

◎　一番右側の区分欄

　①　**在学生が他学科・他学部の学科専門科目を受講する場合、**
　　「他学科」・「他学部」欄が×の科目は登録できません。
　　「自学科」欄が☆の科目は自学科の特定のコースの学生のみ受講が可能です。

　②　**科目等履修生・聴講生は、**
　　「科目等」「聴講生」欄が○の科目は受講が可能です。
　　△の科目は資格取得希望の科目等履修生のみ受講が可能です。
　　▲の科目は本学卒業の科目等履修生のみ受講が可能です。

◎　入学年度により適用される表が異なることがあります。その場合、適用外の年度が指定されている表の科目は登録できません。

［2］カリキュラムの編成について

本学のカリキュラムは、次の４つの柱で編成されています。

1．共通基礎科目群
2．学科専門科目群
3．現代総合科目群
4．自己選択科目群

本学のカリキュラム編成上の基本区分をよく念頭に置き、第２章「４．学部・学科別卒業単位配当表」で履修の全体像を把握し、履修計画を立ててください。

また、履修計画を検討するにあたっては、必ず指導教員と十分に相談を行い、不明な点がある場合は教務課で確認するようにしてください。

共通基礎科目　総合科目

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他科目等	その他聴講生
金	2	人間学Ｉａ－１	2	1	前期	新田　智通	真宗学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉｂ－１	2	1	後期	新田　智通	真宗学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉａ－２	2	1	前期	戸次　顕彰	真宗学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉｂ－２	2	1	後期	戸次　顕彰	真宗学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉａ－３	2	1	前期	藤原　智	仏教学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉｂ－３	2	1	後期	藤原　智	仏教学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－４	2	1	前期	冨岡　量秀	哲学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－４	2	1	後期	冨岡　量秀	哲学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－５	2	1	前期	三木　彰円	哲学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－５	2	1	後期	三木　彰円	哲学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉａ－６	2	1	前期	四方　保仁	歴史学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉｂ－６	2	1	後期	四方　保仁	歴史学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉａ－７	2	1	前期	東舘　紹見	歴史学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉｂ－７	2	1	後期	東舘　紹見	歴史学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉａ－８	2	1	前期	DASH SHOBHA	歴史学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉｂ－８	2	1	後期	DASH SHOBHA	歴史学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉａ－９	2	1	前期	本明　義樹	文学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉｂ－９	2	1	後期	本明　義樹	文学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉａ－１０	2	1	前期	三宅　伸一郎	文学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉｂ－１０	2	1	後期	三宅　伸一郎	文学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－１１	2	1	前期	藤原　正寿	現代社会学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－１１	2	1	後期	藤原　正寿	現代社会学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－１２	2	1	前期	釆睪　晃	現代社会学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－１２	2	1	後期	釆睪　晃	現代社会学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－１３	2	1	前期	西本　祐攝	現代社会学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－１３	2	1	後期	西本　祐攝	現代社会学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－１４	2	1	前期	木越　康	現代社会学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－１４	2	1	後期	木越　康	現代社会学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉａ－１５	2	1	前期	上野　牧生	コミュニティデザイン学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉｂ－１５	2	1	後期	上野　牧生	コミュニティデザイン学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉａ－１６	2	1	前期	小川　直人	コミュニティデザイン学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉｂ－１６	2	1	後期	小川　直人	コミュニティデザイン学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉａ－１７	2	1	前期	酒井　恵光	コミュニティデザイン学科		○	×	×
金	2	人間学Ｉｂ－１７	2	1	後期	酒井　恵光	コミュニティデザイン学科		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－１８	2	1	前期	箕浦　暁雄	教育学科　初等教育コース		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－１８	2	1	後期	箕浦　暁雄	教育学科　初等教育コース		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－１９	2	1	前期	吹田　隆徳	教育学科　初等教育コース		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－１９	2	1	後期	吹田　隆徳	教育学科　初等教育コース		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－２０	2	1	前期	藤元　雅文	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－２０	2	1	後期	藤元　雅文	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
火	2	人間学Ｉａ－２１	2	1	前期	松金　直美	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
火	2	人間学Ｉｂ－２１	2	1	後期	松金　直美	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
木	2	人間学Ｉａ－２２	2	1	前期	M.Ama	国際文化学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉｂ－２２	2	1	後期	M.Ama	国際文化学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉａ－２３	2	1	前期	M.J.CONWAY	国際文化学科		○	×	×
木	2	人間学Ｉｂ－２３	2	1	後期	M.J.CONWAY	国際文化学科		○	×	×
火	5	人間学Ｉ１（再）	2	1～4	前期	山雄　優生	再履修		○	×	×
火	5	人間学Ｉ２（再）	2	1～4	後期	向田　泰真	再履修		○	×	×
水	2	人間学Ⅱ－１	2	2～4	前期	中西　麻一子			○	○	○
木	2	人間学Ⅱ－２	2	2～4	前期	釆睪　晃			○	○	○
水	5	人間学Ⅱ－３	2	2～4	前期	山田　恵文			○	○	○
火	2	人間学Ⅱ－４	2	2～4	前期	新田　智通			○	○	○
月	1	人間学Ⅱ－５	2	2～4	前期	谷口　愛沙			○	○	○
水	1	人間学Ⅱ－６	2	2～4	前期	中川　眞二			○	○	○
水	3	人間学Ⅱ－７	2	2～4	前期	井上　和久			○	○	○
木	4	人間学Ⅱ－８	2	2～4	前期	近藤　雄生			○	○	○
金	2	人間学Ⅱ－９	2	2～4	前期	赤澤　清孝			○	○	○
木	3	人間学Ⅱ－１０	2	2～4	前期	小川　直人			○	○	○
木	2	人間学Ⅱ－１１	2	2～4	後期	一楽　真			○	○	○
水	2	人間学Ⅱ－１２	2	2～4	後期	藤原　正寿			○	○	○
木	4	人間学Ⅱ－１３	2	2～4	後期	宮﨑　健司			○	○	○
木	3	人間学Ⅱ－１４	2	2～4	後期	清水　洋平			○	○	○
水	4	人間学Ⅱ－１５	2	2～4	後期	杉本　理			○	○	○
火	4	人間学Ⅱ－１６	2	2～4	後期	井上　和久			○	○	○
月	2	人間学Ⅱ－１７	2	2～4	後期	鈴木　寿志			○	○	○
金	3	人間学Ⅱ－１８	2	2～4	後期	西田　彩			○	○	○
水	5	人間学Ⅱ－１９	2	2～4	後期	平原　晃宗			○	○	○
金	5	人間学Ⅱ－２０	2	2～4	後期	桂　千草			○	○	○

共通基礎科目　大学導入

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
火	4	学びの発見１	2	1	前期	松金　直美	真宗学科		○	×	×
木	4	学びの発見２	2	1	前期	三宅　伸一郎	仏教学科		○	×	×
火	3	学びの発見３	2	1	前期	西尾　浩二	哲学科		○	×	×
火	4	学びの発見４	2	1	前期	前田　充洋	歴史学科		○	×	×
火	3	学びの発見５	2	1	前期	川瀬　綾子	文学科		○	×	×
火	5	学びの発見６	2	1	前期	古谷　伸子	現代社会学科		○	×	×
月	4	学びの発見７	2	1	前期	大原　ゆい	コミュニティデザイン学科		○	×	×
木	4	学びの発見８	2	1	前期	源嶋　孝太	教育学科　初等教育コース		○	×	×
月	3	学びの発見９	2	1	前期	渡邉　大介	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
木	3	学びの発見１０	2	1	前期	鄭　祐宗	国際文化学科		○	×	×
月	5	学びの発見１（再）	2	1～4	後期	寺川　直樹	再履修		○	×	×
		学びの発見２（再）	2	1～4			本年度休講				
＊		ＩＣＴ入門－１	2	1	集中前期	松金　直美	真宗学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２	2	1	集中前期	本明　義樹	真宗学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－３	2	1	集中前期	戸次　顕彰	仏教学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－４	2	1	集中前期	村山　保史	哲学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－５	2	1	集中前期	根無　一行	哲学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－６	2	1	集中前期	脇坂　真弥	哲学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－７	2	1	集中前期	西尾　浩二	哲学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－８	2	1	集中前期	川端　泰幸	歴史学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－９	2	1	集中前期	松浦　典弘	歴史学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－１０	2	1	集中前期	平野　寿則	歴史学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－１１	2	1	集中前期	前田　充洋	歴史学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－１２	2	1	集中前期	川瀬　綾子	文学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－１３	2	1	集中前期	大秦　一浩	文学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－１４	2	1	集中前期	佐藤　愛弓	文学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－１５	2	1	集中前期	中川　眞二	文学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２０	2	1	集中前期	野村　明宏	現代社会学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２１	2	1	集中前期	三宮　直樹	現代社会学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２２	2	1	集中前期	徳田　剛	現代社会学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２３	2	1	集中前期	古谷　伸子	現代社会学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２４	2	1	集中前期	橋口　昌治	現代社会学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２５	2	1	集中前期	渡邊　拓也	現代社会学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２６	2	1	集中前期	柴田　みゆき	現代社会学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２７	2	1	集中前期	大原　ゆい	コミュニティデザイン学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２８	2	1	集中前期	野村　実	コミュニティデザイン学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－２９	2	1	集中前期	赤澤　清孝	コミュニティデザイン学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－３０	2	1	集中前期	松川　節	コミュニティデザイン学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－３１	2	1	集中前期	鎌谷　勇宏	コミュニティデザイン学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－３２	2	1	集中前期	志藤　修史	コミュニティデザイン学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－４０	2	1	集中前期	寺川　直樹	教育学科　初等教育コース		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－４１	2	1	集中前期	椿井　大輔	教育学科　初等教育コース		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－４２	2	1	集中前期	安部　哲哉	教育学科　初等教育コース		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－４３	2	1	集中前期	西村　美紀	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－４４	2	1	集中前期	矢野　永吏子	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－４５	2	1	集中前期	平塚　幸子	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－４６	2	1	集中前期	渡邉　大介	教育学科　幼児教育コース		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－５０	2	1	集中前期	渡部　洋	国際文化学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－５１	2	1	集中前期	西川　幸余	国際文化学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－５２	2	1	集中前期	浅若　裕彦	国際文化学科		○	×	×
＊		ＩＣＴ入門－５３	2	1	集中前期	三浦　誉史加	国際文化学科		○	×	×
水	5	ＩＣＴ入門１（再）	2	1～4	後期	大秦　一浩	再履修		○	×	×
水	5	ＩＣＴ入門２（再）	2	1～4	後期	野村　明宏	再履修		○	×	×
月	1	ＩＣＴ入門３（再）	2	1～4	後期	髙橋　真	再履修		○	×	×

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

共通基礎科目　英語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他科目等	その他聴講生
月	1	英語Ｉａ－１	1	1	前期	西川　幸余	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－１	1	1	後期	西川　幸余	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－１	1	1	前期	浅若　裕彦	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－１	1	1	後期	浅若　裕彦	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－２	1	1	前期	M.Ama	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－２	1	1	後期	M.Ama	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－２	1	1	前期	河井　純子	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－２	1	1	後期	河井　純子	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－３	1	1	前期	清水　京香	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－３	1	1	後期	清水　京香	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－３	1	1	前期	松田　美樹	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－３	1	1	後期	松田　美樹	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－４	1	1	前期	清水　京香	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－４	1	1	後期	清水　京香	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－４	1	1	前期	松田　美樹	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－４	1	1	後期	松田　美樹	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－５	1	1	前期	太田　純	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－５	1	1	後期	太田　純	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－５	1	1	前期	木塚　恵子	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－５	1	1	後期	木塚　恵子	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－６	1	1	前期	小西　貴子	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－６	1	1	後期	小西　貴子	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－６	1	1	前期	伊藤　恵一	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－６	1	1	後期	伊藤　恵一	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－７	1	1	前期	B.TURNBULL	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－７	1	1	後期	B.TURNBULL	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－７	1	1	前期	伊藤　恵一	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－７	1	1	後期	伊藤　恵一	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－８	1	1	前期	木塚　恵子	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－８	1	1	後期	木塚　恵子	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－８	1	1	前期	時里　祐子	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－８	1	1	後期	時里　祐子	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－９	1	1	前期	佐藤　美奈子	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－９	1	1	後期	佐藤　美奈子	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－９	1	1	前期	西田　廣和	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－９	1	1	後期	西田　廣和	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－１０	1	1	前期	佐藤　美奈子	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－１０	1	1	後期	佐藤　美奈子	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－１０	1	1	前期	西田　廣和	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－１０	1	1	後期	西田　廣和	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－１１	1	1	前期	日高　周平	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－１１	1	1	後期	日高　周平	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－１１	1	1	前期	伊村　大樹	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－１１	1	1	後期	伊村　大樹	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－１２	1	1	前期	日高　周平	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－１２	1	1	後期	日高　周平	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－１２	1	1	前期	伊村　大樹	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－１２	1	1	後期	伊村　大樹	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－１３	1	1	前期	北島　美咲	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－１３	1	1	後期	北島　美咲	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－１３	1	1	前期	日高　周平	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－１３	1	1	後期	日高　周平	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－１４	1	1	前期	北島　美咲	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－１４	1	1	後期	北島　美咲	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－１４	1	1	前期	日高　周平	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－１４	1	1	後期	日高　周平	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－１５	1	1	前期	西田　廣和	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－１５	1	1	後期	西田　廣和	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－１５	1	1	前期	近藤　嘉宏	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－１５	1	1	後期	近藤　嘉宏	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－１６	1	1	前期	平田　公威	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1					鳥越　覚生	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－１６	1	1	後期	平田　公威	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	1					鳥越　覚生	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－１６	1	1	前期	深町　博史	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2					田原　理恵	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－１６	1	1	後期	深町　博史	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2					田原　理恵	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－１７	1	1	前期	田原　理恵	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2					平田　公威	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－１７	1	1	後期	田原　理恵	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×

共通基礎科目　英語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
水	2	英語Ｉｂ－１７	1	1	後期	平田　公威	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－１７	1	1	前期	鳥越　覚生	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1					平田　公威	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－１７	1	1	後期	鳥越　覚生	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1					平田　公威	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－１８	1	1	前期	國永　孟	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2					深町　博史	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－１８	1	1	後期	國永　孟	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
水	2					深町　博史	「総合」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－１８	1	1	前期	花房　ともえ	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1					國永　孟	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－１８	1	1	後期	花房　ともえ	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	1					國永　孟	「読解」　文学部・社会学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－１９	1	1	前期	太田　純	「総合」　教育学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－１９	1	1	後期	太田　純	「総合」　教育学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－１９	1	1	前期	三浦　誉史加	「読解」　教育学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－１９	1	1	後期	三浦　誉史加	「読解」　教育学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－２０	1	1	前期	西田　廣和	「総合」　教育学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－２０	1	1	後期	西田　廣和	「総合」　教育学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－２０	1	1	前期	近藤　嘉宏	「読解」　教育学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－２０	1	1	後期	近藤　嘉宏	「読解」　教育学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－２１	1	1	前期	小西　貴子	「総合」　教育学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－２１	1	1	後期	小西　貴子	「総合」　教育学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－２１	1	1	前期	木塚　恵子	「読解」　教育学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－２１	1	1	後期	木塚　恵子	「読解」　教育学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－２２	1	1	前期	木塚　恵子	「総合」　教育学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－２２	1	1	後期	木塚　恵子	「総合」　教育学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－２２	1	1	前期	河井　純子	「読解」　教育学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－２２	1	1	後期	河井　純子	「読解」　教育学部		○	×	×
水	2	英語Ｉａ－２３	1	1	前期	西川　幸余	「総合」　国際学部		○	×	×
水	2	英語Ｉｂ－２３	1	1	後期	西川　幸余	「総合」　国際学部		○	×	×
月	1	英語Ｉａ－２３	1	1	前期	R. SMITHERS	「読解」　国際学部		○	×	×
月	1	英語Ｉｂ－２３	1	1	後期	R. SMITHERS	「読解」　国際学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－２４	1	1	前期	R. SMITHERS	「総合」　国際学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－２４	1	1	後期	R. SMITHERS	「総合」　国際学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－２４	1	1	前期	西川　幸余	「読解」　国際学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－２４	1	1	後期	西川　幸余	「読解」　国際学部		○	×	×
水	1	英語Ｉａ－２５	1	1	前期	田原　理恵	「総合」　国際学部		○	×	×
水	1					丹上　麻里江	「総合」　国際学部		○	×	×
水	1	英語Ｉｂ－２５	1	1	後期	田原　理恵	「総合」　国際学部		○	×	×
水	1					丹上　麻里江	「総合」　国際学部		○	×	×
月	2	英語Ｉａ－２５	1	1	前期	花房　ともえ	「読解」　国際学部		○	×	×
月	2					丹上　麻里江	「読解」　国際学部		○	×	×
月	2	英語Ｉｂ－２５	1	1	後期	花房　ともえ	「読解」　国際学部		○	×	×
月	2					丹上　麻里江	「読解」　国際学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱａ－１	1	2	前期	M. Ama	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱｂ－１	1	2	後期	M. Ama	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱａ－１	1	2	前期	三浦　誉史加	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱｂ－１	1	2	後期	三浦　誉史加	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
月	3	英語Ⅱａ－２	1	2	前期	松田　美樹	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
月	3	英語Ⅱｂ－２	1	2	後期	松田　美樹	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
水	4	英語Ⅱａ－２	1	2	前期	三浦　誉史加	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
水	4	英語Ⅱｂ－２	1	2	後期	三浦　誉史加	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱａ－３	1	2	前期	近藤　嘉宏	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱｂ－３	1	2	後期	近藤　嘉宏	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱａ－３	1	2	前期	浅若　裕彦	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱｂ－３	1	2	後期	浅若　裕彦	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
月	3	英語Ⅱａ－４	1	2	前期	近藤　嘉宏	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
月	3	英語Ⅱｂ－４	1	2	後期	近藤　嘉宏	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
水	4	英語Ⅱａ－４	1	2	前期	M. Ama	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
水	4	英語Ⅱｂ－４	1	2	後期	M. Ama	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱａ－５	1	2	前期	西田　廣和	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱｂ－５	1	2	後期	西田　廣和	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱａ－５	1	2	前期	木塚　恵子	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱｂ－５	1	2	後期	木塚　恵子	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
月	3	英語Ⅱａ－６	1	2	前期	西田　廣和	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
月	3	英語Ⅱｂ－６	1	2	後期	西田　廣和	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
水	4	英語Ⅱａ－６	1	2	前期	R. SMITHERS	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
水	4	英語Ⅱｂ－６	1	2	後期	R. SMITHERS	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱａ－７	1	2	前期	松田　美樹	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱｂ－７	1	2	後期	松田　美樹	「listening,reading,writing」　文学部		○	×	×

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

共通基礎科目　英語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他科目等	その他聴講生
水	3	英語Ⅱａ－７	1	2	前期	M.Ama	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱｂ－７	1	2	後期	M.Ama	「speaking,writing」　文学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱａ－８	1	2	前期	三浦　誉史加	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱｂ－８	1	2	後期	三浦　誉史加	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱａ－８	1	2	前期	浅若　裕彦	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱｂ－８	1	2	後期	浅若　裕彦	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱａ－９	1	2	前期	岡田　律子	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱｂ－９	1	2	後期	岡田　律子	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱａ－９	1	2	前期	M.Ama	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱｂ－９	1	2	後期	M.Ama	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱａ－１０	1	2	前期	松田　美樹	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱｂ－１０	1	2	後期	松田　美樹	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱａ－１０	1	2	前期	瀬戸　奈美子	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱｂ－１０	1	2	後期	瀬戸　奈美子	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱａ－１１	1	2	前期	瀬戸　奈美子	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱｂ－１１	1	2	後期	瀬戸　奈美子	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱａ－１１	1	2	前期	岡田　律子	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱｂ－１１	1	2	後期	岡田　律子	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
火	1	英語Ⅱａ－１２	1	2	前期	M.Ama	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
火	1	英語Ⅱｂ－１２	1	2	後期	M.Ama	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
木	2	英語Ⅱａ－１２	1	2	前期	三浦　誉史加	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
木	2	英語Ⅱｂ－１２	1	2	後期	三浦　誉史加	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
火	1	英語Ⅱａ－１３	1	2	前期	松田　美樹	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
火	1	英語Ⅱｂ－１３	1	2	後期	松田　美樹	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
木	2	英語Ⅱａ－１３	1	2	前期	浅若　裕彦	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
木	2	英語Ⅱｂ－１３	1	2	後期	浅若　裕彦	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
火	1	英語Ⅱａ－１４	1	2	前期	瀬戸　奈美子	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
火	1	英語Ⅱｂ－１４	1	2	後期	瀬戸　奈美子	「listening,reading,writing」　社会学部		○	×	×
木	2	英語Ⅱａ－１４	1	2	前期	R.SMITHERS	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
木	2	英語Ⅱｂ－１４	1	2	後期	R.SMITHERS	「speaking,writing」　社会学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱａ－１５	1	2	前期	西川　幸余	「listening,reading,writing」　教育学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱｂ－１５	1	2	後期	西川　幸余	「listening,reading,writing」　教育学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱａ－１５	1	2	前期	三浦　誉史加	「speaking,writing」　教育学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱｂ－１５	1	2	後期	三浦　誉史加	「speaking,writing」　教育学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱａ－１６	1	2	前期	M.Ama	「listening,reading,writing」　教育学部		○	×	×
火	2	英語Ⅱｂ－１６	1	2	後期	M.Ama	「listening,reading,writing」　教育学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱａ－１６	1	2	前期	R.SMITHERS	「speaking,writing」　教育学部		○	×	×
木	1	英語Ⅱｂ－１６	1	2	後期	R.SMITHERS	「speaking,writing」　教育学部		○	×	×
月	3	英語Ⅱａ－１７	1	2	前期	R.SMITHERS	「listening,reading,writing」　国際学部		○	×	×
月	3	英語Ⅱｂ－１７	1	2	後期	R.SMITHERS	「listening,reading,writing」　国際学部		○	×	×
水	4	英語Ⅱａ－１７	1	2	前期	浅若　裕彦	「speaking,writing」　国際学部		○	×	×
水	4	英語Ⅱｂ－１７	1	2	後期	浅若　裕彦	「speaking,writing」　国際学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱａ－１８	1	2	前期	西川　幸余	「listening,reading,writing」　国際学部		○	×	×
月	4	英語Ⅱｂ－１８	1	2	後期	西川　幸余	「listening,reading,writing」　国際学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱａ－１８	1	2	前期	R.SMITHERS	「speaking,writing」　国際学部		○	×	×
水	3	英語Ⅱｂ－１８	1	2	後期	R.SMITHERS	「speaking,writing」　国際学部		○	×	×
月	4	英語１（再）	1	2～4	前期	佐藤　美奈子	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
木	5			3～4		田中　友理	再履修（「英語Ⅱ」用）		○	×	×
月	4	英語２（再）	1	2～4	後期	佐藤　美奈子	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
木	5			3～4		田中　友理	再履修（「英語Ⅱ」用）		○	×	×
木	3	英語３（再）	1	2～4	前期	瀬戸　奈美子	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
月	5			3～4		佐藤　美奈子	再履修（「英語Ⅱ」用）		○	×	×
木	3	英語４（再）	1	2～4	後期	瀬戸　奈美子	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
月	5			3～4		佐藤　美奈子	再履修（「英語Ⅱ」用）		○	×	×
水	3	英語５（再）	1	2～4	前期	日高　周平	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
木	2			3～4		瀬戸　奈美子	再履修（「英語Ⅱ」用）		○	×	×
水	3	英語６（再）	1	2～4	後期	日高　周平	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
木	2			3～4		瀬戸　奈美子	再履修（「英語Ⅱ」用）		○	×	×
火	3	英語７（再）	1	2～4	前期	瀬戸　奈美子	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
火	3	英語８（再）	1	2～4	後期	瀬戸　奈美子	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
木	5	英語９（再）	1	2～4	前期	河井　純子	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
木	5	英語１０（再）	1	2～4	後期	河井　純子	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
金	2	英語１１（再）	1	2～4	前期	三浦　誉史加	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×
金	2	英語１２（再）	1	2～4	後期	三浦　誉史加	再履修（「英語Ⅰ」用）		○	×	×

共通基礎科目 ドイツ語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
水	3	ドイツ語Ⅰａ－１	2	1	前期	寺澤　大奈			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	ドイツ語Ⅰｂ－１	2	1	後期	寺澤　大奈			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	ドイツ語Ⅰａ－２	2	1	前期	青木　三陽			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	ドイツ語Ⅰｂ－２	2	1	後期	青木　三陽			○	×	×
金	3								○	×	×
水	4	ドイツ語Ⅰａ－３	2	1	前期	廣川　智貴			○	×	×
金	4					C. BERGMANN			○	×	×
水	4	ドイツ語Ⅰｂ－３	2	1	後期	廣川　智貴			○	×	×
金	4					C. BERGMANN			○	×	×
		ドイツ語Ⅰａ－４	2	1			本年度休講				
		ドイツ語Ⅰｂ－４	2	1			本年度休講				
		ドイツ語Ⅰａ－５	2	1			本年度休講				
		ドイツ語Ⅰｂ－５	2	1			本年度休講				
水	4	ドイツ語Ⅱａ－１	2	2	前期	中原　香織			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	ドイツ語Ⅱｂ－１	2	2	後期	中原　香織			○	×	×
金	4								○	×	×
		ドイツ語Ⅱａ－２	2	2			本年度休講				
		ドイツ語Ⅱｂ－２	2	2			本年度休講				
水	5	ドイツ語１（再）	1	2～4	前期	寺澤　大奈	再履修（「ドイツ語Ⅰ」用）		○	×	×
金	4			3～4		青木　三陽	再履修（「ドイツ語Ⅱ」用）		○	×	×
水	5	ドイツ語２（再）	1	2～4	後期	寺澤　大奈	再履修（「ドイツ語Ⅰ」用）		○	×	×
金	4			3～4		青木　三陽	再履修（「ドイツ語Ⅱ」用）		○	×	×
金	5	ドイツ語３（再）	1	2～4	前期	寺澤　大奈	再履修（「ドイツ語Ⅰ」用）		○	×	×
火	4			3～4		廣川　智貴	再履修（「ドイツ語Ⅱ」用）		○	×	×
金	5	ドイツ語４（再）	1	2～4	後期	寺澤　大奈	再履修（「ドイツ語Ⅰ」用）		○	×	×
火	4			3～4		廣川　智貴	再履修（「ドイツ語Ⅱ」用）		○	×	×

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

共通基礎科目　フランス語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
水	4	フランス語Ⅰａ－１	2	1	前期	小坂　美樹			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	フランス語Ⅰｂ－１	2	1	後期	小坂　美樹			○	×	×
金	4								○	×	×
水	3	フランス語Ⅰａ－２	2	1	前期	小坂　美樹			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	フランス語Ⅰｂ－２	2	1	後期	小坂　美樹			○	×	×
金	3								○	×	×
水	4	フランス語Ⅰａ－３	2	1	前期	脇　聡			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	フランス語Ⅰｂ－３	2	1	後期	脇　聡			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	フランス語Ⅱａ－１	2	2	前期	吉田　綾			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	フランス語Ⅱｂ－１	2	2	後期	吉田　綾			○	×	×
金	4								○	×	×
		フランス語Ⅱａ－２	2	2			本年度休講				
		フランス語Ⅱｂ－２	2	2			本年度休講				
水	5	フランス語１（再）	1	2～4	前期	脇　聡	再履修（「フランス語Ⅰ」用）		○	×	×
金	4			3～4		鈴木　真太朗	再履修（「フランス語Ⅱ」用）		○	×	×
水	5	フランス語２（再）	1	2～4	後期	脇　聡	再履修（「フランス語Ⅰ」用）		○	×	×
金	4			3～4		鈴木　真太朗	再履修（「フランス語Ⅱ」用）		○	×	×
金	5	フランス語３（再）	1	2～4	前期	鈴木　真太朗	再履修（「フランス語Ⅰ」用）		○	×	×
木	3			3～4		岡田　純子	再履修（「フランス語Ⅱ」用）		○	×	×
金	5	フランス語４（再）	1	2～4	後期	鈴木　真太朗	再履修（「フランス語Ⅰ」用）		○	×	×
木	5			3～4		岡田　純子	再履修（「フランス語Ⅱ」用）		○	×	×

共通基礎科目　中国語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
水	4	中国語Ⅰａ－１	2	1	前期	三鬼　丈知			○	×	×
金	4					早川　智美			○	×	×
水	4	中国語Ⅰｂ－１	2	1	後期	三鬼　丈知			○	×	×
金	4					早川　智美			○	×	×
水	4	中国語Ⅰａ－２	2	1	前期	清水　由香里			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	中国語Ⅰｂ－２	2	1	後期	清水　由香里			○	×	×
金	4								○	×	×
水	3	中国語Ⅰａ－３	2	1	前期	渡部　洋			○	×	×
金	3					清水　由香里			○	×	×
水	3	中国語Ⅰｂ－３	2	1	後期	渡部　洋			○	×	×
金	3					清水　由香里			○	×	×
水	3	中国語Ⅰａ－４	2	1	前期	早川　智美			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	中国語Ⅰｂ－４	2	1	後期	早川　智美			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	中国語Ⅰａ－５	2	1	前期	清水　由香里			○	×	×
金	3					陸　穎瑤			○	×	×
水	3	中国語Ⅰｂ－５	2	1	後期	清水　由香里			○	×	×
金	3					陸　穎瑤			○	×	×
水	4	中国語Ⅰａ－６	2	1	前期	髙井　龍			○	×	×
金	4					李　青			○	×	×
水	4	中国語Ⅰｂ－６	2	1	後期	髙井　龍			○	×	×
金	4					李　青			○	×	×
水	4	中国語Ⅱａ－１	2	2	前期	稲垣　淳央			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	中国語Ⅱｂ－１	2	2	後期	稲垣　淳央			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	中国語Ⅱａ－２	2	2	前期	王　秀梅			○	×	×
金	4					渡部　洋			○	×	×
水	4	中国語Ⅱｂ－２	2	2	後期	王　秀梅			○	×	×
金	4					渡部　洋			○	×	×
		中国語Ⅱａ－３	2	2			本年度休講				
		中国語Ⅱｂ－３	2	2			本年度休講				
水	5	中国語１（再）	1	2～4	前期	福井　敏	再履修（「中国語Ⅰ」用）		○	×	×
金	4			3～4		今場　正美	再履修（「中国語Ⅱ」用）		○	×	×
水	5	中国語２（再）	1	2～4	後期	福井　敏	再履修（「中国語Ⅰ」用）		○	×	×
金	4			3～4		今場　正美	再履修（「中国語Ⅱ」用）		○	×	×
金	5	中国語３（再）	1	2～4	前期	稲垣　淳央	再履修（「中国語Ⅰ」用）		○	×	×
金	5			3～4		福井　敏	再履修（「中国語Ⅱ」用）		○	×	×
金	5	中国語４（再）	1	2～4	後期	稲垣　淳央	再履修（「中国語Ⅰ」用）		○	×	×
金	5			3～4		福井　敏	再履修（「中国語Ⅱ」用）		○	×	×

共通基礎科目　韓国･朝鮮語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
水	3	韓国・朝鮮語Ⅰａ－１	2	1	前期	小河　寛和			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	韓国・朝鮮語Ⅰｂ－１	2	1	後期	小河　寛和			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	韓国・朝鮮語Ⅰａ－２	2	1	前期	呉　仁済			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	韓国・朝鮮語Ⅰｂ－２	2	1	後期	呉　仁済			○	×	×
金	3								○	×	×
水	4	韓国・朝鮮語Ⅰａ－３	2	1	前期	徐　希寧			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	韓国・朝鮮語Ⅰｂ－３	2	1	後期	徐　希寧			○	×	×
金	4								○	×	×
水	3	韓国・朝鮮語Ⅰａ－４	2	1	前期	徐　希寧			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	韓国・朝鮮語Ⅰｂ－４	2	1	後期	徐　希寧			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	韓国・朝鮮語Ⅰａ－５	2	1	前期	平田　絵未			○	×	×
金	3								○	×	×
水	3	韓国・朝鮮語Ⅰｂ－５	2	1	後期	平田　絵未			○	×	×
金	3								○	×	×
水	4	韓国・朝鮮語Ⅰａ－６	2	1	前期	小河　寛和			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	韓国・朝鮮語Ⅰｂ－６	2	1	後期	小河　寛和			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	韓国・朝鮮語Ⅱａ－１	2	2	前期	閔　智焄			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	韓国・朝鮮語Ⅱｂ－１	2	2	後期	閔　智焄			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	韓国・朝鮮語Ⅱａ－２	2	2	前期	平田　絵未			○	×	×
金	4								○	×	×
水	4	韓国・朝鮮語Ⅱｂ－２	2	2	後期	平田　絵未			○	×	×
金	4								○	×	×
		韓国・朝鮮語Ⅱａ－３	2	2			本年度休講				
		韓国・朝鮮語Ⅱｂ－３	2	2			本年度休講				
水	5	韓国・朝鮮語１（再）	1	2～4	前期	呉　仁済	再履修（「韓国・朝鮮語Ⅰ」用）		○	×	×
金	4			3～4		呉　仁済	再履修（「韓国・朝鮮語Ⅱ」用）		○	×	×
水	5	韓国・朝鮮語２（再）	1	2～4	後期	呉　仁済	再履修（「韓国・朝鮮語Ⅰ」用）		○	×	×
金	4			3～4		呉　仁済	再履修（「韓国・朝鮮語Ⅱ」用）		○	×	×
金	5	韓国・朝鮮語３（再）	1	2～4	前期	閔　智焄	再履修（「韓国・朝鮮語Ⅰ」用）		○	×	×
木	3			3～4		中藤　弘彦	再履修（「韓国・朝鮮語Ⅱ」用）		○	×	×
金	5	韓国・朝鮮語４（再）	1	2～4	後期	閔　智焄	再履修（「韓国・朝鮮語Ⅰ」用）		○	×	×
木	3			3～4		鄭　祐宗	再履修（「韓国・朝鮮語Ⅱ」用）		○	×	×

選択外国語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	テーマ分類 ①	②	③	④	⑤	互換科目等	在学生	その他 科目等	聴講生
月	3	英語読解(中級)1	1	1～4	前期	小西　貴子	TOEIC・英検・TOEFLなどの検定対策			○				○	○	×
月	3	英語読解(中級)2	1	1～4	後期	小西　貴子	TOEIC・英検・TOEFLなどの検定対策			○				○	○	×
火	4	英語読解(中級)3	1	1～4	前期	藤井　佳子			○	○		○	(院)	○	○	×
火	4	英語読解(中級)4	1	1～4	後期	藤井　佳子			○	○		○	(院)	○	○	×
火	2	英作文(中級)1	1	1～4	前期	G. A. EDMONDS					○	○		○	○	×
火	2	英作文(中級)2	1	1～4	後期	G. A. EDMONDS					○	○		○	○	×
木	5	英文法(中級)1	1	1～4	前期	浅若　裕彦				○	○			○	○	×
木	5	英文法(中級)2	1	1～4	後期	浅若　裕彦				○	○			○	○	×
金	4	英語のしくみと表現(中級)1	1	1～4	前期	西田　廣和					○	○		○	○	×
金	4	英語のしくみと表現(中級)2	1	1～4	後期	西田　廣和					○	○		○	○	×
火	5	英語会話(中級)1	1	1～4	前期	陳　斯童		○	○					○	○	×
火	5	英語会話(中級)2	1	1～4	後期	陳　斯童		○	○					○	○	×
火	1	英語会話(中級)3	1	1～4	前期	G. A. EDMONDS		○	○			○		○	○	×
火	1	英語会話(中級)4	1	1～4	後期	G. A. EDMONDS		○	○			○		○	○	×
火	4	英語会話(中級)5	1	1～4	前期	M. McClure		○	○			○		○	○	×
火	4	英語会話(中級)6	1	1～4	後期	M. McClure		○	○			○		○	○	×
金	1	英語読解(上級)1	1	1～4	前期	B. TURNBULL					○	○	(院)	○	○	×
金	1	英語読解(上級)2	1	1～4	後期	B. TURNBULL					○	○	(院)	○	○	×
月	3	英語読解(上級)3	1	1～4	前期	佐藤　美奈子	TOEIC・英検・TOEFLなどの検定対策			○				○	○	×
月	3	英語読解(上級)4	1	1～4	後期	佐藤　美奈子	TOEIC・英検・TOEFLなどの検定対策			○				○	○	×
火	4	英語会話(上級)1	1	1～4	前期	陳　斯童			○		○	○		○	○	×
火	4	英語会話(上級)2	1	1～4	後期	陳　斯童			○		○	○		○	○	×
月	3	英語会話(上級)3	1	1～4	前期	M. McClure					○	○		○	○	×
月	3	英語会話(上級)4	1	1～4	後期	M. McClure					○	○		○	○	×
月	5	英作文(上級)1	1	1～4	前期	陳　斯童					○	○		○	○	×
月	5	英作文(上級)2	1	1～4	後期	陳　斯童	内容・形式テーマによる英作文				○	○		○	○	×
月	4	英文法(上級)1	1	1～4	前期	中田　智也				○	○			○	○	×
月	4	英文法(上級)2	1	1～4	後期	中田　智也				○	○			○	○	×
月	1	インテンシブ英会話(中級)1	4	1～4	前期	M. McClure	週4回開講	○				○		○	×	×
火	5							○				○		○	×	×
木	1					B. TURNBULL		○				○		○	×	×
金	5							○				○		○	×	×
月	1	インテンシブ英会話(中級)2	4	1～4	後期	M. McClure	週4回開講	○				○		○	×	×
火	5							○				○		○	×	×
木	1					B. TURNBULL		○				○		○	×	×
金	5							○				○		○	×	×
*		実践英語・文化研究	4	1～3	集中後期	西川　幸余	海外研修　文学部・社会学部・教育学部のみ履修可		○			○		○	×	×
*						B. TURNBULL			○			○		○	×	×
水	3	ドイツ語読解(初級)1	1	1～4	前期	中原　香織				○				○	○	×
水	3	ドイツ語読解(初級)2	1	1～4	後期	中原　香織				○				○	○	×
月	2	ドイツ語会話(初級)1	1	1～4	前期	M. ROER		○	○			○		○	○	×
月	2	ドイツ語会話(初級)2	1	1～4	後期	M. ROER		○	○			○		○	○	×
木	4	ドイツ語のしくみと表現(初級)1	1	1～4	前期	C. BERGMANN					○			○	○	×
木	4	ドイツ語のしくみと表現(初級)2	1	1～4	後期	C. BERGMANN					○			○	○	×
火	4	ドイツ語読解(中級)1	1	1～4	前期	廣川　智貴			○	○	○		(院)	○	○	×
火	4	ドイツ語読解(中級)2	1	1～4	後期	廣川　智貴			○	○	○		(院)	○	○	×
水	1	フランス語読解(初級)	1	1～4	後期	E. FAURE			○	○				○	○	×
水	1	フランス語会話(初級)	1	1～4	前期	E. FAURE		○						○	○	×
木	5	フランス語読解(中級)	1	1～4	後期	岡田　純子			○	○	○	○	(院)	○	○	×
水	2	フランス語会話(中級)	1	1～4	前期	E. FAURE		○				○		○	○	×
水	3	フランス語のしくみと表現(初級)	2	1～4	前期	吉田　綾	週2回開講			○				○	○	×
金	3									○				○	○	×
木	3	フランス語のしくみと表現(中級)	1	1～4	前期	岡田　純子					○		(院)	○	○	×
金	3	中国語読解(初級)1	1	1～4	前期	山崎　俊鋭			○	○				○	○	×
金	3	中国語読解(初級)2	1	1～4	後期	山崎　俊鋭			○	○				○	○	×
火	2	中国語会話(初級)1	1	1～4	前期	永井　英美		○						○	○	×
火	2	中国語会話(初級)2	1	1～4	後期	永井　英美		○						○	○	×
水	4	中国語会話(初級)3	1	1～4	前期	王　大川		○						○	○	×
水	4	中国語会話(初級)4	1	1～4	後期	王　大川		○						○	○	×
水	3	中国語のしくみと表現(初級)1	1	1～4	前期	王　秀梅				○	○			○	○	×
水	3	中国語のしくみと表現(初級)2	1	1～4	後期	王　秀梅				○	○			○	○	×
金	4	中国語会話(中級)1	1	1～4	前期	山崎　俊鋭		○						○	○	×
金	4	中国語会話(中級)2	1	1～4	後期	山崎　俊鋭		○						○	○	×
水	2	中国語会話(上級)1	1	1～4	前期	李　青	中級から上級へ	○				○	(院)	○	○	×
水	2	中国語会話(上級)2	1	1～4	後期	李　青	上級	○				○	(院)	○	○	×
*		実践中国語・文化研究1	2	1～3	集中後期	李　青	海外研修　文学部・社会学部・教育学部のみ履修可		○			○		○	×	×
		実践中国語・文化研究2	4				本年度休講		○			○				

選択外国語

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	テーマ分類					互換科目等	在学生	その他	
								①	②	③	④	⑤			科目等	聴講生
火	2	韓国・朝鮮語会話(初級)1	1	1～4	前期	藤井　幸之助		○						○	○	×
火	2	韓国・朝鮮語会話(初級)2	1	1～4	後期	藤井　幸之助		○						○	○	×
水	1	韓国・朝鮮語のしくみと表現(初級)1	1	1～4	前期	平田　絵未				○	○			○	○	×
水	1	韓国・朝鮮語のしくみと表現(初級)2	1	1～4	後期	平田　絵未				○	○			○	○	×
木	3	韓国・朝鮮語読解(中級)	1	1～4	後期	鄭　祐宗			○	○	○	○		○	○	×
木	3	韓国・朝鮮語会話(中級)	1	1～4	前期	中藤　弘彦		○	○			○		○	○	×
火	1	韓国・朝鮮語読解(上級)	1	1～4	前期	鄭　祐宗			○	○	○	○		○	○	×
		実践韓国・朝鮮語・文化研究	4				本年度休講		○			○				
月	4	現代チベット語a	1	2～4	前期	三宅　伸一郎								○	○	○
月	4	現代チベット語b	1	2～4	後期	三宅　伸一郎								○	○	○
月	4	ラテン語入門1	1	1～4	前期	平野　和歌子								○	○	○
月	4	ラテン語入門2	1	1～4	後期	平野　和歌子								○	○	○
火	3	ヒンディー語a	1	1～4	前期	DASH SHOBHA								○	○	○
火	3	ヒンディー語b	1	1～4	後期	DASH SHOBHA								○	○	○

文学部　真宗学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演習	火	3	真宗学演習Ⅰa－1	2	1	前期	松金　直美	親鸞入門		○	×	×	×	×
	火	3	真宗学演習Ⅰb－1	2	1	後期	松金　直美	親鸞入門		○	×	×	×	×
	火	3	真宗学演習Ⅰa－2	2	1	前期	本明　義樹	親鸞入門		○	×	×	×	×
	火	3	真宗学演習Ⅰb－2	2	1	後期	本明　義樹	親鸞入門		○	×	×	×	×
			真宗学演習Ⅰa－3	2	1			本年度休講						
			真宗学演習Ⅰb－3	2	1			本年度休講						
			真宗学演習Ⅰa－4	2	1			本年度休講						
			真宗学演習Ⅰb－4	2	1			本年度休講						
	月	2	真宗学演習Ⅱa－1	2	2	前期	藤原　智			○	×	×	×	×
	月	2	真宗学演習Ⅱb－1	2	2	後期	藤原　智			○	×	×	×	×
	月	2	真宗学演習Ⅱa－2	2	2	前期	藤原　正寿			○	×	×	×	×
	月	2	真宗学演習Ⅱb－2	2	2	後期	藤原　正寿			○	×	×	×	×
	月	2	真宗学演習Ⅱa－3	2	2	前期	小川　直人			○	×	×	×	×
	月	2	真宗学演習Ⅱb－3	2	2	後期	小川　直人			○	×	×	×	×
			真宗学演習Ⅱa－4	2	2			本年度休講						
			真宗学演習Ⅱb－4	2	2			本年度休講						
			真宗学演習Ⅱa－5	2	2			本年度休講						
			真宗学演習Ⅱb－5	2	2			本年度休講						
	月	3	真宗学演習Ⅲa－1	2	3	前期	藤元　雅文			○	×	×	×	×
	月	3	真宗学演習Ⅲb－1	2	3	後期	藤元　雅文			○	×	×	×	×
	月	3	真宗学演習Ⅲa－2	2	3	前期	西本　祐攝			○	×	×	×	×
	月	3	真宗学演習Ⅲb－2	2	3	後期	西本　祐攝			○	×	×	×	×
	月	3	真宗学演習Ⅲa－3	2	3	前期	M. J. CONWAY			○	×	×	×	×
	月	3	真宗学演習Ⅲb－3	2	3	後期	M. J. CONWAY			○	×	×	×	×
	月	3	真宗学演習Ⅲa－4	2	3	前期	本明　義樹			○	×	×	×	×
	月	3	真宗学演習Ⅲb－4	2	3	後期	本明　義樹			○	×	×	×	×
			真宗学演習Ⅲa－5	2	3			本年度休講						
			真宗学演習Ⅲb－5	2	3			本年度休講						
			真宗学演習Ⅲa－6	2	3			本年度休講						
			真宗学演習Ⅲb－6	2	3			本年度休講						
	木	6	真宗学演習Ⅳa－1	2	4	前期	藤元　雅文			○	×	×	×	×
	木	6	真宗学演習Ⅳb－1	2	4	後期	藤元　雅文			○	×	×	×	×
	木	6	真宗学演習Ⅳa－2	2	4	前期	西本　祐攝			○	×	×	×	×
	木	6	真宗学演習Ⅳb－2	2	4	後期	西本　祐攝			○	×	×	×	×
	木	6	真宗学演習Ⅳa－3	2	4	前期	M. J. CONWAY			○	×	×	×	×
	木	6	真宗学演習Ⅳb－3	2	4	後期	M. J. CONWAY			○	×	×	×	×
			真宗学演習Ⅳa－4	2	4			本年度休講						
			真宗学演習Ⅳb－4	2	4			本年度休講						
			真宗学演習Ⅳa－5	2	4			本年度休講						
			真宗学演習Ⅳb－5	2	4			本年度休講						
			真宗学演習Ⅳa－6	2	4			本年度休講						
			真宗学演習Ⅳb－6	2	4			本年度休講						
概論	金	1	真宗学概論1	2	3～4	前期	藤元　雅文			○	○	○	○	○
	火	1	真宗学概論2	2	3～4	後期	三木　彰円			○	○	○	○	○
	火	1	真宗学概論3	2	3～4	前期	木越　康			○	○	○	○	○
			真宗学概論4	2	3～4			本年度休講						
講義	火	4	大乗仏教入門	2	2	後期	箕浦　暁雄			○	○	○	○	○
	木	5	親鸞の生涯と思想	2	1～4	後期	西本　祐攝			○	○	○	○	○
	金	2	親鸞思想の受容と展開	2	2～4	後期	藤元　雅文			○	○	○	○	○
	金	5	法然の生涯と思想	2	1～4	前期	小川　直人			○	○	○	○	○
	水	2	『教行信証』論	2	2～4	前期	本明　義樹			○	○	○	○	○
	木	5	『歎異抄』論	2	1～4	前期	三木　彰円			○	○	○	○	○
	月	4	真宗と諸宗教	2	2～4	前期	木越　康		(院)	○	○	○	○	○
	火	2	インド仏教思想論1	2	2～4	前期	上野　牧生	隔年開講		○	○	○	○	○
			インド仏教思想論2	2	2～4			本年度休講						
	水	1	中国仏教思想論1	2	2～4	前期	戸次　顕彰	隔年開講		○	○	○	○	○
			中国仏教思想論2	2	2～4			本年度休講						
			日本仏教思想論1	2	2～4			本年度休講						
	木	5	日本仏教思想論2	2	2～4	後期	釆睪　晃	隔年開講		○	○	○	○	○
							戸次　顕彰			○	○	○	○	○
							三宅　伸一郎			○	○	○	○	○
							DASH SHOBHA			○	○	○	○	○
							上野　牧生			○	○	○	○	○
							新田　智通			○	○	○	○	○
	火	4	現代と真宗	2	2～4	前期	藤原　正寿			○	○	○	○	○
			真宗学特殊講義1	2	2～4			本年度休講						
	水	5	真宗学特殊講義2	2	2～4	前期	藤井　了興			○	○	○	○	○
	金	1	真宗学特殊講義3	2	2～4	後期	山雄　優生			○	○	○	○	○
			真宗学特殊講義4	2	2～4			本年度休講						

文学部　真宗学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
講義	木	5	浄土教史概説	2	2～4	後期	山田　恵文	＜真宗史＞		○	○	○	○	○
	木	2	真宗教団史	2	2～4	前期	松金　直美	＜真宗史＞		○	○	○	○	○
	金	3	近代教学史	2	2～4	後期	藤原　智	＜真宗史＞		○	○	○	○	○
	木	1	真宗典籍研究	2	2～4	前期	藤原　智	＜真宗史＞		○	○	○	○	○
	水	2	宗教学概説	2	1～4	前期	狭間　芳樹			○	○	○	○	○
	月	5	宗教史概論1	2	1～4	前期	小林　敬			○	○	○	△	×
	月	5	宗教史概論2	2	1～4	後期	小林　敬			○	○	○	△	×
実践研究	火	1	仏教文献基礎演習a－1	2	1	前期	箕浦　暁雄			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習b－1	2	1	後期	松金　直美			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習a－2	2	1	前期	向田　泰真			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習b－2	2	1	後期	小川　直人			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習a－3	2	1	前期	吹田　隆徳			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習b－3	2	1	後期	藤井　了興			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習a－4	2	1	前期	中西　麻一子			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習b－4	2	1	後期	藤原　智			○	×	×	×	×
	木	3	教行信証＜総序・教巻＞を読む	2	3～4	前期	本明　義樹			○	○	○	○	○
	金	4	教行信証＜行巻＞を読む	2	3～4	後期	小川　直人			○	○	○	○	○
	木	2	教行信証＜信巻＞を読む	2	3～4	後期	藤元　雅文			○	○	○	○	○
	火	2	教行信証＜証巻＞を読む	2	3～4	前期	M.J.CONWAY			○	○	○	○	○
			教行信証＜真仏土巻＞を読む	2	3～4			本年度休講						
	水	4	教行信証＜化身土巻＞を読む	2	3～4	前期	藤原　正寿			○	○	○	○	○
	木	4	浄土経典を読む1	2	2～4	前期	山田　恵文			○	○	○	○	○
	月	4	浄土経典を読む2	2	1～4	後期	本明　義樹			○	○	○	○	○
			浄土経典を読む3	2	1～4			本年度休講						
	月	1	維摩経を読む	2	2～4	後期	戸次　顕彰			○	○	○	○	○
	水	3	法華経を読む	2	2～4	後期	戸次　顕彰			○	○	○	○	○
	月	1	浄土論註を読む	2	2～4	前期	本明　義樹			○	○	○	○	○
	木	1	観経疏を読む	2	2～4	後期	藤井　了興			○	○	○	○	○
	木	3	選択集を読む	2	2～4	後期	小川　直人			○	○	○	○	○
	火	5	正信偈を読む	2	2～4	前期	小川　直人			○	○	○	○	○
	水	1	欧文仏典を読む1	2	2～4	前期	M.J.CONWAY			○	○	○	○	○
			欧文仏典を読む2	2	2～4			本年度休講						
	金	2	真宗学特殊演習1	2	2～4	前期	山雄　優生			○	○	○	○	○
			真宗学特殊演習2	2	2～4			本年度休講						
			真宗学特殊演習3	2	2～4			本年度休講						
	月	5	真宗学特殊演習4	2	3～4	前期	平岡　聡		(院)	○	○	○	○	○
			真宗学特殊演習5	2	2～4			本年度休講						
			真宗学特殊演習6	2	2～4			本年度休講						
	＊		フィールドワーク1(思想探究)	2	2～4	集中前期	松金　直美			○	○	○	○	○
			フィールドワーク2(現代臨床)	2	2～4			本年度休講						
	＊		フィールドワーク3(国際)	2	3～4	集中後期	M.J.CONWAY	海外研修		○	○	○	○	×

文学部　仏教学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演習	木	3	仏教学演習Ⅰa－1	2	1	前期	戸次　顕彰			○	×	×	×	×
	木	3	仏教学演習Ⅰb－1	2	1	後期	戸次　顕彰			○	×	×	×	×
			仏教学演習Ⅰa－2	2	1			本年度休講						
			仏教学演習Ⅰb－2	2	1			本年度休講						
	水	2	仏教学演習Ⅱa－1	2	2	前期	三宅　伸一郎	現代仏教コース		○	×	×	×	×
	水	2	仏教学演習Ⅱb－1	2	2	後期	三宅　伸一郎	現代仏教コース		○	×	×	×	×
			仏教学演習Ⅱa－2	2	2			本年度休講						
			仏教学演習Ⅱb－2	2	2			本年度休講						
	水	2	仏教学演習Ⅱa－3	2	2	前期	DASH SHOBHA	仏教思想コース		○	×	×	×	×
	水	2	仏教学演習Ⅱb－3	2	2	後期	DASH SHOBHA	仏教思想コース		○	×	×	×	×
	火	3	仏教学演習Ⅲa－1	2	3	前期	釆睪　晃	現代仏教コース		○	×	×	×	×
	火	3	仏教学演習Ⅲb－1	2	3	後期	釆睪　晃	現代仏教コース		○	×	×	×	×
			仏教学演習Ⅲa－2	2	3			本年度休講						
			仏教学演習Ⅲb－2	2	3			本年度休講						
			仏教学演習Ⅲa－3	2	3			本年度休講						
			仏教学演習Ⅲb－3	2	3			本年度休講						
	月	3	仏教学演習Ⅲa－4	2	3	前期	箕浦　暁雄	仏教思想コース		○	×	×	×	×
	月	3	仏教学演習Ⅲb－4	2	3	後期	箕浦　暁雄	仏教思想コース		○	×	×	×	×
			仏教学演習Ⅲa－5	2	3			本年度休講						
			仏教学演習Ⅲb－5	2	3			本年度休講						
	金	3	仏教学演習Ⅳa－1	2	4	前期	新田　智通	現代仏教コース		○	×	×	×	×
	金	3	仏教学演習Ⅳb－1	2	4	後期	新田　智通	現代仏教コース		○	×	×	×	×
			仏教学演習Ⅳa－2	2	4			本年度休講						
			仏教学演習Ⅳb－2	2	4			本年度休講						
			仏教学演習Ⅳa－3	2	4			本年度休講						
			仏教学演習Ⅳb－3	2	4			本年度休講						
	金	3	仏教学演習Ⅳa－4	2	4	前期	上野　牧生	仏教思想コース		○	×	×	×	×
	金	3	仏教学演習Ⅳb－4	2	4	後期	上野　牧生	仏教思想コース		○	×	×	×	×
			仏教学演習Ⅳa－5	2	4			本年度休講						
			仏教学演習Ⅳb－5	2	4			本年度休講						
概論	金	1	仏教学概論1	2	1～4	前期	釆睪　晃			○	○	○	○	×
	金	1	仏教学概論2	2	1～4	後期	山本　和彦			○	○	○	○	×
	木	1	仏教学概論3	2	1～4	前期	新田　智通			○	○	○	○	×
	木	1	仏教学概論4	2	1～4	後期	戸次　顕彰			○	○	○	○	×
講義	火	4	大乗仏教入門	2	2	後期	箕浦　暁雄			○	○	○	○	○
	火	2	インド仏教思想論1	2	2～4	前期	上野　牧生	隔年開講		○	○	○	○	○
			インド仏教思想論2	2	2～4			本年度休講						
	水	1	中国仏教思想論1	2	2～4	前期	戸次　顕彰	隔年開講		○	○	○	○	○
			中国仏教思想論2	2	2～4			本年度休講						
			日本仏教思想論1	2	2～4			本年度休講						
	木	5	日本仏教思想論2	2	2～4	後期	釆睪　晃	隔年開講		○	○	○	○	○
							戸次　顕彰			○	○	○	○	○
							三宅　伸一郎			○	○	○	○	○
							DASH SHOBHA			○	○	○	○	○
							上野　牧生			○	○	○	○	○
							新田　智通			○	○	○	○	○
	月	4	中国仏教史	2	2～4	後期	倉本　尚徳			○	○	○	○	○
	水	4	日本仏教史	2	2～4	前期	大艸　啓			○	○	○	○	○
							東舘　紹見			○	○	○	○	○
							川端　泰幸			○	○	○	○	○
							平野　寿則			○	○	○	○	○
							福島　栄寿			○	○	○	○	○
							國賀　由美子			○	○	○	○	○
	木	5	浄土教史概説	2	2～4	後期	山田　恵文	＜真宗史＞		○	○	○	○	○
	月	4	宗教史1	2	3～4	前期	小林　敬			○	○	○	○	○
	月	4	宗教史2	2	3～4	後期	小林　敬			○	○	○	○	○
	金	2	インド学	2	2～4	前期	山本　和彦			○	○	○	○	○
	木	3	現代仏教論	2	2～4	前期	新田　智通			○	○	○	○	○
	火	4	現代と真宗	2	2～4	前期	藤原　正寿			○	○	○	○	○
	火	5	死生学	2	1～4	後期	根無　一行			○	○	○	○	○
	火	4	生命倫理	2	1～4	前期	藤枝　真			○	○	○	○	○
	水	4	人間関係学	2	1～4	後期	谷口　奈青理			○	○	○	○	○
	金	2	地域仏教論	2	2～4	後期	三宅　伸一郎			○	○	○	○	○
	水	3	仏教学特殊講義1	2	2～4	前期	山本　和彦			○	○	○	○	○
	水	3	仏教学特殊講義2	2	2～4	後期	山本　和彦			○	○	○	○	○
	木	2	仏教学特殊講義3	2	3～4	後期	中西　麻一子			○	○	○	○	○
	水	1	仏教学特殊講義4	2	2～4	後期	新田　智通			○	○	○	○	○
実践研究	火	1	仏教文献基礎演習a－1	2	1	前期	箕浦　暁雄			○	×	×	×	×

文学部　仏教学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
実践研究	火	1	仏教文献基礎演習b－1	2	1	後期	松金　直美			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習a－2	2	1	前期	向田　泰真			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習b－2	2	1	後期	小川　直人			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習a－3	2	1	前期	吹田　隆徳			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習b－3	2	1	後期	藤井　了興			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習a－4	2	1	前期	中西　麻一子			○	×	×	×	×
	火	1	仏教文献基礎演習b－4	2	1	後期	藤原　智			○	×	×	×	×
	木	2	現代仏教演習	2	2～4	前期	岸上　仁			○	○	○	○	○
	火	2	地域仏教演習	2	2～4	後期	上野　牧生			○	○	○	○	○
	木	3	初期仏典を読む	2	2～4	後期	新田　智通			○	○	○	○	○
	木	4	浄土経典を読む1	2	2～4	前期	山田　恵文			○	○	○	○	○
	月	4	浄土経典を読む2	2	1～4	後期	本明　義樹			○	○	○	○	○
			浄土経典を読む3	2	1～4			本年度休講						
	月	1	維摩経を読む	2	2～4	後期	戸次　顕彰			○	○	○	○	○
	水	3	法華経を読む	2	2～4	後期	戸次　顕彰			○	○	○	○	○
	水	1	欧文仏典を読む1	2	2～4	前期	M.J.CONWAY			○	○	○	○	○
			欧文仏典を読む2	2	2～4			本年度休講						
	金	4	仏教学特殊演習1	2	2～4	前期	村上　昌孝			○	○	○	○	○
	金	4	仏教学特殊演習2	2	2～4	後期	村上　昌孝			○	○	○	○	○
	月	2	仏教学特殊演習3	2	2～4	前期	戸次　顕彰			○	○	○	○	○
	金	5	仏教学特殊演習4	2	2～4	後期	新田　智通			○	○	○	○	○
	月	4	仏教学特殊演習5	2	2～4	前期	福田　洋一			○	○	○	○	○
	月	4	仏教学特殊演習6	2	2～4	後期	福田　洋一			○	○	○	○	○
	＊		臨床フィールドワーク	2	3～4	集中後期	箕浦　暁雄			○	○	○	○	○
	木	4	パーリ語a	1	2～4	前期	DASH SHOBHA			○	○	○	○	○
	木	4	パーリ語b	1	2～4	後期	DASH SHOBHA			○	○	○	○	○
	金	5	サンスクリット語a	1	1～4	前期	村上　昌孝			○	○	○	○	○
	金	5	サンスクリット語b	1	1～4	後期	村上　昌孝			○	○	○	○	○
	月	2	古典チベット語a	1	2～4	前期	三宅　伸一郎			○	○	○	○	○
	月	2	古典チベット語b	1	2～4	後期	三宅　伸一郎			○	○	○	○	○

文学部　哲学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演習	木	2	哲学科演習Ⅰa－1	2	1	前期	村山　保史			○	×	×	×	×
	木	2	哲学科演習Ⅰb－1	2	1	後期	藤枝　真			○	×	×	×	×
	木	2	哲学科演習Ⅰa－2	2	1	前期	根無　一行			○	×	×	×	×
	木	2	哲学科演習Ⅰb－2	2	1	後期	鳥越　覚生			○	×	×	×	×
	木	2	哲学科演習Ⅰa－3	2	1	前期	脇坂　真弥			○	×	×	×	×
	木	2	哲学科演習Ⅰb－3	2	1	後期	西尾　浩二			○	×	×	×	×
	木	2	哲学科演習Ⅰa－4	2	1	前期	西尾　浩二			○	×	×	×	×
	木	2	哲学科演習Ⅰb－4	2	1	後期	根無　一行			○	×	×	×	×
	金	2	哲学科演習Ⅱa－1	2	2	前期	西尾　浩二	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	金	2	哲学科演習Ⅱb－1	2	2	後期	西尾　浩二	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	金	2	哲学科演習Ⅱa－2	2	2	前期	鳥越　覚生	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	金	2	哲学科演習Ⅱb－2	2	2	後期	鳥越　覚生	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	金	2	哲学科演習Ⅱa－3	2	2	前期	根無　一行	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	金	2	哲学科演習Ⅱb－3	2	2	後期	根無　一行	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅱa－4	2	2	前期	谷口　奈青理	心理学・人間関係学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅱb－4	2	2	後期	谷口　奈青理	心理学・人間関係学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅲa－1	2	3	前期	西尾　浩二	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅲb－1	2	3	後期	西尾　浩二	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅲa－2	2	3	前期	村山　保史	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅲb－2	2	3	後期	村山　保史	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅲa－3	2	3	前期	脇坂　真弥	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅲb－3	2	3	後期	脇坂　真弥	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅲa－4	2	3	前期	鳥越　覚生	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅲb－4	2	3	後期	鳥越　覚生	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅲa－5	2	3	前期	根無　一行	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅲb－5	2	3	後期	根無　一行	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅲa－6	2	3	前期	藤枝　真	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅲb－6	2	3	後期	藤枝　真	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅲa－7	2	3	前期	谷口　奈青理	心理学・人間関係学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅲb－7	2	3	後期	谷口　奈青理	心理学・人間関係学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅳa－1	2	4	前期	西尾　浩二	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅳb－1	2	4	後期	西尾　浩二	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅳa－2	2	4	前期	村山　保史	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅳb－2	2	4	後期	村山　保史	哲学・西洋思想コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅳa－3	2	4	前期	脇坂　真弥	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅳb－3	2	4	後期	脇坂　真弥	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅳa－4	2	4	前期	鳥越　覚生	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅳb－4	2	4	後期	鳥越　覚生	倫理学・公共哲学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅳa－5	2	4	前期	根無　一行	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅳb－5	2	4	後期	根無　一行	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅳa－6	2	4	前期	藤枝　真	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	水	2	哲学科演習Ⅳb－6	2	4	後期	藤枝　真	宗教学・死生学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅳa－7	2	4	前期	谷口　奈青理	心理学・人間関係学コース		○	×	×	×	×
	木	4	哲学科演習Ⅳb－7	2	4	後期	谷口　奈青理	心理学・人間関係学コース		○	×	×	×	×
概論	金	1	哲学概論1	2	1～4	前期	村山　保史			○	○	○	○	○
	金	1	哲学概論2	2	1～4	後期	村山　保史			○	○	○	○	○
	木	1	倫理学概論1	2	1～4	前期	脇坂　真弥			○	○	○	○	○
	木	1	倫理学概論2	2	1～4	後期	脇坂　真弥			○	○	○	○	○
	火	1	宗教学概論1	2	1～4	前期	藤枝　真			○	○	○	○	○
	火	1	宗教学概論2	2	1～4	後期	藤枝　真			○	○	○	○	○
講義	月	2	西洋哲学史(古代)1	2	2～4	前期	國嶋　貴美子	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	月	2	西洋哲学史(古代)2	2	2～4	後期	國嶋　貴美子	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	月	5	西洋哲学史(中世)1	2	2～4	前期	平野　和歌子	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	月	5	西洋哲学史(中世)2	2	2～4	後期	平野　和歌子	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
			西洋哲学史(近世)1	2	2～4			本年度休講						
			西洋哲学史(近世)2	2	2～4			本年度休講						
	火	5	日本哲学	2	1～4	前期	村山　保史			○	○	×	○	○
	水	4	心理学入門	2	1～4	前期	谷口　奈青理			○	○	○	○	○
	水	4	人間関係学	2	1～4	後期	谷口　奈青理			○	○	○	○	○
	木	5	公共哲学	2	1～4	前期	鳥越　覚生			○	○	○	○	○
	火	5	死生学	2	1～4	後期	根無　一行			○	○	○	○	○
	火	4	生命倫理	2	1～4	前期	藤枝　真			○	○	○	○	○
	月	4	宗教史1	2	3～4	前期	小林　敬			○	○	○	○	○
	月	4	宗教史2	2	3～4	後期	小林　敬			○	○	○	○	○
	月	1	キリスト教学1	2	1～4	前期	芦名　定道			○	○	○	○	○
	月	1	キリスト教学2	2	1～4	後期	芦名　定道			○	○	○	○	○
	火	4	哲学科特殊講義1	2	2～4	前期	平田　公威			○	○	○	○	○
	金	3	哲学科特殊講義2	2	2～4	後期	竹中　正太郎			○	○	○	○	○
			哲学科特殊講義3	2	2～4			本年度休講						

聴講登録
関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

文学部　哲学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
講義			哲学科特殊講義4	2	2～4			本年度休講						
	金	4	哲学科特殊講義5	2	2～4	前期	秋富　克哉	宗教学講義　※大学院進学希望者は履修することが望ましい	(院)	○	○	○	○	○
	金	4	哲学科特殊講義6	2	2～4	後期	秋富　克哉	宗教学講義　※大学院進学希望者は履修することが望ましい	(院)	○	○	○	○	○
	木	3	哲学科特殊講義7	2	2～4	前期	狭間　芳樹	宗教学講義		○	○	○	○	○
	火	4	哲学科特殊講義8	2	2～4	後期	狭間　芳樹	宗教学講義		○	○	○	○	○
	金	3	人文地理学1	2	2～4	前期	皆見　和彦			○	○	○	○	○
	金	4	人文地理学2	2	2～4	後期	皆見　和彦			○	○	○	○	○
	金	4	人文地理学3	2	2～4	前期	皆見　和彦			○	○	○	○	○
	金	3	人文地理学4	2	2～4	後期	皆見　和彦			○	○	○	○	○
	水	3	世界地誌学1	2	2～4	前期	石坂　澄子			○	○	○	△	×
	水	4	世界地誌学2	2	2～4	後期	石坂　澄子			○	○	○	△	×
	水	4	世界地誌学3	2	2～4	前期	石坂　澄子			○	○	○	△	×
	水	3	世界地誌学4	2	2～4	後期	石坂　澄子			○	○	○	△	×
	金	5	法学概論1	2	1～4	前期	西本　成文			○	○	○	△	×
	金	5	法学概論2	2	1～4	後期	西本　成文			○	○	○	△	×
	月	3	政治学概論1	2	1～4	前期	中川　洋一			○	○	○	△	×
	月	3	政治学概論2	2	1～4	後期	中川　洋一			○	○	○	△	×
	月	5	国際関係論1	2	3～4	前期	松本　充豊			○	○	○	△	×
	月	5	国際関係論2	2	3～4	後期	松本　充豊			○	○	○	△	×
	月	1	国際政治学1	2	3～4	前期	池尾　靖志			○	○	○	△	×
	月	1	国際政治学2	2	3～4	後期	池尾　靖志			○	○	○	△	×
実践研究	火	3	批判的思考1	2	1	後期	竹中　正太郎			○	×	×	×	×
	火	3	批判的思考2	2	1	後期	根無　一行			○	×	×	×	×
	金	5	古典ギリシャ語入門1	1	1～4	前期	西尾　浩二			○	○	○	○	○
	金	5	古典ギリシャ語入門2	1	1～4	後期	西尾　浩二			○	○	○	○	○
	月	3	ギリシャ哲学文献を読む1	2	2～4	前期	國嶋　貴美子			○	○	○	○	○
	月	3	ギリシャ哲学文献を読む2	2	2～4	後期	國嶋　貴美子			○	○	○	○	○
	月	4	英米哲学文献を読む1	2	2～4	前期	平田　公威	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	水	1	英米哲学文献を読む2	2	2～4	後期	磯島　浩貴	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	金	4	ドイツ哲学文献を読む1	2	2～4	前期	竹中　正太郎	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	木	3	ドイツ哲学文献を読む2	2	2～4	後期	鳥越　覚生	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	木	3	フランス哲学文献を読む1	2	2～4	前期	根無　一行	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	月	4	フランス哲学文献を読む2	2	2～4	後期	平田　公威	※大学院進学希望者は履修することが望ましい		○	○	○	○	○
	水	3	哲学科特殊演習1	2	1～2	前期	根無　一行	英米語文献研究		○	○	○	○	○
	火	4	哲学科特殊演習2	2	1～2	後期	平田　公威	英米語文献研究		○	○	○	○	○
	火	2	哲学科特殊演習3	2	2～4	前期	渡辺　啓真	英米語文献研究	(院)	○	○	○	○	○
	火	2	哲学科特殊演習4	2	2～4	後期	渡辺　啓真	英米語文献研究	(院)	○	○	○	○	○
	水	1	哲学科特殊演習5	2	2～4	前期	磯島　浩貴	英米語文献研究		○	○	○	○	○
	木	5	哲学科特殊演習6	2	2～4	後期	西尾　浩二	英米語文献研究		○	○	○	○	○
	金	3	哲学科特殊演習7	2	2～4	前期	秋富　克哉	ドイツ語文献研究		○	○	○	×	×
	金	3	哲学科特殊演習8	2	2～4	後期	秋富　克哉	ドイツ語文献研究		○	○	○	×	×
			哲学科特殊演習9	2	3～4			本年度休講						
			哲学科特殊演習10	2	3～4			本年度休講						
			哲学科特殊演習11	2	3～4			本年度休講						
			哲学科特殊演習12	2	3～4			本年度休講						
	火	3	哲学科特殊演習13	2	3～4	前期	渡辺　啓真	英米語文献研究　※大学院進学希望者は履修することが望ましい	(院)	○	○	○	○	○
	火	3	哲学科特殊演習14	2	3～4	後期	渡辺　啓真	英米語文献研究　※大学院進学希望者は履修することが望ましい	(院)	○	○	○	○	○

文学部　歴史学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演習	木	1	歴史学演習Ⅰa－1	2	1	前期	川端　泰幸			○	×	×	×	×
	木	1	歴史学演習Ⅰb－1	2	1	後期	井黒　忍			○	×	×	×	×
	木	1	歴史学演習Ⅰa－2	2	1	前期	松浦　典弘			○	×	×	×	×
	木	1	歴史学演習Ⅰb－2	2	1	後期	大艸　啓			○	×	×	×	×
	木	1	歴史学演習Ⅰa－3	2	1	前期	平野　寿則			○	×	×	×	×
	木	1	歴史学演習Ⅰb－3	2	1	後期	前田　充洋			○	×	×	×	×
	木	1	歴史学演習Ⅰa－4	2	1	前期	前田　充洋			○	×	×	×	×
	木	1	歴史学演習Ⅰb－4	2	1	後期	福島　栄寿			○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱa－1	2	2	前期	大艸　啓	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱb－1	2	2	後期	大艸　啓	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱa－2	2	2	前期	東舘　紹見	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱb－2	2	2	後期	東舘　紹見	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱa－3	2	2	前期	工藤　克洋	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱb－3	2	2	後期	工藤　克洋	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱa－4	2	2	前期	川端　泰幸	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱb－4	2	2	後期	川端　泰幸	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱa－5	2	2	前期	平野　寿則	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱb－5	2	2	後期	平野　寿則	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱa－6	2	2	前期	福島　栄寿	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱb－6	2	2	後期	福島　栄寿	日本史コース		○	×	×	×	×
			歴史学演習Ⅱa－7	2	2			本年度休講						
			歴史学演習Ⅱb－7	2	2			本年度休講						
	木	3	歴史学演習Ⅱa－8	2	2	前期	井黒　忍	世界史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱb－8	2	2	後期	井黒　忍	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱa－9	2	2	前期	松浦　典弘	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱb－9	2	2	後期	松浦　典弘	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱa－10	2	2	前期	前田　充洋	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅱb－10	2	2	後期	前田　充洋	世界史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱa－11	2	2	前期	川端　泰幸	歴史ミュージアムコース		○	×	×	×	×
							國賀　由美子			○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱb－11	2	2	後期	山下　真由美	歴史ミュージアムコース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱa－12	2	2	前期	大艸　啓	京都探究コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅱb－12	2	2	後期	大艸　啓	京都探究コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲa－1	2	3	前期	大艸　啓	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲb－1	2	3	後期	大艸　啓	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲa－2	2	3	前期	東舘　紹見	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲb－2	2	3	後期	東舘　紹見	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲa－3	2	3	前期	工藤　克洋	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲb－3	2	3	後期	工藤　克洋	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲa－4	2	3	前期	川端　泰幸	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲb－4	2	3	後期	川端　泰幸	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲa－5	2	3	前期	平野　寿則	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲb－5	2	3	後期	平野　寿則	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲa－6	2	3	前期	福島　栄寿	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲb－6	2	3	後期	福島　栄寿	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲa－7	2	3	前期	前田　充洋	世界史コース		○	×	×	×	×
							貝原　哲生			○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲb－7	2	3	後期	前田　充洋	世界史コース		○	×	×	×	×
							貝原　哲生			○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲa－8	2	3	前期	井黒　忍	世界史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲb－8	2	3	後期	井黒　忍	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲa－9	2	3	前期	松浦　典弘	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲb－9	2	3	後期	松浦　典弘	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲa－10	2	3	前期	前田　充洋	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	2	歴史学演習Ⅲb－10	2	3	後期	前田　充洋	世界史コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲa－11	2	3	前期	川端　泰幸	歴史ミュージアムコース		○	×	×	×	×
							國賀　由美子			○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲb－11	2	3	後期	山下　真由美	歴史ミュージアムコース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲa－12	2	3	前期	大艸　啓	京都探究コース		○	×	×	×	×
	木	3	歴史学演習Ⅲb－12	2	3	後期	大艸　啓	京都探究コース		○	×	×	×	×
	月	6	歴史学演習Ⅳa－1	2	4	前期	大艸　啓	日本史コース		○	×	×	×	×
	月	6	歴史学演習Ⅳb－1	2	4	後期	大艸　啓	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	6	歴史学演習Ⅳa－2	2	4	前期	東舘　紹見	日本史コース		○	×	×	×	×
	火	6	歴史学演習Ⅳb－2	2	4	後期	東舘　紹見	日本史コース		○	×	×	×	×
			歴史学演習Ⅳa－3	2	4			本年度休講						
			歴史学演習Ⅳb－3	2	4			本年度休講						
	木	6	歴史学演習Ⅳa－4	2	4	前期	川端　泰幸	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳb－4	2	4	後期	川端　泰幸	日本史コース		○	×	×	×	×

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

文学部　歴史学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演　習	月	6	歴史学演習Ⅳa－5	2	4	前期	平野　寿則	日本史コース		○	×	×	×	×
	月	6	歴史学演習Ⅳb－5	2	4	後期	平野　寿則	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳa－6	2	4	前期	福島　栄寿	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳb－6	2	4	後期	福島　栄寿	日本史コース		○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳa－7	2	4	前期	井黒　忍	世界史コース		○	×	×	×	×
							前田　充洋			○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳb－7	2	4	後期	井黒　忍	世界史コース		○	×	×	×	×
							前田　充洋			○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳa－8	2	4	前期	井黒　忍	世界史コース		○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳb－8	2	4	後期	井黒　忍	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	6	歴史学演習Ⅳa－9	2	4	前期	松浦　典弘	世界史コース		○	×	×	×	×
	火	6	歴史学演習Ⅳb－9	2	4	後期	松浦　典弘	世界史コース		○	×	×	×	×
	月	6	歴史学演習Ⅳa－10	2	4	前期	前田　充洋	世界史コース		○	×	×	×	×
	月	6	歴史学演習Ⅳb－10	2	4	後期	前田　充洋	世界史コース		○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳa－11	2	4	前期	川端　泰幸	歴史ミュージアムコース		○	×	×	×	×
							國賀　由美子			○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳb－11	2	4	後期	山下　真由美	歴史ミュージアムコース		○	×	×	×	×
							國賀　由美子			○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳa－12	2	4	前期	大艸　啓	京都探究コース		○	×	×	×	×
	木	6	歴史学演習Ⅳb－12	2	4	後期	大艸　啓	京都探究コース		○	×	×	×	×
概　論							井黒　忍			○	×	×	×	×
							大艸　啓			○	×	×	×	×
							川端　泰幸			○	×	×	×	×
							工藤　克洋			○	×	×	×	×
	火	3	史学概論1	2	1	前期	國賀　由美子			○	×	×	×	×
							東舘　紹見			○	×	×	×	×
							平野　寿則			○	×	×	×	×
							福島　栄寿			○	×	×	×	×
							前田　充洋			○	×	×	×	×
							松浦　典弘			○	×	×	×	×
							井黒　忍			○	×	×	×	×
							大艸　啓			○	×	×	×	×
							川端　泰幸			○	×	×	×	×
							工藤　克洋			○	×	×	×	×
	火	3	史学概論2	2	1	後期	東舘　紹見			○	×	×	×	×
							平野　寿則			○	×	×	×	×
							福島　栄寿			○	×	×	×	×
							前田　充洋			○	×	×	×	×
							松浦　典弘			○	×	×	×	×
							山下　真由美			○	×	×	×	×
	木	4	日本史学概論1	2	1～4	前期	宮﨑　健司			○	○	○	○	○
	金	2	日本史学概論2	2	1～4	後期	川端　泰幸			○	○	○	○	○
	金	2	東洋史学概論1	2	1～4	前期	浅見　直一郎			○	○	○	○	○
	木	4	東洋史学概論2	2	1～4	後期	松浦　典弘			○	○	○	○	○
	火	5	西洋史学概論1	2	1～4	前期	坂井　聰			○	○	○	○	○
	火	5	西洋史学概論2	2	1～4	後期	坂井　聰			○	○	○	○	○
講　義	金	4	日本古代史講義1	2	2～4	前期	堅田　理			○	○	○	○	○
	金	3	日本古代史講義2	2	2～4	後期	櫻井　信也			○	○	○	○	○
	金	2	日本中世史講義1	2	2～4	前期	下間　一頼			○	○	○	○	○
	金	2	日本中世史講義2	2	2～4	後期	下間　一頼			○	○	○	○	○
	金	1	日本近世史講義1	2	2～4	前期	石黒　衛			○	○	○	○	○
	金	1	日本近世史講義2	2	2～4	後期	石黒　衛			○	○	○	○	○
	水	4	日本近現代史講義1	2	2～4	前期	林　和樹			○	○	○	○	○
	水	4	日本近現代史講義2	2	2～4	後期	林　和樹			○	○	○	○	○
	火	1	中国古代史講義1	2	2～4	前期	藤井　律之			○	○	○	○	○
	火	1	中国古代史講義2	2	2～4	後期	藤井　律之			○	○	○	○	○
	月	1	中国中世史講義1	2	3～4	前期	船山　徹		(院)	○	○	○	○	○
	月	1	中国中世史講義2	2	3～4	後期	船山　徹		(院)	○	○	○	○	○
	月	2	中国近世・近代史講義1	2	2～4	前期	髙井　たかね			○	○	○	○	○
	木	1	中国近世・近代史講義2	2	2～4	後期	髙井　たかね			○	○	○	○	○
	月	4	西洋史講義1	2	2～4	前期	前田　充洋			○	○	○	○	○
	月	4	西洋史講義2	2	2～4	後期	前田　充洋			○	○	○	○	○
	水	2	歴史学特殊講義1	2	2～4	前期	工藤　克洋			○	○	○	○	○
	月	2	歴史学特殊講義2	2	2～4	後期	工藤　克洋			○	○	○	○	○
			歴史学特殊講義3	2	2～4			本年度休講						
	金	4	歴史学特殊講義4	2	2～4	後期	山名　伸生			○	○	○	○	○
	月	5	歴史学特殊講義5	2	2～4	前期	貝原　哲生			○	○	○	○	○
	月	5	歴史学特殊講義6	2	2～4	後期	貝原　哲生			○	○	○	○	○

文学部　歴史学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
講義			京都探究講義1	2	2～4			本年度休講						
	火	4	京都探究講義2	2	2～4	後期	大艸　啓			○	○	○	○	○
	月	1	日本民俗学	2	2～4	前期	和田　光生			○	○	○	○	○
	月	4	中国仏教史	2	2～4	後期	倉本　尚徳			○	○	○	○	○
	水	4	日本仏教史	2	2～4	前期	大艸　啓			○	○	○	○	○
							東舘　紹見			○	○	○	○	○
							川端　泰幸			○	○	○	○	○
							平野　寿則			○	○	○	○	○
							福島　栄寿			○	○	○	○	○
							國賀　由美子			○	○	○	○	○
	火	5	真宗史	2	2～4	後期	東舘　紹見			○	○	○	○	○
			文化交流史	2	2～4			本年度休講						
	木	4	京都の歴史と文化	2	1～4	前期	杉本　理			○	○	○	○	○
	金	2	歴史地理学1	2	2～4	前期	中村　武生			○	○	○	○	○
	金	2	歴史地理学2	2	2～4	後期	中村　武生			○	○	○	○	○
	水	3	考古学1	2	2～4	前期	千葉　豊			○	○	○	○	○
	水	4	考古学2	2	2～4	後期	千葉　豊			○	○	○	○	○
	水	5	美術史1	2	2～4	前期	國賀　由美子			○	○	○	○	○
	水	5	美術史2	2	2～4	後期	國賀　由美子			○	○	○	○	○
	金	3	古文書学概論1	2	2～4	前期	櫻井　信也			○	○	○	○	○
	月	3	古文書学概論2	2	2～4	後期	秋元　せき			○	○	○	○	○
			建築史1	2	1～4			本年度休講						
			建築史2	2	1～4			本年度休講						
	月	3	博物館概論	2	1～4	後期	山下　真由美			○	○	○	○	×
	月	6	博物館資料論	2	1～4	後期	和田　光生			○	○	○	○	×
			文化財概論	2	1～4			本年度休講						
	集中		文化財保存科学論	2	1～4	集中後期	雨森　久晃			○	○	○	○	○
	火	5	博物館教育論	2	2	後期	平野　寿則			○	○	○	○	×
							川端　泰幸			○	○	○	○	×
	金	3	人文地理学1	2	2～4	前期	皆見　和彦			○	○	○	○	○
	金	4	人文地理学2	2	2～4	後期	皆見　和彦			○	○	○	○	○
	金	4	人文地理学3	2	2～4	前期	皆見　和彦			○	○	○	○	○
	金	3	人文地理学4	2	2～4	後期	皆見　和彦			○	○	○	○	○
	水	3	世界地誌学1	2	2～4	前期	石坂　澄子			○	○	○	△	×
	水	4	世界地誌学2	2	2～4	後期	石坂　澄子			○	○	○	△	×
	水	4	世界地誌学3	2	2～4	前期	石坂　澄子			○	○	○	△	×
	水	3	世界地誌学4	2	2～4	後期	石坂　澄子			○	○	○	△	×
	金	1	自然地理学1	2	1～4	前期	鈴木　寿志			○	○	○	○	○
	月	3	自然地理学2	2	1～4	後期	鈴木　寿志			○	○	○	○	○
	火	1	経済学概論1	2	1～4	前期	浅海　達也			○	○	○	△	×
	火	1	経済学概論2	2	1～4	後期	浅海　達也			○	○	○	△	×
	火	2	国際経済学1	2	3～4	前期	浅海　達也			○	○	○	△	×
	火	2	国際経済学2	2	3～4	後期	浅海　達也			○	○	○	△	×
	月	2	社会学総論1	2	1～4	前期	金　瑛			○	○	○	○	○
	月	3	社会学総論2	2	1～4	後期	金　瑛			○	○	○	○	○
実践研究	火	1	歴史学基礎演習a－1	2	1	前期	小野木　聡			○	×	×	×	×
	火	1	歴史学基礎演習b－1	2	1	後期	下村　優佳			○	×	×	×	×
	火	1	歴史学基礎演習a－2	2	1	前期	下村　優佳			○	×	×	×	×
	火	1	歴史学基礎演習b－2	2	1	後期	小野木　聡			○	×	×	×	×
	火	1	歴史学基礎演習a－3	2	1	前期	宗　周太郎			○	×	×	×	×
	火	1	歴史学基礎演習b－3	2	1	後期	増成　一倫			○	×	×	×	×
	火	1	歴史学基礎演習a－4	2	1	前期	増成　一倫			○	×	×	×	×
	火	1	歴史学基礎演習b－4	2	1	後期	宗　周太郎			○	×	×	×	×
	火	3	日本古代史料を読む1	2	2～4	前期	増成　一倫			○	○	○	○	○
	火	3	日本古代史料を読む2	2	2～4	後期	増成　一倫			○	○	○	○	○
	水	1	日本中世史料を読む1	2	2～4	前期	吉永　隆記			○	○	○	○	○
	水	1	日本中世史料を読む2	2	2～4	後期	吉永　隆記			○	○	○	○	○
	金	2	日本近世史料を読む1	2	2～4	前期	野田　浩子			○	○	○	○	○
	金	2	日本近世史料を読む2	2	2～4	後期	野田　浩子			○	○	○	○	○
	木	2	日本近現代史料を読む1	2	2～4	前期	福島　栄寿			○	○	○	○	○
	水	3	日本近現代史料を読む2	2	2～4	後期	福島　栄寿			○	○	○	○	○
	金	1	中国古代・中世史料を読む1	2	2～4	前期	今西　智久			○	○	○	○	○
	金	1	中国古代・中世史料を読む2	2	2～4	後期	今西　智久			○	○	○	○	○
	木	4	中国近世・近代史料を読む1	2	2～4	前期	井黒　忍			○	○	○	○	○
	木	4	中国近世・近代史料を読む2	2	2～4	後期	井黒　忍			○	○	○	○	○
	木	2	交流史料を読む1	2	2～4	前期	前田　充洋			○	○	○	○	○
	木	2	交流史料を読む2	2	2～4	後期	前田　充洋			○	○	○	○	○
			交流史料を読む3	2	2～4			本年度休講						

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

文学部　歴史学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
実践研究			交流史料を読む4	2	2～4			本年度休講						
	水	1	西洋史文献を読む1	2	2～4	前期	林　祐一郎			○	○	○	○	○
	水	1	西洋史文献を読む2	2	2～4	後期	林　祐一郎			○	○	○	○	○
	水	2	京都探究調査演習1	2	2～4	前期	大艸　啓			○	○	○	○	○
			京都探究調査演習2	2	2～4			本年度休講						
	月	2	歴史学特殊演習1	2	2～4	前期	宮﨑　健司		(院)	○	○	○	○	○
	月	2	歴史学特殊演習2	2	2～4	後期	宮﨑　健司		(院)	○	○	○	○	○
	金	3	歴史学特殊演習3	2	2～4	前期	浅見　直一郎			○	○	○	○	○
	金	3	歴史学特殊演習4	2	2～4	後期	浅見　直一郎			○	○	○	○	○
	月	3	古文書演習1	2	2～4	前期	平野　寿則			○	○	○	○	○
	月	2	古文書演習2	2	2～4	後期	西山　剛			○	○	○	○	○
			文化財調査演習1	2	2～4			本年度休講						
			文化財調査演習2	2	2～4			本年度休講						
			文化財調査演習3	2	2～4			本年度休講						
			文化財調査演習4	2	2～4			本年度休講						
	木	5	古文書解読法1	4	1～4	通年	平野　寿則			○	○	○	○	×
							前田　一郎			○	○	○	○	×
	金	1	古文書解読法2	4	1～4	通年	大艸　啓			○	○	○	○	×
							川端　泰幸			○	○	○	○	×
	水	2	漢文訓読法1	2	1～2	前期	井黒　忍			○	○	○	○	○
	水	2	漢文訓読法2	2	1～2	後期	井黒　忍			○	○	○	○	○
	水	1	博物館展示論	2	3	後期	川端　泰幸			○	○	○	○	×
							大艸　啓			○	○	○	○	×
							工藤　克洋			○	○	○	○	×
							山下　真由美			○	○	○	○	×
	＊		展示実習	2	4	集中後期	大艸　啓			○	○	○	▲	×
							川端　泰幸			○	○	○	▲	×
							工藤　克洋			○	○	○	▲	×
							平野　寿則			○	○	○	▲	×

文学部　文学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演習	木	3	文学科演習Ⅰa－1	2	1	前期	川瀬　綾子			○	×	×	×	×
	木	3	文学科演習Ⅰb－1	2	1	後期	大秦　一浩			○	×	×	×	×
	木	3	文学科演習Ⅰa－2	2	1	前期	大秦　一浩			○	×	×	×	×
	木	3	文学科演習Ⅰb－2	2	1	後期	北山　敏秀			○	×	×	×	×
	木	3	文学科演習Ⅰa－3	2	1	前期	佐藤　愛弓			○	×	×	×	×
	木	3	文学科演習Ⅰb－3	2	1	後期	安藤　香苗			○	×	×	×	×
	木	3	文学科演習Ⅰa－4	2	1	前期	中川　眞二			○	×	×	×	×
	木	3	文学科演習Ⅰb－4	2	1	後期	陸　穎瑤			○	×	×	×	×
			文学科演習Ⅰa－5	2	1			本年度休講						
			文学科演習Ⅰb－5	2	1			本年度休講						
	木	4	文学科演習Ⅱa－1	2	2	前期	陸　穎瑤			○	×	×	×	×
	木	4	文学科演習Ⅱb－1	2	2	後期	國中　治			○	×	×	×	×
	木	4	文学科演習Ⅱa－2	2	2	前期	安藤　香苗			○	×	×	×	×
	木	4	文学科演習Ⅱb－2	2	2	後期	佐藤　愛弓			○	×	×	×	×
	木	4	文学科演習Ⅱa－3	2	2	前期	大秦　一浩			○	×	×	×	×
	木	4	文学科演習Ⅱb－3	2	2	後期	北山　敏秀			○	×	×	×	×
	木	4	文学科演習Ⅱa－4	2	2	前期	中川　眞二			○	×	×	×	×
	木	4	文学科演習Ⅱb－4	2	2	後期	川瀬　綾子			○	×	×	×	×
			文学科演習Ⅱa－5	2	2			本年度休講						
			文学科演習Ⅱb－5	2	2			本年度休講						
	火	3	文学科演習Ⅲa－1	2	3	前期	陸　穎瑤			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲb－1	2	3	後期	陸　穎瑤			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲa－2	2	3	前期	佐藤　愛弓			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲb－2	2	3	後期	佐藤　愛弓			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲa－3	2	3	前期	中川　眞二			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲb－3	2	3	後期	中川　眞二			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲa－4	2	3	前期	大秦　一浩			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲb－4	2	3	後期	大秦　一浩			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲa－5	2	3	前期	安藤　香苗			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲb－5	2	3	後期	安藤　香苗			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲa－6	2	3	前期	國中　治			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲb－6	2	3	後期	國中　治			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲa－7	2	3	前期	北山　敏秀			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅲb－7	2	3	後期	北山　敏秀			○	×	×	×	×
	水	4	文学科演習Ⅲa－8	2	3	前期	川瀬　綾子			○	×	×	×	×
	水	4	文学科演習Ⅲb－8	2	3	後期	川瀬　綾子			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅳa－1	2	4	前期	陸　穎瑤			○	×	×	×	×
	火	6	文学科演習Ⅳb－1	2	4	後期	陸　穎瑤			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅳa－2	2	4	前期	佐藤　愛弓			○	×	×	×	×
	火	6	文学科演習Ⅳb－2	2	4	後期	佐藤　愛弓			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅳa－3	2	4	前期	中川　眞二			○	×	×	×	×
	火	6	文学科演習Ⅳb－3	2	4	後期	中川　眞二			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅳa－4	2	4	前期	大秦　一浩			○	×	×	×	×
	火	6	文学科演習Ⅳb－4	2	4	後期	大秦　一浩			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅳa－5	2	4	前期	安藤　香苗			○	×	×	×	×
	火	6	文学科演習Ⅳb－5	2	4	後期	安藤　香苗			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅳa－6	2	4	前期	國中　治			○	×	×	×	×
	火	6	文学科演習Ⅳb－6	2	4	後期	國中　治			○	×	×	×	×
	火	3	文学科演習Ⅳa－7	2	4	前期	北山　敏秀			○	×	×	×	×
	火	6	文学科演習Ⅳb－7	2	4	後期	北山　敏秀			○	×	×	×	×
概論	火	4	国文学概論1	2	1～4	前期	中川　眞二	「国文学史」を含む		○	○	○	○	○
	火	4	国文学概論2	2	1～4	後期	中川　眞二	「国文学史」を含む		○	○	○	○	○
	金	5	国語学概論1	2	1～4	前期	大秦　一浩	「音声言語」を含む		○	○	○	○	○
	金	5	国語学概論2	2	1～4	後期	大秦　一浩	「音声言語」を含む		○	○	○	○	○
	火	2	中国文学概論1	2	1～4	前期	陸　穎瑤			○	○	○	○	○
	火	2	中国文学概論2	2	1～4	後期	陸　穎瑤			○	○	○	○	○
	金	2	現代文芸概論1	2	1～4	前期	國中　治			○	○	○	○	○
	金	2	現代文芸概論2	2	1～4	後期	國中　治			○	○	○	○	○
講義	火	1	日本文学史1	2	1～4	前期	佐藤　愛弓	古典		○	○	○	○	○
	水	1	日本文学史2	2	1～4	後期	安藤　香苗	近現代		○	○	○	○	○
	月	3	国文法講義1	2	1～4	前期	大秦　一浩			○	○	○	○	○
	月	3	国文法講義2	2	1～4	後期	大秦　一浩			○	○	○	○	○
	木	5	中国語学講義1	2	1～4	前期	大岩本　幸次	「漢文法」を含む		○	○	○	○	○
	木	5	中国語学講義2	2	1～4	後期	大岩本　幸次	「漢文法」を含む		○	○	○	○	○
	火	5	文藝塾講義1	2	1～4	前期	安藤　香苗			○	○	○	×	×
	火	5	文藝塾講義2	2	1～4	後期	安藤　香苗			○	○	○	×	×
	火	5	書道	2	1～4	前期	張　莉	実技を含む		○	○	○	△	×
	水	2	古典文学1	2	2～4	前期	安達　敬子			○	○	○	○	○
	水	2	古典文学2	2	2～4	後期	安達　敬子			○	○	○	○	○
	月	2	古典文学3	2	2～4	前期	久留島　元			○	○	○	○	○

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

文学部　文学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
講義	月	2	古典文学4	2	2～4	後期	久留島　元			○	○	○	○	○
	月	5	近現代文学1	2	2～4	前期	深町　博史			○	○	○	○	○
	月	5	近現代文学2	2	2～4	後期	深町　博史			○	○	○	○	○
	金	1	文章表現学1	2	2～4	前期	松田　祥平	「文章表現」を含む		○	○	○	○	○
	金	1	文章表現学2	2	2～4	後期	松田　祥平	「文章表現」を含む		○	○	○	○	○
	木	1	中国文学史1	2	2～4	前期	林　香奈			○	○	○	○	○
	木	1	中国文学史2	2	2～4	後期	林　香奈			○	○	○	○	○
	月	5	中国思想史1	2	2～4	前期	橋本　昭典			○	○	○	○	○
	月	5	中国思想史2	2	2～4	後期	橋本　昭典			○	○	○	○	○
	金	3	中国文献学1	2	2～4	前期	今場　正美			○	○	○	○	○
	金	3	中国文献学2	2	2～4	後期	今場　正美			○	○	○	○	○
	火	1	アメリカ文学講義1	2	2～4	前期	小谷　真由	隔年開講		○	○	○	○	○
			アメリカ文学講義2	2	2～4			本年度休講						
			イギリス文学講義1	2	2～4			本年度休講						
	木	3	イギリス文学講義2	2	2～4	後期	浅若　裕彦	隔年開講		○	○	○	○	○
			ドイツ近現代文学1	2	2～4			本年度休講						
	火	5	ドイツ近現代文学2	2	2～4	後期	青木　三陽	隔年開講		○	○	○	○	○
	木	4	仏教文学特殊講義1	2	3～4	前期	佐藤　愛弓			○	○	○	○	○
	木	3	仏教文学特殊講義2	2	3～4	後期	佐藤　愛弓			○	○	○	○	○
	木	4	中国文学特殊講義1	2	3～4	前期	大岩本　幸次		(院)	○	○	○	○	○
	木	4	中国文学特殊講義2	2	3～4	後期	大岩本　幸次		(院)	○	○	○	○	○
実践研究	木	1	文学鑑賞1	2	1～4	前期	大秦　一浩			○	×	×	△	×
							安藤　香苗			○	×	×	△	×
							北山　敏秀			○	×	×	△	×
							久留島　元			○	×	×	△	×
							川瀬　綾子			○	×	×	△	×
							松田　祥平			○	×	×	△	×
	木	1	文学鑑賞2	2	1～4	後期	中川　眞二			○	×	×	△	×
							佐藤　愛弓			○	×	×	△	×
							北山　敏秀			○	×	×	△	×
							國中　治			○	×	×	△	×
							松田　祥平			○	×	×	△	×
							陸　穎瑤			○	×	×	△	×
	水	5	漢文訓読演習1	2	1～4	前期	三鬼　丈知			○	○	○	○	○
	水	5	漢文訓読演習2	2	1～4	後期	三鬼　丈知			○	○	○	○	○
	木	5	文藝塾実践演習Ⅰa	2	1～4	前期	國中　治			○	○	○	×	×
							北山　敏秀			○	○	○	×	×
	木	5	文藝塾実践演習Ⅰb	2	1～4	後期	北山　敏秀			○	○	○	×	×
							國中　治			○	○	○	×	×
	水	3	古典文学講読1	2	2～4	前期	安達　敬子			○	○	○	○	○
	水	3	古典文学講読2	2	2～4	後期	安達　敬子			○	○	○	○	○
	木	2	古典文学講読3	2	2～4	前期	安藤　秀幸			○	○	○	○	○
	木	2	古典文学講読4	2	2～4	後期	安藤　秀幸			○	○	○	○	○
	水	5	近現代文学講読1	2	2～4	前期	深町　博史			○	○	○	○	○
	水	5	近現代文学講読2	2	2～4	後期	深町　博史			○	○	○	○	○
	水	1	近現代文学講読3	2	2～4	前期	安藤　香苗			○	○	○	○	○
	金	3	近現代文学講読4	2	2～4	後期	北山　敏秀			○	○	○	○	○
	木	5	中国文学講読1	2	2～4	前期	上原　尉暢			○	○	○	○	○
	木	5	中国文学講読2	2	2～4	後期	上原　尉暢			○	○	○	○	○
			言語技術演習	2	2～4			本年度休講						
			文学教材講読	2	2～4			本年度休講						
	金	5	文藝塾実践演習Ⅱa	2	2～4	前期	國中　治			○	○	○	×	×
							北山　敏秀			○	○	○	×	×
	金	5	文藝塾実践演習Ⅱb	2	2～4	後期	北山　敏秀			○	○	○	×	×
							國中　治			○	○	○	×	×
	火	2	仏教文学特殊演習1	2	3～4	前期	本井　牧子		(院)	○	○	○	×	×
	火	2	仏教文学特殊演習2	2	3～4	後期	本井　牧子		(院)	○	○	○	×	×
	水	2	中国文学特殊演習1	2	3～4	前期	陸　穎瑤			○	○	○	△	×
	水	2	中国文学特殊演習2	2	3～4	後期	陸　穎瑤			○	○	○	△	×

社会学部　現代社会学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演習	火	3	社会学演習Ⅰa－1	2	1	前期	野村　明宏			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰb－1	2	1	後期	野村　明宏			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰa－2	2	1	前期	三宮　直樹			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰb－2	2	1	後期	三宮　直樹			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰa－3	2	1	前期	徳田　剛			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰb－3	2	1	後期	徳田　剛			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰa－4	2	1	前期	古谷　伸子			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰb－4	2	1	後期	古谷　伸子			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰa－5	2	1	前期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰb－5	2	1	後期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰa－6	2	1	前期	渡邊　拓也			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰb－6	2	1	後期	渡邊　拓也			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰa－7	2	1	前期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
	火	3	社会学演習Ⅰb－7	2	1	後期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
			社会学演習Ⅰa－8	2	1			本年度休講						
			社会学演習Ⅰb－8	2	1			本年度休講						
	木	3	社会学演習Ⅱa－1	2	2	前期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱb－1	2	2	後期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱa－2	2	2	前期	髙橋　真			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱb－2	2	2	後期	髙橋　真			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱa－3	2	2	前期	後藤　晴子			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱb－3	2	2	後期	後藤　晴子			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱa－4	2	2	前期	田中　正隆			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱb－4	2	2	後期	田中　正隆			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱa－5	2	2	前期	野村　明宏			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱb－5	2	2	後期	野村　明宏			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱa－6	2	2	前期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱb－6	2	2	後期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱa－7	2	2	前期	三宮　直樹			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱb－7	2	2	後期	三宮　直樹			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱa－8	2	2	前期	古谷　伸子			○	×	×	×	×
	木	3	社会学演習Ⅱb－8	2	2	後期	古谷　伸子			○	×	×	×	×
			社会学演習Ⅱa－9	2	2			本年度休講						
			社会学演習Ⅱb－9	2	2			本年度休講						
	水	3	社会学演習Ⅲa－1	2	3	前期	後藤　晴子			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲb－1	2	3	後期	後藤　晴子			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲa－2	2	3	前期	渡邊　拓也			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲb－2	2	3	後期	渡邊　拓也			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲa－3	2	3	前期	永瀬　圭			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲb－3	2	3	後期	永瀬　圭			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲa－4	2	3	前期	田中　正隆			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲb－4	2	3	後期	田中　正隆			○	×	×	×	×
			社会学演習Ⅲa－5	2	3			本年度休講						
			社会学演習Ⅲb－5	2	3			本年度休講						
	水	3	社会学演習Ⅲa－6	2	3	前期	古谷　伸子			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲb－6	2	3	後期	古谷　伸子			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲa－7	2	3	前期	髙橋　真			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲb－7	2	3	後期	髙橋　真			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲa－8	2	3	前期	徳田　剛			○	×	×	×	×
	水	3	社会学演習Ⅲb－8	2	3	後期	徳田　剛			○	×	×	×	×
			社会学演習Ⅲa－9	2	3			本年度休講						
			社会学演習Ⅲb－9	2	3			本年度休講						
	火	6	社会学演習Ⅳa－1	2	4	前期	後藤　晴子			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳb－1	2	4	後期	後藤　晴子			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳa－2	2	4	前期	田中　正隆			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳb－2	2	4	後期	田中　正隆			○	×	×	×	×
			社会学演習Ⅳa－3	2	4			本年度休講						
			社会学演習Ⅳb－3	2	4			本年度休講						
	火	6	社会学演習Ⅳa－4	2	4	前期	髙橋　真			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳb－4	2	4	後期	髙橋　真			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳa－5	2	4	前期	野村　明宏			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳb－5	2	4	後期	野村　明宏			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳa－6	2	4	前期	永瀬　圭			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳb－6	2	4	後期	永瀬　圭			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳa－7	2	4	前期	徳田　剛			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳb－7	2	4	後期	徳田　剛			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳa－8	2	4	前期	渡邊　拓也			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳb－8	2	4	後期	渡邊　拓也			○	×	×	×	×

社会学部　現代社会学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演　習	火	6	社会学演習Ⅳa－9	2	4	前期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
	火	6	社会学演習Ⅳb－9	2	4	後期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
概　論							一楽　真			○	○	×	×	×
							M. Ama			○	○	×	×	×
	木	5	仏教社会論	2	2	前期	戸次　顕彰			○	○	×	×	×
							木越　康			○	○	×	×	×
							酒井　恵光			○	○	×	×	×
	金	3	社会学概論－1	2	2	前期	野村　明宏			○	○	×	×	×
	木	5	社会学概論－2	2	2	後期	渡邊　拓也			○	○	×	×	×
	金	1	現代社会基礎	2	1	前期	渡邊　拓也			○	×	×	×	×
							大川　ヘナン			○	×	×	×	×
							三宮　直樹			○	×	×	×	×
	金	2	社会学入門	2	1	後期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
							永瀬　圭			○	×	×	×	×
講　義	金	2	現代社会論	2	1	前期	田中　正隆			○	×	×	×	×
	水	4	人間関係論	2	1	前期	渡邊　拓也			○	×	×	×	×
	月	3	心理学基礎	2	1～2	後期	粉川　尚枝			○	○	○	○	○
	月	1	現代家族論	2	2	前期	桑原　桃音			○	○	×	○	○
	木	4	ジェンダーと社会	2	2	後期	石田　あゆう			○	○	○	○	○
	火	4	比較心理学	2	2～3	前期	髙橋　真			○	○	×	○	○
	火	3	社会心理学	2	3～4	後期	田中　久美子			○	○	×	○	○
	水	2	現代社会とコミュニケーション	2	2	後期	田中　正隆			○	○	×	×	×
	水	2	教育社会学	2	3～4	前期	松田　康介			○	○	×	○	○
	木	4	個人と公共	2	1	前期	徳田　剛			○	×	×	×	×
	木	4	社会問題論	2	2	後期	徳田　剛			○	○	×	×	×
	金	4	地域社会論	2	1	後期	三宮　直樹			○	○	×	×	×
	火	2	地域福祉論1	2	2	前期	平尾　良治			○	○	○	○	○
	火	2	地域福祉論2	2	2	後期	平尾　良治			○	○	○	○	○
	火	1	環境社会学	2	2～3	前期	土屋　雄一郎			○	×	×	○	○
			グローバリゼーション論	2	3			本年度休講						
	月	5	市民活動論	2	1	後期	大原　ゆい			○	○	×	×	×
	月	5	ボランティア論	2	1	前期	大原　ゆい			○	○	×	×	×
	木	1	地方自治論	2	3	後期	鈴木　暁子			○	○	×	○	×
	木	2	犯罪と社会	2	2	前期	脇中　洋			○	○	○	○	○
	木	2	現代文化論	2	1	後期	野村　明宏			○	×	×	×	×
	金	3	文化社会学	2	2～3	後期	川田　耕			○	×	×	○	○
	月	3	観光社会学	2	2～3	前期	吉田　全宏			○	×	×	○	○
	水	5	宗教と社会	2	2	後期	本林　靖久			○	○	×	○	○
	木	5	日本ポップカルチャー論	2	2～4	後期	柴田　みゆき			○	○	○	○	○
	火	1	スポーツと社会	2	1～2	後期	大野　哲也			○	○	×	○	○
	木	3	消費社会論	2	3～4	前期	石田　あゆう			○	○	×	○	○
	水	5	文化人類学	2	2～3	前期	本林　靖久			○	○	×	○	○
	火	4	アジア社会論	2	2～3	後期	工藤　さくら			○	○	×	○	○
	水	3	情報と倫理	2	1	後期	渡辺　啓真			○	○	○	○	○
	火	5	情報社会論	2	1	後期	永瀬　圭			○	○	○	○	○
	金	4	情報技術論	2	2	後期	酒井　恵光			○	○	×	×	×
	月	4	社会思想史	2	3～4	前期	鍵本　優			○	○	○	○	○
	水	1	社会学史	2	3～4	前期	川田　耕			○	○	○	○	○
	月	2	社会調査論	2	2～3	前期	古屋　哲			○	○	×	○	○
	火	5	社会動態論	2	2～3	後期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
	金	2	比較社会論	2	2～3	前期	高井　康弘			○	×	×	×	×
	火	4	経済と社会	2	1～4	前期	三宮　直樹			○	○	×	○	○
			現代社会とビジネス	2	2～4			本年度休講						
実践研究	木	2	社会統計基礎－1	2	1	前期	髙橋　真			○	×	×	×	×
							永瀬　圭			○	×	×	×	×
	木	1	社会統計基礎－2	2	1	前期	髙橋　真			○	×	×	×	×
							山城　稔暢			○	×	×	×	×
	月	3	社会統計基礎－3	2	1～4	後期	永瀬　圭	再履修		○	×	×	×	×
	金	1	フィールドワーク技法基礎	2	1	後期	後藤　晴子			○	×	×	×	×
							古谷　伸子			○	×	×	×	×
							大川　ヘナン			○	×	×	×	×
							田中　正隆			○	×	×	×	×
	金	5	フィールドワーク入門1	2	2	前期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
							後藤　晴子			○	×	×	×	×
							大川　ヘナン			○	×	×	×	×
							古谷　伸子			○	×	×	×	×
	金	5	フィールドワーク入門2	2	2	後期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
							後藤　晴子			○	×	×	×	×

社会学部　現代社会学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
実践研究	金	5	フィールドワーク入門2	2	2	後期	古谷　伸子			○	×	×	×	×
							大川　ヘナン			○	×	×	×	×
	木	2	探究フィールドワーク1	2	3	前期	徳田　剛			○	×	×	×	×
							大川　ヘナン			○	×	×	×	×
							高井　康弘			○	×	×	×	×
							渡邊　拓也			○	×	×	×	×
	木	2	探究フィールドワーク2	2	3	後期	徳田　剛			○	×	×	×	×
							大川　ヘナン			○	×	×	×	×
							高井　康弘			○	×	×	×	×
							渡邊　拓也			○	×	×	×	×
	火	2	ソーシャル・ドキュメント分析1	2	3	前期	野村　明宏			○	×	×	×	×
							本林　靖久			○	×	×	×	×
	火	2	ソーシャル・ドキュメント分析2	2	3	後期	本林　靖久			○	×	×	×	×
							野村　明宏			○	×	×	×	×
	水	4	社会統計演習1	2	2	前期	髙橋　真			○	×	×	×	×
							永瀬　圭			○	×	×	×	×
	水	4	社会統計演習2	2	2	後期	永瀬　圭			○	×	×	×	×
							髙橋　真			○	×	×	×	×
	月	4	メディア・コミュニケーション分析1	2	3	前期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
	月	4	メディア・コミュニケーション分析2	2	3	後期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
	月	5	社会学文献講読（人間関係）1	2	2～3	前期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
	月	5	社会学文献講読（人間関係）2	2	2～3	後期	橋口　昌治			○	×	×	×	×
	金	4	社会学文献講読（公共社会）1	2	2～3	前期	三宮　直樹			○	×	×	×	×
	金	2	社会学文献講読（公共社会）2	2	2～3	後期	田中　正隆			○	×	×	×	×
	金	1	社会学文献講読（現代文化）1	2	2～3	前期	後藤　晴子			○	×	×	×	×
	火	4	社会学文献講読（現代文化）2	2	2～3	後期	高井　康弘			○	×	×	×	×
			社会学文献講読（経済）	2	2～4			本年度休講						
	金	3	エスノグラフィ講読・作成1	2	3～4	前期	高井　康弘			○	×	×	×	×
	月	2	エスノグラフィ講読・作成2	2	3～4	後期	古屋　哲			○	×	×	×	×
	月	3	文化人類学文献講読1	2	3～4	前期	古屋　哲			○	×	×	×	×
	水	4	文化人類学文献講読2	2	3～4	後期	本林　靖久			○	×	×	×	×
	木	4	社会情報学文献講読	2	2～4	前期	柴田　みゆき			○	×	×	×	×
	火	1	社会心理学文献講読	2	3～4	前期	田中　久美子			○	×	×	×	×
			キャリア・スタディーズ	2	2～4			本年度休講						
	金	4	社会科学基礎演習1	2	1～4	前期	渡邊　拓也			○	○	○	×	×
	水	4	社会科学基礎演習2	2	1～4	後期	渡邊　拓也			○	○	○	×	×
	金	5	社会科学基礎演習3	2	2～4	前期	三宮　直樹			○	○	○	×	×
	水	5	社会科学基礎演習4	2	2～4	後期	三宮　直樹			○	○	○	×	×
	水	5	社会科学基礎演習5	2	2～4	前期	渡邊　拓也			○	○	○	×	×

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

社会学部　コミュニティデザイン学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
3コース共通	演習	木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰa－1	2	1	前期	大原　ゆい			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰb－1	2	1	後期	大原　ゆい			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰa－2	2	1	前期	野村　実			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰb－2	2	1	後期	野村　実			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰa－3	2	1	前期	赤澤　清孝			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰb－3	2	1	後期	赤澤　清孝			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰa－4	2	1	前期	松川　節			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰb－4	2	1	後期	松川　節			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰa－5	2	1	前期	鎌谷　勇宏			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰb－5	2	1	後期	岡部　茜			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰa－6	2	1	前期	志藤　修史			○	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅰb－6	2	1	後期	志藤　修史			○	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱa－1	2	2	前期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱb－1	2	2	後期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱa－2	2	2	前期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱb－2	2	2	後期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱa－3	2	2	前期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱb－3	2	2	後期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱa－4	2	2	前期	松川　節	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱb－4	2	2	後期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱa－5	2	2	前期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱb－5	2	2	後期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱa－6	2	2	前期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅱb－6	2	2	後期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	3	コミュニティデザイン演習Ⅱa－7	2	2	前期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	3	コミュニティデザイン演習Ⅱb－7	2	2	後期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	3	コミュニティデザイン演習Ⅱa－8	2	2	前期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	3	コミュニティデザイン演習Ⅱb－8	2	2	後期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	5	コミュニティデザイン演習Ⅲa－1	2	3	前期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	5	コミュニティデザイン演習Ⅲb－1	2	3	後期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	5	コミュニティデザイン演習Ⅲa－2	2	3	前期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	5	コミュニティデザイン演習Ⅲb－2	2	3	後期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅲa－3	2	3	前期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		木	4	コミュニティデザイン演習Ⅲb－3	2	3	後期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	2	コミュニティデザイン演習Ⅲa－4	2	3	前期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	2	コミュニティデザイン演習Ⅲb－4	2	3	後期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	5	コミュニティデザイン演習Ⅲa－5	2	3	前期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	5	コミュニティデザイン演習Ⅲb－5	2	3	後期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	5	コミュニティデザイン演習Ⅲa－6	2	3	前期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	5	コミュニティデザイン演習Ⅲb－6	2	3	後期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅲa－7	2	3	前期	志藤　修史	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅲb－7	2	3	後期	志藤　修史	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
				コミュニティデザイン演習Ⅲa－8	2	3			本年度休講						
				コミュニティデザイン演習Ⅲb－8	2	3			本年度休講						
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅲa－9	2	3	前期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	3	コミュニティデザイン演習Ⅲb－9	2	3	後期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－1	2	4	前期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－1	2	4	後期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		木	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－2	2	4	前期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		木	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－2	2	4	後期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－3	2	4	前期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－3	2	4	後期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		木	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－4	2	4	前期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		木	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－4	2	4	後期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－5	2	4	前期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－5	2	4	後期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－6	2	4	前期	松川　節	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－6	2	4	後期	松川　節	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－7	2	4	前期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－7	2	4	後期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－8	2	4	前期	志藤　修史	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－8	2	4	後期	志藤　修史	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	6	コミュニティデザイン演習Ⅳa－9	2	4	前期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	6	コミュニティデザイン演習Ⅳb－9	2	4	後期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
地域政策学	概論							一楽　真			○	○	×	×	×
		木	5	仏教社会論	2	2	前期	M.Ama			○	○	×	×	×
								戸次　顕彰			○	○	×	×	×
								木越　康			○	○	×	×	×

社会学部　コミュニティデザイン学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
地域政策学・情報メディアコース	概論	木	5	仏教社会論	2	2	前期	酒井　恵光			○	○	×	×	×
		火	4	コミュニティデザイン概論	2	1	前期	亀山　裕樹			○	×	×	×	×
		火	2	地域政策概論1	2	1	前期	渡辺　拓也			○	×	×	×	×
								野村　実			○	×	×	×	×
		火	2	地域政策概論2	2	1	後期	大原　ゆい			○	×	×	×	×
								鈴木　寿志			○	×	×	×	×
		金	1	情報メディア概論1	2	1	前期	酒井　恵光			○	×	×	○	○
		月	4	情報メディア概論2	2	1	後期	松川　節			○	×	×	○	○
		火	3	現代社会と福祉1	2	1	前期	志藤　修史			○	×	×	○	○
		火	3	現代社会と福祉2	2	1	後期	志藤　修史			○	×	×	○	○
		金	3	社会学概論－1	2	2	前期	野村　明宏			○	○	×	×	×
		木	5	社会学概論－2	2	2	後期	渡邊　拓也			○	○	×	×	×
	講義	月	5	ボランティア論	2	1	前期	大原　ゆい			○	○	×	×	×
		金	5	生活問題論	2	1	後期	渡辺　拓也			○	○	×	×	×
		火	1	社会政策論	2	1	前期	丹波　史紀			○	○	×	×	×
		金	3	メディアと市民社会	2	1	前期	赤澤　清孝			○	○	×	○	○
		月	5	市民活動論	2	1	後期	大原　ゆい			○	○	×	×	×
		月	2	社会調査論	2	2～3	前期	古屋　哲			○	○	×	○	○
		水	5	宗教と社会	2	2	後期	本林　靖久			○	○	×	○	○
		水	3	情報と倫理	2	1	後期	渡辺　啓真			○	○	○	○	○
		火	5	情報社会論	2	1	後期	永瀬　圭			○	○	○	○	○
		金	5	地域と経済	2	2	前期	野村　実			○	×	×	○	×
		金	3	非営利組織マネジメント論	2	2	後期	赤澤　清孝			○	×	×	○	○
		金	2	コミュニティ形成論	2	2	後期	野村　実			○	×	×	○	×
				ソーシャルビジネス論	2	3			本年度休講						
		木	2	地域と環境	2	1	前期	鈴木　寿志	隔年開講		○	○	○	○	×
		木	2	犯罪と社会	2	2	前期	脇中　洋			○	○	○	○	○
		木	1	地方自治論	2	3	後期	鈴木　暁子			○	○	×	○	×
		木	4	社会問題論	2	2	後期	徳田　剛			○	○	×	×	×
		金	4	情報技術論	2	2	後期	酒井　恵光			○	○	×	×	×
		金	5	コミュニティプランニング論	2	3	後期	山田　大地			○	×	×	×	×
				情報マーケティング論	2	2			本年度休講						
		火	1	社会福祉発達史	2	1	後期	平尾　良治			○	○	×	○	○
				災害と防災	2	1			本年度休講						
		火	4	ターミナルケア論	2	3	後期	坂井　めぐみ			○	×	×	×	×
		火	4	メディア社会学	2	2	前期	松川　節			○	×	×	○	○
		火	4	高齢者福祉	2	1	後期	杉原　優子			○	○	○	○	○
		火	5	障害者福祉	2	1	後期	船本　淑恵			○	○	○	○	○
		金	1	児童福祉	2	1	後期	桝田　亮平			○	○	○	○	○
		月	4	社会保障論1	2	2	前期	鎌谷　勇宏			○	×	×	○	○
		月	1	社会保障論2	2	2	後期	鎌谷　勇宏			○	×	×	○	○
		火	2	地域福祉論1	2	2	前期	平尾　良治			○	○	○	○	○
		火	2	地域福祉論2	2	2	後期	平尾　良治			○	○	○	○	○
		金	5	心理学	2	1	前期	石山　裕菜			○	×	×	×	○
		月	5	社会学	2	1	前期	吉田　全宏			○	×	×	×	○
		木	5	公的扶助論	2	1	後期	朴　仁淑			○	×	×	○	○
		木	1	相談援助の基盤と専門職1	2	2	前期	中野　加奈子			○	×	×	○	○
		木	1	相談援助の基盤と専門職2	2	2	後期	中野　加奈子			○	×	×	○	○
	実践研究	木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－1	2	1	前期	大原　ゆい			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－2	2	1	前期	野村　実			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－3	2	1	前期	赤澤　清孝			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－4	2	1	前期	松川　節			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－5	2	1	前期	鎌谷　勇宏			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－6	2	1	前期	志藤　修史			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－1	2	1	後期	大原　ゆい			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－2	2	1	後期	野村　実			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－3	2	1	後期	赤澤　清孝			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－4	2	1	後期	松川　節			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－5	2	1	後期	岡部　茜			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－6	2	1	後期	志藤　修史			○	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－1	4	2	前期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
								渡辺　拓也			☆	×	×	×	×
			2					大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
								渡辺　拓也			☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－2	4	2	前期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－3	4	2	前期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×

社会学部　コミュニティデザイン学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
地域政策学・情報メディアコース	実践研究	水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－4	4	2	前期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－5	4	2	前期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－6	4	2	前期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－1	4	2	後期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
								渡辺　拓也			☆	×	×	×	×
			2					大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
								渡辺　拓也			☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－2	4	2	後期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－3	4	2	後期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－4	4	2	後期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－5	4	2	後期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－6	4	2	後期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－1	4	3	前期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－2	4	3	前期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－3	4	3	前期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－4	4	3	前期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－5	4	3	前期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－6	4	3	前期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－1	4	3	後期	大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					大原　ゆい	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－2	4	3	後期	鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					鈴木　寿志	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－3	4	3	後期	野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					野村　実	地政のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－4	4	3	後期	赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					赤澤　清孝	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－5	4	3	後期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－6	4	3	後期	武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					武田　和哉	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
		金	4	情報技術基礎演習	2	2	前期	酒井　恵光	情報のみ受講可		☆	×	×	×	×
								武田　和哉			☆	×	×	×	×
社会福祉学コース	概論							一楽　真			○	○	×	×	×
								M.Ama			○	○	×	×	×
		木	5	仏教社会論	2	2	前期	戸次　顕彰			○	○	×	×	×
								木越　康			○	○	×	×	×
								酒井　恵光			○	○	×	×	×
		火	4	コミュニティデザイン概論	2	1	前期	亀山　裕樹			○	×	×	×	×
		火	2	地域政策概論1	2	1	前期	渡辺　拓也			○	×	×	×	×
								野村　実			○	×	×	×	×
		火	2	地域政策概論2	2	1	後期	大原　ゆい			○	×	×	×	×
								鈴木　寿志			○	×	×	×	×
		金	1	情報メディア概論1	2	1	前期	酒井　恵光			○	×	×	○	○
		月	4	情報メディア概論2	2	1	後期	松川　節			○	×	×	○	○
		火	3	現代社会と福祉1	2	1	前期	志藤　修史			○	×	×	○	○
		火	3	現代社会と福祉2	2	1	後期	志藤　修史			○	×	×	○	○
		金	3	社会学概論－1	2	2	前期	野村　明宏			○	○	×	×	×
		木	5	社会学概論－2	2	2	後期	渡邊　拓也			○	○	×	×	×
	講義	月	5	ボランティア論	2	1	前期	大原　ゆい			○	○	×	×	×
		金	5	生活問題論	2	1	後期	渡辺　拓也			○	○	×	×	×
		火	1	社会政策論	2	1	前期	丹波　史紀			○	○	×	×	×
		金	3	メディアと市民社会	2	1	前期	赤澤　清孝			○	○	×	○	○
		月	5	市民活動論	2	1	後期	大原　ゆい			○	○	×	×	×
		月	2	社会調査論	2	2～3	前期	古屋　哲			○	○	×	○	○

社会学部　コミュニティデザイン学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
社会福祉学コース	講義	水	5	宗教と社会	2	2	後期	本林　靖久			○	○	×	○	○
		水	3	情報と倫理	2	1	後期	渡辺　啓真			○	○	○	○	○
		火	5	情報社会論	2	1	後期	永瀬　圭			○	○	○	○	○
		金	5	地域と経済	2	2	前期	野村　実			○	×	×	○	×
		金	3	非営利組織マネジメント論	2	2	後期	赤澤　清孝			○	×	×	○	○
		金	2	コミュニティ形成論	2	2	後期	野村　実			○	×	×	○	×
				ソーシャルビジネス論	2	3			本年度休講						
		木	2	地域と環境	2	1	前期	鈴木　寿志	隔年開講		○	○	○	○	×
		木	2	犯罪と社会	2	2	前期	脇中　洋			○	○	○	○	○
		木	1	地方自治論	2	3	後期	鈴木　暁子			○	○	×	○	×
		木	4	社会問題論	2	2	後期	徳田　剛			○	○	×	×	×
		金	4	情報技術論	2	2	後期	酒井　恵光			○	○	×	×	×
		金	5	コミュニティプランニング論	2	3	後期	山田　大地			○	×	×	×	×
				情報マーケティング論	2	2			本年度休講						
		火	1	社会福祉発達史	2	1	後期	平尾　良治			○	○	×	○	○
				災害と防災	2	1			本年度休講						
		火	4	ターミナルケア論	2	3	後期	坂井　めぐみ			○	×	×	×	×
		火	4	メディア社会学	2	2	前期	松川　節			○	×	×	○	○
		火	4	高齢者福祉	2	1	後期	杉原　優子			○	○	○	○	○
		火	5	障害者福祉	2	1	後期	船本　淑恵			○	○	○	○	○
		金	1	児童福祉	2	1	後期	桝田　亮平			○	○	○	○	○
		月	4	社会保障論1	2	2	前期	鎌谷　勇宏			○	×	×	○	○
		月	1	社会保障論2	2	2	後期	鎌谷　勇宏			○	×	×	○	○
		火	2	地域福祉論1	2	2	前期	平尾　良治			○	○	○	○	○
		火	2	地域福祉論2	2	2	後期	平尾　良治			○	○	○	○	○
		金	5	心理学	2	1	前期	石山　裕菜			○	×	×	×	○
		月	5	社会学	2	1	前期	吉田　全宏			○	×	×	×	○
		水	4	医学一般	2	2	前期	上羽　毅	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		月	1	社会福祉調査論	2	3	前期	高倉　弘士	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		木	5	公的扶助論	2	1	後期	朴　仁淑			○	×	×	○	○
		水	2	司法福祉論	2	2	後期	竹中　祐二	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		木	2	社会福祉施設経営論	2	3	前期	杉原　優子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		金	4	保健医療サービス論	2	3	前期	上羽　毅	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		月	2	権利擁護と成年後見制度	2	3	前期	松木　宏史	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		木	1	相談援助の基盤と専門職1	2	2	前期	中野　加奈子			○	×	×	○	○
		木	1	相談援助の基盤と専門職2	2	2	後期	中野　加奈子			○	×	×	○	○
		火	4	相談援助の理論と方法1	2	2	前期	岩田　貞昭	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		金	3	相談援助の理論と方法2	2	2	前期	松本　聡子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		金	3	相談援助の理論と方法3	2	2	後期	岡部　茜	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
		金	5	相談援助の理論と方法4	2	3	前期	松本　聡子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	○
	実践研究	木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－1	2	1	前期	大原　ゆい			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－2	2	1	前期	野村　実			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－3	2	1	前期	赤澤　清孝			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－4	2	1	前期	松川　節			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－5	2	1	前期	鎌谷　勇宏			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅰ－6	2	1	前期	志藤　修史			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－1	2	1	後期	大原　ゆい			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－2	2	1	後期	野村　実			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－3	2	1	後期	赤澤　清孝			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－4	2	1	後期	松川　節			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－5	2	1	後期	岡部　茜			○	×	×	×	×
		木	3	プロジェクト研究入門Ⅱ－6	2	1	後期	志藤　修史			○	×	×	×	×
		火	3	社会福祉援助技術演習1－1	2	2	前期	岩田　貞昭	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	2	社会福祉援助技術演習1－2	2	2	前期	岸　佑太	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		火	4	社会福祉援助技術演習2－1	2	2	後期	岩田　貞昭	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	2	社会福祉援助技術演習2－2	2	2	後期	岸　佑太	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		木	4	社会福祉援助技術演習3－1	2	3	前期	朴　仁淑	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		金	1	社会福祉援助技術演習3－2	2	3	前期	村井　琢哉	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	4	社会福祉援助技術演習4－1	2	3	前期	上田　早記子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		木	3	社会福祉援助技術演習4－2	2	3	前期	朴　仁淑	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	4	社会福祉援助技術演習5－1	2	4	前期	亀山　裕樹	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	2	社会福祉援助技術演習5－2	2	4	前期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		月	5	社会福祉援助技術演習5－3	2	4	前期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
				社会福祉援助技術演習5－4	2	4			本年度休講						
		月	4	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ－1	2	2	後期	岡部　茜	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
		月	4	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ－2	2	2	後期	亀山　裕樹	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
		月	4	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ－3	2	2	後期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
		水	2	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ－1	2	3	前期	志藤　修史	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×

社会学部　コミュニティデザイン学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
社会福祉学コース	実践研究	水	1	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ－2	2	3	前期	上田　早記子	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
		火	5	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ－3	2	3	前期	山田　宗寛	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
				社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ－4	2	3			本年度休講						
		木	3	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ－1	2	4	前期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
		水	3	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ－2	2	4	前期	上田　早記子	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
		火	4	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ－3	2	4	前期	山田　宗寛	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
		火	4	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ－4	2	4	前期	船本　淑恵	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
				社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ－5	2	4			本年度休講						
		＊		社会福祉援助技術現場実習－1	6	3	集中後期	岡部　茜	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
								亀山　裕樹			☆	×	×	×	×
								志藤　修史			☆	×	×	×	×
								船本　淑恵			☆	×	×	×	×
		＊		社会福祉援助技術現場実習－2	6	3	集中後期	中野　加奈子	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
								上田　早記子			☆	×	×	×	×
		＊		社会福祉援助技術現場実習－3	6	3	集中後期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
								山田　宗寛			☆	×	×	×	×
				社会福祉援助技術現場実習－4	6	3			本年度休講						
		＊		社会福祉援助技術現場実習－5	6	4	集中後期	志藤　修史	福祉のみ受講可		☆	×	×	▲	×
		水	4	社会福祉学特殊演習Ⅰ	2	4	前期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	4	社会福祉学特殊演習Ⅱ	2	4	後期	鎌谷　勇宏	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－1	4	2	前期	大原　ゆい	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
								渡辺　拓也			☆	×	×	×	×
			2					大原　ゆい	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
								渡辺　拓也			☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－2	4	2	前期	鈴木　寿志	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					鈴木　寿志	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅰ－3	4	2	前期	野村　実	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					野村　実	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－1	4	2	後期	大原　ゆい	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
								渡辺　拓也			☆	×	×	×	×
			2					大原　ゆい	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
								渡辺　拓也			☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－2	4	2	後期	鈴木　寿志	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					鈴木　寿志	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅱ－3	4	2	後期	野村　実	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					野村　実	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－1	4	3	前期	大原　ゆい	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					大原　ゆい	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－2	4	3	前期	鈴木　寿志	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					鈴木　寿志	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅲ－3	4	3	前期	野村　実	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					野村　実	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－1	4	3	後期	大原　ゆい	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					大原　ゆい	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－2	4	3	後期	鈴木　寿志	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					鈴木　寿志	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
		水	1	プロジェクト研究実践Ⅳ－3	4	3	後期	野村　実	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×
			2					野村　実	福祉のみ受講可		☆	×	×	×	×

教育学部　教育学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
初等教育コース	演習	火	1	小学校教育学演習Ⅰa－1	2	1	前期	寺川　直樹			☆	－	×	×	×
		火	1	小学校教育学演習Ⅰb－1	2	1	後期	寺川　直樹			☆	－	×	×	×
		火	1	小学校教育学演習Ⅰa－2	2	1	前期	栫井　大輔			☆	－	×	×	×
		火	1	小学校教育学演習Ⅰb－2	2	1	後期	栫井　大輔			☆	－	×	×	×
		火	1	小学校教育学演習Ⅰa－3	2	1	前期	安部　哲哉			☆	－	×	×	×
		火	1	小学校教育学演習Ⅰb－3	2	1	後期	安部　哲哉			☆	－	×	×	×
		水	2	小学校教育学演習Ⅱa－1	2	2	前期	関口　敏美			☆	－	×	×	×
		水	2	小学校教育学演習Ⅱb－1	2	2	後期	関口　敏美			☆	－	×	×	×
		水	2	小学校教育学演習Ⅱa－2	2	2	前期	源嶋　孝太			☆	－	×	×	×
		水	2	小学校教育学演習Ⅱb－2	2	2	後期	源嶋　孝太			☆	－	×	×	×
		水	2	小学校教育学演習Ⅱa－3	2	2	前期	森田　裕之			☆	－	×	×	×
		水	2	小学校教育学演習Ⅱb－3	2	2	後期	森田　裕之			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲa－1	2	3	前期	池永　真義			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲb－1	2	3	後期	池永　真義			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲa－2	2	3	前期	山﨑　弥生			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲb－2	2	3	後期	山﨑　弥生			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲa－3	2	3	前期	山本　亮介			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲb－3	2	3	後期	山本　亮介			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲa－4	2	3	前期	井上　和久			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲb－4	2	3	後期	井上　和久			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲa－5	2	3	前期	田中　久美子			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲb－5	2	3	後期	田中　久美子			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲa－6	2	3	前期	内田　祐貴			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲb－6	2	3	後期	内田　祐貴			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲa－7	2	3	前期	栫井　大輔			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲb－7	2	3	後期	栫井　大輔			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲa－8	2	3	前期	吉田　雅昭			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅲb－8	2	3	後期	吉田　雅昭			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲa－9	2	3	前期	森田　裕之			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲb－9	2	3	後期	森田　裕之			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲa－10	2	3	前期	関口　敏美			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲb－10	2	3	後期	関口　敏美			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲa－11	2	3	前期	寺川　直樹			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅲb－11	2	3	後期	寺川　直樹			☆	－	×	×	×
				小学校教育学演習Ⅲa－12	2	3			本年度休講						
				小学校教育学演習Ⅲb－12	2	3			本年度休講						
		水	4	小学校教育学演習Ⅳa－1	2	4	前期	池永　真義			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳb－1	2	4	後期	池永　真義			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳa－2	2	4	前期	山﨑　弥生			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳb－2	2	4	後期	山﨑　弥生			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳa－3	2	4	前期	山本　亮介			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳb－3	2	4	後期	山本　亮介			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳa－4	2	4	前期	井上　和久			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳb－4	2	4	後期	井上　和久			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳa－5	2	4	前期	田中　久美子			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳb－5	2	4	後期	田中　久美子			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳa－6	2	4	前期	内田　祐貴			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳb－6	2	4	後期	内田　祐貴			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳa－7	2	4	前期	栫井　大輔			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳb－7	2	4	後期	栫井　大輔			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳa－8	2	4	前期	吉田　雅昭			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳb－8	2	4	後期	吉田　雅昭			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳa－9	2	4	前期	森田　裕之			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳb－9	2	4	後期	森田　裕之			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳa－10	2	4	前期	関口　敏美			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳb－10	2	4	後期	関口　敏美			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳa－11	2	4	前期	寺川　直樹			☆	－	×	×	×
		水	4	小学校教育学演習Ⅳb－11	2	4	後期	寺川　直樹			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳa－12	2	4	前期	林　正幸			☆	－	×	×	×
		金	4	小学校教育学演習Ⅳb－12	2	4	後期	林　正幸			☆	－	×	×	×
	概論	金	5	教育原論	2	1	後期	森田　裕之			☆	－	×	▲	×
		木	5	仏教と教育（初等）	2	2	後期	冨岡　量秀			○	－	×	▲	×
	講義	火	2	教育学概論Ⅰ	2	3	前期	森田　裕之			○	－	×	▲	×
		火	2	教育学概論Ⅱ	2	3	後期	森田　裕之			○	－	×	▲	×
				特別支援教育概論	2	2			本年度休講						
		木	2	教育人間学Ⅰ	2	3	前期	一楽　真			○	－	×	▲	×
		水	3	教育人間学Ⅱ	2	3	後期	四方　保仁			○	－	×	▲	×
		木	3	教職入門	2	1	前期	林　正幸			☆	－	×	▲	×

教育学部　教育学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
初等教育コース	講義	水	5	教育心理学	2	1	後期	田中　希穂			☆	－	×	▲	×
		水	4	発達心理学	2	1	前期	田中　久美子			☆	－	×	▲	×
				教育社会学	2	2			本年度休講						
				教育行財政学	2	2			本年度休講						
				教育課程論	2	3			本年度休講						
				特別活動論	2	3			本年度休講						
				教育方法論	2	2			本年度休講						
		月	4	ICT活用教育の理論と方法	1	1	前期前半	福嶋　祐貴			☆	－	×	▲	×
				生徒・進路指導論	2	2			本年度休講						
				教育相談	2	3			本年度休講						
		木	5	こども教育史Ⅰ	2	1	前期	関口　敏美			○	－	×	▲	×
		木	5	こども教育史Ⅱ	2	1	後期	関口　敏美			○	－	×	▲	×
				探求ゼミ(算数・数学)Ⅰ	2	3			本年度休講						
				探求ゼミ(算数・数学)Ⅱ	2	3			本年度休講						
				探求ゼミ(算数・数学)Ⅲ	2	4			本年度休講						
		月	5	探求ゼミ(理科)Ⅰ	2	3	前期	内田　祐貴			○	－	×	▲	×
		月	5	探求ゼミ(理科)Ⅱ	2	3	後期	内田　祐貴			○	－	×	▲	×
		水	3	探求ゼミ(理科)Ⅲ	2	4	前期	内田　祐貴			○	－	×	▲	×
				授業心理学	2	1			本年度休講						
		集中		こどもの描画分析	2	1	集中後期	新美　秀和			○	－	×	▲	×
				教室の心理学	2	1			本年度休講						
		月	5	障害のある子どもたち(初等)	2	1	後期	井上　和久			○	－	×	▲	×
		火	4	障害児の教育(初等)	2	3	前期	井上　和久			○	－	×	▲	×
		火	3	防災・安全教育(初等)	2	4	後期	林　正幸			○	－	×	▲	×
		木	4	特別支援教育実践論(初等)	2	4	後期	井上　和久			○	－	×	▲	×
		火	3	生涯学習論	2	4	前期	林　正幸			○	－	×	▲	×
				総合的な学習の時間の指導法	2	3			本年度休講						
		火	3	代数学概論1	2	1	後期	山本　亮介			○	－	○	▲	×
				代数学概論2	2	2			本年度休講						
				幾何学概論1	2	2			本年度休講						
				幾何学概論2	2	2			本年度休講						
		火	5	解析学概論1	2	1	前期	源嶋　孝太			○	－	○	▲	×
		火	5	解析学概論2	2	1	後期	源嶋　孝太			○	－	○	▲	×
				代数学Ⅰ	2	2			本年度休講						
				代数学Ⅱ	2	2			本年度休講						
				幾何学Ⅰ	2	2			本年度休講						
				幾何学Ⅱ	2	2			本年度休講						
				解析学Ⅰ	2	2			本年度休講						
				解析学Ⅱ	2	2			本年度休講						
				確率・統計学概論	2	2			本年度休講						
				データの活用と分析	2	3			本年度休講						
				コンピュータ概論	2	2			本年度休講						
				プログラミング	2	3			本年度休講						
				情報と社会	2	3			本年度休講						
	実践研究	金	1	実践体験活動演習(小)Ⅰ	2	1	前期	関口　敏美			☆	－	×	▲	×
								林　正幸			☆	－	×	▲	×
		木	1	実践体験活動演習(小)Ⅱ	2	1	後期	関口　敏美			☆	－	×	▲	×
								林　正幸			☆	－	×	▲	×
		金	2	初等科教育法(国語)1	2	3	後期	吉田　雅昭			☆	－	×	▲	×
		水	3	初等科教育法(国語)2	2	3	前期	吉田　雅昭			☆	－	×	▲	×
		金	2	初等科教育法(国語)3	2	3	前期	吉田　雅昭			☆	－	×	▲	×
		金	1	初等科教育法(社会)1	2	3	後期	岡崎　均			☆	－	×	▲	×
		金	2	初等科教育法(社会)2	2	3	後期	岡崎　均			☆	－	×	▲	×
				初等科教育法(社会)3	2	3			本年度休講						
		金	1	初等科教育法(算数)1	2	2	前期	山本　亮介			☆	－	×	▲	×
		金	3	初等科教育法(算数)2	2	2	前期	山本　亮介			☆	－	×	▲	×
		木	2	初等科教育法(算数)3	2	2	前期	山本　亮介			☆	－	×	▲	×
		金	3	初等科教育法(理科)1	2	2	前期	内田　祐貴			☆	－	×	▲	×
		木	2	初等科教育法(理科)2	2	2	前期	内田　祐貴			☆	－	×	▲	×
		金	1	初等科教育法(理科)3	2	2	前期	内田　祐貴			☆	－	×	▲	×
		金	2	初等科教育法(生活)1	2	3	前期	飯田　令子			☆	－	×	▲	×
		金	1	初等科教育法(生活)2	2	3	前期	飯田　令子			☆	－	×	▲	×
		金	3	初等科教育法(生活)3	2	3	前期	飯田　令子			☆	－	×	▲	×
		金	3	初等科教育法(音楽)1	2	2	後期	山﨑　弥生			☆	－	×	▲	×
		金	1	初等科教育法(音楽)2	2	2	後期	山﨑　弥生			☆	－	×	▲	×
		木	4	初等科教育法(音楽)3	2	2	後期	山﨑　弥生			☆	－	×	▲	×
		火	4	初等科教育法(図画工作)1	2	2	前期	池永　真義			☆	－	×	▲	×
		金	1	初等科教育法(図画工作)2	2	2	前期	池永　真義			☆	－	×	▲	×

教育学部　教育学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
初等教育コース	実践研究	金	3	初等科教育法(図画工作)3	2	2	前期	池永　真義			☆	－	×	▲	×
		木	3	初等科教育法(家庭)1	2	3	前期	岸田　蘭子			☆	－	×	▲	×
		木	4	初等科教育法(家庭)2	2	3	前期	岸田　蘭子			☆	－	×	▲	×
				初等科教育法(家庭)3	2	3			本年度休講						
		水	3	初等科教育法(体育)1	2	2	後期	椿井　大輔			☆	－	×	▲	×
		火	4	初等科教育法(体育)2	2	2	後期	椿井　大輔			☆	－	×	▲	×
		金	2	初等科教育法(体育)3	2	2	後期	椿井　大輔			☆	－	×	▲	×
		木	1	初等科教育法(外国語)1	2	3	後期	杉本　義美	2023年度以降入学生適用		☆	－	×	▲	×
		木	2	初等科教育法(外国語)2	2	3	後期	杉本　義美	2023年度以降入学生適用		☆	－	×	▲	×
				初等科教育法(外国語)3	2	3			本年度休講						
				道徳教育の理論と方法1	2	2			本年度休講						
				道徳教育の理論と方法2	2	2			本年度休講						
				道徳教育の理論と方法3	2	2			本年度休講						
								山本　亮介			○	－	○	▲	×
		月	1	数学教育総論	2	1	前期	安部　哲哉			○	－	○	▲	×
								源嶋　孝太			○	－	○	▲	×
		木	3	教科(国語)1	2	2	後期	吉田　雅昭			☆	－	×	▲	×
		木	3	教科(国語)2	2	2	前期	吉田　雅昭			☆	－	×	▲	×
		金	1	教科(国語)3	2	2	後期	吉田　雅昭			☆	－	×	▲	×
		金	4	教科(社会)1	2	2	後期	倉持　祐二			☆	－	×	▲	×
		金	3	教科(社会)2	2	2	後期	倉持　祐二			☆	－	×	▲	×
				教科(社会)3	2	2			本年度休講						
		金	2	教科(算数)1	2	1	後期	安部　哲哉			☆	－	×	▲	×
		月	1	教科(算数)2	2	1	後期	安部　哲哉			☆	－	×	▲	×
		水	3	教科(算数)3	2	1	後期	安部　哲哉			☆	－	×	▲	×
		木	4	教科(理科)1	2	1	後期	内田　祐貴			☆	－	×	▲	×
		水	3	教科(理科)2	2	1	後期	内田　祐貴			☆	－	×	▲	×
		金	2	教科(理科)3	2	1	後期	内田　祐貴			☆	－	×	▲	×
		月	2	教科(生活)1	2	2	後期	飯田　令子			☆	－	×	▲	×
				教科(生活)2	2	2			本年度休講						
				教科(生活)3	2	2			本年度休講						
		木	2	教科(音楽)1	2	1	前期	山﨑　弥生			☆	－	×	▲	×
		金	2	教科(音楽)2	2	1	前期	山﨑　弥生			☆	－	×	▲	×
		木	1	教科(音楽)3	2	1	前期	山﨑　弥生			☆	－	×	▲	×
		金	1	教科(図画工作)1	2	1	後期	池永　真義			☆	－	×	▲	×
		金	2	教科(図画工作)2	2	1	後期	池永　真義			☆	－	×	▲	×
		火	4	教科(図画工作)3	2	1	後期	池永　真義			☆	－	×	▲	×
		木	4	教科(家庭)1	2	2	後期	岸田　蘭子			☆	－	×	▲	×
		木	3	教科(家庭)2	2	2	後期	岸田　蘭子			☆	－	×	▲	×
				教科(家庭)3	2	2			本年度休講						
		金	2	教科(体育)1	2	1	前期	椿井　大輔			☆	－	×	▲	×
		水	2	教科(体育)2	2	1	前期	椿井　大輔			☆	－	×	▲	×
		水	3	教科(体育)3	2	1	前期	椿井　大輔			☆	－	×	▲	×
		木	4	教科(外国語)1	2	3	前期	杉本　喜孝	2023年度以降入学生適用		☆	－	×	▲	×
		木	5	教科(外国語)2	2	3	前期	杉本　喜孝	2023年度以降入学生適用		☆	－	×	▲	×
				教育実習指導(小)	1	2			本年度休講						
						3			本年度休講						
				教育実習(小)	4	3			本年度休講						
								寺川　直樹			☆	－	×	▲	×
								吉田　雅昭			☆	－	×	▲	×
		木	2	教職実践演習(小)	2	4	後期	田中　久美子			☆	－	×	▲	×
								山﨑　弥生			☆	－	×	▲	×
								池永　真義			☆	－	×	▲	×
				音楽実技Ⅰ－3	2	2			本年度休講						
								山﨑　弥生			☆	－	×	▲	×
		月	4	音楽実技Ⅱ－3	2	3	前期	江口　典子			☆	－	×	▲	×
								下野　伸子			☆	－	×	▲	×
								安田　佳奈子			☆	－	×	▲	×
		水	4	運動会実践演習	2	2	後期	椿井　大輔			☆	－	×	▲	×
		水	4	おおたにキッズキャンパス演習Ⅰ	2	2	前期	林　正幸			☆	－	×	▲	×
				おおたにキッズキャンパス演習Ⅱ	2	3			本年度休講						
幼児教育コース	演　習	火	1	幼児教育演習Ⅰa－1	2	1	前期	西村　美紀			☆	－	×	×	×
		火	1	幼児教育演習Ⅰb－1	2	1	後期	西村　美紀			☆	－	×	×	×
		火	1	幼児教育演習Ⅰa－2	2	1	前期	矢野　永吏子			☆	－	×	×	×
		火	1	幼児教育演習Ⅰb－2	2	1	後期	矢野　永吏子			☆	－	×	×	×
		火	1	幼児教育演習Ⅰa－3	2	1	前期	平塚　幸子			☆	－	×	×	×
		火	1	幼児教育演習Ⅰb－3	2	1	後期	平塚　幸子			☆	－	×	×	×
		火	1	幼児教育演習Ⅰa－4	2	1	前期	渡邉　大介			☆	－	×	×	×

教育学部　教育学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
幼児教育コース	演習	火	1	幼児教育演習Ⅰb－4	2	1	後期	渡邉　大介			☆	－	×	×	×
		金	3	幼児教育演習Ⅱa－1	2	2	前期	木塚　勝豊			☆	－	×	×	×
		金	3	幼児教育演習Ⅱb－1	2	2	後期	木塚　勝豊			☆	－	×	×	×
		金	3	幼児教育演習Ⅱa－2	2	2	前期	冨岡　量秀			☆	－	×	×	×
		金	3	幼児教育演習Ⅱb－2	2	2	後期	冨岡　量秀			☆	－	×	×	×
		金	3	幼児教育演習Ⅱa－3	2	2	前期	浜崎　由紀			☆	－	×	×	×
		金	3	幼児教育演習Ⅱb－3	2	2	後期	浜崎　由紀			☆	－	×	×	×
		金	3	幼児教育演習Ⅱa－4	2	2	前期	岡村　明日香			☆	－	×	×	×
		金	3	幼児教育演習Ⅱb－4	2	2	後期	岡村　明日香			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－1	2	3	前期	岡村　明日香			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－1	2	3	後期	岡村　明日香			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－2	2	3	前期	浜崎　由紀			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－2	2	3	後期	浜崎　由紀			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－3	2	3	前期	木塚　勝豊			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－3	2	3	後期	木塚　勝豊			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－4	2	3	前期	太田　智子			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－4	2	3	後期	太田　智子			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－5	2	3	前期	冨岡　量秀			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－5	2	3	後期	冨岡　量秀			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－6	2	3	前期	西村　美紀			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－6	2	3	後期	西村　美紀			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－7	2	3	前期	矢野　永吏子			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－7	2	3	後期	矢野　永吏子			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－8	2	3	前期	渡邉　大介			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－8	2	3	後期	渡邉　大介			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲa－9	2	3	前期	平塚　幸子			☆	－	×	×	×
		水	4	幼児教育演習Ⅲb－9	2	3	後期	平塚　幸子			☆	－	×	×	×
		月	6	幼児教育演習Ⅳa－1	2	4	前期	岡村　明日香			☆	－	×	×	×
		月	6	幼児教育演習Ⅳb－1	2	4	後期	岡村　明日香			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳa－2	2	4	前期	浜崎　由紀			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳb－2	2	4	後期	浜崎　由紀			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳa－3	2	4	前期	木塚　勝豊			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳb－3	2	4	後期	木塚　勝豊			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳa－4	2	4	前期	太田　智子			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳb－4	2	4	後期	太田　智子			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳa－5	2	4	前期	冨岡　量秀			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳb－5	2	4	後期	冨岡　量秀			☆	－	×	×	×
		月	6	幼児教育演習Ⅳa－6	2	4	前期	西村　美紀			☆	－	×	×	×
		月	6	幼児教育演習Ⅳb－6	2	4	後期	西村　美紀			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳa－7	2	4	前期	矢野　永吏子			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳb－7	2	4	後期	矢野　永吏子			☆	－	×	×	×
		月	6	幼児教育演習Ⅳa－8	2	4	前期	渡邉　大介			☆	－	×	×	×
		月	6	幼児教育演習Ⅳb－8	2	4	後期	渡邉　大介			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳa－9	2	4	前期	平塚　幸子			☆	－	×	×	×
		木	6	幼児教育演習Ⅳb－9	2	4	後期	平塚　幸子			☆	－	×	×	×
	概論	金	5	教育原論(幼)	2	2	前期	森田　裕之			☆	－	×	▲	×
		木	5	仏教と教育(初等)	2	2	後期	冨岡　量秀			○	－	×	▲	×
	講義	木	2	教育人間学Ⅰ	2	3	前期	一楽　真			○	－	×	▲	×
		水	3	教育人間学Ⅱ	2	3	後期	四方　保仁			○	－	×	▲	×
		月	4	発達心理学(幼)	2	1	後期	渡邉　大介			☆	－	×	▲	×
		月	5	特別支援教育概論(幼)	2	2	前期	井上　和久	2019年度以降入学生適用		☆	－	×	▲	×
		月	1	保育原理Ⅰ	2	1	前期	西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		月	4	教職入門(幼)	2	1	前期	川村　高弘			☆	－	×	▲	×
		火	2	教育学概論Ⅰ	2	3	前期	森田　裕之			○	－	×	▲	×
		火	2	教育学概論Ⅱ	2	3	後期	森田　裕之			○	－	×	▲	×
		木	5	こども教育史Ⅰ	2	1	前期	関口　敏美			○	－	×	▲	×
		木	5	こども教育史Ⅱ	2	1	後期	関口　敏美			○	－	×	▲	×
		月	5	保育カリキュラム論1	2	1	後期	西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		月	1	保育カリキュラム論2	2	1	後期	西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		集中		教育方法論(幼)1	4	2	通年	堀田　博史			☆	－	×	▲	×
		月	3					西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		集中		教育方法論(幼)2	4	2	通年	堀田　博史			☆	－	×	▲	×
		水	3					西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		木	5	教育社会学(幼)	2	3	前期	鵜野　祐介			☆	－	×	▲	×
								林　正幸			☆	－	×	▲	×
				授業心理学	2	1			本年度休講						
		集中		こどもの描画分析	2	1	集中後期	新美　秀和			○	－	×	▲	×
				教室の心理学	2	1			本年度休講						

教育学部　教育学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
幼児教育コース	講義	月	2	音楽理論	2	2	前期	岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
		火	3	保育原理Ⅱ	2	4	前期	川北　典子			☆	－	×	▲	×
		水	2	児童家庭福祉	2	1	後期	木塚　勝豊			☆	－	×	▲	×
		金	5	社会福祉	2	4	前期	新川　泰弘			☆	－	×	▲	×
		火	3	児童文化	2	1	前期	浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		木	4	社会的養護	2	2	後期	木塚　勝豊			☆	－	×	▲	×
		月	5	障害のある子どもたち(初等)	2	1	後期	井上　和久			○	－	×	▲	×
		木	4	特別支援教育実践論(初等)	2	4	後期	井上　和久			○	－	×	▲	×
		火	3	防災・安全教育(初等)	2	4	後期	林　正幸			○	－	×	▲	×
		火	3	生涯学習論	2	4	前期	林　正幸			○	－	×	▲	×
		金	1	子ども家庭支援論	2	4	前期	永井　久美子			☆	－	×	▲	×
		金	2	子どもの保健	2	1	前期	隅田　朋子			☆	－	×	▲	×
		水	3	乳児保育Ⅰ	2	1	後期	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		＊		子ども家庭支援の心理学	2	3	集中後期	新川　泰弘			☆	－	×	▲	×
		金	4					渡邉　大介			☆	－	×	▲	×
		金	3	青年心理学	2	3	前期	田中　久美子			○	－	×	▲	×
		月	5	臨床心理学	2	3	前期	谷口　奈青理			○	－	×	▲	×
	実践研究	金	1	実践体験活動演習(幼)Ⅰ	2	1	通年	西村　美紀			☆	－	×	▲	×
								矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
								平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
								渡邉　大介			☆	－	×	▲	×
		水	1	実践体験活動演習(幼)Ⅱ	2	2	通年	木塚　勝豊			☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
								冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		水	4	運動会実践演習	2	2	後期	栫井　大輔			☆	－	×	▲	×
		木	1	おおたに子育て支援演習	1	3	通年	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		＊		保育実習Ⅰ	4	2	集中後期	平塚　幸子	第2学年用		☆	－	×	▲	×
		＊				3	集中後期	木塚　勝豊	第3学年用		☆	－	×	▲	×
		火	5	保育実習指導Ⅰ－1	2	2	集中後期	木塚　勝豊	第2学年用		☆	－	×	▲	×
								太田　智子			☆	－	×	▲	×
		火	6			3	集中後期	木塚　勝豊	第3学年用		☆	－	×	▲	×
								太田　智子			☆	－	×	▲	×
		火	5	保育実習指導Ⅰ－2	2	2	集中後期	矢野　永吏子	第2学年用		☆	－	×	▲	×
								冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
		火	6			3	集中後期	矢野　永吏子	第3学年用		☆	－	×	▲	×
								冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
		火	5	保育実習指導Ⅰ－3	2	2	集中後期	平塚　幸子	第2学年用		☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		火	6			3	集中後期	平塚　幸子	第3学年用		☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		火	5	保育実習指導Ⅰ－4	2	2	集中後期	渡邉　大介	第2学年用		☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
		火	6			3	集中後期	渡邉　大介	第3学年用		☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
		＊		保育実習Ⅱ	2	3	集中後期	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		火	5	保育実習指導Ⅱ－1	1	3	集中後期	矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
		火	5	保育実習指導Ⅱ－2	1	3	集中後期	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
								渡邉　大介			☆	－	×	▲	×
		＊		保育実習Ⅲ	2	3	集中後期	木塚　勝豊			☆	－	×	▲	×
		火	5	保育実習指導Ⅲ	1	3	集中後期	木塚　勝豊			☆	－	×	▲	×
		＊		教育実習(幼)	4	3	集中後期	浜崎　由紀	第3学年用		☆	－	×	▲	×
								西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		＊				4	集中後期	浜崎　由紀	第4学年用		☆	－	×	▲	×
								西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		火	6	教育実習指導(幼)－1	1	3	集中後期	冨岡　量秀	第3学年用		☆	－	×	▲	×
								太田　智子			☆	－	×	▲	×
		火	4			4	集中後期	冨岡　量秀	第4学年用		☆	－	×	▲	×
								太田　智子			☆	－	×	▲	×
		火	6	教育実習指導(幼)－2	1	3	集中後期	渡邉　大介	第3学年用		☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		火	4			4	集中後期	渡邉　大介	第4学年用		☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		＊		保育心理士実習	1	4	集中後期	冨岡　量秀			☆	－	×	×	×
								渡邉　大介			☆	－	×	×	×
		水	5	保育心理士実習指導	1	4	集中後期	冨岡　量秀			☆	－	×	×	×

教育学部　教育学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
幼児教育コース	実践研究	水	5	保育心理士実習指導	1	4	集中後期	渡邉　大介			☆	－	×	×	×
								井上　和久			☆	－	×	×	×
		水	2	教職実践演習(幼)	2	4	後期	冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
								西村　美紀			☆	－	×	▲	×
								矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
								平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		月	2	子ども理解の理論と方法(教育相談を含む)1	2	4	前期	渡邉　大介			☆	－	×	▲	×
								谷口　奈青理			☆	－	×	▲	×
		水	1	子ども理解の理論と方法(教育相談を含む)2	2	4	前期	渡邉　大介			☆	－	×	▲	×
								谷口　奈青理			☆	－	×	▲	×
		木	3	乳児保育Ⅱ－1	2	2	前期	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		木	2	乳児保育Ⅱ－2	2	2	前期	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		木	3	社会的養護演習1	2	3	前期	木塚　勝豊			☆	－	×	▲	×
		木	4	社会的養護演習2	2	3	前期	木塚　勝豊			☆	－	×	▲	×
		月	3	子どもの健康と安全1	2	1	後期	隅田　朋子			☆	－	×	▲	×
								矢島　敬子			☆	－	×	▲	×
		月	3	子どもの健康と安全2	2	1	後期	矢島　敬子			☆	－	×	▲	×
								隅田　朋子			☆	－	×	▲	×
		水	2	子どもの食と栄養1	2	1	前期	佐藤　純子			☆	－	×	▲	×
		水	3	子どもの食と栄養2	2	1	前期	佐藤　純子			☆	－	×	▲	×
		金	2	保育内容総論1	2	3	前期	池添　鉄平			☆	－	×	▲	×
								西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		金	2	保育内容総論2	2	3	前期	池添　鉄平			☆	－	×	▲	×
								西村　美紀			☆	－	×	▲	×
		火	3	幼児と健康1	1	1	後期前半	矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
		火	3	幼児と健康2	1	1	後期後半	矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
		火	3	幼児と人間関係1	1	2	後期後半	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		火	3	幼児と人間関係2	1	2	後期前半	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		金	4	幼児と環境1	1	2	前期後半	冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
		金	1	幼児と環境2	1	2	前期後半	冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
		水	2	幼児と言葉1	1	3	前期前半	浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		水	2	幼児と言葉2	1	3	前期後半	浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		金	4	幼児と表現A－1	1	3	前期後半	太田　智子			☆	－	×	▲	×
		金	4	幼児と表現A－2	1	3	前期前半	太田　智子			☆	－	×	▲	×
		水	3	幼児と表現B－1	1	3	後期前半	岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
		水	3	幼児と表現B－2	1	3	後期後半	岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
		水	3	保育内容(健康)の理論と方法1	2	2	前期	矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
		水	2	保育内容(健康)の理論と方法2	2	2	前期	矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
		火	2	保育内容(人間関係)の理論と方法1	2	3	後期	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		金	3	保育内容(人間関係)の理論と方法2	2	3	後期	平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
		金	5	保育内容(環境)の理論と方法1	2	2	後期	冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
		金	1	保育内容(環境)の理論と方法2	2	2	後期	冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
		金	2	保育内容(言葉)の理論と方法1	2	3	後期	浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		火	1	保育内容(言葉)の理論と方法2	2	3	後期	浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
		月	4	保育内容(表現)の理論と方法1	2	4	前期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
		水	3	保育内容(表現)の理論と方法2	2	4	前期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
		火	4	図画工作Ⅰ－1	2	1	後期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
		木	2	図画工作Ⅰ－2	2	1	後期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
		木	2	図画工作Ⅱ－1	2	2	前期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
		木	5	図画工作Ⅱ－2	2	2	前期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
		金	1	幼児音楽Ⅰ－1	2	2	前期	岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
								浅田　由貴絵			☆	－	×	▲	×
								井上　基子			☆	－	×	▲	×
								小鹿　慶子			☆	－	×	▲	×
								後藤　真利子			☆	－	×	▲	×
								齊戸　典子			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								中川　淳子			☆	－	×	▲	×
								深谷　怜美			☆	－	×	▲	×
								松本　直子			☆	－	×	▲	×
								山崎　祥代			☆	－	×	▲	×
								山本　紗佑里			☆	－	×	▲	×
		金	2	幼児音楽Ⅰ－2	2	2	前期	岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
								浅田　由貴絵			☆	－	×	▲	×
								井上　基子			☆	－	×	▲	×
								小鹿　慶子			☆	－	×	▲	×

教育学部　教育学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
幼児教育コース	実践研究							後藤　真利子			☆	－	×	▲	×
								齊戸　典子			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
		金	2	幼児音楽Ⅰ－2	2	2	前期	中川　淳子			☆	－	×	▲	×
								深谷　怜美			☆	－	×	▲	×
								松本　直子			☆	－	×	▲	×
								山﨑　祥代			☆	－	×	▲	×
								山本　紗佑里			☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
								浅田　由貴絵			☆	－	×	▲	×
								井上　基子			☆	－	×	▲	×
								井村　紫			☆	－	×	▲	×
								小鹿　慶子			☆	－	×	▲	×
		金	1	幼児音楽Ⅱ－1	2	2	後期	後藤　真利子			☆	－	×	▲	×
								齊戸　典子			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								中川　淳子			☆	－	×	▲	×
								松本　直子			☆	－	×	▲	×
								宮下　薫			☆	－	×	▲	×
								山本　紗佑里			☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
								浅田　由貴絵			☆	－	×	▲	×
								井上　基子			☆	－	×	▲	×
								井村　紫			☆	－	×	▲	×
								小鹿　慶子			☆	－	×	▲	×
		金	2	幼児音楽Ⅱ－2	2	2	後期	後藤　真利子			☆	－	×	▲	×
								齊戸　典子			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								中川　淳子			☆	－	×	▲	×
								松本　直子			☆	－	×	▲	×
								宮下　薫			☆	－	×	▲	×
								山本　紗佑里			☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
								浅田　由貴絵			☆	－	×	▲	×
								井上　基子			☆	－	×	▲	×
								井村　紫			☆	－	×	▲	×
								小鹿　慶子			☆	－	×	▲	×
								後藤　真利子			☆	－	×	▲	×
		火	2	幼児音楽Ⅲ－1	2	3	前期	齊戸　典子			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								中川　淳子			☆	－	×	▲	×
								深谷　怜美			☆	－	×	▲	×
								松本　直子			☆	－	×	▲	×
								宮下　薫			☆	－	×	▲	×
								山本　紗佑里			☆	－	×	▲	×
								岡村　明日香			☆	－	×	▲	×
								浅田　由貴絵			☆	－	×	▲	×
								井上　基子			☆	－	×	▲	×
								井村　紫			☆	－	×	▲	×
								小鹿　慶子			☆	－	×	▲	×
								後藤　真利子			☆	－	×	▲	×
		火	1	幼児音楽Ⅲ－2	2	3	前期	齊戸　典子			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								中川　淳子			☆	－	×	▲	×
								深谷　怜美			☆	－	×	▲	×
								松本　直子			☆	－	×	▲	×
								宮下　薫			☆	－	×	▲	×
								山本　紗佑里			☆	－	×	▲	×
		火	3	器楽演習A	2	3	前期	亀井　貴幸	ギター		☆	－	×	▲	×
		火	3	器楽演習B	2	3	後期	大江　可奈子	打楽器合奏/マリンバ		☆	－	×	▲	×
		木	2	言語表現1	2	2	後期	川北　典子			☆	－	×	▲	×
		木	3	言語表現2	2	2	後期	川北　典子			☆	－	×	▲	×
		＊		野外活動	2	4	集中後期	冨岡　量秀			☆	－	×	▲	×
								平塚　幸子			☆	－	×	▲	×
								太田　智子			☆	－	×	▲	×
		木	4	総合表現演習Ⅰ－1	2	3	前期	浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×

教育学部　教育学科

		曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
幼児教育コース	実践研究	木	3	総合表現演習Ⅰ－2	2	3	前期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
		木	4	総合表現演習Ⅱ－1	2	3	後期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
		木	3	総合表現演習Ⅱ－2	2	3	後期	太田　智子			☆	－	×	▲	×
								浜崎　由紀			☆	－	×	▲	×
								城　優香			☆	－	×	▲	×
								矢野　永吏子			☆	－	×	▲	×
		水	1	保育内容実践演習A	2	4	後期	矢野　永吏子	身体表現分野		☆	－	×	▲	×
		水	3	保育内容実践演習B	2	4	後期	太田　智子	造形表現分野		☆	－	×	▲	×
		金	4	保育内容実践演習C	2	4	後期	辰巳　千紗子	音楽表現分野		☆	－	×	▲	×
		月	1	障害児保育1	2	3	前期	林　静香			☆	－	×	▲	×
		月	2	障害児保育2	2	3	前期	林　静香			☆	－	×	▲	×
				相談援助	2	2			本年度休講						

国際学部　国際文化学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
演習	火	1	国際文化演習Ⅰa－1	2	1	前期	渡部　洋	異文化と日本		○	－	×	×	×
	火	1	国際文化演習Ⅰb－1	2	1	後期	井上　摩紀	異文化と日本		○	－	×	×	×
	火	1	国際文化演習Ⅰa－2	2	1	前期	西川　幸余	異文化と日本		○	－	×	×	×
	火	1	国際文化演習Ⅰb－2	2	1	後期	李　青	異文化と日本		○	－	×	×	×
	火	1	国際文化演習Ⅰa－3	2	1	前期	浅若　裕彦	異文化と日本		○	－	×	×	×
	火	1	国際文化演習Ⅰb－3	2	1	後期	鄭　祐宗	異文化と日本		○	－	×	×	×
	火	1	国際文化演習Ⅰa－4	2	1	前期	三浦　誉史加	異文化と日本		○	－	×	×	×
	火	1	国際文化演習Ⅰb－4	2	1	後期	R. SMITHERS	異文化と日本		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱa－1	2	2	前期	C. BERGMANN	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱb－1	2	2	後期	C. BERGMANN	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱa－2	2	2	前期	藤田　義孝	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱb－2	2	2	後期	藤田　義孝	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱa－3	2	2	前期	B. TURNBULL	英語コミュニケーションコース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱb－3	2	2	後期	B. TURNBULL	英語コミュニケーションコース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱa－4	2	2	前期	M. Ama	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱb－4	2	2	後期	M. Ama	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱa－5	2	2	前期	浅若　裕彦	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱb－5	2	2	後期	浅若　裕彦	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱa－6	2	2	前期	渡部　洋	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱb－6	2	2	後期	渡部　洋	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱa－7	2	2	前期	喜多　恵美子	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱb－7	2	2	後期	喜多　恵美子	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱa－8	2	2	前期	鄭　祐宗	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	2	国際文化演習Ⅱb－8	2	2	後期	鄭　祐宗	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲa－1	2	3	前期	廣川　智貴	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲb－1	2	3	後期	廣川　智貴	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲa－2	2	3	前期	藤田　義孝	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲb－2	2	3	後期	藤田　義孝	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲa－3	2	3	前期	R. SMITHERS	英語コミュニケーションコース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲb－3	2	3	後期	R. SMITHERS	英語コミュニケーションコース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲa－4	2	3	前期	西川　幸余	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲb－4	2	3	後期	西川　幸余	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲa－5	2	3	前期	浅若　裕彦	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅲb－5	2	3	後期	浅若　裕彦	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	火	3	国際文化演習Ⅲa－6	2	3	前期	李　青	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	火	3	国際文化演習Ⅲb－6	2	3	後期	李　青	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	火	3	国際文化演習Ⅲa－7	2	3	前期	喜多　恵美子	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	火	3	国際文化演習Ⅲb－7	2	3	後期	喜多　恵美子	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	火	3	国際文化演習Ⅲa－8	2	3	前期	鄭　祐宗	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	火	3	国際文化演習Ⅲb－8	2	3	後期	鄭　祐宗	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅳa－1	2	4	前期	廣川　智貴	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅳb－1	2	4	後期	廣川　智貴	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	火	6	国際文化演習Ⅳa－2	2	4	前期	藤田　義孝	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	火	6	国際文化演習Ⅳb－2	2	4	後期	藤田　義孝	欧米文化コース		○	－	×	×	×
	木	6	国際文化演習Ⅳa－3	2	4	前期	M. Ama	英語コミュニケーションコース		○	－	×	×	×
	木	6	国際文化演習Ⅳb－3	2	4	後期	M. Ama	英語コミュニケーションコース		○	－	×	×	×
	火	6	国際文化演習Ⅳa－4	2	4	前期	B. TURNBULL	英語コミュニケーションコース		○	－	×	×	×
	火	6	国際文化演習Ⅳb－4	2	4	後期	B. TURNBULL	英語コミュニケーションコース		○	－	×	×	×
	木	6	国際文化演習Ⅳa－5	2	4	前期	三浦　誉史加	欧米文化コース		○	－	×	×	×
							井上　摩紀			○	－	×	×	×
	木	6	国際文化演習Ⅳb－5	2	4	後期	井上　摩紀	欧米文化コース		○	－	×	×	×
							三浦　誉史加			○	－	×	×	×
	火	6	国際文化演習Ⅳa－6	2	4	前期	渡部　洋	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	火	6	国際文化演習Ⅳb－6	2	4	後期	渡部　洋	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅳa－7	2	4	前期	喜多　恵美子	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅳb－7	2	4	後期	喜多　恵美子	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅳa－8	2	4	前期	鄭　祐宗	アジア文化コース		○	－	×	×	×
	金	3	国際文化演習Ⅳb－8	2	4	後期	鄭　祐宗	アジア文化コース		○	－	×	×	×
概論							喜多　恵美子	(韓国・朝鮮文化中心)		○	－	×	×	×
							B. TURNBULL	(英・米文化中心)		○	－	×	×	×
	火	4	国際文化概論－1	2	1	前期	浅若　裕彦			○	－	×	×	×
							藤田　義孝	(フランス文化中心)		○	－	×	×	×
							李　青	(中国文化中心)		○	－	×	×	×
							C. BERGMANN	(ドイツ文化中心)		○	－	×	×	×
							喜多　恵美子	(韓国・朝鮮文化中心)		○	－	×	×	×
							B. TURNBULL	(英・米文化中心)		○	－	×	×	×
	火	4	国際文化概論－2	2	1	前期	浅若　裕彦			○	－	×	×	×
							藤田　義孝	(フランス文化中心)		○	－	×	×	×
							李　青	(中国文化中心)		○	－	×	×	×
							C. BERGMANN	(ドイツ文化中心)		○	－	×	×	×

国際学部　国際文化学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
概論							呉　仁済	韓国・朝鮮語		○	－	×	×	×
							藤田　義孝	フランス語		○	－	×	×	×
	火	4	国際言語概論－1	2	1	後期	渡部　洋	中国語		○	－	×	×	×
							R.SMITHERS	英語		○	－	×	×	×
							西川　幸余			○	－	×	×	×
							C.BERGMANN	ドイツ語		○	－	×	×	×
							呉　仁済	韓国・朝鮮語		○	－	×	×	×
							藤田　義孝	フランス語		○	－	×	×	×
	火	4	国際言語概論－2	2	1	後期	渡部　洋	中国語		○	－	×	×	×
							R.SMITHERS	英語		○	－	×	×	×
							西川　幸余			○	－	×	×	×
							C.BERGMANN	ドイツ語		○	－	×	×	×
講義							西川　幸余			○	－	○	○	○
							浅若　裕彦			○	－	○	○	○
	金	1	比較文化講義1	2	1～4	前期	R.SMITHERS			○	－	○	○	○
							三浦　誉史加			○	－	○	○	○
							M.Ama			○	－	○	○	○
							西川　幸余			○	－	○	○	○
							浅若　裕彦			○	－	○	○	○
	金	1	比較文化講義2	2	1～4	後期	R.SMITHERS			○	－	○	○	○
							三浦　誉史加			○	－	○	○	○
							M.Ama			○	－	○	○	○
			英米の文化1	2	2～4			本年度休講						
	火	1	英米の文化2	2	2～4	後期	三浦　誉史加	隔年開講		○	－	○	○	○
	水	1	英米の文化3	2	1～4	前期	時里　祐子			○	－	○	○	○
	水	1	英米の文化4	2	1～4	後期	時里　祐子			○	－	○	○	○
	木	5	英米の文化5	2	1～4	後期	R.SMITHERS	隔年開講		○	－	○	○	○
			英米の文化6	2	1～4			本年度休講						
	火	2	英語学概論1	2	1～4	前期	浅若　裕彦			○	－	○	○	○
	火	2	英語学概論2	2	1～4	後期	浅若　裕彦			○	－	○	○	○
	月	5	英語のしくみ1	2	1～4	前期	中田　智也			○	－	○	○	○
	月	5	英語のしくみ2	2	1～4	後期	中田　智也			○	－	○	○	○
	火	3	ヨーロッパの文化1	2	1～2	前期	菅野　瑞治也	ドイツ		○	－	○	○	○
	木	4	ヨーロッパの文化2	2	1～2	後期	岡田　純子	フランス		○	－	○	○	○
	月	2	東アジアの文化1	2	1～2	前期	山崎　俊鋭	中国		○	－	○	○	○
	火	3	東アジアの文化2	2	1～2	前期	姜　文姫	韓国・朝鮮		○	－	○	○	○
	木	5	日本ポップカルチャー論	2	3～4	後期	柴田　みゆき			○	－	○	○	○
	火	3	国際文化特殊講義1	2	3～4	後期	菅野　瑞治也	ドイツ		○	－	○	○	○
	木	5	国際文化特殊講義2	2	3～4	後期	青木　佑介	フランス		○	－	○	○	○
	水	2	国際文化特殊講義3	2	3～4	後期	渡部　洋	中国		○	－	○	○	○
	木	1	国際文化特殊講義4	2	3～4	後期	鄭　祐宗	韓国・朝鮮		○	－	○	○	○
	金	3	国際文化特殊講義5	2	3～4	後期	村上　昌孝	インド		○	－	○	○	○
	水	3	国際文化特殊講義6	2	3～4	後期	髙井　龍	中国		○	－	○	○	○
	火	1	アメリカ文学講義1	2	2～4	前期	小谷　真由	隔年開講		○	－	○	○	○
			アメリカ文学講義2	2	2～4			本年度休講						
			イギリス文学講義1	2	2～4			本年度休講						
	木	3	イギリス文学講義2	2	2～4	後期	浅若　裕彦	隔年開講		○	－	○	○	○
	木	4	英文学概論1	2	1～4	前期	三浦　誉史加			○	－	○	○	○
	木	4	英文学概論2	2	1～4	後期	三浦　誉史加			○	－	○	○	○
	火	2	ドイツ文学講義1	2	3～4	前期	廣川　智貴	隔年開講		○	－	○	○	○
			ドイツ文学講義2	2	3～4			本年度休講						
			越境するアジアの文化1	2	3～4			本年度休講						
	水	2	越境するアジアの文化2	2	3～4	前期	喜多　恵美子	隔年開講		○	－	○	○	○
	木	3	現代朝鮮半島事情	2	1～4	後期	喜多　恵美子			○	－	○	○	○
							藤田　義孝			○	－	○	○	○
							浅若　裕彦			○	－	○	○	○
							廣川　智貴			○	－	○	○	○
	水	1	世界の宗教と文化	2	2～4	後期	DASH SHOBHA			○	－	○	○	○
							三宅　伸一郎			○	－	○	○	○
							M.Ama			○	－	○	○	○
							赤阪　辰太郎			○	－	○	○	○
	月	4	西洋史講義1	2	2～4	前期	前田　充洋			○	○	○	○	○
	月	4	西洋史講義2	2	2～4	後期	前田　充洋			○	○	○	○	○
	火	2	フランス文学講義1	2	3～4	後期	藤田　義孝	隔年開講		○	－	○	○	○
			フランス文学講義2	2	3～4			本年度休講						
	木	4	京都の歴史と文化	2	1～4	前期	杉本　理			○	－	○	○	○
	金	2	グローカル・ボランティア論	2	1	前期	鈴木　暁子			○	－	×	×	×
	火	2	グローカル・キャリア論	2	1～3	前期	井上　摩紀			○	－	×	×	×
	月	5	国際関係論1	2	3～4	前期	松本　充豊			○	－	○	△	×
	月	5	国際関係論2	2	3～4	後期	松本　充豊			○	－	○	△	×

国際学部　国際文化学科

	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生 自学科	在学生 他学科	在学生 他学部	その他 科目等	その他 聴講生
講義	月	1	キリスト教学1	2	1～4	前期	芦名　定道			○	－	○	○	○
	月	1	キリスト教学2	2	1～4	後期	芦名　定道			○	－	○	○	○
実践研究	月	4	英語基礎演習a－1	2	1	前期	陳　斯童			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習b－1	2	1	後期	陳　斯童			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習a－2	2	1	前期	G.A.EDMONDS			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習b－2	2	1	後期	G.A.EDMONDS			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習a－3	2	1	前期	C.CORRIGAN			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習b－3	2	1	後期	C.CORRIGAN			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習a－4	2	1	前期	R.SMITHERS			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習b－4	2	1	後期	R.SMITHERS			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習a－5	2	1	前期	M.McClure			○	－	×	×	×
	月	4	英語基礎演習b－5	2	1	後期	M.McClure			○	－	×	×	×
	月	5	英語基礎演習a－6	2	2～4	前期	G.A.EDMONDS	再履修		○	－	×	×	×
	月	5	英語基礎演習b－6	2	2～4	後期	G.A.EDMONDS	再履修		○	－	×	×	×
	＊		実践文化演習a(フィールドラーニング)	2	2	集中後期	鈴木　暁子			○	－	○	○	○
	集中		実践文化演習b(語学集中　ドイツ語)	2	2	集中後期	M.ROER			○	－	○	○	○
	集中		実践文化演習c(語学集中　フランス語)	2	2	集中後期	E.FAURE			○	－	○	○	○
	集中		実践文化演習d(語学集中　中国語)	2	2	集中後期	王　大川			○	－	○	○	○
	集中		実践文化演習e(語学集中　韓国・朝鮮語)	2	2	集中後期	申　東洙			○	－	○	○	○
	＊		実践文化演習f(語学研修　英語)	4	2	集中後期	西川　幸余	海外研修		○	－	×	×	×
							B.TURNBULL			○	－	×	×	×
	＊		実践文化演習g(語学研修　中国語1)	2	1	集中後期	李　青	海外研修		○	－	×	×	×
			実践文化演習h(語学研修　中国語2)	4	1			本年度休講						
			実践文化演習i(語学研修　韓国・朝鮮語)	4	1			本年度休講						
	＊		実践文化演習j(文化研修　ヨーロッパ)	2	1	集中後期	藤田　義孝	海外研修		○	－	×	×	×
	＊		実践文化演習k(文化研修　インド)	2	1	集中後期	DASH SHOBHA	海外研修		○	－	×	×	×
							戸次　顕彰			○	－	×	×	×
			実践文化演習l(文化研修　中国)	2	1			本年度休講						
	木	2	グローカル・キャリア演習	2	2	後期	廣川　智貴			○	－	×	×	×
	水	2	English Workshop & Camp	2	2～3	前期	三浦　誉史加			○	－	○	○	○
	金	4	English Workshop 2	2	2～4	後期	西川　幸余			○	－	○	○	○
							M.Ama			○	－	○	○	○
	木	3	English Workshop 3	2	2～4	前期	浅若　裕彦			○	－	○	○	○
	火	3	English Workshop 4	2	2～4	後期	B.TURNBULL			○	－	○	○	○
							R.SMITHERS			○	－	○	○	○
	火	4	Pop Culture in English 1	2	2～3	前期	三浦　誉史加			○	－	○	○	○
	火	4	Pop Culture in English 2	2	2～3	後期	三浦　誉史加			○	－	○	○	○
	金	1	World News	2	2～3	前期	G.A.EDMONDS			○	－	○	○	○
	金	1	Global Communication	2	2～3	後期	G.A.EDMONDS			○	－	○	○	○
	木	4	Teaching English to Children1	2	2～3	前期	田中　友理			○	－	○	○	○
	木	4	Teaching English to Children2	2	2～3	後期	田中　友理			○	－	○	○	○
	月	2	言語文化演習(英語)1	2	3～4	前期	M.McClure			○	－	○	×	×
	月	2	言語文化演習(英語)2	2	3～4	後期	M.McClure			○	－	○	×	×
	水	3	言語文化演習(ドイツ語)1	2	3～4	前期	C.BERGMANN			○	－	○	×	×
	水	3	言語文化演習(ドイツ語)2	2	3～4	後期	C.BERGMANN			○	－	○	×	×
	月	3	言語文化演習(フランス語)1	2	3～4	前期	赤阪　辰太郎			○	－	○	×	×
	木	4	言語文化演習(フランス語)2	2	3～4	後期	青木　佑介			○	－	○	×	×
	水	4	言語文化演習(中国語)1	2	3～4	前期	岡本　俊裕			○	－	○	×	×
	水	4	言語文化演習(中国語)2	2	3～4	後期	岡本　俊裕			○	－	○	×	×
	木	2	言語文化演習(韓国・朝鮮語)1	2	3～4	前期	中藤　弘彦			○	－	○	×	×
	木	2	言語文化演習(韓国・朝鮮語)2	2	3～4	後期	中藤　弘彦			○	－	○	×	×
	木	1	表現文化演習1	2	2～4	前期	赤阪　辰太郎			○	－	○	×	×
	水	2	表現文化演習2	2	2～4	後期	井上　摩紀			○	－	○	×	×
	水	1	西洋史文献を読む1	2	2～4	前期	林　祐一郎			○	○	○	○	○
	水	1	西洋史文献を読む2	2	2～4	後期	林　祐一郎			○	○	○	○	○

聴講登録
関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

現代総合科目　キャリア形成系

分野	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
キャリアデザイン	火	3	キャリアデザイン概論1	2	1～4	前期	柳生　利恵			○	×	×
	火	3	キャリアデザイン概論2	2	1～4	後期	柳生　利恵			○	×	×
	火	2	キャリアデザイン実践1	2	2～4	後期	柳生　利恵			○	×	×
	火	2	キャリアデザイン実践2	2	3～4	前期	柳生　利恵			○	×	×
	＊		産学連携教育プログラム特殊演習1大学コンソ京都	2	2～3	集中後期	前田　充洋	キャンパスプラザ京都		○	×	×
	＊		産学連携教育プログラム特殊演習2大谷大学	2	1～4	集中後期	鎌谷　勇宏			○	×	×
			探究基礎演習	2				本年度休講				
			フィールドワーク特殊演習（PBL）	2				本年度休講				
	金	2	思考法入門	2	1～4	後期	狭間　芳樹			○	×	×
	木	4	大学での学びを知る	2	1～4	後期	筒井　洋一	文学部のみ履修可		○	×	×
	火	5	日本国憲法1	2	1～4	前期	寺川　史朗			○	△	×
	火	5	日本国憲法2	2	1～4	後期	寺川　史朗			○	△	×
	火	6	日本国憲法3	2	1～4	前期	寺川　史朗			○	△	×
	金	4	青年と社会教育	2	2～4	前期	高道　由子			○	○	×
	月	2	社会福祉と社会教育	2	2～4	前期	山﨑　弥生			○	○	×
	木	2	ポルトガル語圏のくらしと言葉1	2	1～4	前期	狭間　芳樹			○	○	○
	火	3	ポルトガル語圏のくらしと言葉2	2	1～4	後期	狭間　芳樹			○	○	○
情報リテラシー	金	3	デジタル人文学概論	2	1～4	後期	武田　和哉	文学部のみ履修可		○	×	×
	金	1	情報メディアと社会	2	1～4	前期	松原　伸一	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
			人文学とコンピュータ	2				本年度休講				
	月	2	デジタル時代の知的財産権	2	1～4	前期	柴田　みゆき	文学部のみ履修可		○	○	○
	木	5	ワード・プロセッシング入門	2	1～4	前期	横澤　大典			○	×	×
	木	5	ワード・プロセッシング応用	2	1～4	後期	横澤　大典			○	×	×
	月	4	PC利用による表計算入門	2	1～4	前期	髙橋　真			○	×	×
	水	5	PC利用による表計算応用	2	1～4	後期	髙橋　真			○	×	×
	水	5	PC利用によるプレゼンテーション	2	1～4	後期	杉山　正治			○	×	×
	水	2	PC利用によるレポート・論文技法	2	1～4	前期	生田　敦司			○	×	×
	月	5	データサイエンス入門	2	2～4	前期	大秦　一浩			○	×	×
	水	4	データサイエンス基礎	2	2～4	後期	大秦　一浩			○	×	×
	火	2	画像処理入門	2	1～4	前期	山城　稔暢			○	×	×
	火	2	画像処理応用	2	1～4	後期	山城　稔暢			○	×	×
	水	3	PCミュージック入門	2	1～4	前期	生田　敦司			○	×	×
	水	3	PCミュージック応用	2	1～4	後期	生田　敦司			○	×	×
	木	5	Webサイト構築入門	2	1～4	前期	杉山　正治			○	×	×
	木	5	Webサイト構築応用	2	1～4	後期	杉山　正治			○	×	×
	金	4	人文学データベース入門	2	1～4	前期	平澤　泰文	文学部のみ履修可		○	×	×
文章表現	月	3	日本語表現（入門）1	2	1～2	前期	藤貫　裕			○	×	×
							中西　麻一子			○	×	×
							松下　俊英			○	×	×
							深町　博史			○	×	×
	木	4					村上　昌孝			○	×	×
							平田　公威			○	×	×
							佐藤　夏樹			○	×	×
	月	3	日本語表現（入門）2	2	1～2	後期	藤貫　裕			○	×	×
							中西　麻一子			○	×	×
							松下　俊英			○	×	×
							深町　博史			○	×	×
	木	4					村上　昌孝			○	×	×
							平田　公威			○	×	×
							佐藤　夏樹			○	×	×
	金	5	日本語表現（実践）	2	2～4	前期	三浦　誉史加			○	×	×
	木	2	発想から表現へ	2	1～4	後期	清水　利明			○	×	×

現代総合科目　自然生命系

分野	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
自然と環境	月	2	自然と生物の科学	2	1～4	後期	原　壮大朗			○	○	○
			地震と火山1	2				本年度休講				
	木	1	地震と火山2	2	1～4	後期	三上　禎次			○	○	○
	火	2	地球科学1	2	1～4	前期	三上　禎次			○	○	○
	水	2	地球科学2	2	1～4	後期	三上　禎次			○	○	○
	木	2	惑星科学	2	1～4	後期	大野　遼	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	水	1	地球環境と生命の共進化	2	1～4	後期	三上　禎次			○	○	○
	月	2	生命のしくみと多様性	2	1～4	前期	原　壮大朗			○	○	○
	金	3	化石の科学	2	1～4	前期	鈴木　寿志	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	木	3	星の世界	2	1～4	後期	山城　稔暢	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
心とからだ	火	1	こころの科学	2	1～4	前期	長野　真奈			○	×	×
	火	1	人間理解の心理学	2	1～4	後期	長野　真奈			○	×	×
	月	2	人間関係の心理学1	2	1～4	前期	星津　香織	文学部・国際学部のみ履修可		○	×	×
	月	2	人間関係の心理学2	2	1～4	後期	星津　香織	文学部・国際学部のみ履修可		○	×	×
	月	3	コミュニケーションの心理学	2	1～4	前期	粉川　尚枝	文学部・国際学部のみ履修可		○	×	×
	水	3	健康心理学	2	1～4	後期	田中　久美子	文学部・国際学部のみ履修可		○	×	×
	月	4	心理療法概論	2	2～4	前期	粉川　尚枝			○	○	×
	月	4	心理療法と教育	2	2～4	後期	粉川　尚枝			○	○	×
	月	2	行動の科学1	2	1～4	前期	粉川　尚枝	文学部・国際学部のみ履修可		○	×	×
	月	2	行動の科学2	2	1～4	後期	粉川　尚枝	文学部・国際学部のみ履修可		○	×	×
	水	2	脳とこころ	2	1～4	前期	岡嶋　詳二			○	×	×
	金	2	カウンセリング	2	2～4	後期	福山　幸子			○	△	×
スポーツと健康	木	1	スポーツと健康の科学1	2	1～4	前期	竹内　早耶香			○	×	×
	木	1	スポーツと健康の科学2	2	1～4	後期	竹内　早耶香			○	×	×
	水	2	人間関係と身体表現	2	1～4	前期	井上　摩紀			○	○	×
	火	1	生涯スポーツ・レクリエーション活動	2	1～4	前期	大高　千明			○	○	○
	火	2	パラスポーツ論	2	1～4	後期	中田　千穂			○	○	○
	月	2	スポーツ研究演習Ⅰ	2	2～4	前期	永松　昌樹	スポーツ心理学の実践		○	○	○
	月	2	スポーツ研究演習Ⅱ	2	2～4	後期	永松　昌樹	スポーツ心理学の実践		○	○	○
	火	4	パラスポーツ研究演習Ⅰ	2	2～4	前期	中田　千穂	パラスポーツ		○	○	○
	火	4	パラスポーツ研究演習Ⅱ	2	2～4	後期	中田　千穂	パラスポーツ		○	○	○
	月	3	身体活動Ⅰ	1	1～4	前期	永松　昌樹	主にバドミントン		○	○	×
	木	4					中村　泰介	主にサッカー（室内）		○	○	×
	火	2					河原　慶子	卓球		○	○	×
								本年度休講				
	水	4	身体活動Ⅱ	1	1～4	後期	井上　摩紀	レクリエーショナル・スポーツ		○	○	×
	木	4					中村　泰介	主にサッカー（室内）		○	○	×
	火	2					河原　慶子	卓球		○	○	×
	月	3					永松　昌樹	レクリエーショナル・スポーツ		○	○	×
	火	3	身体活動Ⅰ（パラスポーツ）	1	1～4	前期	中田　千穂	パラスポーツ		○	○	×
	火	3	身体活動Ⅱ（パラスポーツ）	1	1～4	後期	中田　千穂	パラスポーツ		○	○	×

聴講登録
関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

現代総合科目　歴史文化系

分野	曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
世界の歴史	水	4	ドイツの歴史と文学	2	1～4	前期	青木　三陽	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	月	5	中国の歴史と文学	2	1～4	前期	上原　尉暢	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	火	3	現代東南アジア事情	2	1～4	後期	高井　康弘			○	○	○
	火	5	漢字の世界	2	1～4	後期	張　莉	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	月	1	近代日本とアジア	2	1～4	後期	田中　智子			○	○	○
			古都の歴史と文化	2				本年度休講				
	水	5	教育学1	2	1～4	前期	岡崎　沙織			○	○	○
	水	5	教育学2	2	1～4	後期	岡崎　沙織			○	○	○
宗教と文化	水	2	ドイツの言語文化	2	1～4	後期	甲斐　浩一	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	水	2	ドイツの民衆文化	2	1～4	前期	甲斐　浩一	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	木	4	フランスの言語文化	2	1～4	前期	岡田　純子	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	金	2	フランスの民衆文化	2	1～4	前期	小坂　美樹	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	火	4	中国の言語文化	2	1～4	前期	渡部　洋	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	金	4	中国の民衆文化	2	1～4	後期	福井　敏	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
			ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)	2				本年度休講				
	＊		ヨーロッパの宗教と文化(フランス)	2	1～4	集中後期	藤田　義孝	海外研修　文学部・社会学部・教育学部のみ履修可		○	×	×
	金	2	ヒマラヤの祈り	2	1～4	前期	三宅　伸一郎	文学部のみ履修可		○	○	○
			チベットを見た日本人たち	2				本年度休講				
	月	2	モンゴル草原の祈り	2	1～4	後期	松川　節	文学部のみ履修可		○	○	○
	水	4	朝鮮半島の美術	2	1～4	前期	喜多　恵美子	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
	木	3	東南アジアの宗教文化	2	1～4	前期	清水　洋平			○	○	○
	金	3	インドの神々	2	1～4	前期	村上　昌孝	文学部・国際学部のみ履修可		○	○	○
			東アジアの宗教文化	2				本年度休講				
	集中		仏教と美術	2	1～4	集中後期	堅田　理			○	○	○
	＊		インドの宗教と文化	2	1～4	集中後期	DASH SHOBHA	海外研修　文学部・社会学部・教育学部のみ履修可		○	○	×
							戸次　顕彰	海外研修　文学部・社会学部・教育学部のみ履修可		○	○	×
			中国の宗教と文化	2				本年度休講				
	水	3	人と文化	2	2～4	後期	本林　靖久			○	△	×
	水	4	人と宗教	2	1～4	前期	本林　靖久	文学部・国際学部のみ履修可		○	△	×
	月	3	芸術表現	2	1～4	前期	DASH SHOBHA	文学部・国際学部のみ履修可		○	×	×
	木	6	ブッダに学ぶ	2	1～4	前期	新田　智通	キャンパスプラザ京都		○	×	×
	火	6	親鸞に学ぶ	2	1～4	後期	本明　義樹	キャンパスプラザ京都		○	×	×
	月	4	仏教福祉論	2	1～4	前期	笠原　俊典			○	○	○
人権問題	月	4	部落差別と大谷派教団1	2	1～4	前期	藤原　正寿	大谷派教師課程と共通		○	○	○
	月	4	部落差別と大谷派教団2	2	1～4	後期	藤原　正寿	大谷派教師課程と共通		○	○	○
			部落差別と浄土真宗1	2				本年度休講				
	木	4	部落差別と浄土真宗2	2	1～4	後期	松金　直美	大谷派教師課程と共通		○	○	○
	木	2	部落史論1	2	1～4	前期	宮前　千雅子	教職・大谷派教師課程と共通		○	○	○
	木	2	部落史論2	2	1～4	後期	宮前　千雅子	教職・大谷派教師課程と共通		○	○	○
	月	2	反カースト運動論	2	1～4	後期	DASH SHOBHA	教職・大谷派教師課程と共通		○	○	○
	金	5	アイヌ民族と共に	2	1～4	後期	訓覇　浩	教職・大谷派教師課程と共通		○	△	×
	金	4	アジア侵略と宗教	2	1～4	後期	山内　小夜子	教職(2020年度以前入学生適用)・大谷派教師課程と共通		○	△	×
	金	4	非戦の系譜	2	1～4	前期	山内　小夜子	教職(2020年度以前入学生適用)・大谷派教師課程と共通		○	○	○
	金	5	障害者・病者と共に生きる	2	1～4	前期	訓覇　浩	2022年度以降入学生適用　教職・大谷派教師課程と共通		○	△	×

大学以外の教育施設等における学修を単位認定するための科目

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
		検定英語Ⅰ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定英語Ⅱ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定英語Ⅲ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定英語Ⅳ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定ドイツ語Ⅰ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定ドイツ語Ⅱ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定ドイツ語Ⅲ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定ドイツ語Ⅳ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定フランス語Ⅰ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定フランス語Ⅱ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定フランス語Ⅲ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定フランス語Ⅳ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定中国語Ⅰ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定中国語Ⅱ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定中国語Ⅲ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定中国語Ⅳ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定韓国・朝鮮語Ⅰ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定韓国・朝鮮語Ⅱ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定韓国・朝鮮語Ⅲ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―
		検定韓国・朝鮮語Ⅳ	2	―	―	―	外国語技能検定試験認定用		―	―	―

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末 科目担当者一覧表

第３章　聴講登録

聴講登録関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

1．時間割作成

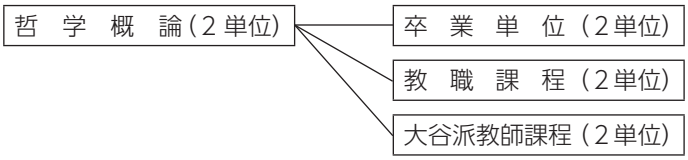
［1］時間割作成について

① 第２章「４．学部・学科別卒業単位配当表」、第４章「１．進級基準」を確認のうえ、履修計画を立てます。

② 各学年の必修科目を選びます。

③ 卒業・進級、資格（諸課程）の取得等で必要な科目を選びます。
※卒業所要の科目のうち、諸課程で必要としている科目と同じ科目があれば、下記のように１科目でいずれの所要も充たすことができます。

（例）



④ 科目によって、学年や所属学科等による受講の制限があります。
確認のため、第２章「５．開講科目表」、「授業計画（シラバス）」や OTANI UNIPA を見てください。

⑤ 卒業所要について、１年間に 40 単位前後を目安として、時間割を作成してください。

⑥ 受講する科目が選択できたら、専門の学問を進めていくうえでの指導が必要になりますので、指導教員の指導を必ず受けて、聴講登録してください。

［2］受講生数制限をする科目について

科目によっては、受講生数制限をします。そのような科目については、以下の方法で抽選を実施します。

① **聴講登録期間後の抽選**
３月 28 日（金）～４月４日（金）の聴講登録期間に受講者多数のため定員がオーバーした科目

② **第１回目の授業での抽選**
第１回目の授業時に定員がオーバーした科目

③ **修正登録期間後の抽選**
上記以外で、４月の修正登録期間後に定員がオーバーした科目

	対　象　科　目	抽　選　方　法
①聴講登録期間後の抽選	聴講登録期間に受講希望者が多数となり定員がオーバーした科目	聴講登録期間に必ず科目の登録を行ってください。 定員がオーバーした場合は、登録者の中から抽選を行います。 抽選となった場合は、**４月７日（月）**以降に OTANI UNIPA で合否を確認してください。
②第１回目の授業での抽選	第１回目の授業時に定員がオーバーした科目	初回授業出席者の中から抽選を行い、翌日に結果を掲示発表します。抽選にもれた場合には、修正登録期間に代替科目を登録してください。
③修正登録期間後の抽選	上記以外	随時、掲示と授業時の指示により処置を伝えますので注意してください。 特に**後期科目の定員オーバーについては、前期中に抽選を行い、結果を掲示発表します。** 抽選にもれた場合には、後期の修正登録期間に代替科目を登録してください。

［3］学年ごとの注意事項

本学では、学年ごとに必修科目があります。自分がどの科目を今年度履修しなくてはいけないか、以下の表および第２章「4. 学部・学科別卒業単位配当表」で確認のうえ、必ず聴講登録してください。

クラス指定はクラス別懇談会で配布するクラス配当表（第１学年時のみ）、OTANI UNIPA で発表します。各自で指定されているクラスを必ず確認してください。なお、クラス指定科目は、指定のクラス以外は受講できません。ただし、卒業の見込みがない場合は教務課に申し出てください。

第１学年の必修科目

学部 / 学科	科目名		単位数	注意
全学共通	総合科目	人間学Ⅰ	4	この科目の担当者が**副指導教員**になります。
	大学導入	学びの発見	2	
		ICT 入門	2	
	英語Ⅰ	英語	4	英語プレイスメント（クラス分け）テストの結果をもとにクラス配当を行います。
	初修外国語Ⅰ	ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語	4	**社会学部・教育学部の学生は、入学前に希望した場合にのみ履修が可能です**。対象の学生のみクラス指定を行っています。
	演習	演習Ⅰ	4	この科目の担当者が**指導教員**となります。
文 / 真宗学科	実践研究	仏教文献基礎演習	4	
文 / 仏教学科	実践研究	仏教文献基礎演習	4	
文 / 哲学科	実践研究	批判的思考	2	
文 / 歴史学科	実践研究	歴史学基礎演習	4	
社 / 現代社会学科	概論	現代社会基礎	2	
		社会学入門	2	
	実践研究	社会統計基礎	2	
		フィールドワーク技法基礎	2	
社 / ｺﾐｭﾆﾃｨ・ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	概論	コミュニティデザイン概論	2	
	実践研究	プロジェクト研究入門Ⅰ	2	
		プロジェクト研究入門Ⅱ	2	
教 / 初等教育コース	概論	教育原論（小）	2	
	実践研究	実践体験活動演習（小）Ⅰ	2	
		実践体験活動演習（小）Ⅱ	2	
教 / 幼児教育コース	実践研究	実践体験活動演習（幼）Ⅰ	2	
国 / 国際文化学科	概論	国際文化概論	2	
		国際言語概論	2	
	実践研究	英語基礎演習	4	

第２学年の必修科目

学部 / 学科	科目名		単位数	注意
全学共通	演習	演習Ⅱ	4	この科目の担当者が**指導教員**となります。 コース決定及びクラス別懇談会時にコース登録し、コースと演習Ⅱのクラスを決定してください。事前に指定されている場合もありますので、OTANI UNIPA 等で確認してください。
文学部 国際学部	英語Ⅱ	英語	4	第１学年時に指定した語学を履修します。クラス分けの結果は、授業開始日までに OTANI UNIPA で発表します。
	初修外国語Ⅱ	ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語		
社会学部 教育学部 (教育学科初等教育コース)	英語Ⅱ	英語	4	クラス分けの結果は、授業開始日までに OTANI UNIPA で発表します。
	初修外国語Ⅱ	ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語	0 以上	**第１学年のクラスを履修し、かつ第１学年時に第２学年クラスの履修を希望した場合にのみ履修が可能です**。クラス分けの結果は、授業開始日までに OTANI UNIPA で発表します。
文 / 真宗学科	講義	大乗仏教入門	2	
文 / 仏教学科	講義	大乗仏教入門	2	
社 / 現代社会学科	概論	仏教社会論	2	
		社会学概論	2	
社 / ｺﾐｭﾆﾃｨ・ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	概論	仏教社会論	2	
教 / 初等教育コース	概論	仏教と教育（初等）	2	
教 / 幼児教育コース	概論	教育原論（幼）	2	
		仏教と教育（初等）	2	

第３学年の必修科目

学部 / 学科	科目名		単位数	注意
全学共通	演習	演習Ⅲ	4	この科目の担当者が**指導教員**になります。

第４学年の必修科目

学部 / 学科	科目名		単位数	注意
全学共通	演習	演習Ⅳ	4	この科目の担当者が**指導教員**になります。
	卒業研究	卒業論文・卒業研究・卒業制作	8	指導教員担当の「卒業研究」を登録してください。

※前期卒業研究提出予定者は、「卒業研究（前期卒業用）」を登録してください。

2. 聴講登録

［1］登録単位数制限について

前期、後期及び年間で登録できる単位数には制限があり、それぞれの制限単位数を超えてはいけません。制限単位数を超えて登録した単位数は、削除することになります。

《文学部・社会学部・教育学部・国際学部》

前期登録単位数制限		後期登録単位数制限		年間登録単位数制限
前期完結科目		後期完結科目		
24 単位まで	＋	24 単位まで	＝	48 単位まで

《履修上限単位数の拡大》

所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、単位数の上限を超えて履修登録を認めます。具体的には、直前の学期の GPA が 3.1 以上の学生に限り、学期の登録単位数の上限を 30 単位として取り扱います。

《注意事項》

以下の期別の科目は、それぞれ単位数の含まれ方が異なりますので注意してください。

＊通年科目は前期・後期に単位数が分けられます。
＊集中科目は、集中前期は「前期」、集中後期は「後期」に単位数が含まれます。

《登録単位数制限に含まれない科目》

以下の対象の科目は、登録単位数制限に含まれません。

＊大学コンソーシアム京都が提供する「単位互換制度」で認定を受けることができる他大学の科目。
但し、「産学連携教育プログラム特殊演習１大学コンソ京都」は登録単位数にカウントします。

［2］聴講登録について

聴講登録関連日程でもお知らせしているように、聴講科目の登録・修正・辞退は「OTANI UNIPA」から行います。

※各自、『履修要項』、「授業計画（シラバス）」を確認して、時間割を決定してください。 ※期間によって、登録・修正・辞退と分かれていますので、注意してください。 ※登録完了とするには、スマホの場合、必ず［提出する］ボタンをタップしてください（PC の場合、[完了］ボタン）。これを行わないと、登録ができませんので注意してください。

1．履修登録画面へアクセス

「OTANI UNIVERSITY UNIVERSAL PASSPORT」（「OTANI UNIPA」）へアクセスし、ID（学生番号）、パスワードを入力してログイン。ここでは、スマートフォン版で説明します。

スマートフォンは
こちらからログイン

※パスワードがわからない場合、教務課で再発行の手続きを行ってください。

ログイン後、メインメニューを表示します。

［履修登録（スマートフォン）］をタップします。

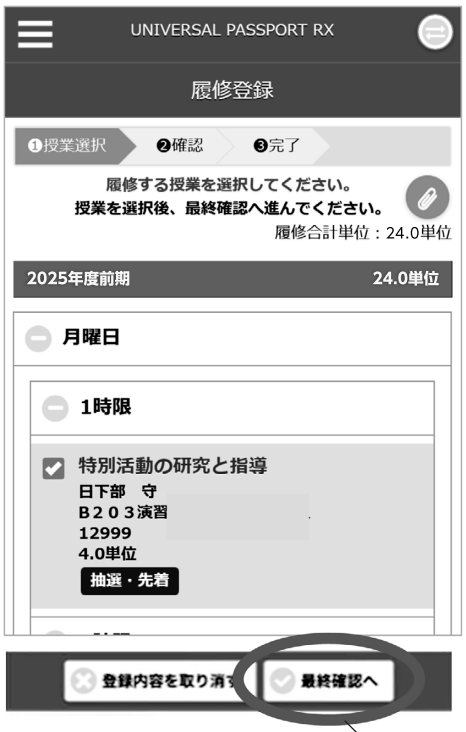
2．授業を選択

学年・クラス指定の必修科目（例：英語Ⅰ・Ⅱ）は、あらかじめ登録しています。それらは削除できません。

前期に登録する科目：前期科目、後期科目、集中講義、通年科目

後期に修正登録する科目：後期科目

履修登録する曜日・時限のボタンをタップすると、履修可能な授業を表示します。各科目をタップすれば、シラバスを見ることもできます。



この段階では、まだ登録は途中です。［提出する］ボタンを押さないと完了しません。

履修したい科目のチェックボックスにチェックを入れ、選び終わったら、［最終確認へ］ボタンをタップします。

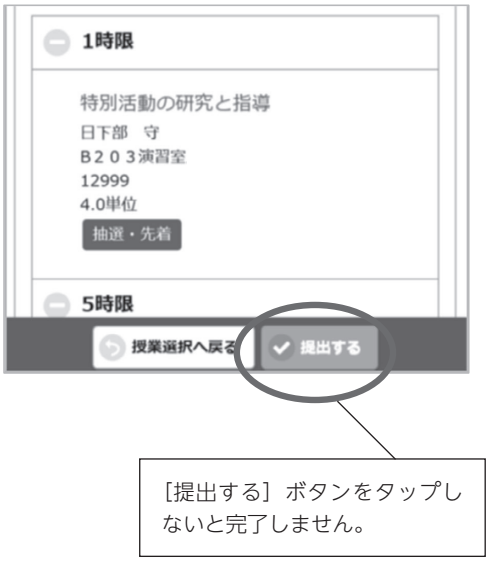
エラーがない場合、そのメッセージが出ます。次に［見込判定へ］を押します。

エラーがある場合、[エラー内容の確認] 画面より、エラーとなっている授業と、エラー内容が確認できます。
授業をタップしてチェックボックスにチェックを入れ、上部の【取消】ボタンをタップすると授業選択の解除ができます。

【見込判定】画面を表示します。各見込判定を行うことができます。

3．登録の完了

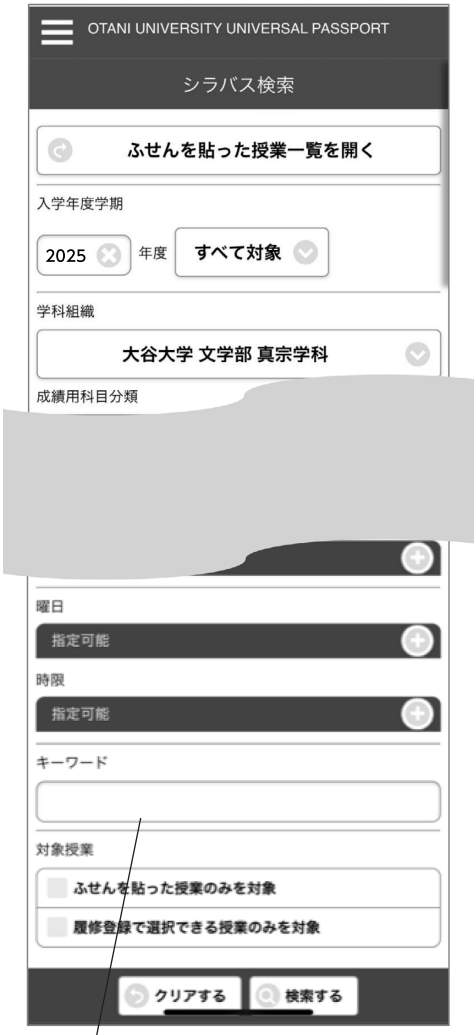
確認画面へ戻り、**［提出する］を押して登録が完了します。**履修登録期間中であれば、履修登録の内容は何度でも変更可能です。ただし、登録内容を変更した場合、必ず［提出する］ボタンをタップしてください。



4．シラバス（授業計画）照会

シラバスとは、授業テーマや目標、成績評価方法、スケジュール、教科書・参考書等を記した授業計画です。

メインメニューより、［シラバス照会］を選択すると、【シラバス検索】画面を表示します。照会するシラバスを検索し、［授業科目］をタップします。



キーワード、曜日時限、教員名等の検索ができます。

シラバスは、授業時間割表からも見ることができます。［ふせんを貼る］をクリックすると、シラバス検索にあたり、［ふせんを貼った授業一覧を開く］でまとめて確認することができます。[ふせんを剥がす]をタップして、一覧から削除することも可能です。

5．注意事項

在学中に一度単位を修得した科目を再度履修することはできません。

ただし、「選択外国語」「○○特殊講義」「○○特殊演習」として開講している科目は、繰り返し履修をすることが認められています。

3. 共通基礎科目外国語

［1］必修外国語

1）必修外国語とは

本学では、グローバル社会で活躍できる人物の育成をめざし、第１学年と第２学年において必修科目として外国語科目の受講を全員に課しています。外国語を修得することによって、

①異文化に触れ、幅広いものの見方を身につける

②専門の学問研究のため、基礎的学力を身につける

ことができるようになります。

必修外国語は、「英語」と「初修外国語」で構成されており、**第１学年・第２学年においてそれぞれ週２回ずつ受講します。「初修外国語」は、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の中から、入学手続時に登録した語学を１つ履修します。（初修外国語の種類を変更することは一切できません。）**

また、**必修外国語は、履修すべきクラスを指定していますので、配付物ならびに OTANI UNIPA で各自で必ず確認してください。**

なお、**所属学部によって、外国語科目の履修単位数が異なります**ので、以下の内容をしっかり確認してください。

2）外国語Ⅰ

科目名称		履修学年	文学部	社会学部	教育学部	国際学部
外国語Ⅰ	英語Ⅰ	第１学年	４単位 **【必修】**	４単位 **【必修】**	４単位 **【必修】**	４単位 **【必修】**
	初修外国語Ⅰ		４単位 **【必修】**	０単位以上 **【履修可能】**	０単位以上 **【履修可能】**	４単位 **【必修】**

＊**【文学部・国際学部】**

英語・初修外国語のどちらも履修が必要です。

＊**【社会学部・教育学部】**

英語のみ履修が必要です。ただし、入学前に希望した者については、初修外国語の履修が可能となります（あらかじめクラス指定を行っています）。

3）外国語Ⅱ

科目名称		履修学年	文学部	社会学部	教育学部		国際学部
					初等教育コース	幼児教育コース	
外国語Ⅱ	英語Ⅱ	第２学年	４単位 **【どちらか必修】**	４単位 **【必修】**	４単位 **【必修】**	－ 【履修不可】	４単位 **【どちらか必修】**
	初修外国語Ⅱ			０単位以上 **【履修可能】**	０単位以上 **【履修可能】**	－ 【履修不可】	

＊**【文学部・国際学部】**

第１学年時に、英語重点型と初修外国語重点型のどちらかを選択します。

英語重点型を選択した場合は英語を（この場合初修外国語は履修できません）、初修外国語重点型を選択した場合は初修外国語を（この場合英語は履修できません）履修します。

なお、初修外国語重点型を選択した場合、履修できる語学は入学前に申請した（第１学年時に履修した）語学となります。

＊**【社会学部・教育学部教育学科初等教育コース】**

第１学年で初修外国語を履修した学生のみ、第２学年のクラスを履修することが可能となります（第１学年で履修を希望していない学生が、第２学年から履修し始めることは一切できません）。また、第１学年のみで初修外国語の履修を終えることも可能です。

なお、第２学年で初修外国語を履修する場合、履修できる語学は入学前に申請した（第１学年時に

履修した）語学となります。
※教育学部教育学科幼児教育コース（2022 年度以降入学生・2024 年度以降編入学生）は、外国語Ⅱ（英語Ⅱ・初修外国語Ⅱ）の履修はできません。

4）必修外国語が不合格となった場合の履修方法について

「外国語Ⅰ」「外国語Ⅱ」ともに、**不合格となった授業は、次の学年以降に「再履修授業」を受講します**。
①不合格になった授業分（単位数分）を必ず卒業までに履修します（「外国語Ⅰ・Ⅱ」ともに、必要な単位数を修得しないと卒業できません）。
②前期・後期とも「英語」「初修外国語」**それぞれ２科目（２単位分）まで登録できます**。例えば、「英語Ⅰ」が３科目（３単位分）不足している学生は、前期に２科目（２単位分）、後期に１科目（１単位分）を履修します。
③**「再履修授業」は、希望する授業を自分で選択し受講します**。なお、受講希望者が多数に及んだ場合、受講抽選を行う場合がありますので、必ず第１回目の授業に出席してください。

5）第３学年時編入学生の必修外国語履修方法について

編入学時に認定された単位が不足している場合は、「外国語Ⅰ」「外国語Ⅱ」ともに「再履修授業」を履修することになります。授業の選択については、前述の説明を参照してください。
※編入学生は、第１学年の授業を第３学年に履修する必要があります。そのため、正規クラスでは、時間割が重複し必要な授業が受講できませんので、再履修授業を履修するようにしてください。

［2］選択外国語

1）選択外国語とは

選択外国語は、語学力を高めるとともに、多様な文化への理解や国際的なコミュニケーション能力を養うことを目的に構成されています。

選択外国語では、初修外国語として選択した言語以外も履修可能であり、全学部において、自身の目的や興味・関心に応じて自由に履修することができます。

開講科目は、科目の種類とレベルの定義を次のとおり設定しています。また、**みなさんの興味・関心等に応じた履修ができるよう、それぞれの科目の目的・内容に応じて、開講科目を５つのテーマに分類していますので、履修の際の参考としてください（詳細については、「４）テーマについて」「選択外国語テーマ分類一覧」を参照してください）**。なお、科目の内容によっては、複数のテーマにまたがって記載されている場合もあります。

2）科目の種類

各語学における１単位で開講している科目の種類を以下の５種類に統一しています。また、それ以外にも週に２回以上履修する科目や、語学研修科目も開講しています。

「読解」…　各語学における「読む力」を身につけることを目指す。
「会話」…　各語学における「話す力」と「聴く力」を身につけることを目指す。
「作文」…　英語における「書く力」を身につけることを目指す。
「文法」…　英語における「文法」を身につけることを目指す。
「しくみと表現」…　各語学における「書く力」と「文法」を中心とした「総合的な力」を身につけることを目指す。

3）レベルの定義

英語と初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語）に分けて、レベルの定義を分けて開講していますので、履修する際に参考にしてください。

			レベル定義
英語	中級	英語読解	時事英語や文化・社会に関するエッセイを正確に読む。
		英語会話	様々な状況下で使われる英語表現を学び、より正確に聞き、効果的に話す能力を身につける。
		英作文	自分の考えを断片的に書くのではなく、パラグラフ（段落）として書くにはどうすればよいかを学び、最終的にある程度のまとまった文章を書けるようにする。
		英文法	英文法の基本と応用。
	上級	英語読解	論理的・思索的・文学的文章を読み味わう。 （留学をめざす者、留学から帰国した者。または、**「英検」**※1 **準1級、「TOEIC (L&R)」**※2 **720点または「TOEFL (iBT)」**※3**61点以上**をめざす者。）
		英語会話	様々なテーマについて、自分の意見を英語で発表し、高度なコミュニケーション力を身につける。 （留学をめざす者、留学から帰国した者。または、**「英検」準1級、「TOEIC (L&R)」720点または「TOEFL (iBT)」61点以上**をめざす者。）
		英作文	手紙・履歴書・願書・ビジネスレターなどの異なる様式に沿った英文の書き方を学び、与えられたテーマに沿ったエッセイやストーリーの書き方を学ぶ。 （留学をめざす者、留学から帰国した者。または、**「英検」準1級、「TOEIC (L&R)」720点または「TOEFL (iBT)」61点以上**をめざす者。）
		英文法	言語学的アプローチによる一歩進んだ英文法。 （留学をめざす者、留学から帰国した者。または、**「英検」準1級、「TOEIC (L&R)」720点または「TOEFL (iBT)」61点以上**をめざす者。）
ドイツ語	初級		ドイツ語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。
	中級		ドイツ語を学んだ経験があり、さらに基礎力を伸ばしたい者。 あるいは、**「独検」**※4 **3級、「Goethe Zertifikat」**※5 **A1または「ÖSD」**※6 **A1以上**をめざす者。
フランス語	初級		フランス語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。
	中級		フランス語を学んだ経験があり、基本的なフランス語力を伸ばしたい者。 あるいは、**「仏検」**※7 **3級または「DELF」**※8 **A1以上**をめざす者。
中国語	初級		中国語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。 **「中検」**※9 **準4級～4級または「HSK」**※10 **2級**をめざす者。
	中級		中国語を学んだ経験があり、基本的な中国語力を伸ばしたい者。 **「中検」4級または「HSK」2級以上**をめざす者。
	上級		留学をめざす者、留学から帰国した者、 及び**「中検」3級または「HSK」3級以上**をめざす者。
韓国・朝鮮語	初級		韓国・朝鮮語をはじめて学ぶ者、または基礎から復習したい者。
	中級		韓国・朝鮮語を学んだ経験があり、**「ハン検」**※11 **4級以上または「TOPIK」**※12 **3級以上**をめざす者。
	上級		留学をめざす者、留学から帰国した者、及び**「ハン検」3級以上または「TOPIK」4級以上**をめざす者。

各検定試験の詳細については、各自でホームページを参照すること。

※1 **実用英語技能検定（英検）：**公益財団法人日本英語検定協会が実施している検定試験。
1級（上級）～5級（初級）までの7段階が設けられている。

※2 **Test of English for International Communication Listening & Reading Test（TOEIC (L&R)）：**Educational Testing Service が実施している検定試験。

※3 **Test of English as a Foreign Language iBT Test（TOEFL (iBT)）：**Educational Testing Service が実施している検定試験。

※4 **ドイツ語技能検定試験（独検）：**公益財団法人ドイツ語学文学振興会が実施している検定試験。
1級（上級）～5級（初級）までの6段階が設けられている。

※5 **Goethe Zertifikat：**Goethe-Institut が実施している検定試験。
A1（初級）～C2（上級）までの6段階が設けられている。

※6 **オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）：**ÖSD が実施している検定試験。
A1（初級）～C2（上級）までの6段階が設けられている。

※7　**実用フランス語技能検定試験（仏検）：**公益財団法人フランス語教育振興協会が実施している検定試験。
　１級（上級）～５級（初級）までの７段階が設けられている。
※8　**Diplôme d'Études en Langue Française（DELF）：**France Éducation International が実施している検定試験。
　A1（初級）～ C2（上級）までの６段階が設けられている。
※9　**中国語検定試験（中検）：**一般財団法人日本中国語検定協会が実施している検定試験。
　１級（上級）～準４級（初級）までの６段階が設けられている。
※10　**漢語水平考試（HSK）：**中国政府教育部孔子学院総部／国家漢語辦公室が実施している検定試験。
　１級（初級）～６級（上級）までの６段階が設けられている。
※11　**「ハングル」能力検定試験（ハン検）：**ハングル能力検定協会が実施している検定試験。
　１級（上級）～５級（初級）までの６段階が設けられている。
※12　**韓国語能力検定試験（TOPIK）：**公益財団法人韓国教育財団が実施している検定試験。
　１級（初級）～６級（上級）までの６段階が設けられている。

４）テーマについて

①実用会話（旅行、観光、ビジネス）

旅行、観光、ビジネスで外国語を利用したいと考えているみなさんに受講してほしい科目です。これらの科目をきっかけにして、実用的な語学力を伸ばしましょう。

②文化・社会（新聞、インターネット、音楽）

さまざまなメディアを通じて生きた語学に触れたいと考えているみなさんに受講してほしい科目です。SNS やストリーミング配信など、インターネットを通じて外国の文化にふれるチャンスは圧倒的に増えました。文化と社会を学ぶことは語学学習をより一層深めることにつながります。

③検定対策

各種の語学能力検定試験を受験しようと考えているみなさんに受講してほしい科目です。毎年多くの人が外国語の検定試験を受験していますが、そこで必要とされるスキルや知識を身につけるのに役立ちます。

④アカデミック

ゼミの発表やレポート、卒業研究作成のため、外国語を学びたいみなさんに受講してほしい科目です。初級文法の復習に加えて中級文法を学ぶことで、文章を正確に読めるようになることを目指します。

⑤留学

異文化理解、特に留学を考えているみなさんに受講してほしい科目です。留学は大学で学んだ外国語を現地で実践するプログラムで、語学研修や長期留学の制度があります。外国の文化や風俗・習慣に慣れ親しみ、世界とのつながりの中で自分を成長させていく絶好のチャンスです。

＜選択外国語テーマ分類一覧＞

	実用会話 （旅行、観光、ビジネス）	文化・社会 （新聞、インターネット、音楽）	検定対策	アカデミック	留学
	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称	科目名称
英語	英語会話（中級）1	英語読解（中級）3	英語読解（中級）1	英作文（中級）1	英語読解（中級）3
	英語会話（中級）2	英語読解（中級）4	英語読解（中級）2	英作文（中級）2	英語読解（中級）4
	英語会話（中級）3	英語会話（中級）1	英語読解（中級）3	英文法（中級）1	英作文（中級）1
	英語会話（中級）4	英語会話（中級）2	英語読解（中級）4	英文法（中級）2	英作文（中級）2
	英語会話（中級）5	英語会話（中級）3	英文法（中級）1	英語のしくみと表現(中級)1	英語のしくみと表現(中級)1
	英語会話（中級）6	英語会話（中級）4	英文法（中級）2	英語のしくみと表現(中級)2	英語のしくみと表現(中級)2
	インテンシブ英会話(中級)1	英語会話（中級）5	英語読解（上級）3	英語読解（上級）1	英語会話（中級）3
	インテンシブ英会話(中級)2	英語会話（中級）6	英語読解（上級）4	英語読解（上級）2	英語会話（中級）4
		英語会話（上級）1	英文法（上級）1	英語会話（上級）1	英語会話（中級）5
		英語会話（上級）2	英文法（上級）2	英語会話（上級）2	英語会話（中級）6
		実践英語・文化研究*2		英語会話（上級）3	英語読解（上級）1
				英語会話（上級）4	英語読解（上級）2
				英作文（上級）1	英語会話（上級）1
				英作文（上級）2	英語会話（上級）2
				英文法（上級）1	英語会話（上級）3
				英文法（上級）2	英語会話（上級）4
					英作文（上級）1
					英作文（上級）2
					インテンシブ英会話(中級)1
					インテンシブ英会話(中級)2
					実践英語・文化研究*2
独語	ドイツ語会話（初級）1	ドイツ語読解（中級）1	ドイツ語読解（初級）1	ドイツ語のしくみと表現(初級)1	ドイツ語会話（初級）1
	ドイツ語会話（初級）2	ドイツ語読解（中級）2	ドイツ語読解（初級）2	ドイツ語のしくみと表現(初級)2	ドイツ語会話（初級）2
		ドイツ語会話（初級）1	ドイツ語読解（中級）1	ドイツ語読解（中級）1	
		ドイツ語会話（初級）2	ドイツ語読解（中級）2	ドイツ語読解（中級）2	
		ヨーロッパの宗教と文化(ドイツ)*1*2			
仏語	フランス語会話（初級）	フランス語読解（初級）	フランス語読解（初級）	フランス語読解（中級）	フランス語読解（中級）
	フランス語会話（中級）	フランス語読解（中級）	フランス語読解（中級）	フランス語のしくみと表現(中級)	フランス語会話（中級）
		ヨーロッパの宗教と文化(フランス)*1*2	フランス語のしくみと表現(初級)		
中国語	中国語会話（初級）1	中国語読解（初級）1	中国語読解（初級）1	中国語のしくみと表現(初級)1	中国語会話（上級）1
	中国語会話（初級）2	中国語読解（初級）2	中国語読解（初級）2	中国語のしくみと表現(初級)2	中国語会話（上級）2
	中国語会話（初級）3	実践中国語・文化研究 1*2	中国語のしくみと表現(初級)1		実践中国語・文化研究 1*2
	中国語会話（初級）4	実践中国語・文化研究 2*2	中国語のしくみと表現(初級)2		実践中国語・文化研究 2*2
	中国語会話（中級）1				
	中国語会話（中級）2				
	中国語会話（上級）1				
	中国語会話（上級）2				
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語会話(初級)1	韓国・朝鮮語読解（中級）	韓国・朝鮮語のしくみと表現(初級)1	韓国・朝鮮語のしくみと表現(初級)1	韓国・朝鮮語読解（中級）
	韓国・朝鮮語会話(初級)2	韓国・朝鮮語会話（中級）	韓国・朝鮮語のしくみと表現(初級)2	韓国・朝鮮語のしくみと表現(初級)2	韓国・朝鮮語会話（中級）
	韓国・朝鮮語会話（中級）	韓国・朝鮮語読解（上級）	韓国・朝鮮語読解（中級）	韓国・朝鮮語読解（中級）	韓国・朝鮮語読解（上級）
		実践韓国・朝鮮語・文化研究*2	韓国・朝鮮語読解（上級）	韓国・朝鮮語読解（上級）	実践韓国・朝鮮語・文化研究*2

*1 現代総合科目歴史文化系の開講科目
*2 文学部・社会学部・教育学部のみ履修可（国際学部は学科専門科目「実践文化演習 f ～ l」として開講しています）

[3] 外国語技能検定試験の級位や得点に応じた単位認定制度について

本学では、TOEIC や TOEFL、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の技能検定試験等の級位や得点に応じた単位認定制度を次のとおり設けています。

1）単位認定の対象試験及び級位・得点に応じた認定単位数

語学	検定試験	級位又は得点	認定単位数
英語	英検*	2 級	2 単位
		準 1 級	6 単位
		1 級	8 単位
	TOEIC（L&R）*	500 点以上 599 点以下	2 単位
		600 点以上 719 点以下	4 単位
		720 点以上 819 点以下	6 単位
		820 点以上	8 単位
	TOEFL（iBT）	32 点以上 41 点以下	2 単位
		42 点以上 60 点以下	4 単位
		61 点以上 79 点以下	6 単位
		80 点以上	8 単位
ドイツ語	独検	4 級	2 単位
		3 級	4 単位
		2 級	6 単位
		準 1 級以上	8 単位
	Goethe Zertifikat	A1	4 単位
		A2	6 単位
		B1 以上	8 単位
	ÖSD	A1	4 単位
		A2	6 単位
		B1 以上	8 単位
フランス語	仏検	4 級	2 単位
		3 級	4 単位
		準 2 級	6 単位
		2 級以上	8 単位
	DELF	A1	4 単位
		A2	6 単位
		B1 以上	8 単位
	DALF	C1 以上	8 単位

中国語	中検	4 級	2 単位
		3 級	4 単位
		2 級	6 単位
		準 1 級以上	8 単位
	HSK	2 級	2 単位
		3 級	4 単位
		4 級	6 単位
		5 級以上	8 単位
韓国・朝鮮語	ハン検	4 級	2 単位
		3 級	4 単位
		準 2 級	6 単位
		2 級以上	8 単位
	TOPIK	1 級	2 単位
		2 級	4 単位
		3 級	6 単位
		4 級以上	8 単位

* 英検 S-CBT は申請可とする。
* TOEIC IP テストは学内受検に限る。

2）認定科目区分について

単位の認定先は、共通基礎科目の「外国語Ⅰ」、「外国語Ⅱ」又は「選択外国語」です。

3）申請方法

各学期の指定した期間に、教務課窓口で申請してください。詳細については、OTANI UNIPA にて連絡します。申請にあたって、教務課窓口で配付する①「単位認定申請書」と、②「認定書又は得点証明書等の原本」の提出が必要です。

4）申請にあたっての注意点

・所定の級位又は得点を得た日から 2 年を経過したものは、単位認定を申請することができません。
・同一語学において認定できる単位数は 8 単位までとなります。また、外国語技能検定試験結果による認定単位、入学前の既修得単位や入学後に留学や単位互換制度を利用して他大学等で修得した単位とあわせて、40 単位が上限となります。
・認定単位数は各試験のレベルや合格に必要な学習時間を考慮したうえで設定しています。
そのため、同一語学において、認定単位数が同じ級位・得点を別々に認定することはできません。
例えば、「英検 2 級」と「TOEIC（L&R）500 点以上 599 点以下」は、いずれも認定単位数が 2 単位であるため、合計して 4 単位を認定することはできません。
ただし、すでに「英検 2 級」を取得し 2 単位認定された者が、6 単位に相当する「TOEIC（L&R）720 点以上 819 点以下」を修めた場合は、差分の 4 単位を追加で認定することができます。
・認定した単位の成績評価は、「N」（認定）とします。

4. 現代総合科目・自己選択科目

［1］現代総合科目

1）現代総合科目とは

以下の３つの分野において、各自の学術的な興味・関心に見合う専門科目を自由に選択し、学修するためのものです。幅広い教養を身につけ、知性を高めるとともに、専門研究に資する知識を修得することを目指します。

それぞれの分野では、みなさんの興味・関心等に応じて体系的な履修ができるよう、開講科目を３つのテーマに分類しています。

各分野の開講科目については、第２章「５．開講科目表」や「授業計画（シラバス）」で確認してください。

キャリア形成系（キャリアデザイン／情報リテラシー／文章表現）

社会的に貢献するための幅広い知見を身につけることをテーマに構成されています。

自然生命系（自然と環境／心とからだ／スポーツと健康）

自らを取り巻く自然環境を知り、命やこころへの理解を深めることをテーマに構成されています。

歴史文化系（世界の歴史／宗教と文化／人権問題）

世界の歴史と文化を多角的に理解することをテーマに構成されています。

2）登録および履修について

各分野の開講科目を、第２章「５．開講科目表」や「授業計画（シラバス）」で確認し、３つの分野のそれぞれから、興味・関心のある科目を選択し、履修してください。

なお、所属学部によって、以下のとおり、卒業に必要な単位数、履修できる科目が異なりますので注意してください。

【文学部・国際学部】

キャリア形成系、自然生命系、歴史文化系の**３つの分野それぞれで４単位以上、合計で 12 単位以上履修してください**。

第２章「５．開講科目表」の現代総合科目開講科目表において、備考欄に「文学部のみ履修可」、「文学部・社会学部・教育学部のみ履修可」と記載されている科目は、国際学部の学生は履修できませんので注意してください。

【社会学部・教育学部】

キャリア形成系、自然生命系、歴史文化系の**３つの分野それぞれで２単位以上、合計で６単位以上履修してください**。

第２章「５．開講科目表」の現代総合科目開講科目表において、備考欄に「文学部のみ履修可」、「文学部・国際学部のみ履修可」と記載されている科目は、社会学部・教育学部の学生は履修できませんので注意してください。

注意！

それぞれの分野で設定している３つのテーマは、体系的に履修することができるよう開講科目を分類するためのものです。あくまでも、最低履修単位数は３つの分野（キャリア形成系、自然生命系、歴史文化系）のみに設定していますので、注意してください（３つの分野の下に設けたテーマには、最低履修単位数は設定されていません）。

［2］自己選択科目

1）自己選択科目とは

自己選択科目は、他学部・学科の学科専門科目から、関心や興味に応じて自由に履修できるように設けられたものです。

2）自己選択科目の履修について

上記のことから、自己選択科目は、科目が開設されているわけではありませんので注意してください。**下記にあげた単位が、自己選択科目に集計されます**ので、確認の上、履修を進めてください。

【自己選択科目に**集計される単位**】
1）他学部・学科の受講可能な学科専門科目を履修した単位。
2）入学前に取得した単位、単位互換制度や留学先で取得し認定された単位。

5. スポーツ科目

スポーツ科目の履修は、以下の点を確認したうえで登録・履修してください。また教職を目指す人は、「体育実技」を必ず履修しなければなりません。詳しくは、「Ⅱ．資格の取得 /1．教職課程」を参照してください。

［1］スポーツ科目の種類

・現代総合科目　自然生命系

「スポーツ研究演習Ⅰ・Ⅱ」（2単位）

「パラスポーツ研究演習Ⅰ・Ⅱ」（2単位）

「身体活動Ⅰ・Ⅱ」（1単位）【「Ⅰ」・「Ⅱ」それぞれで一種目のみ受講可】

「身体活動Ⅰ・Ⅱ（パラスポーツ）」（1単位）

※パラスポーツ：障害のある人が安全で公平に行えるよう、または障害の有無にかかわりなく誰もが行えるよう考案されたスポーツ。授業では体験することでパラスポーツへの理解を深めます。

［2］単位の認定

1セメスターにおける出席状況を重視し、学習態度・意欲などから総合的評価をします。

［3］種目の決定と登録

① 前期及び後期における希望科目及び種目は、OTANI UNIPA から登録してください。（**間違った種目を登録することのないよう、必ず開講科目表で確認してください**。）但し、それぞれの科目及び種目では、履修できる定員数を定めています。

② 聴講登録は、前期科目・後期科目ともに前期の聴講登録期間で行ってください。

［4］その他の注意事項

① 実技においては、トレーニングウェアを着用しなければ受講できません。

② 運動靴は、体育館とグラウンドの2足制にして、混用しないでください。体育館用には赤靴紐をつけること。詳しくは「授業計画（シラバス）」や授業内での説明に従ってください。

③ 更衣は、体育館更衣室（1階）を使用してください。なお、貴重品は更衣室内に設置してあるロッカーを利用してください。

④ ロッカー使用は受講した授業時間内のみで、絶対に私物化しないでください。

⑤ 授業中に負傷、その他身体に異常が発生した場合は、直ちに担当教員に申し出て、その指示に従ってください。

⑥ スポーツ科目に関する連絡事項は、OTANI UNIPA に掲示します。

6. 国際交流科目

本学では国際的な視野を深める目的で、国際交流科目を開講しています。これらで修得した単位は、卒業に必要な単位として認定します。しかし、海外での授業を含むことなどから、登録手続や履修方法が他の科目とは異なります。以下の説明をよく読んだうえで、履修を希望する学生は４月のオリエンテーション期間中に行う「国際交流科目説明会」に必ず出席し、手続きを進めてください。

語学研修科目

生きた語学の修得に主眼を置いた科目で、本学で行う事前講義と現地で行う講義・研修から成っています。現地では、大学寮での滞在やホームステイをしながら、現地大学教員による授業を約２～４週間にわたり受講します。また、教室での授業だけにとどまらず、名所・史跡などを訪れる様々な実地研修も実施します。

登録科目	研修国	研修先大学	単位
実践中国語・文化研究１ 実践文化演習ｇ（語学研修　中国語１）	台湾	淡江大学（淡水）	2
実践中国語・文化研究２ 実践文化演習ｈ（語学研修　中国語２）	中国	首都師範大学（北京）	4
実践韓国・朝鮮語・文化研究 実践文化演習ｉ（語学研修　韓国・朝鮮語）	韓国	慶熙大学校（ソウル）	
実践英語・文化研究 実践文化演習ｆ（語学研修　英語）	カナダ	トンプソン・リヴァーズ大学（カムループス）	
	ニュージーランド	オタゴ大学（ダニーデン）	

※「実践中国語・文化研究１」「実践文化演習ｇ（語学研修　中国語１）」は、毎年開講します。
※「実践中国語・文化研究２」「実践文化演習ｈ（語学研修　中国語２）」と、「実践韓国・朝鮮語・文化研究」「実践文化演習ｉ（語学研修　韓国・朝鮮語）」は、隔年で開講します。
※「実践英語・文化研究」「実践文化演習ｆ（語学研修　英語）」のカナダとニュージーランドは、年ごとに交互に開講します。

文化研修科目

様々な国の持つ文化・宗教・歴史などに、あらゆる角度から直接触れることにより異文化理解を深めることを目的とした科目で、本学で行う事前講義と現地で行う研修から成っています。様々なテーマをもとにその地域の史跡・名所など、主要都市を１～２週間にわたり訪れます。

登録科目	研修名	単位
インドの宗教と文化 実践文化演習ｋ（文化研修　インド）	インド仏教遺跡研修	2
中国の宗教と文化 実践文化演習ｌ（文化研修　中国）	中国仏教遺跡研修	
ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ） 実践文化演習ｊ（文化研修　ヨーロッパ）	ヨーロッパ〈ドイツ〉文化研修	
ヨーロッパの宗教と文化（フランス） 実践文化演習ｊ（文化研修　ヨーロッパ）	ヨーロッパ〈フランス〉文化研修	

※「インドの宗教と文化」「実践文化演習ｋ（文化研修　インド）」と「中国の宗教と文化」「実践文化演習ｌ（文化研修　中国）」は、年ごとに交互に開講します。
※「ヨーロッパの宗教と文化（ドイツ）」と「ヨーロッパの宗教と文化（フランス）」（ともに「実践文化演習ｊ（文化研修　ヨーロッパ）」）の研修地域は、年ごとに交互に開講します。

フィールドワーク

学科の趣旨に基いて開講するフィールドワークです。現地の課題を把握し、その解決について主体的に考えることを目的とします。本学で行う事前講義と現地研修から成っています。

登録科目・研修名	単位
フィールドワーク３（国際）	2

※「フィールドワーク３（国際）」は、隔年で開講します。

［1］科目登録の流れ

※登録までの日程はすべて「**国際交流科目説明会**」でお知らせします。

国際交流科目説明会
- ４月のオリエンテーション期間中に行う「国際交流科目説明会」に出席して研修の詳細を確認し、**予備登録カード**を受け取ってください。
- ※出席できない場合は事前に教務課に来てください。

予備登録
- 指定された期間中に教務課に**予備登録カード**を提出してください。
- ※科目によっては選考を行います。

確認・聴講登録
- 選考結果を OTANI UNIPA で発表しますので、各自確認してください。受講許可者は、修正登録期間後に科目が登録されているか、OTANI UNIPA で**必ず確認してください。**

［2］科目の履修

① 事前講義のみ、または現地研修のみの受講は認めません。

② 事前講義は開講日時が不規則な科目もありますので、「不定期開講科目日程」、「授業計画（シラバス）」等で確認し、**他の科目と重複して登録しないように**十分注意してください。
※開講日程は変更になる場合がありますので、説明会や「OTANI UNIPA」等で確認してください。

③ 授業とは別に渡航説明会を行います。ここで渡航に関する諸手続きをしますので必ず出席してください。**正当な理由のない欠席は認めません。**やむを得ず欠席する場合は、事前に教務課まで申し出てください。手続きをしないと履修ができなくなる場合がありますので、注意してください。

［3］履修にあたっての注意事項

① 履修希望者が少数の場合や現地事情等によりやむを得ず開講を取りやめたり、研修内容を変更する場合があります。また、授業開始後、渡航日が近づいていても中止になる場合もあります。そのような場合でも、代わりの科目を登録することはできませんので、特に卒業年次生は、この科目が中止になっても**卒業所要単位に影響が出ないよう、時間割を作成する段階から注意してください。**

② 現地研修は夏期及び春期休暇期間中に実施します。そのため追試験や集中講義などと日程が重なることが考えられますので、その他の授業も計画的に履修してください。

③ **聴講登録後のキャンセルは原則として認めません。**これは、履修希望者多数により不許可になる学生がいることや、渡航手続きや現地大学へ受入準備等を依頼する必要があるためです。研修費用も高額になりますので詳細をよく確認のうえ、連帯保証人とも充分相談をし、安易に取りやめることのないように計画してください。**特別な事情で参加できなくなった場合は、すみやかに教務課まで相談に来てください。**なお、辞退が認められた場合でもキャンセル料がかかることがありますので注意してください。

④　受講が許可された人は現地研修にあたり、必ず**指定の海外旅行傷害保険に加入し、大学が実施する定期健康診断と、受講者対象の保健室での面談を受診しなければなりません。**

［4］単位の認定

単位認定は、事前講義及び渡航説明会の出席状況や、現地研修中の取り組み、試験などにより評価し、**後期末に行います。**なお、「実践中国語・文化研究１」「実践文化演習ｇ（語学研修　中国語１）」と「実践英語・文化研究」「実践文化演習ｆ（語学研修　英語）」は、実施する時期が学期末（例年、２～３月）となるため、単位認定は翌年度の４月上旬となります。

7. 大学コンソーシアム京都「単位互換制度」

「単位互換制度」は、各大学独自の教育理念に基づいた特色ある教育課程を、単位互換包括協定を結ぶことによって、学生自身の知的関心に基づき相互に受講することを可能としたものです。学修の幅を広げると同時に、多様な経験ができる機会として捉え、積極的に参加してください。手続き等の詳細については、オリエンテーション期間中に開催される説明会に出席してください。また、公益財団法人大学コンソーシアム京都の「単位互換・京カレッジポータルサイト」でシラバス閲覧（科目検索）等の情報を見ることができます。

http://www.consortium.or.jp
https://tg-kyoto.consortium.or.jp

単位互換制度

単位互換制度とは、他大学・短期大学の科目を履修し、それを本学の単位として認定を受けることができる制度です。授業は JR 京都駅前の「キャンパスプラザ京都」、もしくは科目提供大学、オンラインで実施します。受講料は原則として無料ですが、科目により所定の実習費等が必要となる場合があります。

① **出願資格**

学部に在籍する第１～４学年
（第４学年次は単位認定にあたり、注意が必要です。「⑤出願に際しての注意事項」を参照してください。）

② **出願手続**

履修希望者は４月のオリエンテーション期間中に実施する説明会に参加し、制度内容等を確認の上出願手続を行ってください。なお科目開設大学では、単位互換科目の受講条件や受講定員を設けている場合もあるため、必ずしも希望した授業科目を受講できるとは限りません。あらかじめ注意して出願してください。なお、本学提供の開講科目を受講する場合は出願票を提出せず、通常どおり聴講登録を行ってください。（本学の授業科目として登録をするため、**登録単位数制限に含みます**ので注意してください。）

③ **履修許可および履修手続**

各大学において書類選考した結果は、４月中旬にメールで通知します。大学によって別途手続きを必要とする場合があるので、履修許可となった学生は、指定の期日までに各大学の指示に従い所定の手続きを行ってください。

④ **単位認定**

公益財団法人大学コンソーシアム京都「単位互換授業」で修得した単位を本学の単位として認定を希望する人は、必ず出願時に、「出願票」と「単位認定願（在学中）」をセットにして教務課に提出してください。**認定結果は、履修した年度末に「OTANI UNIPA」で修得単位としてお知らせします**ので確認してください。なお、「単位認定願（在学中）」を出願時に提出していない人は、「単位認定の意志がない」ものと判断され、理由を問わず単位を認定することができなくなりますので注意してください。

認定単位の上限は、在学中において入学前の既修得単位とあわせて最大 40 単位以内、以下のとおりに認定します。ただし、編入学生は履修規程により認定の対象とはならないので注意してください（出願は可能）。

【文学部・社会学部・教育学部・国際学部　2018 年度以降入学生】

1）教養的科目又は専門的科目 (音読・和訳、文法精読、リスニング、作文、対話練習・スピーチ及び原書講読) の外国語科目 ･･･「選択外国語」として認定

2）1）以外の科目 ･･･「自己選択科目」として認定

【文学部　2017 年度以前入学生】

「自己選択科目」として認定

⑤　**出願に際しての注意事項**

・単位互換授業は登録単位数制限には含みませんが、出願できる科目数の上限は**１人につき、年間６科目以内**となっています。

・単位互換授業を受ける場合、授業開始日や時間割が本学と異なることがあります。まず本学での時間割を組み､移動時間等を考慮し無理のない範囲で単位互換授業を受けるようにしてください。

・**第４学年次については、本学の授業科目で卒業単位分を聴講登録してください。卒業に関わる単位に、単位互換科目を履修計画に含めないようにしてください。**（科目提供大学からの成績報告時期によっては、単位認定できない場合があります。）

・近年、一度も授業に出席せずに履修を棄権する学生が目立っています。受講を取りやめることは他大学に多大な迷惑を及ぼすため、出願し受講が許可された科目は責任を持って受講してください。**なお教務課に無断で授業や試験を棄権して「K」評価等となった場合、翌年度の出願を認めない場合があります。**

8. 教育プログラム

本学では、専門知識に加えた幅広い教養を、学生が自ら積極的に身につけるための教育を実践することを目的に、テーマや目的に沿っていくつかの科目をまとめて、教育プログラムとして実施しています。

（1）数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

本学では、2024 年度より、数理・データサイエンス・AI への関心を高め、適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することを目的に、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を開講しました。このプログラムはデータサイエンス教育強化拠点コンソーシアムのスキルセット（http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/model_curriculum.html）の内容に基づいています。

※本プログラムは、2025 年度に文部科学省が認定する「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に申請予定です。

［1］履修すべき科目・単位

本プログラムは下記の科目で構成しており、このうち必修科目のすべての科目及び選択必修科目のうちから 1 科目以上を卒業までに履修することで修了となります。

	本学開講科目	単位数	開講学科等
必修科目	ICT 入門	2	共通基礎科目　大学導入 ※【2024 年度以前入学生・2026 年度以前編入学生】 現代総合科目　キャリア形成系
	データサイエンス入門	2	現代総合科目　キャリア形成系
	データサイエンス基礎	2	現代総合科目　キャリア形成系
選択必修科目	情報と倫理	いずれか 2	現代社会学科
	PC 利用による表計算応用		現代総合科目　キャリア形成系

［2］履修方法

他の科目と同様、「開講科目表」に記載している履修学年指定に従って履修してください。

このプログラムの履修を希望する場合、聴講登録期間に、OTANI　UNIPA にて「資格希望登録」を行ってください。この「資格希望登録」をもって、単位修得者には卒業時に証明書を発行します。

［3］修了証明書

本プログラムを修了した人で希望する人には、証明書を卒業時に発行予定です。また、卒業後も発行できます。

（2）文藝塾プログラム

［1］文藝塾プログラムについて

2025 年度より、「書く力」を養うことをめざす「文藝塾プログラム」を開講します。このプログラムでは、学生が小説やエッセイなどの文章を執筆し他者からの批評を受けることで、実践的な文章能力を養い、文章を客観的に捉える技能を身につけます。

［2］履修すべき科目・単位

本プログラムは下記の科目で構成しており、すべての科目を卒業までに履修することで修了となります。

	本学開講科目	単位数	開講学科等
必修科目	文藝塾講義１	2	文学科
	文藝塾講義２	2	文学科
	文藝塾実践演習Ⅰａ	2	文学科
	文藝塾実践演習Ⅰｂ	2	文学科
	文藝塾実践演習Ⅱａ	2	文学科
	文藝塾実践演習Ⅱｂ	2	文学科

［3］履修方法

他の学生と同様、「開講科目表」に記載している履修学年指定に従って履修してください。

このプログラムの履修を希望する場合、聴講登録機関に、OTANI　UNIPA にて「資格希望登録」を行ってください。この「資格希望登録」をもって、単位修得者には卒業時に証明書を発行します。

［4］修了証明書

本プログラムを修了した人で希望する人には、証明書を卒業時に発行予定です。また、卒業後も発行できます。

（3）キャリア教育プログラム

本学には、以下の２種類のキャリア教育プログラムがあります。履修については各項目を参照してください。

［1］「産学連携教育プログラム特殊演習１大学コンソ京都」

［2］「産学連携教育プログラム特殊演習２大谷大学」

※これらの科目の聴講登録は、通常の聴講登録期間にはできません。それぞれの「授業計画（シラバス)」で講義日程を確認のうえ「事前講義」に参加し、第１回目の講義内で聴講登録を行ってください。また、これらの科目は単位数制限の対象科目となっています。これらの科目を登録することにより登録単位数の制限を超過する場合は、他の科目を削除する必要があります。

※「産学連携教育プログラム特殊演習１大学コンソ京都」・「産学連携教育プログラム特殊演習２大谷大学」の同時履修はできませんので注意してください。

［1］産学連携教育プログラム特殊演習１大学コンソ京都

本学が実施するキャリア教育プログラムのうち、開講科目名「産学連携教育プログラム特殊演習１大学コンソ京都」は、公益財団法人大学コンソーシアム京都（以下　大学コンソーシアム京都）が窓口となって実施しているプログラムを利用しています。このプログラムは、主に企業やNPO・行政機関等、実習受け入れ先において就業体験（実習）を行う教育プログラムです。また、大学コンソーシアム京都で実施する事前学習・事後学習・実習に参加するとともに、本学キャンパス内で実施される事前講義・事後講義に参加することで、卒業所要単位とすることができます。

このプログラムでは「エクスターンシップ（就業体験）コース」、また長期・実践型「プロジェクト企画実践コース」の２つのコースを卒業所要単位として受講することができます。各コースのプログラムの内容については、大学コンソーシアム京都が発行する『産学連携教育プログラム募集ガイド』を参照してください。本プログラムに関する疑問、質問についてはキャリアセンターに相談してください。

① **対象学年**

本学に在籍する第２・３学年。

② **出願手続について**

キャリアセンターが４・５月に実施する説明会に参加し、プログラム内容、出願方法等詳細を確認したうえで手続きを行ってください。

出願票は、指定された期日に**大学コンソーシアム京都の Web ページより提出**してください。出願後、大学コンソーシアム京都で選考が行われ、本人宛に「選考結果通知書」が届きます。

③ **履修許可・履修手続について**

大学コンソーシアム京都で行われる選考に合格し、大学コンソーシアム京都が実施するプログラムでの学習成果を本学の卒業所要単位として認定を希望する場合は、本学キャンパスで実施される④１.「学内事前講義」（講義日程は「授業計画（シラバス）」参照）を受講し、第１回目の講義内で「産学連携教育プログラム特殊演習１大学コンソ京都」の聴講登録を行ってください。

④ **プログラムの流れ**

１.「学内事前講義」――本学キャンパスにおいて、事前講義、**聴講登録**を行います。
２.「事　前　学　習」――基礎知識の学習、自己分析、実習目標の設定
３.「実　　習」――就業体験
４.「事　後　学　習」――実習目標の設定に対する評価・総括、今後の目標設定など
５.「学内事後講義」――本学キャンパスにおいて、事後講義を行い、レポート提出を課します。

※「学内事前講義」と「学内事後講義」の日程については、「授業計画（シラバス）」参照のこと。
１・５については、本学キャンパスにて実施。
２・４については、大学コンソーシアム京都が指定するオンラインツールを用いて実施。
３については、大学コンソーシアム京都が指定する場所にて実施。

［２］産学連携教育プログラム特殊演習２大谷大学

この科目は、本学独自で開講しており、提携している事業所において２週間程度の就業体験（実習）を行うプログラムです。本学キャリアセンターが指定する期日までに出願票を提出し、選考に合格した者のみ受講することができます。

① **対象学年**

本学に在籍する全学年。

② **出願手続について**

キャリアセンターが４・５月に実施する説明会に参加し、プログラム内容、出願方法等詳細を確認したうえで手続きを行ってください。

③ **履修許可・履修手続について**

出願票の提出については、指定された期日までに**キャリアセンターへ直接提出**してください。

提出後、選考が行われ、結果はキャリアセンター掲示板に掲示します。

④ **プログラムの流れ**

１.「事前講義」――事前講義、**聴講登録**を行います。
２.「実　　習」――就業体験
３.「事後講義」――事後講義を行い、レポート提出を課します。

※「事前講義」と「事後講義」の日程については、「授業計画（シラバス）」参照のこと。

選考に合格し、本プログラムでの学習成果を本学の卒業所要単位として認定を希望する場合は、④１.「事前講義」（講義日程は「授業計画（シラバス）」参照）内にて「産学連携教育プログラム特殊演習２大学大学」の聴講登録を行ってください。

9. 卒業研究

卒業研究は、4年間の学びの集大成として成果を評価するものです。卒業論文、卒業研究又は卒業制作のいずれかを提出して、学修の成果を評価します。

［1］提出のための手続

【第4学年】

聴　講　登　録

提出する年度の登録時に、授業科目と同様に「卒業研究」を登録してください。

↓

卒業研究種類・題目登録

指導教員と相談のうえ、卒業研究の種類と題目を決定し、締切日（6月末日*）までに各自で「OTANI　UNIPA」のアンケート「卒業研究種類・題目登録」より登録してください。
◎詳細については、「OTANI UNIPA」で確認してください。

↓

種類・題目変更について

種類・題目登録締切後に種類・題目を変更する場合は、指導教員と相談のうえ、締切日（12月中旬*）までに各自で「OTANI UNIPA」のアンケート「卒業研究種類・題目変更登録」より変更を行ってください。

↓

提　　出

締切日（1月上旬*）までに**正本（手書きの場合は自筆したもの）を1部**教務課へ提出してください。
遅れた場合は一切受領しませんので十分注意してください。
なお、指導教員にも副本（コピー可）を1部提出する必要がありますので、あらかじめ指導教員の指示を受けてください。

［2］卒業研究の種類

選択できる種類は、学部・学科で指定（*）があります。

◎卒業論文　主論文（20,000字程度）
◎卒業研究　調査報告書等（20,000字程度）
◎卒業制作　文芸作品、映像・音声作品、翻訳作品等並びに作品解題（文学部・教育学部・国際学部　6,000字程度、社会学部　20,000字程度）

［3］口述試問

①　卒業研究提出後、口述試問を実施します。この審査に合格しなければ単位は認定しません。
②　口述試問は、1月中旬から実施します。

*詳細については、『卒業研究作成の手引』を参照してください。（第4学年次の5月上旬「OTANI UNIPA」にて公開予定）

「卒業研究」ルーブリック

＜全学基準＞

下表は、全学基準のルーブリックになります。こちらとは別に、各学部･学科の卒業研究タイプ（種類）において独自基準のルーブリックを設定している場合があります。独自基準のルーブリックは、「OTANI UNIPA」の「公開資料」中にある『卒業研究作成の手引』に公表していますので、そちらを参照してください。

DPとの関係	評価 / 評価の観点	1	2	3	4	5
		不十分である	到達しつつある	達成している	超えている	さらなる高み
		各観点の到達目標に対して明らかに不十分なレベルである。	各観点の到達目標に対して合格最低限のレベルである。	各観点の到達目標を達成している。	各観点の到達目標を超えている部分がある。	研究誌に投稿可能である。
DP4（専門的な知識）DP5（専門的な技能）	テーマ設定と背景の理解	先行研究について理解せず､研究テーマを明確にできていない。	教員の指導のもと、先行研究について理解しており、研究テーマが明確である。	先行研究について論評することができ、自ら研究テーマが説明できる。	先行研究について十分な論評ができ、研究テーマが明確に説明できる。	研究テーマを研究史上に位置づけることができる。
DP2（知識・教養）DP4（専門的な知識）	基礎的な知識及び方法論	基礎的な知識・方法が不十分であり、研究方法を学んでいない。	教員の指導のもと、基礎的な知識・方法を有し、研究方法を学んでいる。	基礎的な知識・方法を十分有し、自ら研究方法が説明できる。	基礎的な知識・方法を活用し、研究テーマに即した研究方法が明確に説明できる。	用いた方法が自らの研究にとって最適であることが説明できる。
DP4（専門的な知識）DP5（専門的な技能）	研究の根拠となる事実や資料の収集など	議論のために必要な事実や資料の収集が不十分である。	教員の指導のもと、議論のために必要な事実や資料が採り上げられている。	議論のために必要な事実や資料を自ら十分に収集できている。	議論のために必要な事実や資料の収集および整理が、十分にできている。	収集した事実や資料が自らの研究に必要であることが説明できる。
DP3（思考・技能）DP5（専門的な技能）	論理構成（課題設定 - 分析検討 - 解明）	論として成り立たない。一貫した展開がない。	教員の指導のもと、論の展開ができている。	一貫性のある論が展開できている。	一貫性のある論の展開が明確にできている。	研究テーマに即した論理構成が明確にできている。
DP1（汎用的言語能力）DP5（専門的な技能）	アカデミック・ライティング（引用・文章の適切性）※	引用が明示されず、文章が適切でない。	許容範囲内であるが、不要な引用、不適切な文章が見られる。	引用・文章とも概ね適切である。	適切な引用を含め、優れた文章で論述されている。	先行研究の十分な調査に基づく的確な引用がなされ、極めて優れた文章で論述されている。

※「学びの発見」ライティング・ルーブリックに準拠

文章ルール　①誤字脱字は無いか。②段落冒頭は一字下げか。③助詞（てにをは）は適切か。④文体は常体（である調）か。⑤接続詞は適切か。

第４章　成績評価

聴講登録
関連日程
Ⅰ．履修要領
教育研究目的
卒業要件及び開講科目
卒業の要件
単位制
単位修得の認定
学部・学科別卒業単位配当表
開講科目表
聴講登録
時間割作成
聴講登録
共通基礎科目外国語
現代総合科目・自己選択科目
スポーツ科目
国際交流科目
コンソーシアム単位互換制度
教育プログラム
卒業研究
成績評価
進級基準
試験
成績評価
ＧＰＡ
学士・修士接続プログラム
規程集
大谷大学履修規程
大谷大学進級規程
Ⅱ．資格の取得
教職課程
保育士養成課程
大谷保育協会保育心理士課程
学校図書館司書教諭課程
博物館学課程
図書館学課程
真宗大谷派教師課程
社会教育課程【社会教育主事任用資格】
社会福祉士国家試験受験資格課程
社会福祉主事【任用資格】
開講科目表
巻末
科目担当者一覧表

1. 進級基準

本学では、大谷大学進級規程に基づき、第１学年・第２学年・第３学年の学年末に進級・原級留置の判定を行います。

それぞれの基準を充たしていないと進級できませんので、第２章「4. 学部・学科別卒業単位配当表」に基づき卒業所要単位（**＊諸課程科目は除く**）を充たすよう計画的に履修してください。

＊ 諸課程科目とは、博物館学課程の「博物館実習」、図書館学課程の「図書館概論」や、真宗大谷派教師課程の「声明作法」等、卒業単位に含まれない諸課程単独開講科目のことです。（「Ⅱ. 資格の取得」の「11. 開講科目表」にて確認してください。）

第１学年→第２学年進級基準

第１学年に１年以上在学し、以下の科目・単位数を充たしていること。

進　　級	原　級　留　置
人間学Ⅰ 学びの発見 ICT 入門 英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ 演習Ⅰ ｝８単位以上 上記の科目を含み卒業所要単位合計 18 単位以上修得済みであること。	進級基準に充たない者

第２学年→第３学年進級基準

第２学年に１年以上在学し、以下の科目・単位数を充たしていること。

進　　級	原　級　留　置
学びの発見　２単位 ICT 入門　２単位 演習Ⅰ　４単位 人間学Ⅰ 英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ 英語Ⅱ又は 　初修外国語Ⅱ ｝８単位以上 上記の科目を含み卒業所要単位合計 48 単位以上修得済みであること。	進級基準に充たない者

第３学年→第４学年進級基準

第３学年に１年以上在学し、以下の科目・単位数を充たしていること。

2018 年度以降入学生

進　　級	原　級　留　置
演習Ⅱ　　４単位 上記の科目を含み卒業所要単位合計 80 単位以上修得済みであること。	進級基準に充たない者

2020 年度以降編入生

進　　級	原　級　留　置
人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 英語Ⅰ 初修外国語Ⅰ 演習Ⅱ } 10 単位以上 上記の科目を含み卒業所要単位合計 80 単位以上修得済みであること。	進級基準に充たない者

2. 試　験

［1］定期試験

定期試験は原則として各学期末に行います。

＊次のような場合には、受験資格が与えられません。

① 聴講登録をしていない場合
② 休学期間中に開講された科目
③ 学費未納の場合（全科目）
④ 受験中に不正な行為又は不当な行為をした場合
⑤ 学生証を携帯していない場合

［2］試験方法

試験は、科目の内容・性質によって様々な方法で行われます。例えば、試験期間以外に小テスト等を実施する科目もあります。そのつど OTANI UNIPA や担当者の指示に従ってください。

試験は筆記・レポート・実技等によって行います。

試験時間帯 ⇒ 定期試験期間中は通常の授業と異なり、下記の時間帯となります。

時限	1	2	3	4	5	6
時間	9:30 ～ 10:30	11:00 ～ 12:00	13:00 ～ 14:00	14:30 ～ 15:30	16:00 ～ 17:00	17:30 ～ 18:30

筆記試験等の受験注意事項（定期試験・追試験共通）

① 学生証は必ず机上に提示してください。
学生証を忘れたとき
⇒ 試験開始前に学生支援課で仮学生証（発行手数料 500 円）の発行を受けてください。
ただし、仮学生証は発行当日のみ有効です。
② 遅刻者は、試験開始後 15 分以内に限り監督者の許可を得て受験できます。
③ 試験開始後 20 分を経過するまでは退出できません。
④ 不正行為は厳禁です。不正行為が発見された場合は、履修規程により受験資格を失うことがあります。また、処分によっては、当該科目はもちろん当該科目以外の全ての科目について、失格となることがあります。
⑤ 答案は必ず試験場で提出してください。白紙答案でも持ち帰ることはできません。
⑥ 指定した追試験期間中に受験できなかった場合は、理由を問わずその受験資格を失います。

［3］追試験

定期試験を受験する資格はあるが、病気など正当と認められる事由で定期試験を欠席した場合に限り、以下のような手続きにより追試験を受けることができます。事由の詳細は第５章「1．大谷大学履修規程」を参照してください。

[願書提出から試験日までの手順]

願　書　提　出

＊ 指定された締切日（当該試験の試験当日から原則として１週間以内）までに願書を提出してください。ただし、申込締切日は試験日によって異なるので、必ず OTANI UNIPA で確認してください。

＊ 同一理由で２日間以上試験を欠席した場合、願書の締切日は、最後に欠席した試験日の締切日となります。

＊ 教務課所定の願書に、欠席の日時・理由を客観的に証明する書類（欠席した当日の症状を記した診断書、交通機関延着証明書等）を添付し、締切日までに提出してください。

＊ 追試験料（１科目 2,000 円）を納入してください。

＊ 追試験の対象となるのは、定期試験期間中に実施される「筆記」又は「実技」科目のみです。
定期試験期間以外（授業中）のテスト、レポートの追試験は行いません。

↓

追 試 験 受 験 許 可

＊ 各学部長が認めた人はすべて OTANI UNIPA にて発表します。

＊ 許可されなかった場合は当該科目の追試験料を返金します。ただし、許可された科目の追試験を欠席又は辞退する場合は返金できません。

↓

追 試 験 の 実 施 要 項

＊ 追試験の要項はすべて OTANI UNIPA にて発表します。

＊ 実施日は、前期は８月中旬、後期は２月中旬の予定です。

3. 成績評価

［1］評価

成績は 100 点をもって満点とし、60 点以上を合格とします。なお、履修成績は次のように評価します。

評　価		評　点	判　定　基　準
合　格	S	100 点～ 90 点	特に優れた成績を示したもの
	A	89 点～ 80 点	優れた成績を示したもの
	B	79 点～ 70 点	妥当と認められる成績を示したもの
	C	69 点～ 60 点	合格と認められる最低限の成績を示したもの
不　合　格	F	59 点以下	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの

評 価 不 能	K	―	授業参加や試験について棄権・放棄をしたとみなされ、評価することができないもの

［2］成績の通知

本学では、前期授業開始前、後期授業開始前にその前の学期科目の成績を「OTANI UNIPA」内の「成績照会」画面にて発表します。発表する日程が決まれば、「OTANI UNIPA」にて連絡します。

【前期分】：前期科目・８月までに完結する集中講義の成績

【後期分】：後期科目・通年科目・９月以降に完結する集中講義の成績

［3］「成績照会」画面について

① 前の学期までに聴講登録した科目の成績が確認できます。

② 「科目名」欄の「卒業所要配当区分」に基づき、「OTANI UNIPA」の「成績照会」画面で、履修した科目がそれぞれの配当区分に分類されているか確認してください。

③ 成績評価のうち「N」は他大学等の認定科目であることを表します。また、「Ｊ」は修練等の受講を表します。

［4］成績評価に関する問い合わせ

前期科目の成績について

⇒ 2025 年 9 月上旬～下旬

後期科目の成績について

⇒ 2026 年 3 月上旬～下旬

※日程が決まれば、「OTANI UNIPA」にて連絡します。

（受付時間…窓口開室時間　受付場所…教務課）

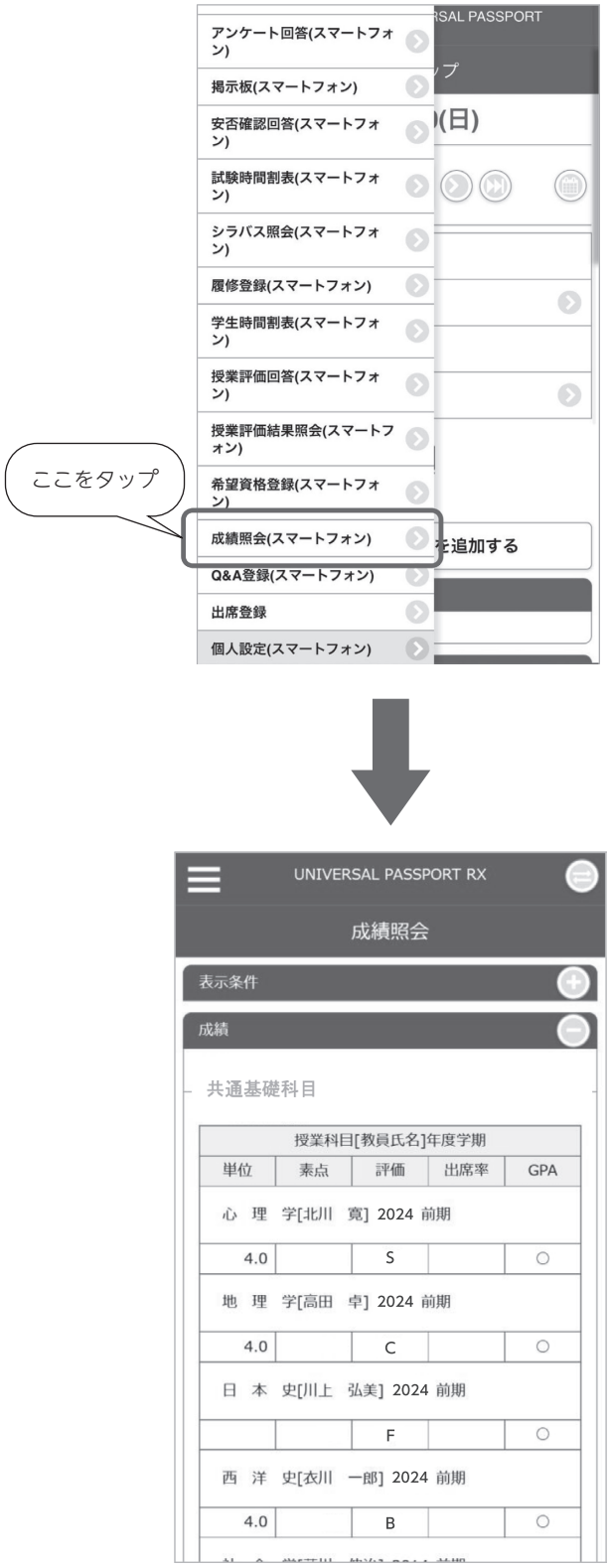
成績評価について確認したい場合、この期間に文書にて問い合わせをすることができます。その場合、提出した答案（レポート）や授業への出席日数等を含め、具体的・客観的な理由を所定の用紙に記入の上、提出することになります。

この問い合わせは成績の確認を求めるものであり、「救済措置を依頼する」「個人的事情の考慮を依頼する」という内容は、受付できません。

「成績照会」画面の見方

OTANI UNIPA　メインメニューより［成績照会］を選択します。

【1】成績照会画面



・聴講登録をした科目（不合格となった科目を含む）、及び既に修得済みの科目をそれぞれの科目区分に記載しています。
・履修中の科目は、科目名の左に「※」を表示します。

【2】単位修得状況

単位修得状況

科目分類	修得済	履修中	合計
教育	140.0	4.0	144.0
教養	50.0	0.0	50.0
一般教育	40.0	0.0	40.0
外国語	8.0	0.0	8.0
保健体育	2.0	0.0	2.0
専門	90.0	4.0	94.0
必修	26.0	0.0	26.0
選択	52.0	0.0	52.0
他学科	12.0	0.0	12.0
卒業演習	0.0	4.0	4.0
他大学	0.0	0.0	0.0
教職関連	30.0	4.0	34.0
合計	140.0	4.0	144.0

・修得した単位数を、科目区分ごとに集計しています。
・「修得済」は、修得した単位数を示しています。
・「履修中」は、現在履修している単位数を示しています。

【3】成績評価

・詳細は、前頁の「3．成績評価」を確認してください。

【4】GPA

GPA 2.85

・在学期間に取得した通算 GPA を表示しています。
・詳細は、次頁の「4．GPA」を確認してください。

4. GPA

GPA 制度（大谷大学履修規程　第 10 条）

① GPA とは

GPA は、Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略で、登録した全科目の成績の平均を数値で表し、学業結果を総合的に判断するためのものです。

②目的

GPA を利用し成績が算出されることにより、セメスターごとの学修成果と推移がより明確となり各自の履修状況の確認が容易になります。これにより、皆さんの成績に関する自己管理と綿密な履修計画並びに学習意欲の向上を期待しています。

なお、GPA は、セメスターごとに計算し OTANI UNIPA の成績照会画面に表示されます。また、学修成果を客観的に把握できるよう、全学および学科ごとの GPA 分布状況を、セメスターごとに OTANI UNIPA で公表しています。

③ GPA の計算方法

計算方法は、登録した各科目の成績（グレード：S=4、A=3、B=2、C=1、F･K=0）にその科目の単位数を乗じた数値の総和を総登録単位数で除します。小数点以下第 3 位は四捨五入。

評価		評点	グレード	判定基準
合　格	S	100 点～ 90 点	4	特に優れた成績を示したもの
	A	89 点～ 80 点	3	優れた成績を示したもの
	B	79 点～ 70 点	2	妥当と認められる成績を示したもの
	C	69 点～ 60 点	1	合格と認められる最低限の成績を示したもの
不合格	F	59 点以下	0	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの

評価不能	K	—	0	授業参加や試験について棄権・放棄をしたとみなされ、評価することができないもの

計算式

$$\frac{(S\text{の修得単位数}\times 4)+(A\text{の修得単位数}\times 3)+(B\text{の修得単位数}\times 2)+(C\text{の修得単位数}\times 1)}{\text{総履修登録単位数（F・Kを含む）}}$$

④ GPA に算入されない科目

・卒業所要に含まれない諸課程科目
・留学、単位互換等他大学で取得した科目で本学で認定された「N」評価の科目
・「S･A･B･C･F･K」以外で評価される科目

⑤履修辞退

実際に授業を受講した結果、望ましい評価が得られないと判断した科目、もしくは登録時の予想とは異なったため受講を続けたくない科目等について、前期は 5 月末、後期は 10 月末に履修辞退期間を設けています。ただし、科目を辞退して、他の科目を登録することはできません。また、必修科目でクラス指定の科目を辞退すると、進級・卒業見込がなくなる場合もあるため、注意してください。

⑥ GPA の活用

（1）履修上限単位数の基準として利用【2025 年度以降入学生適用】

所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、単位数の上限を超えて履修登録を認めます。具体的には、直前の学期の GPA が 3.1 以上の学生に限り、学期の登録単位数の上限を 30 単位として取り扱います。

（2）科目受講の成績水準として利用

所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、大学院開講科目の履修登録を認めます。具体的には、第４学年で直前の学期の GPA が 2.8 以上の学生に限り、科目担当教員が受講を許可した場合、大学院の基礎科目、専攻科目（演習、論文指導を除く）、選択科目の履修を認め、卒業単位として単位認定を行います。

※具体的な履修方法は、教務課窓口で確認してください。

（3）奨学金出願の指標として活用

奨学金出願のわかりやすい目安として示し、学習意欲の向上、出願する契機とします。

出願資格（学力基準）に通算 GPA を活用します。

（4）学修成果の客観的指標として利用　【2022 年度以降入学生適用】

学修の全体的な状況を対外的に示せるよう、成績証明書へ各科目の評価に加え、学修成果の客観的指標として通算 GPA を表示します。

（5）学生指導として利用

休学や体調不良による理由ではなく、GPA が２期連続して 1.0 未満、かつ進級・卒業見込がない学生は、指導教員との面談を義務付けています。その結果、修学状況を確認し本学での学業の継続が難しいと判断した場合は、休学や退学勧告を行います。

5.　学士・修士接続プログラム　《文学部のみ》

本プログラムは、大学院進学かつ早期に大学院修士課程の修了を希望する学生のためのプログラムです。

学部第４学年次で、大学院修士課程の履修科目の一部を先行履修し、大学院修士課程を１年間で早期修了・修士の学位取得をめざすものです。

この制度に参加を希望する学生は、第３学年次に先行履修申請をおこない、履修許可を得て、第４学年次に大学院開講の基礎科目・専攻科目を履修し、大学院（秋／春）入学試験に臨むことになります。

ただし、このプログラムに申請できるのは、文学部（真宗学科、仏教学科、哲学科、歴史学科、文学科）に限ります。

※具体的な内容・申請方法等は、教務課窓口で確認してください。

第５章　規程集

※　学位規程については、大学院の規程集を参照してください。

1. 大谷大学履修規程

（目的）

第１条　大谷大学学則（以下「学則」という。）第６章、第７章及び第８章施行のために履修規程を設ける。

（適用）

第２条　履修規程は、原則として入学時のものを適用する。

（登録）

第３条　学生の科目受講、コース、卒業研究題目及びその他の登録は、次の事項に留意し、所定の手続を行わなければならない。

(1)　当該年度に履修しようとする授業科目は、指導教員の指導を受け、所定の期間内に登録しなければならない。ただし、一旦登録した授業科目は、修正登録期間及び履修辞退期間（別に定める）後は原則として変更を認めない。

(2)　一年間に登録できる単位数の上限は、原則 48 単位とし、前期及び後期それぞれ原則 24 単位までとする。ただし、学長が特に認めたものについては、その限りではない。

(3)　コースは、第２学年進級時に各コースの教員の承認を得て、所定の期間内に登録しなければならない。ただし、教育学部教育学科は、入学時に決定しているため登録を不要とする。

(4)　卒業研究の題目は、卒業年次に指導教員の承認を得て、指定期間内に登録しなければならない。

(5)　以上の登録を完了しない場合は、受講、コース、卒業研究の提出等を認めない。

（卒業のための必要単位及び学年配当）

第４条　学則第 19 条に定める卒業所要単位については、「卒業単位配当表」（別表第１）の基準に基づき、次のとおり履修するものとする。

(1)　共通基礎科目の履修は、次のとおりとする。

ア　「総合科目」は、第１学年に「人間学Ⅰ」４単位、第２～第４学年に「人間学Ⅱ」４単位以上、計８単位以上を必修とする。

イ　「大学導入」は、第１学年に「学びの発見」２単位及び「ICT 入門」２単位を必修とする。

ウ　「必修外国語」のうち「外国語Ⅰ」は、文学部及び国際学部にあっては「英語Ⅰ」及び「初修外国語Ⅰ」を、社会学部及び教育学部にあっては「英語Ⅰ」を第１学年時必修とする。「外国語Ⅱ」は、文学部及び国際学部にあっては「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」を、社会学部及び教育学部教育学科初等教育コースにあっては「英語Ⅱ」第２学年時必修とする。「初修外国語」は「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」又は「日本語」（外国人留学生に限る。）のうち、いずれか１カ国語を選択し履修する。履修単位数は、学部ごとに次のとおりとする。

文学部
　「英語Ⅰ」４単位及び「初修外国語Ⅰ」４単位
　「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」４単位

社会学部
　「英語Ⅰ」４単位及び「初修外国語Ⅰ」０単位以上
　「英語Ⅱ」４単位及び「初修外国語Ⅱ」０単位以上

教育学部
教育学科初等教育コース
　「英語Ⅰ」４単位及び「初修外国語Ⅰ」０単位以上
　「英語Ⅱ」４単位及び「初修外国語Ⅱ」０単位以上

教育学科幼児教育コース
　「英語Ⅰ」４単位及び「初修外国語Ⅰ」０単位以上

国際学部
　「英語Ⅰ」４単位及び「初修外国語Ⅰ」４単位
　「英語Ⅱ」又は「初修外国語Ⅱ」４単位

エ　「選択外国語」
　文学部　　０単位以上
　社会学部　０単位以上
　教育学部　０単位以上
　国際学部　２又は８単位以上

(2)　学科専門科目の履修は、次のとおりとする。

ア　演習の科目は、当該学年において必修とする。

イ　その他の科目については、第１～第４学年において履修する。ただし、学年指定のある科目は当該学年において履修するものとする。

(3)　現代総合科目は、第１～第４学年において、文学部及び国際学部にあってはキャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ４単位以上、合計 12 単位以上を履修しなければならない。また、社会学部及び教育学部にあっては、キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系からそれぞれ２単位以上、合計６単位以上を履修しなければならない。

(4)　自己選択科目は、０単位以上とする。ただし、幅広い分野から履修した科目の単位を集計する領域とし、次の科目を認定することができる。

ア　他学部及び所属学部他学科の学科専門科目を履修した単位

イ　単位互換で修得した単位、入学前に修得した単位、留学先で修得した単位等

(5)　第１号から前号までにおける単位の集計については、一つの科目の単位を複数の区分に分割して集計することはできないものとする。

(6)　学年指定のある科目において、その学年に達していない学生は、これを受講できない。

（同一科目２度履修の禁止）

第５条　共通基礎科目必修外国語科目の再履修クラス、選択外国語の開講科目及び学科専門科目の「特殊講義」「特殊演習」を除き、同一科目を２度履修することはできないものとする。ただし、学長が特に認めたものは、その限りではない。

（副専攻）

第６条　学則第 19 条の２に規定する副専攻の種類、授業科目、単位数等の詳細は、「副専攻配当表」（別表第２）に定め、コア科目群及びリンク科目群に定められた単位を合計で 20 単位履修しなければならない。

2　副専攻の認定は１つに限り、認定を希望する者は第４学年進級時に指導教員の承認を得て、所定の期間内に「副専攻認定願」を提出しなければならない。

3　副専攻認定願を提出し、所定の単位を修得した者については、教授会の議を経て、学長が副専攻を認定する。

4　学長は、副専攻を認定した者に対して、卒業時に副専攻修了証明書を授与する。

（単位）

第７条　授業科目の単位数は、次の基準による。

(1)　講義及び演習は、15 時間から 30 時間までの範囲で、大谷大学（以下「本学」という。）が定める時間の授業をもって１単位とする。

(2)　外国語、実験、実習及び実技は、30 時間から 45 時間までの範囲で、本学が定める時間の授業をもって１単位とする。

(3)　一つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前２号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって１単位とする。

(4)　卒業研究は、８単位とする。

2　単位認定には、全授業時数の３分の２以上の出席及び当該科目の試験に合格することを必要とする。

3　「大谷大学留学規程」に定める「留学」が許可された者の留学期間中における所属学年の「演習」の単位認定は、指導教員による指導、学生の定期的な研究成果報告等によって行うことができる。

4　次条第３項第５号による場合、当該科目又はその期の受験科目の単位が認定されないことがある。

（試験）

第８条　学則第 27 条に定める試験は、原則として学期末に行う。

2　試験は、筆答、レポート（論文）及び口述又は実技・実習によって行う。

3　次の各号のいずれかに該当する場合には、受験資格が与えられない。

(1)　聴講登録をしていない場合

(2)　学費を指定期間内に納入していない場合

(3)　休学によって一部受講していない場合

(4)　受験に際して有効な学生証を携帯しない場合

(5)　受験中に不正な行為又は不当な行為をした場合

4　定期試験の受験の場合、原則として試験開始から 20 分経過するまで退出することを認めない。また、試験開始後 15 分までに入場した者は遅刻者として受験を許可し、それ以降は、原則として受験を認めない。

5　学生は、受験に際して「受験注意事項」を厳守しなければならない。

（追試験）

第９条　学則第 30 条に定める追試験は、各学部長が認めた限度内において実施する。

2　追試験を願い出ることができる者は、次の各号のいずれかに該当する理由により、定期試験を受けることができなかった者とする。

(1)　疾病（医師の診断書添付）

(2)　就職試験（受験証明書添付）

(3)　不慮の事故又は災害（証明書添付）

(4)　交通機関のストライキ又は延着（証明書添付）

(5)　その他正当と認められる理由

3　前項の受験希望者は、当該授業科目の試験当日より原則として１週間以内に「追試験受験願書」（証明書添付）を学生支援部教務課（以下「教務課」という。）に提出しなければならない。

4　追試験の実施時期は、その都度定める。

5　本学が指定した追試験期日に受験しなかった場合は、理由のいかんにかかわらず、再度の追試験は行わないものとする。

6　追試験の許可を得た者は、定められた期日までに１科目毎に所定の追試験料を納付しなければならない。

7　一旦納めた追試験料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

（GPA）

第 10 条　成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる。算出方法及び利用方法の詳細については、別に定める。

（卒業研究）

第 11 条　学則第 28 条に定める卒業研究は、次の要領で提出し、審査を受けなければならない。ただし、休学中の者は、提出できない。

(1)　卒業研究を提出しようとする者は、所定の期間内に指導教員の承認を得て「卒業研究題目」を登録し、指定期限までに卒業研究を提出しなければならない。

(2)　前号により登録した研究題目に変更が生じたときは、指導教員の承認を得て「卒業研究題目変更届」を指定期限までに提出しなければならない。

(3)　卒業研究の成果物に関しては、次のとおりとする。

ア　卒業論文　主論文（20,000 字程度）

イ　卒業研究　調査報告書等（20,000 字程度）

ウ　卒業制作　文芸作品、映像・音声作品、翻訳作品等及び作品解題（文学部、教育学部及び国際学部　6,000 字程度、社会学部　20,000 字程度）

(4)　卒業論文、卒業研究及び卒業制作の詳細については、別に定める。

（進級制）

第 12 条　学則第 32 条に基づく各学年の進級の基準については、別に定める「大谷大学進級規程」による。

2　「大谷大学留学規程」に定める「留学」が許可された者は、本人の責めに帰さない理由により進級の基準を充たさなかった場合、特に学長が認めたものに限り前項は適用せず、進級するものとする。

（転籍）

第 13 条　転籍に関する必要な事項は、別に定める。

（受講）

第 14 条　講義（演習、実習及び実技を含む。）は、その開講期間によって、次の４種類とする。

(1)　前期講義
(2)　後期講義
(3)　通年講義
(4)　集中講義

第 15 条　通年講義は、前期・後期継続して受講しなければならない。

第 16 条　他のコースの演習の科目を受講することは、原則として認めない。

第 17 条　共通基礎科目の必修外国語科目の受講は、次の基準による。

(1)　「英語Ⅰ」及び「初修外国語Ⅰ」の履修は、第１学年において１週あたり４時間を指定されたクラスで受講しなければならない。
(2)　「英語Ⅱ」及び「初修外国語Ⅱ」の履修は、第２学年において１週あたり４時間を指定されたクラスで受講しなければならない。
(3)　当該学年において単位が得られなかった者は、原則として次の学年に再履修クラスで受講するものとする。

第 18 条　クラス指定された授業科目は、原則として指定クラスの授業科目を受講しなければならない。

（入学前の既修得単位等の認定）

第 19 条　学則第 26 条の２に定める入学前の既修得単位並びに学則第 26 条の５に定める大学以外の教育施設等における学修の認定は、編入学、転入学又は再入学の場合を除き、本学で修得した単位（科目等履修生で修得した単位等）を含めて 40 単位を上限とし、次の基準によるものとする。

(1)　本学で修得した単位は、卒業単位配当表の科目区分の当該科目として認定する。ただし、学科専門科目への認定は、講義科目８単位を上限とし、８単位を超えたものは自己選択科目に認定する。
(2)　本学以外の大学（専門職大学を含む。以下同じ。）、短期大学（専門職短期大学を含む。以下同じ。）、高等専門学校又は専修学校の専門課程（以下「大学等」という。）で修得した単位のうち教養的科目又は専門的科目（音読・日本語訳、文法精読、リスニング、作文、対話練習・スピーチ及び原書講読）の「英語」の単位並びに大学以外の教育施設等における学修のうち語学に関する単位は、８単位まで共通基礎科目の「英語」に認定することができる。同様に「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」又は「日本語」（外国人留学生に限る。）の単位は、いずれか１カ国語について８単位まで共通基礎科目の「初修外国語」に認定することができる。それ以外の単位は、選択外国語に認定することができる。
(3)　本学以外の大学等で修得した単位のうち前号以外の単位は、現代総合科目として、文学部及び国際学部にあってはキャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系にそれぞれ４単位、合計 12 単位を認定する。また、社会学部及び教育学部にあっては、キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系にそれぞれ２単位、合計６単位を認定する。それ以外の単位は、自己選択科目に認定する。

2　認定の時期は、本学に入学した年度当初にのみ行うものとする。ただし、当該学期に休学した場合は、復学した学期当初に行う。

3　認定を希望する者は、所定の申請書類及び成績証明書を指定期限内に教務課に提出しなければならない。

（編・転入学生の入学前の既修得単位等の認定）

第 20 条　学則第 26 条の 2 に定める編・転入学生の大学等において修得した科目並びに学則第 26 条の 5 に定める大学以外の教育施設等における学修の単位認定は、本学で修得した単位（科目等履修生で修得した単位等）を含めて 60 単位を上限とし、次の基準によるものとする。

(1)　共通基礎科目

ア　「人間学Ⅰ」４単位、「人間学Ⅱ」４単位の認定は、本学当該科目を修得している場合に行うものとする。

イ　大谷大学短期大学部共通科目の「仏教と人間Ⅰ」（必修）と自由科目の「仏教と人間Ⅱ」（選択）の２科目４単位を修得している場合は、「人間学Ⅰ」４単位に充てることができる。ただし、いずれか１科目のみの単位認定は行わない。

ウ　「学びの発見」２単位及び「ICT 入門」２単位は、編・転入学生全員に認定する。

エ　必修外国語は、「英語Ⅰ」４単位、「英語Ⅱ」４単位、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」又は「日本語」（外国人留学生に限る。）のいずれか１カ国語について「初修外国語Ⅰ」４単位、「初修外国語Ⅱ」４単位まで認定することができる。

オ　エにおける単位の認定は、教養的科目に該当する科目の修得単位数に応じて認定する。また、専門的科目（音読・日本語訳、文法精読、リスニング、作文、対話練習・スピーチ及び原書講読）の単位をもってこれに充てることができる。

カ　選択外国語は、エの必修外国語で認定された科目を除き、教養的科目又は専門的科目（音読・日本語訳、文法精読、リスニング、作文、対話練習・スピーチ及び原書講読）の単位をもって認定することができる。

(2)　学科専門科目は、「演習Ⅰ」４単位を認定する。ただし、教育学部教育学科にあっては、これらに加え「概論」、「講義」、「実践研究」の各区分を合わせて 40 単位を上限として認定する。認定については、大学等において履修した科目が、教育学部教育学科の学科専門科目として相応しい内容を持つもののみとし、現代総合科目及び自己選択科目と合わせて 40 単位を超えないものとする。

(3)　現代総合科目は、文学部及び国際学部にあってはキャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系にそれぞれ４単位、合計 12 単位を認定する。また、社会学部及び教育学部にあっては、キャリア形成系、自然生命系及び歴史文化系にそれぞれ２単位、合計６単位を認定する。

(4)　自己選択科目は、前３号以外の単位を認定する。

(5)　第１号から前号までの認定可能な単位が 60 単位を超える場合は、自己選択科目の認定単位数から削減し、調整するものとする。

2　認定の時期は、本学に入学した年度当初にのみ行うものとする。ただし、当該学期に休学した場合は、復学した学期当初に行う。

3　修得単位の認定を希望する者は、所定の申請書類及び成績証明書を指定期限内に教務課に提出しなければならない。

（再入学者の入学前の既修得単位の認定）

第 21 条　学則第 26 条の 2 に定める再入学者の入学前の既修得単位の認定のうち、退学から再入学までの期間中に大学等で修得した単位並びに学則第 26 条の 5 に定める大学以外の教育施設等における学修がある場合は、本学で修得した単位（科目等履修生で修得した単位等）を含めて 40 単位を上限とし、第 19 条を準用して認定することができる。

2　前項の認定は、第 19 条により認定された単位がある場合でも、合わせて 40 単位を超えないものとする。

（編・転入学生の履修すべき科目・単位）

第 22 条　編・転入学を許可された者の卒業のための最低履修科目及び単位は、第４条に定めるところによる。ただし、第 20 条に定めるところによって単位認定された科目を除く。

2　編・転入学生の履修すべき科目のうち、次の科目については、第３学年に同時履修するものとする。
(1)　共通基礎科目の「人間学Ⅰ」
(2)　共通基礎科目の「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」「初修外国語Ⅰ」「初修外国語Ⅱ」
(3)　学科専門科目の「演習Ⅱ」

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）

第 23 条　学則第 26 条の３に定める他の大学又は短期大学において修得した単位並びに学則第 26 条の５に定める大学以外の教育施設等における学修は、第 19 条又は第 21 条で認定した入学前の既修得単位と合わせて 40 単位を超えない範囲で、必修外国語、選択外国語、学科専門科目、現代総合科目又は自己選択科目に認定するものとする。

2　前項の単位を学科専門科目に認定する場合は、「単位互換制度」で指定された科目に限り、講義科目８単位を上限とする。

3　認定は、当該学期に修得した単位をその学期末に行うものとする。ただし、次の場合は例外とする。
(1)　認定の学期の単位認定申請期限内に、成績証明書が発行されなかった場合は、次の学期の当初に認定する。
(2)　前号で認定する学期に休学した場合は、復学した学期当初に認定する。

4　認定を希望する者は、所定の申請書類及び成績証明書を指定期限内に教務課に提出しなければならない。

（外国の大学又は外国の短期大学における単位の修得）

第 24 条　外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）又は外国の短期大学（専門職短期大学に相当する外国の短期大学を含む。）で単位を修得した場合は、第 19 条から第 21 条及び前条の規定を準用する。

（以下省略）

2. 大谷大学進級規程

（趣旨）

第１条　この規程は、大谷大学履修規程第 12 条に基づき、進級の基準及びその判定に関する必要事項を定めるものとする。

（進級の判定を行う学年及び時期）

第２条　進級判定は、次の進級時に行う。

（1）　第１学年から第２学年

（2）　第２学年から第３学年

（3）　第３学年から第４学年

２　前項の判定は、学年度末に教授会において行う。

（第１学年から第２学年への進級基準）

第３条　第２学年へ進級するための基準は、次のとおりとする。

（1）　第１学年において１年以上在学し、次の科目のうちから８単位以上修得し、かつ卒業所要単位合計 18 単位以上を修得した者は、第２学年への進級を認める。

人間学Ⅰ
学びの発見
ICT 入門
英語Ⅰ
初修外国語Ⅰ
演習Ⅰ

（2）進級基準を充たさない者は、原級留置とし、進級を認めない。

（第２学年から第３学年への進級基準）

第４条　第３学年へ進級するための基準は、次のとおりとする。

（1）　第２学年において１年以上在学し、次の科目及び単位数を充たし、かつ卒業所要単位合計 48 単位以上修得した者は、第３学年への進級を認める。

ア　「学びの発見」２単位及び「演習Ⅰ」４単位

イ　次の科目から８単位以上

人間学Ⅰ
英語Ⅰ
初修外国語Ⅰ
英語Ⅱ又は初修外国語Ⅱ

（2）　進級基準を充たさない者は、原級留置とし、進級を認めない。

（第３学年から第４学年への進級基準）

第５条　第４学年へ進級するための基準は、次のとおりとする。

（1）　第３学年において１年以上在学し、「演習Ⅱ」４単位を充たし、かつ卒業所要単位合計 80 単位以上修得した者は、第４学年への進級を認める。ただし、編入学生については、第３学年において１年以上在学し、次の科目のうちから 10 単位以上修得し、かつ卒業所要単位合計 80 単位以上を修得した者に、第４学年への進級を認める。

人間学Ⅰ
人間学Ⅱ
英語Ⅰ
初修外国語Ⅰ
演習Ⅱ

（2）　進級基準を充たさない者は、原級留置とし、進級を認めない。

（以下省略）

学　　部

Ⅱ．資格の取得

1.　教職課程
2.　保育士養成課程
3.　大谷保育協会保育心理士課程
4.　学校図書館司書教諭課程
5.　博物館学課程
6.　図書館学課程
7.　真宗大谷派教師課程
8.　社会教育課程【社会教育主事任用資格】
9.　社会福祉士国家試験受験資格課程
10.　社会福祉主事【任用資格】
11.　開講科目表

1．教職課程

目　　次

［１］教育職員免許状の種類・教科及び所要資格…… 180
［２］留意事項…… 180
［３］履修すべき科目・単位について…… 181
［４］介護等体験…… 184
［５］教育実習…… 186
［６］教職課程スケジュール・留意事項…… 190
［７］教育実習費（登録料）…… 193
［８］教育実習参加のための基礎資格…… 194
［９］所要科目・単位一覧…… 198
［10］学びのサポート…… 216
［11］学校ボランティア…… 216
［12］教育職員免許状申請の説明会について…… 217
［13］編入生等の教職課程履修について…… 217
［14］大学院生の教職課程履修（一種免許状取得）について…… 218
［15］科目等履修生の履修について…… 218
［16］法改正に伴う科目の読み替えについて…… 218

1. 教職課程

子どもを理解し、子どもの心に向き合える教員の養成

「教壇に立つ教師として、教育とは『人間を人間にまで育てていく大事な仕事』であるという意識を持ち、そして教師は児童、生徒の『一生を動かすような力を持つ』存在であることを自覚することが重要であり、その意識を持ち続け、なおかつ自分に問い続ける存在であり続けることが必要です。」

（『広小路亨先生講演・随想集』より）

本学教職課程では、人間性豊かな（人間味あふれる）教員を目標に、以下指針に基づき、学生個々人が目指す教師像に向かって精進することができる教員を養成します。

＜大谷大学教員養成課程の指針＞

・「先生になりたい」という意欲を高め、学び続ける態度を育成する。
・専門的な知識を身に付け、確かな指導力の基礎を培う。
・子どもの心に寄り添い、教職員が共に汗して頑張り抜くことのできる態度を育成する。
・いかなる状況においても、子どもを重視した的確な判断と対応ができる能力を育成する。
・子どもを取り巻く人々と協力し、豊かなコミュニケーションができる能力を育成する。

「教職課程」は、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定められた「教育職員免許状」を取得するために開設しています。

教員を目指すには、この「教育職員免許状」を取得する必要があります。

教員とは、一人の人間の人生に関わり、成長に影響を与えるというたいへん重要な仕事です。そのため、常に自らを高めることを目的とし、知識や技能を練磨し続けることが求められます。

みなさんもご存知のとおり、新規の教員採用は非常に少なく、質の高さを要求される厳しい現実があります。

「教職とは何か？」「なぜ、自分は教職に就きたいのか？」「教員に求められる資質や能力とは何か？」「教員を目指す自分に必要なものは何か？」等々、教職課程を履修していく上で、常に自らに問いかけてください。

教員を志す者として、日々の授業や各種説明会への無断欠席や遅刻、事務手続き等の遅延は決して許されることではありません。 教壇に立つ者としてあるまじき姿だからです。「取れるものなら免許は取っておこう」といった安易な気持ちでは、教員になることはおろか、教育実習の現場に立つことすらできません。

＜大谷大学教職課程の心得＞

1．教育に対する情熱と使命感を持つ
2．専門職としての教員であるという自覚を持つ
3．教員としての社会的常識を身につける
4．教員採用試験を受験する

以上のことを、必要不可欠な心構えとして履修を進めてください。

［1］教育職員免許状の種類・教科及び所要資格

本学で取得できる教員免許状の種類と免許教科、所要資格は下記のとおりです。

● 2025 年度以降入学生　　（2019 年改正　教育職員免許法別表第 1）

	学科	免許状の種類※2	免許教科	基礎資格	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目
文学部	真宗学科	中学校教諭一種免許状	宗教★	学士の学位を有すること	28	10	10	7	4
		高等学校教諭一種免許状	宗教		24	10	8	5	12
	哲学科	高等学校教諭一種免許状	公民		24	10	8	5	12
	歴史学科	中学校教諭一種免許状	社会★		28	10	10	7	4
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史		24	10	8	5	12
	文学科	中学校教諭一種免許状	国語★		28	10	10	7	4
		高等学校教諭一種免許状	国語		24	10	8	5	12
国際学部	国際文化学科	中学校教諭一種免許状	英語★		28	10	10	7	4
		高等学校教諭一種免許状	英語		24	10	8	5	12
教育学部	教育学科 初等教育コース	中学校教諭一種免許状	数学★		28	10	10	7	4
		高等学校教諭一種免許状	数学★		24	10	8	5	12
		小学校教諭一種免許状			30	10	10	7	2
	教育学科 幼児教育コース	幼稚園教諭一種免許状			16※1	10	4	7	14

※1　幼稚園教諭一種免許状の法定区分名は「領域及び保育内容の指導法に関する科目」

※2　★の校種・教科については、副免として二種免許状の取得も可能（小学校は初等教育コースのみ）。

［2］留意事項

（1）教育職員免許状について

① 教員免許状は、都道府県の教育委員会が授与します。成績証明書等のように大学が発行するものではありません。

② 教員免許状はすべての都道府県で有効です。

③ 中学校、高等学校とも宗教科の教員免許状は国立、公立の学校では効力を持ちません。

（2）取得できる免許状について

① 原則、所属する学科・コースに開設されている免許状、免許教科を取得してください。

② 所属学科・コース以外で開設されている免許状、免許教科を取得する場合は、専門外の相当な学習が要求され、最短修業年限内取得が不可能な場合があります。必ず教職支援センターへ相談してください。

③ 既に教員免許を取得している場合は、必ず教職支援センターへ相談の上履修してください。

④ 主免となる一種免許状を取得することを条件に、副免として二種免許状の取得を目指すことが出来ます。詳細は教職支援センターへ相談してください。

（3）教職課程履修に際して

① 教員免許状取得には、基礎資格として学士の学位を有することが要求されます。教員免許状取得のための単位は揃ったものの、卒業できなかったという場合には、学士の学位を有するまで免許状は発行されません。

② ４年間で免許が取得できるように、登録できる科目は早めに登録、履修してください。教職課程独自開講科目は、卒業単位ではありませんが単位数制限に含まれます。よって、第１学年よりスタートを切らないと４年間で免許取得ができない可能性もあります。なお、原則として授業に出ることが通常であるため、その上で評価されます。
教職課程を履修する学生は、オリエンテーション期間中の聴講登録期間に必ず全科目登録し、１回目の授業から出席してください。

③ 教職課程履修中に一度単位を修得した科目を、再度履修することは認められていません。

④ 登録は各自の責任で行い、履修状況は必要単位を全て修得するまで各自で管理してください。教務課・教職支援センターでは、一切責任を持ちません。

⑤ 中等科とは、中学校ならびに高等学校をさします。初等科とは、幼稚園ならびに小学校のことをさします。

⑥ 初等科免許状取得希望者は、第１学年時に指定されたクラスの授業を登録・履修してください。

⑦ 変更事項等を含め、必要事項は４号館掲示板または「OTANI UNIPA」にて連絡します。各自で必ず確認してください。

⑧ 掲示板または「OTANI UNIPA」の確認ミス等で提出物が出せなかったり、所定の窓口へ来課しなかった場合、また、説明会や事前指導等の遅刻者ならびに欠席者は、原則該当年度の実習等に行くことができませんのでご留意ください。欠席事由証明書が発行される事由により、欠席もしくは遅刻する場合は、事前に教職支援センターに申し出てください。

⑨ 編入生、大学院生、科目等履修生の履修については、後記の［13］～［16］も確認してください。

［3］履修すべき科目・単位について

（1）本学で免許を取得するためには

教員免許状の取得にあたっては、教育職員免許法ならびに同施行規則に定められた科目区分とそれぞれの「最低修得単位数」と「基礎資格」が必要となります。免許法上の単位数は［1］教育職員免許状の種類・教科及び所要資格、大学が定める単位数については、［9］所要科目・単位一覧を確認してください。「基礎資格」は各自が所属する学科において、卒業に必要な単位を修得し、学士の学位を取得することです。

2019 年度改正法

「基礎資格」、「教育職員免許法施行規則第６６条の６に定める科目」、「教科及び教科の指導法に関する科目（幼稚園では「領域及び保育内容の指導法に関する科目」）」、「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「介護等体験」（小学校・中学校免許のみ）

（2）「教育職員免許法施行規則第 66 条の６」に定める科目の留意事項

『体育実技』について

１年間に登録・履修できる単位は、１科目１単位を上限とします。

※『体育実技』は卒業単位に含まれません（登録単位数制限には含まれます）。

※前期開講の『体育実技』を履修し、不合格となった場合、再履修は翌年度となります。

（3）「教育の基礎的理解に関する科目」～「教育実践に関する科目」の留意事項

※教育学部教育学科開設の、幼稚園・小学校・中学校・高等学校教員免許取得のための「教育の基礎的理解に関する科目」～「教育実践に関する科目」は卒業単位に含まれます。

① ひとつの科目が、他教科の教員免許や諸課程で必要とされていれば、以下のように、いずれの単位にも使えます。

（例）中等科の『教育原論（中・高）』（２単位）
- ①教職課程　中学校宗教（２単位）
- ②教職課程　高等学校公民（２単位）
- ③社会教育課程（２単位）

② 教職科目の学年配当について

教員免許取得に係る諸科目の学年配当は、文部科学省への申請の際、取得すべき学年として設定しております。ただし、各学科・コースの必修科目との都合から、必ずしもその学年に履修できるとは限りませんので、その場合、次年度以降に履修するよう心掛けてください。ただし、教育実習参加要件（［８］で詳述）を満たすために、必要単位が修得できるよう計画的に履修してください。

③ 中等科の「各教科教育法」の履修について

教科教育法Ⅰは、各教科指導の基礎的な事項を学びます。教育法Ⅱ以降で実践的な指導法を学びます。

宗教・国語・英語・数学の場合

教科教育法Ⅰ→教科教育法Ⅱ→教科教育法Ⅲ
教科教育法Ⅱ→教科教育法Ⅳ

社会系列の場合

中社・公民科教育法Ⅰ→中社・公民科教育法Ⅱ
中社・地歴科教育法Ⅰ→中社・地歴科教育法Ⅱ

上記の通り、各教科教育法Ⅰ→Ⅱの順に履修が必要となります。特に宗教・国語・英語・数学の場合、第２学年で教育法Ⅰの履修・修得ができなければ、第３学年での教育法Ⅱの履修ができないため、第４学年での教育実習が不可となりますので、注意してください。

④ 『教育実習』の履修について

『教育実習』は、どの教員免許状取得においても必須です。事前指導や説明会等は第１学年時から行われ、実習参加にあたっては実習参加前年度までに「教育実習参加基礎資格」の科目修得を含む所定要件の充足が必要です。「［８］教育実習参加のための基礎資格」を熟読し、単位の履修状況やその他の要件等を確認してください。すなわち教育実習の受講登録だけでは実習に参加することはできません。

【実習学年】

文学部・教育学部・国際学部（中等科）＝第４学年
教育学部教育学科初等教育コース（小学校）＝第３学年
教育学部教育学科幼児教育コース（幼稚園）＝第３学年・第４学年

※教育実習においては、実習前年度・実習年度に「教育実習指導」の聴講登録が必要になります。詳細は各説明会にて伝えます。

⑤ 『教職実践演習』の履修について

この科目は『教育実習』に参加の学生のみ登録することができます。

所属	取得希望校種	実習区分	実践演習区分
文学部 教育学部 国際学部	中学校一種 高等学校一種	教育実習（中・高）	教職実践演習（中・高）
教育学部	小学校一種	教育実習（小）	教職実践演習（小）
	幼稚園一種	教育実習（幼）	教職実践演習（幼）

教職実践演習の受講には、「履修カルテ」の作成が必要となります。「履修カルテ」は原則入学年度ごとに記入説明会を実施しますので、第１学年次から「履修カルテ作成・登録説明会」に参加してください。

（4）「教科に関する専門的事項」の留意事項

① ひとつの科目が、卒業所要以外にも他の教員免許や諸課程で必要とされていれば、以下のように、いずれの単位にも使えます。

（例）哲学科開講科目の『哲学概論』（２単位）
- 卒業単位（２単位）
- 教職課程　中学校宗教（２単位）
- 教職課程　高等学校公民（２単位）
- 大谷派教師課程（２単位）

（5）中等科「大学が独自に設定する科目」の留意事項

① 「大学が独自に設定する科目」中「教職に関する科目に準ずる科目」は、免許法上必修ではありませんが、本学が独自に開講する科目です。

② 「教育の基礎的理解に関する科目」はそのほとんどが必修ですが、必要以上に修得した科目があれば「大学が独自に設定する科目」となります。ただし、同一名称の科目は、該当しません。

（例）○ → 『教育心理学』と『青年心理学』の両方の科目の単位を修得すれば、いずれか１科目が「大学が独自に設定する科目」となります。

③ 『教育実習』の中学校５単位分から高等学校３単位分を差し引いて、高等学校用の「大学が独自に設定する科目」に用いることはできません。すなわち、１科目の単位を分けることはできません。

（6）その他

① 中等科（中学校・高等学校）の教員免許状取得希望者は「教育の基礎的理解に関する科目」等の科目名称に『(中・高)』『(中等)』と付いている科目を登録・履修してください（教育学部教育学科初等教育コースについては、②を参照のこと）。

② 教育学部教育学科初等教育コースで中等科（中学校・高等学校）および初等科（小学校）の教育免許状取得希望者は、「教育の基礎的理解に関する科目」等の科目名称に何も校種の記載の付いていない科目を登録・履修してください。（ただし、「教育実践に関する科目」については、「(中・高)」や「(小)」と付いている科目を登録・履修してください。）

③ 初等科（幼稚園）の教員免許状取得希望者は「教育の基礎的理解に関する科目」等の科目名称に『(初等)』『(幼)』と付いている科目を登録・履修してください。

④ 取得を希望する教員免許状は、第１学年から「OTANI UNIPA」の「希望資格登録」画面から登録が必要です。登録の方法等については、新入生向けの教職課程ガイダンスや、在学生向けの教職課程説明会にて説明します。この登録がない場合、教員免許状が取得できませんので、ご注意ください。また、実習に参加する校種や教科によって、実習参加資格の登録も必要となります。登録の時期については、別途説明しますので、説明を受けてから登録してください。
（実習参加見込は実習前年度、免許状取得見込は第４学年次に判定されます。）

⑤ 基礎となる一種免許状に加え、他校種・教科の二種免許状の取得を希望する場合、二種免許状の所要科目・単位等は個別、教職支援センターに確認してください。

［4］介護等体験

小学校･中学校教諭免許状の取得を希望する場合には､教育職員免許法に定められた単位修得のほか､｢小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（介護等体験特例法)｣に定められた「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（以下、「介護等体験」という)」を７日以上行った証明が必要となります。

「介護等体験」は小学校・中学校教諭免許状取得のために必須ですが、教職に就く明確な強い意志がないと、「介護等体験」受入施設・学校の現場から拒否されることもあります。

なお、介護に関する専門的知識、技術に関する資格を有する者や、身体の障害により体験を行うことが困難とされる者、また小学校・中学校の免許を既に持っている者等法律で定められた者については「介護等体験」が免除されます。

（1）対象者と受講学年

小学校・中学校教員免許取得希望者が対象です。

「介護等体験」は、本学では第３学年で受講します（教育学部教育学科初等教育コースのみ第２学年)。

第４学年では、卒業論文作成や、教育実習に専念するために、第３学年までの受講を原則とします。

> 介護等体験は、教育実習参加基礎資格には含まれませんが、教育実習を有意義なものにするためにも教育実習参加までに受講済であることが望まれます。介護等体験も教育実習もそれぞれ事前準備にかなり多くの時間を要しますので、同時履修することはたいへん困難です。そのため、教育実習へ専念できないことから生じる教育実習への影響を考慮し、**第４学年での介護等体験受講は原則認めません。**
>
> 中等科の教員採用においては、中学校と高等学校の両方の教員免許を持っている方が有利です。早いうちから将来のことを考え、第３学年までに介護等体験の受講ができるように意思決定をしてください。

（2）体験期間や体験場所等について

体験は各自の出身都道府県にて、７日間行います。

内訳・特別支援学校（盲学校・聾学校・養護学校）…連続する２日間

　　・社会福祉施設　　…連続する５日間

受入学校や受入施設の決定・体験実施期間は、各都道府県の教育委員会や社会福祉協議会等の受入調整窓口機関に全て委ねられます。みなさんが体験先や体験期間を自由に設定することはできません。

（3）費用

次の費用がかかります。金額や内容の詳細は説明会にて伝えます。

①介護等体験費　12,000 円（介護等体験登録料を含む）〈2024 年度実績〉

②交通費、食事代、各種証明書発行手数料、麻疹確認費等

全て実費が必要です。出身都道府県への帰省にかかる交通費や、介護等体験証明書を体験先で発行してもらうのにかかる手数料、健康診断証明書や検便・麻疹等の検査が必要な場合にかかる手数料も必要となります。

（4）申込手続きについて

『介護等体験』受講のためには、体験前年度の９月～10月（予定）に行われる「介護等体験説明会」に参加した上で、大学に所定の申込手続きをしなければなりません。介護等体験に必要な事項は全てこの説明会にて伝えますので、必ず参加してください。

また、この申し込み後、各都道府県の教育委員会・社会福祉協議会等への個別申込みの呼び出しを順次行いますので、掲示板または「OTANI UNIPA」を確認してください。

体験年度の前期に聴講登録しただけでは、介護等体験は行えません。説明会に全て参加し、事前指導に全て出席した上で、レポート等を提出する必要があります。

（5）介護等体験の認定について

介護等体験は、単位は与えられませんが大学が認定をします。必要とされる事務手続きや事前・事後指導の全出席、７日間の現場体験等の要件を全て充足しなければなりません。要件の充足に加えて大学が総合的に評価をし、認定を行います。

介護等体験 ＝ 聴講登録 ＋ 全事前指導受講 ＋ 介護等体験証明書（７日分）の提出 ＋ 必要書類の提出 ＋ 全事後指導受講 ＋ 大学の総合的評価

（6）『介護等体験』受講に関する主な手続きの流れ

※説明会、事前事後指導の日程等、内容に変更が生じた場合は４号館介護等体験掲示板で連絡します。

体験前年度		
9月～10月	『介護等体験』受講説明会	説明会の日程等詳細については掲示板で連絡します。説明会では、介護等体験の事務手続きについての詳細な説明と必要な書類等の配布を行います。
11月	申込書類等提出	費用を納入の上、指定期日に教職支援センターへ必要書類を提出してください。書類が提出されない場合には、『介護等体験』受講の意思がないものとみなします。

体験年度		
3月～4月	健康診断	オリエンテーション期間中の健康診断を必ず受診しておいてください。
	聴講登録期間中	他の授業科目等と同様に、『介護等体験』を聴講登録してください。
	事前指導開始	日程等詳細については掲示で連絡します。全日程受講してください。
体験開始		受入学校や施設が決定次第、掲示板または「OTANI UNIPA」にて連絡しますので、掲示板をよく確認してください。原則個別の呼び出しは行いません。 体験終了後、介護等体験の証明書（７日分）と必要書類を教職支援センターに提出してください。
事後指導		日程等詳細については掲示板で連絡します。

（7）服装について

本学では、介護等体験受入先施設・学校へ赴く服装で事前・事後指導を受講することを義務付けています。

事前・事後指導（マナー講習含む）…スーツ着用（頭髪･身だしなみ注意）

介 護 等 体 験…スーツ着用（頭髪･身だしなみ注意）※ただし、体験先により異なる場合があります。

［5］教育実習

「教育実践に関する科目」の一つとして『教育実習』を履修しなければなりません。これまでにおいて得た知識や技能を、教育の現場において、教員として必要な職務全般にわたり錬磨することを主たる目的とするものです。したがって、教職課程履修の集大成として、これまで以上に教職に対する理解を深め、実力をつけ、教育者としての情熱をもって実習に臨むことが要求されます。

以上のことから、実習参加のためには基礎資格の充足が必要になります。基礎資格についての詳細は、「［8］教育実習参加のための基礎資格」を熟読してください。

（1）対象者と受講学年

教員免許取得希望者のうち、「教育実習参加基礎資格」を充足した者のみが対象です。

『教育実習』は原則、幼稚園は第３学年と第４学年、小学校は第３学年、中学校・高等学校は、第４学年で受講します。

（2）実習期間や実習校について

実習は原則連帯保証人等の住所から通学可能な学校にて、免許に必要な実習期間で行います。

小学校・中学校・高等学校の実習校については、一次登録説明会等で説明します。

ただし、教育学部教育学科幼児教育コースは、原則すべて大学が斡旋します。詳細は各説明会で伝えます。

実習期間は実習校に全て委ねられます。（みなさんが実習期間を自由に設定することはできません。）

（3）費用

次の費用がかかります。金額や内容の詳細については説明会にて伝えます。

① 教育実習費（教育実習登録料を含む）「［7］教育実習費（登録料）」参照
免許種・実習期間により所定の金額を徴収します。

② 交通費、食事代、各種証明書発行手数料、麻疹確認費、その他実習に係る費用等
全て実費が必要です。帰省や実家から実習校への通学にかかる交通費、その他教育実習において遠足引率や各種行事参加が課される場合には、それぞれ参加に係る費用等が必要となります。

（4）申込手続きについて

『教育実習』受講のためには、初等科は、第１学年の「教育実習希望者登録説明会」に参加し、中等科は、第１学年より各説明会・事前指導に全て参加した上で、大学に所定の申込手続きを毎年行わなければなりません。教育実習に必要な事項は全て上記説明会にて伝えますので、必ず参加してください。

実習年度の前期に聴講登録しただけでは、教育実習は行えません。

（5）教育実習の単位について

① 中学校・高等学校

『教育実習』は通年単位であり、中学校では５単位、高等学校の場合は３単位が必要です。

ただし、高等学校は実習校における実習期間により３単位もしくは５単位となります。いずれの場合にも、５単位履修すれば、中学校と高等学校両方の教育実習の単位として充てることができます。

また、『教育実習』を受講するためには『教育実習指導』を履修中であることが必要です。『教育実習指導』では、実習前年度から事前指導を開始し、実習参加年度まで継続して事前指導を行います。また、教育実習終了後には事後指導を実施します。

必要とされる事務手続きや事前・事後指導の全出席、実習校での現場実習、その他必要事項等の要件に、実習校からの成績評価と大学の評価（教育実習簿と事後レポートの点数）を加えて総合的に判断し、成績評価を行います。

教育実習 ＝ 聴講登録 ＋ 全事前指導受講 ＋ 現場実習 ＋ 必要書類の期限内提出 ＋ 全事後指導受講 ＋ 実習校評価 ＋ 大学の評価（教育実習簿･事後レポート点数）

② 幼稚園・小学校

『教育実習』を受講するためには、『教育実習指導』を履修中であることが必要です。幼稚園・小学校の教育実習は第３学年次から行います。詳しい説明は、説明会等で行います。

（6）『教育実習』受講に関する主な手続の流れ

※説明会、事前事後指導の日程や内容等の詳細や変更等は４号館掲示板・実習支援センター内の掲示板等で連絡します。

※各種説明会、事前事後指導の欠席・遅刻は認めません。必ず参加してください。

①中等科

第１学年		
前期	履修カルテ説明会 予備登録説明会	履修カルテについての説明と記入・提出を行います。 夏休み中の課題発表と教職課程についての説明を行います。
後期	履修カルテ説明会	履修カルテの記入・提出を行います。

第２学年		
前期	履修カルテ説明会	履修カルテの記入・提出を行います（実習校種等の仮決定）。
後期	履修カルテ説明会 第１次登録説明会	担当教員による指導と教育実習の事務手続き（登録料・内諾交渉等）説明会を開催します。必要提出書類もこの説明会で配付します。
～３月	第１次登録書類提出 第１次教育実習事前指導	指定期日に必要書類を提出してください。 期日までに書類提出がない場合には、 登録ができないため、 教育実習は行えません。

第３学年		
３月	第２次登録説明会 第２次登録書類提出	第２次登録を行います。
４月	内諾交渉開始	実習希望校へそれぞれが内諾交渉に行ってもらいます。 内諾書類の提出締切は９月末日です。
５月～	第２次教育実習事前指導	３月末までの間に、事前指導を数回行います。 欠席した場合は、教育実習に参加できませんので必ず全て参加してください。
３月	『教育実習』受講許可者発表	掲示板にて発表しますので必ず確認してください。 不合格となった者についても実習校に対しての手続き等が必要ですので、必ず確認してください。
	第３次登録説明会 第３次登録書類提出	第２次登録済者が参加できます。 次年度教育実習参加予定者は必ず出席してください。 教育実習参加予定者は、決められた日に登録書類を必ず提出してください。

第４学年		
４月	健康診断	オリエンテーション期間中の健康診断を必ず受診しておくこと。
	聴講登録	他の授業科目と同様に、『教育実習』（集中後期）、『教育相談』、『教職実践演習』を登録すること。
	第３次教育実習事前指導	オリエンテーションから５月にかけて、事前指導を行います。 全日程受講してください。
５月～	教育実習開始	それぞれ実習校で決められた日程で教育実習に行きます。 実習終了後、所定のレポートと教育実習簿を教職支援センターへ必ず提出してください。
９月以降	教育実習事後指導	実習科目ごとに分かれて、事後指導を受講してください。 日程や班等は掲示板にて発表します。

②初等科（小学校）

第１学年		
前期	履修カルテ説明会 予備登録説明会	履修カルテについての説明と記入・提出を行います。 夏休み中の課題発表と教職課程についての説明を行います。
後期	履修カルテ説明会 第１次登録説明会	履修カルテの記入・提出を行います。 担当教員による指導と教育実習の事務手続き（登録料・内諾交渉等）説明会を開催します。必要提出書類もこの説明会で配付します。
～３月	第１次登録書類提出 第１次教育実習事前指導	指定期日に必要書類を提出してください。 期日までに書類提出がない場合には、登録ができないため、教育実習は行えません。

第２学年		
３月	第２次登録説明会 第２次登録書類提出	第２次登録を行います。
４月	内諾交渉開始	実習希望校へそれぞれが内諾交渉を行ってもらいます。 内諾書類の提出締切は９月末日です。
５月～	第２次教育実習事前指導	３月末までの間に、事前指導を数回行います。 欠席した場合は、教育実習に参加できませんので必ず全て参加してください。
３月	『教育実習』受講許可者発表	掲示板にて発表しますので、必ず確認してください。 不合格となった者についても実習校に対しての手続き等が必要ですので、必ず確認してください。
	第３次登録説明会 第３次登録書類提出	第２次登録済者が参加できます。 次年度教育実習参加予定者は必ず出席してください。 教育実習参加予定者は、決められた日に登録書類を必ず提出してください。

第３学年		
４月	健康診断	オリエンテーション期間中の健康診断を必ず受診しておくこと。
	聴講登録	他の授業科目と同様に、『教育実習』、『教育相談』を登録すること。
	第３次教育実習事前指導	オリエンテーションから７月にかけて、事前指導を行います。 全日程受講してください。
８月～	教育実習開始	それぞれ実習校で決められた日程で教育実習に行きます。 実習終了後、所定のレポートと教育実習簿を教職支援センターへ必ず提出してください。
12月以降	教育実習事後指導	教育実習参加者は、必ず事後指導を受講してください。 日程や班等は掲示板にて発表します。

第４学年		
前期	履修カルテ説明会 聴講登録	教員免許取得に必要な『教職実践演習』を必ず登録すること。
後期	教職実践演習受講	第４学年前期までの全ての履修カルテ説明会に出席し、履修カルテを記入・提出していなければ、受講できません。

③初等科（幼稚園）

第１学年		
後期	履修カルテ説明会	履修カルテについての説明と記入・提出を行います。

第２学年		
３月～４月	健康診断	オリエンテーション期間中の健康診断を必ず受診しておくこと。
	履修カルテ説明会 『教育実習』１次登録書類提出	履修カルテの記入・提出を行います。教育実習の事務手続き（登録料）に関して説明を行うため、次年度教育実習参加予定者は、必ず出席してください。指定期日に必要書類を提出してください。
後期	履修カルテ説明会	履修カルテの記入・提出を行います。
３月	『教育実習』受講許可者発表	OTANI UNIPA の掲示板にて発表しますので、必ず確認してください。

第３学年		
３月～４月	健康診断	オリエンテーション期間中の健康診断を必ず受診しておくこと。
	履修カルテ説明会	履修カルテの記入・提出を行います。
	聴講登録	他の授業科目と同様に、『教育実習』、『教育実習指導』を登録すること。
６月	教育実習（前期）説明会 『教育実習』２次登録書類提出	教育実習参加者は、必ず出席してください。 指定期日に必要書類を提出してください。
７月	教育実習（前期）配当発表	OTANI UNIPA の掲示板にて発表しますので、必ず確認してください。
９月	教育実習（前期）事前訪問	実習園でのオリエンテーションを実施します。
	履修カルテ説明会	履修カルテの記入・提出を行います。
10 月	教育実習（前期）	それぞれ実習園で決められた日程で教育実習に行きます。

第４学年		
３月～４月	健康診断	オリエンテーション期間中の健康診断を必ず受診しておくこと。
	履修カルテ説明会	履修カルテの記入・提出を行います。
	教育実習（後期）説明会	教育実習参加者は、必ず出席してください。 指定期日に必要書類を提出してください。
	聴講登録	教員免許取得に必要な『教職実践演習』を必ず登録すること。
４月	教育実習（後期）配当発表	OTANI UNIPA の掲示板にて発表しますので、必ず確認してください。
５月	教育実習（後期）事前訪問	実習園でのオリエンテーションを実施します。
６月	教育実習（後期）	それぞれ実習園で決められた日程で教育実習に行きます。
後期	教職実践演習受講	第４学年前期までの全ての履修カルテ説明会に出席し、履修カルテを記入・提出していなければ、受講できません。

（7）服装について

本学では、実習先へ赴く服装で事前・事後指導を受講することを義務付けています。

実 習 先 訪 問
事前・事後指導（マナー講習含む）
教　育　実　習
} スーツ着用（頭髪・身だしなみ注意）

［6］教職課程スケジュール・留意事項

教職課程における説明会等の日程は下記の通りです。日程等詳細は４号館掲示板等で連絡します。各自で確認の上、必ず出席してください。

※変更、追加される場合も掲示板にて連絡します。

（1）中等科

	第１学年	第２学年	第３学年	第４学年
オリエンテーション	・教職課程（中学校・高等学校）ガイダンス	・教職課程ガイダンス ・履修カルテ記入・説明会	・健康診断 ・教職課程ガイダンス ・介護等体験事前指導開始 ・履修カルテ記入・説明会 ・教育実習内諾交渉開始	・健康診断 ・教育実習事前指導開始 ・履修カルテ記入・説明会 ・教員採用試験直前講習
4月	・新入生対象履修カルテ作成・登録説明会（教育実習予備登録）			
5月			・第２次教育実習事前指導（開催時期は未定　年３～５回） ・公立学校教員採用試験第３学年受験（自治体別）	・教育実習開始（受入学校が時期決定） ・公立学校教員採用試験（自治体別）10月頃まで
6月		・第１次教育実習指導開始（開催時期は未定年数回）	・介護等体験開始（受入施設・学校が時期決定）	
7月				
8月				
9月	・履修カルテ記入・説明会	・履修カルテ記入・説明会 ・介護等体験希望者説明会	・履修カルテ記入・説明会 ・教育実習内諾書提出締切	・教育実習事後指導（前期実習済学生）
10月	・教職学習会	・教育実習第１次登録説明会 ・教職学習会		
11月			・介護等体験事後指導（体験済学生）	・教員免許状一括申請説明会 ・講師登録等説明会
12月				・教育実習事後指導（後期実習済学生）
1月				
2月				
3月		・教育実習事前指導内諾交渉等事務説明会 ・教育実習第２次登録説明会 ・マナー講習会	・教育実習参加許可者発表 ・教育実習事前指導 ・第３次登録説明会 ・マナー講習会	・免許状授与（卒業式当日）
登録・履修留意事項	・教師入門にあたる教職科目を登録・履修（**『教職入門（中・高）』**） ・教職必修科目※を登録、履修（**『教育方法論(中・高)』** **『教育課程論(中・高)』** **『教育社会学(中・高)』** **『教育行財政学(中・高)』**） ・履修可能関係科目を積極的に登録、履修（**『日本国憲法』** **『部落史論』『障害者・病者と共に生きる』等**）	・教職必修科目※を登録、履修（**『教育原論（中・高）』** **『仏教と教育(中・高)』等**） ・各教科指導の基礎的な事項を学ぶ教育法を履修（**『各教科教育法Ⅰ』**） ・教職科目のほとんどが履修可能なため、上記以外の「教育実習参加基礎資格」充足を最優先にし、積極的に登録、履修	・後期末までに「教育実習参加基礎資格」充足見込みを確認し、登録、履修 ・実践的な指導方法を学ぶ土台を履修（**『教科教育法Ⅱ』** **『教科教育法Ⅲ』** **『教科教育法Ⅳ』**） ・中学校免許希望者登録（**『介護等体験』**）	・免許取得見込みがあるか確認の上、登録、履修 ・**『教育実習（中・高）』**登録 高等学校免許のみ　３単位 中学校免許希望者　５単位 ・教育実習年度に登録、履修（**『教育相談（中・高）』**） ※教育実習登録者以外は履修不可 ・原則教育実習年度に登録、履修（**『教職実習演習（中・高）』**）
	・上記に加えて、免許取得に必要な科目を視野に入れ、積極的に登録、履修 ・集中講義科目は、科目によって受講日程が変わるため、各自で確認して登録、履修 ・学校図書館司書教諭資格取得希望者は、第３学年時までに必要科目全てを修得済みであれば、在学中に修了証の交付申請が可能。詳細は教職支援センターへ相談すること。			
学校ボランティア	・教職支援センターへボランティア登録を完了した者から随時「学校ボランティア」参加			

※教育学部教育学科初等教育コースは「(中・高)」の記載のない科目を登録・履修

（2）教育学部　教育学科　初等教育コース

<table>
<tr><th></th><th>第１学年</th><th>第２学年</th><th>第３学年</th><th>第４学年</th></tr>
<tr><td>3、4月
ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ</td><td>・教職課程ガイダンス
・健康診断</td><td rowspan="2">・教職課程ガイダンス
・介護等体験事前指導
（5月まで）
・健康診断
・小学校教育実習２次登録、教育実習内諾交渉開始
・履修カルテ記入説明会</td><td rowspan="2">・教職課程ガイダンス
・健康診断
・小学校教育実習３次登録
・履修カルテ記入説明会</td><td rowspan="2">・教職課程ガイダンス
・健康診断
・履修カルテ記入説明会
・教員採用試験受験対策直前講習（不定期）</td></tr>
<tr><td>4月</td><td rowspan="2">・新入生対象履修カルテ作成・登録説明会
（教育実習予備登録）</td></tr>
<tr><td>5月</td><td>・小学校教育実習事前指導開始（不定期）第３学年時まで
・介護等体験開始
（受入施設・学校が時期を指定）</td><td rowspan="2">・公立学校教員採用試験第３学年受験（自治体別）</td><td rowspan="2">・公立学校教員採用試験（自治体別）９月頃まで</td></tr>
<tr><td>6月</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>7月</td><td></td><td></td><td colspan="2" rowspan="2">教員採用試験対策
※面接、集団討論、模擬授業等の個別指導</td></tr>
<tr><td>8月</td><td colspan="2" rowspan="2">教員採用試験対策
※各講習の詳細はキャリアセンターの「キャリア支援案内」を確認</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9月</td><td rowspan="2">・履修カルテ記入説明会
・小学校教育実習開始</td><td></td></tr>
<tr><td>・履修カルテ記入説明会
・介護等体験説明会</td><td>・履修カルテ記入説明会
・小学校内諾交渉締切</td><td></td><td>・教職実践演習（小）開始</td></tr>
<tr><td>10月</td><td>・小学校教育実習１次登録説明会
・教職学習会</td><td>・教職学習会</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>11月</td><td></td><td>・介護等体験事後指導
（前半体験済学生）</td><td></td><td rowspan="2">・教員免許状一括申請説明会
・各自治体講師登録等説明会</td></tr>
<tr><td>12月</td><td></td><td></td><td>・小学校教育実習事後指導</td></tr>
<tr><td>1月</td><td></td><td>・介護等体験事後指導
（後半体験済学生）</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>2月</td><td colspan="3" rowspan="2">教員採用試験対策
※各講習の詳細はキャリアセンターの「キャリア支援案内」を確認</td><td rowspan="2">・教員免許状授与者発表</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3月</td></tr>
<tr><td>・小学校教育実習２次登録説明会
・小学校内諾交渉、介護等体験事前指導
（マナー講習）</td><td>・小学校教育実習参加許可者発表
・小学校教育実習３次登録説明会
・小学校教育実習事前指導
（マナー講習）</td><td></td><td>・教員免許状授与
（卒業式当日）</td></tr>
<tr><td>登録・履修注意事項</td><td></td><td>第３学年時、小学校教育実習参加者は、後期末までに「教育実習参加基礎資格」の充足見込みがあるか確認の上、登録・履修すること。</td><td>学校図書館司書教諭資格取得希望者は、第３学年時までに必要科目全てを修得済みであれば、在学中に修了証の交付申請が可能。詳細は教職支援センターへ相談すること。</td><td>免許状取得見込みがあるか確認の上、登録・履修</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="4">第１学年時の実践体験活動演習（小）での学校ボランティア参加に限らず、第２学年以降も学校ボランティアや各自治体の教育委員会が実施する教師塾等へ積極的に参加しましょう。</td></tr>
</table>

（3）初等科　教育学科幼児教育コース　※保育士課程（保育心理士課程）のスケジュールを含んでいます。

	第１学年	第２学年	第３学年	第４学年
3、4月 ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	・教職課程（幼稚園）・保育士課程（保育心理士含む）ガイダンス ・保育士１次登録 ・健康診断	・履修カルテ記入説明会 ・健康診断	・履修カルテ記入説明会 ・健康診断	・教育実習（後期）説明会 ・履修カルテ記入説明会 ・健康診断
4月		・幼稚園教育実習１次登録	・保育実習Ⅰ（施設）および保育実習Ⅱ（またはⅢ）説明会 ・保育士３次登録	・幼稚園教育実習（後期）配当発表
5月				・幼稚園実習（後期）事前訪問（実習園のオリエンテーション）
6月			・保育実習Ⅰ（施設）配当発表 ・保育実習Ⅱ（またはⅢ）配当発表 ・教育実習（前期）説明会 ・幼稚園教育実習２次登録	・幼稚園教育実習（後期）開始（受入園が時期決定）
7月			・幼稚園教育実習（前期）配当発表 ・保育実習Ⅰ（施設）事前訪問（実習施設のオリエンテーション）	・保育心理士実習説明会 ・保育心理士実習配当発表 ・保育心理士実習事前訪問（実習施設のオリエンテーション）
8月			・保育実習Ⅰ（施設）開始（受入園が時期決定） ・保育実習Ⅱ（またはⅢ）事前訪問（実習園のオリエンテーション）	・保育心理士実習開始（受入園が時期決定）
9月	・履修カルテ記入説明会	・履修カルテ記入説明会	・保育実習Ⅱ（またはⅢ）開始（受入園が時期決定） ・幼稚園実習（前期）事前訪問（実習園のオリエンテーション） ・履修カルテ記入説明会	
10月			・幼稚園教育実習（前期）開始 ・保育心理士実習希望者説明会	・教員免許状一括申請説明会 ・保育士登録申請説明会 ・保育心理士登録申請説明会
11月		・保育実習Ⅰ（保育所）説明会 ・保育士２次登録		
12月		・保育実習Ⅰ（保育所）配当発表		
1月		・保育実習Ⅰ（保育所）事前訪問（実習園のオリエンテーション）		
2月		・保育実習Ⅰ（保育所）開始（受入園が時期決定）		
3月	・保育実習Ⅰ参加許可者発表	・保育実習Ⅱ（またはⅢ）参加許可者発表 ・幼稚園教育実習参加許可者発表	・保育心理士実習参加許可者発表	・教員免許状授与（卒業式当日）※
その他			・教員採用試験や公務員試験に向けての講習会等に積極的に参加しましょう。	
	第２学年時、保育実習Ⅰ参加者は、後期末までに「保育実習Ⅰ参加基礎資格」の充足見込みがあるか確認の上、登録・履修すること。	第３学年時、保育実習Ⅱ（またはⅢ）、幼稚園教育実習参加者は、後期末までに「保育実習Ⅱ（またはⅢ）参加基礎資格」、「教育実習参加基礎資格」の充足見込みがあるか確認の上、登録・履修すること。	第４学年時、保育心理士実習参加者は、後期末までに「保育心理士実習参加基礎資格」の充足見込みがあるか確認の上、登録・履修すること。	免許・資格取得見込みがあるか確認の上、登録、履修すること。 ※保育士証については、卒業後６月初旬～６月中旬頃に各都道府県より本人宛てに送付。

［7］教育実習費（登録料）

教育実習を行うためには、科目の登録・履修・修得の他、以下の実習費及び登録料が必要となります。

※１次登録は実習の前々年度、２次登録は実習前年度、３次登録は実習年度の登録になります。
実習参加年度が延引した場合は、再度登録になります。

※委託費は、実習校・園によって要・不要が異なります。また金額も実習校・園、もしくは教育委員会が定めた金額となります。

(1) 中等科教育実習費

文学部・社会学部・教育学部・国際学部入学生

	実習期間	一次登録	二次登録	三次登録	計
中等科実習	２週間～４週間	3,000 円	3,000 円	委託費 +21,000 円	委託費 +27,000 円

第３学年編入・大学院

	実習期間	一次登録＋二次登録	三次登録	計
中等科実習	２週間～４週間	6,000 円	委託費 +21,000 円	委託費 +27,000 円

(2) 初等科教育実習費

教育学部　教育学科初等教育コース入学生

	実習期間	一次登録	二次登録	三次登録	計
初等科　小学校	４週間	3,000 円	3,000 円	委託費 +20,000 円	委託費 +26,000 円

教育学部　教育学科幼児教育コース入学生

	実習期間	一次登録	二次登録	三次登録	計
幼稚園 （前期・後期）	前期　２週間	3,000 円	32,000 円 （委託費含む）		35,000 円
	後期　２週間				

※教育学部教育学科の第３学年編入学生の実習費等については、教職支援センターにて相談してください。（幼稚園の教育実習については、教務課にて相談。）

［8］教育実習参加のための基礎資格

教育実習参加のためには、「［5］教育実習」で掲げた手続きの他に、以下に掲げる要件と科目・単位を修得済みでなくてはなりません。

（1）教育実習参加基礎資格

① 実習参加年度に学部の卒業見込みがあること。ただし、第３学年での教育実習にあたっては、進級を条件とする。
② 実習参加年度に免許状取得見込があること。（幼稚園・小学校実習を除く）
③ 実習参加前年度末に、「教育実習参加のための基礎資格」の科目・単位をすべて修得済みであること。（オ）の「介護等体験」については、「［4］介護等体験」を参照の上、原則受講済みのこと。
④ 教職に強い意志を持ち、最終学年時の受講者については、教員採用試験を受験すること。

（2）教育実習参加基礎資格が無い場合

教育実習参加前年度末までに、上記の教育実習参加基礎資格が得られないと判明した時点（※１）で、中等科ならびに小学校実習については教職支援センター、幼稚園実習については教務課に申し出てください。実習校等ならびに大学へ至急「辞退願」を提出していただく必要があります。

再度実習を希望する場合、各登録を再度行い、内諾交渉や実習に向けた各種手続きをすることになります。各種説明会（※２）や提出書類、事前指導等も全て受けていただくことになりますのでご留意ください。

※１　前期のみの開講科目を教育実習前年度前期に修得できなかった場合は、前期成績を確認した時点で、各窓口に申し出ること。

※２　各説明会は実習年度によって異なります。各自が掲示板等で責任を持って確認すること。また、「辞退願」提出前に説明会が終了している場合、各窓口で相談してください。

Ａ．初等科教育実習参加のための基礎資格　【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

幼稚園教員免許状

（ア）教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

科目名	単位数
日本国憲法	2
体育実技	いずれか 1
スポーツと健康の科学 1 スポーツと健康の科学 2 生涯スポーツ・レクリエーション活動 人間関係と身体表現	いずれか 2
英語Ⅰ	2
ICT 入門	2

（イ）「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

科目名	単位数
教育原論（幼）	2
教職入門（幼）	2
発達心理学（幼）	2
教育方法論（幼）	4
保育カリキュラム論	2

（ウ）領域及び保育内容の指導法に関する科目

科目名	単位数
幼児と健康	1
幼児と人間関係	1
幼児と環境	1
保育内容（健康）の理論と方法	2
保育内容（環境）の理論と方法	2

（エ）大学が独自に設定する科目

科目名	単位数
仏教と教育（初等）	2
部落史論 1 部落史論 2 反カースト運動論 アイヌ民族と共に 障害者・病者と共に生きる	いずれか 2
実践体験活動演習（幼）Ⅰ 実践体験活動演習（幼）Ⅱ 運動会実践演習 児童文化 音楽理論	いずれか 6

小学校教員免許状のみ

（ア）教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

科目名	単位数
日本国憲法	2
体育実技	いずれか 1
スポーツと健康の科学 1	いずれか 2
スポーツと健康の科学 2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	
人間関係と身体表現	
英語	2
ICT 入門	2

（イ）「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

科目名	単位数
教育原論	2
教職入門	2
教育心理学	いずれか 2
発達心理学	
特別支援教育概論	2
教育社会学	いずれか 2
教育行財政学	
教育方法論	2
生徒・進路指導論	2
道徳教育の理論と方法	2

（ウ）教科及び教科の指導法に関する科目

科目名	単位数
教科（国語）	2
教科（社会）	2
教科（算数）	いずれか 2
代数学概論	
幾何学概論	
解析学概論	
教科（理科）	2
教科（生活）	2
教科（音楽）	2
教科（図画工作）	2
教科（家庭）	2
教科（体育）	2
初等科教育法（算数）	2
初等科教育法（理科）	2
初等科教育法（音楽）	2
初等科教育法（図画工作）	2
初等科教育法（体育）	2

（エ）大学が独自に設定する科目

科目名	単位数
仏教と教育（初等）	2
部落史論 1	いずれか 2
部落史論 2	
反カースト運動論	
アイヌ民族と共に	
障害者・病者と共に生きる	
障害のある子どもたち（初等）	2

（オ）介護等体験

科目名	単位数
介護等体験	原則、受講済み

小学校教員免許状＋中等科教員免許状希望者

（ア）教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

科目名	単位数
日本国憲法	2
体育実技	いずれか 1
スポーツと健康の科学 1	いずれか 2
スポーツと健康の科学 2	
生涯スポーツ・レクリエーション活動	
人間関係と身体表現	
英語	2
ICT 入門	2

（イ）「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

科目名	単位数
教育原論	2
教職入門	2
教育心理学	いずれか 2
発達心理学	
特別支援教育概論	2
教育社会学	いずれか 2
教育行財政学	
教育方法論	2
生徒・進路指導論	2
道徳教育の理論と方法	2

（ウ）教科及び教科の指導法に関する科目

科目名	単位数
教科（国語）	8
教科（社会）	
教科（算数）	
代数学概論	
幾何学概論	
解析学概論	
教科（理科）	
教科（生活）	
教科（音楽）	
教科（図画工作）	
教科（家庭）	
教科（体育）	
初等科教育法（算数）	2
初等科教育法（理科）	2
初等科教育法（音楽）	4
初等科教育法（図画工作）	
初等科教育法（体育）	

（エ）大学が独自に設定する科目

科目名	単位数
仏教と教育（初等）	2
部落史論 1	いずれか 2
部落史論 2	
反カースト運動論	
アイヌ民族と共に	
障害者・病者と共に生きる	
障害のある子どもたち（初等）	2

（オ）介護等体験

科目名	単位数
介護等体験	原則、受講済み

B．中等科教育実習参加のための基礎資格　【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

（ア）教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

	科　目　名	単位数	合計
中等科全免許教科	現代総合科目：日本国憲法	2	11 単位 （ただし実習教科が英語の場合は 15 単位）
	教職科目　　：体育実技 現代総合科目：スポーツと健康の科学 1.2、生涯スポーツ・レクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 1 いずれか 2	
	共通科目：英語Ⅰ	4	
	実習教科が英語の学生のみ 選択外国語：英語会話（中級）、英語会話（上級）、英語読解（中級）、英語読解（上級）、英作文（中級）、英作文（上級）、インテンシブ英会話（中級）	いずれか 4	
	共通科目：ICT 入門	2	

（イ）「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

	科　目　名	単位数	合計
中等科全免許教科 （教育学科 初等教育コース以外）	教職入門（中・高）	2	14 単位
	教育原論（中・高）	2	
	仏教と教育（中・高）	2	
	教育心理学（中・高）	いずれか 2	
	青年心理学（中・高）		
	教育社会学（中・高）	いずれか 2	
	教育行財政学（中・高）		
	教育課程論（中・高）	2	
	生徒・進路指導論（中・高）	2	
中等科全免許教科 （教育学科 初等教育コースのみ）	科　目　名	単位数	合計
	教職入門	2	14 単位
	教育原論	2	
	仏教と教育（中・高）又は（初等） ＊初等教育コースは大学独自科目として開講	2	
	教育心理学	いずれか 2	
	発達心理学		
	教育社会学	いずれか 2	
	教育行財政学		
	教育課程論	2	
	生徒・進路指導論	2	

（ウ）教科及び教科の指導法に関する科目

学科	免許教科 （実習教科）	科　目　名	単位数	合計
真宗学科	宗教	宗教学概説	2	14 単位
		宗教史概論	2	
		哲学概論	2	
		真宗学概論・仏教学概論	2	
		真宗学科の講義科目（ただし特殊講義は除く）	2	
		宗教科教育法Ⅰ・Ⅱ	4	
哲学科	公民	法学概論	2	14 単位
		政治学概論	2	
		社会学概論（※ 1）・社会学総論	いずれか 2	
		経済学概論	2	
		哲学概論・倫理学概論・宗教学概論・心理学入門	いずれか 2	
		中社・公民科教育法Ⅰ・Ⅱ	4	

※ 1　社会学部以外の学生が履修する場合、教職支援センターでの登録手続きが必要です。

歴史学科	社会	日本史学概論	2	14 単位
		人文地理学・世界地誌学	いずれか 2	
		法学概論・政治学概論	いずれか 2	
		社会学概論（※ 1）・社会学総論・経済学概論	いずれか 2	
		哲学概論・倫理学概論・宗教学概論	いずれか 2	
		中社・公民科教育法Ⅰ、中社・地歴科教育法Ⅰ	いずれか 2	
	地理歴史	日本史学概論	2	14 単位
		東洋史学概論	2	
		西洋史学概論	2	
		人文地理学・自然地理学	いずれか 2	
		世界地誌学	2	
		中社・地歴科教育法Ⅰ・Ⅱ	4	
文学科	国語	国語学概論	2	14 単位
		文章表現学	2	
		国文学概論	2	
		古典文学講読	2	
		中国文学概論	2	
		国語科教育法Ⅰ・Ⅱ	4	
国際文化学科	英語	英語学概論	2	14 単位
		英文学概論	2	
		英語基礎演習（※ 2）	2	
		比較文化講義	2	
		English Workshop、Pop Culture in English、World News、Global Communication、Teaching English to Children、英米の文化	いずれか 2	
		英語科教育法Ⅰ・Ⅱ	4	
教育学科 初等教育コース	数学	代数学概論	2	14 単位
		幾何学概論	2	
		解析学概論	2	
		確率・統計学概論	2	
		コンピュータ概論	2	
		数学科教育法Ⅰ・Ⅱ	4	

※ 2　国際学部以外の学生は、第 2 学年以降で履修。また、国際学部以外の学生が履修する場合、教職支援センターでの登録手続きが必要です。

（エ）大学が独自に設定する科目

	科　目　名	単位数	合計
全免許教科	部落史論１・２、反カースト運動論、アイヌ民族と共に、障害者・病者と共に生きる	いずれか２	２単位

（オ）介護等体験

	科　目　名	
中学校免許のみ	介護等体験	原則、受講済であること

［9］所要科目・単位一覧

真宗学科　中学校・高等学校教諭一種免許状　宗教

【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

	免許法規定	最低修得単位数		本学開講科目	本学最低修得単位数	
	科　　目	中学	高校		中学	高校
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2		**現代総合科目：日本国憲法**	2	
	体育	2		**教職科目　　：体育実技**	いずれか 1	
				現代総合科目：スポーツと健康の科学 1．2、生涯スポーツ・レクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 2	
	外国語コミュニケーション	2		**共通科目：英語 I**	4	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2		**共通科目：ICT 入門**	2	

免許法規定		最低修得単位数		本学開講科目	本学最低修得単位数	
		中学	高校		中学	高校
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10		**教育原論（中・高）**	2	
				仏教と教育（中・高）	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			**教職入門（中・高）**	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			**教育社会学（中・高）**	いずれか 2	
				教育行財政学（中・高）		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			**教育心理学（中・高）**	いずれか 2	
				青年心理学（中・高）		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			**特別支援教育概論（中・高）**	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			**教育課程論（中・高）**	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	**道徳教育の理論と方法（中等）**	2	※ 1
	総合的な学習の時間の指導法			**総合的な学習の時間の指導法（中・高）**	2	
	特別活動の指導法			**特別活動論（中・高）**	2	
	教育の方法及び技術			**教育方法論（中・高）**	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			**ICT 活用教育の理論と方法（中・高）**	1	
	生徒指導の理論及び方法			**生徒・進路指導論（中・高）**	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			**教育相談（中・高）**	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	**教育実習指導（中・高）**	1	
				教育実習（中・高）	4	4 又は 2
	教職実践演習	2		**教職実践演習（中・高）**	2	
	免許法規定合計単位数	27 単位	23 単位	小計　①	34 単位	30 単位

※ 1「大学が独自に設定する科目」として履修可

	免許法規定		最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	宗教学	28	24	**宗教学概説**	2
		宗教史			**宗教史概論**	4
		「教理学、哲学」			**哲学概論**	4
					真宗学概論 **仏教学概論**	4 (※ 2)
					現代仏教論 **死生学** **生命倫理** **地域仏教論** **仏教学特殊講義** **真宗学科の講義科目**	6
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）				**宗教科教育法Ⅰ**	2
					宗教科教育法Ⅱ	2
					宗教科教育法Ⅲ	2
					宗教科教育法Ⅳ	2
	合計		28 単位	24 単位	小計　②	28 単位以上

※ 2 真宗学概論 4 単位または仏教学概論 4 単位を履修すること。

	免許法規定	最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数 中学	本学最低修得単位数 高校
大学が独自に設定する科目	科　　目			**選択科目**		
	「教科に関する専門的事項」	4	12	**a.「教科に関する専門的事項」で最低修得単位以上に修得した科目**	8	
	「大学が独自に設定する科目」			**e. 部落史論　反カースト運動論** **アイヌ民族と共に** **障害者・病者と共に生きる**	いずれか 2	
				f.　e より 2 単位以上に修得した科目		
	「教育の基礎的理解に関する科目」			**g.「教育の基礎的理解に関する科目」で必要以上に修得した科目**		
	「教科に関する専門的事項」			**h.　a で 8 単位以上に修得した科目**		
	「大学が独自に設定する科目」			**i. 道徳教育の理論と方法（中等）**		
	免許法規定合計単位数	4 単位	12 単位	小計　③	10 単位以上	16 単位以上

	免許法規定		本学開講科目	中学	高校
介護等の体験	介護等の体験	小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者	**介護等体験**	受講終了の認定をします。	

哲学科　高等学校教諭一種免許状　公民

【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	免許法規定		本学開講科目	本学最低修得単位数
	科　　目	最低修得単位数		
	日本国憲法	2	**現代総合科目：日本国憲法**	2
	体育	2	**教職科目　　：体育実技**	いずれか 1
			現代総合科目：スポーツと健康の科学１．２、生涯スポーツ・レクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 2
	外国語コミュニケーション	2	**共通科目：英語Ⅰ**	4
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	**共通科目：ICT 入門**	2

免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	**教育原論（中・高）**	2
			仏教と教育（中・高）	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		**教職入門（中・高）**	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		**教育社会学（中・高）**	いずれか 2
			教育行財政学（中・高）	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		**教育心理学（中・高）**	いずれか 2
			青年心理学（中・高）	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		**特別支援教育概論（中・高）**	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		**教育課程論（中・高）**	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	**総合的な学習の時間の指導法（中・高）**	2
	特別活動の指導法		**特別活動論（中・高）**	2
	教育の方法及び技術		**教育方法論（中・高）**	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		**ICT 活用教育の理論と方法（中・高）**	1
	生徒指導の理論及び方法		**生徒・進路指導論（中・高）**	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		**教育相談（中・高）**	2
教育実践に関する科目	教育実習	3	**教育実習指導（中・高）**	1
			教育実習（中・高）	2
	教職実践演習	2	**教職実践演習（中・高）**	2
	免許法規定合計単位数	23 単位	小計　①	30 単位

教科及び教科の指導法に関する科目	免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	24	**法学概論**	4
				政治学概論	4
		「社会学、経済学（国際経済を含む。）」		**社会学概論（※1）** **社会学総論**	いずれか 2
				経済学概論	4
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		**哲学概論** **倫理学概論** **宗教学概論** **心理学入門**	いずれか 6
	各教科の指導法			**中社・公民科教育法Ⅰ**	2
				中社・公民科教育法Ⅱ	2
	免許法規定合計単位数		24 単位	小計　②	24 単位

※1　社会学部以外の学生が履修する場合、教職支援センターでの登録手続きが必要です。

大学が独自に設定する科目	免許法規定		本学開講科目	本学最低修得単位数
	科　　目	最低修得単位数	**選択科目**	
	「教科に関する専門的事項」	12	**a.「教科に関する専門的事項」で必要以上に修得した科目** **b. 以下の科目** **国際関係論　国際政治学** **国際経済学** **哲学科の講義科目** **※ただし、人文地理学、世界地誌学は含まない。**	6
	「大学が独自に設定する科目」		**e. 部落史論　反カースト運動論** **アイヌ民族と共に** **障害者・病者と共に生きる**	2
			f.　e より 2 単位以上に修得した科目	8
	「教育の基礎的理解に関する科目」		**g.「教育の基礎的理解に関する科目」で必要以上に修得した科目**	
	「教科に関する専門的事項」		**h.　a・b で 6 単位以上に修得した科目**	
	「大学が独自に設定する科目」		**i.　道徳教育の理論と方法（中等）**	
	免許法規定合計単位数	12 単位	小計　③	16 単位以上

歴史学科　中学校教諭一種免許状　社会

【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	免許法規定 科目	免許法規定 最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
	日本国憲法	2	**現代総合科目：日本国憲法**	2
	体育	2	**教職科目　　：体育実技**	いずれか 1
			現代総合科目：スポーツと健康の科学１．２、生涯スポーツ・レクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 2
	外国語コミュニケーション	2	**共通科目：英語Ⅰ**	4
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	**共通科目：ICT 入門**	2

免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	**教育原論（中・高）**	2
			仏教と教育（中・高）	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		**教職入門（中・高）**	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		**教育社会学（中・高）**	いずれか 2
			教育行財政学（中・高）	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		**教育心理学（中・高）**	いずれか 2
			青年心理学（中・高）	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		**特別支援教育概論（中・高）**	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		**教育課程論（中・高）**	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	**道徳教育の理論と方法（中等）**	2
	総合的な学習の時間の指導法		**総合的な学習の時間の指導法（中・高）**	2
	特別活動の指導法		**特別活動論（中・高）**	2
	教育の方法及び技術		**教育方法論（中・高）**	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		**ICT 活用教育の理論と方法（中・高）**	1
	生徒指導の理論及び方法		**生徒・進路指導論（中・高）**	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		**教育相談（中・高）**	2
教育実践に関する科目	教育実習	5	**教育実習指導（中・高）**	1
			教育実習（中・高）	4
	教職実践演習	2	**教職実践演習（中・高）**	2
	免許法規定合計単位数	27 単位	小計　①	34 単位

教科及び教科の指導法に関する科目	免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	28	**日本史学概論**	4
				東洋史学概論	2
				西洋史学概論	2
		地理学（地誌を含む。）		**人文地理学**	4
				世界地誌学	4
		「法律学、政治学」		**法学概論** **政治学概論**	いずれか 2
		「社会学、経済学」		**社会学概論（※1）** **社会学総論** **経済学概論**	いずれか 2
		「哲学、倫理学、宗教学」		**哲学概論** **倫理学概論** **宗教学概論**	いずれか 2
	各教科の指導法			**中社・地歴科教育法Ⅰ**	2
				中社・公民科教育法Ⅰ	2
				中社・地歴科教育法Ⅱ	2
				中社・公民科教育法Ⅱ	2
	免許法規定合計単位数		28 単位	小計　②	30 単位

※1　社会学部以外の学生が履修する場合、教職支援センターでの登録手続きが必要です。

大学が独自に設定する科目	免許法規定		本学開講科目	本学最低修得単位数
	科　　目	最低修得単位数	選択科目	
	「教科に関する専門的事項」	4	**a.「教科に関する専門的事項」で必要以上に修得した科目**	6
			b. 以下の科目 **国際関係論　国際政治学** **国際経済学** **歴史学科の講義科目** **※ただし、歴史学特殊講義、真宗史、人文地理学、世界地誌学は含まない。**	
	「大学が独自に設定する科目」		**e. 部落史論　反カースト運動論** **アイヌ民族と共に** **障害者・病者と共に生きる**	2
			f.　e より 2 単位以上に修得した科目	
	「教育の基礎的理解に関する科目」		**g.「教育の基礎的理解に関する科目」で必要以上に修得した科目**	
	「教科に関する専門的事項」		**h.　a・b で 6 単位以上に修得した科目**	
	免許法規定合計単位数	4 単位	小計　③	8 単位以上

介護等体験	免許法規定		本学開講科目	中学
	介護等の体験	小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者	**介護等体験**	受講終了の認定をします。

歴史学科　高等学校教諭一種免許状　地理歴史

【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	免許法規定		本学開講科目	本学最低修得単位数
	科　　目	最低修得単位数		
	日本国憲法	2	**現代総合科目：日本国憲法**	2
	体育	2	**教職科目　　：体育実技**	いずれか 1
			現代総合科目：スポーツと健康の科学１．２、生涯スポーツ・レクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 2
	外国語コミュニケーション	2	**共通科目：英語Ⅰ**	4
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	**共通科目：ICT 入門**	2

免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	**教育原論（中・高）**	2
			仏教と教育（中・高）	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		**教職入門（中・高）**	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		**教育社会学（中・高）**	いずれか 2
			教育行財政学（中・高）	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		**教育心理学（中・高）**	いずれか 2
			青年心理学（中・高）	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		**特別支援教育概論（中・高）**	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		**教育課程論（中・高）**	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	8	**総合的な学習の時間の指導法（中・高）**	2
	特別活動の指導法		**特別活動論（中・高）**	2
	教育の方法及び技術		**教育方法論（中・高）**	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		**ICT 活用教育の理論と方法（中・高）**	1
	生徒指導の理論及び方法		**生徒・進路指導論（中・高）**	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		**教育相談（中・高）**	2
教育実践に関する科目	教育実習	3	**教育実習指導（中・高）**	1
			教育実習（中・高）	2
	教職実践演習	2	**教職実践演習（中・高）**	2
	免許法規定合計単位数	23 単位	小計　①	30 単位

	免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	24	**日本史学概論**	4
		外国史		**東洋史学概論**	4
				西洋史学概論	4
		人文地理学・自然地理学		**人文地理学**	4
				自然地理学	4
		地誌		**世界地誌学**	4
	各教科の指導法			**中社・地歴科教育法Ⅰ**	2
				中社・地歴科教育法Ⅱ	2
	免許法規定合計単位数		24 単位	小計　②	28 単位

	免許法規定		本学開講科目	本学最低修得単位数
	科　　目	最低修得単位数	**選択科目**	
大学が独自に設定する科目	「教科に関する専門的事項」	12	**b. 歴史学科の講義科目 ※ただし、以下の科目は含まない 歴史学特殊講義　真宗史 人文地理学　世界地誌学 経済学概論　国際経済学 社会学総論**	4
	「大学が独自に設定する科目」		**e. 部落史論　反カースト運動論 アイヌ民族と共に 障害者・病者と共に生きる**	2
			f.　e より 2 単位以上に修得した科目	10
	「教育の基礎的理解に関する科目」		**g.「教育の基礎的理解に関する科目」で必要以上に修得した科目**	
	「教科に関する専門的事項」		**h.　b で 4 単位以上に修得した科目**	
	「大学が独自に設定する科目」		**i. 道徳教育の理論と方法（中等）**	
	免許法規定合計単位数	12 単位	小計　③	16 単位以上

文学科　中学校・高等学校教諭一種免許状　国語

【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

	免許法規定	最低修得単位数		本学開講科目	本学最低修得単位数	
	科　目	中学	高校		中学	高校
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2		**現代総合科目：日本国憲法**	2	
	体育	2		**教職科目　：体育実技**	いずれか 1	
				現代総合科目：スポーツと健康の科学 1．2、生涯スポーツ・レクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 2	
	外国語コミュニケーション	2		**共通科目：英語 I**	4	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2		**共通科目：ICT 入門**	2	

免許法規定		最低修得単位数		本学開講科目	本学最低修得単位数	
		中学	高校		中学	高校
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10		**教育原論（中・高）**	2	
				仏教と教育（中・高）	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			**教職入門（中・高）**	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			**教育社会学（中・高）**	いずれか 2	
				教育行財政学（中・高）		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			**教育心理学（中・高）**	いずれか 2	
				青年心理学（中・高）		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			**特別支援教育概論（中・高）**	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			**教育課程論（中・高）**	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	**道徳教育の理論と方法（中等）**	2	※1
	総合的な学習の時間の指導法			**総合的な学習の時間の指導法（中・高）**	2	
	特別活動の指導法			**特別活動論（中・高）**	2	
	教育の方法及び技術			**教育方法論（中・高）**	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			**ICT 活用教育の理論と方法（中・高）**	1	
	生徒指導の理論及び方法			**生徒・進路指導論（中・高）**	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			**教育相談（中・高）**	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	**教育実習指導（中・高）**	1	
				教育実習（中・高）	4	4 又は 2
	教職実践演習	2		**教職実践演習（中・高）**	2	
	免許法規定合計単位数	27 単位	23 単位	小計　①	34 単位	30 単位

※1「大学が独自に設定する科目」として履修可

教科及び教科の指導法に関する科目	免許法規定		最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数 中学	本学最低修得単位数 高校
	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	28	24	**国語学概論**（音声言語を含む）	4	
					文章表現学	2	
		国文学（国文学史を含む。）			**国文学概論**（国文学史を含む）	4	
					日本文学史 **古典文学** **近現代文学**	いずれか 6	
		漢文学			**中国文学概論**	4	
		書道（書写を中心とする。）※2			**書道**	2	
	各教科の指導法				**国語科教育法Ⅰ**	2	
					国語科教育法Ⅱ	2	
					国語科教育法Ⅲ	2	
					国語科教育法Ⅳ	2	
	免許法規定合計単位数		28 単位	24 単位	小計　②	30 単位	28 単位

※2　中学校免許のみ

大学が独自に設定する科目	免許法規定	最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数 中学	本学最低修得単位数 高校
	科　　目			**選択科目**		
	「教科に関する専門的事項」	4	12	**a. 古典文学講読**	2	
				b. 国文法講義　現代文芸概論 **中国文学史　中国思想史** **中国文献学　中国文学特殊講義** **文学鑑賞　近現代文学講読** **中国文学講読　中国文学特殊演習**	6	
				c.「教科に関する専門的事項」で最低修得単位以上に修得した科目		
				d.　a で必要以上に修得した科目		
	「大学が独自に設定する科目」			**e. 部落史論　反カースト運動論** **アイヌ民族と共に** **障害者・病者と共に生きる**	2	
				f.　e より 2 単位以上に修得した科目		
	「教育の基礎的理解に関する科目」			**g.「教育の基礎的理解に関する科目」で必要以上に修得した科目**		
	「教科に関する専門的事項」			**h.　a で 2 単位以上、b・c で 6 単位以上に修得した科目**		
	「大学が独自に設定する科目」			**i. 道徳教育の理論と方法（中等）**		
	免許法規定合計単位数	4 単位	12 単位	小計　③	10 単位以上	16 単位以上

介護等体験	免許法規定		本学開講科目	中学	高校
	介護等の体験	小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者	**介護等体験**	受講終了の認定をします。	

国際文化学科　中学校・高等学校教諭一種免許状　英語

【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

	免許法規定	最低修得単位数		本学開講科目	本学最低修得単位数	
	科　　目	中学	高校		中学	高校
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2		**現代総合科目：日本国憲法**	2	
	体育	2		**教職科目　　：体育実技**	いずれか 1	
				現代総合科目：スポーツと健康の科学１・２、生涯スポーツ・レクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 2	
	外国語コミュニケーション	2		**共通科目：英語Ⅰ**	4	
				選択外国語：英語会話（中級）、英語会話（上級）、英語読解（中級）、英語読解（上級）、英作文（中級）、英作文（上級）、英文法（中級）、英文法（上級）、英語のしくみと表現（中級）、インテンシブ英会話（中級）	8	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2		**共通科目：ICT 入門**	2	

免許法規定		最低修得単位数		本学開講科目	本学最低修得単位数	
		中学	高校		中学	高校
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10		**教育原論（中・高）**	2	
				仏教と教育（中・高）	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			**教職入門（中・高）**	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			**教育社会学（中・高）**	いずれか 2	
				教育行財政学（中・高）		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			**教育心理学（中・高）**	いずれか 2	
				青年心理学（中・高）		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			**特別支援教育概論（中・高）**	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			**教育課程論（中・高）**	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	**道徳教育の理論と方法（中等）**	2	※1
	総合的な学習の時間の指導法			**総合的な学習の時間の指導法（中・高）**	2	
	特別活動の指導法			**特別活動論（中・高）**	2	
	教育の方法及び技術			**教育方法論（中・高）**	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			**ICT 活用教育の理論と方法（中・高）**	1	
	生徒指導の理論及び方法			**生徒・進路指導論（中・高）**	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			**教育相談（中・高）**	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	**教育実習指導（中・高）**	1	
				教育実習（中・高）	4	4 又は 2
	教職実践演習	2		**教職実践演習（中・高）**	2	
	免許法規定合計単位数	27 単位	23 単位	小計　①	34 単位	30 単位

※1「大学が独自に設定する科目」として履修可

教科及び教科の指導法に関する科目	免許法規定		最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数 中学	本学最低修得単位数 高校
	教科に関する専門的事項	英語学	28	24	**英語学概論**	4	
					英語のしくみ	4	
		英語文学			**英文学概論**	4	
		英語コミュニケーション			**英語基礎演習（※ 2）**	2	
		異文化理解			**比較文化講義**	2	
					英米の文化 1 ～ 5	4	
	各教科の指導法				**英語科教育法 Ⅰ**	2	
					英語科教育法 Ⅱ	2	
					英語科教育法 Ⅲ	2	
					英語科教育法Ⅳ	2	
	免許法規定合計単位数		28 単位	24 単位	小計　②	28 単位	

※ 2　国際学部以外の学生は、第 2 学年以降で履修。また、国際学部以外の学生が履修する場合、教職支援センターでの登録手続きが必要です。

大学が独自に設定する科目	免許法規定	最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数 中学	本学最低修得単位数 高校
	科　　目			**選択科目**		
	「教科に関する専門的事項」	4	12	**a. 以下に掲げる科目** English Workshop & Camp English Workshop 2 English Workshop 3 English Workshop 4 Pop Culture in English 1 Pop Culture in English 2 World News Global Communication Teaching English to Children 1 Teaching English to Children 2 **英米の文化 6**	2	
				b. アメリカ文学講義　イギリス文学講義 **c.「教科に関する専門的事項」で必要以上に修得した科目** **d.　a で必要以上に修得した科目**	4	
	「大学が独自に設定する科目」			**e. 部落史論　反カースト運動論** **アイヌ民族と共に** **障害者・病者と共に生きる**	2	
				f.　e より 2 単位以上に修得した科目		
	「教育の基礎的理解に関する科目」			**g.「教育の基礎的理解に関する科目」で必要以上に修得した科目**		
	「教科に関する専門的事項」			**h.　a で 2 単位以上、b ～ d で 4 単位以上に修得した科目**		
	「大学が独自に設定する科目」			**i. 道徳教育の理論と方法（中等）**		
	免許法規定合計単位数	4 単位	12 単位	小計　③	10 単位以上	16 単位以上

介護等体験	免許法規定		本学開講科目	中学	高校
	介護等の体験	小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者	**介護等体験**	受講終了の認定をします。	

教育学科 初等教育コース　中学校・高等学校教諭一種免許状　数学

【2025 年度以降入学生・2027 年度編入学生適用】

	免許法規定 科　目	最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	**現代総合科目：日本国憲法**	2
	体育	2	**教職科目　　：体育実技**	いずれか 1
			現代総合科目：スポーツと健康の科学１・２、生涯スポーツレクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 2
	外国語コミュニケーション	2	**共通科目：英語Ⅰ**	4
	情報機器の操作	2	**共通科目：ICT 入門**	2

免許法規定		最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数 中学	本学最低修得単位数 高校
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10		**教育原論**	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）			**教職入門**	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			**教育社会学** **教育行財政学**	いずれか 2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			**教育心理学** **発達心理学**	いずれか 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解			**特別支援教育概論**	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			**教育課程論**	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	8	**道徳教育の理論と方法**	2	※
	総合的な学習の時間の指導法			**総合的な学習の時間の指導法**	2	
	特別活動の指導法			**特別活動論**	2	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			**教育方法論**	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			**ICT 活用教育の理論と方法**	1	
	生徒指導の理論及び方法			**生徒・進路指導論**	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			**教育相談**	2	
教育実践に関する科目	教育実習	5	3	**教育実習指導（中・高）**	1	
				教育実習（中・高）	4	4 又は 2
	教職実践演習	2		**教職実践演習（中・高）**	2	
	免許法規定合計単位数	27 単位	23 単位	小計　①	32 単位	28 単位

※「大学が独自に設定する科目」として履修可

教科及び教科の指導法に関する科目	免許法規定		最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数
	教科に関する専門的事項	代数学	28	24	**代数学概論**	4
					代数学Ⅰ **代数学Ⅱ**	※
		幾何学			**幾何学概論**	4
					幾何学Ⅰ **幾何学Ⅱ**	※
		解析学			**解析学概論**	4
					解析学Ⅰ **解析学Ⅱ**	※
		「確率論、統計学」			**確率・統計学概論**	2
					データの活用と分析	※
		コンピュータ			**コンピュータ概論**	2
					プログラミング **情報と社会**	※
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）				**数学科教育法Ⅰ**	2
					数学科教育法Ⅱ	2
					数学科教育法Ⅲ	2
					数学科教育法Ⅳ	2
	合計		28 単位	24 単位	小計　②	28 単位以上

※ 2 科目 4 単位以上選択必修

大学が独自に設定する科目	免許法規定	最低修得単位数 中学	最低修得単位数 高校	本学開講科目	本学最低修得単位数 中学	本学最低修得単位数 高校
	科　　目			選択科目		
	「教科に関する専門的事項」	4	12	**a.「教科に関する専門的事項」で必要以上に修得した科目**	4	
	「教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目」			**b. 数学教育総論**	2	
	「大学が独自に設定する科目」			**c. 仏教と教育（初等）　仏教と教育（中・高）**	2	
				e. 部落史論　反カースト運動論 **アイヌ民族と共に　障害者・病者と共に生きる**	2	
				f. e より 2 単位以上に修得した科目		
	「教育の基礎的理解に関する科目」			**g.「教育の基礎的理解に関する科目」で必要以上に修得した科目**		
	「教科に関する専門的事項」			**h. a で 4 単位以上に修得した科目**		
	「大学が独自に設定する科目」			**i. 道徳教育の理論と方法**		
	合計	4 単位	12 単位	小計　③	10 単位以上	16 単位以上

介護等の体験	免許法規定		本学開講科目	中学	高校
	介護等の体験	小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者	**介護等体験**	受講終了の認定をします。	

教育学科 初等教育コース　小学校教諭一種免許状

【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	免許法規定 科　目	最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
	日本国憲法	2	**現代総合科目：日本国憲法**	2
	体育	2	**教職科目　　：体育実技** **現代総合科目：スポーツと健康の科学 1．2、生涯スポーツ・レクリエーション活動、人間関係と身体表現**	いずれか 1 いずれか 2
	外国語コミュニケーション	2	**共通科目：英語**	2
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	**共通科目：ICT 入門**	2

免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	**教育原論**	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		**教職入門**	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		**教育社会学** **教育行財政学**	いずれか 2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		**教育心理学** **発達心理学**	いずれか 2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		**特別支援教育概論**	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		**教育課程論**	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	**道徳教育の理論と方法**	2
	総合的な学習の時間の指導法		**総合的な学習の時間の指導法**	2
	特別活動の指導法		**特別活動論**	2
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		**教育方法論**	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		**ICT 活用教育の理論と方法**	1
	生徒指導の理論及び方法		**生徒・進路指導論**	2
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		**教育相談**	2
教育実践に関する科目	教育実習	5	**教育実習指導（小）**	1
			教育実習（小）	4
	教職実践演習	2	**教職実践演習（小）**	2
	免許法規定合計単位数	27 単位	小計　①	32 単位

	免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数 小のみ	本学最低修得単位数 小+中等
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	30	**教科（国語）**	2	※
		社会		**教科（社会）**	2	
		算数		**教科（算数）**	2	
				代数学概論		
				幾何学概論		
				解析学概論		
		理科		**教科（理科）**	2	
		生活		**教科（生活）**	2	
		音楽		**教科（音楽）**	2	
		図画工作		**教科（図画工作）**	2	
		家庭		**教科（家庭）**	2	
		体育		**教科（体育）**	2	
		外国語（英語）		**教科（外国語）**	2	
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）			**初等科教育法（国語）**	2	
				初等科教育法（社会）	2	
				初等科教育法（算数）	2	
				初等科教育法（理科）	2	
				初等科教育法（生活）	2	
				初等科教育法（音楽）	2	
				初等科教育法（図画工作）	2	
				初等科教育法（家庭）	2	
				初等科教育法（体育）	2	
				初等科教育法（外国語）	2	
	合計		30 単位	小計　②	30 単位以上	

※ いずれか 5 科目 10 単位選択必修

	免許法規定 科　目	最低修得単位数	本学開講科目 選択科目	本学最低修得単位数
大学が独自に設定する科目	「大学が独自に設定する科目」	2	**仏教と教育（初等）**	2
			部落史論、反カースト運動論、アイヌ民族と共に、障害者・病者と共に生きる	いずれか 2
			障害のある子どもたち（初等）、障害児の教育（初等）特別支援教育実践論（初等）	いずれか 2
			子ども教育史Ⅰ・Ⅱ、教育学概論Ⅰ・Ⅱ、教育人間学Ⅰ・Ⅱ、授業心理学、教室の心理学	いずれか 2
			探求ゼミ（算数・数学）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、探求ゼミ（理科）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、小学校プログラミング教育	いずれか 2
			防災・安全教育（初等）、運動会実践演習 実践体験活動演習（小）Ⅰ・Ⅱ、おおたにキッズキャンパス演習（小）Ⅰ・Ⅱ	いずれか 2
			「教育の基礎的理解に関する科目」「教科に関する専門的事項」「大学が独自に設定する科目」で必要以上に修得した科目	2
	合計	2 単位	小計　③	14 単位以上

	免許法規定		本学開講科目	小学校
介護等体験	介護等の体験	小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者	**介護等体験**	受講終了の認定をします。

※履修方法は、必ずオリエンテーションで確認してください。

教育学科 幼児教育コース　幼稚園教諭一種免許状

【2025 年度以降入学生・2027 度以降編入学生適用】

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	免許法規定 科　目	最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
	日本国憲法	2	**現代総合科目：日本国憲法**	2
	体育	2	**教職科目　　：体育実技**	いずれか 1
			現代総合科目：スポーツと健康の科学 1・2、生涯スポーツレクリエーション活動、人間関係と身体表現	いずれか 2
	外国語コミュニケーション	2	**共通科目：英語 I**	2
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	**共通科目：ICT 入門**	2

免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	**教育原論（幼）**	2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		**教職入門（幼）**	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		**教育社会学（幼）**	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		**発達心理学（幼）**	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		**特別支援教育概論（幼）**	2
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		**保育カリキュラム論**	2
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	**教育方法論（幼）**	4
	幼児理解の理論及び方法		**子ども理解の理論と方法（教育相談を含む）**	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教育実習	5	**教育実習指導（幼）**	1
			教育実習（幼）	4
	教職実践演習	2	**教職実践演習（幼）**	2
	免許法規定合計単位数	21 単位	小計　①	25 単位

	免許法規定		最低修得単位数	本学開講科目	本学最低修得単位数
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	16	**幼児と健康**	1
		人間関係		**幼児と人間関係**	1
		環境		**幼児と環境**	1
		言葉		**幼児と言葉**	1
		表現		**幼児と表現A**	1
				幼児と表現B	1
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			**保育内容（健康）の理論と方法**	2
				保育内容（人間関係）の理論と方法	2
				保育内容（環境）の理論と方法	2
				保育内容（言葉）の理論と方法	2
				保育内容（表現）の理論と方法	2
	免許法規定合計単位数		16 単位	小計　②	16 単位

	免許法規定		本学開講科目	本学最低修得単位数
	科　　目	最低修得単位数	**選択科目**	
大学が独自に設定する科目	大学が独自に設定する科目	14	**仏教と教育（初等）**	2
			部落史論　反カースト運動論 **アイヌ民族と共に　障害者・病者と共に生きる**	いずれか 2
			こども教育史Ⅰ・Ⅱ　教育学概論Ⅰ・Ⅱ **教育人間学Ⅰ・Ⅱ** **障害のある子どもたち（初等）** **特別支援教育実践論（初等）** **授業心理学　教室の心理学** **防災・安全教育（初等）**	いずれか 2
			実践体験活動演習（幼）Ⅰ・Ⅱ **運動会実践演習　おおたに子育て支援演習**	いずれか 5
			児童文化　音楽理論 **「大学が独自に設定する科目」で必要以上に修得した科目**	いずれか 4
	免許法規定合計単位数	14 単位	小計　③	15 単位

[10] 学びのサポート

(1) 教職支援センター

教員をめざす学生を支援するために、「教職支援センター」を設置しています。教職支援センターでは、中等科・初等科の教員免許状取得のための単位修得方法や履修計画に関する相談、教職に関する各種説明会の案内、介護等体験や教育実習などに向けた事前・事後指導、さらに教職について教職経験豊かな教職アドバイザーに相談することもできます。また、小学校・中学校・高等学校の教科書や参考書、指導要領、教員採用試験に向けたハンドブックや過去問題、参考書などを設置した資料室もあり、第１学年から積極的に利用して勉強し、困った事があれば、ぜひ、窓口で相談してください。

教職をめざす学生にとって、第１学年より参加できる「学校ボランティア」、第２～３学年では「介護等体験」、第３～４学年では「教育実習」「教員採用試験」など、さまざまな課題、体験、実習があります。初めてのことでわからない事や困った事が生じると思います。その際にも教職支援センターを存分に活用してください。

開室時間	月曜～金曜　9：00 ～ 13：00　14：00 ～ 17：00
場　　所	４号館１階
教職アドバイザー在室時間	月曜～金曜　10：30 ～ 13：00　14：00 ～ 17：00

※上記、開室ならびに教職アドバイザー在室時間は大学事務休止日を除く
※教育学部教育学科幼児教育コースの学生については、主に教務課にて対応しています。

(2) 実習支援センターおよび実習支援センター分室

教育学部教育学科幼児教育コースで幼稚園教諭ならびに保育士を目指す学生を支援するために、「実習支援センター」および「実習支援センター分室」を設置しています。教員免許状ならびに保育士資格取得のための単位修得方法や履修計画に関する相談については、併設する教務課窓口にて行っていますが、各種説明会の案内や実習配当発表等は実習支援センターもしくは実習支援センター分室内の掲示板等で行います。

実習支援センターおよび実習支援センター分室では、「実践体験活動演習」や「教育実習」、「保育実習」についての事前学習ができるよう、実習先である社会福祉施設や幼稚園、保育所等の資料や学習用書籍を整え、実習に関する質問等にも応えています。

また、社会福祉施設や幼稚園、保育所でのボランティア募集に関する情報等も掲示していますので、大いに活用してください。

＊実習支援センター

開室時間	月曜～金曜　9：00 ～ 13：00　14：00 ～ 17：00
場　　所	慶聞館１階

＊実習支援センター分室

開室時間	月曜～金曜　9：00 ～ 13：00　14：00 ～ 17：00
場　　所	２号館１階

※上記、開室時間は大学事務休止日を除く

[11] 学校ボランティア

本学では、教育実習を有意義なものにするため、また教職への自己の適性を知る機会として教育実習参加年度までに学校ボランティアに参加することを薦めています。教育現場を体験することや教員の仕事に触れることで、生徒の指導方法や生徒との触れ合い方等を直に学ぶことができます。また、教育現場で生

徒と接することにより、自らの気づかなかった資質や能力を発見することができ、教育職員という職業への自らの適性を知る絶好の機会にもなります。教職を目指す学生諸君で意欲、興味のある方はぜひ参加してください。

なお、本学では、京都市教育委員会ならびに京都府教育委員会と包括協定を締結し、滋賀県ならびに草津市教育委員会とボランティアについての覚書を交わしています。

（1）対象者

将来教職に就くため、現在教職課程を履修中の学部在学生・大学院在学生

（2）対象学校・園について

京都市立学校・幼稚園、京都府下市町村立学校・幼稚園（各教育庁管内）

滋賀県下の小中学校（一部地域を除く）、草津市立幼稚園

※その他幼稚園や学校地域への実習についても相談に応じています。

（3）活動内容について

① 学級担任・教科指導の補助・学校行事・部活動・校外活動・園外活動の補助

② 特別な教育的支援が必要な児童・生徒への補助、障害のある児童・生徒の学習、学校生活への支援

③ 外国人園児・児童・生徒等の学校生活における相談・コミュニケーション支援・通訳

④ 放課後における子どもの学習相談・遊び・図書の読み聞かせ・図書館運営補助

（4）申込み手続きについて

オリエンテーション期間中の教職課程ガイダンスや説明会、その他履修カルテ記入説明会等でも伝えます。また、教職支援センターで個別相談を受け付けます。履修状況や交通経路を相談の上、学校ボランティア参加に関して調整・面談も適宜実施します。

ボランティア保険料やボランティア先への交通費は各自負担となります。

※その他、各教育委員会が主催している「教師塾」等については、個別説明会が実施されることがあります。４号館掲示板等で確認してください。また、「教師塾」等への参加要件が設定されている場合もありますので、なるべく第１学年のうちから、積極的に説明会に参加して情報を得てください。

また、本学は京都府教育委員会の「教育養成サポートセミナー」連携大学です。サポートセミナーの参加申込は第３学年春のオリエンテーション期間中に行います。詳細は教職支援センターで確認してください。

[12] 教育職員免許状申請の説明会について

本学では免許状授与権者である京都府教育委員会に一括申請し、卒業式当日に免許状を渡すことができるように取り扱います。10 月～11 月上旬に説明会を開催しますので、申請を希望する人は必ず出席し所定の手続きを行ってください。該当者、日程等の詳細は掲示板にて連絡します。

[13] 編入生等の教職課程履修について

（1）短期大学卒業者

前身短期大学が教職の課程認定を得ていることを前提に、本人の申請により「教育職員免許法施行規則第 66 条の６に定める科目」・「教育の基礎的理解に関する科目」等の一部を教職課程履修上の科目・単位として認定することがあります。ただし、個々に事情が異なりますので、４月のオリエンテーション期間中に必ず教職支援センター（幼稚園免許状取得希望者は教務課）へ相談・申請手続きに必ず来てください。その上で個別履修方法が異なりますので、余裕をもって相談に来てください。

（2）四年制大学卒業者

前身大学が教職の課程認定を得ていることを前提に、不足科目を履修することになります。ただし、前身大学で教育実習を終えていなければ、本学の実習参加要件を満たすよう本学開講科目を履修しなければなりません。前身大学で教員免許状申請用の「学力に関する証明書」を発行してもらい、４月のオリエン

テーション期間中に、教職支援センターへ必ず相談に来てください。
免許状の追加取得についても相談に来てください。

［14］大学院生の教職課程履修（一種免許状取得）について

教職課程一種免許状の所要科目・単位を満たさず本学もしくは他大学を卒業し、本学大学院に入学した場合には、学部科目等履修生として不足科目・単位を充足することができます。ただし、前身大学が他大学の場合は、前身大学で教員免許状申請用の学力に関する証明書を発行してもらい、４月のオリエンテーション期間中に教職支援センターへ必ず相談に来てください。場合によっては、本学にて履修できない場合や、本学開講科目を取り直す場合もあります。

① 取得できる一種免許状は、卒業した学科・分野に開設されている教科を原則とします。ただし、本学にて開講されていない免許教科の単位は修得できません。
② 社会系列（中学社会・高校地理歴史・高校公民）については、一人についてこの３教科の免許状を同時取得することを認めます。前述「［２］留意事項」の（２）を参照してください。
③ 大学院修士課程に開講されている専修免許状の科目との同時履修が可能です。ただし、専修免許状を取得できるのは、専修免許状と同じ科目の一種免許状を取得した（または必要な単位を修得した）時点になります。専修免許状については、大学院の「Ⅱ．資格の取得　１．教職課程」を参照してください。
④ 「教科に関する専門的事項」は、全て学部の時間割コードで聴講登録してください。学部と大学院にて同じ授業を異なった科目名称で開講している場合、大学院のコードで聴講登録をすると、一種免許状の「教科に関する専門的事項」とすることができません。
⑤ 前身大学で『教育実習』を終えておらず、かつ本学で『教育実習』の受講を希望する場合、実習参加前年度末までに本学の実習参加要件の充足（「［８］教育実習参加基礎資格」の①は除く）が必要です。「［８］教育実習参加基礎資格」の③に掲げる科目は全て本学開講科目を履修しなければなりません。ただし、（ア）の「教育職員免許法施行規則第 66 条の６に定める科目」については前身大学のものを使用可能とします。
⑥ 大学院入学時点から教職課程の履修を開始した場合、２年間で免許状取得に必要な単位を満たすことは困難です。
⑦ 小学校一種免許状の単位取得については、教育・心理学専攻でのみ認められます。ただし、大学院入学後に履修を開始した場合、２年間での免許取得は不可能です。大学院修了後の科目等履修等が必要となります。

［15］科目等履修生の履修について

教職課程一種免許状の所要科目・単位を満たさず本学を卒業した場合には、学部科目等履修生として出願、合格した上で不足科目・単位を充足することができます。なお、科目等履修生で教職課程を履修できるのは、本学卒業生のみとなっていますので留意してください。
詳しくは、教職支援センターへ相談に来てください。

［16］法改正に伴う科目の読み替えについて

在学中に法改正が行われ、学部卒業までに免許の所要資格を満たさなかった場合、科目の追加履修が必要な場合があります。入学年度や履修状況により異なりますので、大学院生、科目等履修生、編入学生は聴講登録前に教職支援センターで履修相談を受けてください。

2. 保育士養成課程

この課程は、「児童福祉法」に基づき、厚生労働省の認定を受けて、保育所とその他の児童福祉施設で活躍できる保育士の資格取得に必要な単位が修得できるよう開設しているものです。専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する支援に携わります。

［1］保育士の資格

本学教育学部教育学科幼児教育コースは、「厚生労働大臣の指定する保育士を養成する学校」の一つとなっています。したがって、教育学科幼児教育コースを卒業し、所定の単位を取得すれば保育士資格の取得に必要な単位が修得できます。

［2］留意事項

①この課程に必要な教科目の多くは、卒業所要科目と幼稚園教諭免許に関する科目をもって充当できますが、４年間で資格が取得できるように、登録できる科目は早めに登録、履修してください。
なお、原則として授業に出ることが通常であるため、その上で評価されます。（補講や補習についても同様です。）

②この課程を履修しようとする人は、聴講登録期間中に他の卒業所要科目等と同様に、聴講登録を行い、１回目の授業から出席してください。登録は各自の責任で行い、履修状況は必要単位を全て修得するまで各自で管理してください。教務課では、一切責任を持ちません。

③保育士資格を取得するためには、現場である保育所と児童福祉施設での実習が必修となっています。詳しくは、保育士養成課程の履修説明会等で説明しますので、必ず出席して指導を受けてください。

［3］履修すべき科目・単位

児童福祉法施行規則第６条の２の３第１項第３号に基づき定められた「児童福祉法施行規則第６条の２の３第１項第３号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法」

【2025 年度以降入学生・2027 年度以降編入学生適用】

A．教養科目

法定基準			本学開講科目	
系列	教科目	単位数	教科目	単位数
教養科目	外国語	２単位以上	**英語Ⅰ**	４単位以上
	体育（講義）	１単位	**スポーツと健康の科学１**	いずれか２単位必修
			スポーツと健康の科学２	
			生涯スポーツ・レクリエーション活動	
			人間関係と身体表現	
	体育（実技）	１単位	**体育実技１**	いずれか１単位必修
			体育実技２	
			体育実技 11	
			体育実技 12	
	その他	６単位以上	**仏教と教育（初等）**	２単位必修
			ICT 入門	２単位必修
			日本国憲法１	いずれか２単位必修
			日本国憲法２	
			日本国憲法３	
合計		10 単位以上		13 単位以上

【2022 年度以降入学生・2024 年度以降編入学生適用】

B．必修科目

法定基準			本学開講科目	
系列	教科目	単位数	教科目	単位数
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	**保育原理Ⅰ**	2
	教育原理	2	**教育原論（幼）**	2
	子ども家庭福祉	2	**児童家庭福祉**	2
	社会福祉	2	**社会福祉**	2
	子ども家庭支援論	2	**子ども家庭支援論**	2
	社会的養護Ⅰ	2	**社会的養護**	2
	保育者論	2	**教職入門（幼）**	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	**発達心理学（幼）**	2
	子ども家庭支援の心理学	2	**子ども家庭支援の心理学**	2
	子どもの理解と援助	1	**子ども理解の理論と方法（教育相談を含む）**	2
	子どもの保健	2	**子どもの保健**	2
	子どもの食と栄養	2	**子どもの食と栄養**	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	**保育カリキュラム論**	2
	保育内容総論	1	**保育内容総論**	2
	保育内容演習	5	**保育内容（健康）の理論と方法**	2
			保育内容（人間関係）の理論と方法	2
			保育内容（環境）の理論と方法	2
			保育内容（言葉）の理論と方法	2
			保育内容（表現）の理論と方法	2
	保育内容の理解と方法	4	**幼児と健康**	1
			幼児と人間関係	1
			幼児と環境	1
			幼児と言葉	1
			幼児と表現 A	1
			幼児と表現 B	1
	乳児保育Ⅰ	2	**乳児保育Ⅰ**	2
	乳児保育Ⅱ	1	**乳児保育Ⅱ**	2
	子どもの健康と安全	1	**子どもの健康と安全**	2
	障害児保育	2	**障害児保育**	2
	社会的養護Ⅱ	1	**社会的養護演習**	2
	子育て支援	1	**おおたに子育て支援演習**	1
保育実習	保育実習Ⅰ	4	**保育実習Ⅰ**	4
	保育実習指導Ⅰ	2	**保育実習指導Ⅰ**	2
総合演習	保育実践演習	2	**教職実践演習（幼）**	2
合　　計		51 単位以上		63 単位

【2022 年度以降入学生・2024 年度以降編入学生適用】

C．選択必修科目

法定基準			本学開講科目	
系列	教科目	単位数	教科目	単位数
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定	開講科目の合計 6 単位以上	**保育原理Ⅱ**	いずれか 6 単位必修
保育の対象の理解に関する科目			**青年心理学**	
保育の内容・方法に関する科目			**児童文化**	
			言語表現	
			幼児音楽Ⅰ	
			幼児音楽Ⅱ	
			幼児音楽Ⅲ	
			図画工作Ⅰ	
			図画工作Ⅱ	
			相談援助	
保育実習	保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ	いずれか 3 単位以上	**保育実習Ⅱ** **保育実習指導Ⅱ**	いずれか 3 単位必修
	保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ		**保育実習Ⅲ** **保育実習指導Ⅲ**	
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている科目			**アイヌ民族と共に**	いずれか 2 単位必修
			障害者・病者と共に生きる	
			反カースト運動論	
			部落史論 1	
			部落史論 2	
合　　計		9 単位以上		11 単位以上

［4］保育実習Ⅰ

『保育実習Ⅰ』は、「保育所」と「保育所を除くその他の児童福祉施設」の両方の実習が必要です。それぞれの実習時期は、第２学年の２～３月に「保育所」で、第３学年の夏期休暇に「保育所を除くその他の児童福祉施設」で実施します。大学において得た保育士としての必要な職務全般の知識や技能を、体験的に学修することを主たる目的としています。

A.『保育実習Ⅰ』参加のための基礎資格

保育実習Ⅰへの参加にあたっては、第１学年の後期末までに「保育実習Ⅰ参加基礎資格」の科目を修得済みでなければならない等、所定要件の充足が必要です。「［8］保育実習参加基礎資格」を熟読してください。すなわち、受講登録しただけでは保育実習Ⅰには参加できません。

B．実習施設について

『保育実習Ⅰ』は、「保育所」と「保育所を除くその他の児童福祉施設」のいずれも、原則すべて大学が斡旋します。決定次第、掲示にて発表します。

C.『保育実習Ⅰ』受講登録と諸手続

『保育実習Ⅰ』に関する手続は、『保育実習Ⅰ』担当教員及び教務課の指示に従ってください。また、実習費が必要です。

［5］保育実習Ⅱ・Ⅲ

『保育実習Ⅱ』は、「保育所」、『保育実習Ⅲ』は「保育所を除くその他の児童福祉施設」で行われる選択必修科目の実習ですので、どちらか一方の科目を第３学年時に履修することが必要です。ただし、昨今の状況から「保育所を除くその他の児童福祉施設」における実習園確保は非常に難しくなってきておりますので、本学では、『保育実習Ⅱ』を履修することを中心としていきます。

A.『保育実習Ⅱ』・『保育実習Ⅲ』参加のための基礎資格

保育実習Ⅱ（またはⅢ）への参加にあたっては、第２学年の後期末までに「保育実習Ⅱ・Ⅲ参加基礎資格」の科目を修得済みでなければならない等､所定要件の充足が必要です。「［8］保育実習参加基礎資格」を熟読してください。すなわち、受講登録しただけでは保育実習Ⅱ（またはⅢ）には参加できません。

B．実習施設について

『保育実習Ⅱ』・『保育実習Ⅲ』は、原則すべて大学が斡旋します。（自己開拓の可能性あり。）決定次第、掲示にて発表します。

C.『保育実習Ⅱ』・『保育実習Ⅲ』受講登録と諸手続

『保育実習Ⅱ（またはⅢ）』に関する手続は､『保育実習Ⅱ（またはⅢ）』担当教員及び教務課の指示に従ってください。また、各実習において実習費が必要です。

［6］保育士養成課程スケジュール

※詳細は、1. 教職課程［6］教職課程スケジュール･留意事項の「（3）初等科　教育学科幼児教育コース」にある一覧表を確認すること。

〔第１学年〕

４月上旬 オリエンテーション期間 ～聴講登録期間	**「教職課程（幼稚園）・保育士課程（保育心理士含む）ガイダンス」開催** ※必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出 聴講登録とあわせて、**「保育士１次登録」（登録料の納入･UNIPA 資格登録）**を行ってください。
９月下旬	**「教職課程（幼稚園）・保育士課程履修カルテ記入説明会」開催**
３月中旬	**保育実習Ⅰ参加許可者発表**

〔第２学年〕

３月下旬～４月上旬 オリエンテーション期間 ～聴講登録期間	**「教職課程（幼稚園）・保育士課程履修カルテ記入説明会」開催** 聴講登録とあわせて、**「保育士２次登録（幼稚園１次登録）」（登録料の納入･UNIPA 資格登録）**を行ってください。
９月下旬	**「教職課程（幼稚園）・保育士課程履修カルテ記入説明会」開催**
11 月上旬	**「保育実習Ⅰ（保育所）説明会」開催** ※必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出
12 月上旬	**保育実習Ⅰ（保育所）配当発表** 12 月～１月に実習園でのオリエンテーション実施
２～３月中旬	**『保育実習Ⅰ（保育所）』実施**
３月中旬	**保育実習Ⅱ（またはⅢ）参加許可者発表** （幼稚園実習参加許可者発表）

〔第３学年〕

３月下旬～４月上旬 オリエンテーション期間 ～聴講登録期間	**「教職課程（幼稚園）・保育士課程履修カルテ記入説明会」開催** ※必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出
４月下旬	**「保育実習Ⅰ（施設）・保育実習Ⅱ（保育所）または保育実習Ⅲ（施設）説明会」開催** **「保育実習３次登録」（登録料の納入）**を行ってください。 ※必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出
６月上旬～中旬	**保育実習Ⅰ（施設）配当発表** ６月下旬～７月に実習施設でのオリエンテーション実施 **保育実習Ⅱ（保育所）または保育実習Ⅲ（施設）配当発表** ７月～８月に実習園でのオリエンテーション実施
８月 夏期休暇中	**『保育実習Ⅰ（施設）』実施** 実習先によって、８月前半または後半の期間に分かれて実施
９月上旬 後期授業開始前	**『保育実習Ⅱ（保育所）』または『保育実習Ⅲ（施設）』実施** ※保育実習Ⅲについては、原則この期間に実施するが、受入先施設の都合によっては、この限りではない。
９月下旬	**「教職課程（幼稚園）・保育士課程履修カルテ記入説明会」開催**

〔第４学年〕

３月下旬～４月上旬 オリエンテーション期間 ～聴講登録期間	**「教職課程（幼稚園）・保育士課程履修カルテ記入説明会」開催** 聴講登録とあわせて、**保育士資格の取得見込みがあるか確認してください。**
10月下旬～11月上旬	**「教員免許状一括申請説明会・保育士登録申請説明会」開催** ※必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出
２月下旬	**卒業許可者・保育士資格合格者発表**

※開催時期は変更することがありますので、随時掲示板を確認すること。

［7］保育実習費（登録料）

保育実習を行うためには、科目の登録・履修・修得のほか、以下の実習費及び登録料が必要となります。

また、実習費以外にも、麻疹・風疹抗体検査や腸内細菌検査（検便）にかかる手数料が別途必要となります。詳細については、説明会等で指示しますので、必ず出席してください。

	実習期間	一次登録	二次登録	三次登録	計
保育実習 （Ⅰ・Ⅱ（Ⅲ））	保育所　２週間	3,000 円	32,000 円 (委託費含む)	16,000 円 (委託費含む)	51,000 円
	施　設　２週間				
	保育所　２週間 （施　設　２週間）				

［8］保育実習参加のための基礎資格

保育実習参加のためには、「［4］保育実習Ⅰ、［5］保育実習Ⅱ・Ⅲ」で掲げた手続きのほか、以下に掲げる要件と科目・単位を修得済みでなくてはなりません。

（1）保育実習参加基礎資格

①実習参加前年度末（保育実習Ⅰの場合は第１学年末、保育実習Ⅱ（またはⅢ）の場合は第２学年末）に、「保育実習参加のための基礎資格（Ａ～Ｂ）」の科目・単位を全て修得済みであること。（※１）

②保育現場に出る強い意志を持ち、保育実習の受講を望む者であること。

③最終学年時の受講者については、実習参加年度前期に卒業見込み並びに資格取得見込みがあること。

（2）保育実習参加基礎資格が無い場合

保育実習参加前年度末までに、上記の保育実習参加基礎資格が得られないと判明した時点（※２）で至急教務課まで申し出てください。

再度実習を希望する場合は、再度登録を行い、各種説明会（※３）や提出書類、事前指導等も全て受けていただくことになりますので、ご留意ください。

※１　「実習指導」の出席状況によっては、実習に参加できない場合があるため、留意すること。

※２　前期のみの開講科目を保育実習前年度前期に修得できなかった場合は、前期成績を確認した時点で至急教務課まで申し出ること。

※３　保育実習年度により説明会等の日程は異なります。各自が掲示板等で責任を持って確認すること。

Ａ．保育実習Ⅰ（保育所）参加のための基礎資格

【2022 年度以降入学生・2024 年度以降編入学生適用】

（ア）保育の本質・目的に関する科目

科　目　名	単位数	合計
保育原理Ⅰ	2	６単位
児童家庭福祉	2	
教職入門（幼）	2	

（イ）保育の対象の理解に関する科目

科　目　名	単位数	合計
発達心理学（幼）	2	６単位
子どもの保健	2	
子どもの食と栄養	2	

（ウ）保育の内容・方法に関する科目

科　目　名	単位数	合計
児童文化	2	４単位
図画工作Ⅰ	2	

B．保育実習Ⅱ（保育所）またはⅢ（施設）参加のための基礎資格

【2025 年度以降入学生・2027 年度以降編入学生適用】

（ア）教養科目

科　目　名	単位数	合計
学科専門科目：**仏教と教育（初等）**	2	１１単位
現代総合科目（キャリア形成系）：**日本国憲法**	2	
教職科目：**体育実技**	いずれか１	
現代総合科目（自然生命系）：**スポーツと健康の科学１・２** **人間関係と身体表現** **生涯スポーツ・レクリエーション活動**	いずれか２	
共通科目：**英語Ⅰ**	2	
共通科目：**ICT 入門**	2	

（イ）保育の本質・目的に関する科目

科　目　名	単位数	合計
教育原論（幼）	2	４単位
社会的養護	2	

（ウ）保育の内容・方法に関する科目

科　目　名	単位数	合計
保育内容（環境）の理論と方法	2	１４単位
幼児と環境	1	
幼児と人間関係	1	
乳児保育Ⅰ	2	
乳児保育Ⅱ	2	
子どもの健康と安全	2	
幼児音楽Ⅰ	2	
図画工作Ⅱ	2	

［9］保育士申請手続

保育士証は大学が発行するものではありません。保育士養成課程の単位を修得した人は、都道府県の保育士登録簿に登録しなければ保育士の名称を使用することができません。申請書類を都道府県知事が審査して保育士となる資格を有すると認めた者は、保育士登録が決定し、登録事務処理センターから保育士証が送付されます。

「教育職員免許状（幼）申請説明会」（第４学年１０月下旬～１１月上旬に開催）とあわせて「保育士登録申請説明会」を開催しますので、必ず出席し所定の手続きを行ってください。

［10］科目等履修生制度

保育士養成課程で必要な単位を修得できなかった本学教育学部教育学科幼児教育コース卒業生に対して、科目等履修生制度を設けています。出願に際しては、条件等がありますので注意してください。また、科目等履修生として特に、『保育実習Ⅰ』、『保育実習Ⅱ』（または『保育実習Ⅲ』）の受講を希望する場合は、出願時に教務課に相談してください。科目等履修生の願書受付は、教務課で行っています。

3. 大谷保育協会保育心理士課程

［1］保育心理士（二種）の資格

保育心理士は、子どもたちや子育て中の保護者のこころの問題に取り組むための、専門知識と実践の技術を身に着けた保育者に与えられる、公益社団法人大谷保育協会の認定資格です。

子どもたちや子育て中の保護者のこころの問題に取り組むための、専門知識と実践の技術を身に着けていきます。

［2］履修すべき科目・単位

保育士資格を取得することが前提であり、教育学部教育学科幼児教育コースに在籍し、保育士養成課程を履修することのできる学生でなければなりません。教育学部教育学科幼児教育コースの学生で保育心理士（二種）の資格を取得しようとする学生は、卒業に必要な単位に加えて、保育士資格および下表に定める所定の単位を修得することで、資格を取得できます。

保育心理士（二種）資格科目

【2022 年度以降入学生・2024 年度以降編入学生適用】

分野	科目名例	時間数	本学開講科目	単位数
人間学に関する科目	保育人間学・保育社会学	10 時間以上	**仏教と教育（初等）**	2
			（子ども家庭支援論）	-
心理学に関する科目	保育心理・発達心理学	10 時間以上	**発達心理学（幼）**	2
			子ども理解の理論と方法（教育相談を含む）	2
	臨床心理学	10 時間以上	**臨床心理学**	2
	障害児心理学	10 時間以上	**障害児保育**	2
			（子ども理解の理論と方法（教育相談を含む））	-
子ども支援に関する科目	保育心理演習	10 時間以上	**子ども家庭支援の心理学**	2
			社会的養護演習	2
	保育心理技法	10 時間以上	**こどもの描画分析**	2
保護者支援に関する科目	保育支援演習	10 時間以上	**子ども家庭支援論**	2
			おおたに子育て支援演習	1
医学に関する科目	子どもの心と身体	10 時間以上	**子どもの保健**	2
実習関連科目	保育心理実習	40 時間以上 実習 5 日以上	**保育心理士実習**	1
			保育心理士実習指導	1
			（社会的養護演習）	-

［3］留意事項

・保育心理士（一種）の資格取得には、保育・教育の現場における５年以上の経験が必要となりますが、保育心理士（二種）の資格を取得後、保育・教育の現場における３年以上の経験を積むことで、申請により保育心理士（一種）の資格取得も可能です。
・保育心理士の資格は有効期限が５年であり、更新することが必要となります。
※有効期限後も保育心理士（一種）への申請は可能です。

［4］履修方法

①これらの科目の多くは、卒業所要科目と保育士資格に関する科目をもって充当できます。
②保育心理士を取得するためには、現場である保育所、幼稚園での実習が必須となっています。
③この課程を履修する場合は、聴講登録期間中にほかの卒業所要科目等と同様に聴講登録し、その履修状況については各自で自己管理してください。

［5］保育心理士実習

A．『保育心理士実習』参加のための基礎資格

保育心理士実習への参加にあたっては、第３学年の後期末までに以下の「保育心理士実習参加基礎資格」の科目を修得済みであることに加えて、第４学年前期の時点で、**保育士資格の取得見込みがあること**等、所定用件の充足が必要です。すなわち、受講登録しただけでは保育心理士実習には参加できません。

【2022 年度以降入学生・2024 年度以降編入学生適用】

科　目　名	単位数	合計
学科科目：教育人間学Ⅰ 教育人間学Ⅱ	いずれか２	１３単位
保育心理士科目：臨床心理学	2	
保育士科目：保育実習指導Ⅰ	2	
保育士科目：保育実習Ⅰ	4	
保育士科目：保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ	いずれか１	
保育士科目：保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	いずれか２	

B．実習施設について

『保育心理士実習』は、原則すべて大学が斡旋します。決定次第、掲示にて発表します。

C．『保育心理士実習』受講登録と諸手続き

『保育心理士実習』に関する手続は、『保育心理士実習』担当教員及び教務課の指示に従ってください。また、実習費〔10,000 円〕が、必要となります。

＜第３学年＞ １０月中 教務課に実習参加意思表示	**「保育心理士実習」受講前年度に教務課に実習に参加する旨の意思表示を行ってください。** 教務課にて必要書類配付 ※必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出
＜第４学年＞ ４月初旬 オリエンテーション期間	**「保育心理士実習説明会」開催** 必要書類配付 ※必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出
４月登録期間中 聴　講　登　録	他の授業科目等と同様に 「保育心理士実習指導」「保育心理士実習」を聴講登録してください。
６月上旬～中旬	**保育心理士実習配当発表** ６月下旬～７月に実習園でのオリエンテーション実施
８月・９月 夏期休暇中　１週間	**『保育心理士実習』実施**
１０月下旬～１１月上旬	**「保育心理士（二種）登録申請説明会」開催** 必要書類配付 ※必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出
２月中旬	**卒業許可者・保育心理士資格合格者発表**

※開催時期は変更することがありますので、随時掲示板を確認すること。
※実習の時期に関しては、８月・９月の夏期休暇中を基本とするが、10 月以降に実施する場合もある。

［6］認定申請手続き

保育心理士の資格は、公益社団法人大谷保育協会より授与されます。大学が発行・授与するものではありません。保育心理士の認定申請は､大学にて取りまとめて公益社団法人大谷保育協会へ手続きを行います。**卒業年次の後期に認定申請説明会を行いますので、必ず参加してください。**説明会の日程は別途掲示にてお知らせします。（前期卒業予定者で認定申請を希望する場合は、教務課まで申し出てください。）

★認定申請時に必要な提出物

・保育心理士（二種）指定科目履修見込み証明書
・保育心理士（二種）認定申請書
・証明写真（運転免許証サイズ）
・申請手数料（認定料＋事務手数料）

★認定手続き料および年会費

保育心理士は資格を取得すると、自動的に「保育心理士会」の会員となり、入会金及び年会費を納付する必要があります（入会金は資格認定料の中に含まれています）。

保育心理士会は、「保育心理士の育成及び資質の向上」を目的として設置されており、「集会」、年４回発行される「会報」を通じて、会員の各種情報交換、事例研究の発表等を行い、会員相互の資質向上を努める会です。

認定料	事務手数料	合計
2,000 円	500 円	2,500 円

4. 学校図書館司書教諭課程

学校図書館司書教諭課程の履修は、小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭免許状取得予定の学生に限られます。

1997 年 3 月の学校図書館法改正により、2003 年 4 月 1 日以降、12 学級以上の学校には学校図書館司書教諭を必ず置くことが義務付けられています。

学校図書館司書教諭は、学校図書館を活用して教育指導全体のレベルアップを図るなど、教育活動という面での中核的な役割を担っており、小学校・中学校・高等学校等の図書館で専門的職務に従事する教員のことをいいます。

［1］学校図書館司書教諭課程の履修条件

学校図書館司書教諭の資格を有するためには、教育職員免許状を取得するとともに、「学校図書館司書教諭講習修了証書」を併せ持つ必要があります。そのため、本課程を受講する場合、原則として以下の条件を全て満たされていることが前提になります。

① 教員免許状（小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭）を取得予定であり、教育実習２次登録済であること。もしくは、すでに上記免許状を取得しているもの

② 第２学年以上に在籍しているもの、もしくは本課程履修許可が出た科目等履修生
※本課程を希望する科目等履修生は、事前に教職支援センターまで相談に来てください。

［2］履修すべき科目

以下の授業科目（5 科目 10 単位）全てを本学にて登録・履修・修得する必要があります。

	学校図書館司書教諭 講習規程科目	単位数	**本学開講科目**	単位数
必修科目	学校経営と学校図書館	2	**学校経営と学校図書館**	2
	学校図書館メディアの構成	2	**学校図書館メディアの構成**	2
	学習指導と学校図書館	2	**学習指導と学校図書館**	2
	読書と豊かな人間性	2	**読書と豊かな人間性**	2
	情報メディアの活用	2	**情報メディアの活用**	2

［3］履修方法

新年度オリエンテーション説明会（教職課程ガイダンス内で行います）にて詳細を説明します。必ず参加してください。

［4］学校図書館司書教諭講習修了証書に関する手続き方法

修了証書は大学を通じて一括申請を行います。申請希望者には OTANI UNIPA から手続き方法について連絡します。（申請希望者のうち、最終年次の学生については、２月下旬の卒業・修了予定者発表時に、それ以外の学生については、３月中旬の進級許可者発表時に学校図書館司書教諭資格合格者（一括申請対象者）の発表を行います。）なお、申請時には申請手数料の他に事務手数料が必要です。

申請後、文部科学省より「修了証書」が本人へ交付されるまでには約１年間かかります。第３学年までに［2］履修すべき科目の全てを修得し、第４学年のオリエンテーション期間中に申請手続きを行った場合は、卒業・修了と同時に「修了証書」が交付されますが、最終年次の修得単位を含み卒業後に申請を行う場合は、卒業式日より約１年後に「修了証書」が交付されることになります。

5. 博物館学課程

この課程において、博物館法の規定に従って開講されている所定の単位を修得し、卒業が認定されれば、公立・私立博物館等で活躍する学芸員の資格を取得することができます。

本学の学芸員課程の特徴

・本課程での学びを通じ、学芸員として必要な専門的な知識・技術の基礎を身に付ける。
・「古文書解読法」を修得し、基本的な古文書の読解ができ、また取り扱いに精通する。
・特に仏教文化財に力点をおいた博物館資料の基礎的な知識と取扱法を修得する。
・大谷大学博物館で自ら企画・運営・展示・教育普及を担当する実習生展を行う。
・学外の博物館で実施される館園実習により、博物館業務全般を学ぶ。

［1］学芸員の基礎資格・最低修得単位数

学芸員の資格を得ようとする人は、博物館法に定められた科目に基づいて、大学が定めた必修科目及び選択科目を履修しなければなりません。（博物館法第５条第１項第１号、博物館法施行規則第１条、博物館法施行規則附則）

法定科目・本学開講科目については**［3］履修すべき科目・単位**参照。

［2］履修方法及び履修上の注意

・「古文書解読法」は歴史学科の「古文書演習１・２」、「古文書学概論１・２」とは異なる科目です。歴史学科の実践研究にある「古文書解読法１・２」のいずれか１科目を履修してください。
・「古文書解読法１・２」は同一年度に両方を履修することはできません。
・「古文書解読法１・２」「博物館実習Ⅰ」は通年科目で、前期にしか登録できませんので注意してください。
・この課程に関する科目はすべて、所定の聴講登録期間中に登録してください。
・「博物館実習Ⅱ」を受講する場合は、聴講登録とは別に登録手続きが必要です。主な手順は後述しますが、詳しくは４月のオリエンテーション期間中の説明会で確認してください。
・歴史学科や文学科、現代総合科目で開講されている科目は、卒業単位に含まれますが、博物館学課程に開講されている科目は卒業単位に含まれないため、注意してください。

［3］履修すべき科目・単位

［2018 年度以降入学生・2020 年度以降編入学生適用］

学芸員となる資格を得るためには、次の表の必修科目に掲げる全科目、及び選択科目のＡ・Ｂ群のそれぞれ所要の単位数を履修し、単位を修得しなければなりません。

	法定科目名	単位数	本学開講科目	単位数	開講区分	備　　考
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ	2	博物館学課程	社教･図書館学課程と共通。 Ⅰ・Ⅱいずれか２単位必修
	博物館概論	2	博物館概論	2	歴史学科	
	博物館資料論	2	博物館資料論	2		
	博物館資料保存論	2	文化財保存科学論	2		
	博物館経営論	2	博物館経営論	2	博物館学課程	
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2		
	博物館展示論	2	博物館展示論	2	歴史学科	
	博物館教育論	2	博物館教育論	2		
	博物館実習	3	博物館実習Ⅰ	2	博物館学課程	(学内実習)
			博物館実習Ⅱ	1		(学外実習)
			展示実習	2	歴史学科	(実習生展)
			古文書解読法１ 古文書解読法２	4		１・２いずれか４単位必修
選択科目 A群	日本文化史１		日本仏教史	2	歴史学科	A 群から４単位 合計８単位 B 群から４単位
	日本文化史２		日本文学史１	2	文学科	
	日本文化史３		日本文学史２	2		
	中国文化史１		中国仏教史	2	歴史学科	
	中国文化史２		中国文献学１	2	文学科	
	中国文化史３		中国文献学２	2		
	文化交流史		文化交流史	2	歴史学科	
	文化人類学１		人と文化	2	現代総合(歴史文化系)	
	文化人類学２		人と宗教	2		
B群	美術史		美術史１	2	歴史学科	
			美術史２	2		
	考古学		考古学１	2		
			考古学２	2		
	日本民俗学		日本民俗学	2		
	古文書学		古文書演習１	2		
			古文書演習２	2		

◎年度によって、基準科目に対する開講科目は変わることがあります。
何年度に、何のために、どの科目を履修したか、各自で管理してください。

［4］履修方法及び履修上の注意

（1）履修上の注意

※入学・編入学年度によって、履修しなければならない科目が異なりますので、注意してください。
　履修すべき科目は、各自の入学年度の適用を確認してください。

① 学芸員資格を取得するためには、最短でも第２学年から第４学年の３年間を必要とします。科目によっては、第１学年より履修できる科目もあります。

② 「古文書解読法」は第２学年までに修得しなければ、第４学年での資格取得が不可能となりますので、注意してください。

③ 「博物館実習Ⅰ」は第３学年必修。ただし、「古文書解読法」を修得した人しか受講できません。

④ 「博物館実習Ⅱ」は第４学年必修。ただし、「博物館実習Ⅱ」「展示実習」以外の博物館学課程の必修・選択とも最低修得単位数以上を修得し、卒業見込（既卒業を含む）を有している人しか受講できません。

（2）編入学生の履修上の注意

① 編入学生は、編入学年度適用の科目を参照の上、「博物館実習Ⅱ」「展示実習」以外のすべての科目を履修し、第３・４学年の２年間で資格を取得することができます。（各自の学科・コースの必修科目と時間割が重複する場合は、その限りではありません。）ただし、「古文書解読法」を履修しないで「博物館実習Ⅰ」のみを先に履修することは、許可されていません。

② 「博物館実習Ⅱ」は第４学年必修。ただし、「博物館実習Ⅱ」「展示実習」以外のすべての科目を修得し、第４学年進級者しか受講できません。
　※４年生大学を卒業して編入した人（学士の学位を有する人）についてもこれを適用します。

③ 出身大学の修得単位については、出身大学において学芸員資格の単位修得証明書を発行してもらい、法定科目との対象関係がわかる資料（履修要項等のコピー）と併せて、聴講登録期間までに教職支援センターへ提出してください。単位計算した後、不足科目（単位）について履修します。（法定科目のうち必修科目のみが単位計算の対象となります。大谷大学短期大学部の「古文書解読法」は単位計算の対象になりませんので、注意してください。ただし、法定基準科目のうち、2012 年度からの新課程に読み替え可能な単位のみ計算の対象となります。）

（3）大学院生・科目等履修生の履修上の注意

① 大学院生の場合、「博物館実習Ⅱ」「展示実習」以外のすべての科目を１年目で履修し、２年間ですべての単位を修得し、資格を取得することができます。（各自の専攻の必修科目と時間割が重複する場合は、その限りではありません。）ただし、「古文書解読法」を履修しないで「博物館実習Ⅰ」のみを先に履修することは、許可されていません。

② 科目等履修生の場合は、「博物館概論」・「博物館資料論」・「博物館経営論」・「博物館情報論」（旧課程を含む）に該当する科目を１科目以上履修している人に限りその受講が認められます。ただし本学出身者については、その限りではありません。
　この場合も、１年目で「博物館実習Ⅱ」「展示実習」以外のすべての科目を履修し、２年間ですべての単位を修得し、資格を取得することが可能です。
　ただし、学士の学位を有することが基礎資格なので、短期大学部を卒業して科目等履修生になった者が、博物館学課程で学芸員資格を受講することは認められません。

③ 大学院生・科目等履修生ともに、他大学で修得した単位については出身大学において学芸員資格の単位修得証明書を発行してもらい、法定科目との対象関係がわかる資料（履修要項等のコピー）と併せ

て、聴講登録期間までに教職支援センターへ提出してください。単位の計算後、不足科目（単位）について履修をします。また、出身大学において「博物館実習Ⅱ」以外の本学規定必修・選択科目及び単位に該当する科目・単位を履修したと認められる人は、初年度で「博物館実習Ⅱ」に参加し、資格の取得が可能です。

※ただし、前年度に博物館実習Ⅱ第１次（予備）登録を行っていなければ受講できません。

［5］博物館実習（実務実習・館園実習・見学実習）

① 実習費について

博物館実習では、「博物館実習Ⅰ」「博物館実習Ⅱ」で実習費を徴収します。

「博物館実習Ⅰ」…春秋合同見学会入館料、夏期フィールドワーク参加費

「博物館実習Ⅱ」…事前指導講師謝礼、実習参観費、実習委託費、教材費、印刷費、通信費等

※「博物館実習Ⅰ」は、各見学会等で徴収します。「博物館実習Ⅱ」は４月のオリエンテーション期間中の説明会で説明します。

② 「博物館実習Ⅱ」（学外での館園実習）

「博物館実習Ⅱ」では、これまで学内における講義及び実習等とは異なり、実際に博物館等においてその業務全般を研修するものです。指導については各受入博物館によって異なるため、内容・期間はそれぞれの館の事情もあり一律ではありません。また、本学で徴収する実習費以外に、実習館までの交通費や宿泊費、館によっては現地見学等の費用が別途かかることもあります。各実習館の指示にしたがってください。

実習費：20,000 円（2024 年度実績）

③ 実習生展（「展示実習」）

展示内容の企画から展示・解説、撤収までを実習生が担当する実習生展があります。会場は大谷大学博物館。秋季企画展に併催し行われます。展示までの日程は不定期ですので、注意してください。また、積極的な参加が必要となります。

[受講登録と諸手続]

年度始めの聴講登録とは別に「博物館実習Ⅰ」「博物館実習Ⅱ」**受講のための登録手続及び実習費の納入が必要です。**

また、実習館を個人開拓する場合、内諾のための手続が必要ですので注意してください。以下実習Ⅱに関して必要な手続の流れを記しておきます。

（前年度）５月～７月
第１次（予備）登録説明会

受講前年度（第３学年）に実施します。説明会時に配付の書類を指定期日に教職支援センターへ提出してください。
説明会は、受講前年度（第３学年）の博物館実習Ⅰの授業内で実施します。
ただし、受講前年度以前に博物館実習Ⅰを履修済みで、博物館実習Ⅰ・Ⅱの受講が連続した年度にならない場合は、博物館実習Ⅱの受講を希望する前年度の６月中に教職支援センターに来てください。

※受講希望者は全員出席してください。この手続をしないと館園実習に参加できないので注意してください。

（前年度）11 月～３月
実習受入れ受諾
（実習館個人開拓者のみ）

実習館を個人開拓する人は、実施前年度（第３学年）中に希望する館と内諾交渉し、所定の書類を教職支援センターへ提出してください。
（書類は教職支援センターにて交付）

３月下旬
参加許可者発表

掲示・情報提供システムにて発表します。

4月オリエンテーション期間
第２次登録説明会

許可者のみ説明会時に書類を受け取り、指定期日に教職支援センターへ実習費を添えて提出してください。

４月登録期間中
聴講登録

他の授業科目等と同様に「博物館実習Ⅱ」、「展示実習」を聴講登録してください。

６月上旬
事前ガイダンス

参加者全員出席してください。

※必要に応じて説明会等を行いますので、参加許可者は必ず出席の上確認してください。
※実習館の発表・期間その他の連絡は掲示にて行いますので常時注意してください。

［6］証明書

この課程の単位を修得した人には、卒業時に「学芸員資格証明書」を交付します。また、卒業後も申込みによって単位修得証明書を発行します。

［7］科目等履修生制度

この課程で必要な単位を修得できなかった卒業生に対して、本学では科目等履修生制度を設けています。科目等履修生の願書受付は、教務課で行います。
（ただし、「博物館実習Ⅱ」は実施前年度に第１次（予備）登録を行っていないと受講できません。）

6. 図書館学課程

この課程において、図書館法の規定に従って開講されている所定の単位を修得し、卒業が認定されれば、公共図書館・大学図書館で活躍できる図書館司書の資格を取得することができます。

［1］図書館司書の資格

この資格は「大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を修得したもの」（図書館法第５条第１項第１号）と定められています。

［2］履修すべき科目・単位

司書となる資格を得るためには、次の表の法令上の科目に相当する必修科目に掲げるすべての科目、及び**選択科目のうちから「図書・図書館史」を含み３単位以上**について履修し、単位を修得しなければなりません。

なお、履修に当たっては、**「生涯学習概論」・「図書館概論」・「図書・図書館史」**から履修を始めることが望ましいです。

	法令上の科目	単位数	本学開講科目	単位数
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論※	2
	図書館概論	2	図書館概論	2
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論	2
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論	2
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論	2
	情報サービス論	2	情報サービス論	2
	児童サービス論	2	児童サービス論	2
	情報サービス演習	2	情報サービス演習Ⅰ	1
			情報サービス演習Ⅱ	1
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論	2
	情報資源組織論	2	情報資源組織論	2
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習Ⅰ	1
			情報資源組織演習Ⅱ	1
選択科目	図書館基礎特論	1	図書館基礎特論	1
	図書館サービス特論	1	図書館サービス特論	1
	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論１	1
			図書館情報資源特論２	1
	図書・図書館史	1	図書・図書館史	1
	図書館施設論	1	図書館施設論	1
	図書館総合演習	1	図書館総合演習	1
	図書館実習	1	図書館実習	1
資格取得のための最低単位数		24	資格取得のための本学所要単位数	25

※「生涯学習概論」の履修については、「生涯学習概論Ⅰ」もしくは「生涯学習概論Ⅱ」のいずれかを履修すること。

☆1997 年度より図書館法施行規則が一部改正されました。2000 年４月１日以降は旧規則による科目の単位は無効となっています。2000 年３月 31 日までに資格未取得の場合は新規則に寄る全科目の履修が必要となります。

☆2012 年度より課程取得に関わる図書館法施行規則が一部改正されました。それに伴い、在学中に科目を取りきれなかった学生が、2012 年度以降に科目等履修生になった場合には、改正後の規則が適用されます。その際、旧科目名称で修得した科目については、相当する新科目に読み替えることができますが、改正後の新規則の関係で不足している科目とは別に一部科目を新たに履修する必要が出てきます。

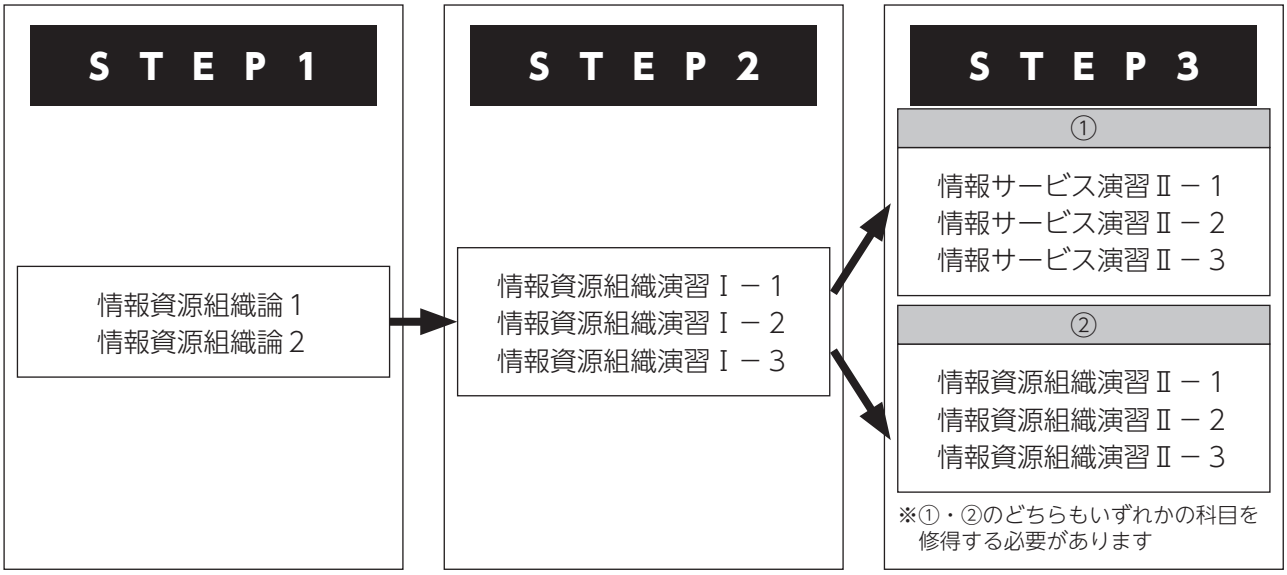
［3］履修方法

「開講科目表」に記載している履修学年指定に従って履修してください。なお、「開講科目表」の中には、１／２期開講（例：前期前半）の科目もあります。１／２期科目の日程については、OTANI UNIPA の「不定期開講科目日程」で開講日程を確認してください。

ただし、以下の①②については、履修するための条件を設定しています。

①必修科目「情報資源組織論」・「情報資源組織演習Ⅰ」・「情報資源組織演習Ⅱ」・「情報サービス演習Ⅱ」の履修方法

以下のＳＴＥＰ１～３の順にそれぞれのゾーンの中から、いずれか１科目を選択して履修してください。次のＳＴＥＰに進むためには、各ＳＴＥＰに掲げるゾーン中のいずれかの科目を修得している必要があります。なお、同一期別中に同一ゾーンの中から複数の科目を同時履修することはできません。



②選択科目「図書館総合演習」・「図書館実習」の履修方法

「図書館総合演習」・「図書館実習」を履修するためには、必修科目及び「図書・図書館史」の全科目を「Ｂ」以上の評価で修得済であることが必要です。なお、「図書館実習」の実習先の選定は、原則大学が行います。実習に関する手続きは、「図書館実習」担当教員及び教務課の指示に従ってください。また、実習費［15,000 円］が必要となります。

※編入学生及び大学院生については、聴講登録期間までに、必ず教務課窓口まで相談に来てください。

［4］証明書

この課程の単位を修得した人には、在学中、所定の説明会に参加し申し込むことによって「図書館学課程単位修得証明書」「図書館学課程単位取得証明書」を卒業時に発行します。また、卒業後も申し込みによって発行できます。

［5］科目等履修生制度

本学では科目等履修生制度を設けており、この課程の単位を修得することができます。科目等履修生の願書受付は、教務課で行います。

2011 年度以前に修得した旧課程の科目については、現行の科目に読み替えることが出来ます。ただし、「レファレンスサービス演習」及び「情報検索演習」は両方の科目を修得していることで法定科目の「情報サービス演習」、「資料組織演習Ⅰ」及び「資料組織演習Ⅱ」は両方の科目を修得することで法定科目の「情報資源組織演習」を修得していると読み替えます。そのため、それぞれいずれかしか修得していない場合は、「情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ」、「情報資源組織演習Ⅰ・Ⅱ」を履修する必要があります。

なお、2012 年度以降に履修した旧課程科目の「レファレンスサービス演習」・「情報検索演習」・「資料組織演習Ⅰ」・「資料組織演習Ⅱ」については、現行科目に読み替えることが出来ません。

また、旧課程で修得した選択科目の単位は、新課程の選択科目の単位を修得しているものとみなします。

［6］図書館学課程推奨科目

図書館学課程を学習する方への推奨科目として、以下の２科目を開講しております。これらの科目は、所定の要件を満たした場合に、各協会に資格認定の申込みを行うことにより資格を取得することができます。

なお、授業の履修及び資格の認定登録については、以下の説明を十分に読んだうえで、各自の判断で行うようにしてください。

①「文書情報管理論」

この授業は、組織における文書情報管理の環境（社会ニーズ）、仕組み（人、システム）、紙やマイクロフィルム媒体の電子化、および関連規格・法令、などについて最新技術動向を踏まえた基礎知識の修得および文書管理の方法論を議論し、文書管理の実践に活用させることを目的としています。

授業内で実施する中間試験と定期試験の合計が 70 点以上で合格とし、公益社団法人日本文書情報マネジメント協会に資格認定申込み（認定料 4,950 円＋税）をすることにより、公益社団法人日本文書情報マネジメント協会認定「文書情報管理士２級」の資格を取得することができます。（これまでに「文書情報管理論」を履修し合格していても、資格取得ができなかった場合は、再度履修することが可能です。）

なお､「文書情報管理士２級」は､資格の有効期限が５年間となっています。更新時期に案内が届くため、当該資格を更新する場合は、それに従って更新してください（更新料 2,900 円＋税）。

「文書情報管理士２級」については、第１回目の授業で担当教員より詳細を説明します。また、公益社団法人日本文書情報マネジメント協会（https://www.jiima.or.jp）の Web サイトでも資格の詳細を確認することができます。

②「ファイリング論」

2025 年度実施の試験を最後に「ファイリング･デザイナー検定」は終了となります。「ファイリング論」は第２学年より履修可能な科目となりますので、2025 年度以降入学生は当該科目の履修および授業内で実施する定期試験結果での資格取得は出来ません。

※詳細は一般社団法人日本経営協会 HP に掲載の「ファイリング・デザイナー検定／電子ファイリング検定試験の 2025 年終了について」でも確認することが出来ます。(https://www.noma.or.jp/Portals/0/007_center/pdf/検定/ファイリング検定試験の 2025 年終了について.pdf)

7. 真宗大谷派教師課程

真宗大谷派の僧籍を有する人で、本学において真宗大谷派教師課程の所定単位を修得し、卒業が認定されれば教師資格を得る事ができます。

① 卒業が要件となりますので、真宗大谷派教師課程のすべての単位を修得しても、卒業不可の場合は教師資格を得る事はできません。
② 授業科目の単位の他に、教師修練（前期・後期）の受講が必要です。
③ 本学で教師資格を取得した人には学階が授与されます（文学部のみ）。

［1］教師・学階

各学部・学科の授与内容は次のとおりです。教師資格申請の出願は、後期教師修練の受講申請時に同時に受け付けます。詳細は後期教師修練の説明会で確認してください。

<table>
<tr><th colspan="2">学　部・学　科</th><th>教　師</th><th>学　階</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">文学部</td><td>真宗学科・仏教学科</td><td>僧　都</td><td rowspan="2">学　師</td><td rowspan="2">卒業時に入位となり、６ヶ月以上経過後僧都となる。</td></tr>
<tr><td>上記以外の学科</td><td>僧都（律師）※1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">社会学部</td><td>現代社会学科</td><td rowspan="4">律師　※2</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">卒業時に入位となり、６ヶ月以上経過後律師となる。</td></tr>
<tr><td>コミュニティデザイン学科</td></tr>
<tr><td>教育学部</td><td>教育学科</td></tr>
<tr><td>国際学部</td><td>国際文化学科</td></tr>
</table>

※１　真宗学科・仏教学科以外の文学部卒業者の学歴による陞補は律師ですが、学階「学師」取得者は僧都に陞補されるため、全学科とも初補の場合は僧都となります。
※２　社会学部・教育学部・国際学部の卒業者は学歴による陞補は律師で、学階はありません。

［2］履修方法

① 所定の科目･所要単位数についてはよく確認のうえ、各科目の履修学年指定に従って履修してください。
② この課程の科目及び前期・後期の修練は、他の授業科目等と同様に、所定の聴講登録期間に登録してください。
③ 詳細はオリエンテーション期間中に開催される説明会に出席のうえ、確認してください。各学年での注意点等、必要事項を伝えますので、必ず出席してください。
④ 編入学生の履修については下記のことに注意してください。
※前身校等で既に教師資格を取得している場合
文学部の卒業・課程の全科目の修得により、文学部卒業に相当する教師及び学階を申請することができます（申請の詳細については教務課に相談してください）。
※教化学・宗教法規・声明作法・差別問題・仏教音楽・教師修練については、大谷大学短期大学部・同朋大学・九州大谷短期大学において修得していれば改めて履修する必要はありません。その場合には、「大谷派教師課程修得単位届」を編入後すぐに教務課に提出してください。
※社会学部・教育学部・国際学部については教務課に相談してください。

［3］履修すべき科目・単位

教師資格取得のための科目・単位は、「Ａ群　必修科目」と「Ｂ群　選択必修科目」に分かれており、Ａ群に掲げられたすべての科目、及びＢ群よりそれぞれ所要単位数以上履修しなければなりません。

※年度によって、所定の科目に対する開講科目は変わることがあります。何年度に、どの科目・部門のために、どの科目を履修したのか、各自で管理してください。

文学部

Ａ群　必修科目（すべての科目について各科目の所要単位数以上履修すること）

所定の科目	所要単位数	本学開講科目	開講学科
教行信証演習	4	教行信証〈総序・教巻〉を読む	真宗学科
		教行信証〈行巻〉を読む	
		教行信証〈信巻〉を読む	
		教行信証〈証巻〉を読む	
		教行信証〈真仏土巻〉を読む	
		教行信証〈化身土巻〉を読む	
真宗学講義	4	真宗学概論１・２・３・４	真宗学科 （＊１）仏教学科・哲学科・歴史学科・文学科の学生は必修
		親鸞の生涯と思想（＊１）	
		親鸞思想の受容と展開	
		法然の生涯と思想	
		『教行信証』論	
		『歎異抄』論	
		真宗と諸宗教	
		現代と真宗	真宗学科・仏教学科
真宗学演習	4	浄土経典を読む１・２・３	
		浄土論註を読む	真宗学科
		観経疏を読む	
		選択集を読む	
		正信偈を読む	
		欧文仏典を読む１・２	真宗学科・仏教学科
真宗史	4	浄土教史概説	
		真宗教団史	真宗学科
		近代教学史	
		真宗典籍研究	
		真宗史	歴史学科
仏教学講義	4	仏教学概論１・２・３・４	仏教学科
		大乗仏教入門	真宗学科・仏教学科のみ履修可
		インド仏教思想論１・２	真宗学科・仏教学科
		中国仏教思想論１・２	
		日本仏教思想論1･2	
		インド学	仏教学科
		現代仏教論	
		地域仏教論	
仏教学演習	4	現代仏教演習	
		地域仏教演習	
		初期仏典を読む	
		維摩経を読む	真宗学科・仏教学科
		法華経を読む	
差別問題	4	部落差別と大谷派教団１・２	現代総合科目 歴史文化系
		部落差別と浄土真宗１・２	
		部落史論１・２	
		反カースト運動論	
声明作法	2	声明作法Ⅰ-1･Ⅰ-2	真宗大谷派教師課程中の科目 （＊２）どちらかの科目を２単位履修
		声明作法Ⅱ-1･Ⅱ-2	
仏教音楽	2	仏教音楽１・２（＊２）	
教化学	4	教化学演習Ⅰ・Ⅱ	
宗教法規	2	宗教法規	
前期教師修練	※教師修練は本山研修道場にて前期・後期各々７日間実施される。 前期は第３学年時、後期は卒業年度末に実施される。		
後期教師修練			

文学部

B群　選択必修科目（すべての科目について各科目の所要単位数以上履修すること）

所定の科目	所要単位数	本学開講科目	開講学科
歴史部門	4	日本史学概論１・２	歴史学科
		東洋史学概論１・２	
		日本古代史講義１・２	
		日本中世史講義１・２	
		日本近世史講義１・２	
		日本近現代史講義１・２	
		日本民俗学	
		中国仏教史	仏教学科・歴史学科
		日本仏教史	
概論部門	4	宗教史概論１・２	真宗学科
		哲学概論１・２	哲学科
		倫理学概論１・２	
		宗教学概論１・２	
理論部門Ⅰ	4	西洋哲学史（古代）１・２	哲学科
		西洋哲学史（中世）１・２	
		西洋哲学史（近世）１・２	
		人間関係学	仏教学科・哲学科
		死生学	
		宗教史１・２	
		キリスト教学１・２	哲学科
		中国思想史１・２	文学科
理論部門Ⅱ	4	博物館概論	歴史学科
		ジェンダーと社会	社会学部
		青年と社会教育	現代総合科目　キャリア形成系
		社会福祉と社会教育	
		仏教福祉論	現代総合科目　歴史文化系
		アイヌ民族と共に	
		アジア侵略と宗教	
		非戦の系譜	
		障害者・病者と共に生きる	
		教育原論（中・高）１・２	教職課程中の科目
		青年心理学（中・高）１・２	
		教育社会学（中・高）１・２	
		博物館情報・メディア論	博物館学課程中の科目
		図書館概論	図書館学課程の科目
		生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ	社会教育課程中の科目
		生涯学習支援論Ⅰ・Ⅱ	
		社会教育経営論Ⅰ・Ⅱ	
		社会教育実習Ａ	
		社会教育演習	
		社会教育実習Ｂ	
		社会教育課題研究	
実践部門	4	心理療法概論	現代総合科目　自然生命系
		心理療法と教育	
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	
		カウンセリング	
		パラスポーツ論	
		教育相談（中・高）	教職課程中の科目 （教育実習参加許可者のみ）
		矯正と保護１・２	真宗大谷派教師課程中の科目

社会学部／教育学部／国際学部

A群　必修科目（すべての科目について各科目の所要単位数以上履修すること）

所定の科目	所要単位数	本学開講科目	開講学科
真宗学講義	6	真宗学概論１・２・３・４	真宗学科 （＊１）必修
		親鸞の生涯と思想（＊１）	
		親鸞思想の受容と展開	
		法然の生涯と思想	
		『教行信証』論	
		『歎異抄』論	
		真宗と諸宗教	
		現代と真宗	真宗学科・仏教学科
		浄土教史概説	
		真宗教団史	真宗学科
		近代教学史	
		真宗典籍研究	
真宗学演習	6	教行信証〈総序・教巻〉を読む	
		教行信証〈行巻〉を読む	
		教行信証〈信巻〉を読む	
		教行信証〈証巻〉を読む	
		教行信証〈真仏土巻〉を読む	
		教行信証〈化身土巻〉を読む	
		浄土経典を読む 1･2・3	真宗学科・仏教学科
		浄土論註を読む	真宗学科
		観経疏を読む	
		選択集を読む	
		正信偈を読む	
		欧文仏典を読む１・２	真宗学科・仏教学科
仏教学	6	仏教学概論１・２・３・４	仏教学科
		インド仏教思想論１・２	真宗学科・仏教学科
		中国仏教思想論１・２	
		日本仏教思想論１・２	
		インド学	仏教学科
		現代仏教論	
		地域仏教論	
		現代仏教演習	
		地域仏教演習	
		初期仏典を読む	
		維摩経を読む	真宗学科・仏教学科
		法華経を読む	
差別問題	4	部落差別と大谷派教団１・２	現代総合科目 歴史文化系
		部落差別と浄土真宗１・２	
		部落史論１・２	
		反カースト運動論	
声明作法	2	声明作法Ⅰ-1･Ⅰ-2	真宗大谷派教師課程中の科目 （＊２）どちらかの科目を２単位履修
		声明作法Ⅱ-1･Ⅱ-2	
仏教音楽	2	仏教音楽１・２（＊２）	
教化学	4	教化学演習Ⅰ・Ⅱ	
宗教法規	2	宗教法規	
前期教師修練	※教師修練は本山研修道場にて前期・後期各々７日間実施される。 前期は第３学年時、後期は卒業年度末に実施される。		
後期教師修練			

※上記の所定の科目の履修に加えて、「教化学演習Ⅱ」において、4,000 字以上 5,000 字以内の課題を提出したうえで、課題に基づき、科目担当者及び仏教教育センター員が面談を行い、指導を受けるものとする。

社会学部／教育学部／国際学部

Ｂ群　選択必修科目（所要単位数以上履修すること）

所定の科目	所要単位数	本学開講科目	開講学科
理論・実践部門	16	博物館概論	歴史学科
		仏教社会論（現・コ）	社会学部の学生のみ履修可 （＊3）社会福祉学コースのみ開講科目
		現代社会論（現）	
		人間関係論（現）	
		現代家族論（現）	
		ジェンダーと社会（現）	
		社会心理学（現）	
		個人と公共（現）	
		地域社会論（現）	
		市民活動論（現・コ）	
		ボランティア論（現・コ）	
		犯罪と社会（現・コ）	
		宗教と社会（現・コ）	
		情報と倫理（現・コ）	
		情報社会論（現・コ）	
		経済と社会（現）	
		現代社会とビジネス（現）	
		生活問題論（コ）	
		非営利組織マネジメント論（コ）	
		コミュニティ形成論（コ）	
		コミュニティプランニング論（コ）	
		ターミナルケア論（コ）	
		メディア社会学（コ）	
		高齢者福祉（コ）	
		障害者福祉（コ）	
		児童福祉（コ）	
		司法福祉論（コ）（＊3）	
		社会福祉施設経営論（コ）（＊3）	
		教育原論・教育原論（幼）	教育学部の学生のみ履修可 （＊4）初等教育コースのみ開講科目 （＊5）幼児教育コースのみ開講科目
		仏教と教育（初等）	
		特別支援教育概論・特別支援教育概論（幼）	
		教育人間学Ⅰ・Ⅱ	
		発達心理学・発達心理学（幼）	
		教育社会学・教育社会学（幼）	
		特別活動論（＊4）	
		教育相談（＊4）	
		こども教育史Ⅰ・Ⅱ	
		こどもの描画分析	
		教室の心理学	
		障害のある子どもたち（初等）	
		障害児の教育（初等）（＊4）	
		特別支援教育実践論（初等）	
		保育カリキュラム論（＊5）	
		児童家庭福祉（＊5）	
		社会福祉（＊5）	
		社会的養護（＊5）	
		相談援助（＊5）	
		子ども理解の理論と方法（教育相談を含む）（＊5）	
		国際文化概論－1・2	国際学部の学生のみ履修可
		国際言語概論－1・2	
		比較文化講義1・2	
		英米の文化1・2・3・4・5・6	
		ヨーロッパの文化1・2	
		東アジアの文化1・2	
		日本ポップカルチャー論	
		国際文化特殊講義1・2・3・4・5・6	
		越境するアジアの文化1・2	
		現代朝鮮半島事情	
		世界の宗教と文化	
		西洋史講義1・2	
		京都の歴史と文化	
		グローカル・ボランティア論	
		グローカル・キャリア論	
		国際関係論1・2	
		キリスト教学1・2	
		青年と社会教育	現代総合科目　キャリア形成系
		社会福祉と社会教育	
		心理療法概論	現代総合科目　自然生命系
		心理療法と教育	
		カウンセリング	
		生涯スポーツ・レクリエーション活動	
		パラスポーツ論	
		仏教福祉論	現代総合科目　歴史文化系
		アイヌ民族と共に	
		アジア侵略と宗教	
		非戦の系譜	
		障害者・病者と共に生きる	
		教育原論（中・高）1・2	教職課程中の科目
		青年心理学（中・高）1・2	
		教育社会学（中・高）1・2	
		教育相談（中・高）	教職課程中の科目 （教育実習参加許可者のみ）
		博物館情報・メディア論	博物館学課程中の科目
		図書館概論	図書館学課程中の科目
		矯正と保護1・2	真宗大谷派教師課程中の科目
		生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ	社会教育課程中の科目
		生涯学習支援論Ⅰ・Ⅱ	
		社会教育経営論Ⅰ・Ⅱ	
		社会教育実習Ａ	
		社会教育演習	
		社会教育実習Ｂ	
		社会教育課題研究	

［4］「声明作法」の履修について

「声明作法Ⅰ・Ⅱ」の履修は、クラス配当を行いますので、前期授業開始までに履修すべきクラスの曜日、時限を OTANI UNIPA で確認し、第１回目の授業に必ず出席してください。指定したクラスが必修科目と重なっている場合は、事前に教務課に申し出てください。

［5］「教化学」の履修について

① 「教化学演習Ⅰ」は第２学年必修、「教化学演習Ⅱ」は第３学年必修です。
② 「教化学演習Ⅰ」を履修していないと「教化学演習Ⅱ」は履修できません。
③ 卒業年次生及び科目等履修生のみ、「教化学演習Ⅰ」を修得していない場合は「教化学演習Ⅰ」と「教化学演習Ⅱ」２科目を同時履修することを認めますので、該当する場合は必ず教務課まで申し出てください。２科目とも大学行事参加が課されていますが、１回の参加で両科目の出席とします。

［6］教師修練

〈前期修練（第３学年対象）〉

修練の受講には“得度”をし、真宗大谷派の僧籍を有していなければなりません。未得度者は第１・２学年の夏期休暇を利用するなどして、早期に得度をすることが必要です。

※８月の得度は「宗教法規」と重なる可能性があります。欠席事由証明書は発行できませんので、今年度履修を予定している場合は注意してください。

◎前期教師修練の受講にあたって

修練の実施内容に鑑み、前期修練受講（第３学年前期）までに、最低限以下の科目・単位を修得、もしくは履修中であることが望ましいとされています。
（これらの科目を未修得でも修練は受講できますが、各自履修を心がけてください。）

［全学科共通］

○部落差別と大谷派教団１・２
　部落差別と浄土真宗１・２
　部落史論１・２
　反カースト運動論
　} この中から２単位以上

○声明作法Ⅰ　　１単位（正信偈草四句目下の内容）
○教化学演習Ⅰ　２単位

［真宗学科以外の学生］

○親鸞の生涯と思想　２単位
　※　真宗学科以外の学生は「親鸞の生涯と思想」を履修すること。前期修練受講までに単位が修得できなかった場合でも、卒業までには必ず修得すること。

４月登録期間中 聴　講　登　録	年度始めの登録期間中に、他の授業科目等と同様に「前期教師修練」を登録する。
６月中旬 前期修練受講説明会	受講に際しての説明及び申請書類配布。 **説明会欠席者は修練を受講することができないため、受講希望者は必ず出席すること**。説明会の日時・場所は OTANI UNIPA にて連絡するので、各自掲示に注意してください。
夏期休暇中　８～９月 前 期 修 練 実 施	３～４班に分かれて受講します。受講には本山への冥加金が必要です。

〈後期修練（第４学年対象）〉

後期修練は、**卒業見込・本課程の全科目の修得見込の両方**がないと受講できません。

４月登録期間中 聴　講　登　録	年度始めの登録期間中に、他の授業科目等と同様に「後期教師修練」を登録する。 ※後期の修正登録期間には登録できませんので、注意してください。
11 月上旬 後期修練受講及び 教師補任申請説明会	受講及び教師補任申請に際しての説明及び申請書類配布。 **説明会欠席者は修練を受講することができないため、受講希望者は必ず出席すること**。説明会の日時・場所は OTANI UNIPA にて連絡するので、各自掲示に注意してください。
２～３月 後 期 修 練 実 施	３～４班に分かれて受講します。受講には本山への冥加金が必要です。

万一所定の時期に後期修練を受講できなかった場合には、後期修練は前期修練の修了日から３年以内に受講しなければなりません。**３年経過すると前期修練から受け直しとなります。**

※大谷高校卒業（仏教課程履修）等、修練の受講のみで資格が取得できる人は、大学を通さず所属教区の教務所への個人申請で前期・後期とも受講することになります。

［６］安居聴講

前身校等で既に教師資格を得ている人は、真宗大谷派主催の安居を聴講し試験に合格すれば、本課程の単位（真宗学演習・仏教学演習・歴史部門）として認定することができます。（卒業単位には使えません。）

希望者は聴講登録の前に、教務課へ申し出てください。

［７］教師（入位）補任式

教師資格取得が決定した人は、卒業後に教師（入位）補任式が本山にて行われますので必ず出席してください。ただし、すでに入位を得ている人については補任式はありません。

補任式の日時等の詳細はOTANI UNIPAにてお知らせします。補任申請には本山への冥加金が必要です。

［８］科目等履修生制度

教師資格所定の科目中、未修得の科目がある場合には、在学中に前期修練を受講済みの人に限り、卒業後、大谷大学科目等履修生として不足科目を履修することができます。科目等履修生の願書受付は、教務課で行います。

8. 社会教育課程【社会教育主事任用資格】

この課程において、社会教育法の規定に従って開講されている所定の単位を修得すれば、各都道府県や市町村の公務員となった場合、社会教育主事に任用されることがあります。また、社会教育関係団体（青少年、婦人会、PTA 等）の運営や活動の場において助言や指導を行う場合に役立ちます。

なお、2020 年 4 月 1 日に改正省令が施行され、社会教育主事が NPO や企業等の多様な主体と連携・協働して、社会教育事業の企画・実施による地域住民の学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに中核的な役割を担うことができるよう、その職務遂行に必要な基礎的な資質・能力を養成するため、科目の改善が図られました。それにより、2020 年 4 月 1 日以降、本課程修了者は、「**社会教育士（養成課程）**」と称することができることとなりました。

「社会教育士」の称号付与の趣旨及び概要

○学習成果が社会で認知され、広く社会における教育活動に生かされるよう、(養成) 課程の修了者が「社会教育士（養成課程)」と称することができることとしている。

「社会教育士」に期待される役割

○「社会教育士」には、学習成果を活かし、NPO や企業等の多様な主体と連携・協働して、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待される。

○またこれらの活動に際しては、地域の実情等を踏まえ、社会教育士と社会教育主事との連携が図られることが期待される。

［1］社会教育主事の資格

社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担います。また、社会教育主事補は、社会教育主事の職務を補助する役割を担います。

職務の例としては

1．教育委員会事務局が主催する社会教育事業の企画・立案・実施
2．管内の社会教育施設が主催する事業に対する指導・助言
3．社会教育関係団体の活動に対する助言・指導
4．管内の社会教育行政職員等に対する研修事業の企画・実施

など、その業務は多岐にわたっています。

1．社会教育主事になるための資格を取得するためには

社会教育法第九条の四第三号において、「大学に二年以上在学して、六十二単位以上を修得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、第一号イからハまでに掲げる期間を通算した期間が一年以上になるもの」と定めています。

「第一号イからハまで」とは、下記のイ・ロ・ハを指しています。

イ　社会教育主事補の職にあつた期間

ロ　官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体における職で司書、学芸員その他の社会教育主事補の職と同等以上の職として文部科学大臣の指定するものにあつた期間

ハ　官公署、学校、社会教育施設又は社会教育関係団体が実施する社会教育に関係のある事業における業務であつて、社会教育主事として必要な知識又は技能の習得に資するものとして文部科学大臣が指定するものに従事した期間（イ又はロに掲げる期間に該当する期間を除く。）

2．社会教育主事になるためには

社会教育主事として活躍するには、社会教育主事になりうる資格を有している方で、都道府県・市町村教育委員会から「社会教育主事」として発令され、その職務に就くことができます。

［2］履修すべき科目・単位（社会教育法第９条の４第３号・社会教育主事講習等規程第 11 条）

法令上の科目名		単位数	本学開講科目名	単位数	最低修得単位数	開講区分
必修科目	生涯学習概論	4	生涯学習概論Ⅰ	2	4 単位必修	社会教育課程（博物館学課程・図書館学課程共通）
			生涯学習概論Ⅱ	2		
	生涯学習支援論	4	生涯学習支援論Ⅰ	2	4 単位必修	社会教育課程
			生涯学習支援論Ⅱ	2		
	社会教育経営論	4	社会教育経営論Ⅰ	2	4 単位必修	
			社会教育経営論Ⅱ	2		
	社会教育特講	8	図書館概論	2	いずれか 8 単位必修	図書館学課程
			博物館概論	2		歴史学科
			博物館情報・メディア論	2		博物館学課程
			メディアと市民社会	2		コミュニティデザイン学科
			非戦の系譜	2		現代総合科目 / 歴史文化系
			青年心理学（中・高）1	2		教職課程
			青年心理学（中・高）2	2		
			心理療法概論	2		現代総合科目 / 自然生命系
			心理療法と教育	2		
			反カースト運動論	2		現代総合科目 / 歴史文化系
			アイヌ民族と共に	2		
			障害者・病者と共に生きる	2		現代総合科目 / 自然生命系
			アジア侵略と宗教	2		現代総合科目 / 歴史文化系
			部落史論 1	2		
			部落史論 2	2		
			青年と社会教育	2		現代総合科目 / キャリア形成系
			社会福祉と社会教育	2		
			パラスポーツ論	2		現代総合科目 / 自然生命系
			生涯スポーツ・レクリエーション活動	2		
			ボランティア論	2		現代社会学科 コミュニティデザイン学科
			教育原論（中・高）1	2		教職課程
			教育原論（中・高）2	2		
			教育社会学（中・高）1	2		
			教育社会学（中・高）2	2		
	社会教育実習	1	社会教育実習 A	1	いずれか 1 単位必修	社会教育課程
			博物館実習Ⅱ	1		博物館学課程（博物館学課程履修学生のみ充当可）
			図書館実習	1		図書館学課程（図書館学課程履修学生のみ充当可）
選択科目	社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究 のうち一以上の科目	3	社会教育演習	2	いずれか 3 単位必修	社会教育課程
			社会教育実習 B	1		
			社会教育課題研究	2		
	計	24	**資格取得のための本学所要単位数合計**	**24**		

※「社会教育演習」及び「社会教育課題研究」は「生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ」を修得もしくは修得見込みの人しか履修できません。

［3］履修方法

① 「[2] 履修すべき科目・単位」をよく確認の上、各科目の履修学年指定に従って履修してください。
詳細については、第 2 学年以降のオリエンテーション期間中に説明会を実施します。
第 1 学年から、履修を進めたい人は、「[2] 履修すべき科目・単位」の中で、履修学年配当が第 1 学年以上の「社会教育特講」に該当する科目（8 単位分）の履修をしておいてください。

② 聴講登録についてはすべて所定の聴講登録期間中に登録し、その履修状況については各自で管理をしてください。

③ 選択必修科目「社会教育実習」の履修方法

・「社会教育実習 A」「社会教育実習 B」を履修するためには、原則、必修科目「生涯学習概論Ⅰ・Ⅱ」を修得済みで、かつ「生涯学習支援論Ⅰ・Ⅱ」「社会教育経営論Ⅰ・Ⅱ」「社会教育演習」を修得済みもしくは実習年度中に修得見込みであることが必要です。修得見込みがたたない場合は、教職支援センターまで相談に来てください。
・「社会教育実習」の実習先の選定は、原則大学が行います。
・実習費：15,000 円（2024 年度実績）が必要です。
・その他、実習に関する手続きは、「社会教育実習」担当教員及び教職支援センターの指示に従ってください。
・編入学生及び大学院生の履修希望者については、聴講登録期間までに、必ず教職支援センター窓口まで相談に来てください。

[実習受講登録と諸手続]

（前年度）6 月 第1次（予備）登録説明会	受講前年度（第 2 学年）に実施します。説明会時に配付の書類を指定期日に教職支援センター窓口へ提出してください。

※受講希望者は全員出席してください。この手続をしないと実習に参加できないので注意してください。

4 月登録期間中 聴講登録	他の授業科目等と同様に**「社会教育実習 A」、「社会教育実習 B」**を聴講登録してください。
9 月 第 2 次登録説明会	許可者のみ説明会時に書類を受け取り、指定期日に教職支援センター窓口へ実習費を添えて提出してください。
9 月中旬 事前ガイダンス	参加者全員出席してください。

※必要に応じて説明会等を行いますので、参加許可者は必ず出席の上確認してください。
※実習先の発表・期間その他の連絡は「OTANI UNIPA」にて行いますので常時注意してください。

［4］証明書

この課程の単位を修得した人には、卒業後、申込みによって「社会教育課程単位取得証明書」、「社会教育課程単位修得証明書」を発行します。

［5］科目等履修生制度

本学では科目等履修生制度を設けており、この課程の単位を修得することができます。科目等履修生の願書受付は、教務課で行います。

9. 社会福祉士国家試験受験資格課程

この資格課程の履修は、社会学部コミュニティデザイン学科社会福祉学コースに在籍する学生に限られます。

［1］大谷大学社会福祉士養成課程の理念と概要

経済の成熟化や情報技術のめざましい発展によって私たちの生活はどんどんと便利になっています。このような経済・産業分野の発展は私たちに多くの恩恵を与えてくれます。しかし、その裏側では、核家族化や単身世帯の増加による高齢者の介護や孤立、共働き世帯の増加による保育所不足、格差拡大による経済的貧困、過疎地域における公共交通機関不足、などの問題が大きな生活課題となっています。さらに、学齢期のひきこもりだけでなく、ひきこもりの 50 代を 80 代の親が支える 8050 問題もクローズアップされるなど問題の多様化が近年の特徴と言えます。

現代社会を考えるうえで少子高齢化は欠かせないキーワードです。高齢化が進む中で、どのように高齢期の生活費を確保するのか、必要な医療や介護をどのように地域で準備するのか、は先延ばしにできない喫緊の課題です。また、子どもを産みやすく育てやすい社会にするためには、子育て関連サービスの充実だけでなく「働き方」を変革することが必要不可欠です。

深刻化・多様化する生活課題に個人や家族だけで対応するには限界があります。専門家の支援が必要となる場合があり、ここに社会福祉士の存在意義や役割があります。一般の人々は社会保障制度や社会福祉サービスに詳しくありませんので、それらに精通している社会福祉士が支援することによって、必要な制度やサービスを適切に利用することができます。また、既存の制度やサービスでは十分に対応できない課題が新たに顕在化することもあります。その場合は、新たな課題に対応できる制度やサービスを構築する役割の一部を社会福祉士が担うこともあります。

社会福祉士の職域は、福祉事務所、社会福祉協議会、高齢者福祉施設、児童福祉施設、障害者福祉施設などのさまざまな福祉分野です。さらに、近年では、医療、教育、司法、若者支援など社会福祉士が活躍できる分野が大きく拡大しています。

社会福祉士は 1987（昭和 62）年に「社会福祉士及び介護福祉士法」によって制度化されましたが、2007（平成 19）年や 2021（令和 3）年に大きなカリキュラム再編が行われています。最新のカリキュラム内容を十分に含めることは当然として、本学独自の社会福祉士養成理念も忘れてはなりません。

本学の社会福祉士養成においては、本学全体の理念である「互いに敬いながら生きることのできる世界を構築する人物の養成」を念頭に、本学科の特徴である「地域を基盤」とした教育課程によって、卒業後に地域社会で活躍できる実践力ある社会福祉士の養成を目指します。具体的には、①自らの人間性を高められる人物、②あたたかい心をもった人物、③地域の生活課題を解消・緩和できる人物、④地域社会のこれからをデザインできる人物、の養成に努めます。

［2］履修方法

社会福祉士の資格は国家試験に合格しなければ得ることはできません。本学のこの課程を修めることにより、国家試験の受験資格を得ることができます。大学在学中に受験資格を得るには、社会学部コミュニティデザイン学科社会福祉学コースに開設される社会福祉士受験資格取得に必要な「法令指定科目」の単位を卒業するまでにすべて修得しなければなりません。

なお、第 2 学年のコース分け時に、社会福祉学コースを希望する予定で、かつ社会福祉士国家試験受験資格を取得希望の場合、第 1 学年から「心理学」「社会学」「高齢者福祉」「障害者福祉」「児童福祉」「公的扶助論」「現代社会と福祉 1」「現代社会と福祉 2」を履修する事が望まれます。

履修科目や履修年次に関しては次頁の履修モデルで確認してください。

社会学部 コミュニティデザイン学科 社会福祉学コース　履修モデル

国家試験の受験資格を取得するためには、大学を卒業するとともに「理論領域」「実践領域」「関連知識領域」にあげるすべての科目を修得する必要があります。また、「社会福祉学特殊演習Ⅰ」と「社会福祉学特殊演習Ⅱ」は、受験資格を得るための必修科目ではありませんが、国家試験受験対策を実施しますので履修することが望ましいです。

【2022 年度以降入学生・2024 年度以降編入学生適用】

（　）内は単位数

	社会福祉士国家試験受験資格取得に要する法令指定科目（2021 年度以降入学生）			研究領域・国家試験対策
	理論領域	実践領域	関連知識領域	
第 1 学年	高齢者福祉(2) 障害者福祉(2) 児童福祉(2) 公的扶助論(2) 現代社会と福祉 1(2) 現代社会と福祉 2(2)		心理学(2) 社会学(2)	コミュニティデザイン演習Ⅰ(4)
第 2 学年	相談援助の基盤と専門職 1(2) 相談援助の基盤と専門職 2(2) 相談援助の理論と方法 1(2) 相談援助の理論と方法 2(2) 相談援助の理論と方法 3(2) 地域福祉論 1(2) 地域福祉論 2(2) 司法福祉論(2) 社会保障論 1(2) 社会保障論 2(2)	社会福祉援助技術演習 1(2) 社会福祉援助技術演習 2(2) 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ(2)	医学一般(2)	コミュニティデザイン演習Ⅱ(4)
第 3 学年	相談援助の理論と方法 4(2) 保健医療サービス論(2) 権利擁護と成年後見制度(2) 社会福祉施設経営論(2) 社会福祉調査論(2)	社会福祉援助技術演習 3(2) 社会福祉援助技術演習 4(2) 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ(2) 社会福祉援助技術現場実習(6)		コミュニティデザイン演習Ⅲ(4)
第 4 学年		社会福祉援助技術演習 5(2) 社会福祉援助技術現場実習指導Ⅲ(2)		コミュニティデザイン演習Ⅳ(4) 社会福祉学特殊演習Ⅰ(2) 社会福祉学特殊演習Ⅱ(2)

〈受験資格の取得は在学中に！〉

国家試験受験資格の取得は、**社会福祉学コースの学生**に限られています。

国家試験受験資格の取得希望の学生は、在学中に全科目を取得するように、計画的に履修を行ってください。

学年によっては、履修科目が同一曜日・時限で開講される可能性があります。なるべく、履修モデルに従って受講し、取りこぼしの無いように心がけてください。

［3］現場実習（第３学年次生対象）

それまでの学習成果を確認し、実社会での活動に役立てるため第３学年次に、授業の一環として福祉施設で現場実習を行います。

第３学年に実習への参加を希望する学生は、実習施設を決める必要がありますので、第２学年の 11 月下旬までに指導教員を通じて実習参加の意思表示をしてください。

実習に参加するための詳細については、第３学年の５月に行われる「実習オリエンテーション」で説明します。

なお、実習には、別途実習費や交通費、食費等が必要になります。

[受講登録と諸手続]

＜第２学年＞
10 月中旬
指導教員に
実習参加意思表示

「社会福祉援助技術現場実習」受講前年度に実施。
指導教員に実習に参加する旨の意思表示を行います。

11 月中旬～ 12 月中旬
実習オリエンテーション

オリエンテーションで「実習希望届」を配布しますので、担当教員へ提出してください。また、実習費（一次登録料）を納入のうえ、発行した申込書を指定期日までに実習支援センター分室へ提出してください。

＜第３学年＞
４月登録期間中
聴講登録

他の授業科目等と同様に
「社会福祉援助技術現場実習」を聴講登録してください。

５月中旬～下旬
実習オリエンテーション

実習先を発表します。
実習費（二次登録料）を納入のうえ、必要書類を指定期日までに実習支援センター分室へ提出してください。
※実習登録者は全員出席してください。
この手続きをしないと実習に参加できないので注意。

８月～１月
現場実習
（約１ヶ月半程度）

※　詳しくは、必要に応じて説明会等を行うので、参加者は必ず出席のうえ、確認してください。

［4］国家試験受験（第４学年次生対象）

本学が定める法令指定科目を取得可能で、かつ卒業可能な第４学年次生は、９月に「社会福祉士国家試験」受験出願の手続きを行い、翌年２月に実施される試験に臨むことになります。

申込手続等は大学が一括して行います。詳細に関しては、第４学年の７月に実施する「社会福祉士国家試験受験手続説明会」にて行います。

［受験手続と流れ］

＜第４学年＞
７月中旬
国家試験受験手続説明会
……受験希望学生は必ず参加してください。

９月中旬
「受験の手引」受取
……「受験の手引」を実習支援センター分室に取りに来てください。

９月下旬
申込書類提出
……「受験の手引」の提出書類を、受験料を振り込んだ上で、指定期日までに実習支援センター分室へ提出してください。

12月中旬
受験票が届く
……受験票が手元に届いたら、受験日までにコピーを実習支援センター分室に提出してください。

２月上旬
国家試験受験

３月
合格発表

社会福祉士国家試験については、早い段階からの対策と学習が必要です。そのための一つの機会として、「社会福祉士国家試験対策講座」をキャリアセンターが実施しています。受講するように努めてください。

［5］科目等履修生制度

在学中に修得できなかった法令指定科目は、**実習科目のみ科目等履修生として履修することができます。**実習科目とは、「社会福祉援助技術現場実習」・「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」のことを指します。

すなわち、**科目等履修生制度にて、国家試験受験資格を取得する場合、実習科目以外はすべて在学中に修得済であることが必要**ですので、充分に注意してください。

10. 社会福祉主事【任用資格】

社会福祉事業法の規定に従って開講されている所定の単位を修得すれば、将来、各都道府県や市町村の公務員となり、福祉行政の仕事に従事する場合、社会福祉主事に任用されることがあります。また、福祉事務所のケースワーカー、老人ホームや身体障害者施設などの指導員としてハンディキャップをもつ人の相談にのる場合に役立ちます。

［1］社会福祉主事の資格

社会福祉主事の資格については、「大学において、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者」（社会福祉法第 19 条第 1 項第 1 号）と定めています。

［2］履修すべき科目　（社会福祉法第 19 条第 1 項第 1 号科目）

【2021 年度以降入学生・2023 年度以降編入学生適用】

法定科目		本学開講科目	所要単位数	履修	備考
1	社会福祉概論	社会福祉	2	幼教	『社会福祉』（2単位）もしくは『現代社会と福祉１・2』（4単位）のいずれか
		現代社会と福祉１	4	コミュ	
		現代社会と福祉２			
2	社会福祉事業史	社会福祉発達史	2	社	
3	社会福祉援助技術論	相談援助の基盤と専門職１	4	コミュ	『相談援助の基盤と専門職１・2』（４単位）もしくは『相談援助の理論と方法１・2・3・4』（８単位）もしくは『相談援助』（２単位）のいずれか
		相談援助の基盤と専門職２			
		相談援助の理論と方法１	8	福祉	
		相談援助の理論と方法２			
		相談援助の理論と方法３			
		相談援助の理論と方法４			
		相談援助	2	幼教	
4	社会福祉調査論	社会福祉調査論	2	福祉	
5	社会福祉施設経営論	社会福祉施設経営論	2	福祉	
6	社会福祉行政論	－	－	－	
7	社会保障論	社会保障論１	4	コミュ	
		社会保障論２			
8	公的扶助論	公的扶助論	2	コミュ	
9	児童福祉論	児童福祉	2	全	『児童福祉』（２単位）もしくは『児童家庭福祉』（２単位）のいずれか
		児童家庭福祉	2	幼教	
10	家庭福祉論	－	－	－	
11	保育理論	保育原理Ⅰ	4	幼教	
		保育原理Ⅱ			
12	身体障害者福祉論	障害者福祉	2	全	『障害者福祉』（2単位）修得にて「12 身体障害者福祉論」「13 知的障害者福祉論」の両方を修得可
13	知的障害者福祉論				
14	精神障害者保健福祉論	－	－	－	
15	老人福祉論	高齢者福祉	2	全	
16	医療社会事業論	－	－	－	
17	地域福祉論	地域福祉論１	4	全	
		地域福祉論２			
18	法学	法学概論１	4	全	
		法学概論２			
19	民法	－	－	－	
20	行政法	－	－	－	
21	経済学	経済学概論１	4	全	
		経済学概論２			
22	社会政策	社会政策論	2	社	
23	経済政策	－	－	－	
24	心理学	心理学	2	コミュ	
25	社会学	社会学	2	コミュ	『社会学』（２単位）もしくは『社会学概論』（２単位）のいずれか
		社会学概論	2	社	
26	教育学	教育学１	4	全	
		教育学２			
27	倫理学	倫理学概論１	4	全	
		倫理学概論２			
28	公衆衛生学	－	－	－	
29	医学一般	医学一般	2	福祉	
30	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ論	－	－	－	
31	看護学	－	－	－	
32	介護概論	－	－	－	
33	栄養学	－	－	－	
34	家政学	－	－	－	

全…全学部で履修可　　社…社会学部のみ履修可　　コミュ…社会学部コミュニティデザイン学科のみ履修可
福祉…社会学部コミュニティデザイン学科社会福祉学コースのみ履修可
幼教…教育学部教育学科幼児教育コースのみ履修可

［3］履修方法

①本学在学中に、上表の１から 34 の法定科目のうちから、**<u>３つ以上の異なる法定科目</u>を修得することが必要**です。

②上表を参照し、それぞれの法定科目に対応する「本学開講科目」を履修のうえ、所要単位数を充たしてください。たとえば、法定科目「27 倫理学」を修得するのであれば、本学の『倫理学概論１』（２単位）と『倫理学概論２』（２単位）両方の科目の修得が必要です。

③同一法定科目内の「本学開講科目」の履修をもって、法定科目を２つ修得したこととは認められません。たとえば、法定科目「1 社会福祉概論」の場合、『社会福祉』（２単位）と『現代社会と福祉１・２』（４単位）の両方を履修しても、法定科目「１社会福祉概論」１つを修得したこととなります。

④複数の大学での履修や、卒業後の科目等履修生での取り足し・履修は認められていません。必ず、在学中にすべて修得してください。

例．法定科目「9 児童福祉論」と「17 地域福祉論」と「18 法学」にて、修得しようとする場合、以下に示す科目の履修が必要です。

法定科目		本学開講科目	所要単位数	履修	備考
9	児童福祉論	児童福祉	2	全	『児童福祉』（２単位）もしくは『児童家庭福祉』（２単位）のいずれか
		児童家庭福祉	2	幼教	
17	地域福祉論	地域福祉論１	4	全	
		地域福祉論２			
18	法学	法学概論１	4	全	
		法学概論２			

［4］注意事項

①同一法定科目内で複数の開講科目を履修する必要があるものは、同一年度で履修することを原則とします。（社会学科開講科目を除く。）

②同一年度内で履修できない場合、年度をまたがっての履修も認めますが、本学開講科目の所要単位数を充たす前に、開講科目名称等が変更された場合は、修得単位が法定科目として認められないため、再度取り直す必要があるので注意してください。

③質問などのある人は、教務課まで来てください。

11. 開講科目表

教職課程（中・高）

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
火	5	教職入門（中・高）1	2	1	前期	四方　保仁			○	▲	×
木	5	教職入門（中・高）2	2	1	後期	四方　保仁			○	▲	×
火	5	教育原論（中・高）1	2	2～4	前期	関口　敏美			○	▲	×
火	1	教育原論（中・高）2	2	2～4	前期	大野　僚			○	▲	×
木	6	仏教と教育（中・高）	2	2	後期	四方　保仁			○	▲	×
月	6	教育心理学（中・高）1	2	2～4	前期	谷口　奈青理			○	▲	×
水	4	教育心理学（中・高）2	2	2～4	後期	田中　希穂			○	▲	×
金	3	青年心理学（中・高）1	2	2～4	前期	田中　久美子			○	▲	×
月	1	青年心理学（中・高）2	2	2～4	後期	大西　将史			○	▲	×
月	2	特別支援教育概論（中・高）	2	4	前期	井上　和久			○	▲	×
金	5	教育社会学（中・高）1	2	1～4	前期	西川　潤			○	▲	×
		教育社会学（中・高）2	2	1～4			本年度休講				
金	1	教育行財政学（中・高）1	2	1～4	前期	松本　圭将			○	▲	×
木	1	教育行財政学（中・高）2	2	1～4	後期	武井　哲郎			○	▲	×
月	4	特別活動論（中・高）	2	3～4	後期	秋山　麗子			○	▲	×
火	1	教育課程論（中・高）	2	1～4	後期	樋口　太郎			○	▲	×
金	2	教育方法論（中・高）1	2	1～4	前期	次橋　秀樹			○	▲	×
金	1	教育方法論（中・高）2	2	1～4	後期	次橋　秀樹			○	▲	×
火	2	ICT活用教育の理論と方法（中・高）	1	1～4	後期前半	大久保　紀一朗	2022年度以降入学生適用		○	▲	×
火	6	宗教科教育法Ⅰ	2	2～4	後期	四方　保仁			○	▲	×
木	1	宗教科教育法Ⅱ	2	3～4	前期	釆睪　晃			○	▲	×
火	5	宗教科教育法Ⅲ	2	3～4	後期	四方　保仁			○	▲	×
水	1	宗教科教育法Ⅳ	2	3～4	前期	四方　保仁			○	▲	×
月	5	中社・地歴科教育法Ⅰ－1	2	2～4	前期	武田　章			○	▲	×
月	6	中社・地歴科教育法Ⅰ－2	2	2～4	後期	武田　章			○	▲	×
月	6	中社・地歴科教育法Ⅱ－1	2	3～4	前期	武田　章			○	▲	×
月	5	中社・地歴科教育法Ⅱ－2	2	3～4	後期	武田　章			○	▲	×
木	6	中社・公民科教育法Ⅰ－1	2	2～4	前期	高木　聡			○	▲	×
火	6	中社・公民科教育法Ⅰ－2	2	2～4	後期	高木　聡			○	▲	×
火	6	中社・公民科教育法Ⅱ－1	2	3～4	前期	高木　聡			○	▲	×
金	5	中社・公民科教育法Ⅱ－2	2	3～4	後期	高木　聡			○	▲	×
金	6	国語科教育法Ⅰ	2	2～4	後期	鎌田　均			○	▲	×
						中川　眞二			○	▲	×
金	6	国語科教育法Ⅱ	2	3～4	前期	鎌田　均			○	▲	×
						中川　眞二			○	▲	×
木	5	国語科教育法Ⅲ	2	3～4	後期	谷内　秀一			○	▲	×
						武田　有子			○	▲	×
木	5	国語科教育法Ⅳ	2	3～4	前期	谷内　秀一			○	▲	×
						武田　有子			○	▲	×
水	1	英語科教育法Ⅰ	2	2～4	前期	西川　幸余			○	▲	×
水	3	英語科教育法Ⅱ	2	3～4	前期	西川　幸余			○	▲	×
水	1	英語科教育法Ⅲ	2	3～4	後期	西川　幸余			○	▲	×
火	4	英語科教育法Ⅳ	2	3～4	前期	西川　幸余			○	▲	×
		数学科教育法Ⅰ	2	2～4			本年度休講				
		数学科教育法Ⅱ	2	3～4			本年度休講				
		数学科教育法Ⅲ	2	3～4			本年度休講				
		数学科教育法Ⅳ	2	3～4			本年度休講				
月	1	道徳教育の理論と方法（中等）1	2	2～4	前期	寺川　直樹			○	▲	×
木	3	道徳教育の理論と方法（中等）2	2	2～4	後期	寺川　直樹			○	▲	×
月	2	生徒・進路指導論（中・高）	2	2～4	後期	秋山　麗子			○	▲	×
木	2	教育相談（中・高）	2	4	前期	谷口　奈青理	教育実習参加許可者のみ受講可		○	▲	×
金	2	総合的な学習の時間の指導法（中・高）	2	3～4	後期	武田　章	2019年度以降入学生適用		○	▲	×
		教育実習指導（中・高）	1	4			本年度休講				
		教育実習1（中・高）	4	4			本年度休講				
		教育実習2（中・高）	2	4			本年度休講				
						林　正幸			○	▲	×
水	1	教職実践演習（中・高）	2	4	後期	関口　敏美	教育実習参加許可者のみ受講可		○	▲	×
						谷口　奈青理			○	▲	×
						四方　保仁			○	▲	×
＊		介護等体験	―	3	集中後期	井上　和久	小学校・中学校教員免許取得希望者のみ ［教育学部のみ］第2学年から履修可能		○	▲	×

教職課程

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
		体育実技1－1	1	2			本年度休講				
木	3	体育実技1－2	1	2	前期	中村　泰介	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　主にサッカー（室内）　保育士養成課程と共通		○	▲	×
月	4	体育実技1－3	1	2	前期	永松　昌樹	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　主にバドミントン　保育士養成課程と共通		○	▲	×
木	2	体育実技2－1	1	2	前期	永松　昌樹	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　レクリエーショナル・スポーツ　保育士養成課程と共通		○	▲	×
火	2	体育実技2－2	1	2	前期	中田　千穂	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　主にバスケットボール　保育士養成課程と共通		○	▲	×
火	3	体育実技2－3	1	2	前期	河原　慶子	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　卓球　保育士養成課程と共通		○	▲	×
		体育実技11－1	1	2			本年度休講				
木	3	体育実技11－2	1	2	後期	中村　泰介	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　主にサッカー（室内）　保育士養成課程と共通		○	▲	×
木	2	体育実技11－3	1	2	後期	井上　摩紀	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　レクリエーショナル・スポーツ　保育士養成課程と共通		○	▲	×
木	4	体育実技12－1	1	2	後期	井上　摩紀	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　ボディワーク　保育士養成課程と共通		○	▲	×
月	4	体育実技12－2	1	2	後期	永松　昌樹	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　レクリエーショナル・スポーツ　保育士養成課程と共通		○	▲	×
火	3	体育実技12－3	1	2	後期	河原　慶子	[教育学部のみ]第1学年から履修可能　卓球　保育士養成課程と共通		○	▲	×

保育士養成課程

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
		体育実技1－1	1	1			本年度休講				
木	3	体育実技1－2	1	1	前期	中村　泰介	主にサッカー（室内）　教職課程と共通		○	▲	×
月	4	体育実技1－3	1	1	前期	永松　昌樹	主にバドミントン　教職課程と共通		○	▲	×
木	2	体育実技2－1	1	1	前期	永松　昌樹	レクリエーショナル・スポーツ　教職課程と共通		○	▲	×
火	2	体育実技2－2	1	1	前期	中田　千穂	主にバスケットボール　教職課程と共通		○	▲	×
火	3	体育実技2－3	1	1	前期	河原　慶子	卓球　教職課程と共通		○	▲	×
		体育実技11－1	1	1			本年度休講				
木	3	体育実技11－2	1	1	後期	中村　泰介	主にサッカー（室内）　教職課程と共通		○	▲	×
木	2	体育実技11－3	1	1	後期	井上　摩紀	レクリエーショナル・スポーツ　教職課程と共通		○	▲	×
木	4	体育実技12－1	1	1	後期	井上　摩紀	ボディワーク　教職課程と共通		○	▲	×
月	4	体育実技12－2	1	1	後期	永松　昌樹	レクリエーショナル・スポーツ　教職課程と共通		○	▲	×
火	3	体育実技12－3	1	1	後期	河原　慶子	卓球　教職課程と共通		○	▲	×

学校図書館司書教諭課程

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
		学校経営と学校図書館	2	2～4			本年度休講				
		学校図書館メディアの構成	2	2～4			本年度休講				
		学習指導と学校図書館	2	2～4			本年度休講				
		読書と豊かな人間性	2	2～4			本年度休講				
		情報メディアの活用	2	3～4			本年度休講				

博物館学課程

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
木	2	生涯学習概論Ⅰ	2	2～4	前期	稲葉　弘和	社教・図書館学課程と共通		○	○	×
木	1	生涯学習概論Ⅱ	2	2～4	後期	稲葉　弘和	社教・図書館学課程と共通		○	○	×
木	1	博物館経営論	2	2	前期	國賀　由美子			○	○	×
火	6	博物館情報・メディア論	2	2	後期	本多　潤子			○	○	×
						平野　寿則			○	○	×
						川端　泰幸			○	○	×
						工藤　克洋			○	○	×
						松金　直美			○	○	×
月	5	博物館実習Ⅰ	2	3	通年	戸次　顕彰			○	○	×
						松浦　典弘			○	○	×
						佐藤　愛弓			○	○	×
						松川　節			○	○	×
						大艸　啓			○	○	×
						平野　寿則			○	○	×
＊		博物館実習Ⅱ	1	4	集中後期	川端　泰幸			○	○	×
						工藤　克洋			○	○	×
						大艸　啓			○	○	×

図書館学課程

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
木	2	生涯学習概論Ⅰ	2	2～4	前期	稲葉　弘和	社教・博物館学課程と共通		○	○	×
木	1	生涯学習概論Ⅱ	2	2～4	後期	稲葉　弘和	社教・博物館学課程と共通		○	○	×
火	6	図書館概論	2	2～4	前期	出口　宏子			○	○	×
火	5	図書館制度・経営論	2	2～4	前期	出口　宏子			○	○	×
月	5	図書館情報技術論	2	2～4	前期	武田　和哉			○	×	×
木	5	図書館サービス概論	2	2～4	後期	上野　芳重			○	○	×
月	1	情報サービス論	2	2～4	後期	山本　貴子			○	○	×
木	1	児童サービス論	2	2～4	後期	川北　典子			○	○	×
火	4	情報サービス演習Ⅰ－1	1	3～4	前期	西尾　純子			○	○	×
木	4	情報サービス演習Ⅰ－2	1	3～4	後期	西尾　純子			○	○	×
		情報サービス演習Ⅰ－3	1	3～4			本年度休講				
火	3	情報サービス演習Ⅱ－1	1	3～4	前期	西尾　純子			○	○	×
木	3	情報サービス演習Ⅱ－2	1	3～4	後期	西尾　純子			○	○	×
		情報サービス演習Ⅱ－3	1	3～4			本年度休講				
月	1	図書館情報資源概論	2	2～4	前期	山本　貴子			○	○	×
月	2	情報資源組織論1	2	2～4	前期	川瀬　綾子			○	○	×
火	1	情報資源組織論2	2	2～4	後期	川瀬　綾子			○	○	×
火	4	情報資源組織演習Ⅰ－1	1	2～4	後期	川瀬　綾子			○	○	×
火	5	情報資源組織演習Ⅰ－2	1	2～4	後期	川瀬　綾子			○	○	×
火	1	情報資源組織演習Ⅰ－3	1	3～4	前期	川瀬　綾子			○	○	×
水	3	情報資源組織演習Ⅱ－1	1	3～4	前期	川瀬　綾子			○	○	×
火	2	情報資源組織演習Ⅱ－2	1	3～4	前期	川瀬　綾子			○	○	×
月	2	情報資源組織演習Ⅱ－3	1	3～4	後期	山本　貴子			○	○	×
		図書館基礎特論	1	2～4			本年度休講				
火	3	図書館サービス特論	1	2～4	後期後半	出口　宏子			○	○	×
木	3	図書館情報資源特論1	1	2～4	前期前半	東舘　紹見			○	○	×
木	3	図書館情報資源特論2	1	2～4	前期後半	東舘　紹見			○	○	×
水	1	図書・図書館史	1	2～4	前期前半	中西　秀彦			○	○	×
火	3	図書館施設論	1	2～4	後期前半	出口　宏子			○	○	×
月	5	図書館総合演習	1	4	前期	川瀬　綾子	実習参加許可者のみ受講可		○	×	×
＊		図書館実習	1	4	集中後期	川瀬　綾子			○	×	×
火	6	文書情報管理論	2	2～4	前期	松井　正宏			○	○	×
金	5	ファイリング論	2	2～4	前期	山西　芳幸			○	○	×

真宗大谷派教師課程

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
金	5	声明作法Ⅰ－1	1	2～4	前期	鈴木　友好			○	△	×
金	4	声明作法Ⅰ－2	1	2～4	前期	松村　大栄			○	△	×
金	5	声明作法Ⅱ－1	1	2～4	後期	鈴木　友好			○	△	×
金	4	声明作法Ⅱ－2	1	2～4	後期	松村　大栄			○	△	×
水	6	教化学演習Ⅰ	2	2	通年	藤原　正寿	開講日時不定期		○	△	×
水	6	教化学演習Ⅱ	2	3	通年	藤原　正寿	開講日時不定期		○	△	×
水	3	仏教音楽1	2	2～4	前期	岩田　理恵			○	△	×
水	4	仏教音楽2	2	2～4	後期	岩田　理恵			○	△	×
集中		宗教法規	2	2～4	集中前期	石井　正道			○	△	×
						織田　貴昭			○	△	×
		矯正と保護1	2	2～4			本年度休講				
		矯正と保護2	2	2～4			本年度休講				

社会教育課程

曜日	時限	授業科目	単位	学年	期別	担当	備考	互換科目等	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
木	2	生涯学習概論Ⅰ	2	2～4	前期	稲葉　弘和	博物館・図書館学課程と共通		○	○	×
木	1	生涯学習概論Ⅱ	2	2～4	後期	稲葉　弘和	博物館・図書館学課程と共通		○	○	×
火	1	生涯学習支援論Ⅰ	2	2～4	前期	堂本　雅也			○	○	×
火	1	生涯学習支援論Ⅱ	2	2～4	後期	堂本　雅也			○	○	×
金	2	社会教育経営論Ⅰ	2	2～4	前期	金森　謙輔			○	○	×
金	2	社会教育経営論Ⅱ	2	2～4	後期	金森　謙輔			○	○	×
＊		社会教育実習A	1	3～4	集中後期	林　正幸			○	○	×
						山﨑　弥生			○	○	×
木	1	社会教育演習	2	3	前期	稲葉　弘和			○	○	×
＊		社会教育実習B	1	3～4	集中後期	林　正幸			○	○	×
						山﨑　弥生			○	○	×
木	2	社会教育課題研究	2	4	後期	稲葉　弘和			○	○	×

大　学　院

Ⅰ．履修要領

第１章　教育研究目的

1．目的（学則第１条）

大谷大学大学院の目的（学則第１条）

本学大学院は仏教の精神に則り、仏教並びに人文・社会に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

大谷大学大学院の教育研究目的（学則第３条第２項）

博士課程（※修士・博士とも）は、専攻分野について従来の学術水準に新しい知見を加え、文化の進展に寄与するとともに、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度で精深な研究能力とその基礎となる幅広い豊かな学識の涵養を目的とする。

2．教育目標および教育方針

修士課程

修士課程の教育研究目的（学則第３条第４項）

修士課程は、学部における一般的並びに専門的教養の基礎の上に更に広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力の涵養を目的とする。

1．教育目標（人物養成上の目的）

修士課程は、専攻学問分野の高度な専門知識と研究能力、その学修過程で身につけた視野や能力でもって、現代社会を主体的に生き、社会や文化の発展に貢献することのできる人物を養成する。

具体的には以下のような人物の養成である。

（1）高度な専門的知識と研究能力を備えた創造性豊かな研究者を目指す人物の養成

（2）高度な専門的知識・能力を持つ職業人の養成

（3）知識基盤社会を協調的に支えながら、人と人との関係を再創造していこうとする高度で知的な教養人の養成

2．学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー　DP）

大学院人文学研究科では、修士課程修了時に学生が身につけるべき下記の４つの能力（教育研究上の目的）を定め、これらの能力を身につけることを到達目標とするカリキュラムを編成する。本学は、所定の期間在学して所定単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格することをもって、教育目標を達成したものとみなし、修士の学位を授与する。

以下の能力を身につけた人に学位を授与する（教育研究上の目的）

[真宗学専攻]・[仏教学専攻]・[哲学専攻]・[仏教文化専攻]・[国際文化専攻]

DP1 専攻学問分野と関連分野に関する、高度な専門知識を有する。（専門知識）

DP2 専攻学問分野のなかから自らの学問的問題を発見し、計画的、継続的、系統的に探究できる。（問題発見力／探究力）

DP3 専攻学問分野の基本文献と関連文献を正確に読み、理解することができる。自らの考えを論理的で説得力のある表現で展開できる。（読解力／表現力）

DP4 人間や社会の諸問題に関心をもち、他の人々と共に考え、自らの視野を広げる意欲をもって、学際的な交流をおこなうことができる。（学際的視野）

[教育・心理学専攻]

DP1 教育学・心理学・教科教育学とその関連学問分野に関する、高度な専門知識を有する。（専門知識）

DP2 教育学・心理学・教科教育学のなかから、教育と人間に関わる自らの学問的問題を発見し、計画的、継続的、系統的に探究できる。（問題発見力／探究力）

DP3 教育学・心理学・教科教育学の基本文献と関連文献を正確に読み、理解することができる。教育と人間に関わる自らの考えを論理的で説得力のある表現で展開できる。（読解力／表現力）

DP4 心、人間、社会の諸問題に関心をもち、多様な人々と共に考え、地球社会的な視野に立って学際的な交流をおこなうことができる。（学際的視野）

3．教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー　CP）

大学院人文学研究科修士課程では、学位授与の方針に定められた４つの能力が学生の身につくよう、授業科目を開設するとともに修士論文の作成等に対する研究指導計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。開講科目のねらい、授業形態、教育方法は次のとおりとする。

[真宗学専攻]・[仏教学専攻]・[哲学専攻]・[仏教文化専攻]・[国際文化専攻]

CP1 専攻学問分野の研究に必要な専門知識（DP1）、問題発見力／探究力（DP2）、読解力／表現力（DP3）を総合的に高め、修士論文に結実させるべく、必修の専攻科目を開講する。専攻科目は「特殊研究（演習）」と「特殊研究（論文指導）」で構成する。

CP2 学際的視野（DP4）を広げるべく、必修の基礎科目を開講する。基礎科目は「仏教の視点」「専攻交流演習」で構成する。

CP3 学生の多様な関心に応え、また、各専攻の特定学問分野の探究に必要な能力を高めるべく、選択科目を開講する。選択科目は「語学文献研究」などで構成する。
「語学文献研究（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）」はとくに読解力／表現力（DP3）を高めるべく開講する。
そのほか、学外での幅広い交流の中で、専門知識（DP1）を深め、学際的視野（DP4）を広げることができるよう、京都・宗教系大学院連合単位互換制度下で開講される他大学院の科目を、選択科目の単位として認定する。

【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

大学院人文学研究科修士課程（真宗学専攻・仏教学専攻・哲学専攻・仏教文化専攻・国際文化専攻）では、学位授与の方針に定められた４つの能力が学生の身につくよう、３つの科目群（基礎科目、専攻科目、選択科目）を基盤とした教育課程を開設するとともに修士論文の作成等に対する研究指導計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。以下では、まず各科目（群）のねらい、授業形態、教育方法を説明し、次いでディプロマ・ポリシーとの関連を◎と○で示す（◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている）。

基礎科目

人間や社会の諸問題への関心の喚起と学際的な交流を目的とする科目を、各専攻共通の基礎科目として開講する。基礎科目は、本学大学院の理念であるブッダと親鸞の基本思想をとおして人間について考える必須科目「仏教の視点」、他専攻の学生との学びをとおして学際的視野を広げる必須科目「専攻交流演習」で構成する。

専攻科目

各専攻研究に必要な能力を高め、修士論文に結実させる科目を専攻科目として開講する。専攻科目は、専攻科目Ａとして、専門知識・問題発見力・探究力・読解力・表現力を総合的に育成する必須科目「特殊研究（演習）」、専攻科目Ｂとして、研究論文作成のための基礎的な能力を育成する必須科目「特殊研

究（論文指導）」、専攻科目Ｃとして、さまざまな専門文献についての知識や研究方法を学ぶために選択可能な専攻科目で構成する。

選択科目

学生の多様な関心に応え、各専攻の特定学問分野の探究に必要な能力を高めるために「語学文献研究」等を選択科目として開講し、京都・宗教系大学院連合単位互換制度下で開講される科目や毎年夏期に開催される安居を選択科目の単位として認定する。

修士課程（真宗学専攻・仏教学専攻・哲学専攻・仏教文化専攻・国際文化専攻）開講科目

科目（群）		履修単位	学年配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	各科目（群）のねらい
基礎科目	「仏教の視点」	2	1				◎	仏教思想を通じて、人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う。
	「専攻交流演習」	2	1		○		◎	他専攻の学生との学びを通じて、学際的視野を広げ、自らの専攻の学問的意義をより明確に理解する。
専攻科目	専攻科目Ａ	8	1～2	◎	◎	◎		2年間の段階的な学びにより、専門知識、問題発見力、探究力、読解力、表現力を修得し、修士論文作成に必要な能力を培う。（「特殊研究（演習）」）
	専攻科目Ｂ	4	1	○	○	◎		各専攻で学ぶにあたり必要とされる、基礎的な論文作成能力を育成する。（「特殊研究（論文指導）」）
	専攻科目Ｃ	4以上	1～2	○	○	○		自専攻と他専攻のさまざまな専門的文献等についての知識や研究方法を身につける。（「特殊研究（演習）」、「特殊研究（論文指導）」以外の専攻科目および他専攻の専攻科目）
選択科目		0以上	1～2	○	○	○	○	学生の多様な関心に応え、各専攻の特定学問分野の探究に必要な能力を高める。
学位論文			2	◎	◎	◎	◎	各専攻での専門的な学びを通じて身につけた能力を駆使し、粘り強く研究を遂行する。（修士論文）

[教育・心理学専攻]

CP1 専攻学問分野の研究を始めるのに必要な専門知識と読解力の基礎を固めるべく、必修の基礎科目「教育学総論」「心理学総論」を開講する。さらに、専攻学問分野の研究に必要な専門知識（DP1）、問題発見力／探究力（DP2）、読解力／表現力（DP3）を総合的に高めるため、必修の専攻科目「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」を開講する。

CP2 人間や社会の諸問題への視野（DP4）を広げるべく、必修の基礎科目「仏教の視点」を開講する。

CP3 学生の多様な関心に応えるべく、選択科目を開講する。高度な専門知識（DP1）・問題発見力／探究力（DP2）・読解力／表現力（DP3）・学際的視野（DP4）を総合的に高めるため、選択の専攻科目として教育学領域・心理学領域・教科教育学領域にそれぞれ三種類の「特論」「演習」を開講し、その履修単位を選択科目のそれとして認定する。

「語学文献研究（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）」はとくに読解力／表現力（DP3）を高めるべく開講する。

そのほか、学外での幅広い交流の中で、専門知識（DP1）を深め、学際的視野（DP4）を広げることができるよう、京都・宗教系大学院連合単位互換制度下で開講される他大学院の科目を、選択科目の単位として認定する。

【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

大学院人文学研究科修士課程（教育・心理学専攻）では、学位授与の方針に定められた４つの能力が学生の身につくよう、３つの科目群（基礎科目、専攻科目、選択科目）を基盤とした教育課程を開設するとともに修士論文の作成等に対する研究指導計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。以下では、まず各科目（群）のねらい、授業形態、教育方法を説明し、次いでディプロマ・ポリシーとの関連を◎と○で示す（◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている）。

基礎科目

人間や社会の諸問題への関心の喚起と、専攻研究をはじめるために必要な基礎的能力の涵養を目的とする科目を基礎科目として開講する。基礎科目は、本学大学院の理念であるブッダと親鸞の基本思想をとおして人間について考える必須科目「仏教の視点」、専攻研究をはじめるための基礎を構築する必須科目「教育学総論」・「心理学総論」で構成する。

専攻科目

専攻研究に必要な能力を総合的に育成し、修士論文に結実させる科目「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」を、必須科目として開講する。

選択科目

学生の多様な関心に応え、各専攻の特定学問分野の探究に必要な能力を高めるために選択科目を開講する。選択科目は、教育学領域・心理学領域・教科教育学領域それぞれにおける「特論」と「演習」、読解力・表現力の向上を目的とする「語学文献研究」等から構成される。また、京都・宗教系大学院連合単位互換制度下で開講される科目や毎年夏期に開催される安居を選択科目の単位として認定する。

修士課程（教育・心理学専攻）開講科目

科目（群）		履修単位	学年配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	各科目（群）のねらい
基礎科目	「仏教の視点」	2	1				◎	仏教思想を通じて、人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う。
	「教育学総論」・「心理学総論」	4	1	◎				専攻研究をはじめるために必要な教育学と心理学に関する基礎を構築する。
専攻科目	「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」	8	1～2	◎	◎	◎		2年間の段階的な学びにより、専門知識、問題発見力、探究力、読解力、表現力を修得し、修士論文作成に必要な能力を培う。
選択科目		16	1～2	○	○	○	○	学生の多様な関心に応え、各専攻の特定学問分野の探究に必要な能力を高める。
学位論文			2	◎	◎	◎	◎	各専攻での専門的な学びを通じて身につけた能力を駆使し、粘り強く研究を遂行する。（修士論文）

4．学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

大学院人文学研究科修士課程では、学位授与の方針に定められた4つの能力の修得状況を、機関レベル（大学院全体）、教育課程レベル（研究科・専攻）、科目レベル（授業）の3段階で評価する方法を定めています。

1．機関レベル（大学院全体）

学生の志望進路に対する就職率、学修行動調査に基づいて修得状況を評価します。

2．教育課程レベル（研究科・専攻）

以下に基づいて修得状況を評価します。

（1）修了要件の達成状況（単位修得状況・GPA）
（2）学修行動調査
（3）修士論文の成果
（4）「修士課程研究計画書」の内容
（5）研究科・専攻の所定の教育課程における資格・免許の取得状況

3．科目レベル（授業）

シラバスで提示された成績評価基準に基づいて修得状況を評価します。

博士後期課程

博士後期課程の教育研究目的（学則第３条第５項）

博士後期課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。

１．教育目標（人物養成上の目的）

博士後期課程は、専攻学問分野の優れて高度な専門知識と研究能力を有し、人間や社会への広い視野をも備えて、自立した研究活動をおこない、社会や文化の発展に貢献することのできる人物を養成する。

２．学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー　DP）

大学院人文学研究科では、博士後期課程修了時に学生が身につけるべき下記の４つの能力（教育研究上の目的）を定め、これらの能力を身につけることを到達目標とするカリキュラムを編成する。本学は、所定の期間在学して所定単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することをもって、教育目標を達成したものとみなし、博士の学位を授与する。

以下の能力を身につけた人に学位を授与する（教育研究上の目的）

DP1 専攻学問分野と関連分野に関する、優れて高度な専門知識を有する。（専門知識）

DP2 専攻学問分野の重要な学問的問題を見いだし、自らの確かな方法をもって探究することができる。（問題発見力／探究力）

DP3 研究に必要な複数の言語について高度な読解力を有する。研究成果を広く学界に発表することができる。（読解力／表現力）

DP4 人間や社会の諸問題について広い視野と学際的知識を有する。（学際的視野）

３．教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー　CP）

大学院人文学研究科博士後期課程では、学位授与の方針に定められた４つの能力が学生の身につくよう、授業科目を開設するとともに博士論文の作成等に対する研究指導計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。開講科目のねらい、授業形態、教育方法は次のとおりとする。

CP1 専門知識（DP1）、問題発見力／探究力（DP2）、読解力／表現力（DP3）を総合的に高め、博士論文に結実させるべく、必修の専攻科目「特殊研究（演習）」を開講する。

CP2 人間や社会の諸問題についての視野（DP4）を広げるべく、必修の基礎科目「仏教の視点」を開講する。

CP3 各自の関心と必要に応じて、専門知識（DP1）、問題発見力／探究力（DP2）、読解力／表現力（DP3）を高め、学際的視野（DP4）を広げるべく、選択科目を開講する。また、専攻科目中の「特殊研究Ⅰ（講義）」、「特殊研究Ⅱ（文献研究）」の履修単位を選択科目のそれとして認定する。

「特殊研究Ⅰ（講義）」のなかに高度な専門知識（DP1）を深めるものと他専攻生の学際的視野（DP4）を涵養するものを開講する。

「特殊研究Ⅱ（文献研究）」は読解力／表現力（DP3）を高め、専門知識（DP1）を深めるものが中心になるが、問題発見力／探究力（DP2）や学際的視野（DP4）を涵養するものも開講する。

「語学文献研究（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）」はとくに読解力／表現力（DP3）を高めるべく開講する。

そのほか、学外での幅広い交流の中で、専門知識（DP1）を深め、学際的視野（DP4）を広げることができるよう、京都・宗教系大学院連合単位互換制度下で開講される他大学院の科目を、選択科目の単位として認定する。

【教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

大学院人文学研究科博士後期課程では、学位授与の方針に定められた４つの能力が学生の身につくよう、３つの科目群（基礎科目、専攻科目、選択科目）を基盤とした教育課程を開設するとともに博士論文の作成等に対する研究指導計画を策定し、体系的に教育課程を編成する。以下では、まず各科目群のねらいを説明し、次いでディプロマ・ポリシーとの関連を◎と○で示す（◎：特に重点を置いている、○：重点を置いている）。

基礎科目

人間や社会の諸問題についての視野を広げることを目的とする各専攻共通の基礎科目として、本学大学院の理念であるブッダと親鸞の基本思想をとおして人間について考える必須科目「仏教の視点」を開講する。

専攻科目

各専攻研究に必要な能力を高め、博士論文に結実させる科目を専攻科目として開講する。専攻科目は、専攻科目Ａとして、専門知識・問題発見力・探究力・読解力・表現力を総合的に育成する必須科目「特殊研究（演習）」、専攻科目Ｂとして、さまざまな専門文献についての知識や研究方法を学ぶために選択可能な専攻科目で構成する。

選択科目

学生の多様な関心に応え、各専攻の特定学問分野の探究に必要な能力を高めるための科目を選択科目として開講する。選択科目は、選択科目Ａとして、博士後期課程修了のために必要な外国語学力認定に対応する「語学文献研究」、選択科目Ｂとして、学生の関心に応じて選択できる諸科目で構成する。京都・宗教系大学院連合単位互換制度下で開講される科目や毎年夏期に開催される安居を選択科目Ｂの単位として認定する。

博士後期課程開講科目

科目（群）		履修単位	学年配当	(DP1)	(DP2)	(DP3)	(DP4)	各科目（群）のねらい
基礎科目	「仏教の視点」	2	1				◎	仏教思想を通じて、人間に関する考察を進め、他者と共に生きる社会への問題意識を養う。
専攻科目	専攻科目Ａ	12	1～3	◎	◎	◎		3年間の段階的な学びにより、専門知識、問題発見力、探究力、読解力、表現力を修得し、博士論文作成に必要な能力を培う。（「特殊研究（演習）」）
	専攻科目Ｂ	0以上	1～3	○	○	○		自専攻と他専攻のさまざまな専門的文献等についての知識や研究方法を身につける。（「特殊研究（演習）」以外の専攻科目および他専攻の専攻科目）
選択科目	選択科目Ａ	4	1～3			◎		英語、独語、仏語、中国語の読解力・表現力を高める。（「語学文献研究（英語）」等。）
	選択科目Ｂ	0以上	1～3	○	○	○	○	学生の多様な関心に応え、各専攻の特定学問分野の探究に必要な能力を高める。
学位論文			3	◎	◎	◎	◎	各専攻での専門的な学びを通じて身につけた能力を総合的に駆使し、粘り強く研究を遂行する。（博士論文）

４．学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

大学院人文学研究科博士後期課程では、学位授与の方針に定められた４つの能力の修得状況を、機関レベル（大学院全体）、教育課程レベル（研究科・専攻）、科目レベル（授業）の３段階で評価する方法を定めています。

１．機関レベル（大学院全体）

学生の志望進路に対する就職率、学修行動調査に基づいて修得状況を評価します。

２．教育課程レベル（研究科・専攻）

以下に基づいて修得状況を評価します。

（1）修了要件の達成状況（単位修得状況・GPA）
（2）学修行動調査
（3）博士論文の成果（学位請求論文発表会での発表を含む）
（4）「博士後期課程研究計画書」の内容
（5）「大谷大学博士学位授与申請者研究業績書」の内容
（6）『大谷大学大学院研究紀要』に掲載する論文の内容
（7）研究科・専攻の所定の教育課程における資格・免許の取得状況

３．科目レベル（授業）

シラバスで提示された成績評価基準に基づいて修得状況を評価します。

3．各専攻の人物養成の目的（学則第５条第３項）

真宗学専攻

真宗学専攻は、親鸞の根本著作である『教行信証』の読解を中心に据え、その教学思想を研究し、自己自身の求道的関心を通して、広い視野をもって人間の諸問題を探求する人物の育成をめざす。

仏教学専攻

仏教学専攻は、客観的文献研究を重視する方法論によって仏教を学問的に研究し、その知見に基づき、現代社会のさまざまな課題の解明にも寄与する人物の育成をめざす。

哲学専攻

哲学専攻は、「人間とは何か」といった根本的問題を東西の思想的伝統を踏まえつつ考究し、現代の多様な価値観に由来する人間の諸問題に対処しうる人物の育成をめざす。

仏教文化専攻

仏教文化専攻は、仏教を土壌として形成されてきたアジア諸地域の文化を歴史学研究と文学研究の両面から解明し、日本・東洋の仏教文化の精粋を考究し、発信しうる人物の育成をめざす。

国際文化専攻

国際文化専攻は、古今東西の多様な文化に向き合い、そこに見出される関係性や普遍性に注目することによって、高度な学問的洞察力と広い国際的発想力をもつ人物の育成をめざす。

教育・心理学専攻

教育・心理学専攻は、宗教的情操に基づく豊かな人間理解の態度を持ち、教育学、心理学及び教科教育学の各領域において高度な研究を行い、教育学、心理学に関係した分野において中心的な役割をはたすことができる高度専門職業人の育成をめざす。

4. 各専攻の目的と目標

修士課程　真宗学専攻

▼人物養成の目的

真宗学専攻は、大乗仏教の至極として親鸞が力を込めて顕らかにした「浄土真宗」を、自己自身の求道的探究心を通して攻究する。また、仏教の永い伝統及び現代の諸思想との関連のなかで、世界的な展望をもって、「浄土真宗」の意義を広く深く明らかにしようとする能力を持った人物の育成を目指す。修士課程では、特に親鸞の仏教を学ぶ方法論を身に付けなければならない。

▼教育目標

上記の目的について、各学生の志向の違いによって細説すればおよそ次の通りである。

①研究者を目指す人

『教行信証』の思想信仰の体系的な解明を目指すとともに、その背景としての原始浄土教思想の研究及び浄土仏教の祖師の教学との関係について正確な知識を身に付ける。また研究者としての姿勢、学問の方法論を明確にしなければならない。

②高度職業人を目指す人

親鸞が明らかにした「浄土真宗」の思想信仰の理解を中心にして、専門的知識と社会問題の関係を考察する力を養成する。

③高度教養人を目指す人

親鸞が明らかにした「浄土真宗」の思想信仰の理解を中心にして、広く七祖教学を身に付け、自己自身の求道的関心との関係を理解する。

▼教育課程の編成・実施方針

上記の教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。

●基礎科目

「仏教の視点」では、人間を問う仏教の視点を学ぶなかで自らの学問のあり方を問い直す。「専攻交流演習Ⅰ」では、他専攻生とのグループワーク的な学際交流のなかで学問的視野を広げる。

●専攻科目

「特殊研究Ⅰ（講義）」は、『教行信証』に深く関わる課題を取り上げ、親鸞の思想の核心を講義する。

「特殊研究Ⅱ（文献研究）」は、選定されたテキストの綿密な読解を目標とする。

「特殊研究（演習）」は、『教行信証』をテキストとし、学生が担当箇所の研究発表を行い、議論を通して真宗学の根本問題について綿密に攻究する。

「真宗学特殊研究（論文指導）」は、指導教員による修士論文の指導と連携をとりながら、論文作成のための基礎的な学力を養成する。

「真宗学研究」は、「浄土真宗」に関わるさまざまな課題を広い視野から学ぶことを目的とする。

「真宗学研究（文献研究）」は、浄土三部経や七祖および親鸞の著述に取り組むことを通して、「浄土真宗」の文献の読解力を養う。

学問的視野を養成するために、自専攻の開講科目に限らず、他専攻の開講科目のなかから、目標に応じて受講してほしい。特に仏教学的基礎力や中国・日本の歴史に関する専門知識は、真宗学理解の有力な基礎学力となるので特に必要である。

●選択科目

「語学文献研究」では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語の文献精読を通じて、高度な語学力を養う。特に博士後期課程に進学を希望している人は受講するのが望ましい。

京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を見て参加してほしい。

特に真宗学専攻では、大谷派宗門の学事である安居が「文献研究」として開講されている。必ず真宗学のテキストが講義されるので積極的に参加すべきである。

修士課程　仏教学専攻

▼人物養成の目的

仏教学専攻は、文献学を基軸とする原典研究によって仏教思想を探求し、その知見に基づき現代社会の諸問題に応答していく視点をもった人物の育成を目指す。修士課程では、インド仏教をはじめ、チベット、中国、東南アジア、日本などの各地域に伝えられてきた文献読解に基づく思想研究を柱として、仏教精神に根ざした洞察力を養うことになる。

▼教育目標

上記の目的について、各学生の志向の違いによって細説すればおよそ次の通りである。

①研究者を目指す人

仏教は、インドをはじめとして、アジア各地に伝えられ、展開したものであるが、自らの関心に沿って研究の中心となる地域と文献資料を選択して、思想・文化史的な視点を踏まえて、文献学的な方法によって厳密な文献読解力を身につける。

②高度職業人を目指す人

仏教の基本思想を理解し、その視点に立って、現代社会のさまざまな課題に取り組む力を養成する。

③高度教養人を目指す人

仏教の基本思想を理解し、その視点に立って、自らの生き方や社会との関係を考察する力を養成する。

▼教育課程の編成・実施方針

この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。

●基礎科目

「仏教の視点」では､人間を問う仏教の視点を学ぶなかで自らの学問のあり方を問い直す。「専攻交流演習Ⅰ」では、他専攻生とのグループワークによる学際交流のなかで学問的視野を広げる。

●専攻科目

「特殊研究（演習)」は、ゼミ形式でテキストの読解に取り組み、研究課題の発見、論証の仕方、発表の方法などを学ぶ。

「特殊研究Ⅰ（講義)」は、初期仏教と大乗仏教の基本的な課題に関して、主な先行研究を学びながら、基本的課題の正確な内容や研究の現状、方法論などを学ぶ。

「特殊研究Ⅱ（文献研究)」は、サンスクリット語や古典漢語文献など、仏教学研究に不可欠な文献の精読を通して、テキストの扱い方と読解方法を学ぶ。

「仏教学研究」は、仏教学の諸分野についての専門的な講義である。特に特殊研究で包括できない分野を選んで開講する。また「仏教学研究５･６」はいわゆる合同ゼミの形態を持たせたもので、仏教学専攻の修士･博士課程全員（教員・大学院生）が出席し、順番に学生各自の課題を発表し、可能な限り全員が課題を共有することを目的としている。

「特殊研究（論文指導)」は、演習担当者によるサブゼミで、修士論文作成に関する文献読解の指導をその都度考慮して実施する。

所属する専攻だけではなく他専攻の専攻科目も履修ができ、専攻科目に区分される。これらも積極的に受講し、学際的な視野を広げてもらいたい。

●選択科目

「語学文献研究」では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語の文献精読を通じて、高度な語学力を養う。特に博士後期課程に進学を希望している人は受講するのが望ましい。

京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を調査して参加してほしい。

修士課程　哲学専攻

▼人物養成の目的

哲学専攻は、「人間とは何か」といった根本的問題を東西の思想的伝統を踏まえつつ考究し、現代の多様な価値観に由来する人間の諸問題に対処しうる力をもった人物の育成を目指す。修士課程では、本文学部哲学科の４コース（哲学・西洋思想、心理学・人間関係学、倫理学・公共哲学、宗教学宗教学・死生学）に対応する指導がなされており、「人間とは何か」という問いに、原理的に答えていくための十分な素養を培う。

▼教育目標

上記の目的について、各学生の志向の違いによって細説すればおよそ次の通りである。

①研究者を目指す人

哲学における本質的な問題についての理解を深め、各自の研究に必要な基礎力の充実を図り、博士後期課程進学を視野に入れて、みずからテーマを設定し修士論文を完成させる。

②高度職業人を目指す人

哲学における本質的な問題についての理解を深め、人間と社会の問題を原理的に考察する力を養成する。

③高度教養人を目指す人

哲学における本質的な問題についての理解を深め、人間についての幅広い教養と深い洞察力を身につける。

▼教育課程の編成・実施方針

この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。

●基礎科目

「仏教の視点」では、人間を問う仏教の視点を学ぶなかで自らの学問のあり方を問い直す。「専攻交流演習Ⅰ」では、他専攻生とのグループワーク的な学際交流のなかで学問的視野を広げる。

●専攻科目

各自の研究課題に適うよう、主要科目担当教員による「哲学特殊研究 (演習)」を選択する。同時に、選択した「哲学特殊研究 (演習)」の担当教員による「哲学特殊研究 (論文指導)」を受講し、研究課題の設定、研究活動の進め方、研究報告・論文作成の基礎について学ぶ。さらに「哲学特殊研究Ⅰ (講義)」では個別のテーマに関する講義によって専門知識に触れ、「哲学特殊研究Ⅱ (文献研究)」を通して専門文献の正確な読解力、理解力を身につける。

所属する専攻だけでなく他専攻の専攻科目も履修ができ、専攻科目に区分される。これらも積極的に受講し、学際的な視野を広げてもらいたい。

●選択科目

「語学文献研究」では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語の文献精読を通じて高度な語学力を養う。特に博士後期課程に進学を希望する人は受講するのが望ましい。「語学文献研究」の他にも選択科目として語学科目を開講している。また、京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を調べて参加して欲しい。

修士課程　仏教文化専攻

▼人物養成の目的

日本文化・東洋文化・西洋文化の３領域からなる仏教文化専攻では、仏教文化を対象とする研究能力または専門性を要する職業などに必要な高度な能力の涵養を目的とし、仏教を主要な土壌として形成されてきたアジア諸地域の文化を歴史学研究と文学研究の両面から探究し、日本・東洋の仏教文化の精粋を考察し、発信しうる人物の養成を目指す。

▼教育目標

上記の目的について、各学生の志向の違いによって細説すればおよそ次の通りである。

①研究者を目指す人

仏教文化を中心とし、日本と東洋を主な対象とする歴史学・仏教史学・文学など特色ある個別研究の方法を習得するとともに、多様な領域から学術的知見を摂取する。修士論文作成のため大学院生各人の問題関心に沿って研究領域や研究対象を定める。

②高度職業人を目指す人

学校教育・生涯学習などの場において、仏教を主要な土壌としたアジア諸地域の文化を発信しうる知識と能力を習得する。

③高度教養人を目指す人

人生を豊かに生きるため仏教を主要な土壌としたアジア諸地域の文化を理解する。

▼教育課程の編成・実施方針

この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。

●基礎科目

「仏教の視点」では､人間を問う仏教の視点を学ぶなかで自らの学問のあり方を問い直す。「専攻交流演習Ⅰ」では、他専攻生とのグループワーク的な学際交流のなかで学問的視野を広げる。

●専攻科目

「仏教文化特殊研究Ⅰ（講義)」は、仏教文化の理解に必要な専門的な知識を教授する。

「仏教文化特殊研究Ⅱ（文献研究)」は、共通テキストの講読を通じて基本文献と関連文献を正確に読解できる能力を養成する。

「仏教文化特殊研究（演習)」は、大学院生と教員との共同研究の方式を基本とし、大学院生の発起による定例の研究発表会を行って、自らの研究テーマを通じて社会の様々な問題に興味を持ち、自らの視野を広めることのできる能力を養成する。

「仏教文化特殊研究（論文指導)」は、大学院生各人がそれぞれの問題関心にそって計画的、継続的、系統的に探求し、自らの考えを論理的に表現できる能力を養成する。

「仏教文化研究」は、東アジアの仏教文化について広い範囲にわたる研究内容を教授する。

所属する専攻だけではなく他専攻の専攻科目も履修ができ、専攻科目に区分される。これらも積極的に受講し、学際的な視野を広げてもらいたい。

●選択科目

「語学文献研究」では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語の文献精読を通じて、高度な語学力を養う。特に博士後期課程に進学を希望している人は受講するのが望ましい。

京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を調査して参加してほしい。

修士課程　国際文化専攻

▼人物養成の目的

古今東西の多様な文化に向き合い、そこに見出される関係性と普遍性に注目することによって、高度な学問的洞察力と広い国際的発想力を持つ人物の育成を目指す。

▼教育目標

上記の目的について、各学生の志向の違いによって細説すればおよそ次の通りである。

①研究者を目指す人

欧米、東洋の諸地域の中から、自ら専攻とする地域研究に必要な語学を早いうちから習得する必要がある。また指導教員との相談の上で修士論文を作成するための研究テーマを選び、２年間の研究計画を立てる。研究者としての研究姿勢を確立するためにも、指導教員による個人指導やゼミで積極的に学んでいく必要がある。一方、特定地域に偏らず幅広い比較文化的な視点も身につけるように努めること。

②高度職業人を目指す人

異文化の理解、比較文化的な視点、そして特定地域の文化についての深い知識を身に付け、自らの思索を表現する能力を身に付ける。

③高度教養人を目指す人

自国の文化を理解するため、国際的な視野と比較考察をする能力を身に付ける。

▼教育課程の編成・実施方針

この教育目標に対して本専攻においては、地域文化研究と比較文化研究という二つの視座を用意している。地域文化研究は欧米文化研究と東洋文化研究に大別され、それぞれの地域の言語習得を基礎に、その歴史･文学･芸術・哲学・社会・宗教などに関する様々な学問を可能な限り取り込んで幅広く研究を進めていく。比較文化研究において、自らの専門とする分野に留まらず他の文化・異文化との比較の視点からも考察を深めていく。

この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。

●基礎科目

「仏教の視点」では､人間を問う仏教の視点を学ぶなかで自らの学問のあり方を問い直す。「専攻交流演習Ⅰ」では、他専攻生とのグループワーク的な学際交流のなかで学問的視野を広げる。

●専攻科目

大学院修士課程の指導の中心である「国際文化特殊研究（演習)」では、各自が指導教員の個別指導を受けるとともに、合同ゼミにおいて、学生の研究発表と質疑、討論を行い、複数教員による助言を受けることができる。これによって学生は各地域文化の特異性に通暁するだけではなく、地域の枠を超えて発想し、新たなテーマを発見し、展開する力を培うことができる。「国際文化特殊研究（論文指導)」においては、修士論文を作成するための具体的な研究方法、執筆方法の指導などを行う。

他に選択科目の「国際文化特殊研究Ⅰ（講義)」および「国際文化特殊研究Ⅱ（文献研究)」においては、比較文化、地域文化の学術的研究を行っていくための専門的な技法と知識を身に付けられるようにする。

また、地域文化について長年研究と教育に携わってきた教授陣が、欧米・東洋の各地域の文化の様々な側面について講義を行う「地域文化研究」および「比較文化研究｣､各地域の言語の文献を読解する力を養う「地域文化研究（文献研究)」を開講する。

所属する専攻だけではなく他専攻の専攻科目も履修ができ、専攻科目に区分される。これらも積極的に受講し、学際的な視野を広げてもらいたい。

●選択科目

「語学文献研究」では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語の文献精読を通じて、高度な語学力を養う。特に博士後期課程に進学を希望している人は受講するのが望ましい。

京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を調査して参加してほしい。

修士課程　教育・心理学専攻

▼人物養成の目的

教育学部教育学科初等教育コースと連携・接続する修士課程として、教育学・心理学・教科教育学などにおいて幅広い教育・研究を行い、研究成果を職業に活かすことのできる高度専門職業人の養成を主目的とするが、高度教養人の養成にも配慮する。

▼教育目標

上記の目的について、各学生の志向の違いによって細説すればおよそ次の通りである。

①高度職業人を目指す人

宗教的情操に基づく豊かな人間理解の態度を持ち、教育学・心理学・教科教育学において高度な研究を行い、各領域に関係した分野において中心的な役割をはたすことができる高度専門職業人を養成する。教育における技能や知識はもとより、子どもにいのちの尊さや道徳的心情を涵養できる高度専門職業人の養成を目指す。ただし、高度専門職業人としての延長線上にある研究者への進路についても配慮する。

②高度教養人を目指す人

宗教的情操に基づく豊かな人間理解の態度を持ち、教育学・心理学・教科教育学において高度な研究を行い、各領域において高度な教養を有する人物の養成を目指す。

▼教育課程の編成・実施方針

この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。

●基礎科目

「仏教の視点」「教育学総論」「心理学総論」の３科目を配し、本学の特徴である宗教的情操を育むと同時に、教育学・心理学における基礎的素養を涵養することを目的とする。教育学・教科教育学を研究主領域とする者は「教育学総論」を、心理学領域を研究主領域とする者は「心理学総論」を履修することになる。

●専攻科目

「基盤的研究分野」・「実践的研究分野」・「研究指導科目」に大別される。「基盤的研究分野」は「教育学領域」と「心理学領域」に、「実践的研究分野」は「教科教育学領域」に分けられている。

「教育学領域」においては、「教育人間学（特論・演習）」「臨床教育学（特論・演習）」「仏教と教育（特論・演習）」の各授業を置き、本学の特色でもある仏教学や人間学の視点からの教育・研究を行うとともに、教育学における実践的な臨床分野までも授業内容として取り扱う。「心理学領域」については、「教育心理学（特論・演習）」「発達心理学（特論・演習）」だけでなく「臨床心理学（特論・演習）」の授業を置き、心理学における幅広い分野を教育・研究できるように配慮してある。「教科教育学領域」については、初等科教育において特に重要だと考えられる「社会認識」・「言語」・「身体」に焦点をあて、それぞれ「教科教育学」の１～３（それぞれに特論・演習がある）という授業名で開講している。

「研究指導科目」には「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」が置かれている。この授業は研究指導教員５名が、協力して担当することになる。教育学・心理学・教科教育学、それぞれの分野を専門領域とする５名が、各自の専門を活かしつつ協力して院生を総合的に指導する。

●選択科目

所属する専攻だけではなく他専攻の専攻科目も履修ができ、選択科目に区分される。これらも積極的に受講し、学際的な視野を広げてもらいたい。

「語学文献研究」では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語の文献精読を通じて、高度な語学力を養う。京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を調査して参加してほしい。

●その他

修士論文指導における主たる研究指導教員は、「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」を担当する５名の教員の中から選任される。主たる研究指導教員は、他の教員とも協力して、総合的に修士論文指導にあたる。また、近隣の小学校との連携による共同研究なども実施していく。大学院担当教員・大学院生・小学校教員との共同研究を実施していく中で、高度専門職業人の育成が目指される。

博士後期課程　真宗学専攻

▼人物養成の目的

真宗学専攻は、大乗仏教の至極として親鸞が力を込めて顕らかにした「浄土真宗」を、自己自身の求道的探究心を通して攻究する。また、仏教の永い伝統及び現代の諸思想との関連のなかで、世界的な展望をもって、「浄土真宗」の意義を学問研究として明らかにしようとする能力を持った人物の育成を目指す。博士後期課程では、研究の成果を博士論文として提出しなければならない。

▼教育目標

親鸞の根本著作である『教行信証』の思想信仰を体系的に解明することを主題とするが、同時に、その思想背景としての原始浄土思想の研究及び浄土仏教の祖師の教学、特に天親・曇鸞、善導・法然などの思想研究、さらに近代における真宗理解についての研究を必要とする。それらの研究成果を駆使して、博士論文を提出し、将来の独立した研究者としての資質を養う。

▼教育課程の編成・実施方針

2020年度以降入学生	上記の教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。 **●専攻科目** 「真宗学特殊研究Ⅰ(講義)」は『教行信証』の主要な課題を取り上げ、親鸞の思想の核心を講義する。 「真宗学特殊研究Ⅱ(文献研究)」は選定されたテキストの綿密な読解を目標とする。 「真宗学特殊研究(演習)」は『教行信証』をテキストとし、学生が担当箇所の研究発表を行い、議論を通して真宗学の根本問題について綿密に攻究する。 自専攻の開講科目に限らず、他専攻の「仏教学研究」「哲学研究」「宗教学研究」「仏教文化研究」などの中から、学問的視野を養成するよう意識して、目標に応じて選択してほしい。特に仏教学的基礎力や中国・日本の歴史に関する専門知識は真宗学理解の有力な基礎学力となるので特に必要である。 **●選択科目** 大谷派宗門の学事である安居が「文献研究」として開講されている。必ず真宗学のテキストが講義されるので積極的に参加すべきである。 国際的な観点からは「語学文献研究」に取り組んでほしい。また京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を見て参加してほしい。 **●その他** 各種学会や公開講演会などが、学内学外で頻繁に開催されている。これらは大学ホームページなどによって参照可能なので、積極的に参加・発表し見聞を広げてほしい。また、真宗学会では博士後期課程の学生の発表の場として、真宗学会例会を設けているので、必ず一度以上は発表しなければならない。 さらに各ゼミの壁を超えて研究を深めるために、合同ゼミが毎週設けられている。そこでは各自の研究テーマに即した発表をし、それについて討議をしなければならない。 さらに博士論文提出のためには、『大谷大学大学院研究紀要』の論文以外に最低一本の論文が公にされることが義務づけられているので、その論文の発表のために充分な準備が必要である。

博士後期課程　仏教学専攻

▼人物養成の目的

仏教学専攻は、文献学を基軸とする原典研究によって仏教思想を探求し、その知見に基づき現代社会の諸問題に応答していく視点をもった人物の育成を目指す。修士課程において学んできた文献学を基礎に、それぞれの専門的知識を深め、高度な思想研究の成果を生み出す力を養うことになる。

▼教育目標

原典研究の力を高めながら、より深く各自の研究を進める。また、研究者として必要不可欠な素養を身につける。このようにして、学問する総合的な力を養い、成果として課程博士論文を完成させる。

▼教育課程の編成・実施方針

2020年度以降入学生	この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。 **●専攻科目** 「仏教学特殊研究Ⅰ（講義）」は、インド・チベット・中国・日本仏教など各分野のこれまでの主な研究業績を読み、研究の現状や方法論について学ぶ。 「仏教学特殊研究Ⅱ（文献研究）」は、サンスクリット語や古典漢語などの諸仏典に関して、諸訳や諸註釈書を参照しながら、文献学的方法に基づいて精密にテキストを読解する方法を学ぶ。 「仏教学特殊研究（演習）」は、ゼミ形式で、テキストを読解することを通して研究課題を見つけ、それを論証する仕方を学ぶとともに、各自の研究テーマに沿って博士論文作成に向けて研究を進める。 「仏教学研究」は、仏教学の幅広い分野にわたってそれぞれの専門の講義や英語での講義がなされる。その中、「仏教学研究５・６」は、いわゆる合同ゼミの形態を持たせたもので、仏教学専攻の修士・博士後期課程の全員（教員・大学院生）が出席して順番に研究発表した後、質疑応答や意見などを出し合うことでお互いの研究が深まることをめざしている。他専攻の「真宗学研究」「哲学研究」「宗教学研究」「仏教文化研究」などの専攻科目も、各人の関心に沿って、積極的に受講し、幅広い学的探求に努めるべきである。 **●選択科目** 「語学文献研究」は、英語・独語・仏語・中国語による文献を精読して、語学力の向上を期するものである。これは、博士後期課程の修了要件の外国語認定科目であり、意欲的な履修が望まれる。また、京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を調べて積極的に受講することが望まれる。 **●その他** 各種学会や公開講演会などが、学内・学外で開催されている。これらは大学ホームページなどで案内されているので、積極的に参加し見聞を広げてほしい。 博士後期課程は、これらの履修を通して、各人の研究課題を定めて、学内外の学会における口頭発表や論文発表を行いながら、博士論文の作成に向けて意欲的に取り組むことが求められる。

博士後期課程　哲学専攻

▼人物養成の目的

哲学専攻は、「人間とは何か」といった根本的問題を東西の思想的伝統を踏まえつつ考究し、現代の多様な価値観に由来する人間の諸問題に対処しうる力をもった人物の育成を目指す。博士後期課程では、本学哲学科の伝統をふまえ「人間とは何か」という問いについて、自立した研究者として原理的に考察し、その研究成果を発表する力を身につけることを目指す。

▼教育目標

哲学・教育学における本質的な問題の理解に立って、各自のテーマについての研究を深め、課程博士論文を作成する。そのさい、資料の適切な選択や扱い、先行研究や研究状況の把握など、研究者として必要とされる素養を培い、研究成果を発表する。

▼教育課程の編成・実施方針

2020年度以降入学生	この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。 **●専攻科目** 各自の研究課題に適うよう、主要科目担当教員による「哲学特殊研究 (演習)」を選択する。ついで「哲学特殊研究Ⅰ (講義)」、「哲学特殊研究Ⅱ (文献研究)」を通して個別のテーマについて指導を受ける。これらの科目を通して、自立した研究者としての資質の養成、および博士論文の作成に向かっての指導がなされる。 **●選択科目** 「語学文献研究」では、英語・ドイツ語・フランス語・中国語の文献精読を通じて高度な語学力を養う。これらは博士後期課程の修了要件の外国語認定科目であり、意欲的な履修が望まれる。「語学文献研究」の他にも選択科目として語学科目を開講している。また、京都・宗教系大学院連合（K-GURS）の単位互換授業も学問的視野を広げるために有益であるから開講科目を調べて参加して欲しい。 **●その他** 課程博士論文提出の要件として、研究課題に関連する学内外の学会における口頭発表ならびに論文発表に積極的に取り組むことが求められる。

博士後期課程　仏教文化専攻

▼人物養成の目的

自立した研究活動に継続的に携わるための広範な知識と強靱な思考力、または専門的な業務に必要な高度な研究能力およびその基盤となる豊かな学識を養うことを目的とし、仏教を主要な土壌として形成されてきたアジア諸地域の文化を歴史学研究と文学研究の両面から探究し、日本・東洋の仏教文化の精粋を考察し、発信しうる人物の養成を目指す。

▼教育目標

仏教文化を中心とし、日本と東洋を主な対象とする歴史学・仏教史学・文学など個別研究の方法を深く正確に理解し、それを適切に応用できる能力を養う。博士論文作成のため大学院生各人の研究対象をより精密に焦点化し、周辺領域をも視野に入れた学際的な研究を目指す。

▼教育課程の編成・実施方針

2020年度以降入学生	この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。 **●専攻科目** 「仏教文化特殊研究Ⅰ（講義）」は、仏教文化の理解に必要な専門的な知識を教授する。 「仏教文化特殊研究Ⅱ（文献研究）」は、共通テキストの講読を行うとともに、大学院生各人の問題関心にそった研究発表を行う。また個別テーマの指導も行う。 「仏教文化特殊研究（演習）」は、大学院生と教員との共同研究の方式を基本とし、また大学院生の発起による定例の研究発表会を行う。 当該専攻の「仏教文化研究」をはじめ「真宗学研究」「仏教学研究」「宗教学研究」などは広い範囲にわたる研究内容を教授するものであるから、大学院生は各人の関心を大切にしながら、これらの科目を積極的に受講し、独立した研究者が備えるにふさわしい、深くかつ幅広い学識を育成することが肝要である。 **●選択科目** 「語学文献研究」は、英語・独語・仏語・中国語の文献を精読して、語学力の一層の向上を期するとともに、広く西洋及び東洋の思考方法を学び、各自の専門研究が国際的な視野のなかで進められる必要がある。それに対応して、博士後期課程の修了要件に２カ国語以上の外国語の履修が含まれているので、意欲的な履修が望まれる。 **●その他** その他、本学の内外で開催される各種学会や公開講演会などに積極的に参加し、発表して見聞を広めることも肝要である。博士後期課程は、学位論文提出要件に『大谷大学大学院研究紀要』を含む規定本数の論文の公刊が含まれているので、各種学会への意欲的な投稿が望まれる。

博士後期課程　国際文化専攻

▼人物養成の目的

東西両洋の思想・文化についてのグローバルな理解と自国の文化に対する反省に基づきつつ、自らの選択した特定地域の文化をより根源的な次元で考察し、確固とした学問的成果を築いていける人物の養成を目指す。

▼教育目標

博士後期課程においては、それまでの修士課程の研究を踏まえつつ、博士学位請求論文を完成することを目指す。その際に、研究者として要求される語学力、発想力、論理的思考力、表現力などを総合的に身に付け、丹念な文献調査と資料分析を行い、学術的な批判に耐えうる研究成果を世に問うところまで指導していく。

▼教育課程の編成・実施方針

2020年度以降入学生	この教育目標に対して次のような授業科目を開講しているので、指導教員の指導のもと各自の目標に従って教育プログラムを編成すること。 **●専攻科目** 本専攻博士後期課程の指導の中心である「国際文化特殊研究（演習）」では、各自が指導教員の個別指導を受けつつ、合同ゼミにおいて研究発表を行い、他の学生や教員との質疑応答、討論を行う。各自の関心に従って選ばれた文献を精読することによって築き上げた独創的な見解を、学術的な批判に耐えうる博士論文へと仕上げていくために、合同ゼミにおける議論は極めて有効な検討の場となっている。半期毎に２度程度の発表を行うことによって学外での学会発表や学術誌への論文投稿、さらにその積み重ねにより博士論文を完成させるペースメーカーのような役目を担っている。 また専攻の主要科目である国際文化特殊研究（講義・文献研究）に参加して経験豊かな教授陣により学術研究の手解きを受けることも重要である。 学生は博士後期課程に入学したときから、指導教員と相談して研究テーマを決定し、３年間の研究計画を話し合い、履修すべき科目を選び、また学会への参加や論文投稿の時期などの計画を立てることが必要である。研究は本人が努力して遂行するものであるが、そこに指導教員の様々な助言が加わることで、学問研究の初心者であっても効率的な研究を行うことが可能となる。 学生は所属する専攻だけではなく他専攻の選択科目を履修することもできる。本学では文化研究に関わる他専攻が多くの選択科目を開講しているので、本専攻の「地域研究」ばかりではなく、仏教や哲学、歴史など関連のある分野の科目を履修することで、異なった視点や研究方法に触れることができる。 **●選択科目** 博士後期課程の修了条件に、２カ国語以上の外国語の履修が必須とされているので、計画的に「語学文献研究」を履修するよう留意されたい。

第２章　修了要件及び開講科目表

本学大学院を修了するための要件は、大谷大学大学院学則、大谷大学学位規程、大谷大学大学院履修規程に定められています。それぞれの規程は、大学ホームページ又は「第４章　規程集」に記載してありますので、各自熟読の上、履修計画を立ててください。

1. 修士課程

［1］修士課程修了の要件（大谷大学大学院学則第 17 条）

修士課程を修了し、修士（文学）［教育・心理学専攻は、修士（教育学）］の学位を得るためには、本学大学院修士課程に２年以上在学し、**所定の単位を修得**し、かつ必要な研究指導を受けた上で**修士論文を提出**し、その審査及び最終試験に合格することが必要です。

≪修士論文ルーブリック≫

DPとの関係	到達目標評価の観点／評価	不十分である	到達しつつある	達成している	超えている	さらなる高み
		各要素の到達目標に対して不十分なレベルである。	各要素の到達目標に対して合格最低限のレベルである。	各要素の到達目標を達成している。	各要素の到達目標を超えている部分がある。研究誌に投稿可能である。	研究誌に掲載可能である。
	評価	1	2	3	4	5
DP1（専門知識）	専門知識	専攻分野と関連分野に関する知識を有していない。	専攻分野と関連分野に関する知識をあるていど有している。	専攻分野と関連分野に関する知識を概ね有しており、それをあるていど説明できる。	専攻分野と関連分野に関する知識を有しており、それを説明できる。	専攻分野と関連分野に関する豊富な知識を有しており、それを明確に説明できる。
DP2（問題発見力）	背景理解テーマ設定と	先行研究を理解しておらず、自らの研究テーマも不明確である。	先行研究をあるていど理解しており、自らの研究テーマがあるていど明確である。	先行研究を概ね理解しており、自らの研究テーマが明確である。	先行研究の論評ができ、先行研究に対する自らの研究テーマの独自の位置づけが説明できる。	先行研究の多面的な論評ができ、先行研究に対する自らの研究テーマの独自の位置づけが明確に説明できる。
DP2（探究力）	研究方法	研究テーマと研究方法が合致していない。	研究テーマに合致していないわけではないが、他によりふさわしい方法がある。	研究テーマに概ねふさわしい研究方法を採っている。	研究テーマにふさわしい研究方法を採っており、その意義や利点を説明できる。	研究テーマにふさわしい研究方法を採っており、その意義や利点を明確に説明できる。
DP3（読解力）	資料の扱いテキストや	テキストや資料の読解が不十分である。	テキストや資料の読解があるていどできている。	テキストや資料の読解が概ねできている。	テキストや資料の読解ができており、その内容を説明できる。	テキストや資料の詳細な読解ができており、その内容を明確に説明できる。
DP3（表現力）	論理構成	論理構成に一貫性がみられない。	論理構成があるていど一貫している。	論理構成が概ね一貫している。	論理構成が一貫しており、全体の論旨は明確である。	論理構成が一貫しており、全体の論旨は極めて明確である。
DP3（表現力）	ライティングアカデミック・	学術的な記述法で書かれていない。	あるていど学術的な記述法で書かれているが、十箇所程度の記述の誤りがある。	概ね学術的な記述法で書かれているが、数か所程度の記述の誤りがある。	学術的な記述法で書かれており、記述の誤りはほとんどない。	学術的な記述法で書かれており、記述の誤りもない。
DP4（学際的視野）	学際的視野※	自らの視野を広げようとする姿勢がみられない。	自らの視野を広げようとする姿勢があるていどみられる。	自らの視野を広げようとする姿勢が概ねみられる。	自らの視野を広げようとする姿勢がみられ、自らのテーマを学際的な観点から考察している。	自らの視野を広げようとする姿勢がみられ、自らのテーマを幅広い学際的な観点から考察している。

※修士論文の文面からうかがえるものに限らず、研究の過程や試問の際に補足的に確認できることを含むものとする。

［2］修了単位

単位は 15 時間から 30 時間までの範囲で、本学が定める時間の授業に対し、講義・演習・文献研究ともに 1 単位として計算します。課程の修了単位は下記のとおり学則に定められています。

【修士課程（真宗学専攻・仏教学専攻・哲学専攻・仏教文化専攻・国際文化専攻）】科目履修単位表

区分		最低必要単位数	科目名
基礎科目		2	「仏教の視点」
		2	「専攻交流演習Ⅰ」
専攻科目	A	8	「特殊研究（演習）」
	B	4	「特殊研究（論文指導）」
	C	4 以上	「特殊研究（演習）」、「特殊研究（論文指導）」以外の専攻科目および他専攻の専攻科目
選択科目		0 以上	
学位論文		－	修士論文
合計		30 以上	

外国語認定	－	
学部開講科目	－	

【修士課程（教育・心理学専攻）】科目履修単位表

区分	最低必要単位数	授業科目名
基礎科目	2	「仏教の視点」
	4	「教育学総論」・「心理学総論」
専攻科目	8	「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」
選択科目	16	専攻科目中の「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」以外の科目及び選択科目
学位論文	－	修士論文
合計	30	

外国語認定	－	
学部開講科目	－	

［3］履修計画

（1）履修体系

修士課程のカリキュラムは、基礎科目・専攻科目・選択科目の 3 つの科目群からなり、それぞれに必修単位数（履修条件）が設定されています。

◎基礎科目（4 単位）［教育・心理学専攻は 6 単位］

基礎科目は、「仏教の視点」（2 単位）と「専攻交流演習 I」（2 単位）［教育・心理学専攻は「教育学総論」又は「心理学総論」（4 単位）］からなり、それぞれ修了要件として課されています。いずれも第 1 学年に履修してください。

◎専攻科目

［真宗学専攻］・［仏教学専攻］・［哲学専攻］・［仏教文化専攻］・［国際文化専攻］

・専攻科目 A（8 単位）

専攻科目 A は、指導教員の「特殊研究（演習）」をいい、各学年において 4 単位（2 年間で 8 単位）履修することによって必要単位数は充足されます。

・専攻科目 B（4 単位）

専攻科目 B は、「特殊研究（論文指導）」を 4 単位履修することによって必要単位数は充足されます。

・専攻科目 C（4 単位以上）

専攻科目 C は、専攻科目の「特殊研究（演習）」、「特殊研究（論文指導）」以外の専攻科目および他専攻の専攻科目の中から 4 単位以上を 2 年間で履修してください。

［教育・心理学専攻］

指導教員の「教育・心理学特別研究」をいい、各学年において 4 単位（2 年間で 8 単位）履修することによって必要単位数は充足されます。

◎選択科目（0 単位以上）［教育・心理学専攻は 16 単位］

［真宗学専攻］・［仏教学専攻］・［哲学専攻］・［仏教文化専攻］・［国際文化専攻］

選択科目は、選択科目の中から 0 単位以上を 2 年間で履修してください。（第 3 章「7. 学術交流について」「8. 安居の開講について」も参照のこと。）

なお、本学博士後期課程への進学を考えている方は、選択科目の「語学文献研究」の単位を履修するよう心がけてください。

［教育・心理学専攻］

選択科目は、専攻科目の「教育・心理学特別研究」以外及び選択科目の中から 16 単位を 2 年間で履修してください。（第 3 章「7. 学術交流について」「8. 安居の開講について」も参照のこと。）

（2）第 1 学年での履修単位数

第 1 学年では、専攻科目の指導教員の演習「特殊研究（演習）」（4 単位）［教育・心理学専攻は「教育・心理学特別研究」］、基礎科目の「仏教の視点」（2 単位）及び「専攻交流演習 I」（2 単位）［教育・心理学専攻は「教育学総論」又は「心理学総論」（4 単位）］を含み履修するよう心がけてください。

（3）長期履修許可者について

長期履修（３年計画・４年計画）許可者は、修了所要科目の履修登録単位について、下記のように制限があります。

＜３年計画＞

１年目	２年目	３年目
16 単位まで	16 単位まで	制限なし

＜４年計画＞

１年目	２年目	３年目	４年目
12 単位まで	12 単位まで	12 単位まで	制限なし

資格取得に関する科目等の履修については、修士課程修了に支障がない範囲で指導教員と相談のうえ、計画的に履修してください。

長期履修期間については、在学中１回に限り期間を短縮することができます。（延長はできません。）期間短縮を希望する場合は、教務課まで相談してください。

（4）修士論文の提出

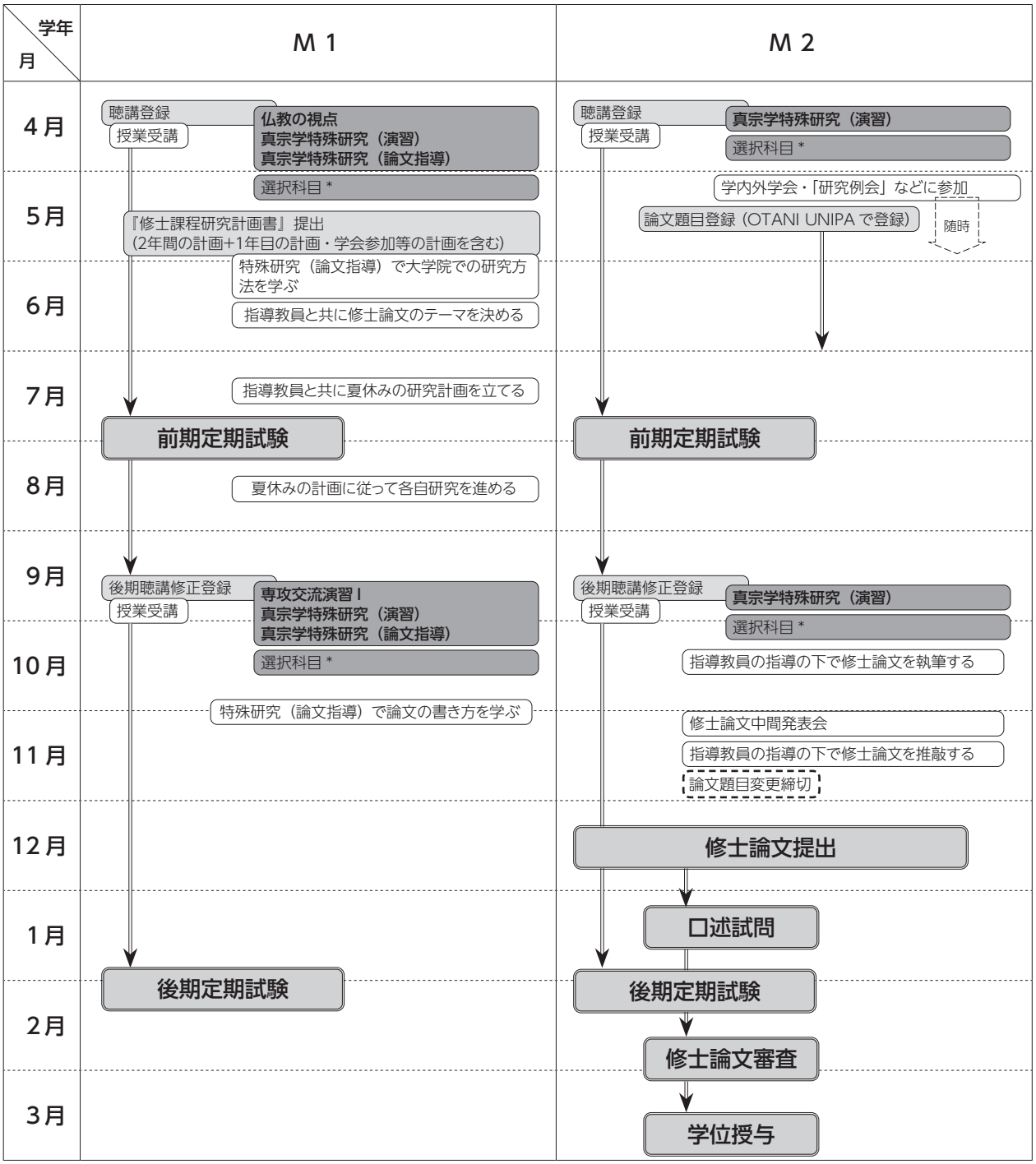
修士論文を提出するには、本学修士課程に１年以上在学し、当該学年中に、修了に必要な単位をすべて履修しうる見込みであることが条件となります。

（5）進級

第１学年において、無単位もしくは在学期間が１年に満たない場合は、原級留置となります。

修士課程研究計画（例）

真宗学専攻

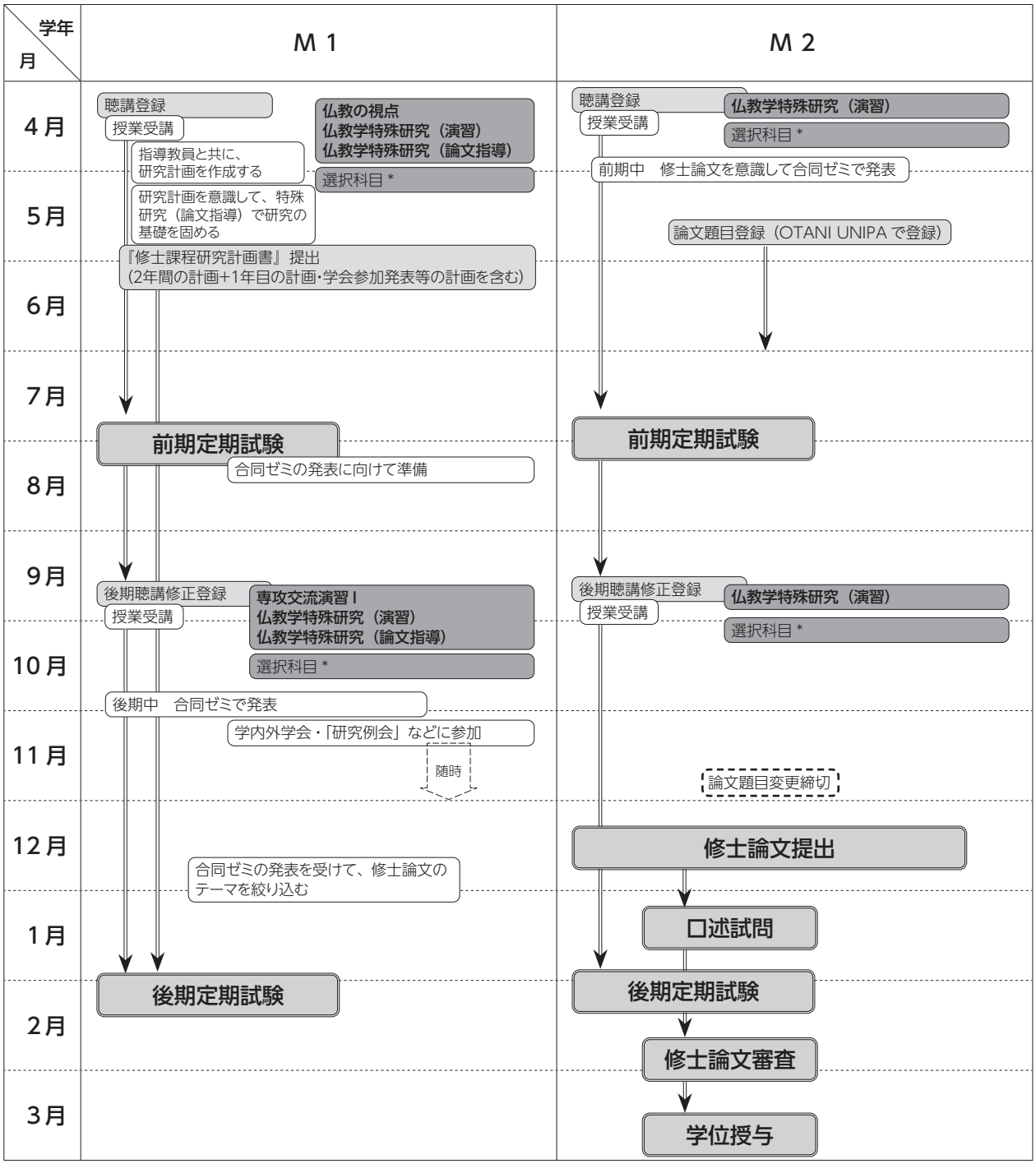


【関連学会名（開催時期）】
真宗学会例会（7 月～ 12 月）、大谷学会（5 月・10 月）、真宗連合学会（6 月）、真宗教学学会（7 月）

選択科目 *：真宗大谷派の安居が「文献研究」として開講されていますので、積極的に受講してください。また博士後期課程に進学希望している人は、「語学文献研究」（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）を受講することが望まれます。

修士課程研究計画（例）

仏教学専攻



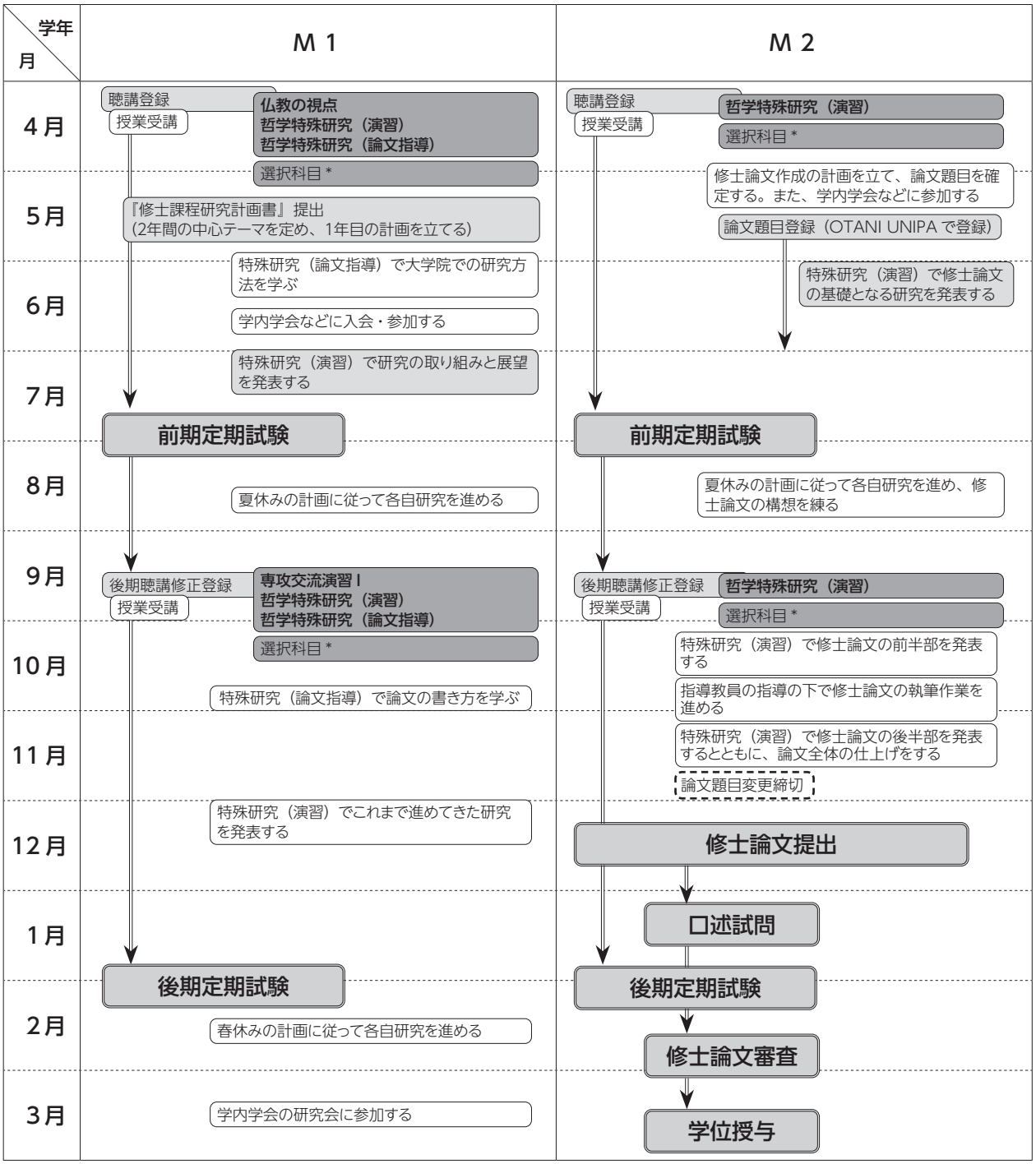
【関連学会名（開催時期）】
大谷大学仏教学会、日本印度学仏教学会（9 月）、日本仏教学会（9 月）、日本宗教学会（9 月）

【関連学会誌】
『佛教学セミナー』『印度学仏教学研究』『宗教研究』

選択科目 *：博士後期課程に進学希望している人は、「語学文献研究」（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）を受講することが望ましい。

修士課程研究計画（例）

哲学専攻

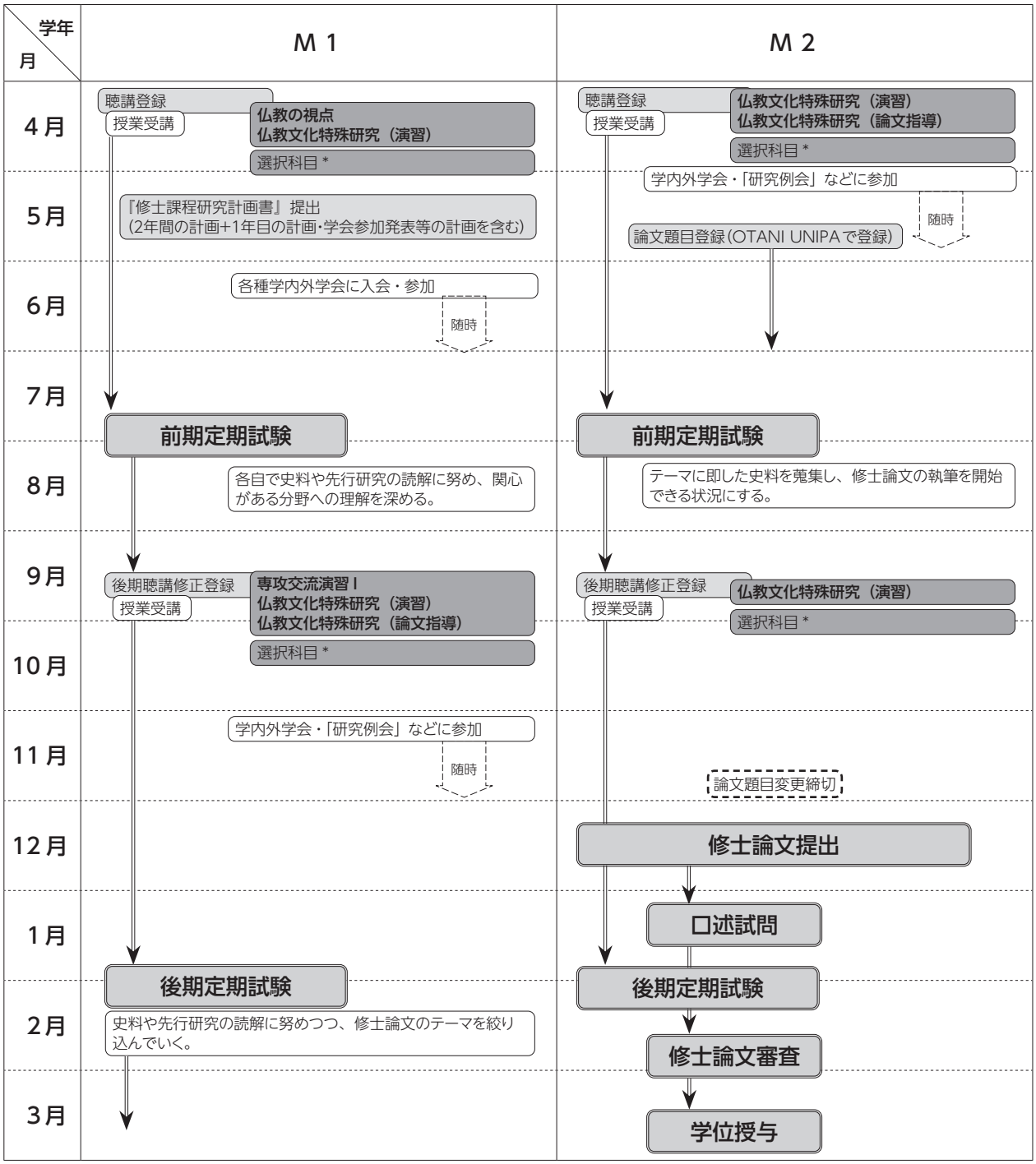


【学会について】
哲学、倫理学、宗教学の各分野にわたって関連学会や研究会は多数あり、開催時期もさまざまである。修士課程では修士論文を中心にした研究に専念し、学会については、さしあたり学内の大谷哲学会への参加で十分と思われるが、各自の研究テーマにより、必要に応じて学外の学会や研究会に参加することも有益と考えられる。その際は指導教員と相談の上、各自、適切な参加学会を決めること。

選択科目 *：博士後期課程に進学希望している人は、「語学文献研究」（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）を受講することが望ましい。

修士課程研究計画（例）

仏教文化専攻



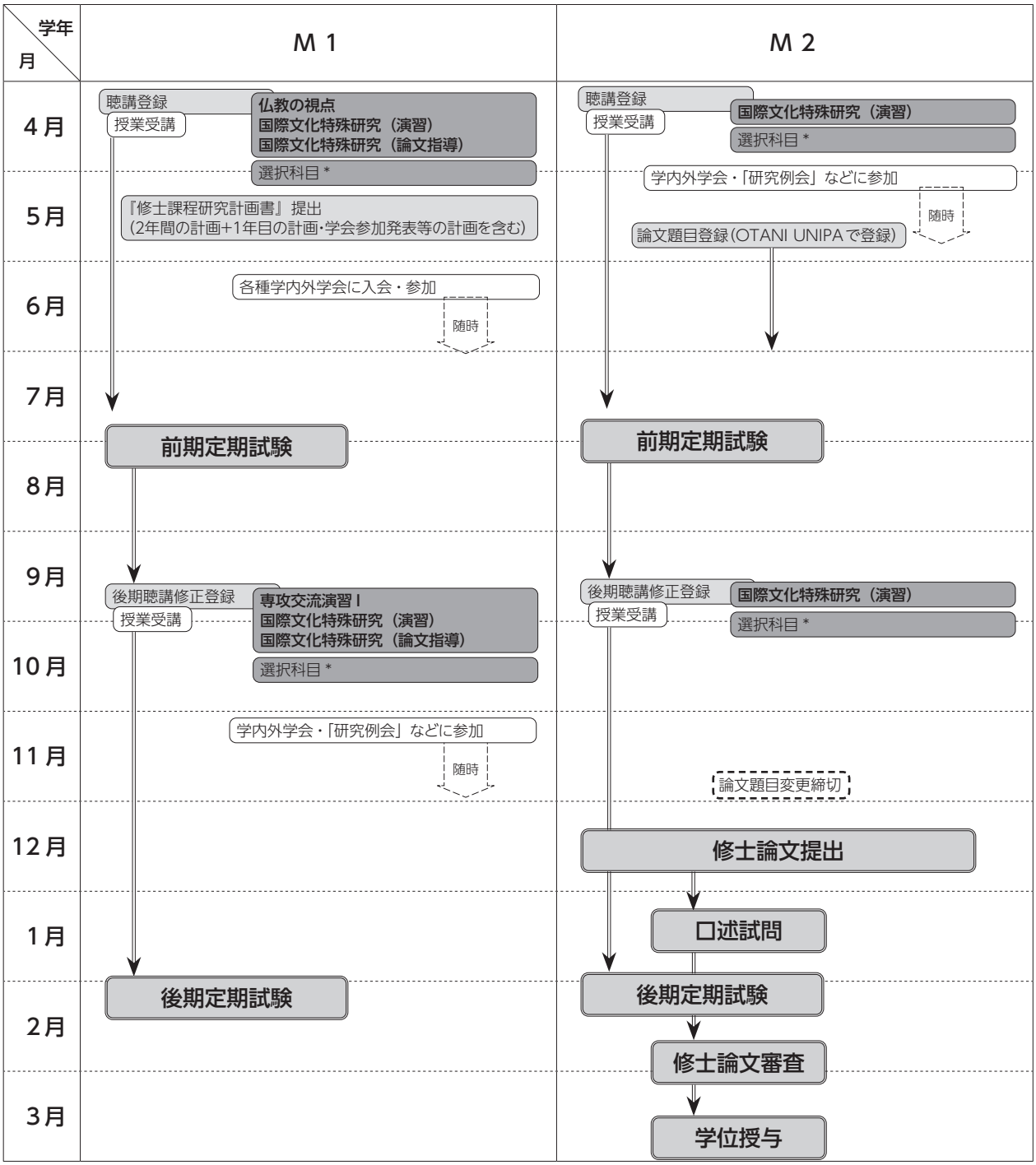
【関連学会名（開催時期）】
大谷大学日本史の会（7月）、大谷大学文藝学会（7月）、大谷大学国文学会（10月）、大谷大学中国文学会（12月）、佛教史学会（10月）

【関連学会誌】
『大谷大學史學論究』『歴史の広場－大谷大学日本史の会会誌』『文藝論叢』

選択科目 *：博士後期課程に進学希望している人は、「語学文献研究」（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）を受講することが望ましい。

修士課程研究計画（例）

国際文化専攻



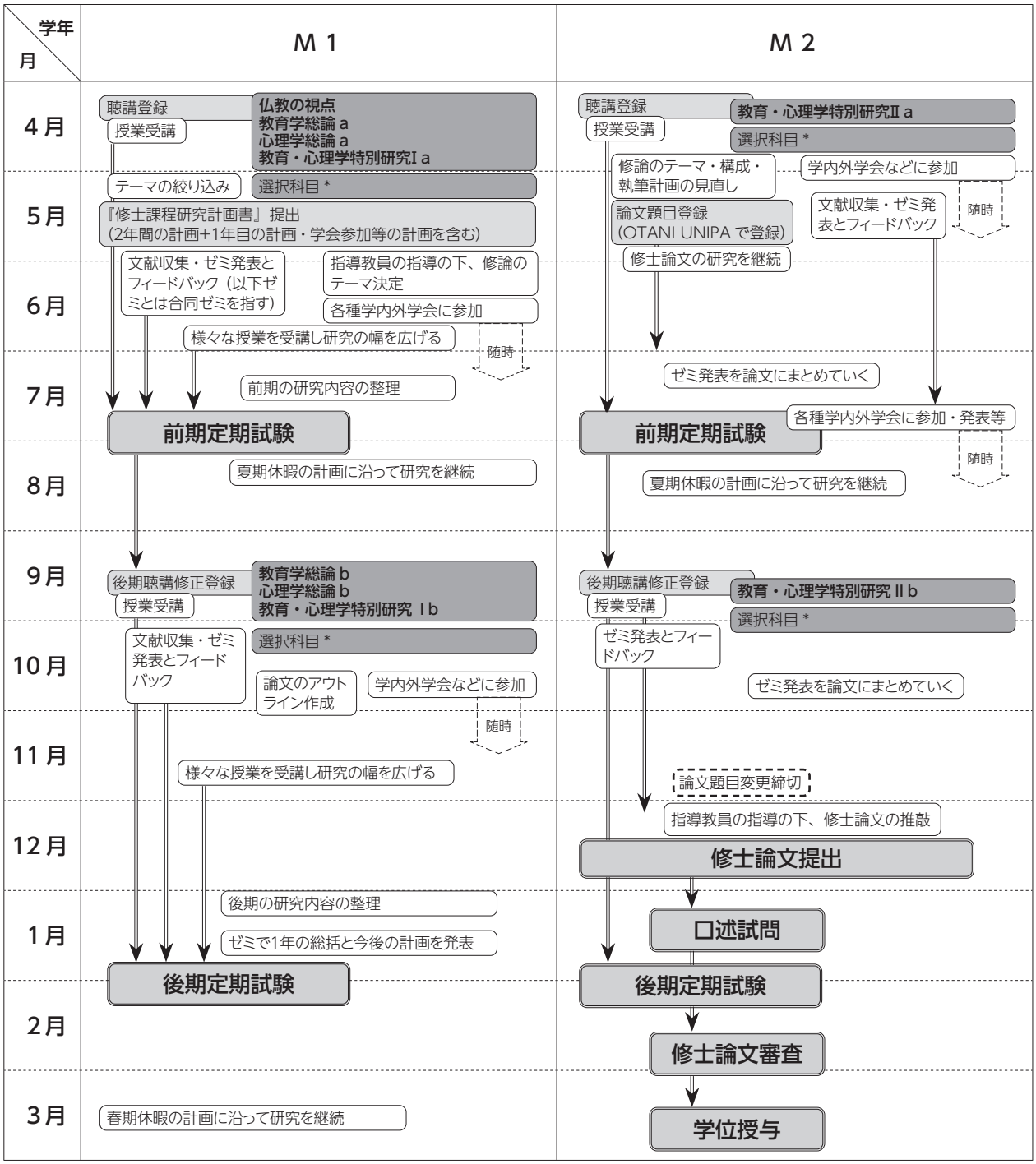
【関連学会名（開催時期）】

日本国際文化学会（7 月）、日本比較文化学会（6 月）、日本比較生活文化学会（11 月）、比較思想学会（6 月）、英米文化学会（3 月・6 月・11 月）、日本英文学会（5 月）、日本英文学会関西支部（12 月）、日本フランス語フランス文学会（5 月・10 月）、日本フランス語フランス文学会 関西支部大会（11 月）、日本独文学会（5 月・10 月）、日本独文学会京都支部（6 月・11 月）、日本チベット学会（10 月）、日本中国学会（10 月）、日本印度学仏教学会（9 月）、比較文明学会（11 月）

選択科目 *：博士後期課程に進学を希望している人は、「語学文献研究」（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）を受講することが望ましい。

修士課程研究計画（例）

教育・心理学専攻



【関連学会名（開催時期）】
関西教育学会（11 月）、日本学校心理学会（9月）、大谷大学初等教育学会等の学内学会

【関連学会誌】
『関西教育学会研究紀要』『学校心理学研究』『大谷大学 初等教育学会研究紀要』等

選択科目 *：博士後期課程に進学希望している人は、「語学文献研究」（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）を受講することが望ましい。

［4］修士論文提出のための手続き

【第１学年】

修士課程研究計画書

指導教員と相談のうえ、研究テーマを決定し、「**修士課程研究計画書**」（指導教員の指導・承認を得ること）を**６月２日（月）**までに「OTANI UNIPA」の「マイステップ」に登録してください。

【第２学年】

聴　講　登　録

提出する年度の登録時に、授業科目と同様に「修士論文」を登録してください。

↓

論 文 題 目 登 録

指導教員と相談のうえ、修士論文題目を決定し、締切日（６月末日*）までに各自で「OTANI UNIPA」の「論文題目登録」より登録をしてください。
◎詳細については、「OTANI UNIPA」で確認してください。

↓

題 目 変 更 に つ い て

題目登録締切後に題目を変更する場合は、指導教員と相談のうえ、締切日（11 月末日*）までに各自で「OTANI UNIPA」のアンケート「論文題目変更登録」より変更を行ってください。
なお、パソコン等を使用して作成する人で、所定の書式以外で論文を提出する場合は、「論文題目特殊文字等使用・書式所定外作成届」も同じ日時までに提出してください。（所定用紙は、教務課で配付します。）

↓

提　　出

締切日（12 月上旬*）までに、**正本（手書きの場合は自筆したもの）および副本（コピー可）を各１部**教務課へ提出してください。
遅れた場合は一切受領しませんので十分注意してください。
なお、この時所定の「**学位授与申請書**」を同時に提出してください。

※口述試問

①修士論文提出後、口述試問が実施されます。この審査に合格しなければ課程の修了はできません。
②口述試問は、１月中旬から実施されます。

*日程の詳細については、『修士論文作成の手引』を参照してください。（第２学年次の５月上旬「OTANI UNIPA」にて配信予定）

2. 博士後期課程

［1］博士後期課程修了の要件（大谷大学大学院学則第 18 条）

博士後期課程を修了し、博士（文学）の学位を得るためには、次の要件を充たさなければなりません。

① 本学大学院博士後期課程に３年以上在学し、**所定の単位を修得**し、かつ必要な研究指導を受けた上で**博士論文を提出**し、その審査及び最終試験に合格すること。

≪博士論文≫　評価基準

1．研究目的・研究対象が明確であり、研究方法が適切であるか。
2．テキスト・資料の扱いが的確かつ厳正であるか。
3．基本的先行研究及び最新の研究を踏まえているか。
4．厳密な考察を展開し、独創的な知見を提示しているか。

② 研究に必要な**２カ国語以上の外国語に通じている**こと。（**「[4]外国語学力認定」参照**）

③ 「研究業績書」提出時に、主題に関する学術論文が『大学院研究紀要』を含め**２点以上公刊**されている又は学位授与予定月の末日までに公刊の見込みがあること。

※公刊見込みの場合、学位授与予定の２カ月前（１月・７月）に初校のコピーを教務課に提出してください。

博士論文の提出については**「[6]博士論文提出のための手続き」に従って申請**してください。

［2］修了単位

単位は 15 時間から 30 時間までの範囲で、本学が定める時間の授業に対し、講義・演習・文献研究ともに１単位として計算します。課程の修了単位は下記のとおり学則に定められています。

【博士後期課程 (全専攻)】科目履修単位表

区　分		最低必要単位数	授業科目名
基　礎　科　目		2 (注１)	「仏教の視点」
専攻科目	A	12	「特殊研究 (演習)」
	B	0 以上	「特殊研究 (演習)」以外の専攻科目および他専攻の専攻科目
選択科目	A	4	「語学文献研究 (英語)」
			「語学文献研究 (独語)」
			「語学文献研究 (仏語)」
			「語学文献研究 (中国語)」
	B	0 以上	
外 国 語 認 定		－	２カ国語の学力認定を受けること (注２)
学　位　論　文		－	博士論文
合　　計		18 以上	

学　　部 開　講　科　目	－	

(注１) 本学修士課程において「仏教の視点」を履修済みの場合は、単位認定されます。
(注２) 選択科目の「語学文献研究（英語・独語・仏語・中国語の内１カ国４単位)」を修得することにより１カ国語の学力認定を受けることができます。博士後期課程修了のためにはさらにもう１カ国語の学力認定が必要です。詳細については、「[4]外国語学力認定」を参照してください。

［3］履修計画

（1）履修体系

博士後期課程のカリキュラムは、基礎科目・専攻科目・選択科目の科目群が設定されています。

◎基礎科目（2単位）

基礎科目は、「仏教の視点」（2単位）が修了要件として課されています。
ただし、本学修士課程において同様の科目を履修している場合は、その単位が認定されます。

◎専攻科目

・専攻科目 A（12 単位）
専攻科目 A は、指導教員の「特殊研究（演習）」をいい、各学年において 4 単位（3 年間で 12 単位）履修することによって必要単位数は充足されます。

・専攻科目 B（0 単位以上）
専攻科目 B は、専攻科目の「特殊研究（演習）」以外の専攻科目および他専攻の専攻科目の中から 0 単位以上を 3 年間で履修してください。

◎選択科目

・選択科目 A（4 単位）
選択科目 A は、「語学文献研究（英語・独語・仏語・中国語の内いずれか 1 カ国語）」（4 単位）をいいます。ただし、本学修士課程において同様の科目を履修している場合は、その単位が認定されます。なお、博士後期課程修了のためにはさらに 1 カ国語の認定が必要となります。

・選択科目 B（0 単位以上）
選択科目は、選択科目の中から 0 単位以上を 3 年間で履修してください。また、学問的視野を広げるためにも、第 3 章「7. 学術交流について」「8. 安居の開講について」も参照して、各自の関心に沿って積極的に履修してください。

（2）進級

◎第 1 学年において、無単位もしくは在学期間が 1 年に満たない場合は、原級留置となります。
◎第 2 学年において、無単位もしくは在学期間が 1 年に満たない場合は、原級留置となります。

［4］外国語学力認定

博士論文を提出し博士後期課程を修了するためには、2 カ国語の「外国語学力認定」を受けていることが必要となります。その内 1 カ国語は、選択科目に開講されている「語学文献研究（英語・独語・仏語・中国語の内 1 カ国語）」（4 単位）を履修しなければなりませんが、さらにもう 1 カ国語として、次の 3 通りの内いずれかの方法で「外国語学力認定」を受けてください。

①「語学文献研究」の履修による認定

選択科目に開講されている「語学文献研究（英語・独語・仏語・中国語の内 1 カ国語）」（4 単位）を履修。ただし、上記ですでに履修している言語以外を履修してください。

本学修士課程において、「語学文献研究」の単位を修得している場合は、単位認定されます。

② 外国語学力確認試験による認定

本学において実施している「外国語学力確認試験」に合格すること。実施するのは、「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」の 4 カ国語です。詳細は 11 月に「OTANI UNIPA」を通じて公示します。

③ 学問分野の研究態様に応じた言語による認定

学内で審査可能な場合に限り、学問分野の研究態様に応じた言語、または留学生においては日本語を認定することができます。認定を希望する学生は博士後期課程第 3 学年後期に「外国語学力認定申請書」（所定用紙）を教務課に提出してください。詳細は教務課に問い合わせてください。

［5］研究指導

博士後期課程においては、研究が中心です。指導教員と相談のうえ、綿密な研究計画を立てて研究計画書を作成してください。研究成果については、下記期日までに「研究成果報告書」として提出してください。

◎『大学院研究紀要』について

『大学院研究紀要』は、学生が研究成果をインターネットによって公表する場です。博士後期課程の学生は、在学中１回に限り『大学院研究紀要』に論文を発表できます。学位請求論文を提出するためには『大学院研究紀要』への論文発表が条件になりますので、必ず発表してください。以下では、第２学年で発表することを例示しています。

【第１学年】

博士後期課程研究計画書

次頁以降の**博士後期課程研究計画（例）**を参考に各自の研究テーマ・３年間の研究計画を定め、指導教員の指導･承認を得て**６月２日（月）**までに「OTANI UNIPA」の「マイステップ」に登録してください。

↓

研 究 成 果 報 告 書

１年目の研究成果を「**研究成果報告書**」として提出してください。
①報告書は、12,000 字程度とします。
②提出締切日は**３月２日（月）**です。
③「OTANI UNIPA」の「マイステップ」への登録をもって提出とします（**詳細は１月上旬に「OTANI UNIPA」で通知します**）。

【第２学年】

博士後期課程研究計画書

２年目の研究計画（学会発表計画等を含む）を定め､指導教員の指導･承認を得て**４月末日***までに「OTANI UNIPA」の「マイステップ」に登録してください。

↓

大谷大学大学院研究紀要

募集要項は５月中旬に「OTANI UNIPA」で通知します。
①未発表で､20,000 字（200 字詰原稿用紙 100 枚）程度の学術論文。
②提出締切日は**６月末日***です。
③提出場所は教務課です。

↓

研 究 成 果 報 告 書

２年目の研究成果を「**研究成果報告書**」として提出してください。
①報告書は、12,000 字程度とします。
②提出締切日は**２月末日***です。
③「OTANI UNIPA」の「マイステップ」への登録をもって提出とします（**詳細は１月上旬に「OTANI UNIPA」で通知します**）。

【第３学年】

博士後期課程研究計画書

３年目の研究計画（学会発表計画等を含む）を定め､指導教員の指導･承認を得て**４月末日***までに「OTANI UNIPA」の「マイステップ」に登録してください。

↓

研 究 成 果 報 告 書

３年目の研究成果を「**研究成果報告書**」として提出してください。
①報告書は、12,000 字程度とします。
②提出締切日は**２月末日***です。
③「OTANI UNIPA」の「マイステップ」への登録をもって提出とします（**詳細は１月上旬に「OTANI UNIPA」で通知します**）。
※博士論文を提出した学年末には、「研究成果報告書」を提出する必要はありません。

*日程については、「OTANI UNIPA」にてお知らせします。

博士後期課程研究計画（例）

真宗学専攻

【関連学会名（開催時期）】

真宗連合学会（6月）、真宗教学学会（7月）、国際真宗学会（8月～9月）、日本宗教学会（9月）、日本印度学仏教学会（9月）、北海道印度哲学仏教学会（8月～9月）、宗教倫理学会（10月）等

【関連学会誌】

『親鸞教學』、『大谷學報』、『真宗研究』、『真宗教学研究』、"*Pure Land*"、『宗教研究』、『印度学仏教学研究』、『印度哲学仏教学』等

※「真宗学研究　博」（合同ゼミ）は必修ではありませんができる限り出席してください。
※真宗大谷派の安居が「文献研究」として開講されていますので、積極的に受講してください。
※３年間では修了できない場合があります。指導教員と相談してください。

博士後期課程研究計画（例）

仏教学専攻

【関連学会名（開催時期）】

日本印度学仏教学会（9月）、日本仏教学会（9月）、日本宗教学会（9月）、パーリ学仏教文化学会（5月）、日本チベット学会（11月）、真宗教学学会（7月）、東海インド学仏教学会（7月）等

【関連学会誌】

『佛教学セミナー』、『大谷學報』、『日本仏教学会年報』、『印度学仏教学研究』、『宗教研究』、『パーリ学仏教文化学』、『日本西藏學會々報』、『真宗教学研究』、『東海佛教』等

※ 3年間では修了できない場合があります。指導教員と相談してください。
合同ゼミは必修ではありませんが必ず出席してください。

博士後期課程研究計画（例）

哲学専攻

【学会について】

哲学、倫理学、宗教学の各分野にわたって関連学会や研究会は多数あり、開催時期もさまざまである。博士後期課程では学位請求論文を目指した研究に専念し、その研究を促進するためには、学内のみならず、学外の学会にも積極的に参加し、またそこでの研究発表や論文投稿が望ましく有益である。各自の研究テーマにより、指導教員と相談の上、適切な所属学会を決めること。なお、学会には、日本哲学会、関西哲学会、日本倫理学会、関西倫理学会、日本宗教学会、日本現象学会、関西教育学会などがある。

【関連学会誌】

『哲學論集』、『大谷學報』、『哲学』、『アルケー』、『倫理学年報』、『倫理学研究』、『宗教研究』、『現象学年報』、『関西教育学会研究紀要』など。

※３年間では修了できない場合があります。指導教員と相談してください。

博士後期課程研究計画（例）

仏教文化専攻

学年 / 月	D 1	D 2	D 3
4月		『博士後期課程研究計画書』提出 （2年目の計画・学会発表の計画を含む）	『博士後期課程研究計画書』提出 （3年目の計画・学会発表の計画を含む） 『研究業績書』提出
5月	『博士後期課程研究計画書』提出 （3年間の計画+1年目の計画・学会参加発表の計画を含む） 上記『研究計画書』に沿った研究目的・現況のゼミ発表（修士論文に基づく発表も可）	上記『研究計画書』に沿った研究計画・現況のゼミ発表	上記『研究計画書』に沿った学位請求論文の章立て・構成の提示とゼミ発表 上記『研究計画書』に沿った研究取りまとめ活動、および学外学会発表 随時
6月	上記『研究計画書』に沿った研究活動、および学外学会発表 随時	上記『研究計画書』に沿った研究計画、および学外学会発表 随時 『大学院研究紀要』論文を提出	論文題目提出
7月			
8月			
9月			
10月	章立て作成、およびそれに基づく研究活動、ならびに学会誌掲載原稿執筆（**論文①**） 随時	研究活動、ならびに学会誌掲載原稿執筆（**論文②**） 随時	**学位請求論文提出**
11月			**学位請求論文発表会**
12月	章立てに基づく部分発表 随時	『大学院研究紀要』発刊（**論文②**） 章立てに基づく部分発表 随時	**学位請求論文口述試問**
1月			
2月	1年目の研究成果をまとめ、『研究成果報告書』として提出	2年目の研究成果をまとめ、『研究成果報告書』として提出	**学位請求論文審査**
3月	論文掲載（**論文①**）		**学位授与**

【関連学会名（開催時期）】
<日本文化関連>　大谷大学日本史の会（7月）、日本史研究会（11月）、地方史研究会（6月）、日本民俗学会（10月）、日本宗教民俗学会（6月）、日本思想史学会（10月）、日本古文書学会（11月）、中古文学会（6・10月）、中世文学会（5・10月）、近世文学会（5・11月）、全国大学国語・国文学会（5・11月）等
<東洋文化関連>　日本道教学会（12月）、東方学会（5・11月）、日本中国学会（10月）等
<共通>　大谷大学文藝学会（7月）、佛教史学会（10月）、日本印度学仏教学会（9月）、日本宗教学会（9月）、仏教文学（6月）、説話・伝承学会（4月）等
【関連学会誌】
<日本文化関連>　『歴史の広場』、『日本史研究』、『地方史研究』、『日本民俗学』、『宗教民俗研究』、『日本思想史学』、『古文書研究』、『中古文学』、『中世文学』、『近世文学』、『文学・語学』等
<東洋文化関連>　『東方宗教』、『東方学』、『日本中国学会報』等
<共通>　『大谷大學史學論究』、『文藝論叢』、『大谷學報』、『佛教史學研究』、『印度学仏教学研究』、『宗教研究』、『佛教文學』、『説話・伝承学』、『ヒストリア』等
※3年間では修了できない場合があります。指導教員と相談してください。

博士後期課程研究計画（例）

国際文化専攻

学年 / 月	D 1	D 2	D 3
4月	指導教員と、博士論文のテーマ、3年間の計画、1年目の計画・学会参加について相談する 『博士後期課程研究計画書』提出	2年目の論文執筆計画および学会参加予定を指導教員と相談する 『博士後期課程研究計画書』提出	『博士後期課程研究計画書』提出（3年目の計画・学会発表の計画を含む） 『研究業績書』提出
5月	合同ゼミで学位請求論文のテーマに関する発表をする（テキストの紹介や研究史など）	合同ゼミで『大学院研究紀要』投稿論文の発表をする	指導教員と学位請求論文の執筆の現状および今後の予定について相談する 各種学内外学会に参加・発表（随時）
6月	各種学内外学会に入会・参加（随時）	各種学内外学会に参加・発表（随時）	論文題目提出
7月	合同ゼミで学位請求論文の一部となる内容を発表する（後期の学会発表の準備） 指導教員と相談して、夏休みの研究計画を立てる	『大学院研究紀要』論文を提出 合同ゼミで、学位請求論文の一部となる内容の発表をする	合同ゼミで、学位請求論文の一部となる内容の発表をする
8月	後期に学会で発表するための原稿を作成する	指導教員および査読委員の指導のもと、『大学院研究紀要』投稿論文の修正をする	指導教員に学位請求論文の下書き全部を提出し、指導を受ける
9月	合同ゼミで学会発表の予行練習をする	『大学院研究紀要』完成原稿を提出	指導教員に学位請求論文の最終稿を提出し、最終的な指導を受ける
10月	後期中に学会発表および学術誌に論文を投稿する（**論文①**）	合同ゼミで、学位請求論文の一部となる内容の発表をする	**学位請求論文提出**
11月			**学位請求論文発表会**
12月	合同ゼミで、学位請求論文に含める次の論文（『大学院研究紀要』あるいは他の学術誌）のための発表をする	『大学院研究紀要』発刊（**論文②**） 合同ゼミで、学位請求論文の全体構想を発表する	**学位請求論文口述試問**
1月	後期の最後までに、20,000 字程度の論文を仕上げる。『大学院研究紀要』に掲載するか、他の学術誌に発表するかを指導教員と相談する		
2月	1年目の研究成果をまとめ、『研究成果報告書』として提出	2年目の研究成果をまとめ、『研究成果報告書』として提出	**学位請求論文審査**
3月			**学位授与**

【関連学会名（開催時期）】

日本国際文化学会（7 月）、日本比較文化学会（6 月）、日本比較生活文化学会（11 月）、比較思想学会（6 月）、英米文化学会（3 月・6 月・11 月）、日本英文学会（5 月）、日本英文学会関西支部（12 月）、日本フランス語フランス文学会（5 月・10 月）、日本フランス語フランス文学会 関西支部大会（11 月）、日本独文学会（5 月・10 月）、日本独文学会京都支部（6 月・11 月）、日本チベット学会（10 月）、日本中国学会（10 月）、日本印度学仏教学会（9 月）、比較文明学会（11 月）

【関連学会誌】

『日本西藏學會々報』、『大谷學報』、『インターカルチュラル』、『フランス語フランス文学研究』、『関西フランス語フランス文学』、『日本民俗学』、『ドイツ文学』、『ゲルマニスティク京都』、『印度学仏教学研究』、『中国－社会と文化』、『西洋文学研究』、『英文学会会報』、『東方学』、『日本中国学会報』、『文芸論叢』、『英文学研究』等

※ 3 年間では修了できない場合があります。指導教員と相談してください。

［6］博士論文提出のための手続き

博士後期課程修了及び博士の学位取得のためには、博士論文を提出しなければなりません。

論文を提出するためには、前述の研究計画書・研究成果報告書・大学院研究紀要を必ず提出したうえで、次の手順で必要書類・論文を提出しなければなりません。

本学所定用紙の配布及び提出場所は教務課です（後述の「大谷大学学位規程」参照）。

［博士論文提出関係日程］

【第３学年】

提出物等	内容等	後期審査日程	前期審査日程
聴講登録	年度初めの聴講登録時に授業科目と同様に登録	**４月の聴講登録期間内**	**次年度４月の聴講登録期間内**
提出エントリーシート	本学所定用紙	**４月末日**	**９月末日** **11 月中旬**（注 2）
研究業績書（注１）			
論文題目登録	OTANI UNIPA アンケートへ登録 （指導教員の指導・承認を得ること）	**５月末日**	**11 月中旬**
論文作成計画書	研究の内容・方法・参考文献等の概要 OTANI UNIPA マイステップへ登録 （4,000 字程度）		
題目変更届	OTANI UNIPA アンケートへ登録 （該当者のみ）	**10 月中旬**	**４月中旬**
学位授与申請書	本学所定用紙	**10 月末日** **16:00**	**４月末日** **16:00**
学位請求論文	**400 字詰原稿用紙 300 枚以内** 【印刷製本したもの６部（データも提出）】		
論文目録	本学所定用紙　３部		
論文内容の要旨	2,000 字～ 4,000 字程度 ３部（データも提出）		
学位論文審査料	10,000 円		
論文発表会		**11 月中旬～** **12 月中旬**	**５月中旬～** **６月中旬**
口述または筆答試験		**11 月下旬～** **１月中旬**	**５月下旬～** **８月上旬**
論文の公表方法に関する申請書	本学所定用紙 （指導教員の承認印が必要）	**２月上旬**	**９月上旬**
学位授与に関する調査書	本学所定用紙		
修了判定		**２月下旬**	**９月中旬**
学位授与式		**３月**	**９月**

（注 1）「研究業績書」提出時に、主題に関する学術論文が『大学院研究紀要』を含め **2 点以上公刊**されている又は学位授与予定月の末日までに公刊の見込みがあること。
※公刊見込みの場合、学位授与予定の２カ月前（1 月・７月）に初校のコピーを教務課に提出してください。

（注 2）後期審査日程から継続してエントリーし、内容に変更がある場合は、11 月中旬の所定の期日までに再度提出する必要があります。

詳細については、『博士論文作成の手引』を参照してください。（毎年度前期開始時に「OTANI UNIPA」にて配信予定）
なお、休学中の登録・提出を予定している学生は、必ず教務課まで相談してください。

3．開講科目表

［1］開講科目表の見方

◎　大学院の「開講科目表」は修士課程・博士後期課程共通の「開講科目表」として掲載されています。基本的には、修士課程･博士後期課程共通で科目を受講することになりますが、一部の科目について、修士・博士で履修が分かれている科目がありますので注意してください。

①　授業科目名称の末尾に「○○○特殊研究（演習）　修」や「○○○特殊研究（演習）　博」のような区分が明記されている場合は、それぞれ修士・博士専用の科目であることを記しています。

②　備考欄に、「修士のみ」「博士のみ」の注記がある場合も、それぞれ修士・博士専用の科目であることを記しています。

◎　学部の開講科目を受講する場合は、学部開講科目表で確認してください。

◎　「曜日」欄が＊の科目は開講日時に注意してください。

◎　「備考」欄に受講の制限が記載されている科目がありますので、必ず確認をしてください。

◎　「共通科目」欄に（大）と記載されている科目は、学部と合同で実施される科目です。

◎　一番右側の区分欄

①　他専攻の専攻科目を受講する場合、この欄で「他専攻」欄が×の科目は登録できません。

②　科目等履修生・聴講生は、それぞれの区分欄が○の科目は受講が可能です。

大学院　基礎科目

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生 自専攻	在学生 他専攻	その他 科目等	その他 聴講生
基礎科目	木	4	仏教の視点	2	前期	一楽　真			○	○	×	×
				2	後期	釆睪　晃			○	○	×	×
	金	5	専攻交流演習Ⅰ	2	後期	福島　栄寿	修士のみ		○	○	×	×
				2	後期	喜多　恵美子			○	○	×	×
	火	4	教育学総論a	2	前期	関口　敏美			○	×	×	×
	火	4	教育学総論b	2	後期	関口　敏美			○	×	×	×
	火	2	心理学総論a	2	前期	田中　久美子			○	×	×	×
	木	4	心理学総論b	2	後期	田中　久美子			○	×	×	×

大学院　真宗学専攻

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生 自専攻	在学生 他専攻	その他 科目等	その他 聴講生
専攻科目	火	5	真宗学特殊研究Ⅰ(講義)1	2	後期	木越　康			○	○	○	○
	木	3	真宗学特殊研究Ⅰ(講義)2	2	前期	三木　彰円			○	○	○	○
	金	2	真宗学特殊研究Ⅰ(講義)3	2	前期	井上　尚実			○	○	○	○
	金	3	真宗学特殊研究Ⅰ(講義)4	2	前期	井上　尚実			○	○	○	○
	木	2	真宗学特殊研究Ⅰ(講義)5	2	前期	草野　顕之			○	○	○	○
	木	2	真宗学特殊研究Ⅰ(講義)6	2	後期	草野　顕之			○	○	○	○
			真宗学特殊研究Ⅰ(講義)7	2			本年度休講					
			真宗学特殊研究Ⅰ(講義)8	2			本年度休講					
	火	5	真宗学特殊研究Ⅱ(文献研究)1	2	前期	木越　康			○	○	○	○
	木	5	真宗学特殊研究Ⅱ(文献研究)2	2	後期	三木　彰円			○	○	○	○
			真宗学特殊研究Ⅱ(文献研究)3	2			本年度休講					
			真宗学特殊研究Ⅱ(文献研究)4	2			本年度休講					
	水	2	真宗学特殊研究(演習)a－1　修	2	前期	一楽　真			○	×	×	×
	水	2	真宗学特殊研究(演習)b－1　修	2	後期	一楽　真			○	×	×	×
	水	2	真宗学特殊研究(演習)a－2　修	2	前期	木越　康			○	×	×	×
	水	2	真宗学特殊研究(演習)b－2　修	2	後期	木越　康			○	×	×	×
	水	2	真宗学特殊研究(演習)a－3　修	2	前期	三木　彰円			○	×	×	×
	水	2	真宗学特殊研究(演習)b－3　修	2	後期	三木　彰円			○	×	×	×
			真宗学特殊研究(演習)a－4　修	2			本年度休講					
			真宗学特殊研究(演習)b－4　修	2			本年度休講					
			真宗学特殊研究(演習)a－5　修	2			本年度休講					
			真宗学特殊研究(演習)b－5　修	2			本年度休講					
	水	3	真宗学特殊研究(演習)a－1　博	2	前期	木越　康			○	×	×	×
	水	3	真宗学特殊研究(演習)b－1　博	2	後期	木越　康			○	×	×	×
	水	3	真宗学特殊研究(演習)a－2　博	2	前期	三木　彰円			○	×	×	×
	水	3	真宗学特殊研究(演習)b－2　博	2	後期	三木　彰円			○	×	×	×
	水	3	真宗学特殊研究(演習)a－3　博	2	前期	一楽　真			○	×	×	×
	水	3	真宗学特殊研究(演習)b－3　博	2	後期	一楽　真			○	×	×	×
			真宗学特殊研究(演習)a－4　博	2			本年度休講					
			真宗学特殊研究(演習)b－4　博	2			本年度休講					
	月	2	真宗学特殊研究(論文指導)a	2	前期	西本　祐攝	修士のみ		○	×	×	×
	月	2	真宗学特殊研究(論文指導)b	2	後期	藤元　雅文	修士のみ		○	×	×	×
	木	5	真宗学研究1	2	前期	山田　恵文			○	○	○	○
	木	4	真宗学研究2	2	後期	山田　恵文			○	○	○	○
	月	4	真宗学研究3	2	前期	木越　康		(大)	○	○	○	○
	月	5	真宗学研究4	2	前期	平岡　聡		(大)	○	○	○	○
				2	前期	三木　彰円			○	×	×	×
	水	4	真宗学研究5　博	2	前期	一楽　真	博士のみ		○	×	×	×
				2	前期	木越　康			○	×	×	×
				2	後期	三木　彰円			○	×	×	×
	水	4	真宗学研究6　博	2	後期	一楽　真	博士のみ		○	×	×	×
				2	後期	木越　康			○	×	×	×
	木	3	真宗学研究(文献研究)1	2	後期	藤元　雅文			○	○	○	○
	火	2	真宗学研究(文献研究)2	2	前期	一楽　真			○	○	○	○
	火	2	真宗学研究(文献研究)3	2	後期	一楽　真			○	○	○	○
	火	3	真宗学研究(文献研究)4	2	後期	M.J.CONWAY			○	○	○	○

大学院　仏教学専攻

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生 自専攻	在学生 他専攻	その他 科目等	その他 聴講生
専攻科目	木	2	仏教学特殊研究Ⅰ(講義)1	2	前期	箕浦　暁雄			○	○	○	○
	金	2	仏教学特殊研究Ⅰ(講義)2	2	後期	釆睪　晃			○	○	○	○
	水	3	仏教学特殊研究Ⅱ(文献研究)1	2	前期	新田　智通			○	○	○	○
	木	2	仏教学特殊研究Ⅱ(文献研究)2	2	後期	釆睪　晃			○	○	○	○
	木	6	仏教学特殊研究(演習)a－1	2	前期	箕浦　暁雄			○	×	×	×
	木	6	仏教学特殊研究(演習)b－1	2	後期	箕浦　暁雄			○	×	×	×
	木	5	仏教学特殊研究(演習)a－2	2	前期	山本　和彦			○	×	×	×
	木	5	仏教学特殊研究(演習)b－2	2	後期	山本　和彦			○	×	×	×
	金	4	仏教学特殊研究(演習)a－3	2	前期	釆睪　晃			○	×	×	×
	金	4	仏教学特殊研究(演習)b－3	2	後期	釆睪　晃			○	×	×	×
	木	6	仏教学特殊研究(演習)a－4	2	前期	三宅　伸一郎			○	×	×	×
	木	6	仏教学特殊研究(演習)b－4	2	後期	三宅　伸一郎			○	×	×	×
	木	6	仏教学特殊研究(演習)a－5	2	前期	DASH SHOBHA			○	×	×	×
	木	6	仏教学特殊研究(演習)b－5	2	後期	DASH SHOBHA			○	×	×	×
	火	5	仏教学特殊研究(演習)a－6	2	前期	新田　智通			○	×	×	×
	火	5	仏教学特殊研究(演習)b－6	2	後期	新田　智通			○	×	×	×
	木	5	仏教学特殊研究(論文指導)a－1	2	前期	箕浦　暁雄	修士のみ		○	×	×	×
	木	5	仏教学特殊研究(論文指導)b－1	2	後期	箕浦　暁雄	修士のみ		○	×	×	×
	火	3	仏教学特殊研究(論文指導)a－2	2	前期	山本　和彦	修士のみ		○	×	×	×
	火	3	仏教学特殊研究(論文指導)b－2	2	後期	山本　和彦	修士のみ		○	×	×	×
	火	5	仏教学特殊研究(論文指導)a－3	2	前期	釆睪　晃	修士のみ		○	×	×	×
	火	5	仏教学特殊研究(論文指導)b－3	2	後期	釆睪　晃	修士のみ		○	×	×	×
	月	5	仏教学特殊研究(論文指導)a－4	2	前期	三宅　伸一郎	修士のみ		○	×	×	×
	月	5	仏教学特殊研究(論文指導)b－4	2	後期	三宅　伸一郎	修士のみ		○	×	×	×
	月	5	仏教学特殊研究(論文指導)a－5	2	前期	DASH SHOBHA	修士のみ		○	×	×	×
	月	5	仏教学特殊研究(論文指導)b－5	2	後期	DASH SHOBHA	修士のみ		○	×	×	×
	火	4	仏教学特殊研究(論文指導)a－6	2	前期	新田　智通	修士のみ		○	×	×	×
	火	4	仏教学特殊研究(論文指導)b－6	2	後期	新田　智通	修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教学研究1	2	前期	戸次　顕彰			○	○	○	○
	金	3	仏教学研究2	2	後期	戸次　顕彰			○	○	○	○
			仏教学研究3	2			本年度休講					
			仏教学研究4	2			本年度休講					
	水	4	仏教学研究5	2	前期	箕浦　暁雄			○	○	×	×
				2	前期	釆睪　晃			○	○	×	×
				2	前期	山本　和彦			○	○	×	×
				2	前期	三宅　伸一郎			○	○	×	×
				2	前期	DASH SHOBHA			○	○	×	×
				2	前期	新田　智通			○	○	×	×
	水	4	仏教学研究6	2	後期	箕浦　暁雄			○	○	×	×
				2	後期	釆睪　晃			○	○	×	×
				2	後期	山本　和彦			○	○	×	×
				2	後期	三宅　伸一郎			○	○	×	×
				2	後期	DASH SHOBHA			○	○	×	×
				2	後期	新田　智通			○	○	×	×
	火	2	インド学研究1	2	前期	山本　和彦			○	○	○	○
	火	2	インド学研究2	2	後期	山本　和彦			○	○	○	○
	水	2	仏教学研究(文献研究)1	2	前期	上野　牧生			○	○	○	○
	水	2	仏教学研究(文献研究)2	2	後期	上野　牧生			○	○	○	○
	月	3	仏教学研究(文献研究)3	2	前期	福田　洋一			○	○	○	○
	月	3	仏教学研究(文献研究)4	2	後期	福田　洋一			○	○	○	○
			仏教学研究(文献研究)5	2			本年度休講					
			仏教学研究(文献研究)6	2			本年度休講					

大学院　哲学専攻

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生 自専攻	在学生 他専攻	その他 科目等	その他 聴講生
専攻科目			哲学特殊研究Ⅰ(講義)1	2			本年度休講					
			哲学特殊研究Ⅰ(講義)2	2			本年度休講					
			哲学特殊研究Ⅰ(講義)3	2			本年度休講					
			哲学特殊研究Ⅰ(講義)4	2			本年度休講					
	火	4	哲学特殊研究Ⅱ(文献研究)1	2	後期	西尾　浩二	哲学・現代思想領域		○	○	○	○
	木	2	哲学特殊研究Ⅱ(文献研究)2	2	後期	谷口　奈青理	哲学・現代思想領域		○	○	○	○
	水	2	哲学特殊研究Ⅱ(文献研究)3	2	前期	脇坂　真弥	倫理・宗教思想領域		○	○	○	○
	木	3	哲学特殊研究Ⅱ(文献研究)4	2	後期	藤枝　真	倫理・宗教思想領域		○	○	○	○
			哲学特殊研究Ⅱ(文献研究)5	2			本年度休講					
			哲学特殊研究Ⅱ(文献研究)6	2			本年度休講					
	木	5	哲学特殊研究(演習)a－1	2	前期	脇坂　真弥	哲学・現代思想領域　倫理・宗教思想領域　1～3合同ゼミ		○	×	×	×
	木	5	哲学特殊研究(演習)b－1	2	後期	脇坂　真弥	哲学・現代思想領域　倫理・宗教思想領域　1～3合同ゼミ		○	×	×	×
	木	5	哲学特殊研究(演習)a－2	2	前期	藤枝　真	哲学・現代思想領域　倫理・宗教思想領域　1～3合同ゼミ		○	×	×	×
	木	5	哲学特殊研究(演習)b－2	2	後期	藤枝　真	哲学・現代思想領域　倫理・宗教思想領域　1～3合同ゼミ		○	×	×	×
	木	5	哲学特殊研究(演習)a－3	2	前期	村山　保史	哲学・現代思想領域　倫理・宗教思想領域　1～3合同ゼミ		○	×	×	×
	木	5	哲学特殊研究(演習)b－3	2	後期	村山　保史	哲学・現代思想領域　倫理・宗教思想領域　1～3合同ゼミ		○	×	×	×
			哲学特殊研究(演習)a－4	2			本年度休講					
			哲学特殊研究(演習)b－4	2			本年度休講					
			哲学特殊研究(演習)a－5	2			本年度休講					
			哲学特殊研究(演習)b－5	2			本年度休講					
	金	2	哲学特殊研究(論文指導)a－1	2	前期	脇坂　真弥	倫理・宗教思想領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	2	哲学特殊研究(論文指導)b－1	2	後期	脇坂　真弥	倫理・宗教思想領域　修士のみ		○	×	×	×
	水	4	哲学特殊研究(論文指導)a－2	2	前期	藤枝　真	倫理・宗教思想領域　修士のみ		○	×	×	×
	水	4	哲学特殊研究(論文指導)b－2	2	後期	藤枝　真	倫理・宗教思想領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	哲学特殊研究(論文指導)a－3	2	前期	村山　保史	哲学・現代思想領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	哲学特殊研究(論文指導)b－3	2	後期	村山　保史	哲学・現代思想領域　修士のみ		○	×	×	×
			哲学研究1	2			本年度休講					
			哲学研究2	2			本年度休講					
	火	2	哲学研究(文献研究)1	2	前期	渡辺　啓真		(大)	○	○	○	○
	火	2	哲学研究(文献研究)2	2	後期	渡辺　啓真		(大)	○	○	○	○
			倫理学研究1	2			本年度休講					
			倫理学研究2	2			本年度休講					
	火	3	倫理学研究(文献研究)1	2	前期	渡辺　啓真		(大)	○	○	○	○
	火	3	倫理学研究(文献研究)2	2	後期	渡辺　啓真		(大)	○	○	○	○
	金	4	宗教学研究1	2	前期	秋富　克哉		(大)	○	○	○	○
	金	4	宗教学研究2	2	後期	秋富　克哉		(大)	○	○	○	○
			宗教学研究(文献研究)1	2			本年度休講					
			宗教学研究(文献研究)2	2			本年度休講					
			現代思想研究1	2			本年度休講					
			現代思想研究2	2			本年度休講					
			現代思想研究(文献研究)1	2			本年度休講					
			現代思想研究(文献研究)2	2			本年度休講					

大学院　仏教文化専攻

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生 自専攻	在学生 他専攻	その他 科目等	その他 聴講生
専攻科目	金	2	仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)1	2	前期	福島　栄寿	日本文化領域		○	○	○	○
	金	2	仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)2	2	後期	福島　栄寿	日本文化領域		○	○	○	○
	水	3	仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)3	2	前期	國中　治	日本文化領域		○	○	○	○
	水	3	仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)4	2	後期	國中　治	日本文化領域		○	○	○	○
	木	3	仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)5	2	前期	松浦　典弘	東洋文化領域		○	○	○	○
	木	3	仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)6	2	後期	松浦　典弘	東洋文化領域		○	○	○	○
			仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)7	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)8	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)9	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究Ⅰ(講義)10	2			本年度休講					
	水	3	仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)1	2	前期	東舘　紹見	日本文化領域		○	○	○	○
	水	3	仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)2	2	後期	東舘　紹見	日本文化領域		○	○	○	○
	金	4	仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)3	2	前期	平野　寿則	日本文化領域		○	○	○	○
	金	4	仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)4	2	後期	平野　寿則	日本文化領域		○	○	○	○
	火	4	仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)5	2	前期	佐藤　愛弓	日本文化領域		○	○	○	○
	火	4	仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)6	2	後期	佐藤　愛弓	日本文化領域		○	○	○	○
	水	4	仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)7	2	前期	井黒　忍	東洋文化領域		○	○	○	○
	水	4	仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)8	2	後期	井黒　忍	東洋文化領域		○	○	○	○
			仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)9	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究Ⅱ(文献研究)10	2			本年度休講					
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－1　修	2	前期	福島　栄寿	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－1　修	2	後期	福島　栄寿	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－2　修	2	前期	東舘　紹見	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－2　修	2	後期	東舘　紹見	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－3　修	2	前期	平野　寿則	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－3　修	2	後期	平野　寿則	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－4　修	2	前期	佐藤　愛弓	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－4　修	2	後期	佐藤　愛弓	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－5　修	2	前期	國中　治	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－5　修	2	後期	國中　治	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
			仏教文化特殊研究(演習)a－6　修	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(演習)b－6　修	2			本年度休講					
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－1　博	2	前期	福島　栄寿	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－1　博	2	後期	福島　栄寿	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－2　博	2	前期	東舘　紹見	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－2　博	2	後期	東舘　紹見	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－3　博	2	前期	平野　寿則	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－3　博	2	後期	平野　寿則	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－4　博	2	前期	佐藤　愛弓	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－4　博	2	後期	佐藤　愛弓	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)a－5　博	2	前期	國中　治	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	2	仏教文化特殊研究(演習)b－5　博	2	後期	國中　治	日本文化領域　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
			仏教文化特殊研究(演習)a－6　博	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(演習)b－6　博	2			本年度休講					
	金	4	仏教文化特殊研究(演習)a－7	2	前期	松浦　典弘	東洋文化領域　7～10合同ゼミ		○	×	×	×
	金	4	仏教文化特殊研究(演習)b－7	2	後期	松浦　典弘	東洋文化領域　7～10合同ゼミ		○	×	×	×
	金	4	仏教文化特殊研究(演習)a－8	2	前期	井黒　忍	東洋文化領域　7～10合同ゼミ		○	×	×	×
	金	4	仏教文化特殊研究(演習)b－8	2	後期	井黒　忍	東洋文化領域　7～10合同ゼミ		○	×	×	×
			仏教文化特殊研究(演習)a－9	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(演習)b－9	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(演習)a－10	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(演習)b－10	2			本年度休講					
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)a－1	2	後期	福島　栄寿	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)b－1	2	前期	福島　栄寿	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	木	3	仏教文化特殊研究(論文指導)a－2	2	後期	東舘　紹見	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	火	5	仏教文化特殊研究(論文指導)b－2	2	前期	東舘　紹見	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)a－3	2	後期	平野　寿則	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)b－3	2	前期	平野　寿則	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	水	4	仏教文化特殊研究(論文指導)a－4	2	後期	佐藤　愛弓	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	水	4	仏教文化特殊研究(論文指導)b－4	2	前期	佐藤　愛弓	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)a－5	2	後期	國中　治	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)b－5	2	前期	國中　治	日本文化領域　修士のみ		○	×	×	×
			仏教文化特殊研究(論文指導)a－6	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(論文指導)b－6	2			本年度休講					
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)a－7	2	後期	松浦　典弘	東洋文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)b－7	2	前期	松浦　典弘	東洋文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)a－8	2	後期	井黒　忍	東洋文化領域　修士のみ		○	×	×	×
	金	3	仏教文化特殊研究(論文指導)b－8	2	前期	井黒　忍	東洋文化領域　修士のみ		○	×	×	×
			仏教文化特殊研究(論文指導)a－9	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(論文指導)b－9	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(論文指導)a－10	2			本年度休講					
			仏教文化特殊研究(論文指導)b－10	2			本年度休講					
	月	2	仏教文化研究1	2	前期	宮﨑　健司		(大)	○	○	○	○
	月	2	仏教文化研究2	2	後期	宮﨑　健司		(大)	○	○	○	○
			仏教文化研究3	2			本年度休講					
	火	2	仏教文化研究4	2	前期	本井　牧子		(大)	○	○	○	○

大学院　仏教文化専攻

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生 自専攻	在学生 他専攻	その他 科目等	その他 聴講生
専攻科目	火	2	仏教文化研究5	2	後期	本井　牧子		(大)	○	○	○	○
			仏教文化研究6	2			本年度休講					
			仏教文化研究7	2			本年度休講					
			仏教文化研究8	2			本年度休講					
			仏教文化研究9	2			本年度休講					
	月	1	仏教文化研究10	2	前期	船山　徹		(大)	○	○	○	○
	月	1	仏教文化研究11	2	後期	船山　徹		(大)	○	○	○	○
			仏教文化研究12	2			本年度休講					
			仏教文化研究13	2			本年度休講					
	木	4	仏教文化研究14	2	前期	大岩本　幸次		(大)	○	○	○	○
	木	4	仏教文化研究15	2	後期	大岩本　幸次		(大)	○	○	○	○
	金	3	仏教文化研究16	2	前期	川端　泰幸			○	×	×	×
	水	1	仏教文化研究17	2	後期	中川　眞二			○	×	×	×
			仏教文化研究18	2			本年度休講					
			仏教文化研究19	2			本年度休講					
			仏教文化研究20	2			本年度休講					
			仏教文化研究21	2			本年度休講					

大学院　国際文化専攻

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生 自専攻	在学生 他専攻	その他 科目等	その他 聴講生
専攻科目			国際文化特殊研究Ⅰ(講義)1	2			本年度休講					
			国際文化特殊研究Ⅰ(講義)2	2			本年度休講					
	火	2	国際文化特殊研究Ⅱ(文献研究)1	2	後期	廣川　智貴	比較文化研究		○	○	○	○
	水	4	国際文化特殊研究Ⅱ(文献研究)2	2	前期	浅若　裕彦	英米文化研究		○	○	○	○
	木	2	国際文化特殊研究Ⅱ(文献研究)3	2	後期	藤田　義孝	比較文化研究		○	○	○	○
	金	3	国際文化特殊研究Ⅱ(文献研究)4	2	前期	李　青	中国文化研究		○	○	○	○
	水	3	国際文化特殊研究(演習)a－1	2	前期	三浦　誉史加	欧米文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	3	国際文化特殊研究(演習)b－1	2	後期	三浦　誉史加	欧米文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	3	国際文化特殊研究(演習)a－2	2	前期	李　青	比較文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	3	国際文化特殊研究(演習)b－2	2	後期	李　青	比較文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	3	国際文化特殊研究(演習)a－3	2	前期	浅若　裕彦	比較文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	3	国際文化特殊研究(演習)b－3	2	後期	浅若　裕彦	比較文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	3	国際文化特殊研究(演習)a－4	2	前期	廣川　智貴	欧米文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	3	国際文化特殊研究(演習)b－4	2	後期	廣川　智貴	欧米文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
			国際文化特殊研究(演習)a－5	2			本年度休講					
			国際文化特殊研究(演習)b－5	2			本年度休講					
	水	3	国際文化特殊研究(演習)a－6	2	前期	藤田　義孝	欧米文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
	水	3	国際文化特殊研究(演習)b－6	2	後期	藤田　義孝	欧米文化　1～6合同ゼミ		○	×	×	×
			国際文化特殊研究(演習)a－7	2			本年度休講					
			国際文化特殊研究(演習)b－7	2			本年度休講					
	金	4	国際文化特殊研究(論文指導)a－1	2	前期	三浦　誉史加	修士のみ		○	×	×	×
	金	4	国際文化特殊研究(論文指導)b－1	2	後期	三浦　誉史加	修士のみ		○	×	×	×
	水	4	国際文化特殊研究(論文指導)a－2	2	前期	李　青	修士のみ		○	×	×	×
	水	4	国際文化特殊研究(論文指導)b－2	2	後期	李　青	修士のみ		○	×	×	×
	金	4	国際文化特殊研究(論文指導)a－3	2	前期	浅若　裕彦	修士のみ		○	×	×	×
	金	4	国際文化特殊研究(論文指導)b－3	2	後期	浅若　裕彦	修士のみ		○	×	×	×
	水	2	国際文化特殊研究(論文指導)a－4	2	前期	廣川　智貴	修士のみ		○	×	×	×
	水	2	国際文化特殊研究(論文指導)b－4	2	後期	廣川　智貴	修士のみ		○	×	×	×
			国際文化特殊研究(論文指導)a－5	2			本年度休講					
			国際文化特殊研究(論文指導)b－5	2			本年度休講					
	水	2	国際文化特殊研究(論文指導)a－6	2	前期	藤田　義孝	修士のみ		○	×	×	×
	水	2	国際文化特殊研究(論文指導)b－6	2	後期	藤田　義孝	修士のみ		○	×	×	×
			国際文化特殊研究(論文指導)a－7	2			本年度休講					
			国際文化特殊研究(論文指導)b－7	2			本年度休講					
			地域文化研究1	2			本年度休講					
	木	4	地域文化研究2	2	後期	喜多　恵美子	アジア文化		○	○	○	○
			地域文化研究3	2			本年度休講					
	水	4	地域文化研究4	2	後期	藤田　義孝	西欧文化(フランス)		○	○	○	○
			地域文化研究5	2			本年度休講					
			地域文化研究6	2			本年度休講					
			地域文化研究(文献研究)1	2			本年度休講					
			地域文化研究(文献研究)2	2			本年度休講					
			地域文化研究(文献研究)3	2			本年度休講					
	木	3	比較文化研究1	2	後期	三浦　誉史加	比較文化研究(欧米)		○	○	○	○
			比較文化研究2	2			本年度休講					

大学院　教育・心理学専攻

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生 自専攻	在学生 他専攻	その他 科目等	その他 聴講生
専攻科目	金	3	教育人間学特論	2	前期	森田　裕之			○	×	×	×
	金	3	教育人間学演習	2	後期	森田　裕之			○	×	×	×
	月	4	臨床教育学特論	2	前期	寺川　直樹			○	×	×	×
	月	4	臨床教育学演習	2	後期	寺川　直樹			○	×	×	×
	火	1	仏教と教育特論	2	前期	冨岡　量秀			○	×	×	×
	火	1	仏教と教育演習	2	後期	冨岡　量秀			○	×	×	×
	金	2	教育心理学特論	2	前期	渡邉　大介			○	×	×	×
	金	2	教育心理学演習	2	後期	渡邉　大介			○	×	×	×
			発達心理学特論	2			本年度休講					
			発達心理学演習	2			本年度休講					
			臨床心理学特論	2			本年度休講					
			臨床心理学演習	2			本年度休講					
	水	3	教科教育学1特論	2	前期	山本　亮介			○	×	×	×
	水	3	教科教育学1演習	2	後期	山本　亮介			○	×	×	×
	木	5	教科教育学2特論	2	前期	吉田　雅昭			○	×	×	×
	水	1	教科教育学2演習	2	後期	吉田　雅昭			○	×	×	×
			教科教育学3特論	2			本年度休講					
			教科教育学3演習	2			本年度休講					
				2	前期	森田　裕之			○	×	×	×
				2	前期	山本　亮介			○	×	×	×
	木	6	教育・心理学特別研究Ⅰa	2	前期	田中　久美子			○	×	×	×
				2	前期	吉田　雅昭			○	×	×	×
				2	前期	関口　敏美			○	×	×	×
				2	後期	森田　裕之			○	×	×	×
				2	後期	山本　亮介			○	×	×	×
	木	6	教育・心理学特別研究Ⅰb	2	後期	田中　久美子			○	×	×	×
				2	後期	吉田　雅昭			○	×	×	×
				2	後期	関口　敏美			○	×	×	×
				2	前期	森田　裕之			○	×	×	×
				2	前期	山本　亮介			○	×	×	×
	木	6	教育・心理学特別研究Ⅱa	2	前期	田中　久美子			○	×	×	×
				2	前期	吉田　雅昭			○	×	×	×
				2	前期	関口　敏美			○	×	×	×
				2	後期	森田　裕之			○	×	×	×
				2	後期	山本　亮介			○	×	×	×
	木	6	教育・心理学特別研究Ⅱb	2	後期	田中　久美子			○	×	×	×
				2	後期	吉田　雅昭			○	×	×	×
				2	後期	関口　敏美			○	×	×	×

選択科目　全専攻

科目種類	曜日	時限	授業科目	単位	期別	担当	備考	共通科目	在学生	その他 科目等	その他 聴講生
選択科目	木	1	語学文献研究(英語)a	2	前期	M. J. CONWAY			○	×	×
	木	1	語学文献研究(英語)b	2	後期	M. J. CONWAY			○	×	×
	金	1	語学文献研究(独語)a	2	前期	廣川　智貴			○	×	×
	金	1	語学文献研究(独語)b	2	後期	廣川　智貴			○	×	×
	金	1	語学文献研究(仏語)a	2	前期	藤田　義孝			○	×	×
	金	1	語学文献研究(仏語)b	2	後期	藤田　義孝			○	×	×
	金	6	語学文献研究(中国語)a	2	前期	渡部　洋			○	×	×
	金	6	語学文献研究(中国語)b	2	後期	渡部　洋			○	×	×
	金	1	英語読解(上級)1	1	前期	B. TURNBULL		(大)	○	×	×
	金	1	英語読解(上級)2	1	後期	B. TURNBULL		(大)	○	×	×
	火	4	英語読解(中級)3	1	前期	藤井　佳子		(大)	○	×	×
	火	4	英語読解(中級)4	1	後期	藤井　佳子		(大)	○	×	×
	火	4	ドイツ語読解(中級)1	1	前期	廣川　智貴		(大)	○	×	×
	火	4	ドイツ語読解(中級)2	1	後期	廣川　智貴		(大)	○	×	×
	木	5	フランス語読解(中級)	1	後期	岡田　純子		(大)	○	×	×
	木	3	フランス語のしくみと表現(中級)	1	前期	岡田　純子		(大)	○	×	×
	水	2	中国語会話(上級)1	1	前期	李　青	中級から上級へ	(大)	○	×	×
	水	2	中国語会話(上級)2	1	後期	李　青	上級	(大)	○	×	×
			国際政治研究1	2			本年度休講				
			国際政治研究2	2			本年度休講				
			国際関係研究1	2			本年度休講				
			国際関係研究2	2			本年度休講				
			国際経済研究1	2			本年度休講				
			国際経済研究2	2			本年度休講				
	*		真宗学研究(文献研究)a	4	集中前期	釆睿　晃	安居(本講)		○	×	×
	*		真宗学研究(文献研究)b	4	集中前期	釆睿　晃	安居(次講)		○	×	×
			仏教学研究(文献研究)	4			本年度休講				
			仏教文化研究(文献研究)	4			本年度休講				
			仏教学研究(特別セミナー)a	2			本年度休講				
			仏教学研究(特別セミナー)b	2			本年度休講				
			比較宗教特殊講義	2			本年度休講				
	金	5	プレFD実践演習	2	前期	釆睿　晃	博士のみ		○	×	×

第３章　聴講登録～成績評価

1. 単位修得の認定

［1］授業科目の単位の修得（登録から成績評価まで）

本学大学院では、「単位修得の認定」について「授業科目を履修し、授業に 3 分の 2 以上出席した者には、認定の上、所定の単位を与える。」（学則第 11 条）と規定しています。

すなわち、**登録し、受講（授業に出席）した上で試験を受け、合格点（60 点以上）を得られればその科目の単位が認定される**ということになります。

［2］授業科目の履修以外の単位認定について

本学では、「授業科目の単位の修得」の他に、以下の①，②に該当する場合、単位の認定を行っています。
ただし、①、②を合わせて、修得したとみなすことができる単位数は、20 単位を超えないものとします。
また、この単位認定の上限は、修士課程と博士後期課程を合わせた単位数です。

（第 4 章「2. 大谷大学大学院履修規程」参照）

① 入学前の既修得単位の認定
入学前に修得済みの単位（大学院の開講科目に限る）があれば、申請により修了所要単位の一部として認定します。
ただし、認定単位の上限は 15 単位で、入学した年度当初にのみ認定となりますので、修士課程入学生で該当する希望者は、４月のオリエンテーションでの教務課の指示に従ってください。

② 在学中の他の大学院の授業科目の履修
他の大学院（外国の大学院等を含む）の授業科目を履修し、単位を修得すれば、それも修了所要単位の一部として認定します。
ただし、認定単位の上限は 15 単位となります。
本学は「京都・宗教系大学院連合（K–GURS）」に加盟し、単位互換の協定を結んでいます。
詳しくは、後記「7. 学術交流について」を参照してください。

2. 聴講登録

当該年度に履修しようとする授業科目の登録の方法・期間等については、**学部の「◎ 2025 年度聴講登録関連日程」を参照**してください。

専攻科目の「特殊研究（演習）」［教育・心理学専攻は「教育・心理学特別研究」］と選択科目の「語学文献研究」については、必ず「a（前期開講）・b（後期開講）」をセットで前期に登録してください。

3. 授業時間

時限	1	2	昼休み	3	4	5	6
時間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:10~13:00	13:00~14:30	14:40~16:10	16:20~17:50	18:00~19:30

4. 試　験

学部の規程を適用します。

5. 成績評価

［1］評価

成績は 100 点をもって満点とし、60 点以上を合格とします。なお、履修成績は次のように評価します。

評　価		評　点	判　定　基　準
合　　格	S	100 点～ 90 点	特に優れた成績を示したもの
	A	89 点～ 80 点	優れた成績を示したもの
	B	79 点～ 70 点	妥当と認められる成績を示したもの
	C	69 点～ 60 点	合格と認められる最低限の成績を示したもの
不 合 格	F	59 点以下	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
評価不能	K	－	授業参加や試験について棄権・放棄をしたとみなされ、評価することができないもの

［2］成績の通知

本学では、前期授業開始前、後期授業開始前にその前の学期科目の成績を「OTANI UNIPA」内の「成績照会」画面にて発表しますので、各自確認してください。

［3］「成績照会」画面について

（1）前の学期までに聴講登録した科目の成績が確認できます。
（2）各科目の区分は、第 2 章「1．修士課程」・「2．博士後期課程」の［2］修了単位で確認してください。
（3）成績評価のうち「N」は外国語の学力認定・他大学等の認定科目です。また、「J」は修練等の受講を表します。

［4］成績評価に関する問い合わせ

前期科目の成績について
　⇒ 2025 年 9 月上旬～下旬
後期科目の成績について
　⇒ 2026 年 3 月上旬～下旬
※日程が決まれば、「OTANI UNIPA」にて連絡します。
　（受付時間…窓口開室時間　受付場所…教務課）

成績評価について確認したい場合、この期間に文書にて問い合わせをすることができます。その場合、提出した答案（レポート）や授業への出席日数等を含め、具体的・客観的な理由を所定の用紙に記入の上、提出することになります。
この問い合わせは成績の確認を求めるものであり、「救済措置を依頼する」「個人的事情の考慮を依頼する」という内容は、受付できません。

6．GPA

GPA 制度（大谷大学大学院履修規程　第 15 条の 2）

① GPA とは

GPA は、Grade Point Average（グレード・ポイント・アベレージ）の略で、登録した全科目の成績の平均を数値で表し、学業結果を総合的に判断するためのものです。

②目的

GPA を利用し成績が算出されることにより、セメスターごとの学修成果と推移がより明確となり各自の履修状況の確認が容易になります。これにより、皆さんの成績に関する自己管理と綿密な履修計画並びに学習意欲の向上を期待しています。

なお、GPA は、セメスターごとに計算し OTANI UNIPA の成績照会画面に表示されます。また、学修成果を客観的に把握できるよう、研究科の GPA 分布状況を、セメスターごとに OTANI　UNIPA で公表しています。

③ GPA の計算方法

計算方法は、登録した各科目の成績（グレード：S＝4、A＝3、B＝2、C＝1、F･K＝0）にその科目の単位数を乗じた数値の総和を総登録単位数で除します。小数点以下第 3 位は四捨五入。

評価		評点	**グレード**	判定基準
合格	S	100 点～ 90 点	**4**	特に優れた成績を示したもの
	A	89 点～ 80 点	**3**	優れた成績を示したもの
	B	79 点～ 70 点	**2**	妥当と認められる成績を示したもの
	C	69 点～ 60 点	**1**	合格と認められる最低限の成績を示したもの
不合格	F	59 点以下	**0**	合格と認められるに足る成績を示さなかったもの

評価不能	K	―	**0**	授業参加や試験について棄権・放棄をしたとみなされ、評価することができないもの

計算式

$$\frac{(S\text{の修得単位数}\times 4)+(A\text{の修得単位数}\times 3)+(B\text{の修得単位数}\times 2)+(C\text{の修得単位数}\times 1)}{\text{総履修登録単位数（F・K を含む）}}$$

④ GPA に算入されない科目

・**修了**所要に含まれない科目**（学部開講科目／諸課程科目）**
・留学、単位互換等他大学で取得した科目で、本学で認定された「N」評価の科目
・「S･A･B･C･F･K」以外で評価される科目

⑤履修辞退

実際に授業を受講した結果、望ましい評価が得られないと判断した科目、もしくは登録時の予想とは異なったため受講を続けたくない科目等について、前期は 5 月末、後期は 10 月末に履修辞退期間を設けています。ただし、必修科目でクラス指定の科目を辞退すると**修了**見込みが立たなくなるため、注意してください。

⑥ GPA の活用

（1）奨学金出願の指標として活用

奨学金出願のわかりやすい目安として示し、学習意欲の向上、出願する契機とします。
出願資格（学力基準）に通算 GPA を活用します。

（2）学修成果の客観的指標として利用　【2022 年度以降入学生適用】

学修の全体的な状況を対外的に示せるよう、成績証明書に各科目の評価に加え、通算 GPA を表示して、学修成果の客観的指標とします。

7. 学術交流について

［1］単位互換制度（京都・宗教系大学院連合）

「京都・宗教系大学院連合（Kyoto Graduate Union of Religious Studies 略称 K-GURS)」は、京都を中心とした宗教系大学の大学院が、それぞれの宗教や宗派の特色を生かした教育プログラムを展開し、次世代の宗教研究者、宗教指導者、宗教に関するプロフェッショナルとなる人材育成を行うとともに、研究上の相互交流を図ることを目的として 2005 年 7 月に設立されました。

加盟校は、以下の大学院及び大学です。（2025 年 4 月 1 日現在）

◎大谷大学大学院	人文学研究科
◎皇學館大学大学院	文学研究科
◎高野山大学大学院	文学研究科
◎同志社大学大学院	神学研究科
◎花園大学大学院	文学研究科
◎佛教大学大学院	文学研究科
◎龍谷大学大学院	文学研究科
◎龍谷大学大学院	国際学研究科
◎龍谷大学大学院	実践真宗学研究科

「京都・宗教系大学院連合」では、学生の学習インセンティブを高めるため、加盟校間の協定に基づき、2006 年度より単位互換制度を実施しています。2010 年度からは、「京都・宗教系大学院連合」の独自科目としてチェーン・レクチャーを開始しました。チェーン・レクチャーは、年度ごとの共通テーマに基づいて、毎回、各加盟校の教員が交替で講義を行います。

詳しい講義内容と毎回の担当者については、「京都・宗教系大学院連合」のホームページを参照してください。

受講できる科目は、各加盟校が提供した科目に限ります。単位互換に関する詳細は、4 月のオリエンテーションにおいて説明します。

単位認定の基準は下記の通りです 。

① 「京都・宗教系大学院連合」において単位互換協定を結んでいる他大学院の提供科目を受講し修得した単位は、本学における選択科目の単位として認定します。

② 大学院修了所要単位としての認定は、大学院学則及び大学院履修規程の定めるところにより、在学期間中（修士課程、博士後期課程合わせて）15 単位を超えないものとします。また、入学前の既修得単位を認定されている人は、その単位も合わせて 20 単位が上限です。

③ 修得した単位を教職課程（教科に関する科目）の単位として換算することは認められません。

異なる宗教同士が、より広い研究上の知見に立って、それぞれの研究を深めていくため、学術情報の交換、国内外の研究者との人的交流、共同の講演会・シンポジウム等を行っています。

［2］大学院特別セミナー

本学ならではの資産である仏教研究の蓄積と成果をもとに、仏教学・人文科学・社会科学の学術研究の高度化と国際交流を図るために、本学大学院では、国内外において学界の第一線で活躍しておられる研究者を客員教授として招き、特別セミナーを開講しています。このセミナーは他大学の研究者や大学院生にも開放しており、本学大学院が国際的水準の学術交流の場となることをめざしています。

詳細については、教務課で確認してください。（2025 年度の開講はありません）

8. 安居の開講について

安居（あんご）は、真宗大谷派が教学の振興と自信教人信の誠を尽くす教師の育成を願いとして、本学を会場として毎年夏期に２週間行っている学事です。宗門の最高の学者が講者（本講･次講の２名）となって、宗学の基本的典籍をテキストとして行われ、宗学の中心的学場として永い歴史を重ねています。

この安居を、大学院の選択科目「真宗学研究（文献研究）・仏教学研究（文献研究）・仏教文化研究（文献研究）」として単位認定（本講・次講各４単位ずつ）します。大学院生諸君が主体的に参加し、積極的に教学にアプローチすることが願われます。

なお、受講にあたっては下記の事項に注意してください。

① 安居を受講して単位認定を受けるためには、以下の２つの手続が必要です。
　（1）年度初めの聴講登録期間に登録すること。
　（2）例年６月に大学で行うオリエンテーションに出席し、宗派への「安居聴講願」を提出すること（オリエンテーションの詳細は OTANI UNIPA にて連絡します）。

② 安居の受講は、安居の全日程（本講・次講の両方の、講義・攻究）に参加することが必要です。したがって、本講・次講いずれか一方のみの科目を聴講登録するということはできません。

③ 大学院の選択科目として登録した場合も、真宗大谷派教師課程の単位としても認定することができます。認定を希望する場合は、教務課に相談してください。

＜2025 年度安居日程＞

2025 年 7 月 17 日(木)～7 月 31 日(木)

詳細はオリエンテーションにて連絡します。

＜2025 年度開講科目＞

「真宗学研究（文献研究）a・b」

第４章　規程集

1. 大谷大学学位規程

第１章　総則

（趣旨）

第１条　大谷大学学位規程は、学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条及び学位規則（昭和 28 年文部省令第９号）の規定に基づき、大谷大学（以下「本学」という。）において授与する学位の種類、論文審査の方法、試験及び学力の認定の方法、その他学位に関し必要な事項を定めるものとする。

（学位の種類）

第２条　本学において授与する学位は、博士、修士及び学士とする。

（博士の学位授与の要件）

第３条　博士の学位は、その専攻分野について研究者として独創的研究活動を行うに必要な高度で精深な研究能力とその基礎となる幅広い豊かな学識を有する者に授与するものであり、本学大学院学則第 22 条第２項の定めるところにより、本学大学院博士後期課程を修了した者に授与する。

２　博士の学位は、本学大学院学則第 22 条第３項により、前項に規定するもののほか、本学に博士の学位論文（以下「博士論文」という。）を提出してその審査に合格し、かつ、専攻分野に関し本学大学院の博士後期課程を修了したものと同等以上の学力を有することが、試問によって確認された者にも授与することができる。

（修士の学位授与の要件）

第４条　修士の学位は、広い視野に立って精深な学識をそなえ、かつ、その専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を有する者に授与するものであり、本学大学院学則の定めるところにより、本学大学院修士課程を修了した者に授与する。

（学士の学位授与の要件）

第５条　学士の学位は、本学学則の定めるところにより、本学学部を卒業した者に授与する。

（専攻分野の名称）

第６条　本学が授与する学位には、次のとおり専攻分野の名称を付記する。

（1）　博士の学位に付記する専攻分野の名称

学位の種類	研究科	付記する名称
博士	人文学研究科	文学

（2）　修士の学位に付記する専攻分野の名称

学位の種類	研究科	専攻	付記する名称
修士	人文学研究科	真宗学専攻 仏教学専攻 哲学専攻 仏教文化専攻 国際文化専攻	文学
		教育・心理学専攻	教育学

(3)　学士の学位に付記する専攻分野の名称

学位の種類	学　部	付記する名称
学士	文学部	文学
	社会学部	社会学
	教育学部	教育学
	国際学部	文学

（学位の名称の使用）

第７条　学位を授与された者は、学位の名称を用いるときは、本学名を付記するものとする。

第２章　博士及び修士の学位

（博士の学位授与の申請）

第８条　博士の学位授与を申請する者は、次の各号のいずれかによるものとする。

(1)　第３条第１項の規定による者にあっては、別表第５（イ）に定める学位授与申請書に博士論文を印刷製本したものを６部、博士論文の電子データ、別表第６に定める論文目録３部のほか博士論文の要旨、博士論文の要旨の電子データ及び別表第７に定める学位論文審査料を添えて学長に提出するものとする。ただし、学位論文審査のために必要があるときは、参考論文又は資料等を提出させることがある。

(2)　第３条第２項の規定による者にあっては、別表第５（ロ）に定める学位授与申請書に博士論文を印刷製本したものを６部、博士論文の電子データ、別表第６に定める論文目録３部のほか博士論文の要旨、博士論文の要旨の電子データ、履歴書、業績書各１部及び別表第７に定める学位論文審査料を添えて学長に提出するものとする。

（修士の学位授与の申請）

第９条　修士の学位授与を申請する者は、別表第５（ハ）に定める学位授与申請書に修士の学位論文（以下「修士論文」という。）２部を添えて学長に提出するものとする。

（博士論文及び修士論文の受理）

第 10 条　博士論文及び修士論文の受理は、大学院委員会（以下「委員会」という。）の議を経て、学長が決定する。

２　一旦受理した博士論文、修士論文、学位論文審査料等は、いかなる事由があっても返還しない。

（博士論文、修士論文の審査の委嘱）

第 11 条　学長は、博士論文又は修士論文を受理したとき、委員会にその審査を委嘱する。

（学位論文審査委員）

第 12 条　委員会は、学位論文審査委員（以下「審査委員」という。）を選出して論文の審査に当たらしめる。

２　審査委員の構成は、次のとおりとする。

(1) 第８条第１号の博士論文の審査については、指導教員を主査とし、副査は、各専攻の専攻科目で開設する、特殊研究（演習）、特殊研究Ⅰ（講義）及び特殊研究Ⅱ（文献研究）を担当する者（教育・心理学専攻は、専攻科目で開設する科目を担当する者）のうちから委員会が指名する１名を含んで２名以上とする。ただし、３親等以内の親族を含めないものとする。

(2) 第８条第２号の博士論文の審査については、委員会の指名する当該専攻の教授を主査とし、副査は、各専攻の専攻科目で開設する、特殊研究（演習）、特殊研究Ⅰ（講義）及び特殊研究Ⅱ（文献研究）を担当する者（教育・心理学専攻は、専攻科目で開設する科目を担当

する者）のうちから委員会が指名する１名を含んで２名以上とする。ただし、３親等以内の親族を含めないものとする。

(3) 前２号の副査には、他の大学又は研究機関等の教員、研究員、それらに相当する学識経験者等の学外者を含めることを原則とする。また、委員会が必要と認めたときは、本学の教員を加えることができる。

(4) 第９条の修士論文の審査については、指導教員を主査とし、委員会の指名する大学院授業担当教員を副査とする。

(5) 委員会が必要と認めたときは、前号の規定にかかわらず、副査に本学の名誉教授、教員及びそれらに相当する学識経験者を加えることができる。

（博士論文、修士論文の審査及び試験）

第 13 条　第８条第１号の博士論文の審査及び最終試験は、当該論文を受理した後、６カ月以内に終了するものとする。

2　第８条第２号の博士論文の審査及び試験は、当該論文を受理した後、１年以内に終了するものとする。

3　第９条の修士論文の審査及び最終試験は、当該論文を受理した後、３カ月以内に終了するものとする。

4　審査委員は、博士論文又は修士論文を中心とし、審査期間中適当な時期に口述又は筆答をもって、最終試験又は試験を行う。

（博士論文の発表会）

第 13 条の２

第８条の博士論文については、最終試験までに博士論文発表会を開催するものとする。ただし、委員会がやむを得ない事由があると認めた場合は、発表を免除することができる。

（学力の確認）

第 14 条　第３条第２項の規定による学力の確認は、口述又は筆答による試問を行うものとし、外国語については２カ国語を課するを原則とする。

2　本学大学院博士後期課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、第３条第２項の規定により学位授与を申請する場合は、その退学の日から起算して３年以内に限り、学力の確認を免除することができる。

（審査結果の報告）

第 15 条　審査委員は、審査終了後ただちにその結果を委員会に報告しなければならない。

（論文審査の議決）

第 16 条　委員会は、審査委員の報告に基づき、第３条第１項によるものについては博士論文、同条第２項によるものについては博士論文及び試験又は学力の確認の結果につき、無記名投票により合否について議決する。

2　前項の委員会の議決は、委員総数の３分の２以上の出席を必要とし、合格については出席者の４分の３以上の同意を必要とする。ただし、公務のための欠席者は前記の定員に算入しない。

3　第１項の無記名投票結果については、委員会でのみ票数を公表する。

（課程修了の議決）

第 16 条の２

委員会は、審査委員の報告に基づき、第３条第１項及び第４条によるものについては、本学大学院学則の定めるところにより、それぞれの課程の修了の可否について議決する。

2　前項の委員会の議決は、委員総数の３分の２以上の出席を必要とし、合格については出席者の４分の３以上の同意を必要とする。ただし、公務のための欠席者は前記の定員に算入しない。

（学長への報告）

第 17 条　委員会が、学位を授与すべきものと議決したとき、大学院人文学研究科長は、論文に審査要旨及び最終試験又は試験の成績を添え、文書により学長に報告しなければならない。なお、第３条第２項の規定により学位の申請をするものについては、試問の成績も添えなければならない。ただし、修士にあっては、合格判定報告書をもって、これにかえることができる。

（学位の授与）

第 18 条　学長は、前条の報告を十分に考慮し、博士及び修士の学位の授与を決定する。

（学位記）

第 19 条　本学は、博士及び修士の学位の授与を決定した者に学位記を授与する。

2　学位記の様式は別表第１から別表第３までのとおりとする。

（博士論文要旨の公表）

第 20 条　本学は、博士の学位を授与した日から３カ月以内に、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨を本学ホームページ等に公表するものとする。

（博士論文の公表）

第 21 条　博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から１年以内にその論文をインターネットの利用により公表するものとする。ただし、当該学位を授与される以前に、すでにその論文をインターネットの利用により公表したものについてはこの限りでない。

2　前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本学の承認を受けて、当該論文の全文に代えてその内容を要約したものをインターネットの利用により公表することができる。この場合、本学は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

（博士の学位授与の報告）

第 22 条　本学において博士の学位を授与したときは、学長は当該博士の学位を授与した日から３カ月以内に、別表第８の様式による学位（博士）授与報告書を文部科学大臣に提出するものとする。

第３章　学士の学位

（学位の授与）

第 23 条　学長は、教授会の議を経て、第５条に定める者に対し、学士の学位の授与を決定する。

（学位記）

第 24 条　本学は、学士の学位の授与を決定した者に卒業証書・学位記を授与する。

2　卒業証書・学位記の様式は別表第４のとおりとする。

第４章　学位授与の取消し

（学位授与の取消し）

第 25 条　学長は、学位を授与した者にその名誉を汚辱する行為があったとき、又は不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、委員会又は教授会の議を経て、学位の授与を取消し、学位を返還させることができる。

2　前項の委員会又は教授会の議決は、構成員総数の３分の２以上の出席及び出席者の４分の３以上の同意を必要とする。

（以下省略）

2. 大谷大学大学院履修規程

（目的）

第１条　大谷大学大学院学則（以下「学則」という。）第３章、第４章及び第５章施行のために履修規程を設ける。

（適用）

第２条　履修規程は、原則として入学時のものを適用する。

（区分）

第３条　学則第３条により修士課程及び博士後期課程に区分する。

（修士課程の履修方法）

第４条　修士課程の修業年限は２カ年とし、４カ年を超えることができない。

２　学則第７条第１項に定める授業科目の履修については、次の基準により履修するものとする。

（1）基礎科目…「仏教の視点」２単位及び「専攻交流演習Ⅰ」２単位必修とする。ただし、教育・心理学専攻は、「仏教の視点」２単位及び「教育学総論」又は「心理学総論」を４単位履修しなければならない。

（2）専攻科目…指導教員の担当する特殊研究（演習）を毎年４単位、計８単位及び特殊研究（論文指導）を４単位必修とする。これらの他に指導教員の指導に従って４単位以上履修し、合計 16 単位以上履修しなければならない。ただし、教育・心理学専攻は、教育・心理学特別研究を毎年４単位、計８単位必修とする。

（3）選択科目…履修については、０単位以上とする。ただし、教育・心理学専攻は、教育・心理学特別研究を除く専攻科目及び選択科目から 16 単位を選択必修とする。

３　単位は 15 時間から 30 時間までの範囲で、本学が定める時間の授業に対し、講義、演習及び文献研究はいずれも１単位とする。

４　学生は第１学年に、「仏教の視点」２単位、「専攻交流演習Ⅰ」２単位、指導教員の担当する特殊研究（演習）４単位を履修しなければならない。また、第２学年に指導教員の担当する特殊研究（演習）４単位を履修しなければならない。ただし、教育･心理学専攻は、第１学年に「仏教の視点」２単位、「教育学総論」又は「心理学総論」４単位、指導教員の担当する教育・心理学特別研究４単位を履修しなければならない。また、第２学年に指導教員の担当する教育・心理学特別研究４単位を履修しなければならない。

５　第１学年において、次の各号のいずれかに該当する者は進級しない。ただし、「大谷大学大学院留学規程」に定める「留学」が許可された者は、進級するものとする。

（1）第１学年において無単位の者

（2）第１学年において在学期間が１年に満たない者

６　学則第７条の２に定める長期履修を認められた者の履修方法については、別に定める。

（博士後期課程の履修方法）

第５条　博士後期課程の修業年限は３カ年とし、６カ年を超えることができない。

２　学則第７条第１項に定める授業科目の履修については、次の基準により履修するものとする。

（1）基礎科目…「仏教の視点」２単位必修とする。

（2）専攻科目…指導教員の担当する特殊研究（演習）を毎年４単位、計 12 単位の履修を必修とし、特殊研究（演習）以外の科目の履修については、０単位以上とする。

（3）選択科目…「語学文献研究」（英語、ドイツ語、フランス語及び中国語のうちいずれか１カ国語）４単位の履修を必修とし、「語学文献研究」以外の科目の履修については、０単位以上とする。

３　「仏教の視点」と語学文献研究については、本学修士課程で修得した単位を認定する。認定を希望する者は、所定の申請書類を指定期限内に学生支援部教務課に提出しなければならない。

４　単位は 15 時間から 30 時間までの範囲で、本学が定める時間の授業に対し、講義、演習、文献研究はいずれも１単位とする。

5　（削除）
6　第１学年において、次の各号のいずれかに該当する者は進級しない。
（1）第１学年において無単位の者
（2）第１学年において在学期間が１年に満たない者
7　第２学年において、次の各号のいずれかに該当する者は進級しない。
（1）第２学年において無単位の者
（2）第２学年において在学期間が１年に満たない者

（海外での短期滞在研究）

第６条　研究の必要上、３週間を超えて海外に赴く場合は、あらかじめ大学院人文学研究科長の承認を得なければならない。

（学部授業の聴講）

第７条　大谷大学各学部の授業科目を任意に聴講することはできるが、これを大学院の基礎科目、専攻科目及び選択科目に充当することはできない。

（外国語の学力確認）

第８条　学則第 18 条第２項に定める外国語の学力については、「外国語の学力確認試験」により確認する。ただし、指定された語学文献研究を受講し、単位を修得した外国語については確認試験を免除する。

（単位認定）

第９条　学則第 11 条の２に定める入学前の既修得単位の認定は、転入学及び再入学の場合を除き、本学大学院で修得した単位（科目等履修生で修得した単位等）を含めて 15 単位を上限とする。
2　単位は、本学大学院が教育上有益と認める場合は、課程修了に必要な単位として、算入することができる。
3　認定の時期は、本学に入学した年度当初にのみ行うものとする。ただし、当該学期に休学した場合は、復学した学期当初に行う。
4　博士後期課程に入学した者で、修士課程入学時又は在学中に認定された単位がある場合は、合わせて 15 単位を超えないものとする。
5　認定を希望する者は、所定の申請書類及び成績証明書を指定期限内に学生支援部教務課に提出しなければならない。

（再入学者の入学前の既修得単位の認定）

第 10 条　学則第 11 条の２に定める再入学者の入学前の既修得単位のうち、退学から再入学までの期間中に大学院で修得した単位がある場合は、本学大学院で修得した単位（科目等履修生で修得した単位等）を含めて 15 単位を上限とし、前条を準用して認定する。この場合、前条により認定された単位がある場合は、合わせて 15 単位を超えないものとする。

（他の大学院における授業科目の履修等）

第 11 条　学則第９条に定める他の大学院において修得した単位は、15 単位を超えない範囲で選択科目に認定するものとする。

（外国の大学院における単位の修得）

第 11 条の２
外国の大学院で単位を修得した場合は、前３条の規定を準用する。この場合、前条により認定された単位がある場合は、合わせて 15 単位を超えないものとする。

（他大学院科目及び入学前単位認定の修得単位制限）

第 11 条の３
第９条から前条までにおいて修得したものとみなすことができる単位数は、合わせて 20 単位を超えないものとする。

（留学期間中における科目の単位認定）

第 12 条　「大谷大学大学院留学規程」に定める「留学」が許可された者の、留学期間中における特殊研究（演習）及び教育・心理学特別研究の単位認定は、指導教員による指導、学生の定期的な研究成果報告等によって行うことができる。

（登録）

第 13 条　学生はその年度に履修しようとする授業科目を、指導教員の認可を得て所定の期間内に学生支援部教務課へ届け出なければならない。ただし、一旦登録した授業科目は、修正登録期間及び履修辞退期間（別に定める）後は原則として変更を認めない。

（聴講資格の喪失）

第 14 条　前条の届出が完了しない場合は、聴講資格を有しないものとする。

（試験）

第 15 条　学則第 12 条及び第 14 条に定める試験については、大谷大学履修規程第８条及び第９条を準用する。

（GPA）

第 15 条の 2

成績評価による学業結果を総合的に判断する指標として、GPA（Grade Point Average）を用いる。算出方法及び利用方法の詳細については、別に定める。

（学位論文）

第 16 条　学位規程第３条第１項及び第４条の規定により、学位（修士・博士）論文を提出しようとする者は、所定の時期までに指導教員の承認を得、論文題目を届け出て、所定の時期までに論文を提出しなければならない。

2　学位規程第３条第２項の規定により、学位（博士）論文を提出しようとする者は、所定の時期までに論文を提出しなければならない。審査料は学位規程に定める。

（修士論文提出資格）

第 17 条　修士論文提出資格は、本学修士課程に１カ年以上在学し、第４条第２項に定める単位を、当該年度末にすべて修得見込みであることとする。ただし、優れた業績を上げた者の在学期間については、この限りではない。

（博士論文提出資格）

第 18 条　博士論文提出資格は、本学博士後期課程に２カ年以上在学し、第５条第２項に定める単位を当該年度末にすべて修得見込みであること。及び第８条に基づき、２カ国語の学力認定を受けていること、若しくは当該年度末までに学力認定を受ける見込みであることとする。

（論文枚数）

第 19 条　修士論文は、本学指定の A4 判 200 字詰原稿用紙 200 枚以内とし、製本（和綴又は洋綴）のうえ提出しなければならない。ただし、ワードプロセッサー等の使用については別に定める。

2　博士論文については別に定める。

（学位授与の申請）

第 20 条　博士論文又は修士論文を提出し、学位授与の申請をする場合の申請書類は学位規程に定める。

（休学者の論文提出）

第 21 条　休学中の者は論文を提出できない

（以下省略）

大　学　院

Ⅱ．資格の取得

1．教職課程

2．真宗大谷派教師課程

1. 教職課程

本大学院では、修士課程在学中に所定の単位を修得し、小学校教諭専修免許状・中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状を取得することが認められています。

専修免許状は、基礎となる当該教科の一種免許状の既取得者、又は一種免許状の所定単位充足者であって、当該免許状の所要単位を修得した人に授与されます。

［1］教育職員免許状の種類・教科及び所要資格

教員免許状の取得にあたり、専攻ごとにその種類と免許教科、所要資格が下記のとおり決められています。

● 2019 年度以降入学生　　（2019 年改正　教育職員免許法別表第 1）

専攻	免許状の種類	免許教科	専修免許状基礎資格	大学において修得すること必要とする最低修得単位数					
				一種免許状最低修得単位数					本学修士課程
				教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学独自に設定する科目	
真宗学専攻	中学校教諭専修免許状	宗　教	修士の学位を有すること	28	10	10	7	4	24
	高等学校教諭専修免許状	宗　教		24	10	8	5	12	24
仏教学専攻	中学校教諭専修免許状	宗　教		28	10	10	7	4	24
	高等学校教諭専修免許状	宗　教		24	10	8	5	12	24
哲学専攻	中学校教諭専修免許状	社　会		28	10	10	7	4	24
	高等学校教諭専修免許状	公　民		24	10	8	5	12	24
仏教文化専攻	中学校教諭専修免許状	社　会		28	10	10	7	4	24
	高等学校教諭専修免許状	地理歴史		24	10	8	5	12	24
国際文化専攻	中学校教諭専修免許状	外国語（英語）		28	10	10	7	4	24
	高等学校教諭専修免許状	外国語（英語）		24	10	8	5	12	24
教育・心理学専攻	小学校専修免許状			30	10	10	7	2	24

注　意　事　項

① 専修免許状は、所属専攻により取得できる科目が異なります。各専攻で定められている取得科目以外は取得できません。

② 大学院在学中に取得できる専修免許状は一人１教科に限られます。ただし、社会系列（社会・公民・地理歴史）の教員免許状取得を希望する人は、所属の専攻に開講されている教科に限り複数教科取得が可能です。

③ 一種免許状は取得できないのが原則ですが、本学学部に定める条件を充たしていれば学部科目等履修生として、取得が可能です。ただし教科等によっては履修できない場合もありますので、詳しくは、学部の「教職課程」を参照してください。

④ 大学院入学時点から教職課程の履修を開始した場合、２年間で免許状取得に必要な単位を満たすことは困難です。

⑤ 小学校一種免許状の単位取得については、教育・心理学専攻でのみ認められます。ただし、大学院入学後に履修を開始した場合、２年間での免許取得は不可能です。大学院修了後の科目等履修等が必要となります。

［2］修得すべき科目・単位

専修免許状に関する最低修得単位数は、大学院修士課程で開講されている「**大学が独自に設定する科目**」**24 単位**です。本学ではいずれの免許教科においても「教科に関する専門的事項」を開設しています。

大学院における教科に関する専門的事項

本年度に該当する科目は下記の表のとおりです。

①中学校専修免許状　宗教／高等学校専修免許状　宗教　〈真宗学専攻〉

本学開講科目	
真宗学特殊研究Ⅰ（講義） 真宗学特殊研究Ⅱ（文献研究） 真宗学特殊研究（演習） 真宗学研究 真宗学研究（文献研究）	哲学研究 哲学研究（文献研究） 宗教学研究 宗教学研究（文献研究）

②中学校専修免許状　宗教／高等学校専修免許状　宗教　〈仏教学専攻〉

本学開講科目	
仏教学特殊研究Ⅰ（講義） 仏教学特殊研究Ⅱ（文献研究） 仏教学特殊研究（演習） 仏教学研究 仏教学研究（文献研究）	哲学研究 哲学研究（文献研究） 宗教学研究 宗教学研究（文献研究）

③中学校専修免許状　社会／高等学校専修免許状　公民　〈哲学専攻〉

本学開講科目	
哲学特殊研究Ⅰ（講義） 哲学特殊研究Ⅱ（文献研究） 哲学特殊研究（演習） 哲学研究 哲学研究（文献研究）	倫理学研究 倫理学研究（文献研究） 宗教学研究 宗教学研究（文献研究） 社会学研究 社会学研究（文献研究） ※教育学を内容とするものは使用できません。

④中学校専修免許状　社会　〈仏教文化専攻〉

本学開講科目	
仏教文化特殊研究Ⅰ（講義）1・2・5・6 仏教文化特殊研究Ⅱ（文献研究）1・2・3・4・7・8 仏教文化特殊研究（演習）1・2・3・7 仏教文化研究 1・2・3・6・7・8・9・10・11・16 哲学研究 哲学研究（文献研究）	倫理学研究 倫理学研究（文献研究） 宗教学研究 宗教学研究（文献研究） 社会学研究 社会学研究（文献研究）

⑤高等学校専修免許状　地理歴史　〈仏教文化専攻〉

本学開講科目	
仏教文化特殊研究Ⅰ（講義）1・2・5・6 仏教文化特殊研究Ⅱ（文献研究）1・2・3・4・7・8 仏教文化特殊研究（演習）1・2・3・7 仏教文化研究 1・2・3・6・7・8・9・10・11・16	

⑥中学校専修免許状　外国語（英語）／高等学校専修免許状　外国語（英語）　〈国際文化専攻〉

本学開講科目	
国際文化特殊研究Ⅰ（講義）1 国際文化特殊研究Ⅱ（文献研究）2 国際文化特殊研究（演習）1・3・7	地域文化研究 1・5・6 地域文化研究（文献研究）3 比較文化研究 1・2 語学文献研究（英語）a・b

⑦小学校専修免許状　〈教育・心理学専攻〉

本学開講科目	
教育学総論 a 教育学総論 b } 2 科目 4 単位必修	教科教育学 1 特論 教科教育学 1 演習 教科教育学 2 特論 教科教育学 2 演習 教科教育学 3 特論 教科教育学 3 演習 } これら 6 科目より 2 科目 4 単位選択必修③
教育人間学特論 教育人間学演習 臨床教育学特論 臨床教育学演習 仏教と教育特論 仏教と教育演習 } これら 6 科目より 2 科目 4 単位選択必修①	教育・心理学特別研究Ⅰ a 教育・心理学特別研究Ⅰ b 教育・心理学特別研究Ⅱ a 教育・心理学特別研究Ⅱ b } これら 4 科目より 2 科目 4 単位必修④
教育心理学特論 教育心理学演習 発達心理学特論 発達心理学演習 臨床心理学特論 臨床心理学演習 } これら 6 科目より 2 科目 4 単位選択必修②	※上記①～④（8 科目 16 単位）で取得した科目を除く 14 科目より 2 科目 4 単位以上選択必修

注　意　事　項

① 「大学院における教科に関する専門的事項」中、安居と共通する科目は使うことはできません。
② 科目番号を付してあるものは当該科目のみ「教科に関する専門的事項」に使えます。
③ 年度によって「教科に関する専門的事項」は変更する可能性があります。オリエンテーション期間中の教職課程説明会にて指示しますので、必ず出席してください。登録は各自の責任で行い、各自で管理すること。教務課では一切責任を持ちません。

［3］登　録

科目の聴講登録については、すべて年度始めの聴講登録期間に聴講登録してください。

［4］免許状申請手続

① 教育職員免許状は京都府教育委員会より授与されます。大学が発行・授与するものではありません。
② 本大学院では、免許状授与権者である京都府教育委員会に一括申請し、学位記授与式当日に専修免許状を渡すことができるように取り扱います。**当該年度の 10 月から 11 月上旬に説明会を開催しますので、申請を希望する修士課程第 2 学年以上の人は必ず出席し、所定の手続を行ってください。**
③ 本大学院在学中以外で修得した単位を合算して免許状を申請する場合は、一括申請ができません。

［5］科目等履修生制度

本大学院出身者で、基礎となる当該教科の一種免許状を取得済みであることを条件に、本大学院に開設されている科目等履修生制度により専修免許状の取得が可能です。その他にも出願資格が決められていますので注意してください。科目等履修生の願書受付は、教務課で行います。

2. 真宗大谷派教師課程

真宗大谷派教師・学階の資格取得に関わる課程は、文学部に開設しています。大学院に入学した人で当該資格を取得するための履修上の注意点を挙げておきます。なお、他大学出身者は、本学修士課程修了又は博士後期課程修了が要件となります。

［1］教師・学階

研究科・専攻		教　師	学　階	備　考
人文学研究科	真宗学専攻 仏教学専攻	僧　都	学　師	修了時に入位となり、６か月以上経過後に僧都となる。
	上記以外の専攻	僧都（律師）※		

※真宗学・仏教学以外の専攻修了者の学歴による陞補は律師ですが、学階「学師」取得者は僧都に陞補されるため、全専攻とも初補の場合は僧都となります。
※既に大谷派教師資格を取得した方で、「学師」の取得および教師陞補が必要な方は、教務課に相談してください。

［2］教師修練日程

教師修練受講は文学部に準じます。文学部のページを参照してください。

前期－修士第１学年・博士第２学年＝学部第３学年と合同
後期－修士第２学年・博士第３学年＝学部第４学年と合同

［3］単位認定

他大学出身者の単位については、Ｂ群選択必修科目の一部に認定できる場合があります。希望者は所定の手続が必要となりますので、オリエンテーション期間中に必ず教務課へ相談してください。

［4］教師資格を既に有する者の教師・学階の授与

すでに教師資格を有する人が、大学院相当の教師資格及び学階を希望する場合は、専攻により、また希望が教師・学階のいずれかによって履修方法が異なります。詳細は、入学後すぐに教務課に相談してください。

［5］安居の受講

大学院選択科目として登録した安居科目「真宗学研究（文献研究）・仏教学研究（文献研究）・仏教文化研究（文献研究）」は、大谷派教師課程の単位に認定することができます。

安居を大谷派教師課程の単位（真宗学演習・仏教学演習・歴史部門）として認定するには、別途、申込みが必要です。詳細については教務課に相談してください。

［6］「教化学」の履修について

① 履修学年指定：教化学演習Ⅰは、修士第１学年・博士第２学年で履修。
　　教化学演習Ⅱは、修士第２学年・博士第３学年で履修。
② 「教化学演習Ⅰ」を修得していないと「教化学演習Ⅱ」は履修できません。
③ 修士・博士とも最終学年次のみ、「教化学演習Ⅰ」を修得していない場合は、「教化学演習Ⅰ」と「教化学演習Ⅱ」２科目を同時履修することを認めますので、該当する場合は必ず教務課まで申し出てください。２科目とも大学行事参加が課されていますが、１回の参加で両科目の出席とします。

※その他の事項や開講科目表は、文学部のものを参照してください。ただし、文学部で所要単位数が不足し、大学院で修得する場合は、教務課に相談してください。

科目担当者一覧表

【学部・大学院　共通】

本学教育職員

教員名
赤阪　辰太郎
赤澤　清孝
浅若　裕彦
安部　哲哉
M. Ama
安藤　香苗
井黒　忍
池永　真義
磯島　浩貴
一楽　真
井上　和久
井上　摩紀
上野　牧生
内田　祐貴
大川　ヘナン
大艸　啓
太田　智子
大秦　一浩
大原　ゆい
岡部　茜
岡村　明日香
小川　直人
栫井　大輔
鎌谷　勇宏
亀山　裕樹
川瀬　綾子
川端　泰幸
木越　康
北山　敏秀
喜多　恵美子
木塚　勝豊
工藤　克洋
國中　治
久留島　元
源嶋　孝太
古谷　伸子
M. J. CONWAY
後藤　晴子
酒井　恵光
佐藤　愛弓
三宮　直樹
四方　保仁
志藤　修史
柴田　みゆき
下村　優佳
鈴木　寿志
R. SMITHERS
関口　敏美
B. TURNBULL
髙橋　真
武田　和哉
田中　久美子
田中　正隆
谷口　奈青理
DASH SHOBHA
鄭　祐宗
寺川　直樹
徳田　剛
戸次　顕彰
冨岡　量秀
鳥越　覚生

教員名
中川　眞二
中野　加奈子
永瀬　圭
新田　智通
西尾　浩二
西川　幸余
西村　美紀
西本　祐攝
根無　一行
野村　明宏
野村　実
橋口　昌治
浜崎　由紀
林　正幸
東舘　紹見
平塚　幸子
平野　寿則
廣川　智貴
吹田　隆徳
福島　栄寿
藤井　了興
藤枝　真
藤田　義孝
藤原　正寿
藤元　雅文
藤原　智
C. BERGMANN
前田　充洋
松浦　典弘
松金　直美
松川　節
松田　祥平
三浦　誉史加
三木　彰円
箕浦　暁雄
三宅　伸一郎
向田　泰真
宗　周太郎
村山　保史
本明　義樹
森田　裕之
矢野　永吏子
山雄　優生
山﨑　弥生
山下　真由美
山本　和彦
山本　亮介
吉田　雅昭
李　青
陸　穎瑤
脇坂　真弥
采睪　晃
渡邊　拓也
渡辺　拓也
渡邉　大介
渡部　洋

客員教授・非常勤講師

教員名
青木　三陽
青木　佑介
秋富　克哉
秋元　せき
秋山　麗子
浅田　由貴絵
浅海　達也
浅見　直一郎
芦名　定道
安達　敬子
雨森　久晃
安藤　秀幸
飯田　令子
生田　敦司
池尾　靖志
池添　鉄平
石井　正道
石黒　衛
石坂　澄子
石田　あゆう
石山　裕菜
伊藤　恵一
稲垣　淳央
稲葉　弘和
井上　尚実
井上　基子
今西　智久
伊村　大樹
井村　紫
岩田　貞昭
岩田　理恵
上田　早記子
上野　芳重
上羽　毅
上原　尉暢
鵜野　祐介
江口　典子
G.A.EDMONDS
呉　仁済
王　秀梅
王　大川
大岩本　幸次
大江　可奈子
大久保　紀一朗
太田　純
大高　千明
大西　将史
大野　哲也
大野　遼
大野　僚
岡崎　沙織
岡崎　均
岡嶋　詳二
岡田　純子
岡田　律子
岡本　俊裕
小河　寛和
小鹿　慶子
織田　貴昭
小谷　真由
小野木　聡
甲斐　浩一
貝原　哲生
鍵本　優

教員名
笠原　俊典
堅田　理
桂　千草
金森　謙輔
鎌田　均
亀井　貴幸
河井　純子
川北　典子
川田　耕
河原　慶子
川村　高弘
姜　文姫
岸　佑太
岸上　仁
岸田　蘭子
北島　美咲
木塚　恵子
金　瑛
草野　顕之
工藤　さくら
國賀　由美子
國嶋　貴美子
國永　孟
倉持　祐二
倉本　尚徳
訓覇　浩
桑原　桃音
C.CORRIGAN
小坂　美樹
粉川　尚枝
小西　貴子
小林　敬
近藤　雄生
近藤　嘉宏
今場　正美
後藤　真利子
齊戸　典子
坂井　聰
坂井　めぐみ
佐久間　朋子
櫻井　信也
佐藤　純子
佐藤　夏樹
佐藤　美奈子
清水　京香
清水　利明
清水　由香里
清水　洋平
下間　一頼
下野　伸子
申　東洙
城　優香
菅野　瑞治也
杉原　優子
杉本　理
杉本　喜孝
杉本　義美
杉山　正治
鈴木　暁子
鈴木　真太朗
鈴木　友好
隅田　朋子
瀬戸　奈美子
徐　希寧

教員名
髙井　たかね
高井　康弘
髙井　龍
高木　聡
高倉　弘士
高道　由子
武井　哲郎
竹内　早耶香
武田　章
武田　有子
竹中　正太郎
竹中　祐二
辰巳　千紗子
田中　希穂
田中　智子
田中　友理
谷内　秀一
谷口　愛沙
田原　理恵
丹上　麻里江
丹波　史紀
張　莉
千葉　豊
陳　斯童
次橋　秀樹
土屋　雄一郎
筒井　洋一
寺川　史朗
寺澤　大奈
出口　宏子
時里　祐子
堂本　雅也
中川　淳子
中川　洋一
中田　千穂
中田　智也
中西　秀彦
中西　麻一子
中原　香織
中藤　弘彦
中村　泰介
中村　武生
永井　久美子
永井　英美
長野　真奈
永松　昌樹
新川　泰弘
新美　秀和
西尾　純子
西川　潤
西田　彩
西田　廣和
西本　成文
西山　剛
野田　浩子
野村　洋平
狭間　芳樹
橋本　昭典
花房　ともえ
早川　智美
林　和樹
林　香奈
林　静香
林　祐一郎

教員名
原　壮大朗
朴　仁淑
樋口　太郎
日高　周平
平尾　良治
平岡　聡
平澤　泰文
平田　絵未
平田　公威
平野　和歌子
平原　晃宗
E.FAURE
深町　博史
深谷　怜美
福井　敏
福嶋　祐貴
福田　洋一
福山　幸子
藤井　幸之助
藤井　律之
藤井　佳子
藤貫　裕
船本　淑恵
船山　徹
古屋　哲
堀田　博史
星津　香織
本多　潤子
前田　一郎
M.McClure
桝田　亮平
増成　一倫
松井　正宏
松木　宏史
松下　俊英
松田　康介
松田　美樹
松原　伸一
松村　大栄
松本　聡子
松本　直子
松本　充豊
松本　圭将
三上　禎次
三鬼　丈知
皆見　和彦
宮崎　健司
宮下　薫
宮前　千雅子
閔　智焄
村井　琢哉
村上　昌孝
本井　牧子
本林　靖久
柳生　利恵
矢島　敬子
安田　佳奈子
柳澤　彰紀
柳田　典子
山内　小夜子
山崎　俊鋭
山崎　祥代
山城　稔暢
山田　恵文

教員名
山田　大地
山田　宗寛
山名　伸生
山西　芳幸
山本　紗佑里
山本　貴子
横澤　大典
吉田　綾
吉田　全宏
吉永　隆記
M.ROER
脇　聡
脇中　洋
渡辺　啓真
和田　光生

OTANI UNIVERSITY